

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 562 集

あまたき
雨滝遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査

2010

岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室
(財)岩手県文化振興事業団

雨滝遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査



遺物包含層



遺物包含層 土器出土状況



注口土器



ミニチュア土器



土偶



岩偶



岩版

序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区に関連して平成20年度に発掘調査された二戸市雨滝遺跡の調査成果をまとめたものです。本遺跡は縄文時代晩期前半の大規模かつ良好な遺物包含層が存在することで知られ、当該期の著名な遺跡の一つとされております。今回の調査でも同様の遺物包含層が確認され、多量の遺物が出土しました。これは、当該期における各種遺物、特に土器様相を考える上で極めて貴重な資料となるものであります。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室、二戸市埋蔵文化財センターをはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成22年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 武田牧雄

例 言

- 1 本報告書は、岩手県二戸市釜沢字白山5ほかに所在する雨滝遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室と岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課との協議を経て、岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室の委託を受けた(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 岩手県遺跡台帳における遺跡番号は IE79-1126、遺跡略号が AT-08 である。
- 4 調査に関わる期間と面積、担当者は次のとおりである。

野外調査
期間：平成20年7月1日～9月30日／面積：398㎡／担当者：丸山浩治・菅野紀子

室内整理
期間：平成20年11月1日～平成21年3月31日、平成21年5月1日～8月31日
担当者：丸山浩治
- 5 報告書の執筆は、第I章を岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室、それ以外は編集・構成を含め丸山が担当した。
- 6 動物骨の同定・分析は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所の石丸恵利子氏にお願いし、玉稿を賜った（VI章1節）。
- 7 試料の分析・鑑定、保存処理は次の機関と団体に委託した。

放射性炭素年代測定（AMS測定）……………株式会社加速器分析研究所
植物珪酸体分析……………パリノ・サーヴェイ株式会社
石器石材鑑定……………花崗岩研究会
- 8 空中写真撮影は、東邦航空株式会社に委託した。
- 9 調査および報告書作成にあたり、次の方々から御指導と助言をいただいた。（順不同・敬称略）

忽那敬三・高瀬克範・田口 慎（明治大学）、石丸恵利子（人間文化研究機構総合地球環境学研究所）、
松井 章・山崎 健（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）、吉川純子（古代の森研究舎）、
安斎正人（東北芸術工科大学）、関 豊・横井猛志・鈴木雄一郎（二戸市埋蔵文化財センター）、八木勝枝（岩手県立博物館）
- 10 発掘調査資料は、岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 11 調査成果は当センターホームページ、調査概報等に発表してきたが、本書の内容が優先するものである。

凡 例

1 遺構実測図の用例は、下記のとおりである。

(1) 遺構実測図の縮尺は、基本的に次のとおりである。ただし一部異なるものもあるため各図にスケールおよび縮尺を付した。

基本層序等断面図……………1：50

竪穴住居状遺構……………1：40

土坑……………1：40

柱穴状土坑……………1：40

溝……………1：50

(2) 推定線は、破線で示した。

(3) 層位の表記には、基本層序にローマ数字、各遺構埋土にアラビア数字を使用した。

(4) 土層色調の観察には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版標準土色帖」を使用した。混入物量（％）の目安もこれを参考にした。

(5) 図面中の土器は「p」、石器および礫は「s」の略号で表記した。

2 遺物実測図の用例は、下記のとおりである。

(1) 各遺物の縮尺は、基本的に次のとおりである。ただし一部異なるものもあるため各図にスケールおよび縮尺を付した。

縄文土器……………1：3

縄文土器(ミニチュア)…1：2

土製品……………1：2

剥片石器……………1：2

礫石器……………1：3

石製品……………1：2～1：3

土師器……………1：3

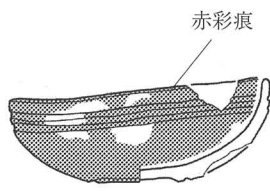
(2) スクリーントーンの利用は、凡例図のとおりである。

(3) 計測値は、残存値の場合（ ）で表記した。

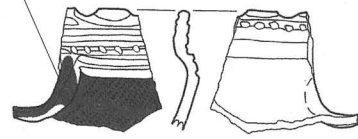
3 国土地理院発行の地形図を転載したものは、図中に図幅名と縮尺を付した。

4 引用・参考文献は、巻末にまとめて記した。

土器

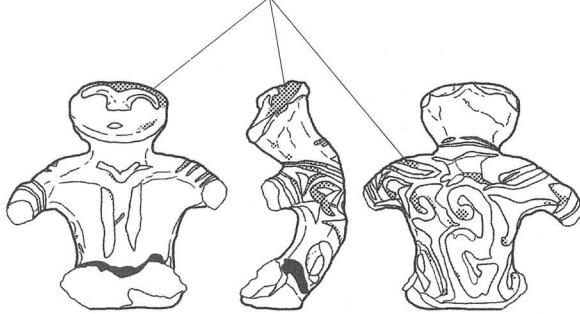


ススコゲ(強)

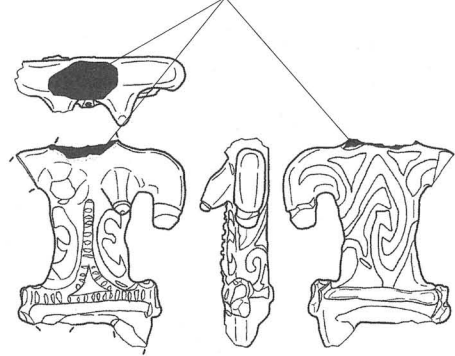


土製品

赤彩痕

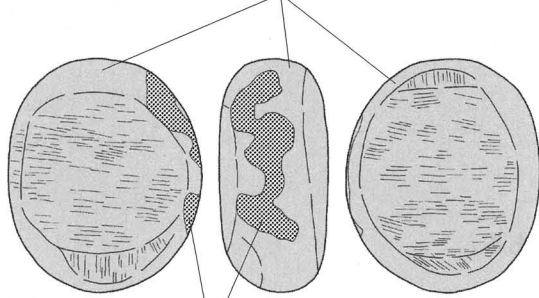


黒色付着物

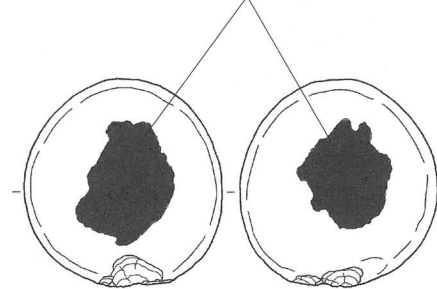


石器・石製品

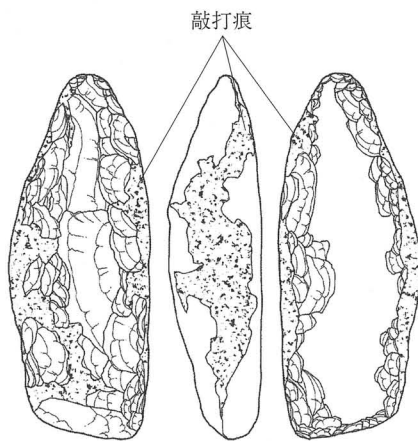
磨痕(強)



黒色付着物

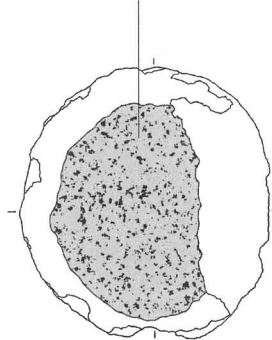


赤色付着物



敲打痕

敲打・磨痕



目 次

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の立地と環境	1
	1 遺跡の位置	1
	2 地理・地形的環境	1
	3 これまでの発掘調査と位置	3
	4 基本層序および攪乱の状況	5
	5 周辺の遺跡	8
III	調査と整理の方法	11
	1 野外調査	11
	2 室内整理	15
IV	検出遺構	17
	1 住居状遺構	17
	2 土坑	17
	3 柱穴状土坑	19
	4 溝	20
	5 遺物包含層	20
V	出土遺物	49
	1 縄文土器	49
	2 土製品	56
	3 石器	58
	4 石製品	64
	5 動物遺存体	66
	6 植物遺存体	66
	7 土師器	66
VI	自然科学的分析	191
	1 雨滝遺跡出土の動物遺存体と内陸部における動物資源利用	191
	2 雨滝遺跡縄文時代晩期遺物包含層の植物珪酸体分析報告	199
	3 雨滝遺跡における放射性炭素年代 (AMS測定)	204
VII	総括	209
	1 まとめ	209

2 各事象の検討	209
報告書抄録	327

図版目次

第 1 図	遺跡の位置	2	A 層出土石器点取り分	45	
第 2 図	周辺の地形と過去の調査地点	4	第 31 図	遺物包含層 3b 層以上出土 石器点取り分	46
第 3 図	基本層序	6	第 32 図	遺物包含層出土石製品点取り分	47
第 4 図	調査区 1 の等高線と小段丘の位置	7	第 33 図	遺物包含層 3b 層出土土器 70・ 131・132 出土状況	48
第 5 図	周辺の遺跡	9	第 34 図	竪穴住居状遺構・土坑・ 遺物包含層出土土器 (1)	67
第 6 図	グリッド配置と調査区の名称	13	第 35 図	遺物包含層出土土器 (2)	68
第 7 図	工事掘削高と調査掘削高	14	第 36 図	遺物包含層出土土器 (3)	69
第 8 図	遺構配置図	23	第 37 図	遺物包含層出土土器 (4)	70
第 9 図	1 号竪穴住居状遺構、1 号土坑、P3	24	第 38 図	遺物包含層出土土器 (5)	71
第 10 図	2~5 号土坑	25	第 39 図	遺物包含層出土土器 (6)	72
第 11 図	P1・2・4~9	26	第 40 図	遺物包含層出土土器 (7)	73
第 12 図	1・2 号溝	27	第 41 図	遺物包含層出土土器 (8)	74
第 13 図	遺物包含層完掘面 (V 層上面) 等高線図	28	第 42 図	遺物包含層出土土器 (9)	75
第 14 図	遺物包含層 A 層上面・ 3a 層上面等高線図	29	第 43 図	遺物包含層出土土器 (10)	76
第 15 図	遺物包含層 2b 層上面・ 1 層上面等高線図	30	第 44 図	遺物包含層出土土器 (11)	77
第 16 図	遺物包含層 0 層上面等高線図	31	第 45 図	遺物包含層出土土器 (12)	78
第 17 図	遺物包含層断面図 (1)	32	第 46 図	遺物包含層出土土器 (13)	79
第 18 図	遺物包含層断面図 (2)	33	第 47 図	遺物包含層出土土器 (14)	80
第 19 図	遺物包含層 A' 層・A 層グリッド別 土器出土重量図	34	第 48 図	遺物包含層出土土器 (15)	81
第 20 図	遺物包含層 3b 層・3a 層グリッド別 土器出土重量図	35	第 49 図	遺物包含層出土土器 (16)	82
第 21 図	遺物包含層 2b 層・2a 層グリッド別 土器出土重量図	36	第 50 図	遺物包含層出土土器 (17)	83
第 22 図	遺物包含層 1~2a・1 層・0 層グリッ ド別土器出土重量図	37	第 51 図	遺物包含層出土土器 (18)	84
第 23 図	遺物包含層 A' 層・ A 層出土土器点取り分	38	第 52 図	遺物包含層出土土器 (19)	85
第 24 図	遺物包含層 3b 層出土土器点取り分	39	第 53 図	遺物包含層出土土器 (20)	86
第 25 図	遺物包含層 3a 層出土土器点取り分	40	第 54 図	遺物包含層出土土器 (21)	87
第 26 図	遺物包含層 2b 層出土土器点取り分	41	第 55 図	遺物包含層出土土器 (22)	88
第 27 図	遺物包含層 2a 層出土土器点取り分	42	第 56 図	遺物包含層出土土器 (23)	89
第 28 図	遺物包含層 1 層以上出土土器点取り分	43	第 57 図	遺物包含層出土土器 (24)	90
第 29 図	遺物包含層出土土製品点取り分	44	第 58 図	遺物包含層出土土器 (25)	91
第 30 図	遺物包含層 A' 層・		第 59 図	遺物包含層出土土器 (26)	92
			第 60 図	遺物包含層出土土器 (27)	93
			第 61 図	遺物包含層出土土器 (28)	94
			第 62 図	遺物包含層出土土器 (29)	95
			第 63 図	遺物包含層出土土器 (30)	96
			第 64 図	遺物包含層出土土器 (31)	97

第 65 図	遺物包含層出土土器 (32)……………	98	第 88 図	遺物包含層出土石器 (1)……………	121
第 66 図	遺物包含層出土土器 (33)……………	99	第 89 図	遺物包含層出土石器 (2)……………	122
第 67 図	遺物包含層出土土器 (34)……………	100	第 90 図	遺物包含層出土石器 (3)……………	123
第 68 図	遺物包含層出土土器 (35)……………	101	第 91 図	遺物包含層出土石器 (4)……………	124
第 69 図	遺物包含層出土土器 (36)……………	102	第 92 図	遺物包含層出土石器 (5)……………	125
第 70 図	遺物包含層出土土器 (37)……………	103	第 93 図	遺物包含層出土石器 (6)……………	126
第 71 図	遺物包含層出土土器 (38)……………	104	第 94 図	遺物包含層出土石器 (7)……………	127
第 72 図	遺物包含層出土土器 (39)……………	105	第 95 図	遺物包含層出土石器 (8)……………	128
第 73 図	遺物包含層出土土器 (40)……………	106	第 96 図	遺物包含層出土石器 (9)……………	129
第 74 図	遺物包含層出土土器 (41)……………	107	第 97 図	遺物包含層出土石器 (10)……………	130
第 75 図	遺物包含層出土土器 (42)……………	108	第 98 図	遺物包含層出土石器 (11)……………	131
第 76 図	遺物包含層出土土器 (43)……………	109	第 99 図	遺物包含層出土石器 (12)……………	132
第 77 図	遺物包含層出土土器 (44)……………	110	第100図	遺物包含層出土石器 (13)……………	133
第 78 図	遺物包含層出土土器 (45)……………	111	第101図	遺物包含層出土石器 (14)……………	134
第 79 図	遺物包含層出土土器 (46)、 遺構外出土土器 (1)……………	112	第102図	遺物包含層出土石器 (15)……………	135
第 80 図	遺構外出土土器 (2)……………	113	第103図	遺物包含層出土石器 (16)……………	136
第 81 図	土坑・遺物包含層出土土製品 (1)…	114	第104図	遺物包含層出土石器 (17)……………	137
第 82 図	遺物包含層出土土製品 (2)……………	115	第105図	遺構外出土石器 (1)……………	138
第 83 図	遺物包含層出土土製品 (3)……………	116	第106図	遺構外出土石器 (2)……………	139
第 84 図	遺物包含層出土土製品 (4)……………	117	第107図	土坑・遺物包含層出土土製品 (1)…	140
第 85 図	遺物包含層出土土製品 (5)……………	118	第108図	遺物包含層出土土製品 (2)……………	141
第 86 図	遺物包含層出土土製品 (6)、 遺構外出土土製品 ……………	119	第109図	遺物包含層出土土製品 (3)……………	142
第 87 図	土坑・柱穴状土坑・溝出土石器 ……	120	第110図	遺物包含層出土土製品 (4)……………	143
			第111図	遺構外出土土製品、土師器 ……	144

表 目 次

第 1 表	周辺の遺跡一覧表 ……………	10	第 5 表	石器観察表 ……………	176
第 2 表	柱穴状土坑観察表 ……………	19	第 6 表	土製品観察表 ……………	188
第 3 表	縄文土器観察表 ……………	145	第 7 表	土師器観察表 ……………	190
第 4 表	土製品観察表 ……………	172			

写真図版目次

写真図版 1	航空写真 ……………	219	写真図版 11	遺物包含層 (2) ……………	229
写真図版 2	調査前風景 ……………	220	写真図版 12	遺物包含層 (3) ……………	230
写真図版 3	基本層序 (1) ……………	221	写真図版 13	遺物包含層 (4) ……………	231
写真図版 4	基本層序 (2) ……………	222	写真図版 14	遺物包含層 (5) ……………	232
写真図版 5	基本層序 (3)、 土壌分析試料採取土層……………	223	写真図版 15	遺物包含層 (6) ……………	233
写真図版 6	竪穴住居状遺構 (1) ……………	224	写真図版 16	遺物包含層 (7) ……………	234
写真図版 7	竪穴住居状遺構 (2)、土坑 (1) ……	225	写真図版 17	遺物包含層 (8) ……………	235
写真図版 8	土坑 (2)、柱穴状土坑 (1) ……	226	写真図版 18	遺物包含層 (9) ……………	236
写真図版 9	柱穴状土坑 (2)、溝 ……………	227	写真図版 19	遺物包含層 (10) ……………	237
写真図版 10	遺物包含層 (1) ……………	228	写真図版 20	遺物包含層 (11) ……………	238
			写真図版 21	遺物包含層 (12) ……………	239

写真図版 22	遺物包含層 (13) ……………	240	写真図版 67	遺物包含層出土土器 (40) ……………	285
写真図版 23	遺物包含層 (14) ……………	241	写真図版 68	遺物包含層出土土器 (41) ……………	286
写真図版 24	遺物包含層 (15) ……………	242	写真図版 69	遺物包含層出土土器 (42) ……………	287
写真図版 25	遺物包含層 (16) ……………	243	写真図版 70	遺物包含層出土土器 (43) ……………	288
写真図版 26	遺物包含層 (17) ……………	244	写真図版 71	遺物包含層出土土器 (44) ……………	289
写真図版 27	調査区 2 ……………	245	写真図版 72	遺構外出土土器 (1) ……………	290
写真図版 28	竪穴住居状遺構、土坑、 遺物包含層出土土器 (1) ……………	246	写真図版 73	遺構外出土土器 (2) ……………	291
写真図版 29	遺物包含層出土土器 (2) ……………	247	写真図版 74	土坑・遺物包含層出土 土製品 (1) ……………	292
写真図版 30	遺物包含層出土土器 (3) ……………	248	写真図版 75	遺物包含層出土土製品 (2) ……………	293
写真図版 31	遺物包含層出土土器 (4) ……………	249	写真図版 76	遺物包含層出土土製品 (3) ……………	294
写真図版 32	遺物包含層出土土器 (5) ……………	250	写真図版 77	遺物包含層出土土製品 (4) ……………	295
写真図版 33	遺物包含層出土土器 (6) ……………	251	写真図版 78	遺物包含層出土土製品 (5) ……………	296
写真図版 34	遺物包含層出土土器 (7) ……………	252	写真図版 79	遺物包含層出土土製品 (6) ……………	297
写真図版 35	遺物包含層出土土器 (8) ……………	253	写真図版 80	遺物包含層出土土製品 (7)、 遺構外出土土製品 ……………	298
写真図版 36	遺物包含層出土土器 (9) ……………	254	写真図版 81	土坑・柱穴状土坑・溝出土石器	299
写真図版 37	遺物包含層出土土器 (10) ……………	255	写真図版 82	遺物包含層出土石器 (1) ……………	300
写真図版 38	遺物包含層出土土器 (11) ……………	256	写真図版 83	遺物包含層出土石器 (2) ……………	301
写真図版 39	遺物包含層出土土器 (12) ……………	257	写真図版 84	遺物包含層出土石器 (3) ……………	302
写真図版 40	遺物包含層出土土器 (13) ……………	258	写真図版 85	遺物包含層出土石器 (4) ……………	303
写真図版 41	遺物包含層出土土器 (14) ……………	259	写真図版 86	遺物包含層出土石器 (5) ……………	304
写真図版 42	遺物包含層出土土器 (15) ……………	260	写真図版 87	遺物包含層出土石器 (6) ……………	305
写真図版 43	遺物包含層出土土器 (16) ……………	261	写真図版 88	遺物包含層出土石器 (7) ……………	306
写真図版 44	遺物包含層出土土器 (17) ……………	262	写真図版 89	遺物包含層出土石器 (8) ……………	307
写真図版 45	遺物包含層出土土器 (18) ……………	263	写真図版 90	遺物包含層出土石器 (9) ……………	308
写真図版 46	遺物包含層出土土器 (19) ……………	264	写真図版 91	遺物包含層出土石器 (10) ……………	309
写真図版 47	遺物包含層出土土器 (20) ……………	265	写真図版 92	遺物包含層出土石器 (11) ……………	310
写真図版 48	遺物包含層出土土器 (21) ……………	266	写真図版 93	遺物包含層出土石器 (12) ……………	311
写真図版 49	遺物包含層出土土器 (22) ……………	267	写真図版 94	遺物包含層出土石器 (13) ……………	312
写真図版 50	遺物包含層出土土器 (23) ……………	268	写真図版 95	遺物包含層出土石器 (14) ……………	313
写真図版 51	遺物包含層出土土器 (24) ……………	269	写真図版 96	遺物包含層出土石器 (15) ……………	314
写真図版 52	遺物包含層出土土器 (25) ……………	270	写真図版 97	遺物包含層出土石器 (16) ……………	315
写真図版 53	遺物包含層出土土器 (26) ……………	271	写真図版 98	遺物包含層出土石器 (17) ……………	316
写真図版 54	遺物包含層出土土器 (27) ……………	272	写真図版 99	遺物包含層出土石器 (18) ……………	317
写真図版 55	遺物包含層出土土器 (28) ……………	273	写真図版 100	遺物包含層出土石器 (19) ……………	318
写真図版 56	遺物包含層出土土器 (29) ……………	274	写真図版 101	遺構外出土石器 (1) ……………	319
写真図版 57	遺物包含層出土土器 (30) ……………	275	写真図版 102	遺構外出土石器 (2) ……………	320
写真図版 58	遺物包含層出土土器 (31) ……………	276	写真図版 103	土坑・柱穴状土坑・ 遺物包含層出土石器製品 (1) ……	321
写真図版 59	遺物包含層出土土器 (32) ……………	277	写真図版 104	遺物包含層出土石器製品 (2) ……	322
写真図版 60	遺物包含層出土土器 (33) ……………	278	写真図版 105	遺物包含層出土石器製品 (3) ……	323
写真図版 61	遺物包含層出土土器 (34) ……………	279	写真図版 106	遺物包含層出土石器製品 (4) ……	324
写真図版 62	遺物包含層出土土器 (35) ……………	280	写真図版 107	遺物包含層出土石器製品 (5)・ 遺構外出土石器製品 ……………	325
写真図版 63	遺物包含層出土土器 (36) ……………	281	写真図版 108	土師器・植物遺存体 ……………	326
写真図版 64	遺物包含層出土土器 (37) ……………	282			
写真図版 65	遺物包含層出土土器 (38) ……………	283			
写真図版 66	遺物包含層出土土器 (39) ……………	284			

I 調査に至る経過

雨滝遺跡は、畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区の農道整備に伴い、その事業区域内に位置することから、発掘調査を実施することとなったものである。

舌崎地区は、二戸市北部の青森県との県境に位置し、地区のほぼ中央を北に貫流する馬淵川に沿って耕地が拓けている。耕地の70%は畑地となっており、果樹、野菜を中心とした複合経営がなされているが、地区の大半は丘陵地であるため農道の幅員が狭小であり作業効率が悪く、また農業用水も不足しているため、栽培管理および品質向上が阻害されている現状である。当事業では、畑地かんがいおよび農道の総合的な整備により、野菜および果樹の収量の高位安定と品質の向上を図り、農業経営の安定と所得の向上を図ることを目的として、平成12年度に事業着手したものである。

当事業の施行に係る埋蔵文化財の取扱いについては、二戸地方振興局農政部農村整備室から平成14年9月6日付二地農（整）第223-1号「畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区実施計画における埋蔵文化財の試掘調査について（依頼）」により岩手県教育委員会に対して試掘調査依頼を行った。

依頼を受けた岩手県教育委員会は、平成14年11月14・15日に試掘調査を実施し、工事着手するには雨滝遺跡の発掘調査が必要となる旨を平成14年11月27日付教生第1238号「畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区実施計画における埋蔵文化財の試掘調査について（回答）」により回答してきた。

その結果を踏まえ、岩手県教育委員会の調整を受けて平成20年5月30日付けで財団法人岩手県文化振興事業団との間で委託契約を締結し、発掘調査を実施したものである。

（岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室）

II 遺跡の立地と環境

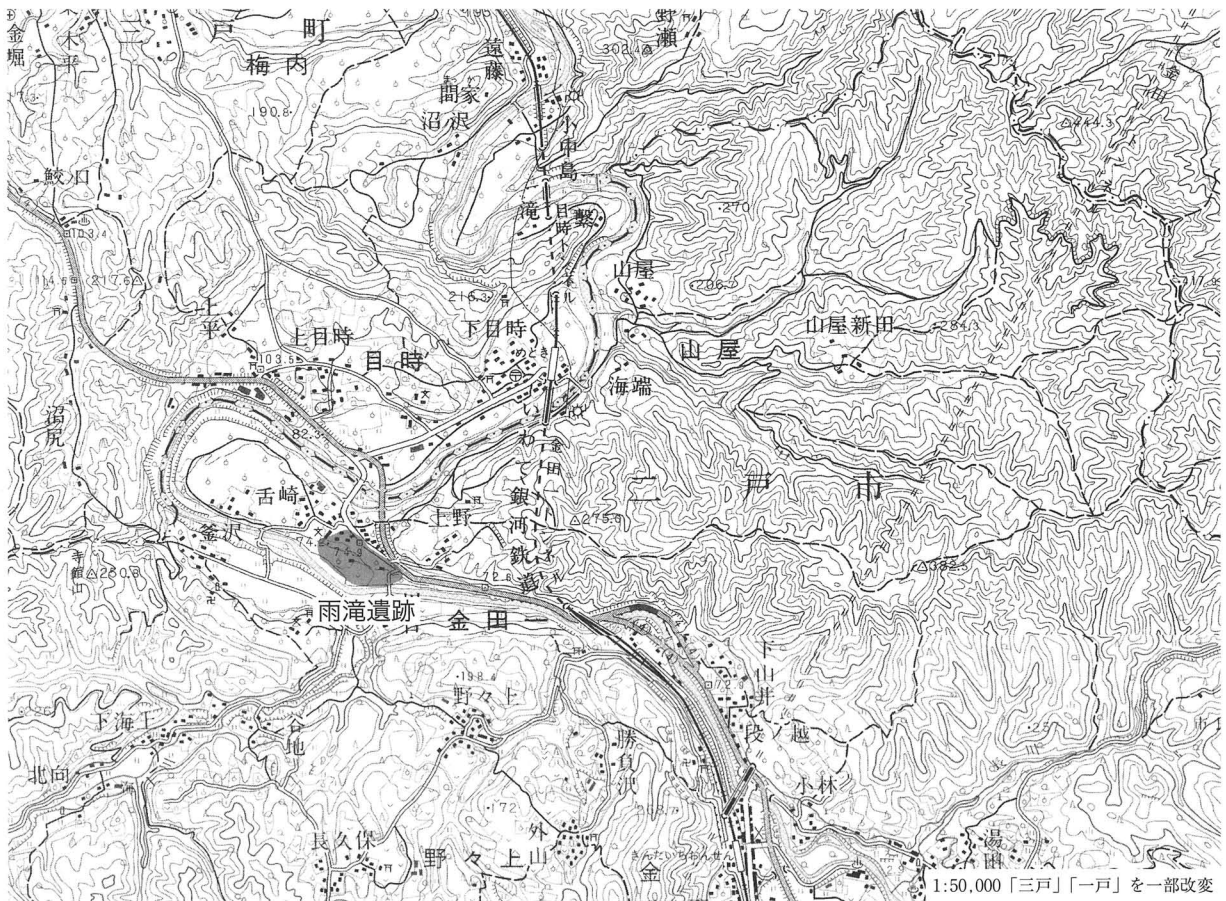
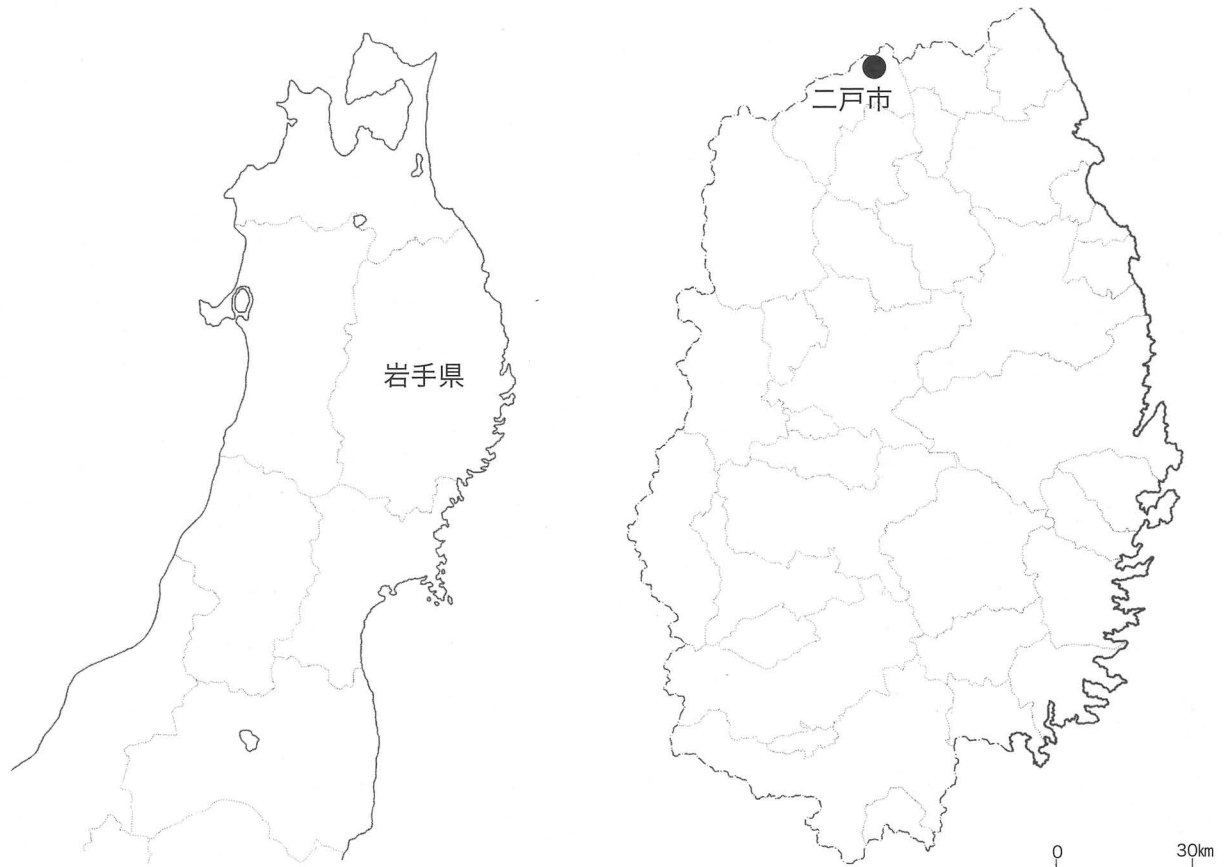
1 遺跡の位置（第1図）

雨滝遺跡は、IGRいわて銀河鉄道金田一温泉駅の北西約3.3km、岩手・青森県境付近に位置する。国土地理院発行の5万分の1地形図「三戸」および2万5千分の1地形図「三戸」の図幅中に含まれ、緯度・経度上の位置は、北緯40度20分26秒、東経141度16分28秒付近である。

遺跡の所在する二戸市は、岩手県内における区分でいうところの内陸北部に位置し、西は八幡平市、南は一戸町、東は九戸村・軽米町、北は青森県三戸町・南部町・田子町と接する。平成18年の統計によれば、年間の最高気温は34.9℃、最低気温は氷点下16.2℃と気温差が激しく、平均気温は9.8℃で本県内でもかなり冷涼な地域である。年間降水量は1.075mmと県平均より少なく、低温低雨の地域といえる。

2 地理・地形的環境

二戸市は西を奥羽山脈、東を北上山地に挟まれた盆地で、北上山地北部の葛巻町多々良山を水源と



第1図 遺跡の位置

し青森県八戸市で太平洋に注ぐ馬淵川が市域を縦断する形で北流する。当地域最大の河川であるこの馬淵川によって、市南部の石切所地区から北部の金田一地区にかけて、数段の段丘と狭い沖積平野が形成されている。この段丘群は、高位から仁左平段丘、福岡段丘、長嶺段丘、米沢段丘、堀野段丘、中曽根段丘と呼称・区分されている。さらに、米沢段丘は馬淵川東岸の中町段丘と西岸の堀野段丘に区分される（松山 1981）。

青森県南部地域から岩手県北部地域にかけては、十和田火山を給源とするテフラが複数種堆積しており、これが地形形成に大きく関わっている。現在の十和田カルデラを形成したとされる約 32,000 年前の噴火（十和田大不動テフラ）と約 12,700 年前の噴火（十和田八戸テフラ、以降「To-H」と呼称）は大規模な火砕流を伴う噴火であり、低位部を覆って火砕流台地が形成されている。完新世以降としては十和田南部テフラ（以降「To-Nb」と呼称）、十和田中楯テフラ（以降「To-Cu」と呼称）、十和田 b テフラ（以降「To-b」と呼称）、十和田 a テフラ（以降「To-a」と呼称）などがあるが、岩手県北部地域におけるこれらはいずれも降下テフラである。仁左平段丘は、チャート・頁岩からなる礫層の上に高館テフラ以降の火山灰が堆積している。福岡段丘は To-H による火砕流台地である。米沢段丘は沖積段丘の古期面に相当し、To-Nb 以後のテフラが堆積している。低位の中曽根段丘は To-Nb を乗せない段丘であるとされ、To-Cu 以後のテフラが確認されている。

本遺跡は、馬淵川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で 70~74 m を測る。段丘区分では、福岡段丘から中曽根段丘にまたがる。馬淵川は本遺跡付近で舌状に大きく蛇行しており、北西から南東～北東へと流路を変える。地名「舌崎」の所以である。

なお、本遺跡は太平洋岸から直線距離で約 35km 離れた内陸部であるが、おそらく馬淵川に沿って飛来したのであろうウミネコが時折確認できる。距離だけでは推し量れない生物の営みと、それに影響されるであろう人類活動の関わりを考えると、非常に興味深い事象である。

3 これまでの発掘調査と位置（第 2 図）

明治 24 年頃、本遺跡付近で鉄道（東北本線）敷設工事が行われ、その際に大量の遺物が出土したという。現在、この資料の一部は舌崎公民館（旧舌崎小学校）に保管されている。

調査記録として最も古いものは、大正 15 年に岩手県史蹟名勝調査会委員であった小田島禄郎氏により発掘されたという記録である。発掘地点は不明であるが、大量の土器・石器が出土したとされ、その資料は小田島氏が所有していた。昭和 61 年、これら考古資料を一括して岩手県立博物館が購入および寄贈を受け、小田島コレクションとして保管している。この内容を見る限り、当時の発掘で出土した資料は縄文時代晩期が中心であったようである。この発掘の情報は、当時、東北帝国大学に在籍していた喜田貞吉氏にも届き、喜田氏は現地に赴いて出土遺物を箱詰めして大学へ送っている。この資料は、現在、東北大学が所蔵している。また、昭和 5 年、考古学研究のため渡仏していた中谷治宇二郎氏から小田島氏のもとへ出土品の写真を送って欲しいとの依頼があった。中谷氏に対し、フランスの出版社から日本先史美術に関する執筆依頼があったことによるものだという。翌年、今度は写真の資料をフランスの博物館が購入したいとっているので売却してほしいとの依頼が来る。中谷氏に説得され、小田島氏は縄文土器 7 点と土偶 2 点をフランスに送ったとされるが、先方には到着せず、行方不明となったらしい。

戦後、本遺跡は明治大学により 3 度にわたり学術的な発掘調査がなされた。1 回目は昭和 28 年 4 月 5~9 日、2 回目は昭和 33 年 10 月 30 日~11 月 8 日、3 回目は昭和 38 年 7 月 11 日~20 日に実施さ



第2図 周辺の地形と過去の調査地点

れている。調査地点は遺跡範囲の北西部で、今次調査区の東方約 150 m の位置にあたる。この一連の調査により、厚さ 2 m におよぶ遺物包含層が確認された。この包含層では、最下層から縄文時代後期後半の金剛寺式が、最上層では大洞 A 式が出土したとされ、主体となるのは晩期初頭から中葉の大洞 B・BC・C 1 式であったという。これは出土層位から下層の大洞 B・BC 式混在層と上層の大洞 C 1 式出土層に分けられ、当時の調査担当者である芹沢長介氏がその状況を鑑みてこれらを同時期の所産とし、「雨滝式土器」を設定・提唱したことはあまりにも有名である。この他では、「小円礫をもって半円形に下半部の欠失した土偶をかこみ、土器破片 2 個をもってこれを蔽った状態」（芹沢 1959）の特殊な遺構が発見されたとされ、遺物包含層より下層からは後期の配石遺構の一部もみつかったとされている。この 3 度の調査で出土した膨大な量の遺物は、明治大学が所蔵している。なお、その遺物総量については明らかにされていない。

平成 19 年、一般県道上斗米金田一線豊年橋工区緊急地方道路整備事業に伴い遺跡の一部が破壊されることとなり、事前の緊急発掘調査が当センターにより実施された。地点は、今次調査区の南東方約 200 m、豊年橋の北側にあたる。この調査では、晩期前半の小規模な遺物包含層、中世の竪穴建物、時期不明の焼土 1 基、ピット 87 個が検出されている。

本遺跡は、「雨滝式土器」の標識遺跡として、また一方でその賛否検討の大本として注目されてきた。この論議を抜きにしても、晩期前半の大遺跡であることは疑いなく、該期の拠点遺跡として重要といえる。

4 基本層序および攪乱の状況（第 3・4 図、写真図版 2～5）

今次調査区の現況は農道および宅地である。この農道はいつ敷かれたものか定かではないが、少なくとも近年に砂利敷設の改修がなされており、それ以前は側溝を伴う未舗装路であったようである。この路面直下から遺構が検出され、側溝埋土から遺物が大量に出土することから、前段階の敷設時点で遺跡上位がある程度破壊されたと考えられる。加えて、路線中央には水道管が埋設されており（第 8 図。平成に施工されたもの）、これに伴い幅 1 m 弱・深さ 1 m 強の掘削が行われたため、同部分の遺構・遺物はすべて破壊・攪乱されている。

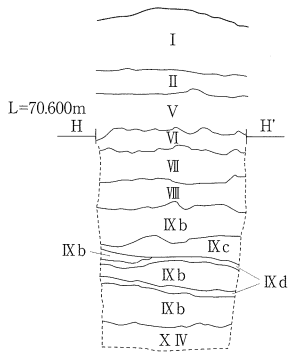
さて、この農道部分の形状は、長さ約 70 m×幅約 3～4 m と北東—南西に細長く、今次調査は斜面に直交するトレンチを開けているような状況を呈する。確認された基本層序は第 3 図のとおりである。地形調査の結果、現地形には表れていない小規模な段丘が 3 面確認され、それぞれで堆積様相が異なる（以降、この小段丘を上位から順に「上段」「中段」「下段」と呼称する）。この地形の相違が遺跡形成に影響していると考えられる。

上段は調査区北端の 12D～12E7～9 グリッド付近以北に位置する。旧地形に対し現地形の傾斜が緩く、北部ほど削平されている。傾斜があるためであろう、Ⅲ層（To-a）、Ⅶ層（To-Cu）が欠落している。X I 層（To-Nb 純層）および X II・X III 層（赤褐～明褐色パミス…十和田二ノ倉テフラ「To-Nk」と思われる…の混入層）が堆積しているのは上段のみである。なお、上段から中段にかけては遺物包含層が形成されている。

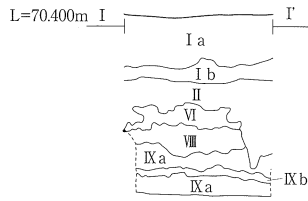
中段は 10I6～7 グリッド以北に位置する。北部は上段段丘縁から 12E21～23・12F1～3 グリッド付近を中心に大きく窪んでおり、おそらく東西方向に延びる旧流路が存在するものと思われる。この付近にはⅢ a 層（To-a）が成層している。今次調査区内でⅢ a 層が成層する地点はここだけである。これ以南は段丘縁まで概ね平坦である。平坦部分のⅧ層以下には水成堆積のⅨ層があり、X I 層の

4 基本層序および攪乱の状況

小段丘中段南側

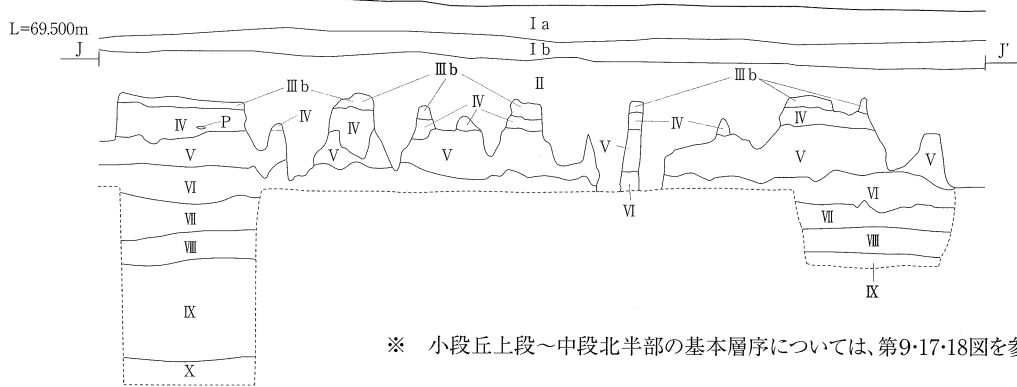


小段丘中段南側

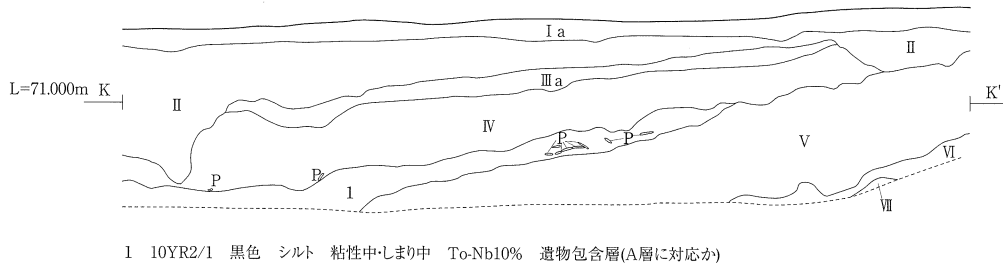


- I a 道路碎石層
- I b 10YR1.7/1 黒色シルト・10YR2/1 黒色シルト・10YR3/3 暗褐色シルトの混土 粘性中・しまり強 To-Cu10% 道路敷設時盛土
- II 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性中・しまり中 To-b7% To-Cu3%
- III a 10YR7/1 ~ 2 灰白~に黄褐色 アッシュ To-a層
- III b 2.5Y3/1 黒褐色シルト 粘性中・しまり中 To-a(粒・モヤ状) 20%
- IV 10YR1.7/1 黒色シルト 粘性中・しまり中 To-b20%
- V 10YR2/1 (上位)~2/2 (下位) 黒~黒褐色シルト 粘性中・しまり中 To-Cu7%
- VI 10YR3/1.5 黒褐色シルト 粘性弱・しまり中 To-Cu10~30%
- VII 2.5Y4/4~6/4 オリーブ褐~に黄褐色 パミス 粘性なし・しまり弱 To-Cu層
- VIII 7.5YR3/2 黒褐色シルト 粘性中・しまり中 To-Nb7%
- IX a 10YR4/3 に黄褐色 砂質シルト 粘性中・しまり中
- IX b 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 粘性中・しまり中
- IX c 10YR4/1.5 褐灰~灰黄褐色 粘土 粘性強・しまり強
- IX d 10YR3.5/1 黒褐~褐灰色 砂質シルト 粘性中・しまり中
- X 10YR4/2 灰黄褐色 砂 粘性なし・しまり弱
- X I 10YR6/6 明黄褐色 パミス 粘性なし・しまり弱 To-Nb層
- X II 10YR3/1 黒色 粘土 粘性強・しまり強 10YR4~5/6 赤褐~明赤褐色パミス (To-Nk?) 3%
- X III 10YR4/2 灰黄褐色 粘土 粘性強・しまり強 To-Nk? 5%
- X IV 10YR4/3 に黄褐色 粘土質シルト 粘性強・しまり強 To-Hパミス5%以下
- X V 10YR4/1 褐灰色 粘土質シルト 粘性強・しまり強 To-Hパミス7~10% (下位ほど多量)

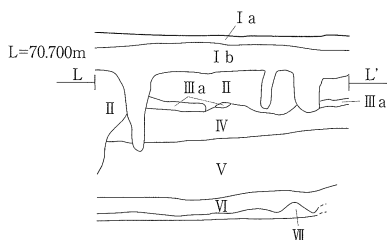
小段丘下段



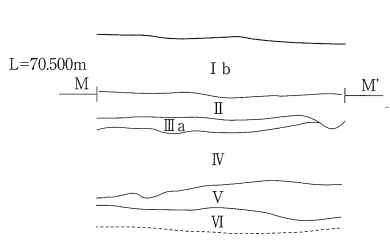
トレンチ 2



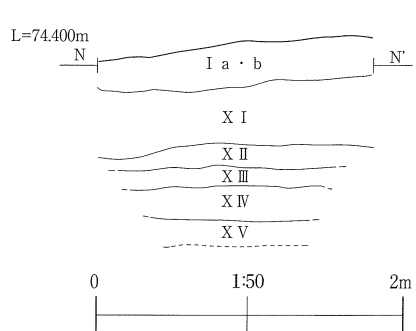
トレンチ 5



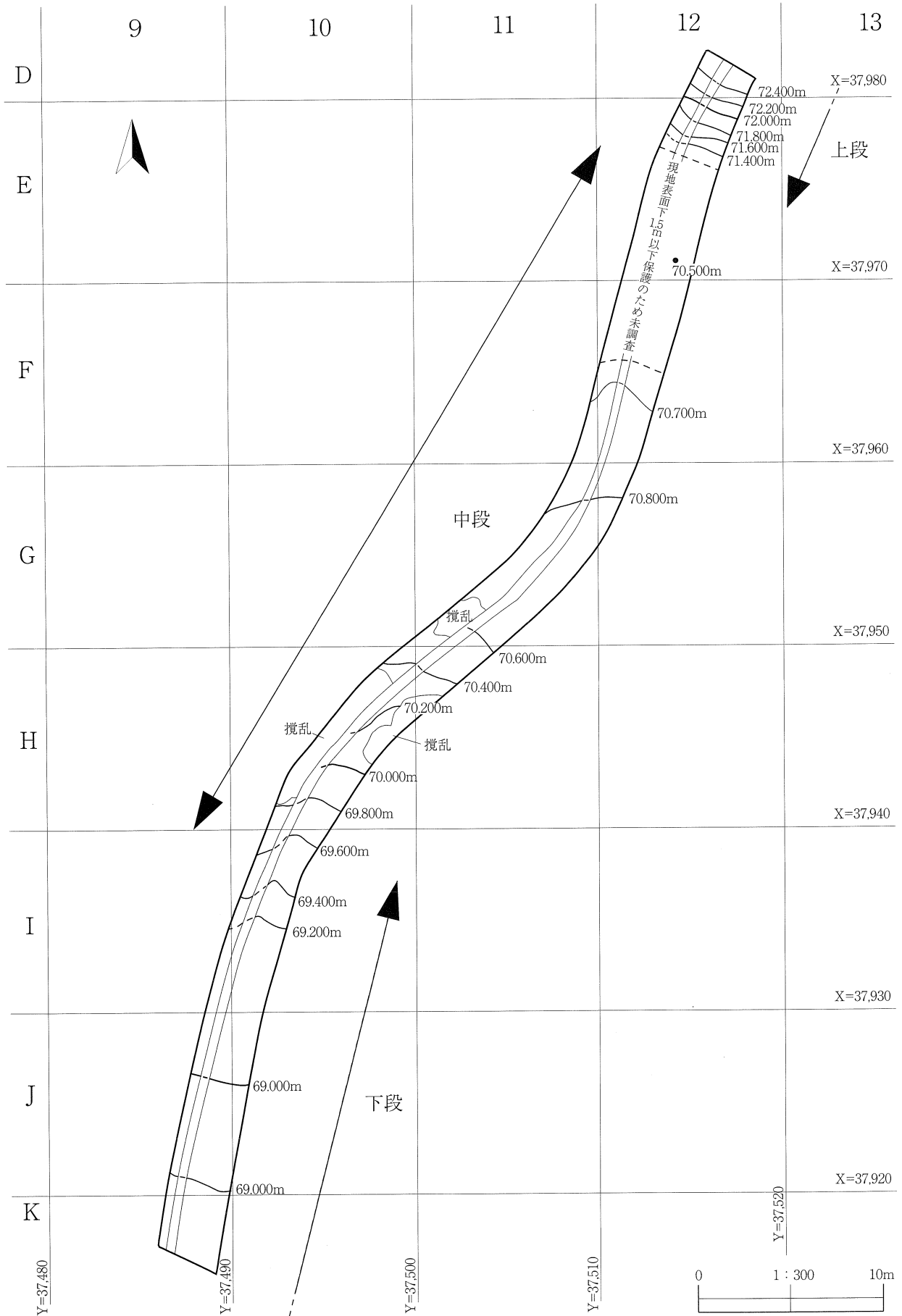
トレンチ 7



トレンチ 8



第3図 基本層序



第4図 調査区1の等高線と小段丘の位置

To-Nb 純層およびX II・X III層等の To-Nk ? 混入層は存在せず、水成層下では To-H が混入する X IV層が確認される。なお、本段丘北半部には大規模な遺物包含層が形成されている。

下段は調査区南部に位置する。各層とも概ね平坦に堆積している。中段と同様にVIII層下は水成堆積のIX層となり、その下は砂層(X層)が堆積している。同じくX I～X III層は欠落するものと推定されるが、X IV層が欠落するかどうかは不明である。

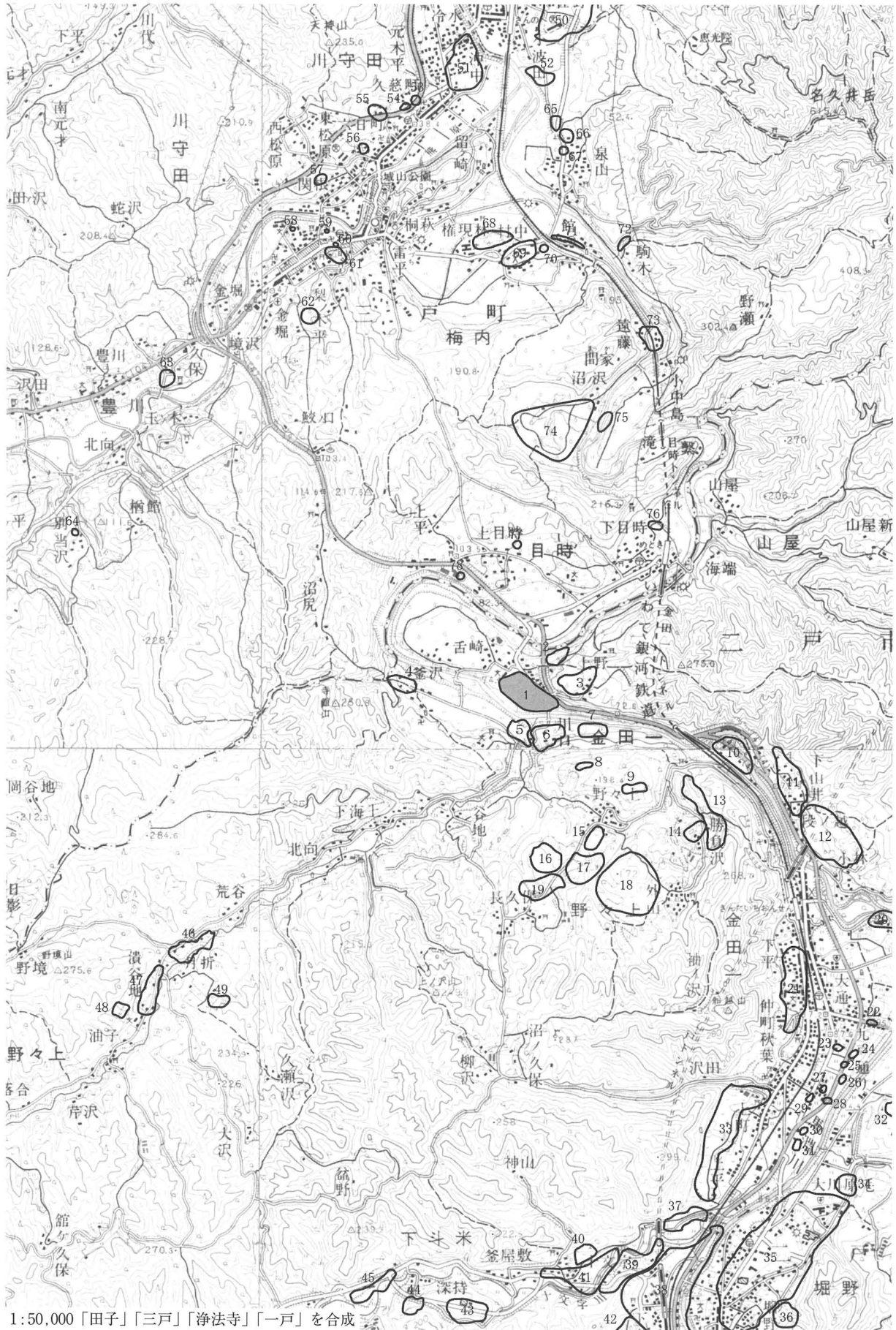
5 周辺の遺跡 (第5図、第1表)

平成18年の時点で、岩手県遺跡台帳に登録されている二戸市内の遺跡数は603箇所を数える。このうち、本遺跡近隣の縄文時代遺跡を抽出し、第5図および第1表に掲載した。なお、本遺跡は岩手・青森県境に位置しているため、青森県域の近隣遺跡についても同様に抽出した。

これらの中で、縄文時代晩期に関わる遺跡は、二戸市雨滝遺跡(報告遺跡・1)、山道遺跡(2)、石造遺跡(3)、仏畑遺跡(17)、八ッ長II遺跡(24)、上田面II遺跡(31)、上町遺跡(33)、米沢遺跡(38)、荒谷遺跡(46)、青森県三戸町沖中遺跡(51)、関根遺跡(57)、上川原遺跡(58)、熊ノ林遺跡(59)、八日町遺跡(60)である。このうち、八ッ長II、上田面II、上町、米沢、荒谷の各遺跡については、発掘調査が行われ、当該期の遺物が出土している。土器型式でいえば、八ッ長IIでは大洞BC式・A式、上田面IIでは大洞B式・C2式、上町では大洞C2式、米沢では大洞C1・C2・A'式、荒谷では大洞C1式である。なお、遺構はいずれの遺跡からも検出されていない。

二戸市域において当該期の集落もしくは遺物包含層(ここではいわゆる「捨て場」を指す)の検出された遺跡は、長瀬D遺跡、沢内遺跡、中曽根遺跡、足沢遺跡、上杉沢遺跡、飛鳥台地I遺跡、海上II遺跡、五庵I遺跡、五庵III遺跡である。うち、上杉沢遺跡では、晩期中葉～末葉までの住居跡が検出されており、当該地域における拠点集落と考えられる。飛鳥台地I遺跡では、前葉の住居跡5棟が確認されている。これ以外の遺跡については、いずれも住居跡数棟の検出に止まる。

さらに範囲を隣接市町村まで広げてみると、大規模な遺跡が散見される。すなわち、軽米町大日向II遺跡、駒板遺跡、一戸町蒔前遺跡(越田橋遺跡)、山井遺跡、八幡平市(旧安代町)曲田I遺跡である。蒔前遺跡は、いわゆる「鼻曲がり土面」が出土したことで著名である。山井遺跡は大洞B～C2式期の大規模な捨て場が確認された遺跡である。曲田I遺跡は、晩期初頭～中葉にかけての住居跡が30棟以上確認されており、当該期を代表する一大集落である。このうちの1棟、E III-011住居跡の埋土中から大洞B式およびBC式土器が多量に混在した状態で出土し、この現象が本来的な同時併存によるものか、別時期の混在かで議論となった。「雨滝式」土器型式問題の再燃である。今日までに多くの研究者により分析がなされたが、その見解は分かれている。また、大洞BC式をBC1とBC2式に細分する立場を探る研究者間でも、B2・BC1・BC2の細分案は各者各様である(金子1991a・1992a・1992b・1993a、林1993・1996、鈴木1993、須藤1996、小林2003・2004・2005など)。



第5図 周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡一覧表

No	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物
1	雨滝	集落跡	縄文・古代・中世	縄文土器（後～晩期）、土師器
2	山道	祭祀遺跡	縄文	縄文土器（晩期）
3	石造	祭祀跡・散布地	縄文	縄文土器（晩期）
4	道の下 A	散布地	縄文	縄文土器
5	道の下 B	散布地	縄文	縄文土器
6	川口 I	散布地	縄文	縄文土器、弥生土器、石器
7	川口 II	散布地	縄文	縄文土器
8	野々上 I	散布地	縄文	縄文土器
9	野々上 II	散布地	縄文	縄文土器
10	小野	散布地	縄文	縄文土器（中期）
11	下山井	散布地	縄文	縄文土器
12	段ノ越	散布地	縄文	縄文土器
13	勝負沢 III	散布地	縄文	縄文土器
14	勝負沢 II	散布地	縄文	縄文土器
15	野々上 III	散布地	縄文	縄文土器
16	林向	散布地	縄文	縄文土器
17	仏畑	散布地	縄文	縄文土器（晩期）
18	上ノ沢 II	散布地	縄文	縄文土器
19	上ノ沢 I	散布地	縄文	縄文土器
20	大釜	散布地	縄文	縄文土器（中期）
21	秋葉	散布地	縄文	縄文土器
22	沖	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
23	八ツ長 I	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
24	八ツ長 II	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
25	八ツ長 III	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
26	八ツ長 IV	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
27	荒田 I	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
28	荒田 II	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
29	荒田 III	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
30	荒田 IV	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
31	上田面 II	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
32	戸花	散布地	縄文	縄文土器
33	上町	散布地	縄文・近世	縄文土器、弓場跡
34	大河原毛	散布地	縄文	縄文土器
35	堀野遺跡群	集落跡・祭祀跡・古墳	縄文・古墳・古代	古墳、蕨手刀、竪穴住居、配石、土師器、縄文土器
36	堀野館	城館跡・散布地	中世・縄文	空堀、平場、土師器、縄文土器
37	海老田	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
38	米沢遺跡群	集落跡・城館跡	縄文・古代・中世	竪穴住居跡、工房跡、土墳群
39	細越	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
40	十文字	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
41	釜屋敷	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
42	佐々木館	散布地・城館跡	縄文・古代・中世	縄文土器、土師器、堀
43	上野平	集落跡・散布地	縄文・奈良・平安	縄文土器、土師器
44	上野平	散布地	縄文	縄文土器片数点
45	米田平	散布地	縄文	縄文土器
46	荒谷	散布地・城館跡	縄文・中世	縄文土器、堀切
47	濱谷地 I	散布地	縄文	縄文土器
48	濱谷地 II	散布地	縄文	縄文土器
49	月折	散布地	縄文・弥生	縄文土器、弥生土器
50	佐野平	集落跡・城館跡	縄文（後）・平安・中世	
51	沖中	散布地・集落跡	縄文（後・晩）・奈良・中世・近世	
52	畑井野	散布地	縄文	
53	赤坂	散布地	縄文（早）	
54	館	集落跡	縄文（早）	
55	東張渡	散布地	縄文（前・中）	
56	寺ノ沢	散布地	縄文（早）	
57	関根	散布地	縄文（後・晩）	
58	上川原	散布地	縄文（晩）	
59	熊ノ林	散布地	縄文（晩）	
60	八日町	散布地	縄文（晩）	
61	諏訪内	散布地・城館跡	縄文（中・晩）・中世	
62	梅内中平	散布地	縄文（晩）	
63	久保	散布地	縄文（中）	
64	别当沢	散布地	縄文（前）	
65	泉山	散布地・集落跡	縄文（早・前・中・後・晩）・平安	
66	中野	散布地	縄文（晩）	
67	中野（2）	集落跡・墓域	縄文（前・中・晩）・奈良	
68	松原（1）	散布地	縄文（前・晩）	
69	村中（2）	散布地	縄文（中・後）	
70	村中（1）	散布地	縄文（前）	
71	梅内館	散布地	縄文（前）	
72	駒木	散布地	縄文（後）	
73	遠藤	散布地	縄文（前・中）	
74	沼ノ沢	散布地	縄文（前・中・後）	
75	湯出川原	散布地	縄文（後）・平安	
76	下目時	散布地	縄文（後）・平安	
77	目時中平	散布地	縄文（前・中）	
78	目時中野	散布地	縄文（晩）	

Ⅲ 調査と整理の方法

1 野外調査

今次調査区（調査区1）はりんご畑に面した未舗装路で、このほ場に入るための経路となっている。よって、全域を常時通行止とすることが不可能であり、以下の3区間に分けて調査している。

1区間目…調査区南端から10I6・7グリッド

2区間目…10I6・7グリッドから11F25・12G1グリッド

3区間目…11F25・12G1グリッドから調査区北端

なお、今次調査の調査対象面積は当初300㎡であったが、事業計画パイプラインの設置が必要な箇所が新たに発生し、98㎡の追加となり、最終的な調査面積は398㎡となった。便宜的に、当初調査区を「調査区1」、追加調査区を「調査区2」と呼称した（第6図）。

(1) 調査経過

7月1日 資材搬入、現場設営。

7月2日 調査区1・1区間目調査開始。重機による道路構築土除去。試掘。

7月3日 遺構検出、精査開始。

7月4日 基準杭打設。

7月10日 1区間目調査終了。重機による埋め戻し（～11日）。

追加調査区確認のための現地協議（岩手県教育委員会生涯学習文化課斎藤主任主査）。

7月11日 2区間目調査開始。重機による道路構築土除去。試掘。大規模な遺物包含層を確認。

7月15日 遺構検出・精査開始。

7月29日 追加調査区（調査区2）の範囲決定に関わる現地協議。

8月4日 2区間目南半部調査終了。3区間目調査開始。重機による埋め戻しと道路構築土除去（～5日）。

8月5日 遺構検出・精査開始。

8月19日 3区間目の一部および調査区2の調査深度に関わる現地協議。これにより、農道整備予定部分（調査区1）の調査深度は現地表面下1.5mまで、パイプライン設置予定部分（調査区2）は1.2mまでと決定される。

8月20日 近隣住民に対する現地説明会開催（13:30～15:30）。参加者25名。

8月25日 調査区2試掘（～9月3日）。

9月5日 岩手県二戸地方振興局職員他22名現場見学のため来跡。

9月9日 航空写真撮影実施。

9月10日 3区間目の遺物包含層保存箇所に対する人力および重機による埋め戻し（1回目）。厚さ40cmの砂層で保護。

9月17日 調査区2の調査開始。重機による表土除去（～18日）。

9月18日 遺構検出・精査開始。

9月26日 終了確認。

9月29日 3区間目の遺物包含層保存箇所に対する人力および重機による埋め戻し（2回目）およ

1 野外調査

び残り全域の重機による埋め戻し（～30日）。

9月30日 調査終了。撤収。

(2) グリッド設定（第6図）

グリッド設定の軸には世界測地系の座標を用い、このメッシュに沿うよう設定した。起点は北西方向である。大グリッドの規模は10m角とし、北から南へ向かってA～Kのアルファベット大文字を、西から東に向かって1～13のアラビア数字を付した。各大グリッド内をさらに2m角で25分割し、北西隅から東へ1～5のアラビア数字を、次に1列南へ下がって6～10の数字を付すという方法で小グリッドを設定した。小グリッドの呼称方法は、大・小グリッドの組み合わせにより「IA1」、「12F25」のようになる。報文中のグリッド呼称は基本的に小グリッド名を用いている。

なお、現場に打設し基点として用いた杭の名称、グリッド、座標値、標高値は次のとおりである。

基準点1 (8K15) X=37,916.000、Y=37,478.000、H=69.872 m

基準点2 (12F16) X=37,964.000、Y=37,510.000、H=72.240 m

補助点1 (8K10) X=37,918.000、Y=37,478.000、H=70.042 m

補助点2 (10H10) X=37,948.000、Y=37,498.000、H=71.128 m

(3) 粗掘・遺構検出

調査区1は砂利敷の道路であり人力での試掘が極めて困難であるため、まずバックホーにより砂利および攪乱土の除去を行い、その後、遺構・遺物の検出層位と状態および旧地形とその堆積土層の確認と把握を目的として調査区東壁際に幅30cmのトレンチを設定し、試掘を行った。試掘作業に際しては、遺構・遺物検出箇所付近はその検出面まで、それ以外の部分は最終遺構検出面とされる褐色土～黄褐色土を目安に掘り下げ、層理面にて順次検出を行った。この結果から、全体の検出層位をⅢ層上面、Ⅳ層上面、Ⅴ層上面とし、包含層範囲については0～3b層及び0～A'層の各上面と決定した。

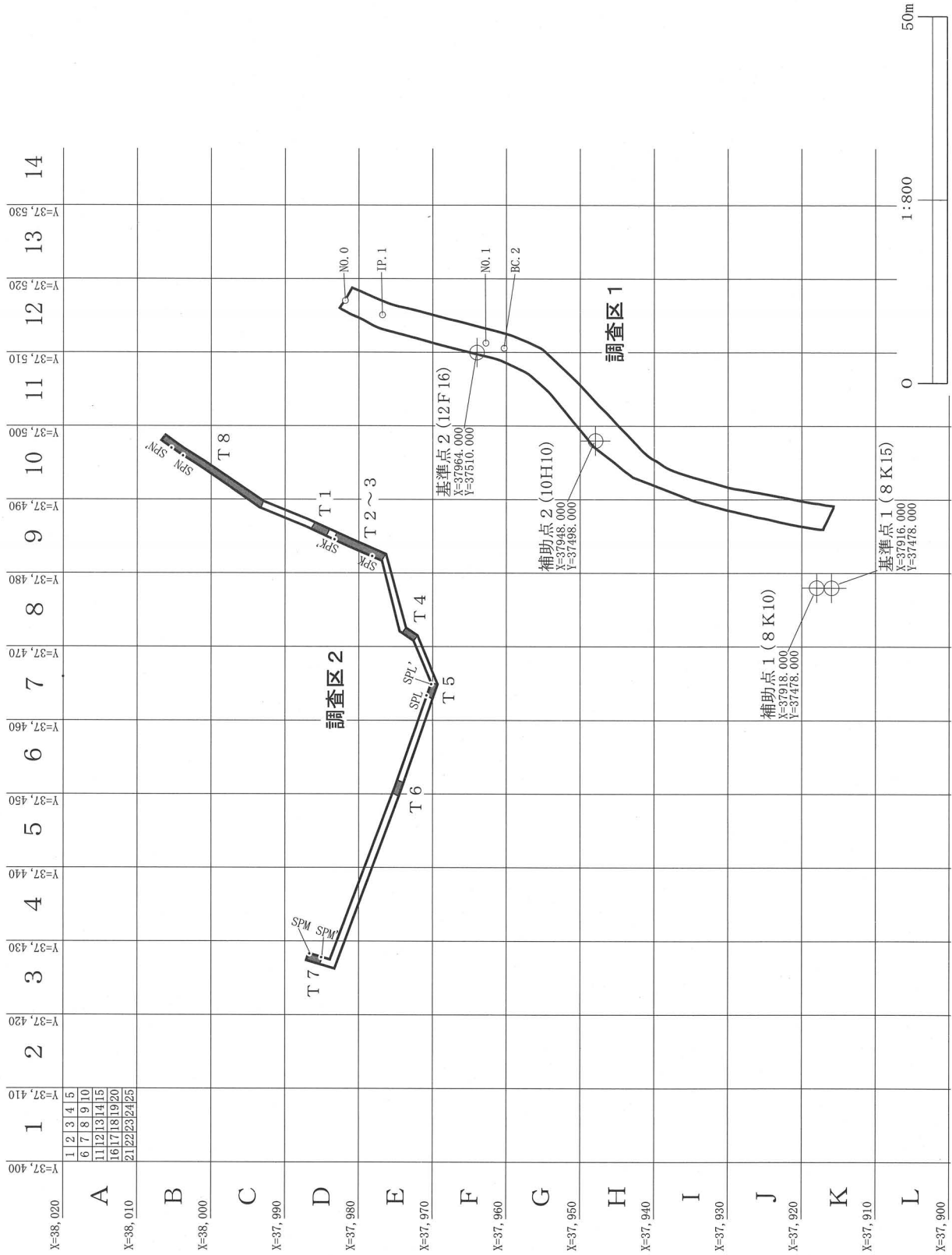
(4) 遺構の調査方法・遺物の取り上げ方

今次調査区の範囲は幅3～4mと細長く、かつそのほぼ中央に水道管が埋設された状態であったため、連続して掘削できた幅は1.5m程度である。調査環境としては良い状況とは決して言えないものの、この状況を逆に利用し、残さざるを得ない断面をすべて土層観察に利用し、特に遺物包含層精査に用いた。いっぽう、掘り込みを伴う遺構に関しては、堅穴住居のような大形遺構が検出されなかったこともあり、すべて二分法で行っている。いずれの精査においても、土層の堆積状態、遺物の出土状態、遺構の完掘状況を中心に写真撮影および実測を順次行った。

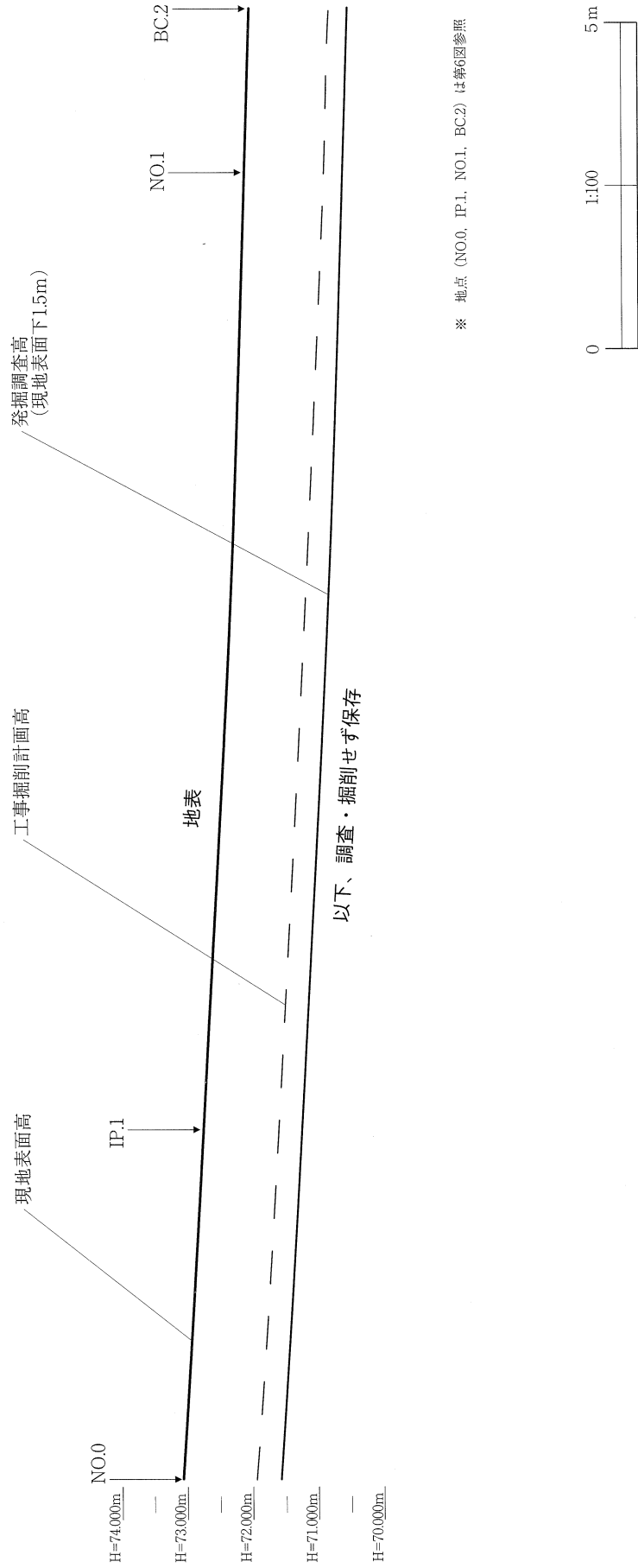
遺物の取り上げ方は、遺物包含層出土遺物に関しては完形品や土製品・石製品などの優品をトータルステーションで個別に点取りし、その他については小グリッドごとに出土層名を記して取り上げている。遺構内出土分については遺構名と出土層位名または相対的層位（上位、中位、下位、床・底面直上、床・底面）を記し、このうち床・底面直上以下出土分については個々に出土位置を記録した。

(5) 遺物包含層土壌のサンプリングと微細遺物の回収方法

1号遺物包含層の2b層、3a層、A層は、土壌内に炭化物粒や焼土粒が多く混入しており、この中に炭化した動物・植物遺存体が残存している可能性が想定された。このため、同層中でも特に炭化物粒・焼土粒の混入量が多い2地点（「2・3区間目ベルト」「3区間目ベルト」）の土壌をそれぞれ



第6図 グリッド配置と調査区の名称



第7図 工事掘削高と調査掘削高

120×50×50cm³・120×50×20cm³の範囲でコラムサンプリングし、ウォーターフローテーション・セパレーションを実施した。浮遊物、沈殿物の回収にはいずれも0.5mmの篩を用いている。採取地点は第8図に示したとおりである。なお、検出遺物については、V章5・6節、VI章1節を参照いただきたい。動物遺存体の鑑定・分析は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所の石丸恵利子氏に、植物遺存体の鑑定は、古代の森研究舎の吉川純子氏にそれぞれお願いした。

土壌水洗選別法の必要性が叫ばれて久しいが、本県においてはまだ「当たり前」というほど実施されていないのが現状である。しかし、今回も部分採取でありながら確実に重要な成果が出ている。時代を問わず、有効と判断される遺構については、一般的に実施していくことが望まれる。

(6) 写真撮影

写真撮影にあたっては、6×9判モノクロームのフィルムカメラ（FUJI GSW690 III）とデジタル一眼レフカメラ（Canon EOS 5D）を使用した。撮影にあたっては、撮影状況を記した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。その他、調査終了間際にセスナ機による航空写真撮影を実施している（平成20年9月9日）。

(7) 現地表面下1.5mを超える箇所についての対応（第7図）

12E7・8・14グリッド以南から12F11・12グリッド以北の区域は1号遺物包含層の範囲内にあたるが、土壌の堆積が厚かつ深く、トレンチ調査により現地表面下約2.1mまで同遺物包含層の堆積が確認された。本来、このすべてが調査対象であり、そのためには土留めを行った上での深度掘削、もしくは調査区の拡幅のいずれかが必要となるが、堆積土壌が脆弱であること、また調査区の拡幅も不可ということから、いずれの方法も不可能であった。しかし、本調査の原因である農道整備に伴う工事掘削深度が現地表面下1m以下に及ばないことから、調査は現地表面下1.5mまでに止め、以下は未調査のまま保護・保存されることとなった。なお、この保護範囲には、調査最下位面（現地表面下1.5m）から砂を40cm厚で敷設し、保護層とした。

2 室内整理

(1) 遺物整理の方法と掲載基準

遺物は、各種別に分類したのち出土地点ごとに重量計測を行い、接合作業を実施して掲載分と不掲載分に細分類し、前者については仮番号を付し登録を行った。登録にあたっては、種別ごとに異なる種類の番号を付している。その後、報告書掲載遺物が最終的に決定した段階で、新たに各種別共通となるアラビア数字の連番による掲載番号を付した。

なお、掲載遺物の選択に際しては、各遺物種別共通してまず第1に出土地点を優先し、I層あるいは攪乱出土遺物は基本的に除外した。遺構別および遺物種別毎の出土量については、IV・V章に記述している。各遺物種別の掲載基準は下記のとおりである。

本報告書では、出土遺物量の記載を遺物種により3種類の方法で行っている。基本は「g」あるいは「kg」単位での重量表記である。土器の計量は出土地点単位（採取した袋単位）ごとに実施し、全体量を把握するための重量台帳を作成した。掲載分として抽出したものについては仮番号を付して個々に計量を行い、登録台帳を作成している。土製品、石器、石製品は点数記載を主とし、これに重量記載を併記している。土製品、石製品については全点に仮番号を付して個々に計量し、登録台帳を

2 室内整理

作成した。石器は事前にツールと剥片および素材に分類し、ツールについては個々に仮番号を付して登録台帳作成と計量を行っている。剥片および素材については個々の計量はせず出土地点単位で計量し重量台帳を作成する段階までに留めた。

縄文土器

- a. 掲載遺物の選択基準……器形全体が判断できるもの、および全体の1/2以上が判断できるもの(口縁部～胴部もしくは胴部～底部にかけて「復元実測」が可能な個体)は全点掲載した。破片資料では、文様および形態変化が集中するため口縁部が残存するものを優先している。出土量の少ない時期のものはこの限りではない。
- b. 実測……文様の表現については客観性を重要視し、拓本を多用した。径の推定可能なもの(1/4以上残存)は復元実測を行った。

石器

- a. 掲載遺物の選択基準……最低限、各器種(細分類ごと)1点は掲載することとし、完形品を優先した。写真掲載のみとしたものも多数存在する。
- b. 実測……調整部位や打面・打点など、最低限必要と判断した部位のみ展開し、省力化に努めた。

土製品・石製品

- a. 掲載遺物の選択基準……細片で器種不明かつ出土地点不明のものを除き、当該遺物と判断できたものは全点掲載した。ただし、写真掲載のみとしたものもある。
- b. 実測……文様、調整の入り方により展開面数を決定した。

土師器

1点のみの出土であるため、掲載した。

鉄製品

近世～現代のものであるため、文章での記載に止めた。

(2) 写真撮影

遺物の写真撮影は、当センター写真室において、専属の写真撮影技師がデジタル一眼レフカメラ(Canon EOS1 Mark II)を用い実施した。

IV 検出遺構

今回の調査で検出された遺構は、竪穴住居状遺構1基、土坑5基、柱穴状土坑9個、溝2条、遺物包含層1箇所(111㎡)である。以下、遺構種別毎に記述する。

1 住居状遺構

1号竪穴住居状遺構

遺構 (第9図、写真図版6・7)

[位置・検出状況] 12E4グリッド付近に位置する。1号遺物包含層下、V層中位で検出された。北側に5号土坑が隣接する。

[重複] 本遺構埋没過程で1号遺物包含層が形成され始める。

[微地形] 小段丘上段縁にあたり、南側へ約16度で下る斜面である。

[規模・平面形] 開口部径2.41m、底面径2.21mを測る。東半が調査区外へ延びるため平面形の詳細は不明であるが、円形を呈するものと思われる。

[断面形・底面・深さ] 北側壁は垂直気味に立ち上がる。底面は南側へ約5度で下り、平坦である。深さは最深部で81cmである。

[埋土] 5層に分層される(8~12層)。いずれも黒~黒褐色シルト主体であるが、混入物が異なる。12層は壁の崩落土で、黒褐色シルトにTo-Cuを多量に含む。11~9層はTo-Cuに加えTo-Nbを少量含む。最上位の8層はTo-Nbの混入率が最も高く、且つ炭化物も混じる。この現象は、人為的な廃土行為に起因するものと推定される。

遺物 (第34図、写真図版28)

[土器] 465.0g出土し、底面および底面直上出土の2点・405.58gを掲載した(1・2)。

時期 出土土器から、縄文時代後期末葉と考えられる。

2 土坑

1号土坑

遺構 (第9図、写真図版7)

[位置・検出状況] 9K10グリッド付近に位置する。V層上面で検出された。東側約1/3が調査区外へはみ出す。北側にP3が隣接する。

[規模・平面形] 全体形は正確に確認できないが、楕円形を呈するものと考えられる。なお、遺構上位は耕作によるトレンチャーによって破壊されている。平面長軸は1.69mを測る。

[断面形・深さ] 断面形は逆台形を呈し、深さは最深部で90cmを測る。

[埋土] 9層に分層される(6~14層)。いずれも黒~黒褐色シルト主体で、To-Cuが混入する。下位ほどその混入量が多い。自然堆積と考えられる。

遺物

[土器] 埋土から148.3gが出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

時期 検出層位から、縄文時代の所産と推定される。

2号土坑

遺構 (第10図、写真図版7)

[位置・検出状況] 12G1 グリッド付近に位置する。I層道路攪乱層直下で検出された。遺構中央が水道管敷設時の攪乱により破壊されている。

[重複] 1号遺物包含層と重複し、これを切る。

[規模・平面形] 規模約1.5m程度の円形基調と考えられる。

[断面形・深さ] 底面が平坦で、壁は垂直に立ち上がり、断面形はビーカー形を呈する。深さは最深部で62cmを測る。

[埋土] 黒褐色土主体で、埋土上位の一部にTo-aテフラブロックが堆積する。人為堆積と推定される。

遺物 (第34・87・107図、写真図版28・81・103)

埋土中に遺物を多く含むが、本来的にはいずれも1号遺物包含層に含まれていたものが再堆積したものと考えられる。

[土器] 埋土から6,920.8g出土し、うち2点・15.7gを掲載した(3・4)。

[石器] 埋土から石筥1点、石核2点、磨製石斧1点、石核石器片1点、磨石1点、敲石2点、台石1点の計9点・4,333.0gが出土し、このうち石筥1点、石核2点、磨製石斧1点、磨石1点、敲石1点、台石1点の計7点・4,090.6gを掲載した(624~630)。

[石製品] 埋土から円盤状石製品1点・24.6gが出土した(957)。

時期 埋土中にTo-aの人為堆積が確認されたことから、平安時代中期以降と考えられる。

3号土坑

遺構 (第17図、写真図版7)

[位置・検出状況] 12G6 グリッド付近に位置する。1号遺物包含層精査用トレンチ掘削後、調査区東壁で確認した。II層上面以上から構築されている。東側約1/2が調査区外へはみ出す。

[規模・平面形] 規模は80cm以上である。平面形は不明である。

[断面形・深さ] 断面形はU字形を呈し、深さは最深部で70cmを測る。

[埋土] 黒色土と暗褐色土の混合土である。人為堆積と考えられる。

遺物 (第34・87図、写真図版28・81)

[土器] 埋土から1,098.6g出土し、うち1点・12.7gを掲載した(5)。

[石器] 埋土から二次加工ある剥片1点、敲石1点の計2点・144.9gが出土し、後者(631・137.1g)を掲載した。

時期 検出面から、平安時代以降と考えられる。

4号土坑

遺構 (第10図、写真図版8)

[位置・検出状況] 10I2 グリッド付近に位置する。V層上面で検出された。北西側約1/3が水道管攪乱より破壊され、西側の一部が調査区外へはみ出す。

[規模・平面形] 規模約2.4m程度の円形基調と考えられる。

[断面形・深さ] 底面は平坦で、断面形は逆台形を呈する。深さは最深部で47cmを測る。

[埋土] 5層に分層される。4・5層は壁付近に少量堆積するのみで、大半は黒褐~暗褐色の1~3層で占められる。2・3層には黄褐色土ブロックが多く混入しており、人為堆積と考えられる。

遺物 (第87図、写真図版81)

[土器] 埋土から3,481.4g出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

[石器] 1層から石核1点、敲石1点の計2点・970.4gが出土し、前者(632・4.6g)を掲載した。

[鉄製品] 1層からかんざし1点出土した。

時期 埋土中からかんざしが出土したことから、近世以降と考えられる。

5号土坑

遺構 (第10図、写真図版8)

[位置・検出状況] 12D24グリッドに位置する。V層中で検出された。I b層道路碎石層直下にあたり、遺構上位は道路敷設時に削平されたと考えられる。加えて、北東側が調査区外へはみ出す。南側に1号竪穴住居状遺構が隣接する。

[規模・平面形] 判然としないが、長軸1m程度の長楕円形を呈するものと考えられる。

[断面形・深さ] 断面形は不正な逆台形を呈し、深さは最深部で41cmを測る。

[埋土] 黒褐色シルトの単層である。人為堆積と考えられる。

遺物 (第34・81図、写真図版28・74)

[土器] 埋土から474.4g出土し、うち下位出土の1点・147.6gを掲載した(6)。

[土製品] 埋土から土器片円板1点・10.9gが出土し、掲載した(522)。

[動物遺存体] 底面付近から大形動物骨の一部が出土した。ウマもしくはウシと推定される。

時期 動物遺存体の残存状態から、近世以降に構築された家畜の土葬墓と考えられる。

3 柱穴状土坑

開口部の直径が50cm以下の土坑を柱穴状土坑として登録した。

遺構 (第9・11図、第2表、写真図版8・9)

[位置・検出状況] 調査区各地に散在している。いずれもV層上面で検出された。

[規模・平面形] いずれも円形基調であるが、P1、P2、P5、P6は南北方向に長い楕円形を呈する。傾斜の影響であろうか。長径の規模は、26~60cmである。

[断面形・深さ] いずれもU字形基調である。深さは21~59cmである。

[埋土] 黒色~黒褐色土を基調とする。人為堆積と判断されるものはない。

第2表 柱穴状土坑観察表

遺構名	グリッド	開口部径(cm)	深さ(cm)	土層注記
P1	10J1	51×32	31	10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-b7% To-Cu3%
P2	9K5	60×36	40	10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5%
P3	9K5	26×24	21	10YR2/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5%
P4	10J5	53×36	25	10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu3%
P5	9J20	65×44	30	10YR2/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5%
P6	10I11	47×36	34	10YR2/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5%
P7	10I1	32×28	22	10YR2/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu・To-Nb各2% V層起源
P8	12E9	(33)×(32)	59	10YR2/1.5 黒~黒褐色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu50% To-Nb1%
P9	12D23	48×46	56	1 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性中・しまり中 To-Nb5% To-Cu3% 炭化物粒2% 2 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Nb2% To-Cu1%

※ ()は推定値

遺物 (第87・107図、写真図版81・103)

[土器] P2埋土から143.3g、P9埋土中位から8.6g出土した。すべて地紋のみの細片である。

[石器] P2埋土から敲石1点・155.0gが出土した(633)。

5 遺物包含層

[石製品] P 5埋土から円盤状石製品1点・18.8gが出土した(958)。

時期 検出面から、いずれも縄文時代と考えられる。

4 溝

1号溝

遺構 (第12図、写真図版9)

[位置・検出状況] 12E～Fグリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出された。南西側は水道管敷設時の攪乱により破壊されている。東側に2号溝が隣接し並走する。

[微地形] 小段丘中段北部の窪地部分に立地する。

[規模・平面形] 北東—南西方向に直線的に延びる。本来は両方向にさらに延びていたものと推定される。検出長は12.4m、幅は1.15mである。

[断面形・深さ] 椀状を呈する。深さは最深部で53cmを測る。

[埋土] 黒色土主体で、下位層にはTo-aテフラがブロック状に混入する。自然堆積と考えられる。

遺物 (第87図、写真図版74・81)

[土器] 埋土から2,363.8g出土した。すべて地紋のみの胴部片である。

[土製品] 12E13グリッドの埋土中から中空の土偶片1点・3.9gが出土し、掲載した(523)。

[石器] 埋土から石鏃、石錐、石匙、石核、敲石、台石各1点の計6点・2,697.2gが出土し、前4者28.1gを掲載した(634～637)。

時期 Ⅲ層のTo-aテフラ層を切って構築されていることから、平安時代中期以降といえる。

2号溝

遺構 (第12図、写真図版9)

[位置・検出状況] 12F2～12グリッド付近に位置する。Ⅲ層上面で検出された。北西側が調査区外へ延びる。西側に1号溝が隣接し並走する。

[微地形] 小段丘中段北部の窪地部分に立地する。

[規模・平面形] 北東—南西方向に直線的に延びる。本来は両方向にさらに延びていたものと推定される。検出長は5.2m、幅は34cmである。

[断面形・深さ] 椀状を呈する。深さは最深部で9cmを測る。

[埋土] 黒色土主体の単層である。To-aテフラがブロック状に混入する。自然堆積と考えられる。

遺物

[土器] 埋土から33.5g出土した。すべて地紋のみの細片である。

時期 Ⅲ層のTo-aテフラ層を切って構築されていることから、平安時代中期以降といえる。

5 遺物包含層

1号遺物包含層

遺構 (第13～33図、写真図版10～26)

[位置・検出状況] 調査区北半の12D～11Gグリッド東半部に位置する。11Gグリッドにおいて、I層道路敷設土直下で検出された。12Eグリッド南半～12Fグリッド北半以外は、道路敷設時の攪乱・削平で上位が破壊され消失している。また、この路線中央に水道管が敷設されており、同部分は現地

表面下約1mまで破壊されている。

[微地形] 小段丘上段縁から中段中位に立地している。中段北部の12Eグリッド南半～12Fグリッド北半付近が深く窪んでおり、包含層の堆積層高が現地表面下1.5mより下位であるため、Ⅲ章1節に記述のとおりこの対象範囲については調査せず、保存扱いとしている。いっぽう、中段中位付近の遺物包含層形成前の自然地形は、ほぼ平坦である。

[規模・形態・調査面積・層厚] 南側以外、すべて調査区外へ続くため全体規模・平面形ともに不明である。今回調査した面積は111㎡である。V層上面から構築され始める。中段中位付近については、上述のように遺物包含層形成前の自然地形はほぼ平坦で、包含層形成により12Gグリッド北部付近をピークとした山状を呈するようになる。最大層厚は96cmである。

[堆積土] 大きく8層に分層される(遺物包含層0層・1層・2a層・2b層・3a層・3b層・A層・A'層)。1～3b層としたものは包含層範囲南半に、A～A'層は北半に堆積している。おそらく、本来的には3b層とA'層が同一層序であるものと推定されるが、途中で未調査区域を挟み確実な連続性を捉えていないため、別名を付し処理した。0層は南北両範囲に堆積している。よって、堆積の連続性を持つのは、0層(最上位)→1層→2a層→2b層→3a層→3b層(最下位)という関係と、0層(最上位)→A層→A'層(最下位)という関係の2者である。

全層に共通する特徴として、To-Nb テフラ(パミス)が破碎状態で混入する点が挙げられる。なお、本遺構の構築開始面である基本層序V層上位にはTo-Nbがほとんど混入しないことから、破碎状態であることも相まって人為的な再堆積土ということに疑いはない。

[各層の位置・堆積確認面積・堆積土の様相・層厚]

遺物包含層0層…上段縁X=37,977.5から中段X=37,961付近に堆積する。本来は南北へさらに伸びるが、道路敷設時に破壊されている。堆積確認面積は48㎡である。黒色土で、混入物が比較的少ない。最大層厚は20cmである。

遺物包含層1層…中段X=37,959付近に堆積する。道路敷設時の破壊が著しく、本来的な広がりほとんど不明である。堆積確認面積は1㎡程度である。黒～黒褐色土で、炭化物粒を少量含む。最大層厚は11cmである。この他、1層と2a層との区別が難しく、中間的な様相を呈する層があり、これを1層とも2a層とも区分し「1～2a層」として調査した。X=37,960からX=37,951.5付近に堆積し、その面積は20㎡である。黒～黒褐色土で、炭化物粒量が1層より若干少ない。最大層厚は26cmである。

遺物包含層2a・b層…中段X=37,966からX=37,951付近に堆積する。調査面積は46㎡である。いずれも黒色土と暗褐色土の混合土で、2b層のほうが暗褐色土の混入量が多い。両層のTo-Nb混入量は他層に比して多く、15～20%である。また、2b層は炭化物粒、焼土粒の混入量も多い。最大層厚は2a層が23cm、2b層が53cmである。

遺物包含層3a・b層…中段X=37,967からX=37,953.5付近に堆積する。調査面積は49㎡である。3a層は黒色土、3b層は黒～黒褐色土が主体である。3a層は炭化物粒、焼土粒の混入量が多い。なお、同層は黒褐色シルトの混入状態により上位と下位に細分している。最大層厚は3a層が51cm、3b層が19cmである。

遺物包含層A層…調査区北端のX=37,982.5からX=37,970付近に堆積するが、南端については未調査のためほとんど不明である。調査面積は13㎡である。黒褐色土で、混入物が比較的少ない。最大層厚は30cmである。

A'層…調査区北端のX=37,980付近に堆積する。調査面積は3㎡である。黒色土で、混入物が比

較的少ない。最大層厚は 30cm である。

遺物 (第 34~79・81~86・88~104・107~110 図、写真図版 28~71・74~80・82~100・103~108)
 [土器] 出土総重量は 923,582.2 g である。各層の出土重量は、0 層が 29,370.9 g、1 層および 1~2 a 層が 53,435.8 g、2 a 層が 115,969.3 g、2 b 層が 262,214.1 g、3 a 層が 324,625.0 g、3 b 層が 78,885.5 g、A 層が 52,652.7 g、A' 層が 6,428.9 g である。このうち、0 層 8 点・1,108.1 g、1 層および 1~2 a 層 16 点・1,614.9 g、2 a 層 51 点・6,668.2 g、2 b 層 140 点・20,324.6 g、3 a 層 128 点・18,709.5 g、3 b 層 80 点・17,366.4 g、A 層 54 点・11,309.8 g、A' 層 9 点・5,836.9 g の計 486 点・82,938.4 g を掲載した (7~492)。

なお、包含層最下位の 3 b 層にて埋設の可能性のある個体 3 点を確認した。12F11 グリッドの 70、12F11・12F12 グリッド境界付近に位置する 131 と 132 である。いずれも破損率が低く、正立状態で検出された。3 点とも周辺土層を立ち割り埋設痕跡の精査を行ったが、いずれについてもその痕跡は確認されなかった (第 33 図)。しかしながら、非人為でこの状態を保っていたとは考えにくく、埋設の可能性が高いものと判断される。

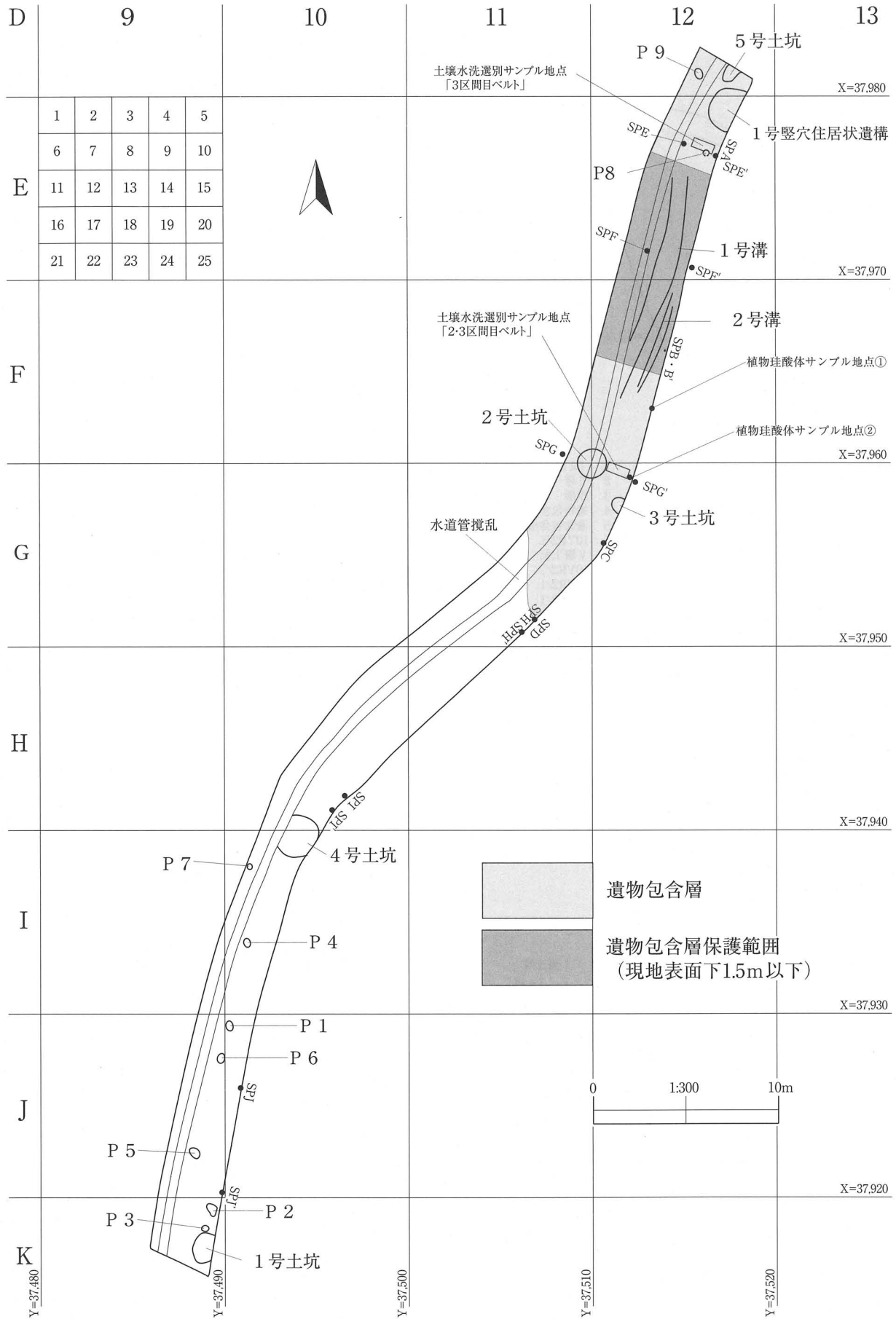
[土製品] 出土総数・重量は 92 点・2,377.2 g である。各層の出土点数・重量は、0 層が 2 点・18.3 g、1~2 a 層が 2 点・8.7 g、2 a 層が 12 点・106.7 g、2 b 層が 38 点・773.8 g、3 a 層が 30 点・1,051.3 g、3 b 層が 5 点・49.2 g、A 層が 3 点・369.2 g である。このうち、0 層・1~2 a 層・3 a 層・3 b 層・A 層の全点および 2 a 層 9 点・87.1 g、2 b 層 33 点・719.2 g の計 81 点・2,303.0 g を掲載した (524~607)。

[石器] 出土総数・重量は 924 点・183,417.8 g である。各層の出土点数・重量は、0 層が 60 点・4,646.6 g、1 層および 1~2 a 層が 41 点・5,674.1 g、2 a 層が 91 点・9,754.9 g、2 b 層が 234 点・36,577.2 g、3 a 層が 303 点・72,348.6 g、3 b 層が 105 点・31,183.3 g、A 層が 83 点・21,214.1 g、A' 層が 7 点・2,019.0 g である。このうち、0 層 11 点・515.4 g、1 層および 1~2 a 層 8 点・1,025.2 g、2 a 層 19 点・2,284.0 g、2 b 層 68 点・13,065.8 g、3 a 層 105 点・28,372.3 g、3 b 層 44 点・18,806.7 g、A 層 30 点・13,639.1 g、A' 層 4 点・1,562.8 g の計 289 点・79,271.3 g を掲載した (638~926)。

[石製品] 出土総数・重量は 73 点・5,747.0 g である。各層の出土重量は、0 層が 1 点・0.6 g、1~2 a 層が 1 点・11.1 g、2 a 層が 7 点・182.7 g、2 b 層が 21 点・789.2 g、3 a 層が 29 点・1,796.7 g、3 b 層が 8 点・331.2 g、A 層が 6 点・2,635.5 g である。このうち、0 層・1~2 a 層・A 層の全点および 2 a 層 6 点・157.8 g、2 b 層 19 点・700.5 g、3 a 層 27 点・1,751.2 g、3 b 層 7 点・302.8 g の計 67 点・5,559.5 g を掲載した (959~1025)。

[動・植物遺存体] いずれも大半は 2・3 区間目ベルトの 2 b・3 a 層土壌および 3 区間目ベルトの A 層土壌をコラムサンプリングし、土壌水洗選別法により抽出されたものである。包含層土壌全量に対し実施したものではないため、今回の検出量が本来的な埋蔵量を示すものではないことをお断りしておく。動物遺存体の検出量は乾燥重量で 43.4 g を測り、3 綱 7 科 8 種類の動物種が確認された (VI 章 1 節参照)。植物遺存体の検出量は乾燥重量で 392.5 g を測り、9 種の炭化種子等が確認された (V 章 6 節参照)。

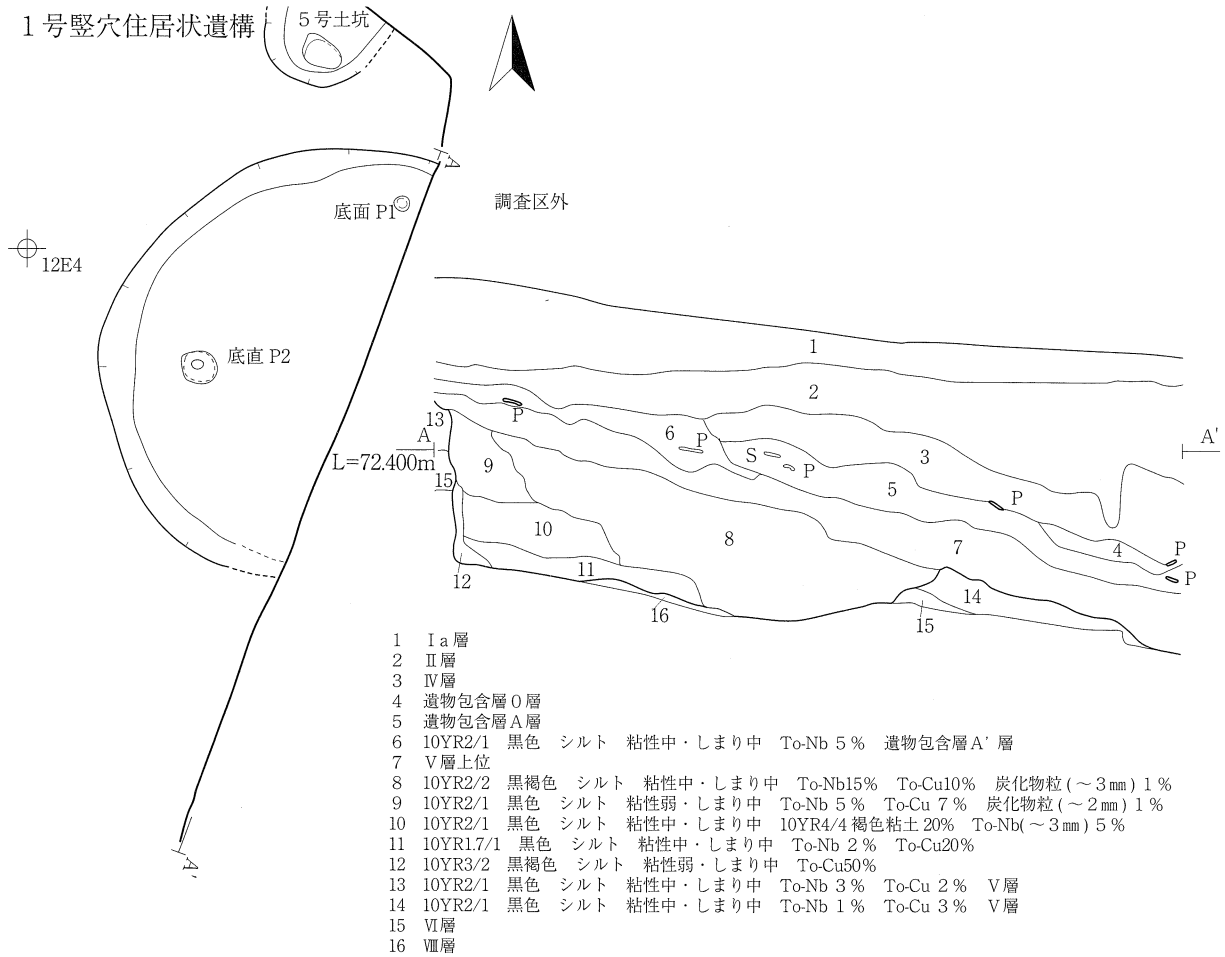
時期 大洞 B 2 式期から C 2 式期初頭までの間に形成されたものといえる。なお、各層形成時期の検討は、VII 章 2 節で行う。



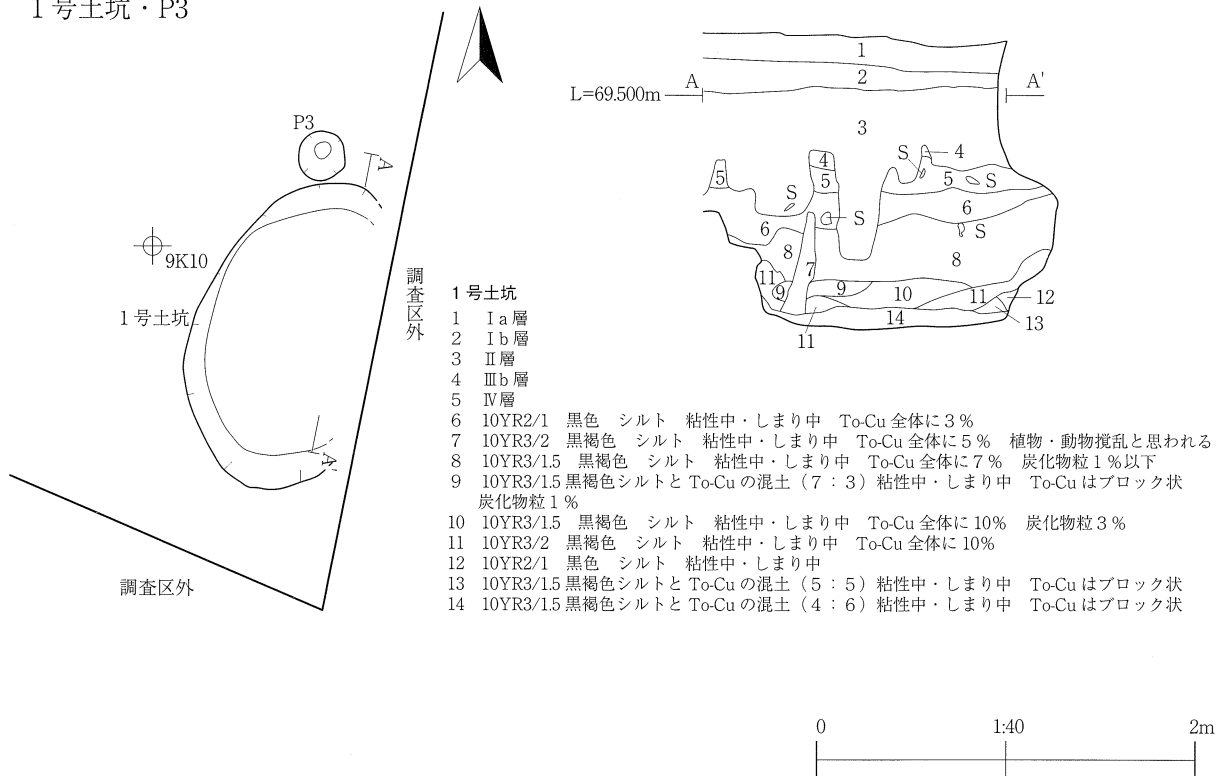
第8図 遺構配置図

5 遺物包含層

1号竖穴住居状遺構

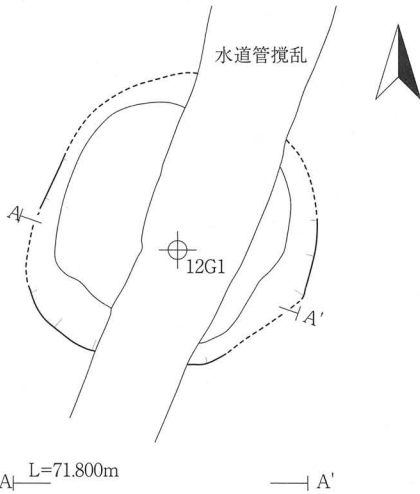


1号土坑・P3



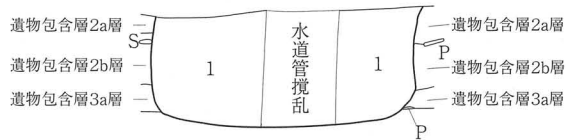
第9図 1号竖穴住居状遺構、1号土坑、P3

2号土坑

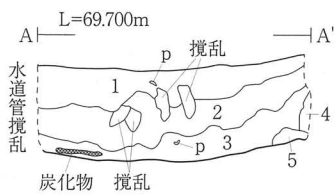
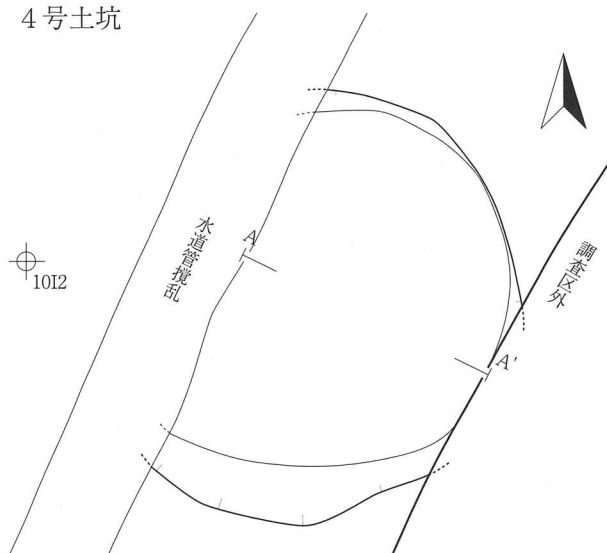


2号土坑

- 1 10YR2/1 黒色 シルト 粘性弱・しまり中
To-b・To-Cu・To-Nb各5% 上位一部にTo-a
がブロック状に混入

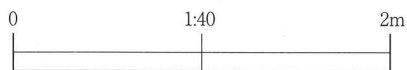


4号土坑

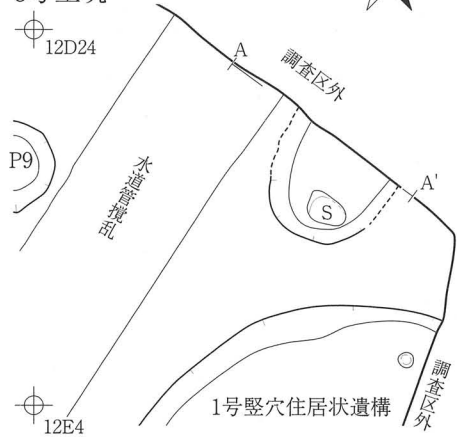


4号土坑

- 1 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性中・しまり中 黒色シルト15% To-Nb・To-Cu各3%
炭化物粒1%
2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性中・しまり中 褐色砂質シルトブロック7%
3 10YR2/1~2/2 黒~黒褐色 砂質シルト 黄褐色砂質シルトブロック15%
下位に炭化物粒5%
4 10YR4/6 褐色 砂質シルト 粘性中・しまり中 黒色砂質シルトブロック10%
5 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性中・しまり中



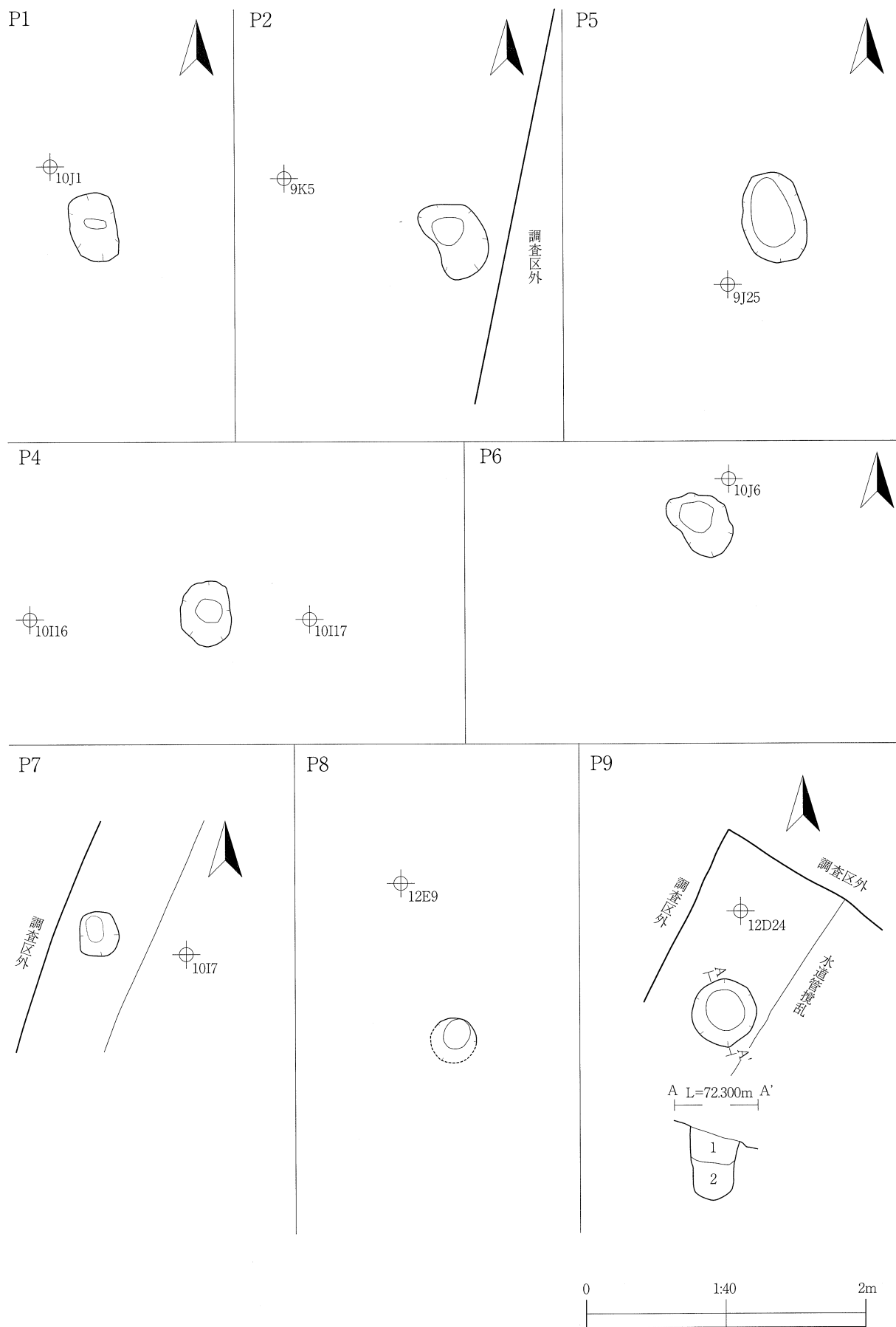
5号土坑



5号土坑

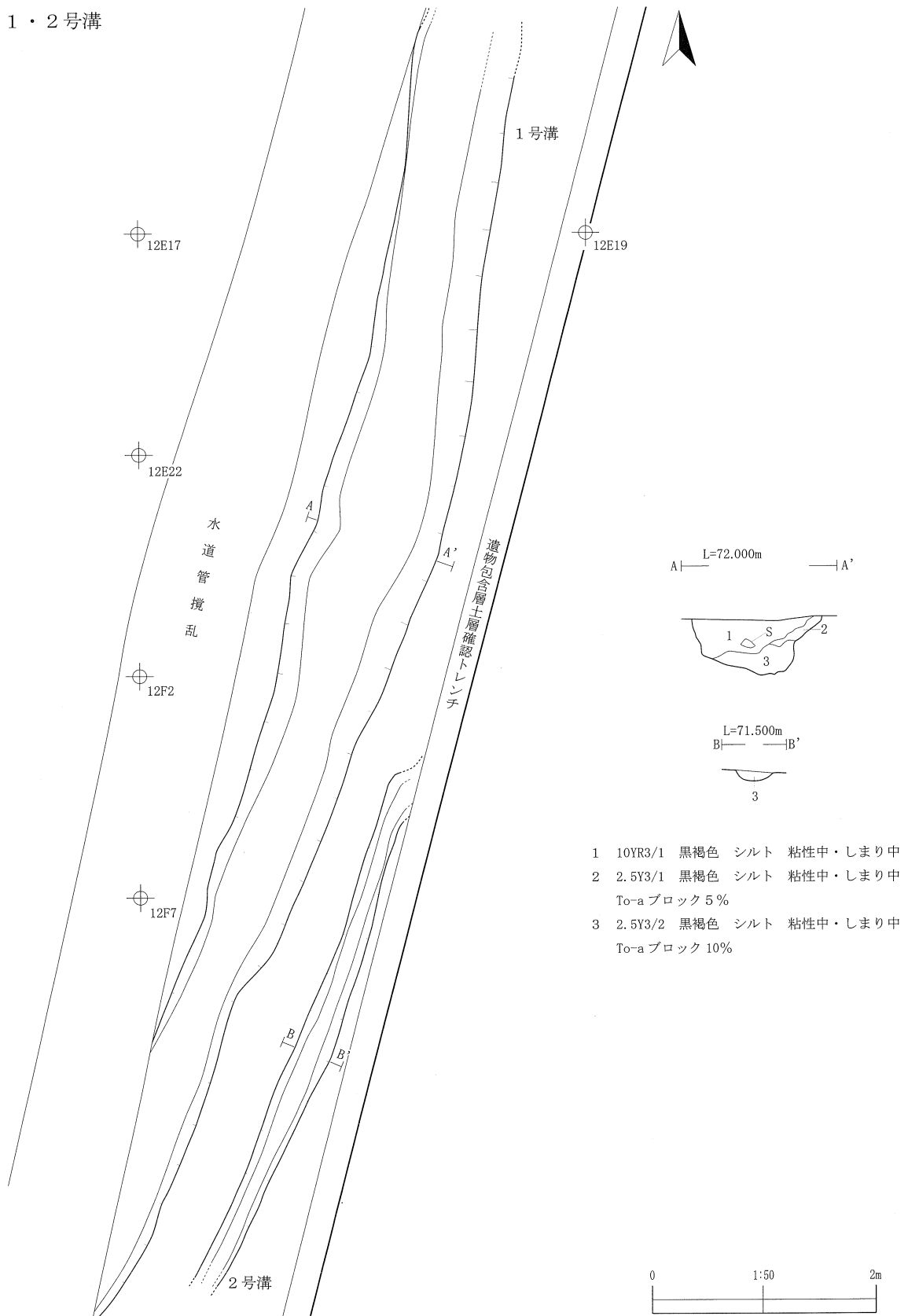
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性中・しまり中
To-Nb 5% 炭化物粒1%

第10図 2~5号土坑

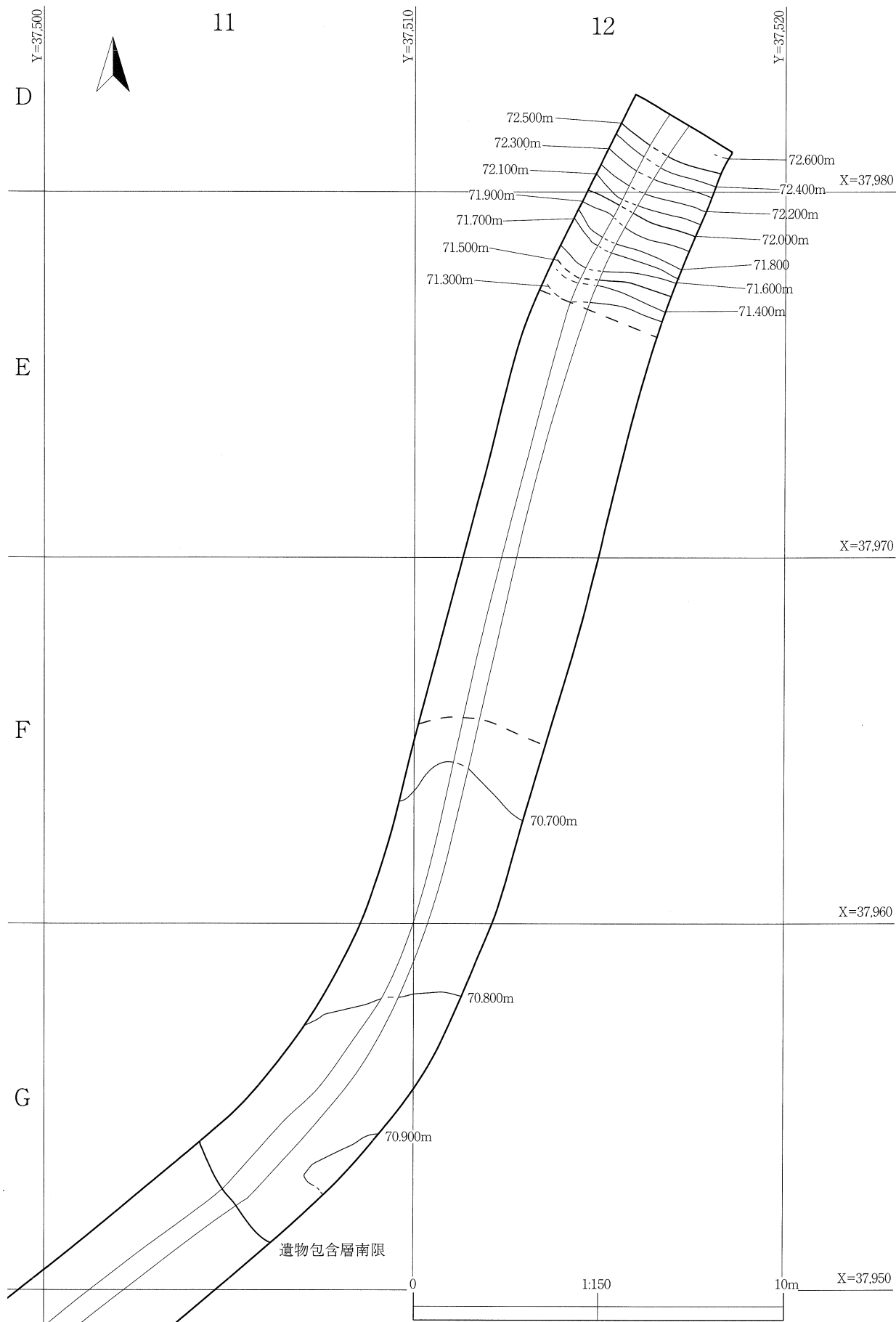


第11図 P1・2・4～9

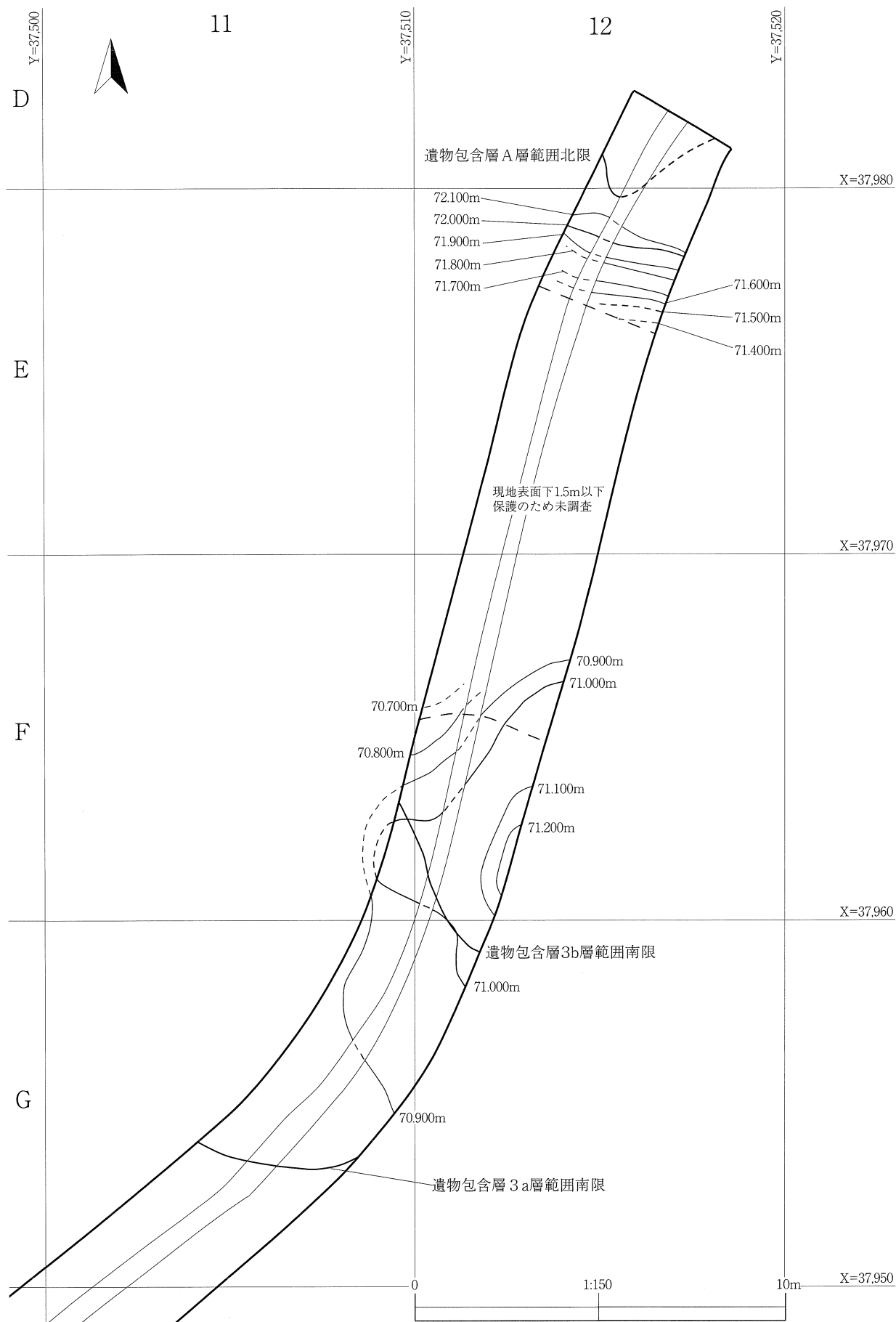
1・2号溝



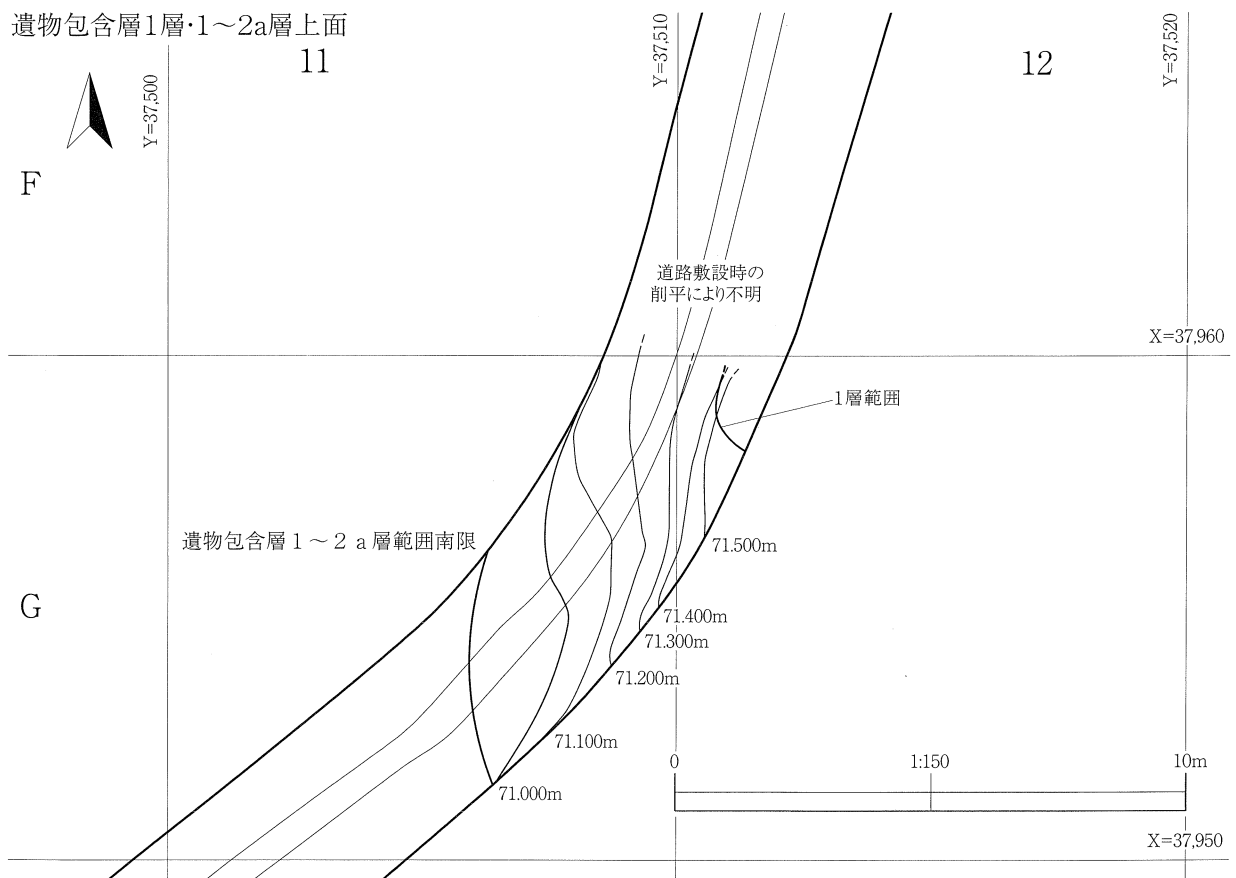
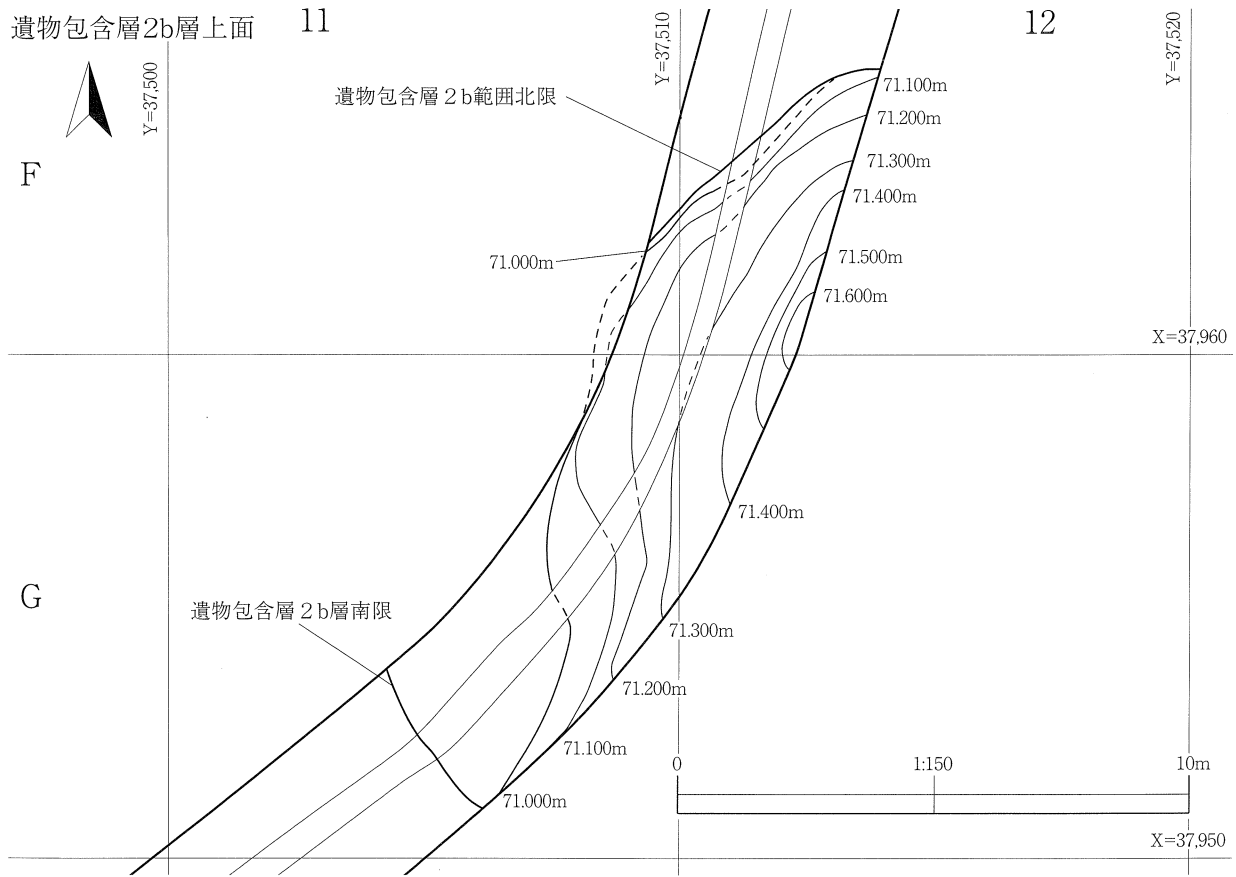
第12図 1・2号溝



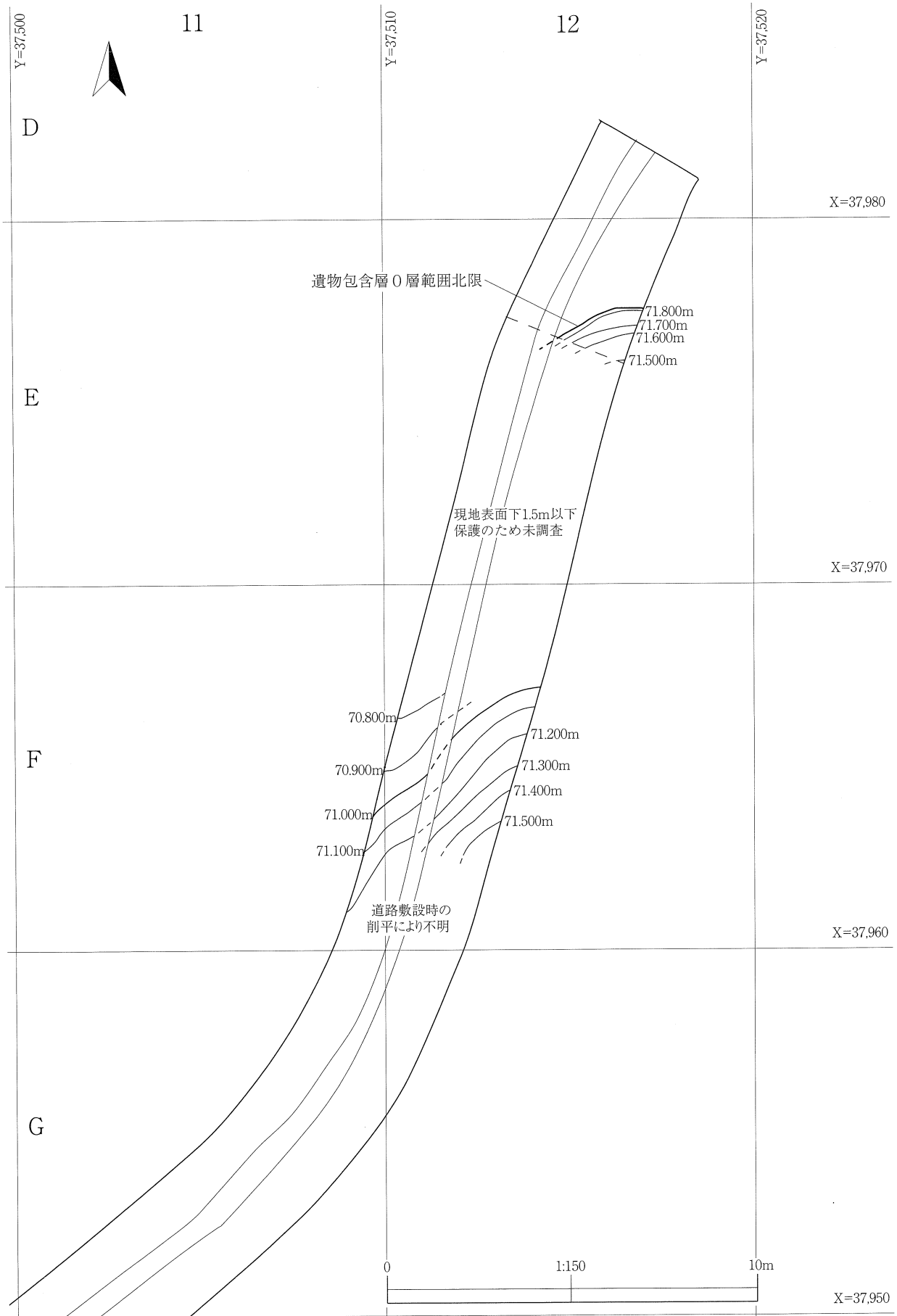
第13図 遺物包含層完掘面 (V層上面) 等高線図



第14図 遺物包含層 A 層上面・3a 層上面等高線図



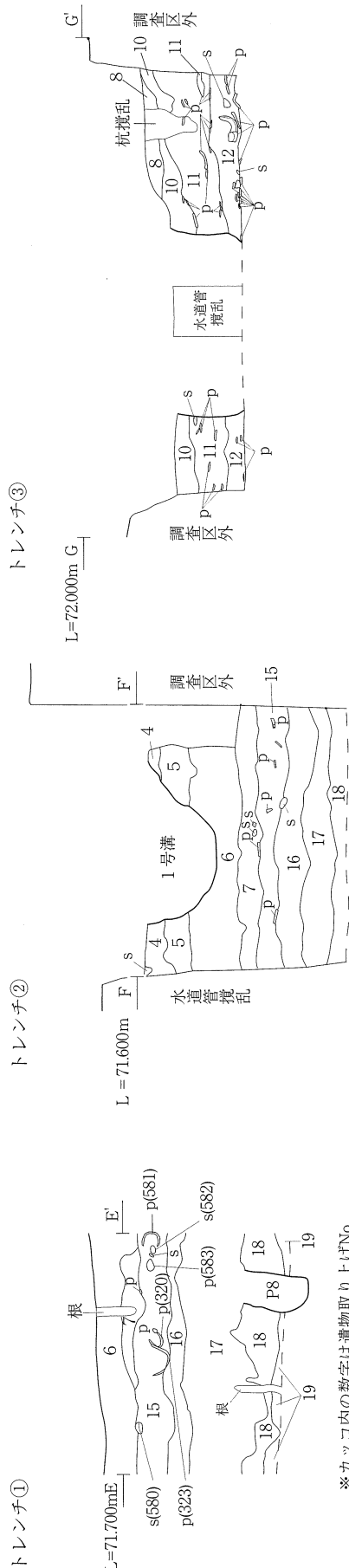
第15図 遺物包含層2b層上面・1層上面等高線図



第16図 遺物包含層0層上面等高線図



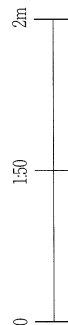
第17図 遺物包含層断面図 (1)



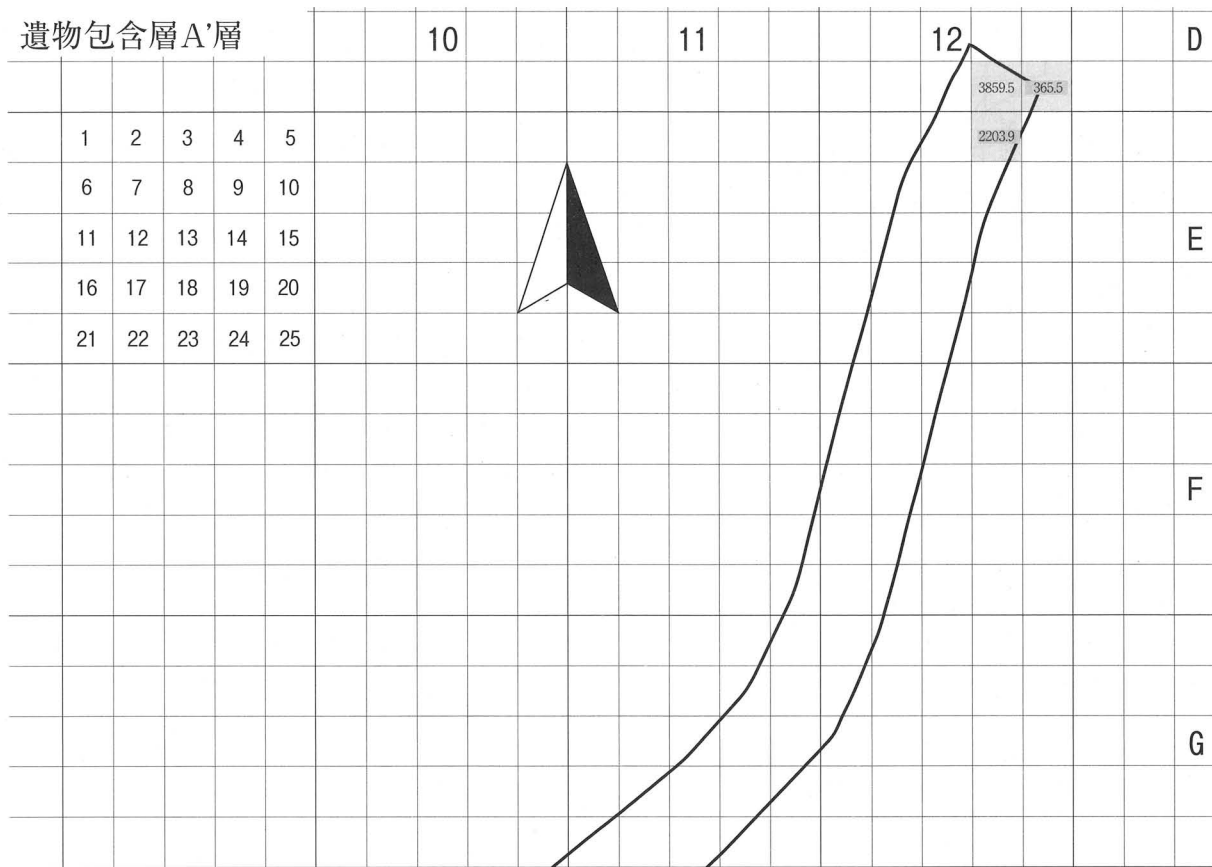
第18図 遺物包含層断面図 (2)

- 1 10YR3/1~3/1.5 黒褐色 シルト 粘性弱・しまり強 To-b 5% 包含層上ではTo-Nb 5%含む Ia層
- 2 道路碎石層 Ib層
- 3 10YR2/1黒色シルトと10YR3/3暗褐色シルトの混土(7:3) 粘性弱・しまり弱 4・10・11層の混土 3号土坑埋土
- 4 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性弱・しまり中 To-b 1% 包含層上ではTo-Nb 5%含む II層
- 5 2.5Y7/1灰白色・2.5Y7/2灰黄色テフラの互層 粘性なし・しまり強 To-aの水成堆積 IIIa層
- 5' 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性弱・しまり中 To-aがブロック状に堆積(断続層) IIIb層
- 6 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性弱・しまり弱 To-b10%(特に下に多い) IV層
- 7 10YR2/1 黒色 シルト To-Nb 5% 遺物包含層0層
- 8 10YR2.5/1 黒~黒褐色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb10% 炭化物粒3% 遺物包含層1層
- 9 10YR2.5/1 黒~黒褐色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb10% 炭化物粒1% 遺物包含層1~2a層
- 10 10YR2/1黒色シルトと10YR3/3暗褐色シルトの混土(8:2) 粘性弱・しまり中 To-Nb15% 炭化物粒3% 遺物包含層2a層
- 11 10YR2/1黒色シルトと10YR3/3暗褐色シルトの混土(5:5) 層縁ほど後者の量が減る) 粘性弱・しまり中 To-Nb20% 炭化物粒10% 焼土粒3% 遺物包含層2b層
- 11' 5YR4/6赤褐色シルト(焼土)と9層の混土(7:3) 粘性弱・しまり中 To-Nb 5% 炭化物粒5% 遺物包含層2b層
- 12 10YR2/1 黒色 シルト 粘性弱・しまり中 10YR3/4黒褐色シルト10% To-Nb 7% 炭化物粒10% 焼土粒3% 遺物包含層3a層上位
- 13 10YR2/1 黒色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb 7% 炭化物粒10% 焼土粒3% 遺物包含層3a層下位
- 14 10YR2.5/1 黒~黒褐色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb 5% 炭化物粒3% 遺物包含層3b層
- 15 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性強・しまり中 To-Nb10% 遺物包含層A層
- 16 10YR2/1 黒色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu 5% V層上位
- 17 10YR2/1 黒色 シルト 粘性強・しまり中 To-Cu10% V層
- 18 10YR3/2 黒褐色 シルト 粘性中・しまり弱 To-Cu20% VI層
- 19 2.5Y4/4~6/4 オリーブ褐~にぶい黄色 パミス 粘性なし・しまり弱 To-Cu純層 VII層

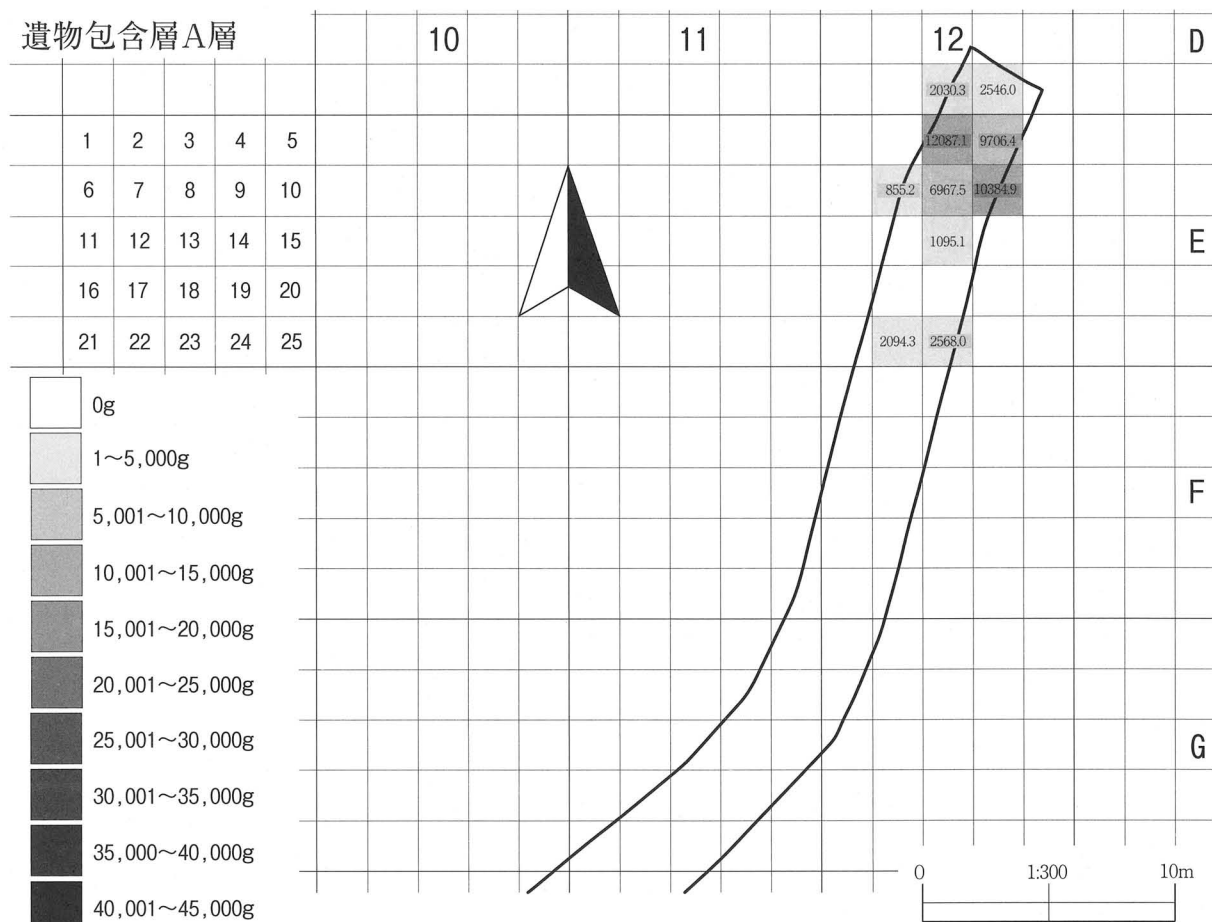
※遺物包含層中のTo-Nbは破砕状態のものが多く、大小様々(主体は0.5~1cm)。9~13層には2cm大の大型もあり。



遺物包含層A'層

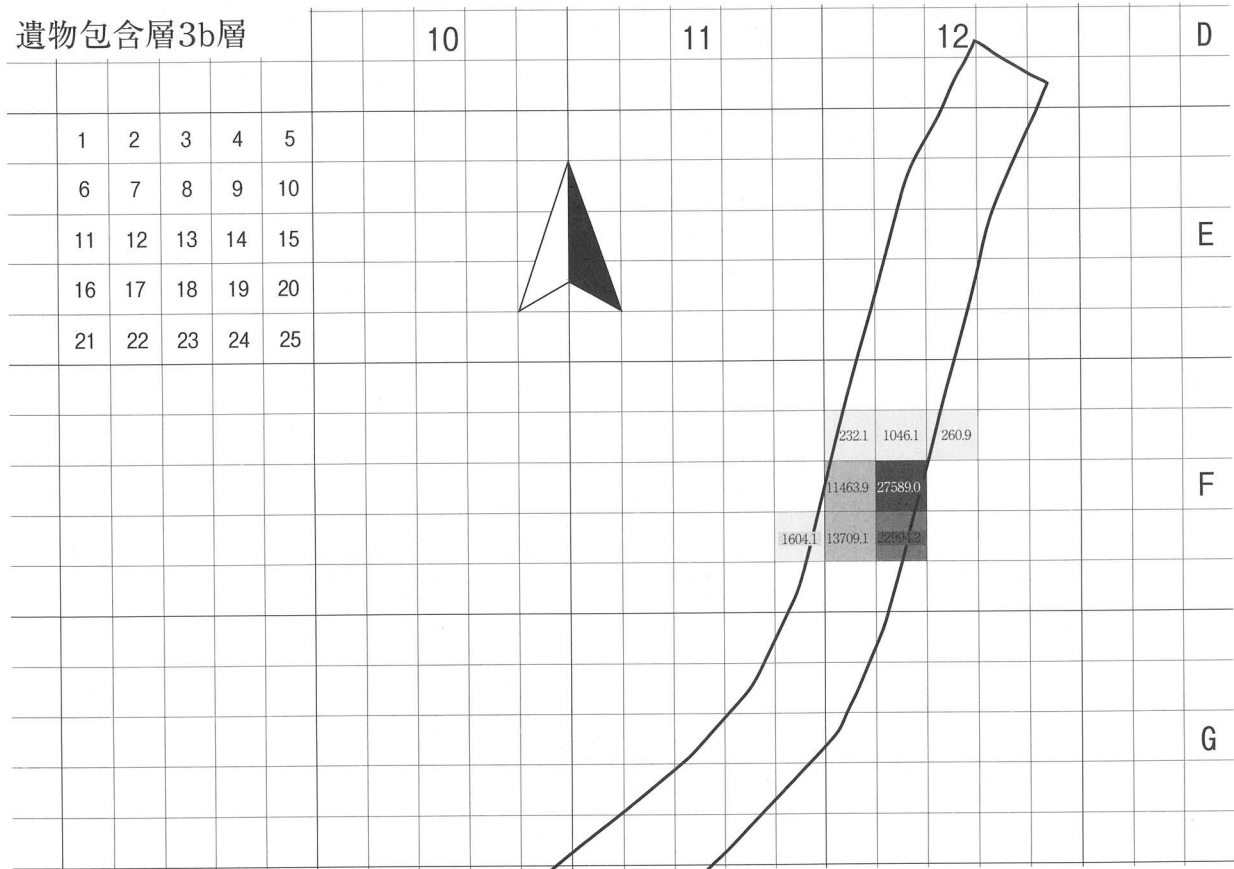


遺物包含層A層

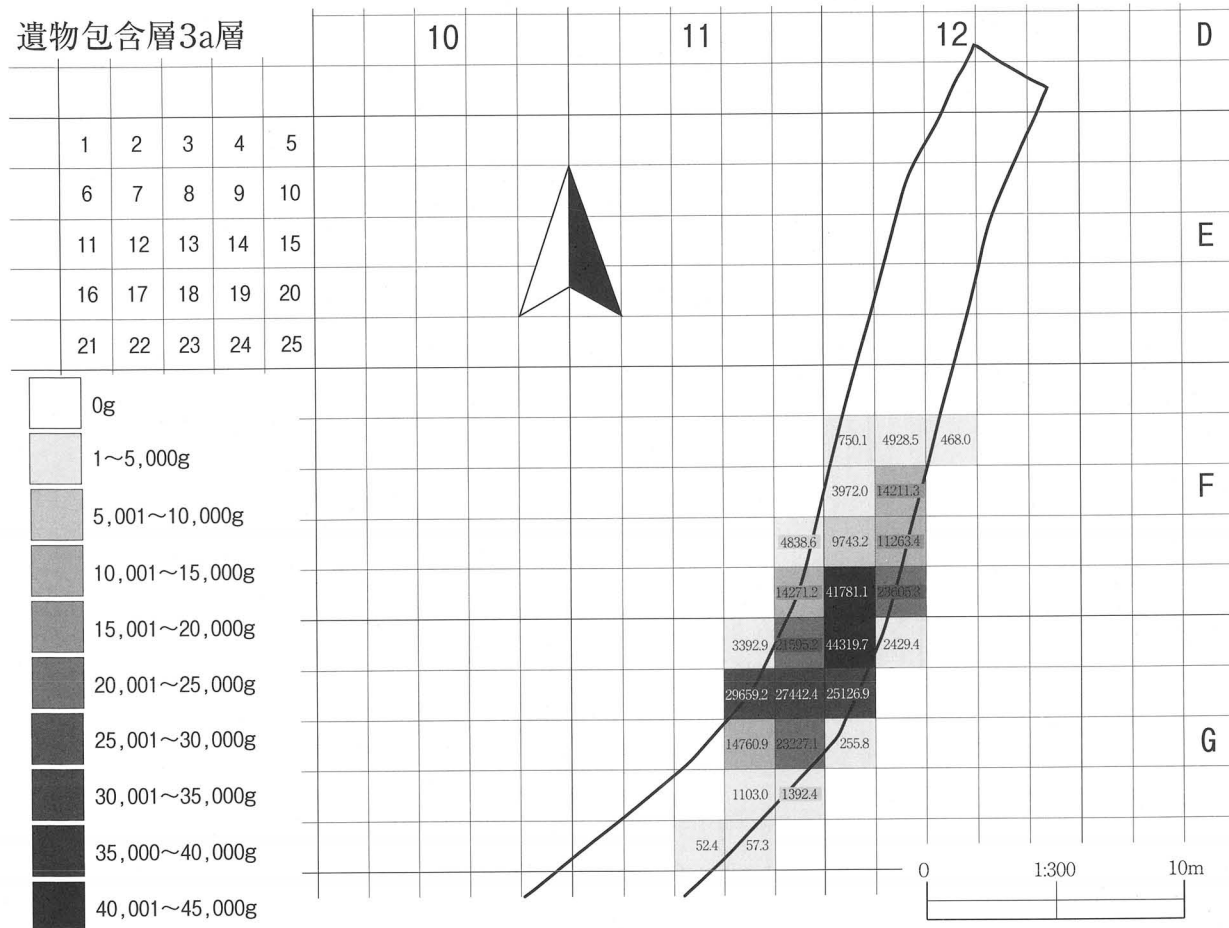


第19図 遺物包含層A'層・A層グリッド別土器出土重量図

遺物包含層3b層

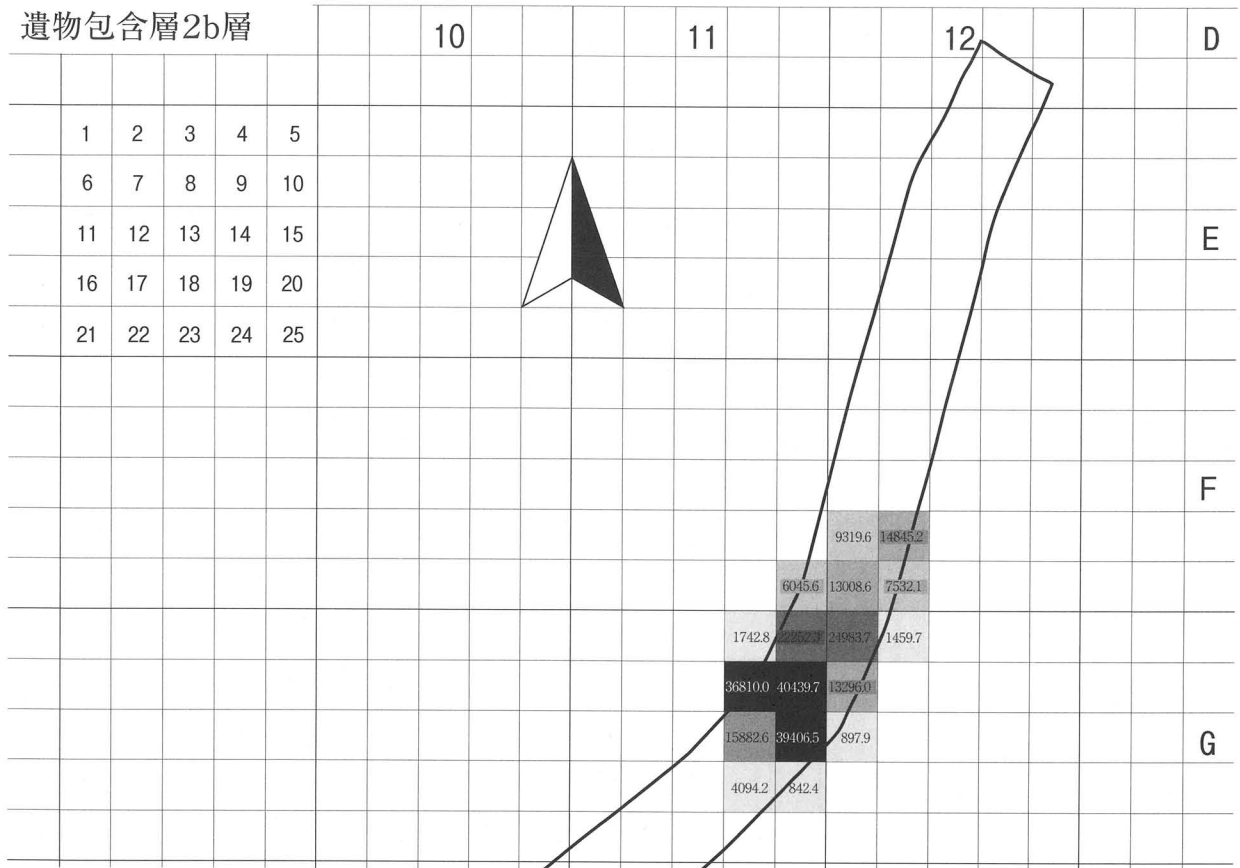


遺物包含層3a層

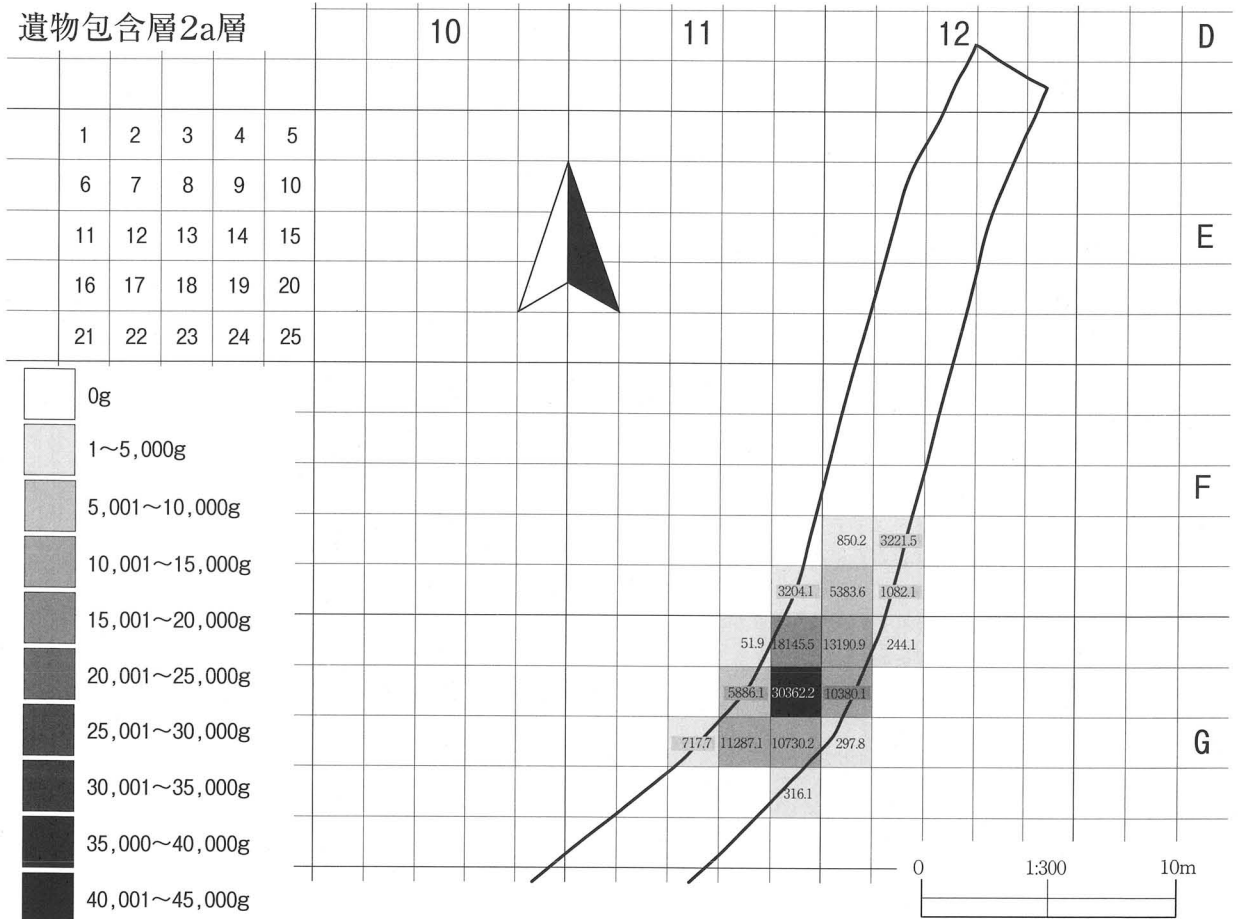


第20図 遺物包含層 3b 層・3a 層グリッド別土器出土重量図

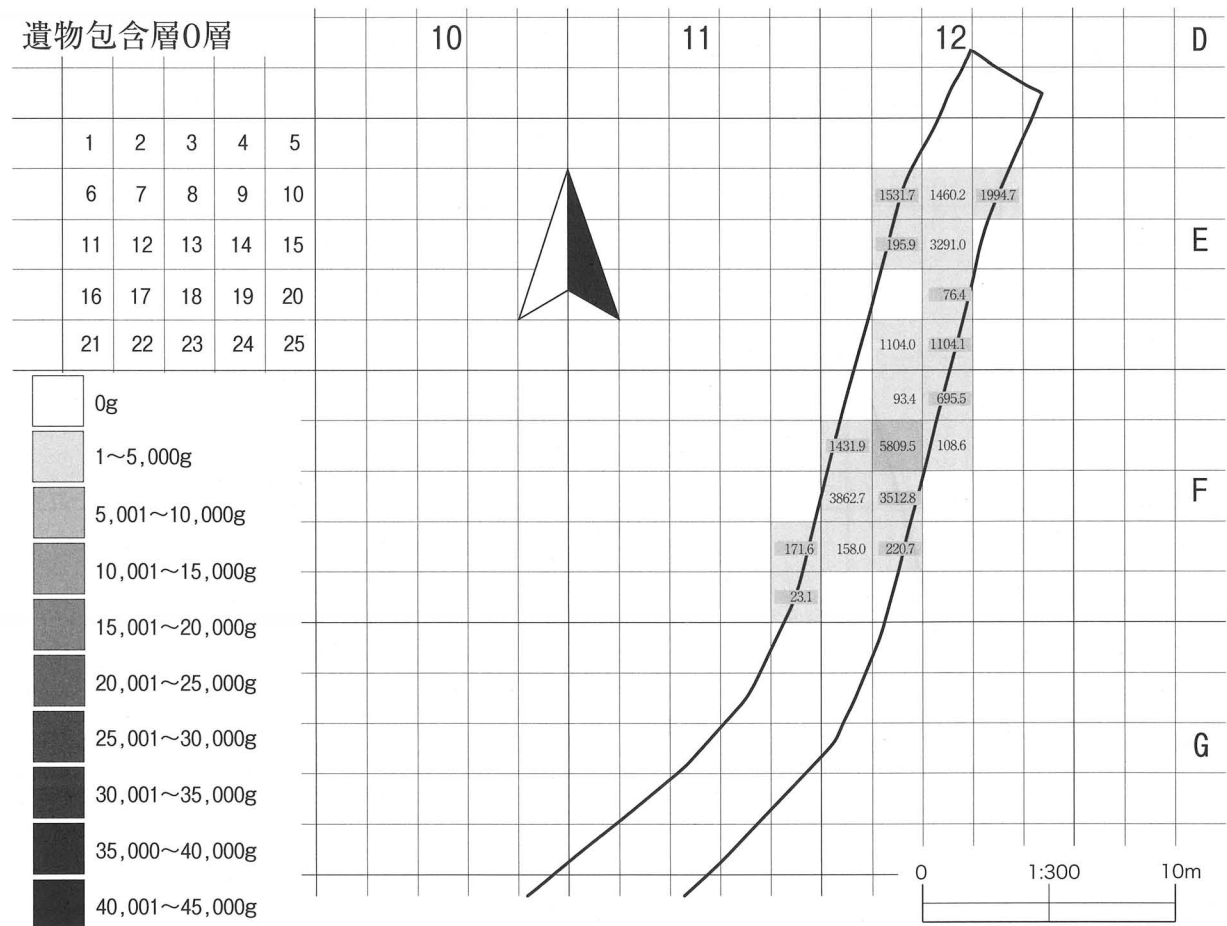
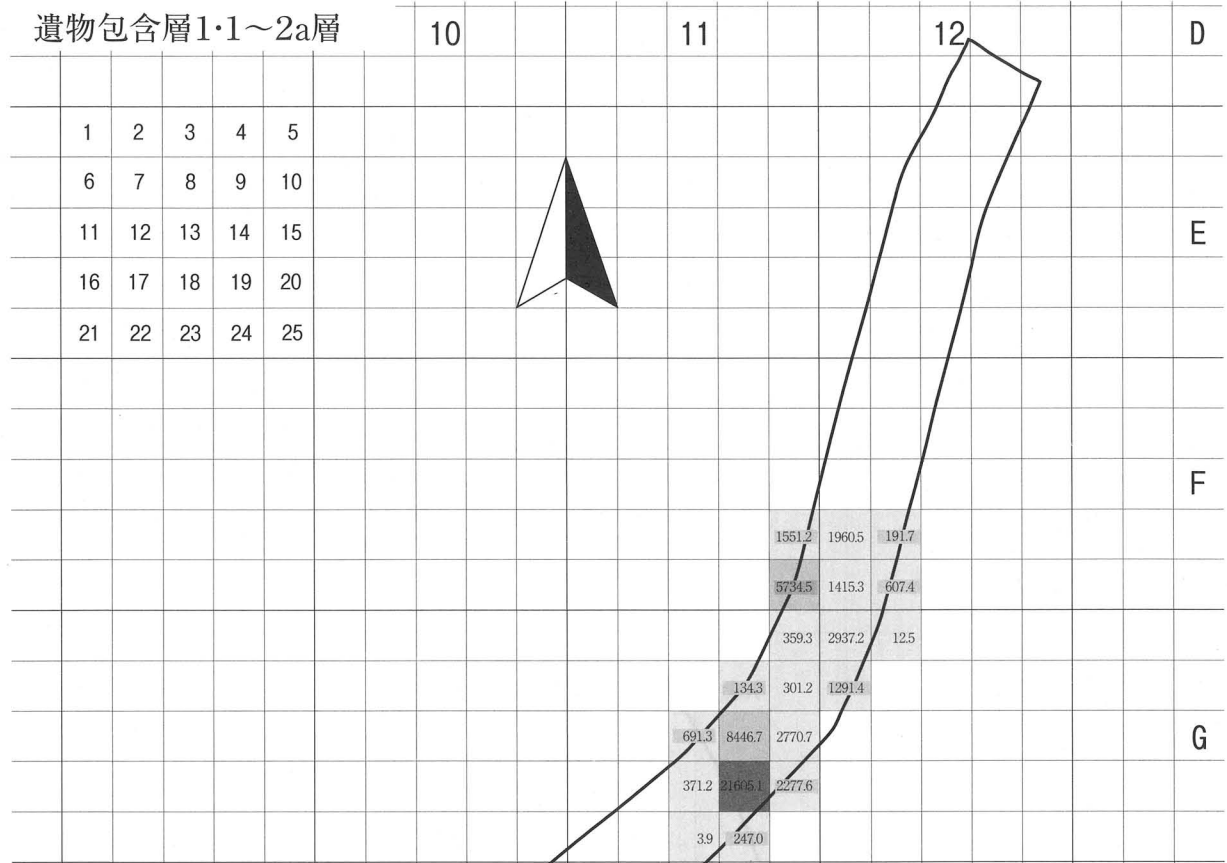
遺物包含層2b層



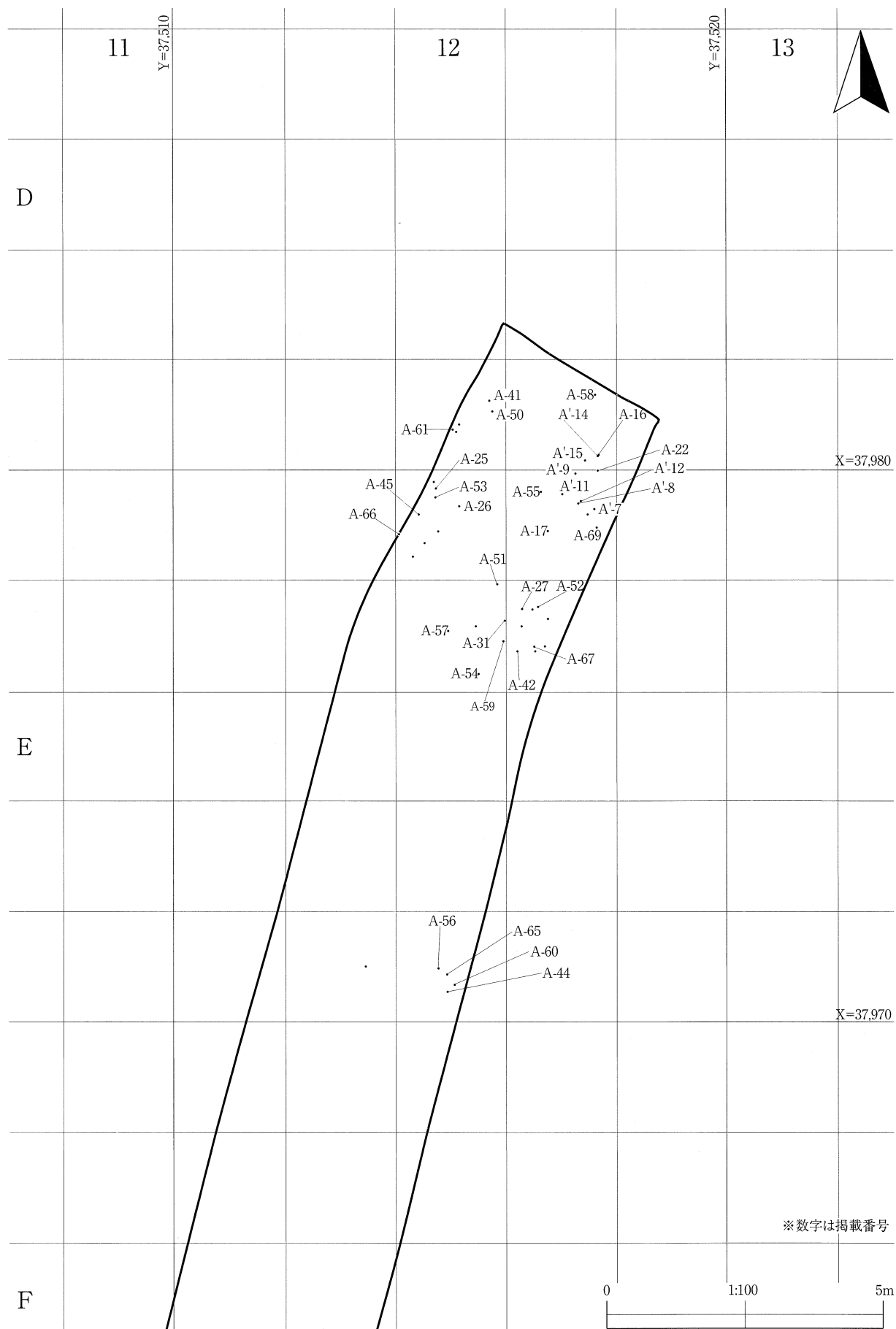
遺物包含層2a層



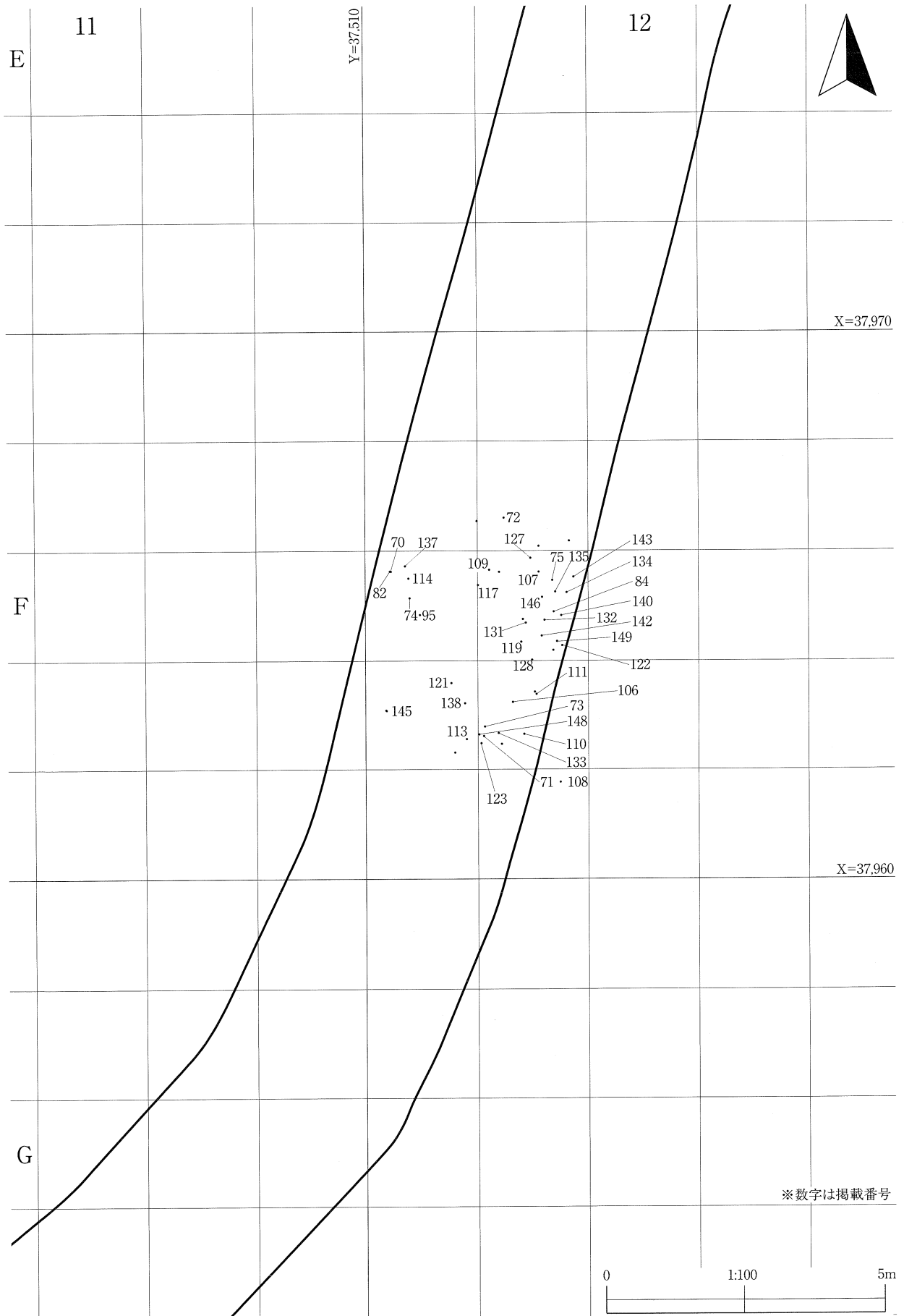
第21図 遺物包含層 2b層・2a層グリッド別土器出土重量図



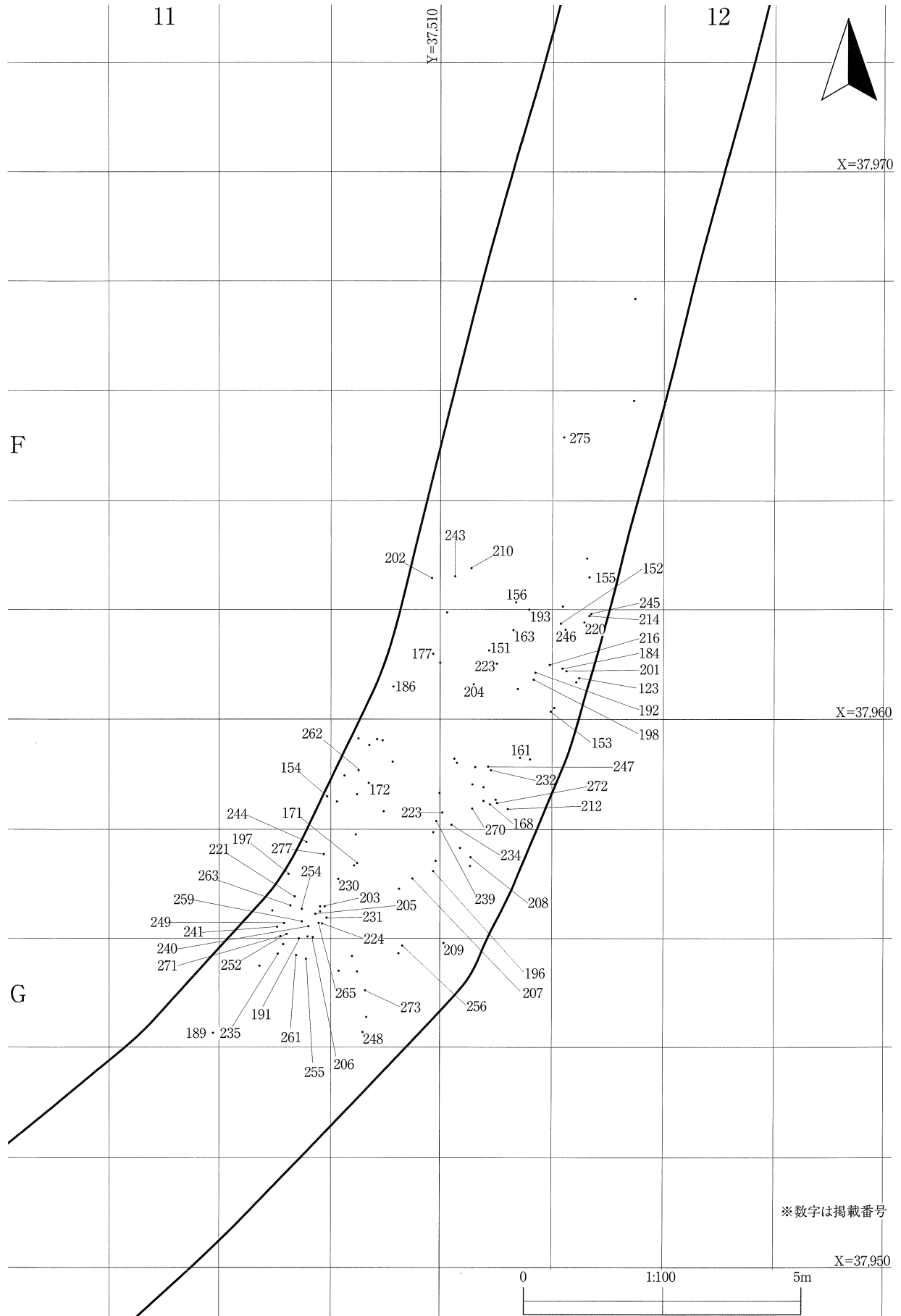
第22図 遺物包含層1~2a層・1層・0層グリッド別土器出土重量図



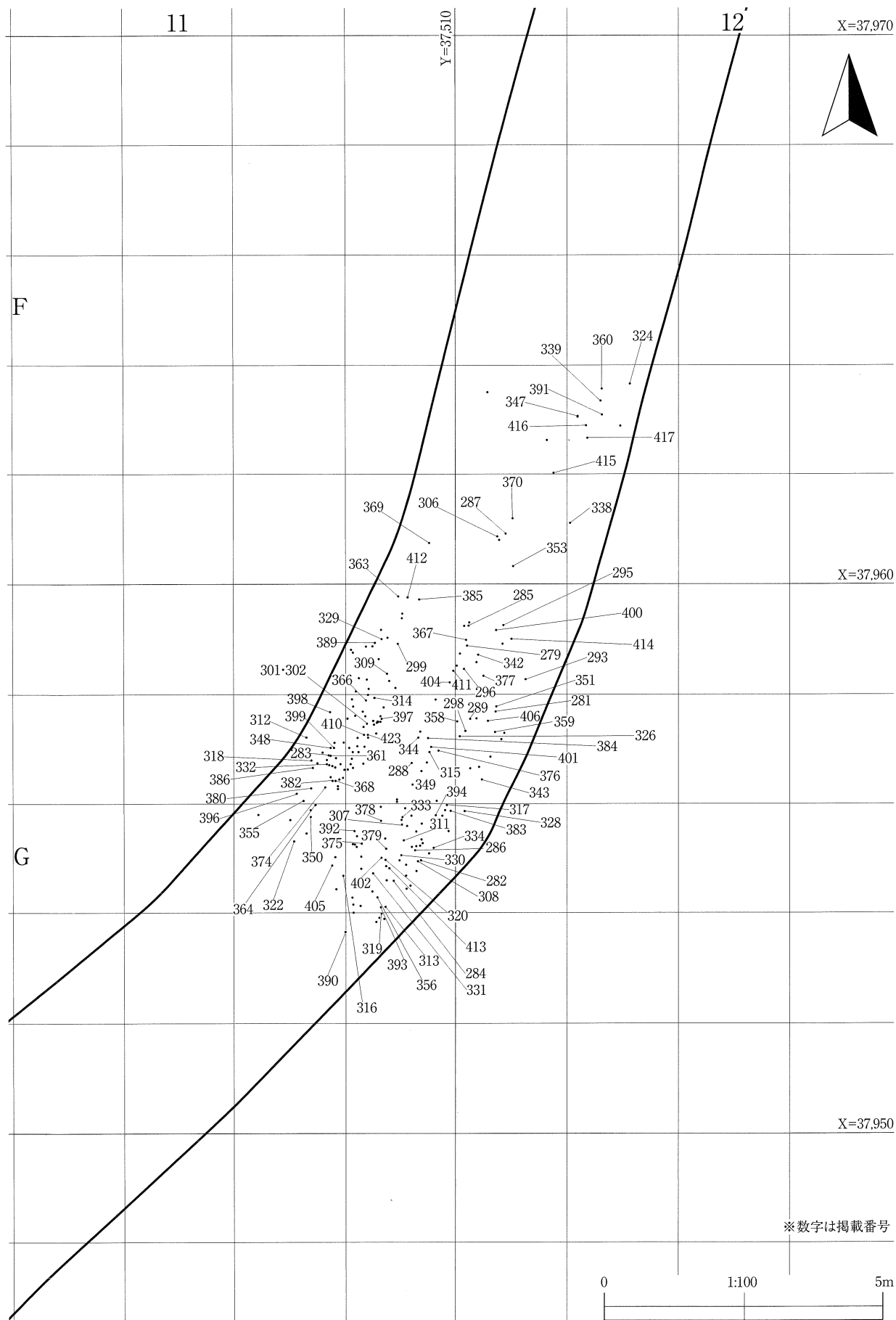
第23図 遺物包含層 A'層・A層出土土器点取り分



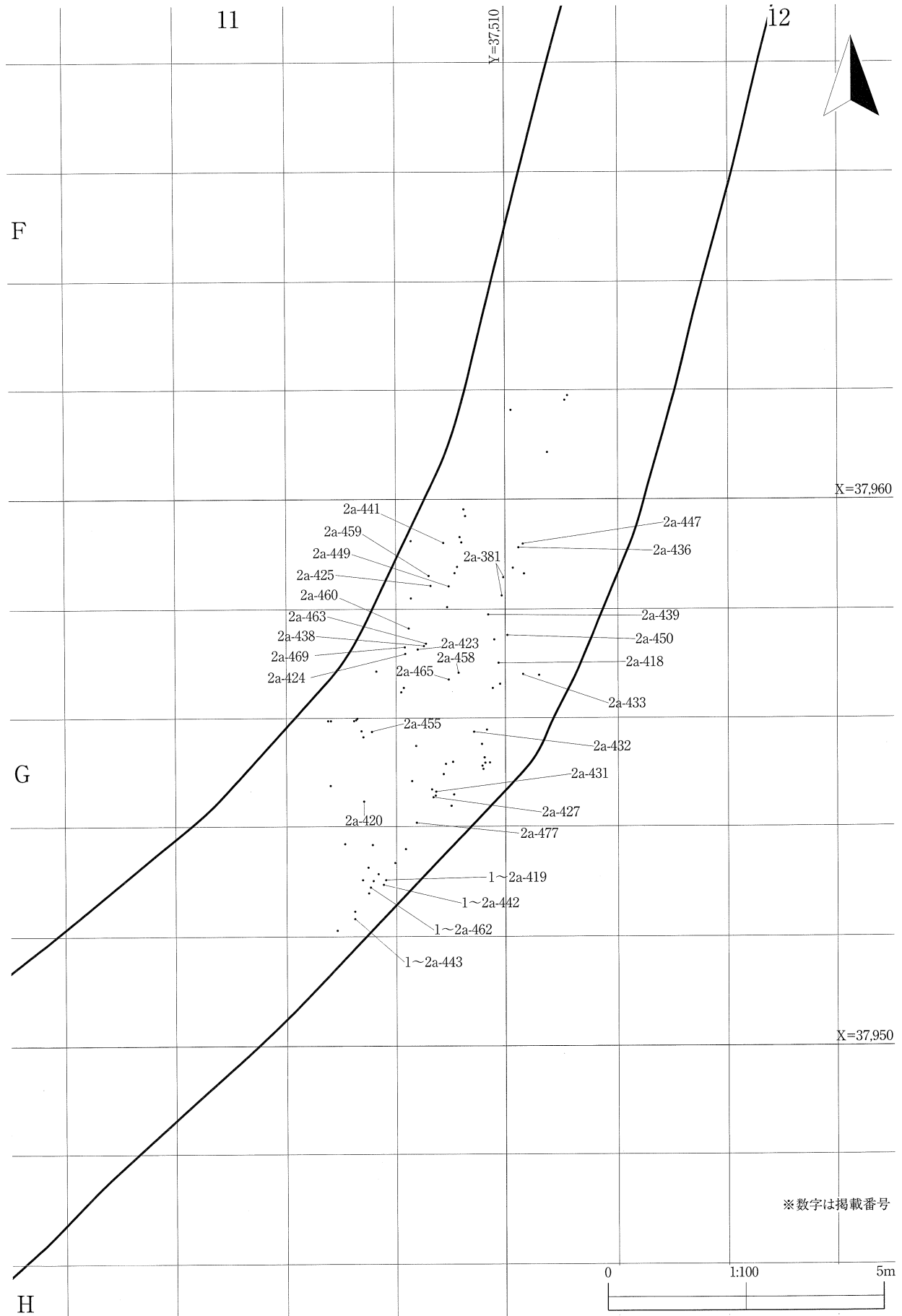
第24図 遺物包含層 3b層出土土器点取り分



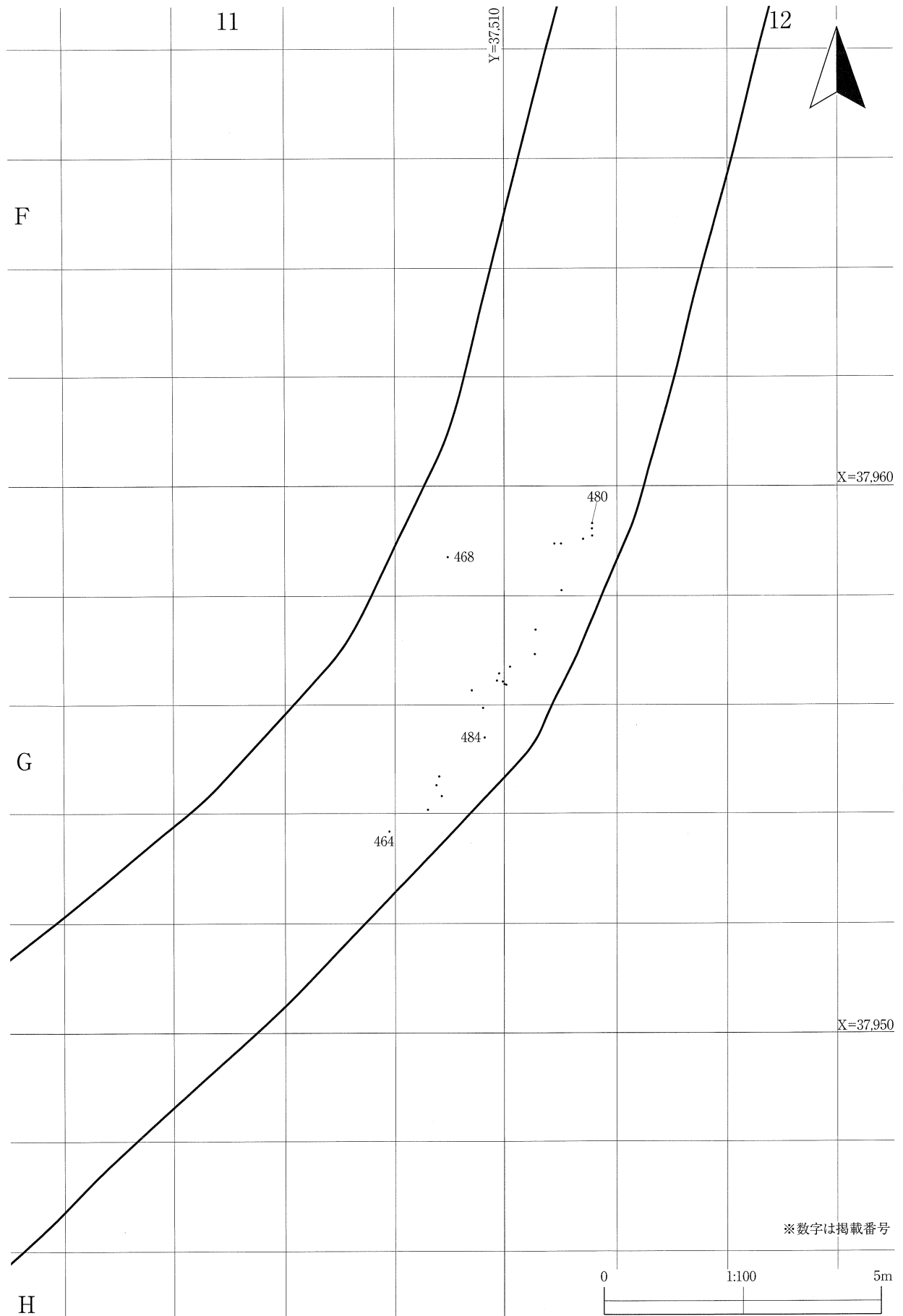
第25図 遺物包含層 3a層出土土器点取り分



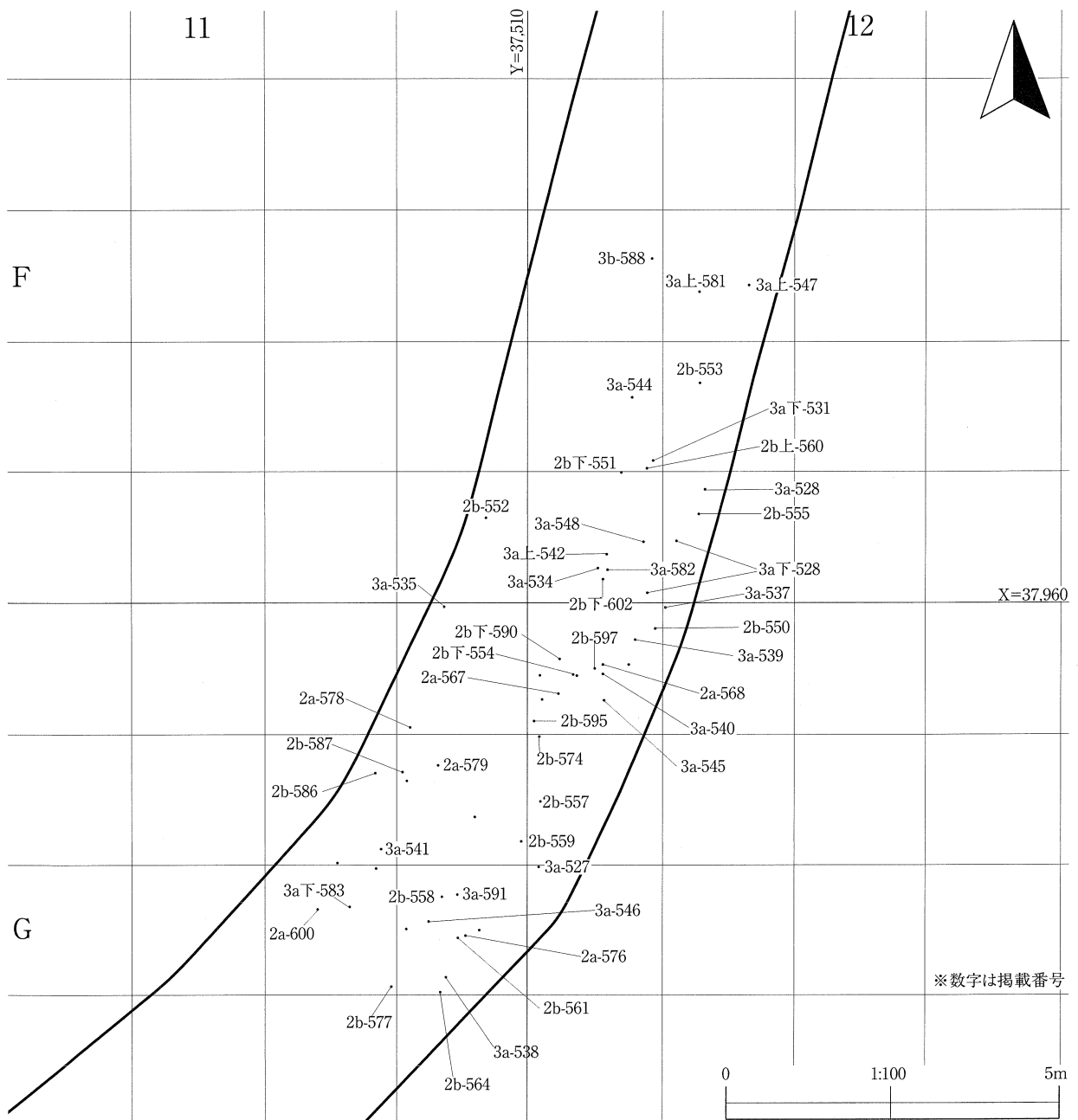
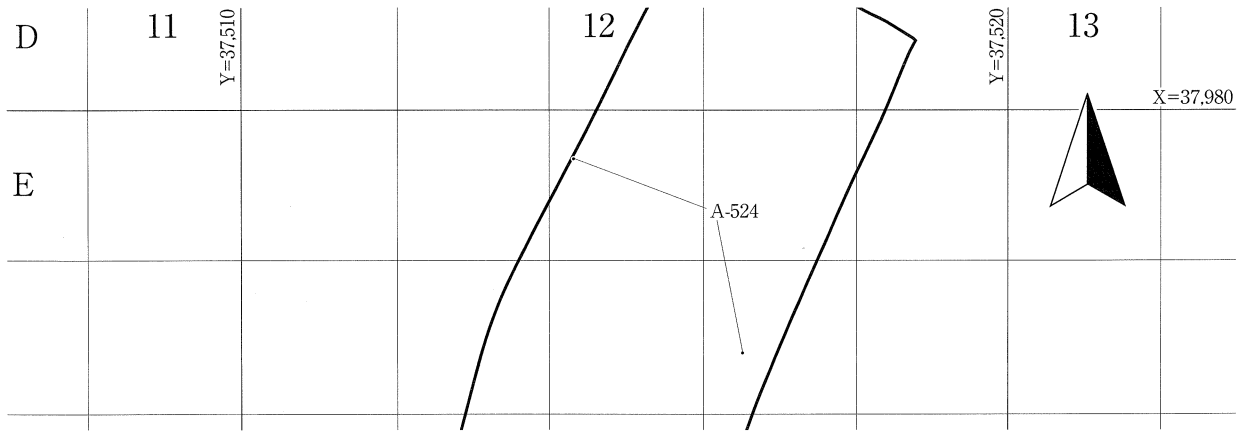
第26図 遺物包含層 2b 層出土土器点取り分



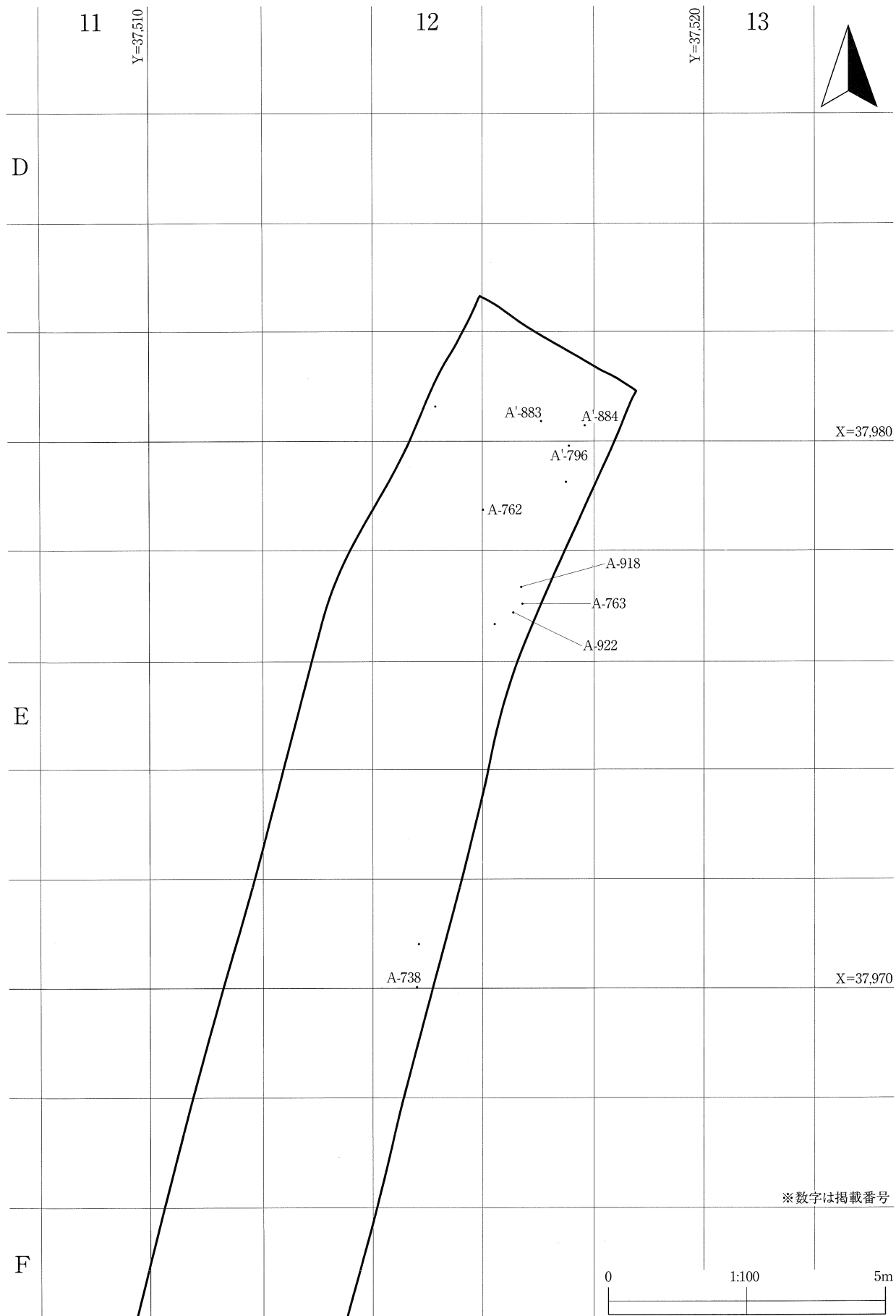
第27図 遺物包含層 2a 層出土土器点取り分



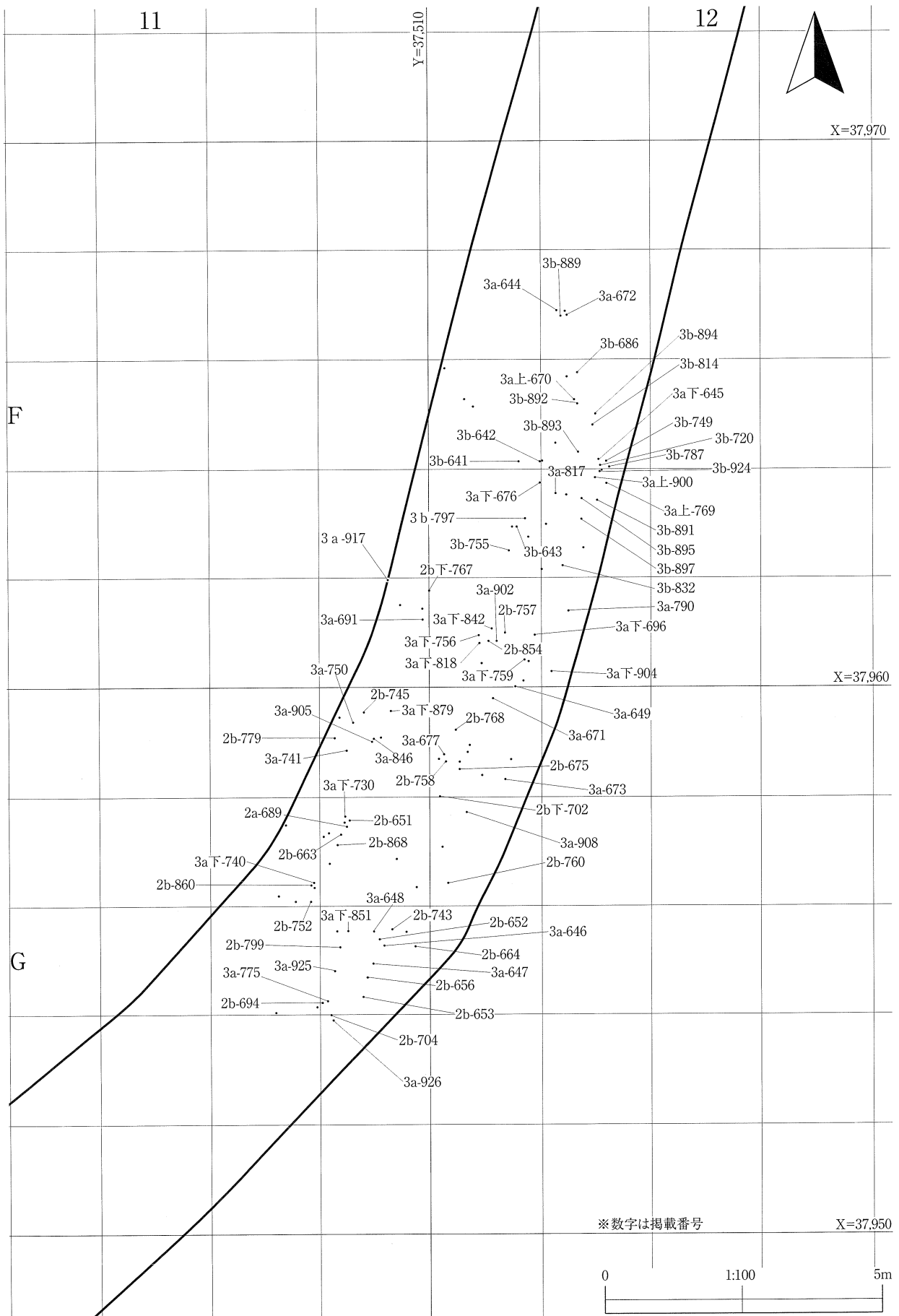
第28図 遺物包含層1層以上出土土器点取り分



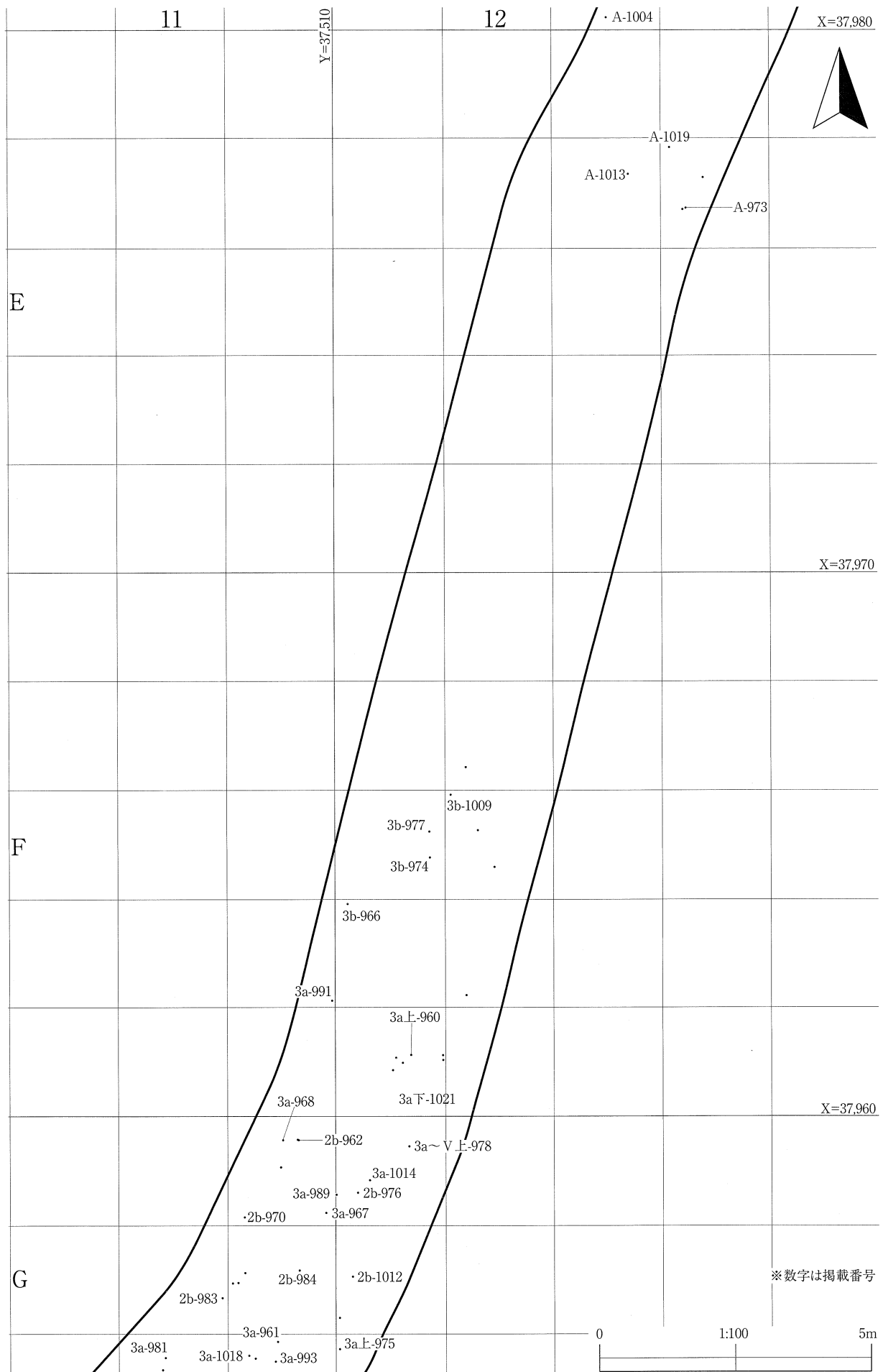
第29図 遺物包含層出土土製品点取り分



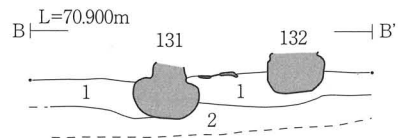
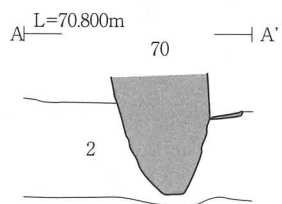
第30図 遺物包含層 A' 層・A 層出土石器点取り分



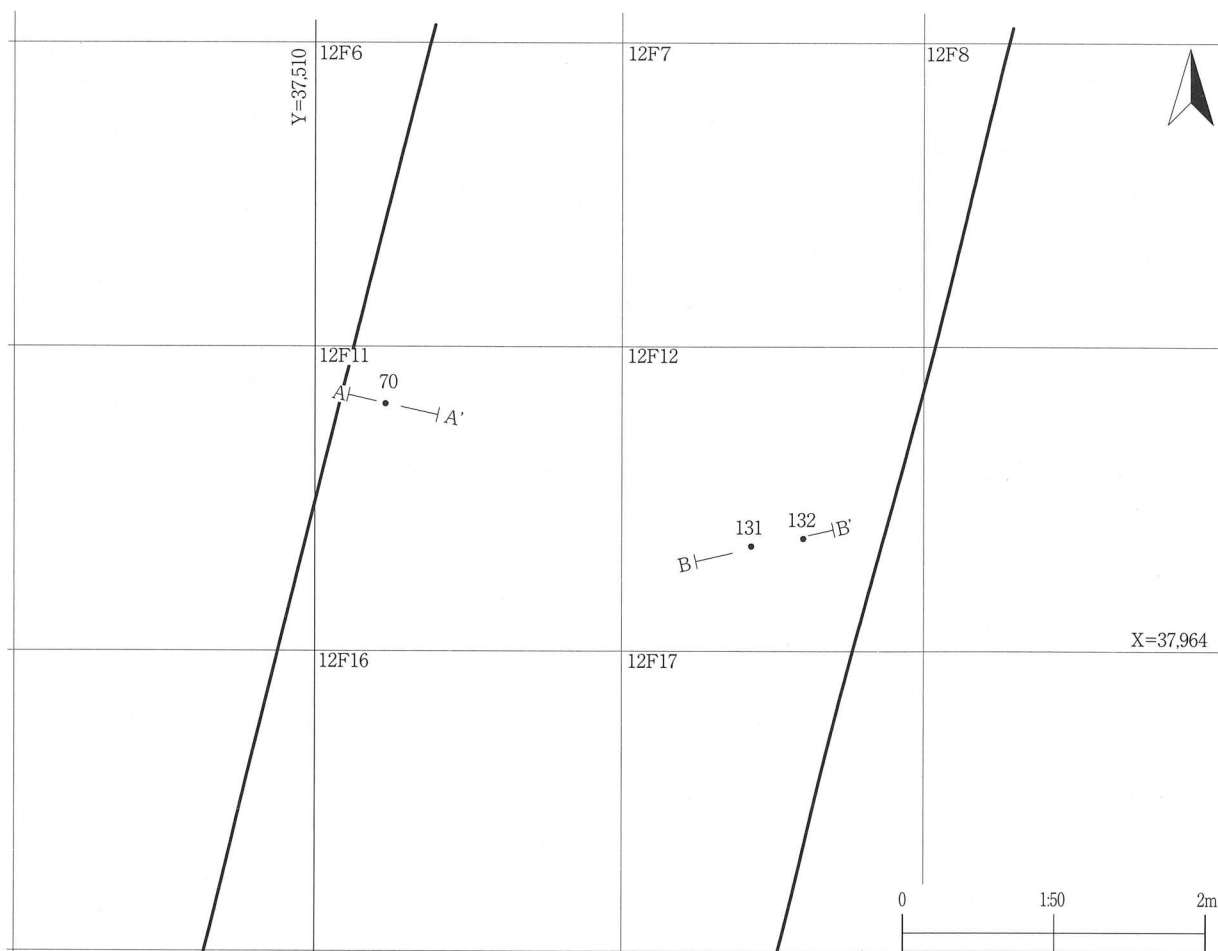
第31図 遺物包含層 3b層以上出土石器点取り分



第32図 遺物包含層出土石製品点取り分



- 1 10YR2/1 黑色 シルト 粘性弱・しまり中 To-Nb (破碎 ~5mm) 3% 炭化物粒3%
遺物包含層3b層
- 2 10YR1.85/1 黑色 シルト 粘性中・しまり中 To-Cu5% 基本層序V層



第33図 遺物包含層 3b 層出土土器 70・131・132 出土状況

V 出土遺物

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器が約 1,109kg (42×32×30cm³ コンテナ換算約 70 箱)、土製品が 112 点・約 2.6kg (42×32×10cm³ コンテナ換算約 2 箱)、石器はツールが 1,272 点・約 302kg、剥片・素材が約 37.6kg (42×32×20cm³ コンテナ換算約 32 箱)、石製品が 95 点・約 6.7kg (42×32×10cm³ コンテナ換算約 4 箱)、動物遺存体が 43.4g (骨角器片 1 点、加工痕のある資料 2 点含む)、植物遺存体が 392.5g、土師器が 1 点・274.5g である。この他、近世～近代の鉄製品 (かんざし) が 1 点出土している。

以下、図の掲載方法について述べておく。

掲載基準

Ⅲ章 2 節 (1)「遺物整理の方法と掲載基準」を参照のこと。

掲載順序

第一に遺物種別で分類し、縄文時代の遺物 (縄文土器→土製品→石器→石製品→動物遺存体→植物遺存体)、奈良時代の遺物 (土師器) の順に掲載することとした。次に各種別内で出土地点 (遺構内・外) ごとに分類し、それぞれ出土層位を優先して下位から (遺構内であれば床面・底面から) 順に掲載した。遺構の掲載順は、Ⅳ章の記述順である。

記述方法

個々の遺物についての記述は、各種別とも遺物観察表 (属性表) にて行っている。本文では、分類基準の提示および代表的・特徴的な遺物を抽出しての補足的な記述を行う。

1 縄文土器 (第 34～80 図、第 3 表、写真図版 28～73)

(1) 概要

出土総重量は 1,108,645.2g である。各遺構における出土量は前章に記載のとおりである。なお、1 号遺物包含層における層位・グリッド毎の出土重量は第 19～22 図に示した。時期は早期末葉～前期初頭、後期初頭～前葉・末葉、晩期初頭～中葉で、99% は晩期前葉～中葉の大洞 B 2 式～C 1 式が占める。

ここで、出土全資料と掲載遺物の関係について述べておく。今回掲載した資料は、全体形態もしくは全体形態の 1/2 以上 (口縁部～胴部、胴部～底部の形態) が復元されたものを優先した。出土総量と整理期間の兼ね合いから、いわゆる破片資料については最小限の抽出に止めている。抽出においては、文様や器形の特異性を重視し、また復元資料に含まれないものを優先した。掲載点数・重量は、521 点・85,588.8g である。

これら提示資料が、今回出土全資料の内容比率をそのまま量的に示しているかといえば、必ずしもそうではない。特に破片資料については、出土量、期間、予算の事情から数量的分析を行っておらず、内容比率は反映されていない。これは、復元資料のみで数量的分析に耐えられると判断したことにもよる。立体実測資料 (復元資料含む) の掲載重量は 76,606.5g で、出土総重量の約 7% にあたる。この抽出基準は、単純に復元率を基にした機械的なものであり、ここには文様・器形等の属性は介入していないことから、その意味でも量的比率を示す資料といえる (当然、廃棄・遺棄行為の個体残存率に精製・粗製の違いが影響していないことが前提となるが)。ただし、物理的問題として、破損に

おける破片数は小形遺物に比して大形遺物がより多くなることは当然であり、これにより復元率が低下することも自明である。よって、器種間の掲載比率は、小形 > 大形となっている可能性が高いこととお断りしておく。いっぽうで、これを換言すれば、同一器種における掲載比率（型式組成）に大きな差は生じていないといえる。

(2) 分類

早期末～前期初頭

表裏縄文の深鉢が出土している。すべて小破片資料である。

後期

弧状の平行沈線と隆帯で文様を構成する後期初頭～前葉に位置付けられるものと、入組带状文の配される後期末～晩期初頭に位置付けられるものがそれぞれごく少量出土している。すべて破片資料である。

晩期前～中葉

大洞 B2 式～C2 式が出土している。主体は BC2 式～C1 式である。器種は、深鉢形、台付深鉢形、鉢形、台付鉢形、浅鉢形、台付浅鉢形、壺形、注口、香炉形、片口形、小型（ミニチュア）が存在する（以下、「形」は省略）。深鉢・台付深鉢、鉢・台付鉢、浅鉢・台付浅鉢の分類基準は、口径：器高比が 1：1 以上のものを深鉢、1：0.5～1 のものを鉢・台付鉢、1：0.5 未満のものを浅鉢・台付浅鉢とした。台付については、比率計測に台部を含めていない。また、今回は皿という基準を設けず、すべて浅鉢・台付浅鉢に含めた。

以下、器種毎に器形による大分類、文様属性による細分を行うが、ここで注意点を述べておく。

- ・今回用いた器形分類基準は、形態差が出やすい胴部以上の器形を主な対象とし設定したものである。このため、深鉢と台付深鉢、鉢と台付鉢、浅鉢と台付浅鉢はそれぞれ共通の分類基準を用いている。
- ・当該期は文様帯区画のための平行沈線が施文される場合が極めて多く、文様属性の説明においては特別でない限りこれを省いている（観察表にはすべて記載してある）。
- ・羊歯状文のうち、末端の噛み合う（入り組む）ものを「羊歯状文 A」、末端の噛み合わない（入り組まない）ものを「羊歯状文 B」と呼称することとする。

深鉢・台付深鉢

I 類 胴部から口縁部にかけて直立するもの。

- 1 口縁部に文様帯が施文されるもの。
- 2 縄文のみ施文されるもの。
- 3 無文のもの。

II 類 胴部から頸部にかけて直立し、口縁上部が短く外反するもの。口縁～頸部は無文である。

III 類 胴部上位から口縁部が緩やかに内傾するもの。縄文のみ施文される。

IV 類 胴部から口縁上部にかけて内傾し、口唇部が短く直立～外反するもの。口縁上部は無文である。

- 1 頸部に截痕列^{註1}が施文されるもの。
- 2 地文のみなもの。

V 類 胴部から頸部にかけて直立し、一旦内傾して口縁部が短く直立するもの。胴部上半に最大径

が認められる。いずれも口縁部に文様帯が施文される。

Ⅵ類 胴部から頸部にかけて内傾し、口縁部が外反するもの。大半は胴部上～中半に最大径が認められる。

- 1 口縁部に文様帯が施文されるもの。
- 2 口縁部が無文帯^{註2}となるもの。

Ⅶ類 片口形を呈するもの。

鉢・台付鉢

I類 胴部から口縁部にかけて緩やかに内彎する器形を呈するもの。

- 1 口縁部に入組三叉文が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。
- 3 口縁部にK字文系文様が施文されるもの。
- 4 口縁部に羊歯状文（扁平化）が施文されるもの。
- 5 口縁部に羊歯状文B上半様の截痕列^{註3}が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 6 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 唐草状入組文が施文されるもの。
 - b 磨消縄文が施文されるもの。
 - c 地文のみのもの。
- 7 口縁部に区画のある截痕列^{註4}、胴部に磨消縄文が施文されるもの。
- 8 口縁部に平行沈線のみが施されるもの。
- 9 縄文のみ施文されるもの。施文部位で細分する。
 - a 口縁上部のみ無文のもの。
 - b 全体に施文されるもの。
- 10 無文のもの。

Ⅱ類 口径底径比が大きく、底部から口縁部にかけて直線的に外反するもの。

Ⅲ類 ビーカー形を呈するもの。

Ⅳ類 頸部が弱く窄まり、口縁部が弱く外反するもの。

- 1 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。
- 2 口縁部に渦巻文、截痕列（未連結）が施文されるもの。
- 3 口縁部に截痕列（粗）が施文されるもの。
- 4 無文のもの。

V類 胴部から頸部まで直立し、口縁部が直線的に外反するもの。口縁部に羊歯状文B上半様の截痕列、胴部に磨消縄文が施文される。

Ⅵ類 胴部上半が張り出し、頸部から口縁部にかけて内傾するもの。

- 1 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。
- 3 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。

1 縄文土器

4 口縁部に平行沈線のみが施文されるもの。

Ⅶ類 胴部上半が張り出し、頸部で一旦窄まり、口縁部にかけて外反するもの。

- 1 口縁部に羊歯状文、矩形入組文、点列帯が施文されるもの。
- 2 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a C字文系文様が重畳するもの。
 - b 磨消縄文が施文されるもの。
- 3 口縁部に截痕列が施文されるもの。
- 4 頸部直下に平行沈線が施される以外無文のもの。
- 5 無文のもの。

Ⅷ類 胴部上半が張り出し、頸部で一旦窄まり、口縁部にかけて外反しまた窄まるもの。断面形はB字形を呈する。

Ⅸ類 胴部上半が張り出し、頸部で一旦窄まり、口縁部にかけて短く直立～外反するもの。

- 1 口縁部にC字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 2 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 点列帯が施文されるもの。
 - b C字文系文様が施文されるもの。
 - c K字文系文様が施文されるもの。
 - d 羊歯状文B上半様の截痕列が施文されるもの。
 - e 磨消縄文が施文されるもの。
 - f 地文のみのもの。
- 3 口縁部に羊歯状文B上半様の截痕列が施文されるもの。
- 4 口縁部に羊歯状文（扁平化）が施文されるもの。
- 5 口縁部に斜行沈線＋区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 6 口縁部に平行沈線＋区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 7 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 8 口縁部に区画のある截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 地文のみのもの。
- 9 口縁部に沈線＋刺突列^{註5}、胴部に磨消縄文が施文されるもの。
- 10 口縁部に刺突列、胴部に磨消縄文が施文されるもの。
- 11 口縁部に平行沈線のみが施文されるもの。
- 12 口縁部が無文帯となるもの。これ以外の文様属性で細分する。

- a 斜行沈線+区画ある截痕列、磨消縄文が施文されるもの。
- b 截痕列、磨消縄文が施文されるもの。
- c 区画のある截痕列、磨消縄文が施文されるもの。
- d 沈線+区画のある刺突列^{註6}、磨消縄文が施文されるもの。
- e 沈線+区画のある刺突列が施文されるもの。
- f 沈線+刺突列、磨消縄文が施文されるもの。
- g 刺突列、粘土瘤（大）、磨消縄文が施文されるもの。
- h 磨消縄文が施文されるもの。
- i 平行沈線が施文されるもの。
- j 縄文のみ施文されるもの。

13 斜行・平行沈線+区画ある截痕列（未連結）が施文されるもの。

X類 片口形を呈するもの。

浅鉢・台付浅鉢

I類 口縁部が短く外反するもの。

- 1 魚眼状三叉文が施文されるもの。
- 2 横S字状文が施文されるもの。
- 3 無文のもの。

II類 底径が広く、胴部が短い。頸部で一旦窄まり、口縁部が長く直線的に外反するもの。

- 1 入組三叉文（羊歯状文祖形？）、点列帯が施文されるもの。
- 2 C・X字文系文様が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 点列帯が施文されるもの。
 - b 截痕列が施文されるもの。
- 3 K字文系文様が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 点列帯、唐草状入組文が施文されるもの。
 - b K字文系文様が磨消であるもの。

III類 胴部から口縁部にかけて緩やかに内彎する器形を呈するもの。

- 1 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。
- 2 口縁部に羊歯状文B上半様の截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
- 3 口縁部に羊歯状文（扁平化）が施文されるもの。
- 4 口縁部に截痕列が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
 - c 地文のみもの。
- 5 口縁部に区画のある截痕列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
- 6 口縁部に沈線+区画のある刺突列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
- 7 口縁部に沈線+刺突列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
- 8 1～7の属性を持たず、磨消縄文が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 磨消縄文（K字文系）が施文されるもの。

1 縄文土器

- b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
 - 9 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 10 縄文が全体に施文されるもの。
 - 11 無文のもの。
- IV類 胴部上半が張り出し、頸部から口縁部にかけて内傾するもの。
- 1 口縁部に羊歯状文B上半様の截痕列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
 - 2 口縁部に平行沈線+区画のある截痕列が施文されるもの。
- V類 胴部から口縁部にかけて外反するもの。口径・底径比が大きい。
- 1 口縁部に羊歯状文が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 磨消縄文が施文されるもの。
 - b 無文のもの。
 - 2 口縁部に截痕列、以下に磨消縄文が施文されるもの。
 - 3 1・2の属性を持たず、磨消縄文が施文されるもの。文様属性差で細分する。
 - a 磨消縄文（K字文系）が施文されるもの。
 - b 磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
 - 4 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 5 無文のもの。
- VI類 胴部から口縁部にかけて外反するもの。口径・底径比が小さく、断面は逆台形を呈する。
- 1 K字文が施文されるもの。
 - 2 磨消縄文が施文されるもの。
 - 3 平行沈線が施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 地文のあるもの。
 - b 無文のもの。
- VII類 底部から口縁部までラッパ状に外反するもの。磨消縄文が施文される。
- VIII類 胴部から口縁部にかけて直立する器形を呈するもので、底部に足が付くもの。
- 1 弧線文が施文されるもの。
 - 2 雲形文が施文されるもの。
 - 3 平行沈線が施文される以外無文のもの。
 - 4 無文のもの。
- IX類 平面形が方形を呈するもの。
- X類 片口形を呈するもの。
- 壺
- I類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部が内彎するもの。
- 1 弧線文、渦巻文が施文されるもの。
 - 2 入組三叉文が施されるもの。
 - 3 頸部が無文帯で、截痕列、K字文系文様が施文されるもの。
 - 4 平行沈線が施される以外無文のもの。
 - 5 頸部が無文帯で、それ以外に縄文が施文されるもの。
- II類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部が外反するもの。
- 1 縄文が施されるもの。施文部位で細分する。

- a 頸部が無文帯となるもの。
- b 口縁～頸部が無文のもの。
- 2 無文のもの。
- Ⅲ類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、口縁部の外反が水平に近いもの。
 - 1 口縁～頸部が無文で、胴部に雲形文が施文されるもの。
 - 2 無文のもの。
- Ⅳ類 口縁部、頸部、胴部の境に明瞭な括れを有する3段構成で、胴部が球形を呈さず長く、最大径を胴部下半に持つもの。頸部が窄まり、口縁部にかけて外反する。
- Ⅴ類 胴部が球形を呈さず長く、最大径を胴部下半に持つもの。頸～胴部境に段が付く。口縁部が強外反する。有文土器はすべて頸部が無文帯となる。
 - 1 截痕列の施文されるもの。これ以外の文様属性で細分する。
 - a 矩形入組文、羊歯状文（祖形）が施文されるもの。
 - b 羊歯状文、K字文系文様が施文されるもの。
 - c 磨消縄文が施文されるもの。
 - 2 雲形文が施文されるもの。
 - 3 無文のもの。
- Ⅵ類 胴部が球形を呈さずに長く、最大径を胴部中位に持つもの。頸～胴部境に段が付く。頸部は長く、口縁部は短く外反する。
 - 1 平行沈線が施される以外無文のもの。
 - 2 頸部が無文帯で、ほかは縄文が施されるもの。
 - 3 無文のもの。
- Ⅶ類 胴部が球形を呈さずに長く、頸部が弱く括れ、口縁部が短く外反するもの。
- Ⅷ類 最大径を胴部中～下半に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に短く外反するもの。
 - 1 口縁～頸部が無文のもの。
 - 2 無文のもの。
- Ⅸ類 最大径を胴部上半に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に外反し「く」の字状を呈するもの。
- Ⅹ類 最大径を胴部中位に持ち、頸部が括れ、口縁部が直線的に外反し「く」の字状を呈するもの。
- Ⅺ類 胴部が球形で頸部が長く、口縁部が短く外反するもの。
- Ⅻ類 球形～卵形を呈するもの。無文である。
- Ⅼ類 頸部内面に鏝がつくもの。

注口

- Ⅰ類 頸部が括れ、口縁部が外反し緩く内彎するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。丸底を呈する。
 - 1 口縁～肩部に矩形入組文、截痕列、注口部下にノ字文が施されるもの。
 - 2 口縁～肩部にC・X字文系文様、截痕列、注口部下に菱形・渦巻文などが施文されるもの。
- Ⅱ類 頸部が括れ、口縁部が外反し緩く内彎するもの。肩部に段はない。丸底を呈する。
- Ⅲ類 肩部から口縁部にかけて内彎するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。丸底を呈する。
- Ⅳ類 肩部から口縁部にかけて内彎するもの。肩部に段はない。丸底を呈する。
- Ⅴ類 頸部が括れ、口縁部が直線的に外反するもの。肩部に段が付き、水平に張り出す。肩～胴部は菱形を呈する。

Ⅵ類 頸部が括れ、口縁部が直線的に外反するもの。肩部に段はなく、突起列が付される。肩～胴部は菱形を呈する。

- 1 頸～胴下半部に磨消縄文（雲形文系）が施文されるもの。
- 2 胴下半部が平行沈線のみのももの。

Ⅶ類 肩部が水平で、注口部が垂直方向に付くもの。

Ⅷ類 小形で無文のもの。

なお、香炉については、出土数のごく少量のため分類していない。また、ミニチュア土器については、各器種を小型化したものとする観点から、各器種の分類を用いた。

註

- 註1 「齒列文」（岩文埋 1985）、「連珠文」「珠文帯」「珠文列」（林 1993・1995）、「刻み目文帯」（須藤ほか 1995）と呼称されるものに相当する。
- 註2 全器種を通じて、無文帯の上下端には平行沈線による区画を伴う。
- 註3 金子昭彦氏（金子 1995・1996）の口縁部突起分類における「Ⅳ群 2類 α類 b1類」にあたる。
- 註4 截痕が連続して一周せず、規則的なスパンで無載部分を有するものを「区画のある截痕列」とした。
- 註5 「ネガ截痕列」とでもいうべきもので、モチーフは「截痕列」に求められる。刺突は沈線幅内に収まらず、意図的に上もしくは下にずらして沈線幅外にはみ出す形で施文されるものが多い。
- 註6 「区画のあるネガ截痕列」とでもいうべきもので、モチーフは「区画のある截痕列」に求められる。沈線と刺突の関係は註5と同様。

2 土製品（第81～86図、第4表、写真図版74～80）

(1) 概要

出土総数・総重量は、112点・2,598.2gである。器種内訳は、土偶65点、土版2点、亀形土製品1点、キノコ形土製品1点、スプーン形土製品1点、舟形土製品？1点、スタンプ形土製品1点、耳飾8点、玉類3点、土器片円板13点、土器片球1点、土球1点、粘土塊8点、粘土紐1点、不明5点である。本報告では、102点・2,490.2gを掲載した。

(2) 土偶

61点掲載した（523～571・608～619）。およそ75%が遺物包含層内から出土したもので、土器型式と比較すれば大洞B2式～C1式並行と考えられる。当該期の土偶については金子昭彦氏による詳細な研究があり（金子 1990ほか）、観点は基本的にこれに従っている。

524～541・543・548・550～554・566・567・570・608・609・613～619は、いわゆる遮光器土偶と推定されるものである。眼部の残存しないものは既存出土例から類推した。524・527～529・548・608・615は、高さが15cmを超えると推定される大型の一群である。527と548は頭部が残存し、頭頂部に橋状把手が付く。眼部は沈線で表現され、周辺が隆帯で縁取られ仮面状を呈する。527は後頭部に蛇行沈線が垂下し、頸部に截痕列が施される。548の後頭部にはC字の沈線が施され、頸部は無文である。胸部に三角形の隆帯が付される。乳房は小さく、前を向く。524・528・529・608・615は頭部が残存しない。524は腰と脚の付け根に截痕列が廻る。胴部文様は菱形文系である。528は頸

部が無文である。乳房は大きく、若干垂れ気味である。529は肩部に2条の隆帯が平行し、乳房の周りに截痕列が廻る。608と615にも截痕列が施文される。539～541・551～554・566・567・609・613は高さが15cm以下と推定される小型の一群である。539・551・552・613は頭部が残存する。539と613は鼻が突出し、鼻孔2穴が作出される。539の頭頂部は三山状に突起するが、613は環状に突起し内部が凹む。551は頭頂部および耳がB字状に突起する。頸部には截痕列が廻る。552は頭頂部突起が小さく、顔は菱形に近い。540・541・553・554・566・567・609は、腹部から腰部にかけて山形の隆帯が付される。540・541・553・554はこの隆帯と絡んで腰部両脇がB字状に突起する。胴部文様は、前面（両脇腹）については540・553が渦巻文、541・566がC字文、554が重弧線文、567・609が無文、背面については540・541・554・が入組文、567はX字文、609は無文である。

以下、遮光器以外の土偶について記述する。比較的残存状態が良く、形態が判別できるものは、54・544～547・549・555～559である。542は頭部が作出されない。肩が張り、胴は窄まる。544は四股が作出されない。頭部は逆三角形で、鼻孔2穴が穿たれている。頸部から胴部にかけて正中線が垂下する。腕部から背面上位にかけて肥厚する。腹部が膨れており、妊婦を想像させる。局部には盲孔が穿たれる。545は頭部が比較的小さく、頭頂部は613と同形態を呈する。鼻孔は縦長に2穴穿たれる。胴部下半以下は前方へ屈曲するようである。546・547・556は高さ5cm以下と小さい。546は肩が張り、頭部は山形を呈する。顔部が縦位に出っ張る。腰部には山形の隆帯が巡った痕跡が残る。547・556は素文で、乳房が円形に突出する。547の後頭部には渦巻文が施される。549・558は眉から鼻が隆帯で突出する。555は全体形が長三角形を呈する。頭部は菱形で、眼・口は刺突により表現される。腹部から腰部にかけて山形の隆帯が付される。557・559は座位を呈するものである。557の頭部は円形で、顔は平べったい。眉から鼻が一続きの隆帯で突出する。胴部背面には雲形文が施される。559は無文で、局部付近に小さい盲孔が施される。

(3) 土製耳飾

7点掲載した(574～579・621)。574～576・621は環状で、滑車形を呈する。574・621は楕円形で、彫去により前者は三叉状の、後者は環状の文様が施される。575・576はおそらく円形と推定され、無文である。577は耳栓形である。赤彩が施されている。578・579は鼓形である。

621を除き、すべて遺物包含層からの出土したものであるが、3a層以下からは出土していない。

(4) 玉類

出土した3点すべてを掲載した(572・573・620)。572・620は管玉である。572は端部が窄まる形態を呈する。土錘に似るが、赤彩が施されており、装飾品と判断した。620は棒状を呈する。573は勾玉で、一方の端部が穿孔されている。

(5) 土版

出土した2点いずれも掲載した(580・581)。渦巻文が主体的に施文される。580には菱形文も見られる。

(6) その他土製品

582は亀形土製品である。腕部に指?を表現するための刻みが施されるほかは無文である。長軸方向に貫通孔が穿たれる。583は舟形を呈するもので、底面中央および側面に貫通孔が穿たれる。下部

3 石器

が欠損しており、本来の形態を推定することができない。香炉形などの精製土器の頂部、もしくは土偶の頭頂部装飾の可能性もある。584 はスプーン状土製品、585 はキノコ形土製品である。586 はスタンプ形土製品で、棒状を呈する。全体に断面三角形の刺突が施される。

(7) 土器片円板

土器片を転用して扁平な円盤形に作出されたものを、八木勝枝氏の見解（八木 2002）に従い土器片円板とした。11 点掲載している（522・593～601・623）。遺物包含層から 9 点出土したが、その出土層位に偏りはなく、下位から上位まで包含していた。素材はすべて胴部片である。周縁痕跡は、593・598・623 は打ち欠き痕が、522・594～597・599～601 はスレ痕が認められた。また、595～597・600 の平面中央部には穿孔が、594 の同部には盲孔が認められる。

(8) 土器片球・土球

土器片を転用して球形に作出されたものを土器片球、粘土塊を球形に整形したものを土球とした。いずれも 1 点ずつの出土である（土器片球 588・土球 589）。588 の素材は底部片で、周縁痕跡はスレ痕である。589 の表面は滑らかで、調整痕等は確認されない。

(9) 粘土塊・粘土紐

6 点掲載した（602～607）。602 は粘土紐で、左方向によじれている。粘土塊のうち、604 は扁平で湾曲する。

3 石器（第 87～106 図、第 5 表、写真図版 81～102）

(1) 概要

石器（ツール）の出土総数・総重量は 1,272 点・301,689.1 g で、このほか剥片および素材が 37,636.2 g 出土している。ツール 1,272 点の器種内訳は、石鏃 84 点、尖頭器 1 点、尖頭状石器 13 点、石錐 42 点、石匙 19 点、スクレイパー類 110 点、楔形石器 29 点、石篋 3 点、二次加工ある剥片 92 点、使用痕ある剥片 15 点、異形石器 4 点、器種不明剥片石器片 14 点（両面調整 12 点、石器片 2 点）、石核 124 点、打製石斧 7 点、磨製石斧 84 点、片面礫器 7 点、両面礫器 14 点、石核石器片 40 点、石錘 5 点、磨石 30 点、敲石 331 点、凹石 140 点、砥石 2 点、石皿 14 点、台石 27 点、円礫 20 点、不明礫石器片 1 点である。

なお、本報告では 333 点・91,478.6 g を掲載した。

(2) 石鏃

分類 鈴木道之助氏（鈴木 1991）を用いた。本遺跡出土品は、凸基有茎、平基有茎、凹基有茎、平基無茎、凹基無茎、円基の 6 種である。

35 点を掲載した（634・638～669・927・928）。84 点の分類内訳は、凸基有茎 50 点、平基有茎 11 点、平基無茎 3 点、凹基有茎 1 点、凹基無茎 1 点、円基 1 点、欠損のため不明 7 点、未製品 10 点である。有茎鏃と無茎鏃の比率をみると、分類不明および未製品を除けば 93% が有茎鏃である。無茎鏃は、遺物包含層 3a 層と 2b 層、基本層序 IV 層から出土している。

石材は、めのうが 2 点、珪質頁岩と赤色頁岩が各 1 点あり、これ以外はすべて頁岩である。頁岩に

分類されるもののうち3点は軟質で脆く、実用品とは考えにくい(640・662など)。これらは他に比して幅広である。

(3) 尖頭器・尖頭状石器

尖頭状石器3点を掲載した(670・671・929)。尖頭器、尖頭状石器共通の特徴として、調整が浅く、縁辺付近に止まることが挙げられる。

尖頭器の石材は頁岩である。尖頭状石器は、凝灰岩が1点、頁岩が12点である。凝灰岩製のもの(670)は軟質で脆いため、石鏃640などと同じく実用品とは考えにくい。

(4) 石 錐

分類 刃部および基部の形態で分類した。

- 1類 刃部が長く、刃部 > 基部を呈するもの。
- 2類 刃部が基部より短く、その境目が明瞭で基部が幅広なもの。
- 3類 刃部と基部の境目が不明瞭で、全体形が棒状を呈するもの。
- 4類 刃部と基部の境目が不明瞭で、全体形が三角形を呈するもの。

16点を掲載した(635・672~685・930)。42点の分類内訳は、1類4点、2類10点、3類10点、4類11点、欠損のため不明6点、未製品1点である。分類と出土地点・層位の間特別な傾向は見られない。

石材は、すべて頁岩である。

(5) 石 匙

分類 つまみ部および刃部の形態で分類した。

- 1類 つまみ部が2つあるもの。
- 2類 刃部の縦横比が2倍以下のもの。さらに平面形態で細分する。
 - 2a 方形から三角形基調のもの。
 - 2b 円形基調のもの。
- 3類 刃部の縦横比が1:2以上のもの。いわゆる「横型石匙」。
- 4類 刃部の縦横比が2:1以上のもの。いわゆる「縦型石匙」。

10点掲載した(636・686~694)。19点の分類内訳は、1類1点、2a類6点、2b類1点、3類7点、4類2点、欠損のため不明2点である。分類と出土地点・層位の間特別な傾向は見られない。

石材は、遺物包含層2a層出土の2a類1点のみが珪質頁岩であり、その他の18点はすべて頁岩である。

(6) スクレイパー類

分類 刃部角により、45°以下のものを削器、それ以上のものを搔器と分類した。また、前者のうち、刃部が大きく抉れるものを抉入石器と細分した。なお、本器種には、本器種と同様の刃部形態を呈する別器種の欠損品を含んでいる可能性がある(例えば石匙のつまみ部欠損品など)。

14点掲載した(695~707・931)。110点の分類内訳は、削器91点、搔器18点、抉入石器1点である。抉入石器は遺物包含層A'層から出土したものである。削器および搔器の出土地点・層位に偏りは見られない。形態はさまざまで、刃部形成部位も厚手で不向きとなる打点側に少ない以外は規格性

3 石器

が確認されない。これは、素材剥片が多様であることに起因するものと考えられる。

石材は、削器に珪質頁岩が2点、緑色頁岩・チャート・ホルンフェルスが各1点あるほかは、すべて頁岩である。

(7) 楔形石器

両極石器、ピエス・エスキューなどとも呼ばれるものである。

分類 打面形態（断面形態）と打面数で分類した。

- 1 類 打面が線状を呈し、断面形が凸レンズ形を呈するもの。
 - 2 類 一方の打面が面を成し、断面形が三角形基調を呈するもの。
- さらに、両類とも打面数で細分する。
- a 打面数が1つ（1対）のもの。
 - b 打面数が2つ（2対）のもの。

6点掲載した（708～711・932・933）。29点の分類内訳は、1a類14点、1b類4点、2a類8点、2b類2点、欠損のため不明1点である。分類と出土地点・層位の間には特別な傾向は見られない。

石材は、遺物包含層3a層出土の1b類にめのが1点あるほかは、すべて頁岩である。

(8) 石 錠

3点出土し、すべて掲載した（624・712・934）。いずれも刃部調整が粗いような印象を受ける。出土点数が少ないことを併せて考えれば、一般的な器種ではなかった可能性がある。

石材は、頁岩2点、チャート1点である。

(9) 二次加工ある剥片・使用痕ある剥片

刃部調整と思われる剥離が1辺の2分の1に満たないもの、もしくは連続しないものを二次加工ある剥片に、剥離調整とは異なる微細剥離のみが確認されるものを使用痕ある剥片に分類した。

二次加工ある剥片1点（713）、使用痕ある剥片2点（714・715）を掲載した。両器種ともさまざまな剥片を素材として使用している。出土地点および層位に偏りは見られない。

二次加工ある剥片の石材は、めのが2点、赤色頁岩が1点あるほかはすべて頁岩である。使用痕ある剥片はすべて頁岩である。

(10) 異形石器

出土した4点すべてを掲載した（716～718・935）。平面形は、716・717が十字形を、718が三叉形を、935はミニチュアの石匙のような形態を呈する。十字形のは石鏃あるいは石錐の可能性もあるが、石鏃であれば刃部の作りと厚さ、石錐であれば器長がそれぞれ異なる。

石材は、すべて頁岩である。

(11) 石 核

分類 剥離技法で分類した。

- 1 類 通常剥離のもの。
 - 2 類 両極剥離のもの。
- さらに、両類とも打面、作業面の取り方と全体形態で細分する。

- a 打面が隣接面に複数回転移されサイコロ形を呈するもの。
- b 1打面が平坦（甲板状）で断面が逆三角形（舟形）を呈するもの。
- c 打面の厚さが狭く、板形を呈するもの。
- d 周縁から求心状の剥離がなされ、円盤形を呈するもの。
- e 小円礫を分割したもの。2類に限られる。

25点掲載した（625・626・632・637・719～736・936～938）。124点の分類内訳は、1a類4点、1b類10点、1c類2点、1d類3点、2a類26点、2b類21点、2c類43点、2d類5点、2e類9点、不明1点である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間にも特別な傾向は見られない。

石材は、頁岩、珪質頁岩、赤色頁岩、めのう、チャート、赤色チャート、石英が用いられている。その点数と分類の関係は、頁岩94点（1a類3点、1b類8点、1c類2点、1d類2点、2a類23点、2b類17点、2c類32点、2d類2点、2e類4点、不明1点）、珪質頁岩2点（2c類2点）、赤色頁岩2点（2a類1点、2e類1点）、めのう3点（1b類1点、2c類1点、2e類1点）、チャート19点（1b類1点、1d類1点、2a類2点、2b類4点、2c類7点、2d類3点、2e類1点）、石英3点（2c類1点、2e類2点）である。頁岩は1類が一定量認められるが、他は2類が大半を占める。硬度と原石の大きさが影響しているものと思われる。

（12）打製石斧

1点掲載した（737）。出土点数が7点と少なく、かつこの中に未製品を3点含む。調整痕跡の中に敲打や磨りが観察されないものを本器種として登録しているが、剥離調整段階で廃棄された磨製石斧の未製品である可能性もある。出土地点は、遺物包含層3b層・3a層・2b層と比較的包含層の下位に集中している。

石材は、軟質の頁岩2点、緑色頁岩、はんれい岩、ホルンフェルス、デイサイト、砂岩が各1点である。

（13）磨製石斧

9点掲載した（627・738～745）。84点出土しているが、完形品は10%に満たない。大半は欠損品もしくは未製品である。このため、分類は実施しなかった。739のような全面磨り整形のものは極めて稀で、738のように剥離調整痕、敲打調整痕が残るものが大半である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間にも特別な傾向は見られない。

石材は、はんれい岩、玢岩が各25点、閃緑岩21点、安山岩、砂岩、蛇紋岩が各3点、デイサイト2点、頁岩、アプライトが各1点である。

（14）礫器類

分類 剥離面により片面礫器と両面礫器に分類した。

片面礫器2点（746・747）、両面礫器8点（748～754・939）を掲載した。両面礫器753は赤色顔料が付着しており、この播り潰し作業に用いられていたものと考えられる。なお、両器種とも出土地点や層位に偏りは見られない。

石材は、片面礫器にはデイサイト2点、頁岩、ホルンフェルス、閃緑岩、玢岩、はんれい岩が各1点、両面礫器にはデイサイト4点、玢岩3点、砂岩、はんれい岩が各2点、チャート、蛇紋岩、安山岩が各1点用いられている。

3 石器

なお、石斧類もしくは礫器類の未製品と推定されるものが40点出土しており、これを石核石器片と分類し登録している。これらも地点や層位に偏りなく出土しており、石材種も花崗閃緑岩と斑岩が見られるほかは同傾向を示す。

(15) 石 錘

3点掲載した(759・760・940)。出土点数が5点と少ないため、傾向等は不明である。
石材は、安山岩3点、頁岩2点が用いられている。

(16) 磨 石

磨面が卓越する石器である。本器種の用途は「磨る」と「敲く」が複合しているものであり、その痕跡が「磨痕 > 敲打痕」であるものを本器種として登録した。

分類 磨面の位置と全体形態で分類した。

- 1類 長軸端に磨面を持つもの。
- 2類 ほぼ全面に強度の磨面が形成され、面間の境界(稜線)が明瞭なもの。
- 3類 全体に均等な磨面が形成され、円礫状を呈するもの。
- 4類 側縁に磨面が形成され、直線化しているもの。

10点掲載した(628・761~769)。30点の分類内訳は、1類3点、2類12点、3類9点、4類4点、欠損のため不明2点である。本器種自体は各地点・層位から出土しており、分類と出土地点・層位の間にも特別な傾向は見られない。なお、磨面に赤色顔料が付着しているものがあり(628・765・766など)、この播り潰し作業にも用いられていたものといえる。

石材は、デイサイト、安山岩、花崗閃緑岩、砂岩、閃緑岩、花崗岩、斑岩、蛇紋岩、凝灰岩、頁岩、チャートが用いられている。その点数と分類の関係は、デイサイト12点(2類6点、3類4点、4類1点、不明1点)、安山岩3点(2類3点)、花崗閃緑岩3点(1類1点、3類2点)、砂岩2点(2類、4類各1点)、閃緑岩2点(1類、不明各1点)、花崗岩2点(3類、4類各1点)、斑岩2点(3類、4類各1点)、蛇紋岩1点(2類)、凝灰岩1点(2類)、頁岩1点(3類)、チャート1点(1類)である。

(17) 敲 石

今次調査において出土数の最も多い器種である。磨石と同じく、本器種も「敲く」「磨る」の両行為が混合したものが大半である。登録においては、使用痕跡が「敲打痕 > 磨痕」となるものを本器種とした。

分類 敲打面の位置と全体形態で分類した。

- 1類 長軸端に敲打面を持つもの。
- 2類 長軸端および側縁に不連続な敲打面を持つもの。
- 3類 ほぼ全面に強度の敲打面が形成され、面間の境界(稜線)が明瞭なもの。いわゆる「多面体敲石」。
- 4類 周縁に敲打面を持ち、平面形が円形基調となるもの。「円盤状石製品」、「板状石器」と呼ばれているものを含む。出土数量が多く、かつ製作・使用各過程の資料が確認されたことから、この2種を含めたすべてが敲石の一形態であると把握した。敲打の状態および剥離調整の有無により細分する。
 - a 敲打が浅く、弱いもの。石器としての初期段階と思われる。

- b 高頻度の敲打により周縁が「面化」したもの。
- c 周縁の整形を目的とした剥離調整が施されたのち、敲打面が形成されているもの。
- d 周縁の整形を目的とした剥離調整のみ行われているもの。いわゆる「板状石器」。

129点掲載した(629・631・633・770～882・941～953)。331点の分類内訳は、1類42点、2類93点、3類16点、4類148点(4a類35点、4b類26点、4c類70点、4d類17点)、不明32点である。注目されるのは、4類の多さである。2類の多さも目立つが、これは4類の極初期段階形態である可能性がある。4類には、特徴的な点がいくつか確認される。まず、平面中央にタール・アスファルト状の黒色物の付着が観察されるものが多いこと。また、平面周縁部に赤色顔料が付着するものもみられる(822など)。後者は使用対象物に関する痕跡と捉えられる。いっぽう前者は、付着箇所が敲打面ではなく平面中央に限定されることから、装着痕跡の可能性が指摘される。

特徴的な素材として、磨製石斧の欠損品を転用したものがある。(770など)

本器種および各分類種ともに出土地点・層位に偏りは見られない。

石材の内訳は、デイサイト83点、はんれい岩53点、玢岩41点、安山岩30点、閃緑岩29点、砂岩28点、頁岩、チャート各14点、花崗岩、斑岩各11点、蛇紋岩4点、珪質頁岩、花崗閃緑岩、ホルンフェルス各3点、凝灰岩2点、細粒閃緑岩、礫岩各1点である。

(18) 凹 石

36点掲載した(883～916・954・955)。凹みの形成される位置や数はさまざまである。磨石や敲石と複合するものも少なくない(883・892など)。赤色顔料の付着が確認されるものがあり(910など)、磨石、敲石などと同じく顔料の播り潰し作業にも用いられていたものといえる。

出土地点に偏りは見られず、各地点・層位から出土している。

石材の内訳は、デイサイト70点、安山岩(スコリア含む)40点、砂岩10点、花崗岩7点、玢岩5点、斑岩3点、凝灰岩2点、アプライト、はんれい岩、花崗閃緑岩各1点である。スコリアが用いられるのは本器種と台石のみである。

(19) 砥 石

出土総数が2点と少ない。うち1点を掲載した(917)。917は砥面が溝状に形成されており、細いものを整形するための道具と推定される。

石材には砂岩と頁岩が用いられている。

(20) 石 皿

3点掲載した(918～920)。920には砥石917と同様の溝が形成されており、砥石としても使用されたものと推定される。

石材の内訳は、凝灰岩8点、砂岩5点、デイサイト1点である。軟質の石材を選択している。

(21) 台 石

8点掲載した(630・921～926・956)。遺物包含層での出土層位は2b層以下に限られる。ただし、出土点数が少ないため本来的な傾向を示すものかは不明である。921は平面中央部に赤色顔料の付着が確認され、この播り潰し作業にも用いられていたものといえる。

石材の内訳は、安山岩12点、デイサイト8点、花崗岩、閃緑岩各2点、玢岩、凝灰岩、砂岩各1

点である。

(22) 円 礫

球形を呈する転礫で、加工および使用痕跡の確認されないものを円礫として登録した。直径は5 cm前後のものが大半である。赤色顔料の付着しているものが1点あり、磨石、敲石に分類されるべきものを含むと考えられる。石質は全てデイサイトである。

4 石 製 品 (第107~111図、第6表、写真図版103~107)

(1) 概 要

出土総数・総重量は、95点・6,687.0gである。器種内訳は、岩偶5点、岩版33点、石棒類19点、円盤状石製品17点、磨製石斧(ミニチュア)3点、有孔石製品6点、有溝石製品3点、石皿様石製品1点、石球7点、不明1点である。このうち、81点・5,810.0gを掲載した。

(2) 岩 偶

出土した5点すべてを掲載した(973~976・1027・1028)。973は円柱状で、端部および側面全体に渦巻文様が施される。石材は凝灰岩である。975は頭部で、眼が円形の沈線で、口が三角形の沈線で表現される。後頭部には渦巻文様が、頭頂部および頸部には棘状文様が施される。石材は凝灰岩である。976は四股の一部と思われるもので、渦巻文様が施文される。石材は軟質の頁岩である。1027は円柱状に加工されており、文様はない。素材と考えられるものである。石材は凝灰岩である。

本器種の石材は、凝灰岩と軟質の頁岩の2種に限られる。

(3) 岩 版

分類 平面形で分類した。

- 1類 方形を基調とするもの。
- 2類 三角形を基調とするもの。
- 3類 円形を基調とするもの。

31点掲載した(977~1003・1029~1032)。33点の分類内訳は、1類12点、2類2点、3類5点で、その他14点は欠損のため不明である。1類は弧線文や渦巻文様の施文されるものが大半である。比較的残存状態のよい977には、正中線が確認される。唯一完形で出土した978は文様が少なく、正面上位に回転盲孔が施されるほかはほとんど文様がない。いっぽうで文様以外の痕跡が顕著で、右側縁には剥離痕が、裏面中央には敲打痕が確認される。2類のうち、989には某かの沈線が確認されるが、不規則である。1030は無文である。3類も文様が少ない。991は大きな浅い盲孔が施される。992は沈線が密集する部分があるが、詳細不明である。

石材の内訳は、凝灰岩が23点と圧倒的に多く、軟質の頁岩7点、デイサイト、めのう、軽石が各1点である。

(4) 石 棒 類

いわゆる石棒、石剣、石刀を石棒類としてまとめた。完形品は皆無である。15点掲載した(959~972・1026)。964は大形石棒の端部である。967・970・971は頭部が作り出されるもので、胴部断面

形は967と970が楕円形、971は方形を呈する。

石材の内訳は、頁岩7点、はんれい岩、閃緑岩各2点、粘板岩、輝緑凝灰岩、凝灰岩、ホルンフェルス、デイサイト、蛇紋岩、玢岩、軽石各1点である。

(5) 円盤状石製品

側縁を剥離もしくは磨りによって整形し、平面形が円盤状を呈するものである。平面形態的には、円盤状を呈する敲石と同形態である。しかし、大きさ、厚さ、側縁の形態（整形状態）、石材の強度から敲石としての使用に疑問符がつくもので、使用ではなくその形態作出に意味があると捉えたものを円盤状石製品として登録した。分類基準は、石材が軟質で敲打作業に不適格であるものは大きさ・厚さ関係なく側縁の整形状態を基準とし、石材が硬質のものは概ね直径5cm以下、厚さ1cm以下のものを基準とした。

9点掲載している（957・958・1004～1006・1033～1036）。958・1034・1036の側縁は磨り整形され、平面との境に稜がなく滑らかである。1035は逆に磨り整形で平面との間に明瞭な稜が作出され、断面形は台形を呈する。これら以外はすべて剥離整形である。

石材の内訳は、凝灰岩5点、軟質の頁岩3点、安山岩、閃緑岩、デイサイトが各2点、赤色頁岩、はんれい岩、礫岩が各1点である。

(6) 有孔石製品

孔の穿たれているものをすべて本群に登録した。出土した6点すべてを掲載している（1007～1012）。1007は扁平な三角形？状の細長い形態を呈すると推定されるもので、短軸端に盲孔が施されている。沈線も確認されるが不明瞭である。側面は面取り加工される。石材は凝灰岩である。1008はアルファベット「B」のような形態を呈する。穿孔のほか、櫛がけ状に沈線が廻る。側面は面取り加工される。石材は軟質の頁岩である。1009・1010は扇形のような三角形を呈し、幅広部側が穿孔される。いずれも石材は軽石で、浮子と推定される。1011はボタン状を呈するもので、2孔である。平面は円形、断面はドーム状を呈する。石材は凝灰岩である。1012は管玉状を呈するもので、長軸両端から側面へ向かって孔が穿たれている。石材は緑色泥岩である。

(7) 有溝石製品

自然礫の平坦面に、溝状の凹部が形成されたものが遺物包含層中から複数出土した。凹石に似るが、その凹部とは平面形態および断面形態（V字形を呈する）が異なる。これは使用方法もしくは成形方法の違いを示すものである。石器としての機能を考えた場合、結果的にこのような痕跡が付く作業（砥石とも異なる痕跡）は想定し難い。筆者はこれを使用によるものではなく、意図的に成形した形状と捉え、本報告ではこの一群を「有溝石製品」として登録した。なお、本群の性格として、石製品における「凸」の道具＝石棒類に対する「凹」の道具（女性器？）という位置を推定している。

出土した3点すべてを掲載した（1013～1015）。1013は両面に、他は片面に溝が形成される。石材は、安山岩2点、アプライト1点である。

(8) 磨製石斧（ミニチュア）

磨製石斧と同形態のもので、長さが約5cm以下で実用品とは考えられないものを石製品として登録した。出土した3点すべてを掲載した（1016・1017・1037）。調整痕としては、1016は剥離と磨り、

5 動物遺存体

1037 は剥離・敲打・磨りが確認される。1017 は磨製石斧形というよりかつおぶし形を呈し、磨り整形のみ確認される。石材は 1016 が安山岩、1017 が粘板岩、1037 がはんれい岩とさまざまである。

(9) 石 球

球形に成形された石を本群に登録した。出土した7点すべてを掲載している(1019~1024・1028)。調整方法は主に磨りで、面をなすもの(1020・1023)となさないもの(1019・1021・1022・1024・1028)がある。

石材の内訳は、凝灰岩3点、軟質の頁岩2点、軽石(To-NbもしくはTo-Hと推定)2点である。

(10) そ の 他

1018 は長楕円形の転礫に大きな盲孔が施されたものである。石器としての実用性が疑われるため石製品として登録した。石材はデイスaitoである。

5 動物遺存体

遺物包含層中より出土したものである。乾燥重量は43.4gで、2・3区間目ベルトの2b・3a層および3区間目ベルトのA層土壌をそれぞれ120×50×50cm³・120×50×20cm³の範囲でコラムサンプリングし、土壌洗浄した結果得られた。検出された種は、イノシシ、ニホンジカ、ムササビ、ネズミ科、ホホジロザメ、アオザメ、サケ属、コイ科、ウグイ亜科で、骨角器片1点(鹿角製)、加工痕のある資料2点(ニホンジカ・イノシシ)を含む。詳細についてはVI章1節を参照いただきたい。

6 植物遺存体(写真図版108)

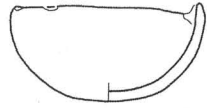
動物遺存体と同じく2・3区間目ベルトおよび3区間目ベルト採取土壌を土壌洗浄した結果得られた。乾燥重量は392.5gである。いずれも炭化している。検出された種は、オニグルミ、ツノハシバミ、ブナ科、コブシ、ヤマブドウ、トチノキ、コムギ、ムギ類、エノキグサの種実・種子である。なお、予算的な事情から種類の検出に主眼を置いたため、構成量・比は不明である。

同定作業を実施された吉川純子氏によれば、コムギとムギ類は古代以降のタイプに類似するとのことである。ただし、土壌採取地点に後世の攪乱は観察されず、縄文期以外の遺物は出土していないことから、単純に「混入」とは片付け難い。

7 土 師 器(第111図、第7表、写真図版108)

11G22グリッドII層から出土した(1038)。小型の長胴甕で、口縁部が直線的に外反し、底部はいくぶん外へ張り出す。胴部調整は、内面・外面ともにヘラナデである。器形から、奈良時代のものと推定される。なお、今次調査区から出土した縄文期以降の土器は、この1点のみである。

1号住居状遺構



1 (床面 P1)

2号土坑



3 (埋土下位)



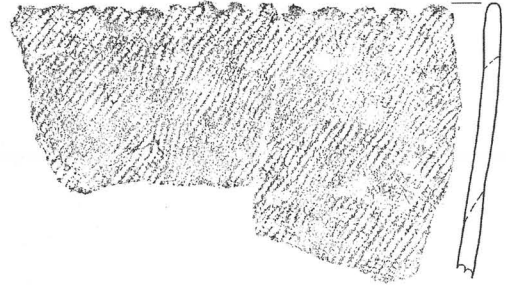
4 (埋土上位)

3号土坑

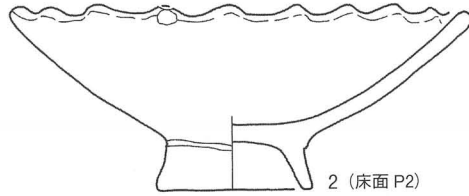


5 (埋土)

5号土坑



6 (埋土下位)

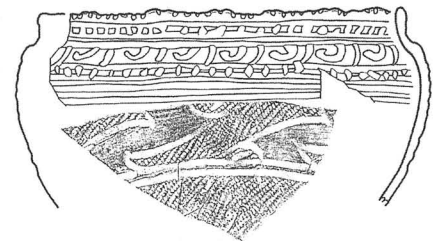


2 (床面 P2)

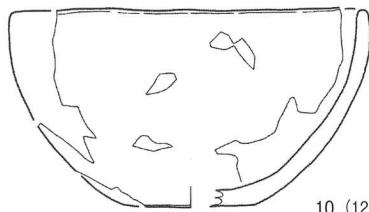
遺物包含層



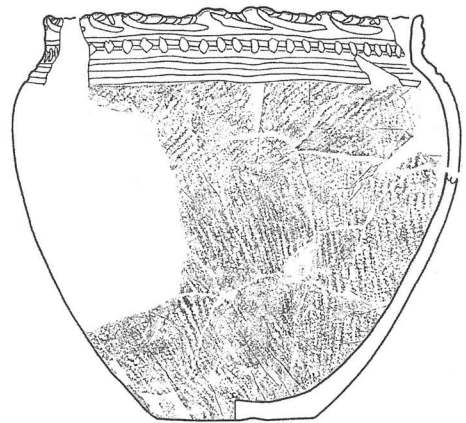
7 (12E4 A'層)



8 (12E4 A'層)



10 (12D24 A'層)

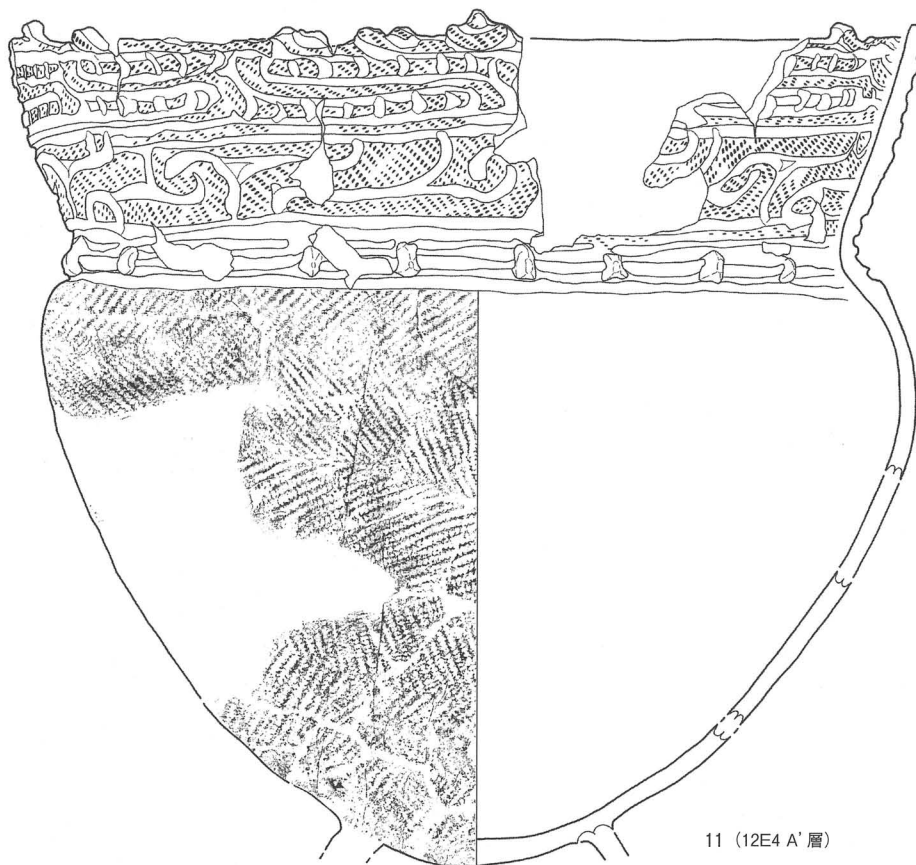


9 (12E4 A'層)

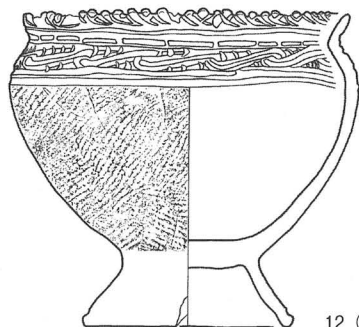
その他 0 1:3 10 cm

1・3・4 0 1:2 10 cm

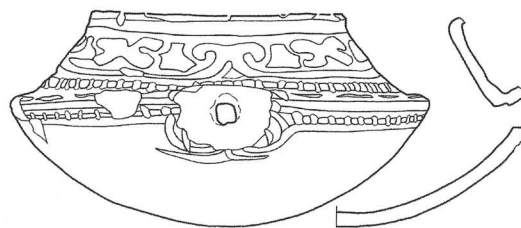
第34図 竪穴住居状遺構・土坑・遺物包含層出土土器(1)



11 (12E4 A'層)



12 (12E4 A'層)



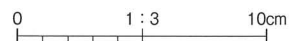
15 (12D24 A'層)



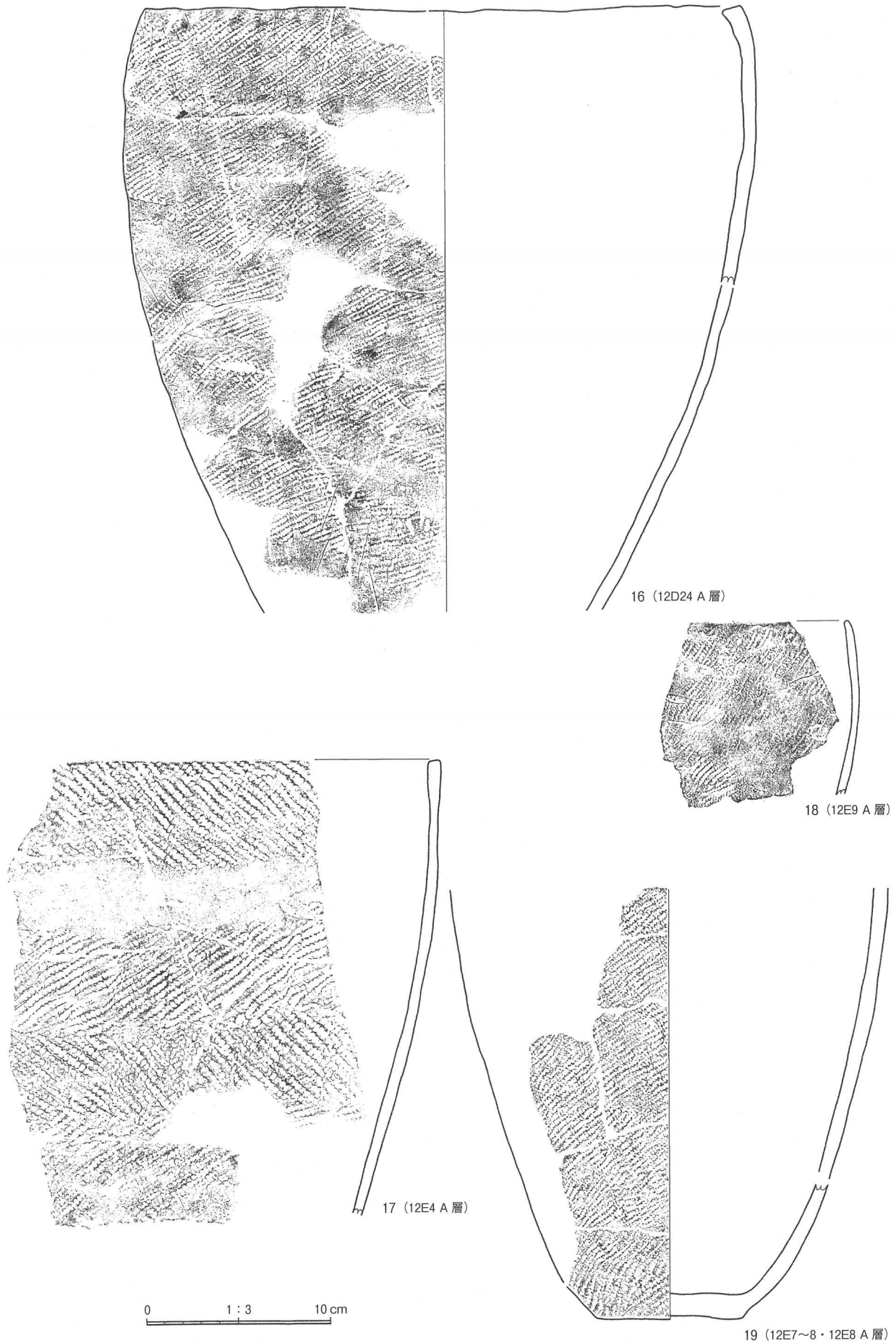
13 (12D24 A'層、12E4 A層)



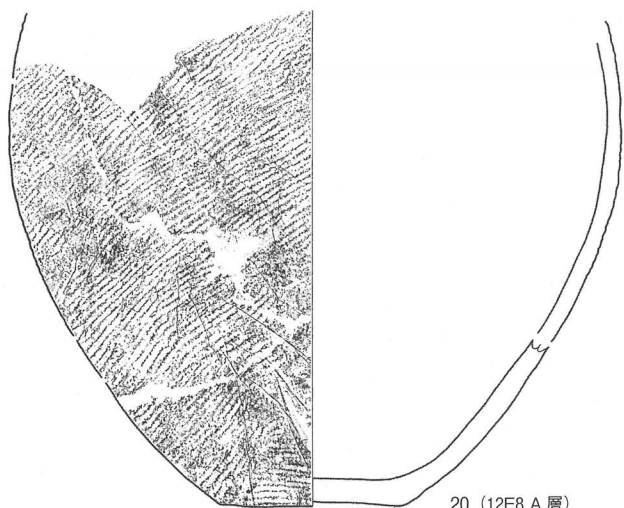
14 (12D24 A層・A'層)



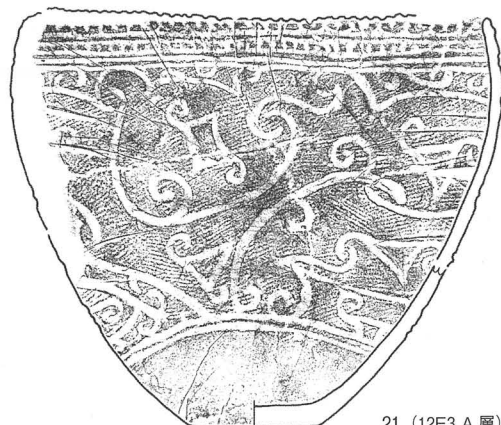
第35圖 遺物包含層出土土器 (2)



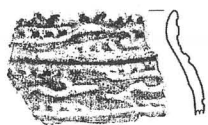
第36図 遺物包含層出土土器 (3)



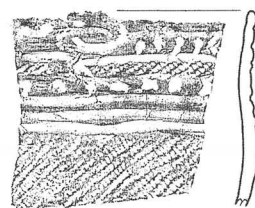
20 (12E8 A層)



21 (12E3 A層)



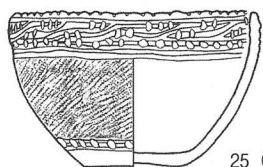
23 (12E4 A層)



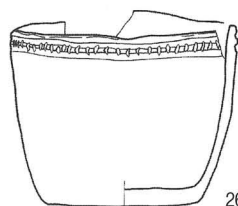
22 (12D24 A層)



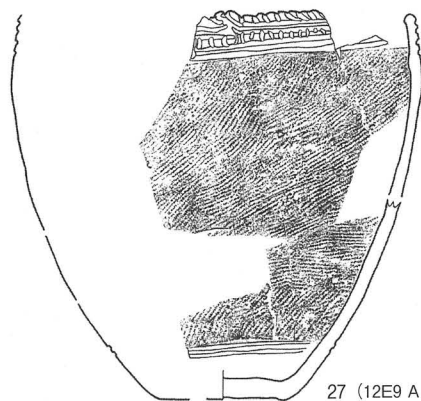
24 (12D24 V層上位
12E4 A層)



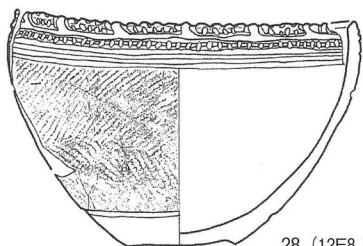
25 (12E3 A層)



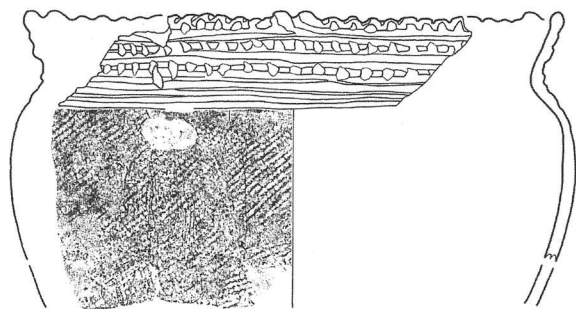
26 (12E3 A層)



27 (12E9 A層)



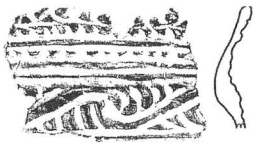
28 (12E8 A層)



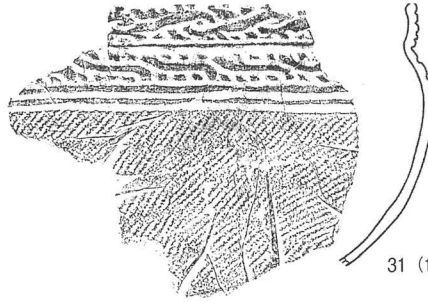
29 (12E4 A層)

0 1:3 10cm

第37図 遺物包含層出土土器 (4)



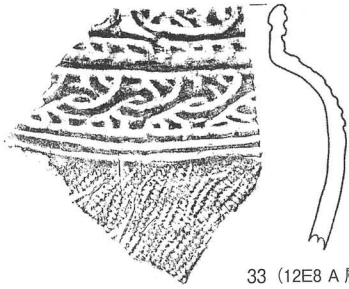
30 (12E3 A層)



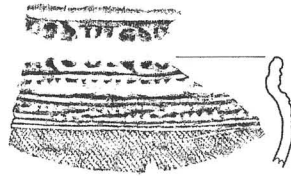
31 (12E8 A層)



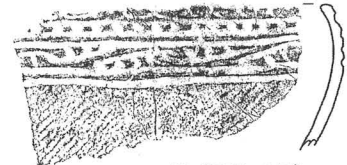
32 (12E9 A層)



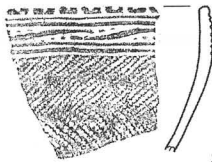
33 (12E8 A層)



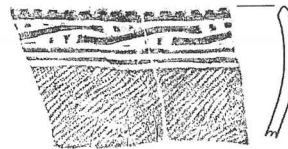
34 (12E3 A層)



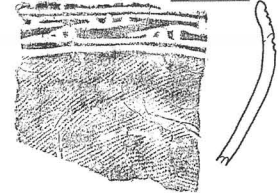
35 (12E8 A層
12E7 O層)



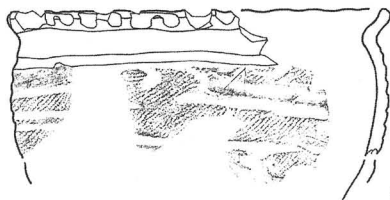
36 (12E4 A層)



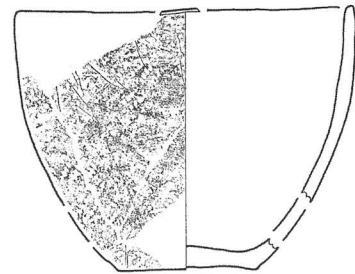
37 (12E3 · 12E7 A層)



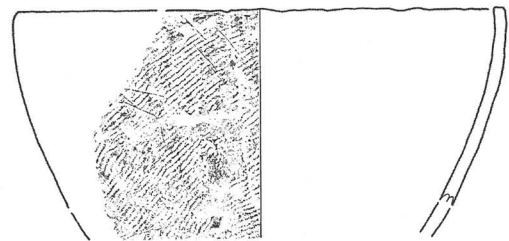
38 (12D24 A層)



39 (12E3 A層)



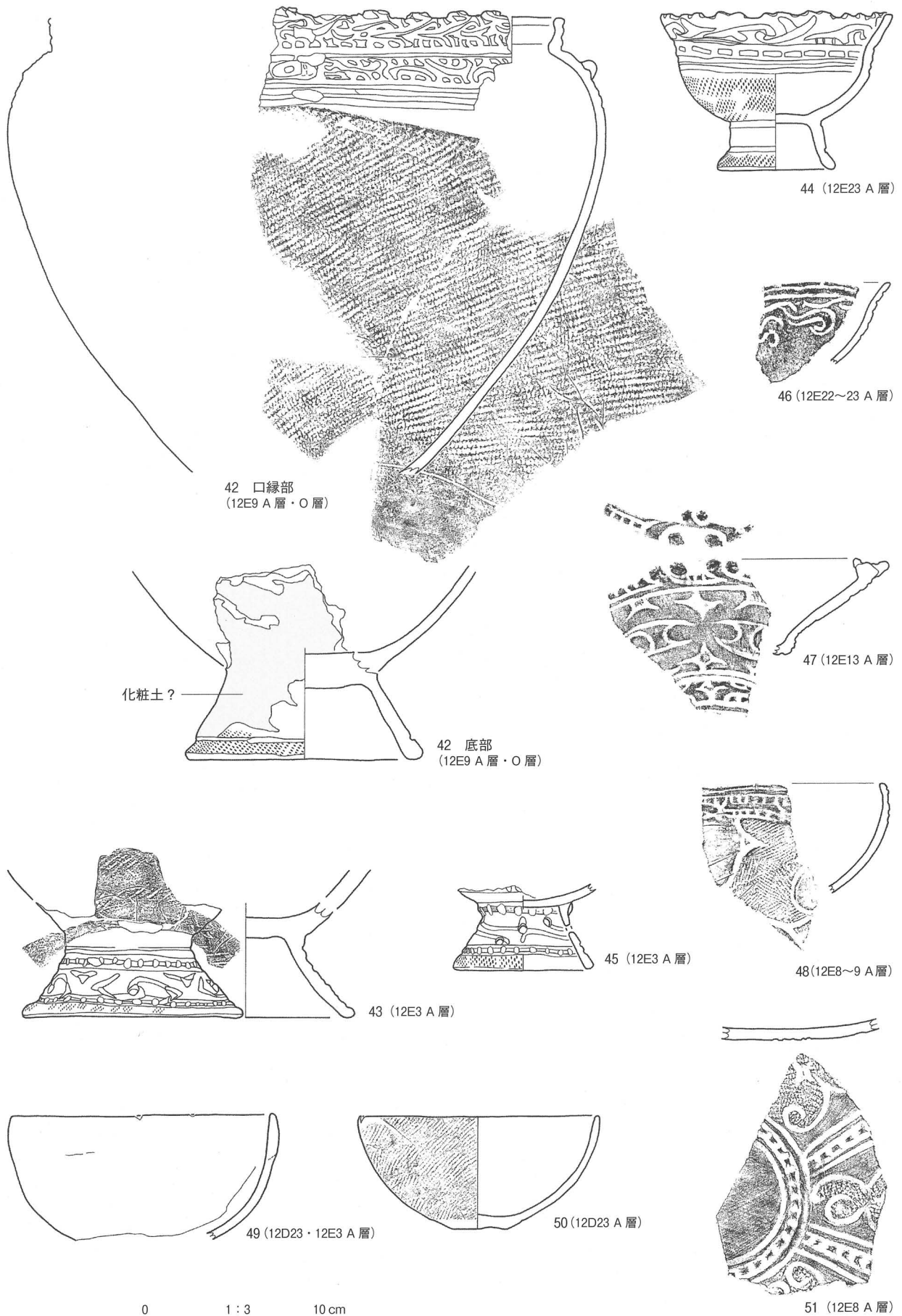
40 (12E4 A層 · IV~A層)



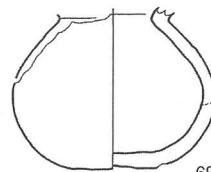
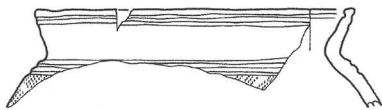
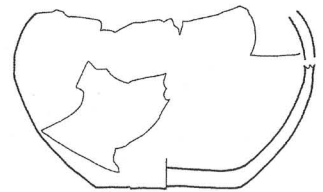
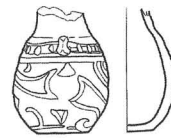
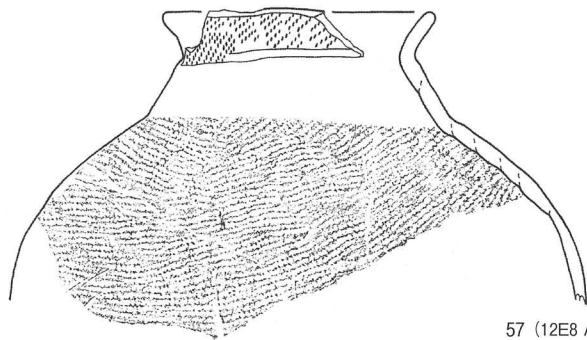
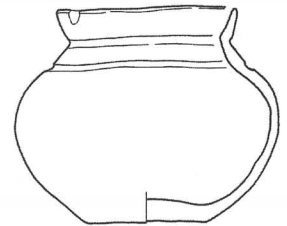
41 (12D23 A層)

0 1:3 10 cm

第38図 遺物包含層出土土器 (5)



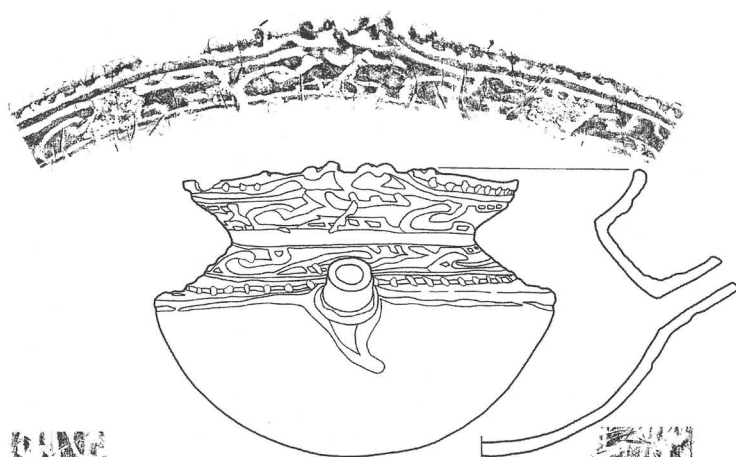
第39図 遺物包含層出土土器 (6)



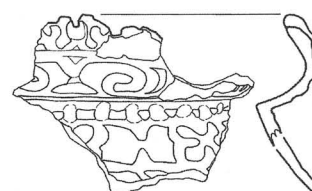
その他
0 1:3 10 cm

66~68
0 1:2 10 cm

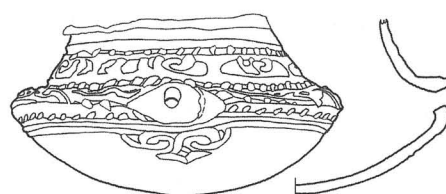
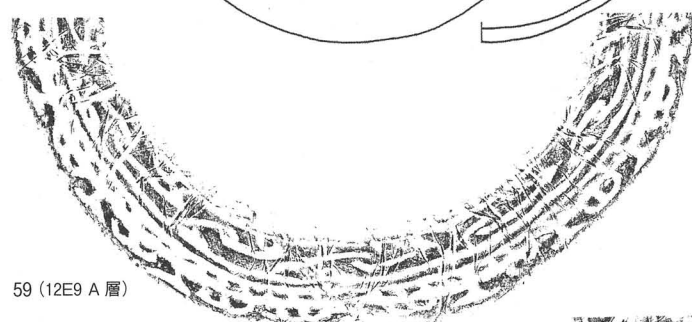
第40図 遺物包含層出土土器 (7)



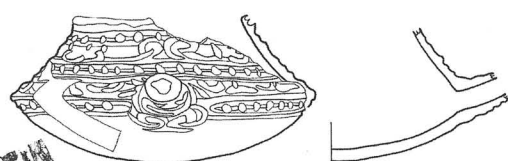
59 (12E9 A層)



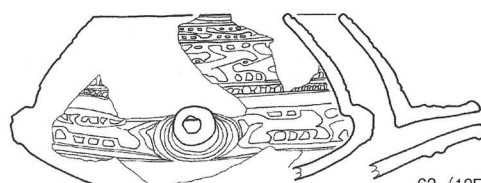
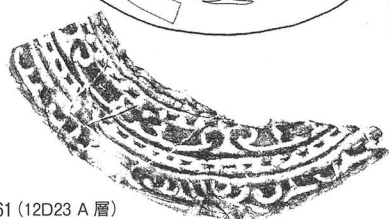
62 (12E3 A層)



60 (12E23 A層)



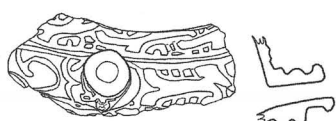
61 (12D23 A層)



63 (12E4 A層)



64 (12E4 A層)



65 (12E23 A層)

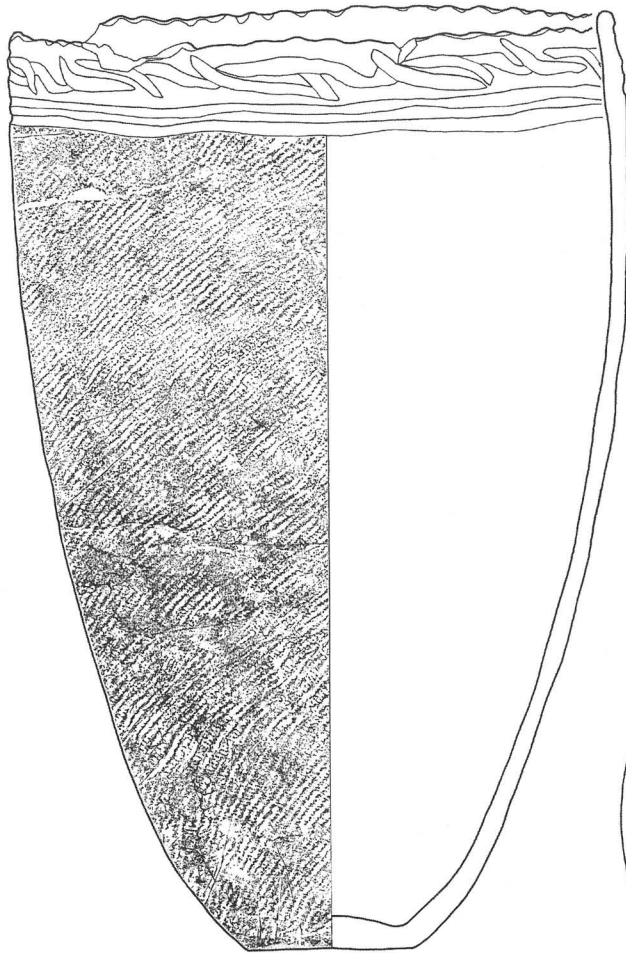


69 (12E4 A層)

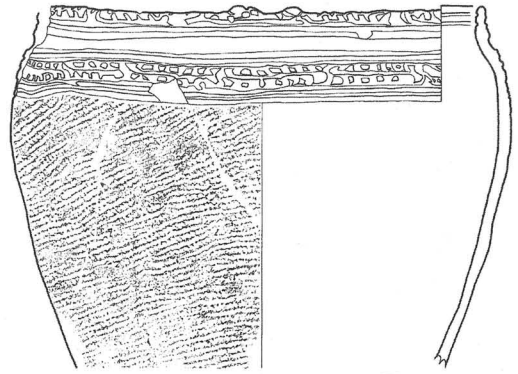
その他
0 1:3 10 cm

69
0 1:2 10 cm

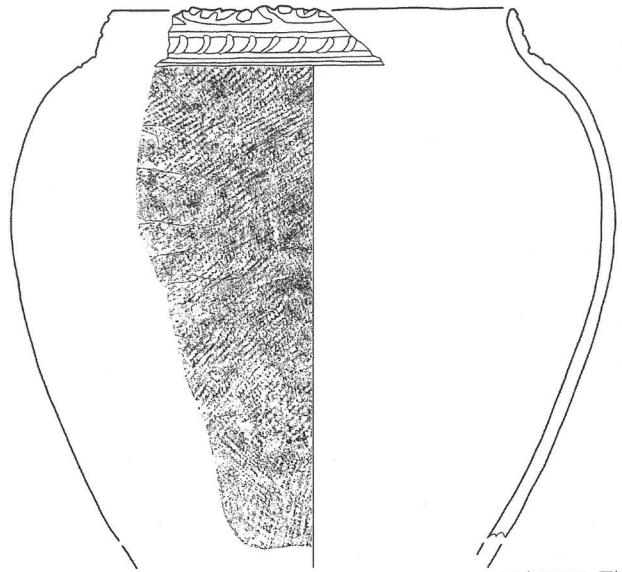
第41図 遺物包含層出土土器 (8)



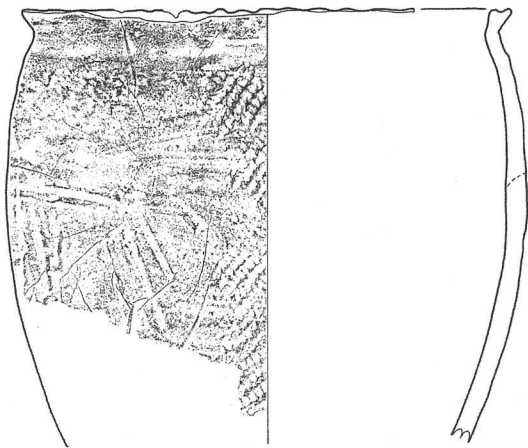
70 (12F11 3b~V層上位)



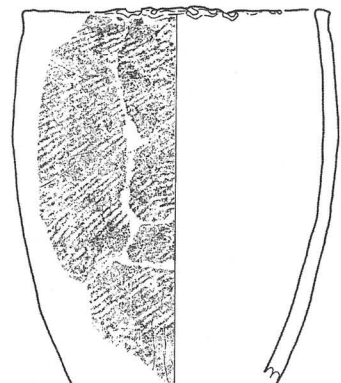
71
(12F17 3b層)



72 (12F7 3b層)



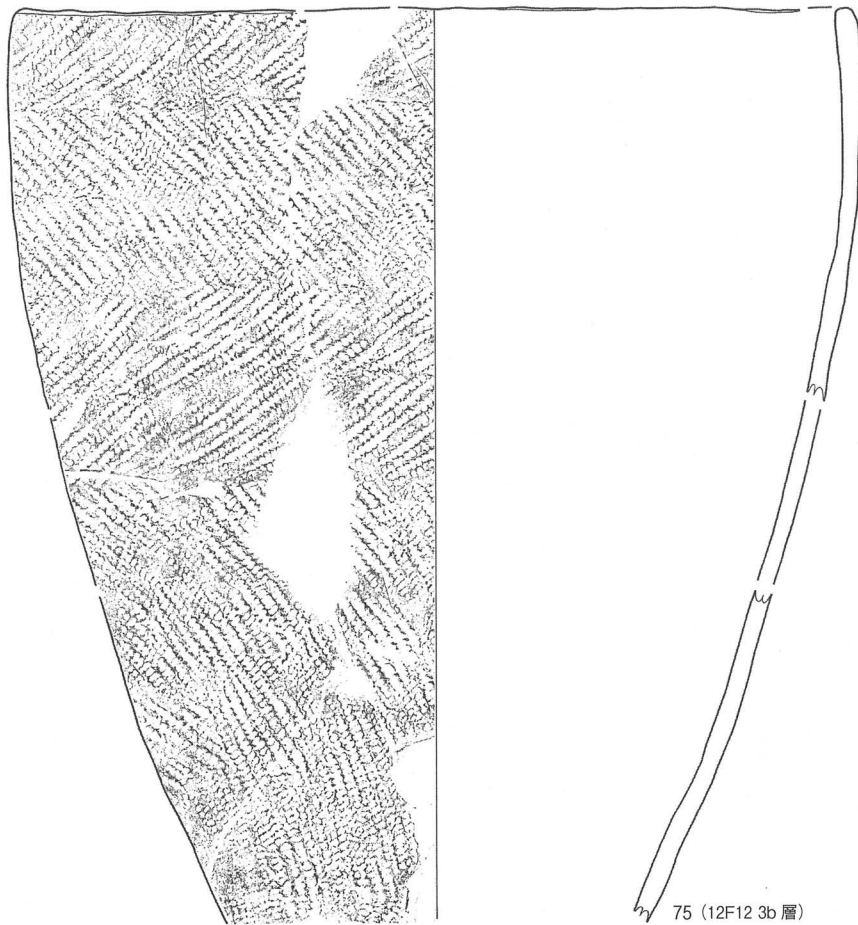
74 (12F11 3b層)



73 (12F17 3b層)

0 1:3 10 cm

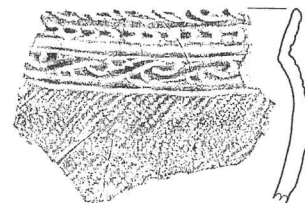
第42図 遺物包含層出土土器 (9)



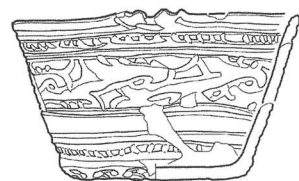
75 (12F12 3b層)



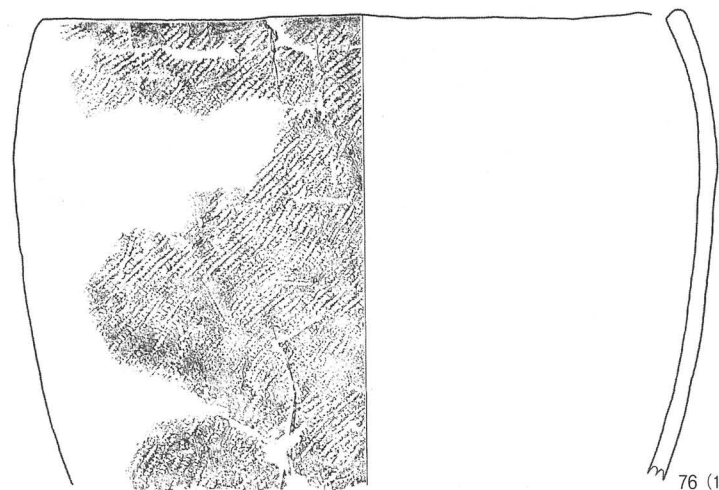
80 (12F17 3b層)



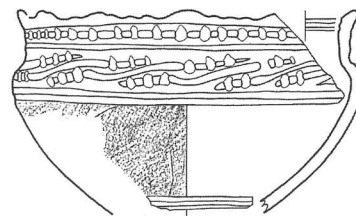
81 (12F17 3b層)



82 (12F11 3b層)



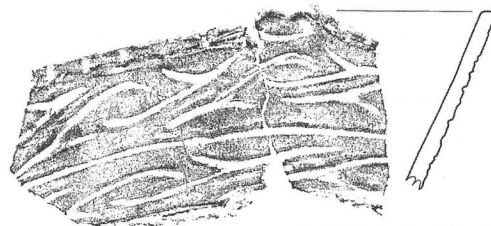
76 (12F12 3b層)



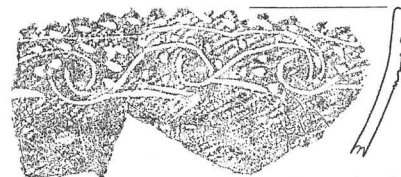
83 (12F12 3b層)



77 (12F12 3b層)



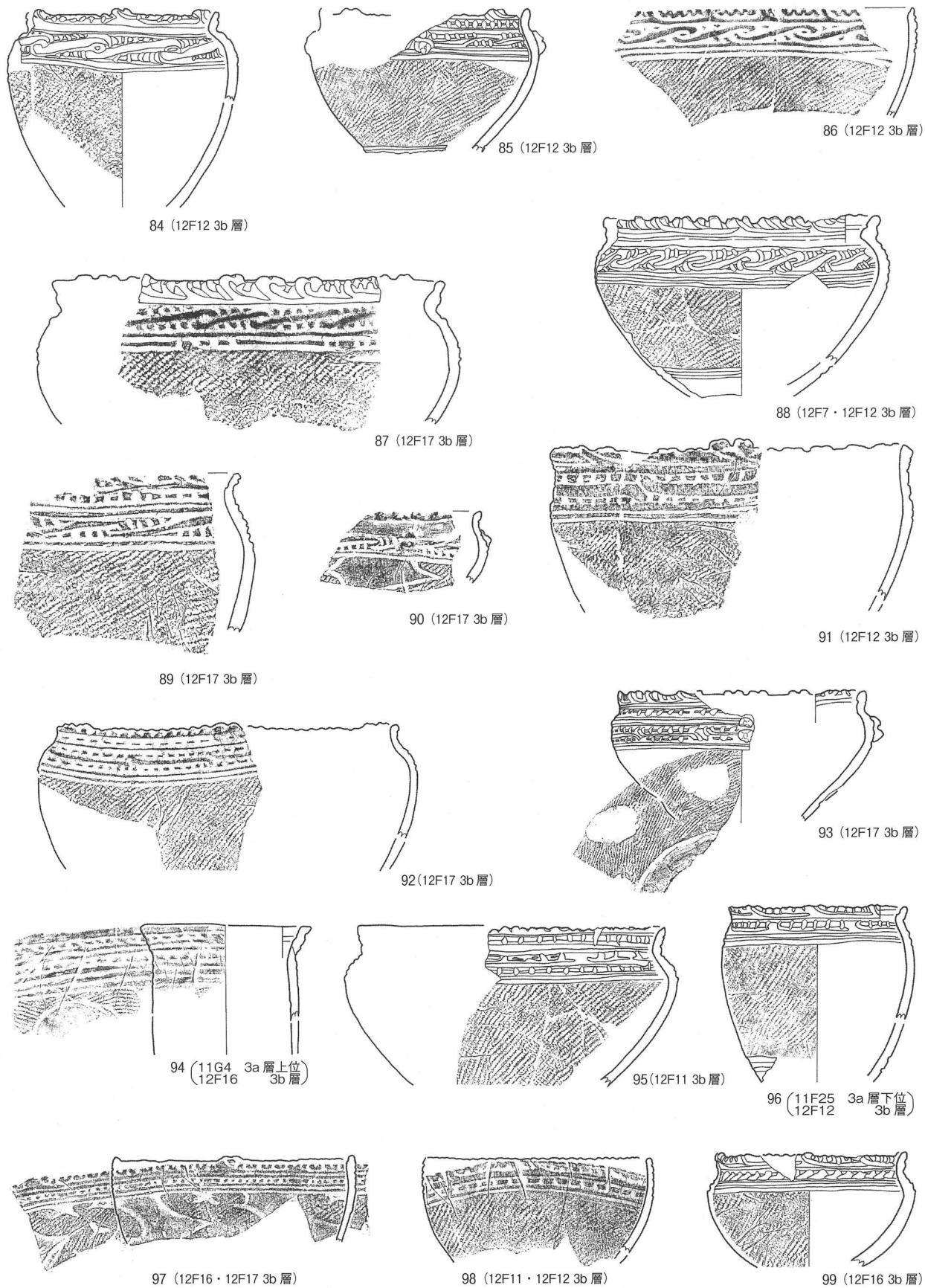
78 (12F11 · 12F12 3b層)



79 (12F12 3b層)

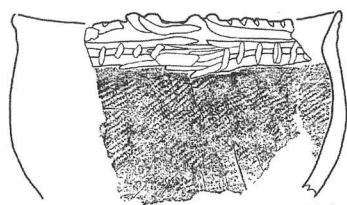
0 1 : 3 10 cm

第43図 遺物包含層出土土器 (10)

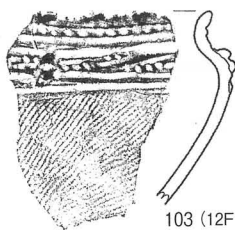


0 1:3 10cm

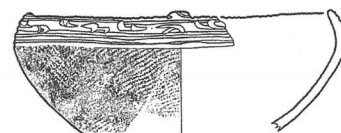
第44図 遺物包含層出土土器 (11)



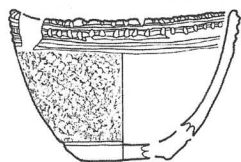
100 (12F11 3b層)



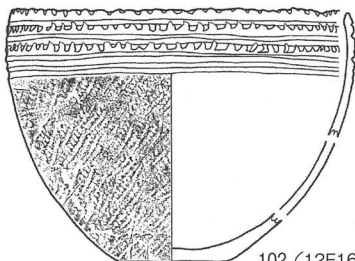
103 (12F12 3b層)



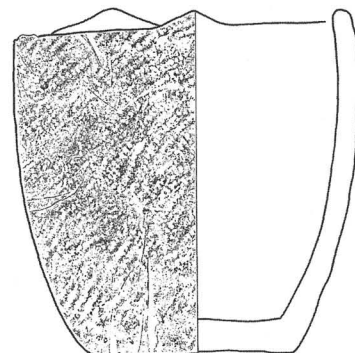
104 (12F11 3b層)



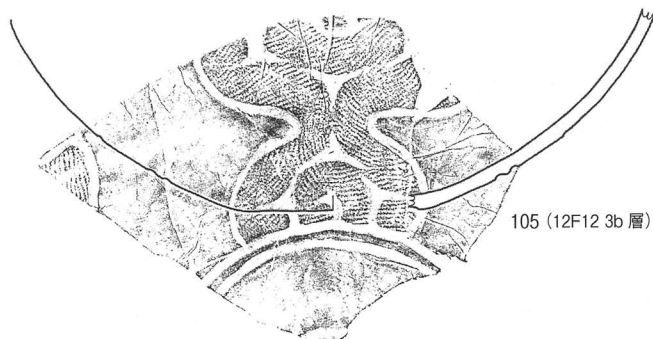
101 (11F25 3a層下位
12F12 3b層)



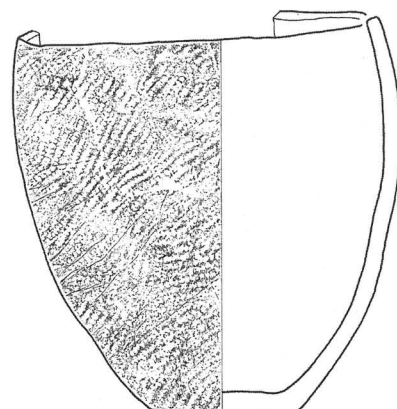
102 (12F16 · 12F17 3b層
12F21 · 12F22 3a層下位)



107 (12F12 3b層)



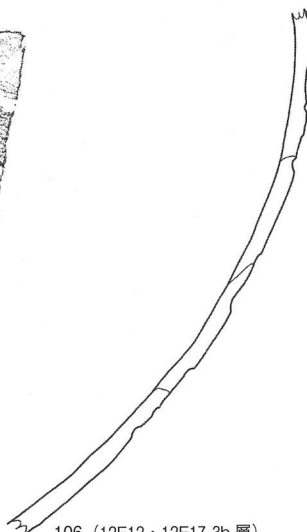
105 (12F12 3b層)



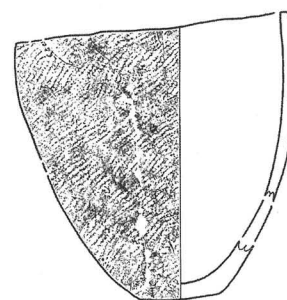
109 (12F12 3b層)



106 (12F12 · 12F17 3b層)



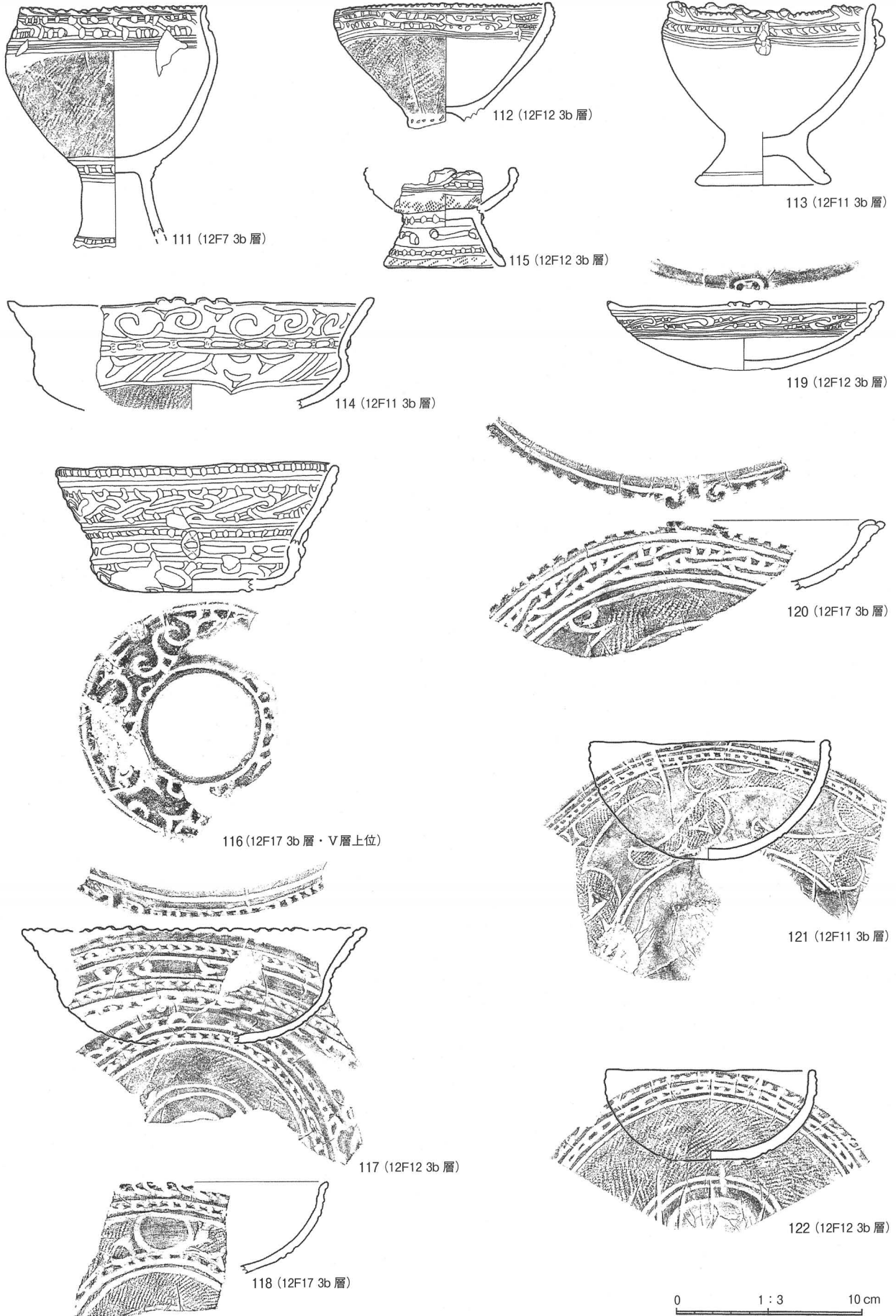
108 (11G15 攪乱
12F17 3b層)



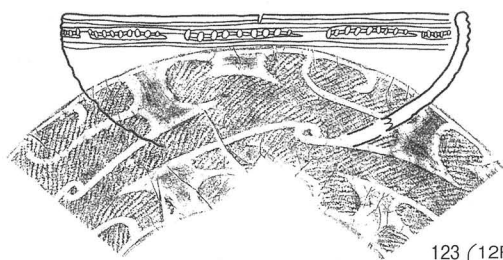
110 (12F17 3b層)

0 1 : 3 10 cm

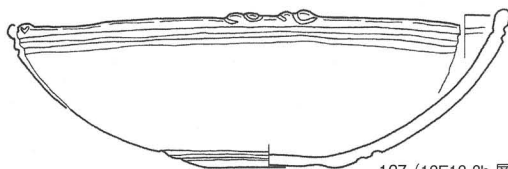
第45図 遺物包含層出土土器 (12)



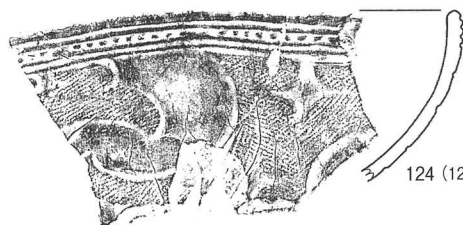
第46図 遺物包含層出土土器 (13)



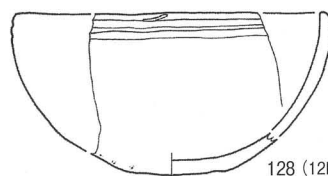
123 (12F22 3a層下位
12F13 3b層)



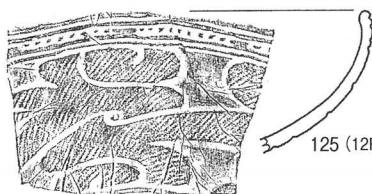
127 (12F12 3b層)



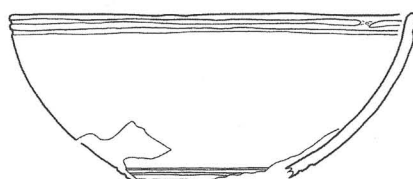
124 (12F17 3b層)



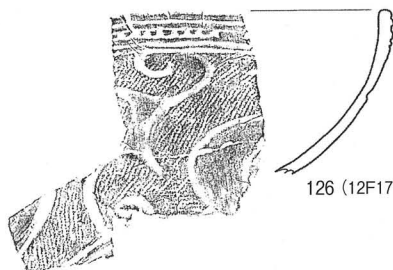
128 (12F17 3b層)



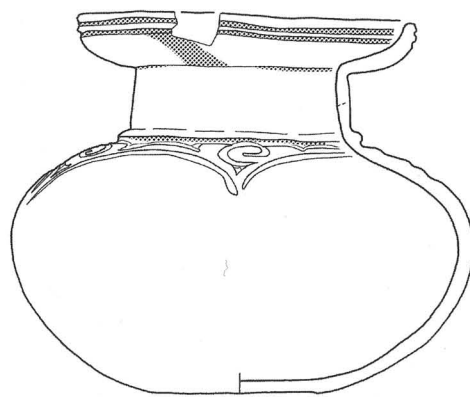
125 (12F17 3b層)



129 (12F12・12F17 3b層)



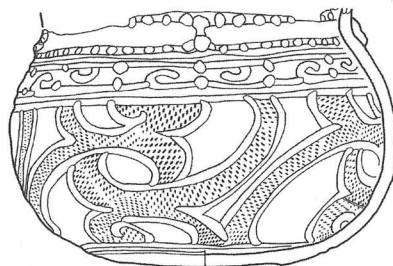
126 (12F17 3b層)



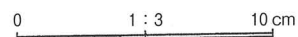
131 (12F11・12F12 3b層)



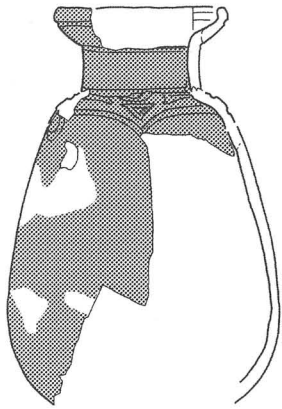
130 (12E7 3b層)



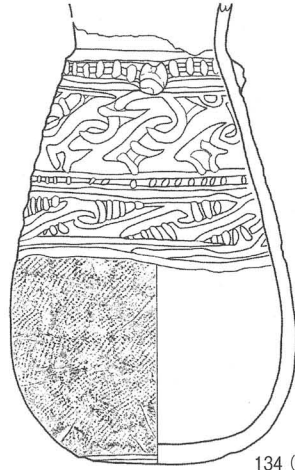
132 (12F12 3b層)



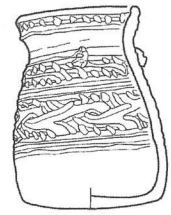
第47図 遺物包含層出土土器 (14)



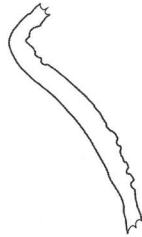
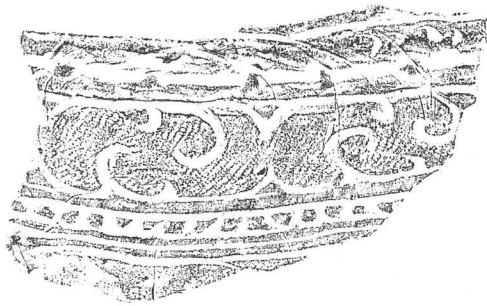
133 (12F17 3b層
12F22 3a層下位)



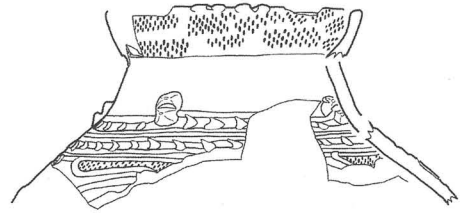
134 (12F12 3b層)



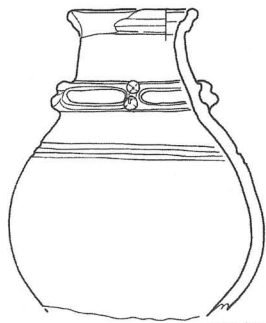
135 (12F12 3b層)



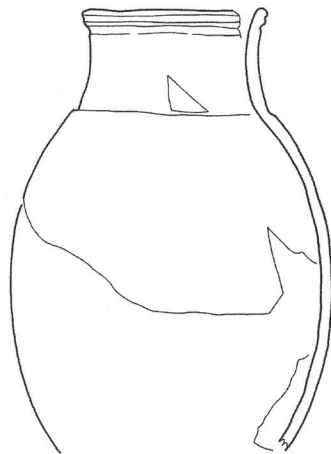
136 (12F8 3b層)



137 (12F11 3b層)



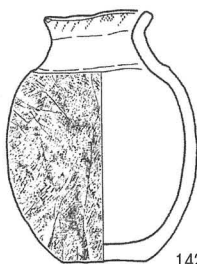
138 (12F11 3b層)



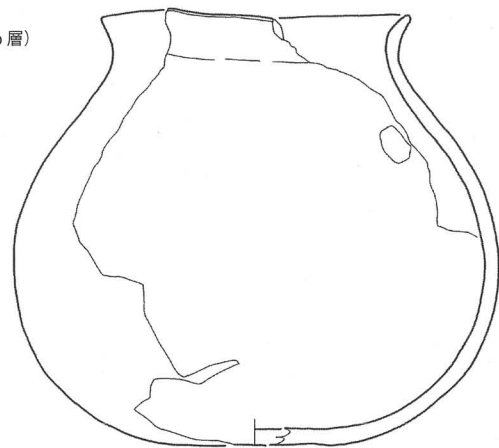
139 (12F11 · 12F17 3b層)



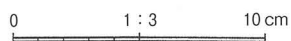
140 (12F12 3b層)



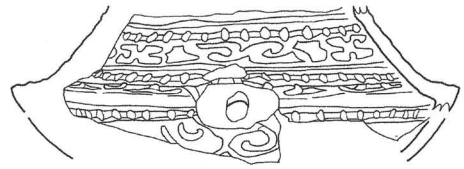
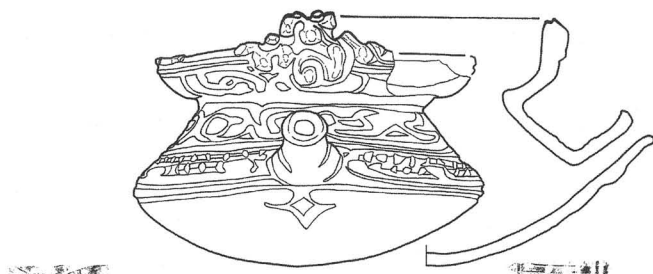
142 (12F12 3b層)



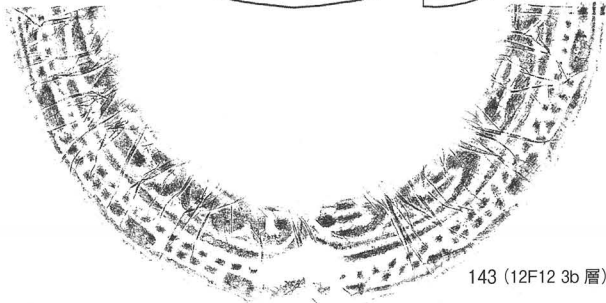
141 (12F12 3b層)



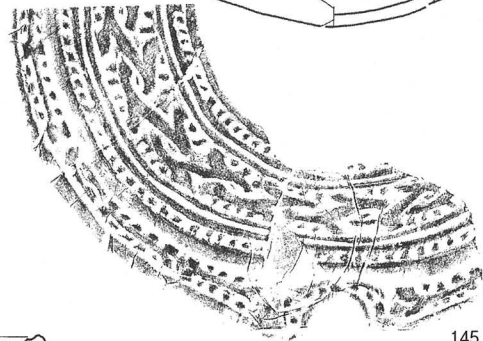
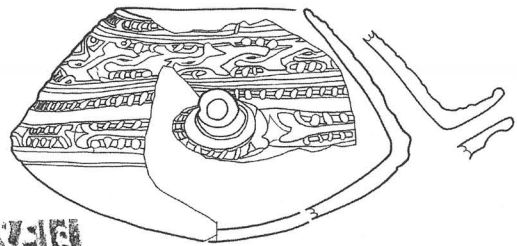
第48図 遺物包含層出土土器 (15)



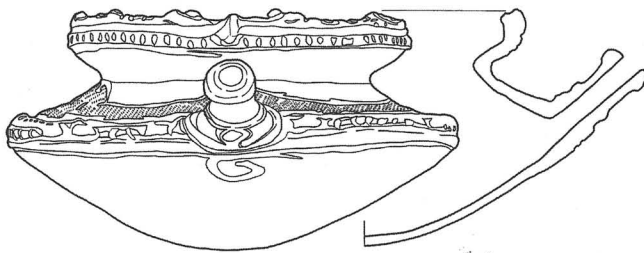
144 (11F25 3a層下位
12F11 3b層)



143 (12F12 3b層)



145 (12F16 3b層)



147~149

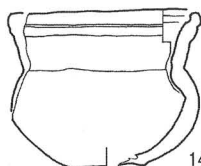
0 1:2 10 cm



146 (12F12 3b~a層)

その他

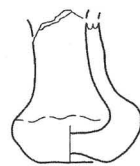
0 1:3 10 cm



147 (12F12 3b層)

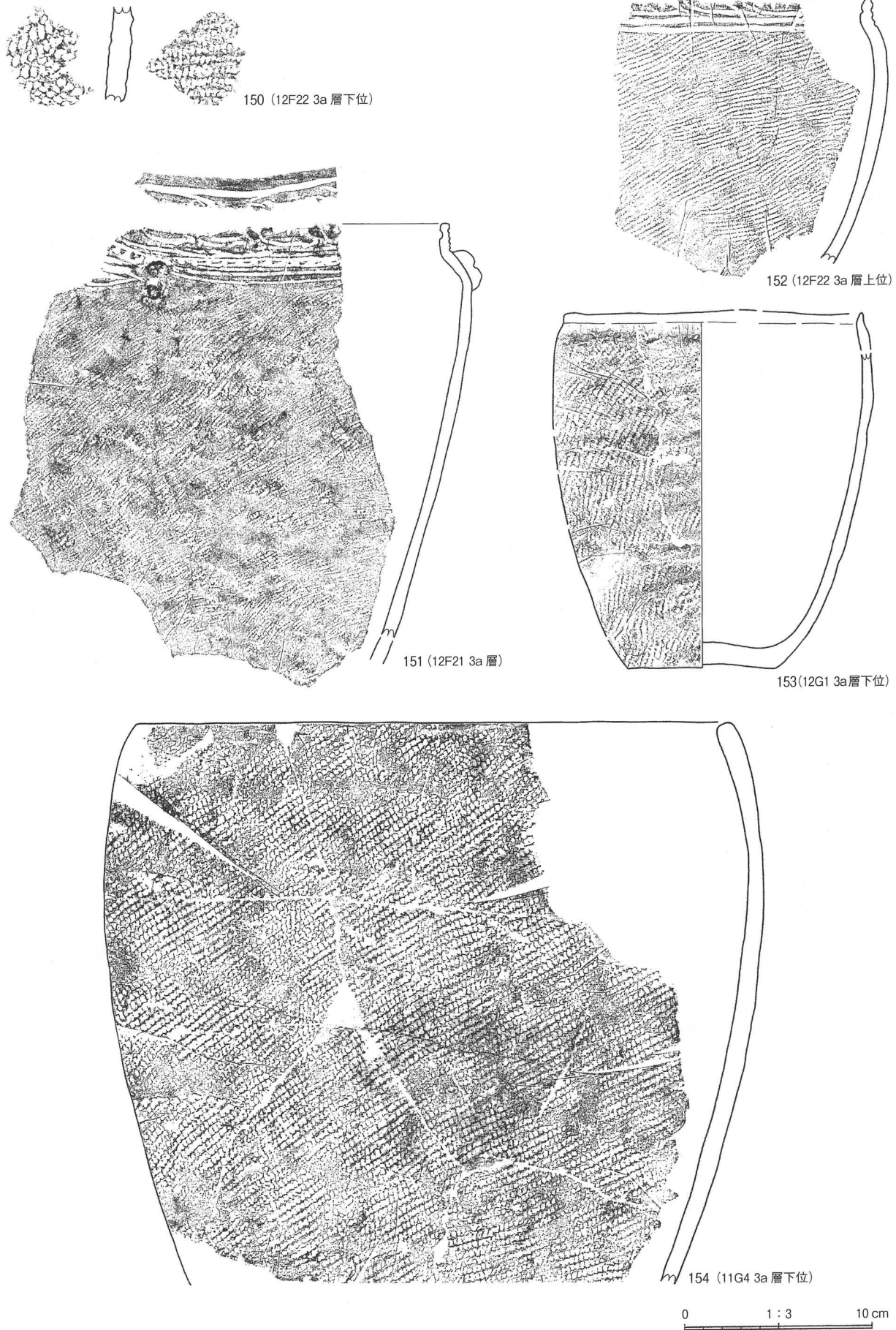


148 (12F17 3b層)

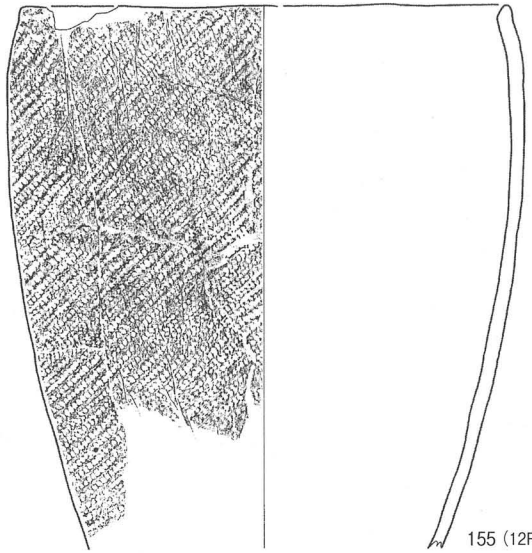


149
(12F12 3b層)

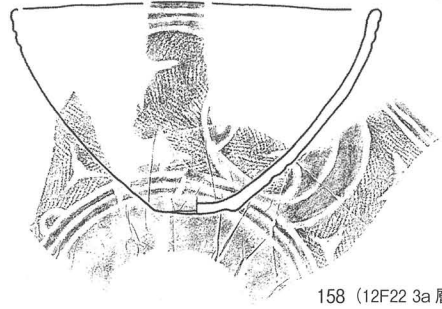
第49図 遺物包含層出土土器 (16)



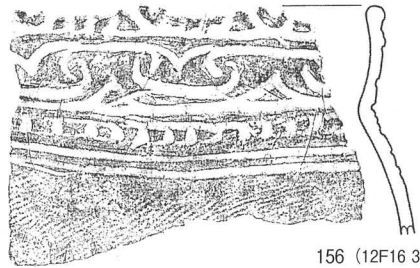
第50図 遺物包含層出土土器 (17)



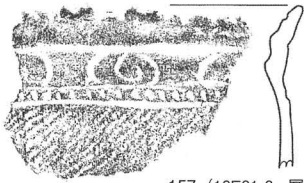
155 (12F17 3a層)



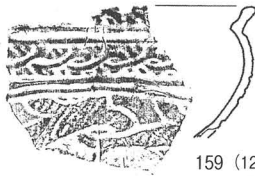
158 (12F22 3a層下位)



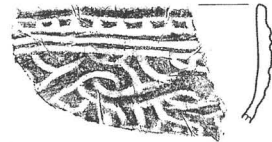
156 (12F16 3a層上位)



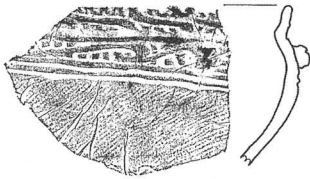
157 (12F21 3a層上位)



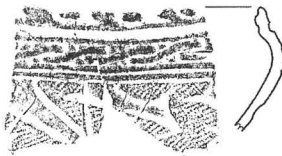
159 (12F16 3a層上位)



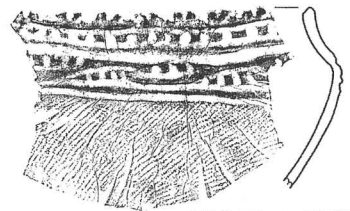
160 (12F12 3a層)



161 (12G1 3a層下位)



162 (12F16 3a層)



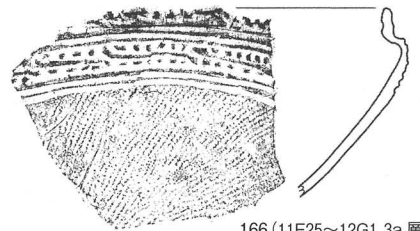
163 (12F21 3a層下位)



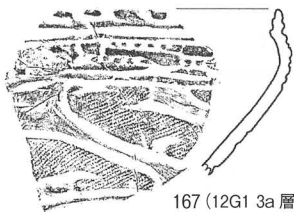
164 (12F11 3a層)



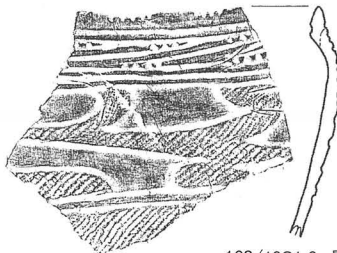
165 (12G1 3a層)



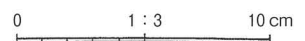
166 (11F25~12G1 3a層)



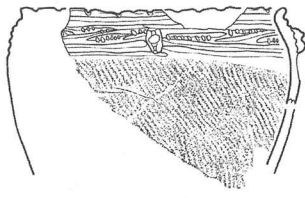
167 (12G1 3a層)



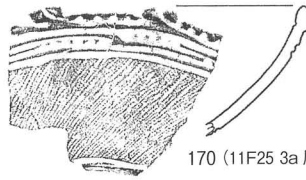
168 (12G1 3a層)



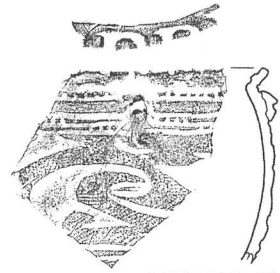
第51図 遺物包含層出土土器 (18)



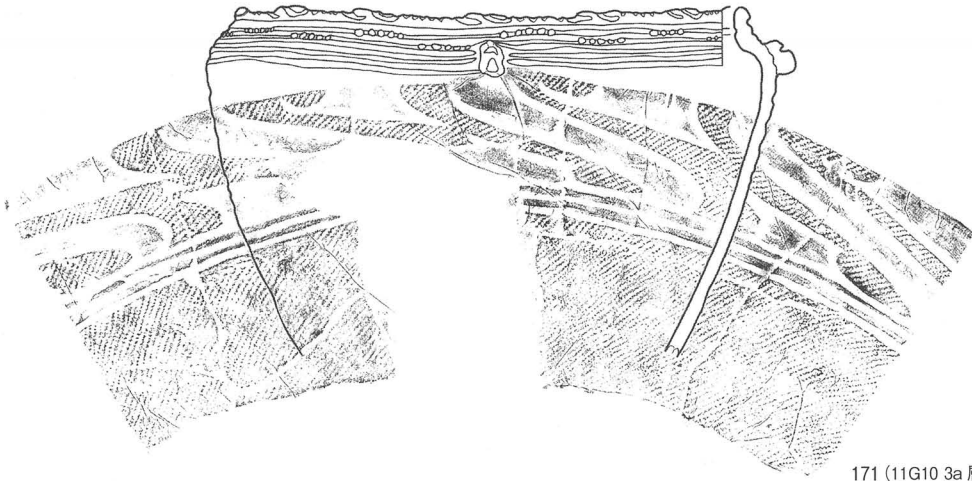
169 (12G6 3a層)



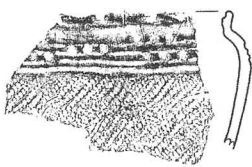
170 (11F25 3a層)



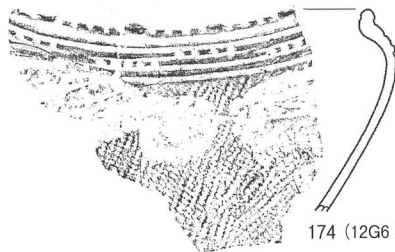
172 (11G5 3a層)



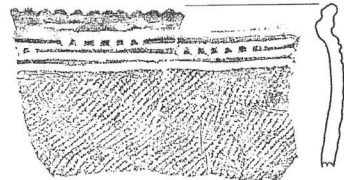
171 (11G10 3a層)



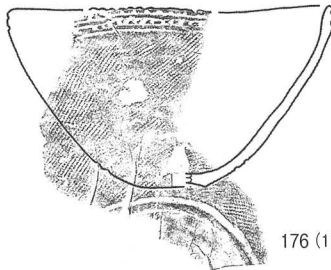
173 (12G1 3a層下位)



174 (12G6 3a層)



175 (12G6 3a層)



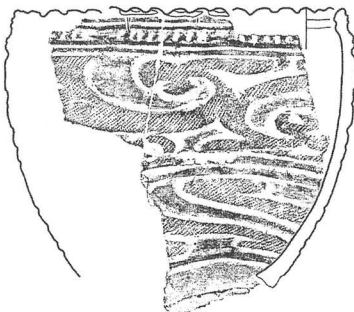
176 (11G5 3a層)



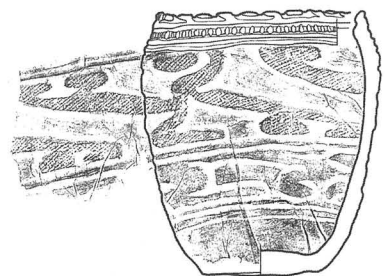
177 (11F25 3a層上位)



178 (11G5 3a層)



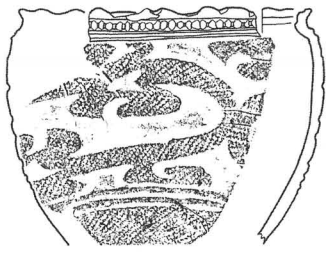
179 (12G6 3a層)



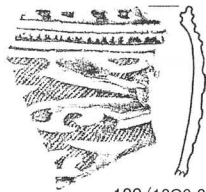
180 (11F25~12G1 3a層)

0 1:3 10 cm

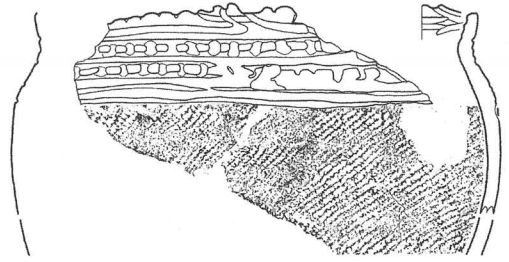
第52図 遺物包含層出土土器 (19)



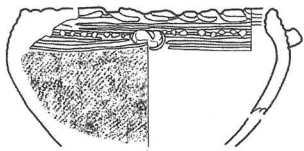
181 (12F12 3a層)



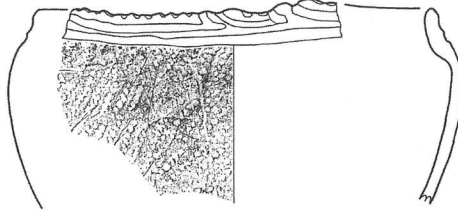
182 (12G6 3a層)



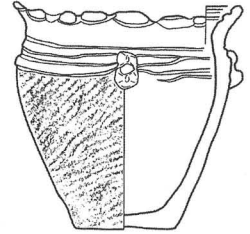
183 (12G1 3a層下位)



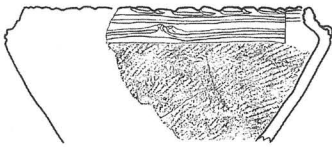
184 (11F20 3a層
12F22 3a層下位)



185 (12F22 3a層)



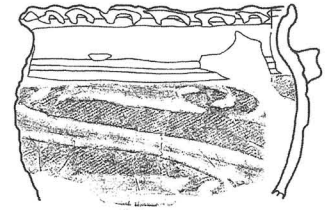
186 (11F25 3a層)



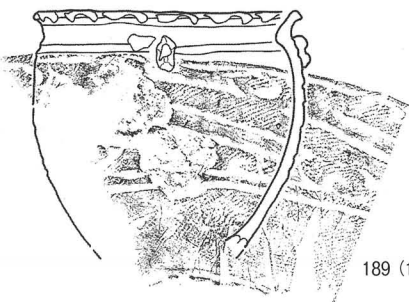
187 (12F16 3a層)



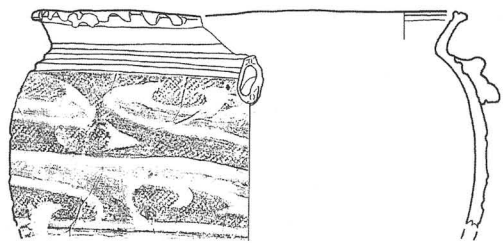
188 (11G10 3a層
12F7 3a層下位)



190 (11G9 3a層)



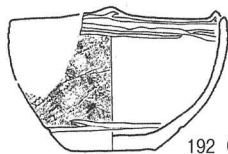
189 (11G14 3a層下位)



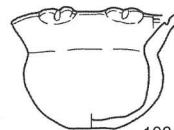
191 (11G9 3a層)



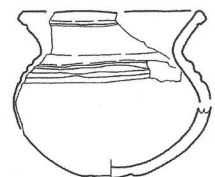
195 (11G5 3a層)



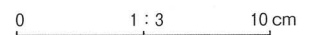
192 (12F21 3a層下位)



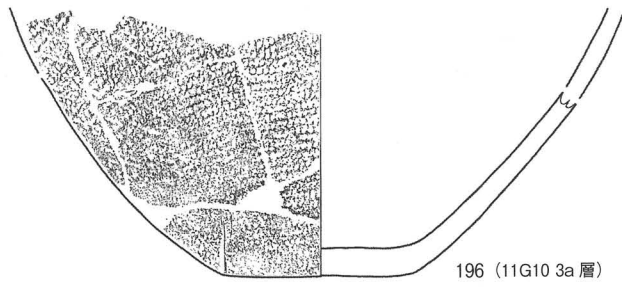
193
(12F21 3a層下位)



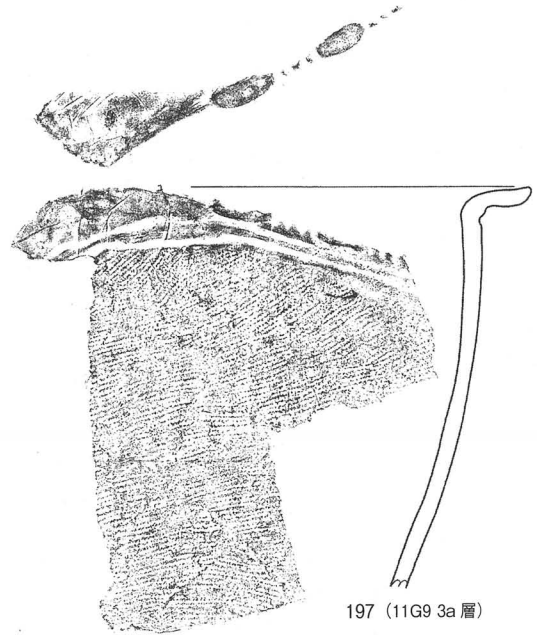
194 (11G9 3a層)



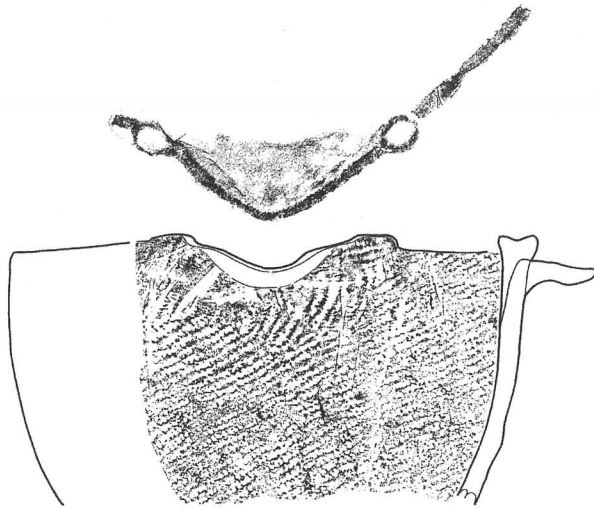
第53図 遺物包含層出土土器 (20)



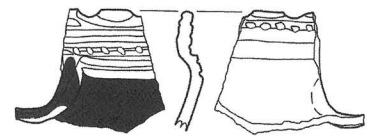
196 (11G10 3a層)



197 (11G9 3a層)



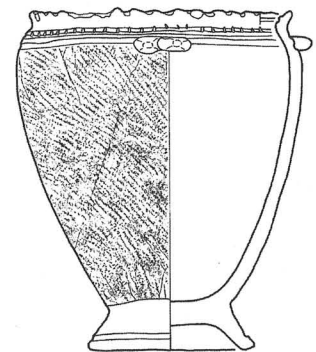
198 (12F21 3a層下位)



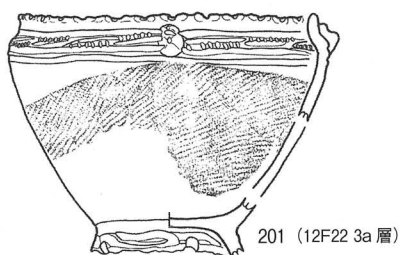
199 (11G9 3a層)



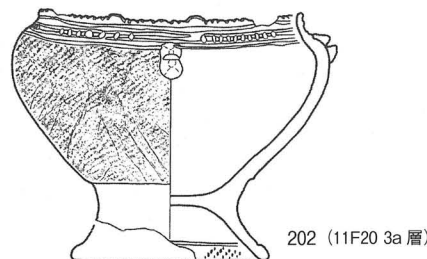
200 (12F22 3a層下位)



203 (11G9 3a層)



201 (12F22 3a層)



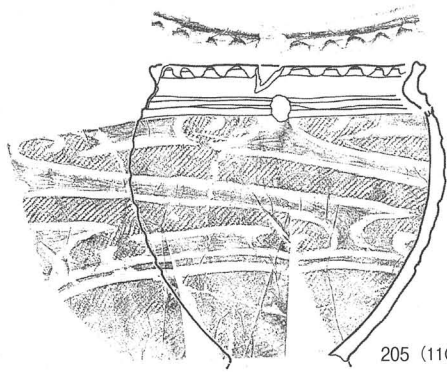
202 (11F20 3a層)



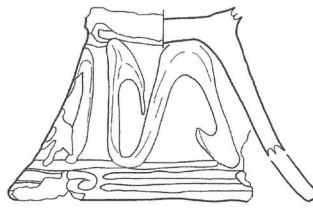
204 (12F21 3a層上位)

0 1 : 3 10 cm

第54圖 遺物包含層出土土器 (21)



205 (11G9 3a層・3a層下位)



207
(11G10 3a層)

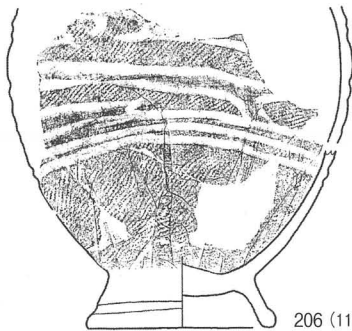
0 1 : 3 10 cm



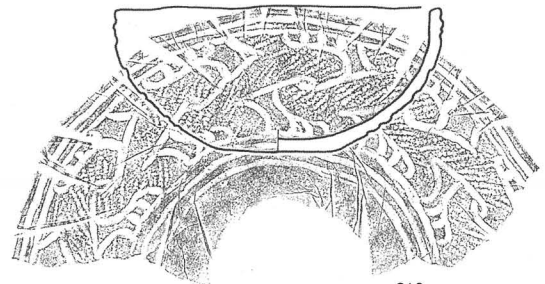
208 (12G6 3a層)



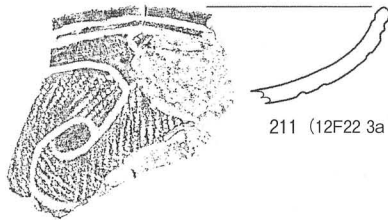
209 (11G15 3a層)



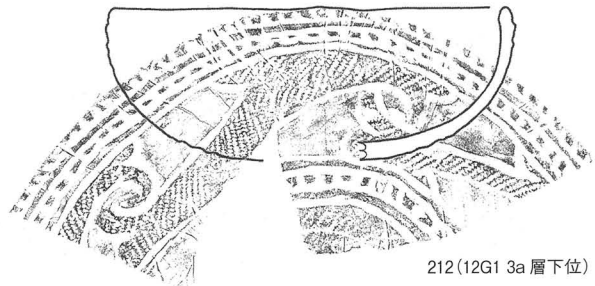
206 (11G14 3a層)



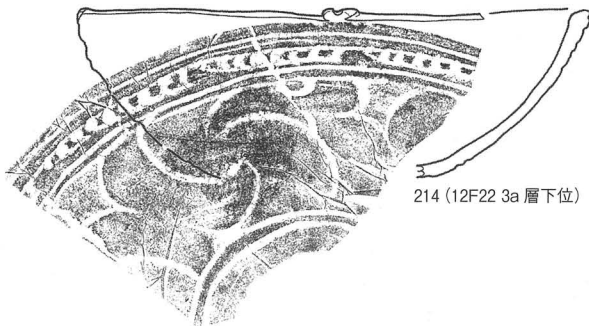
210
(12F16 3a層上位)



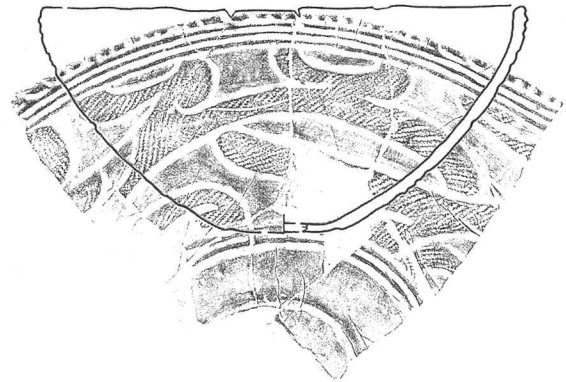
211 (12F22 3a層下位)



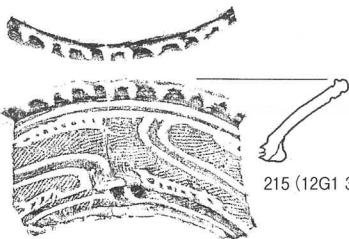
212 (12G1 3a層下位)



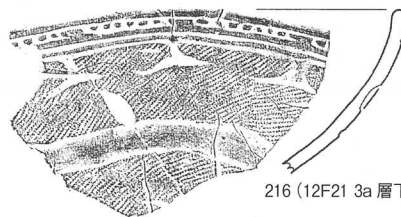
214 (12F22 3a層下位)



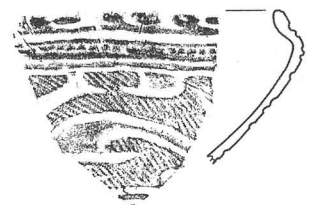
213 (11G10 3a層・3a層上位・3a層下位)



215 (12G1 3a層下位)

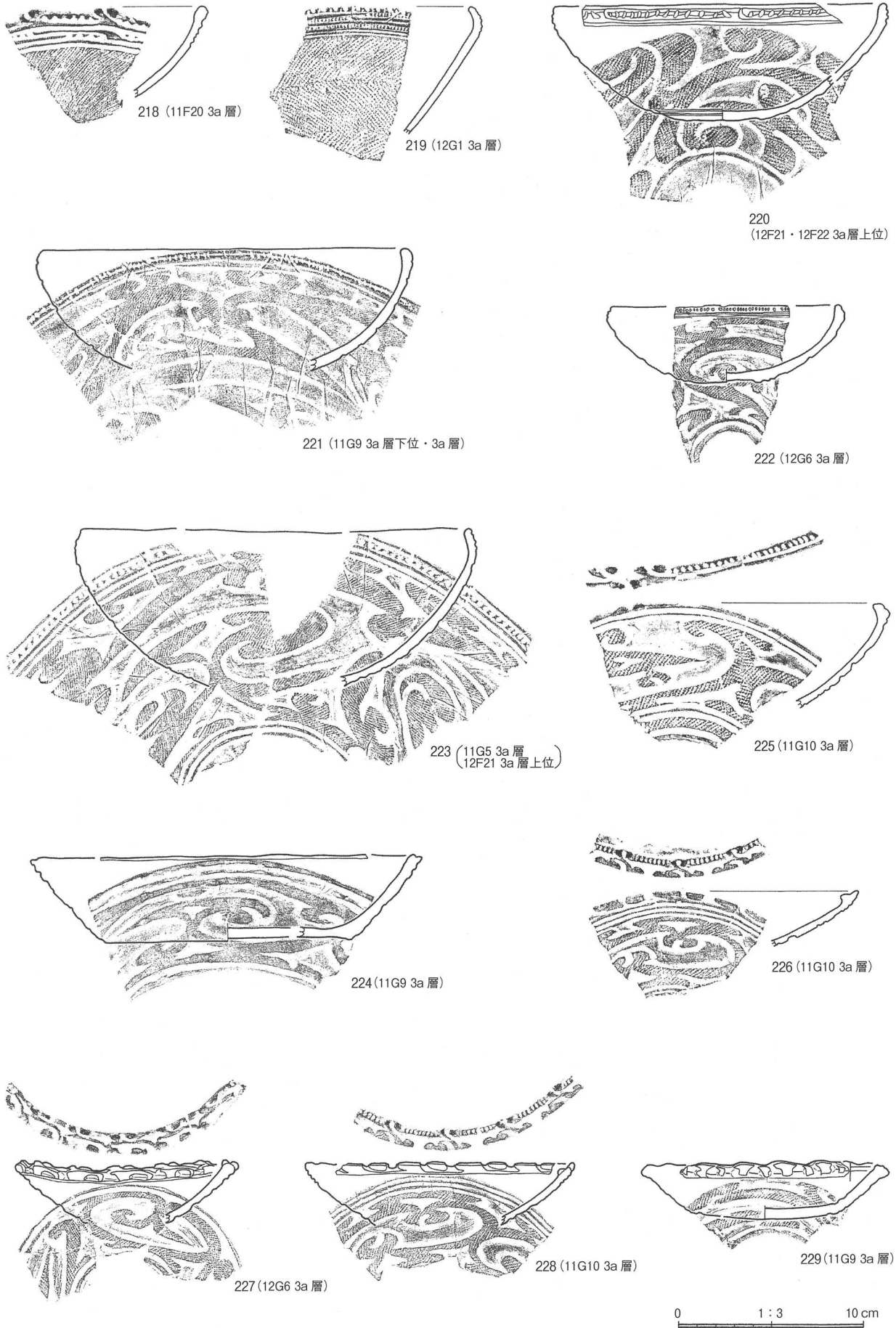


216 (12F21 3a層下位)

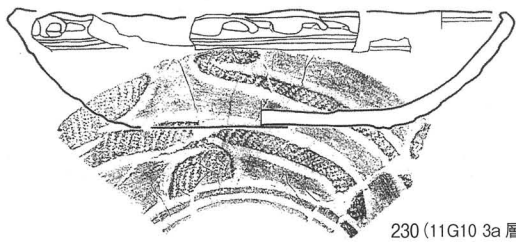


217 (11G5 3a層下位)

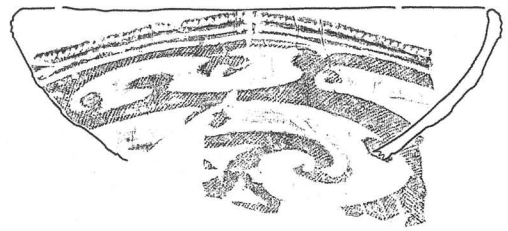
第55図 遺物包含層出土土器 (22)



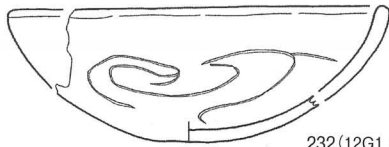
第56図 遺物包含層出土土器 (23)



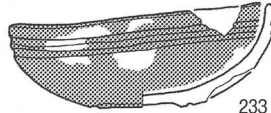
230 (11G10 3a層)



231 (11G9 3a層)



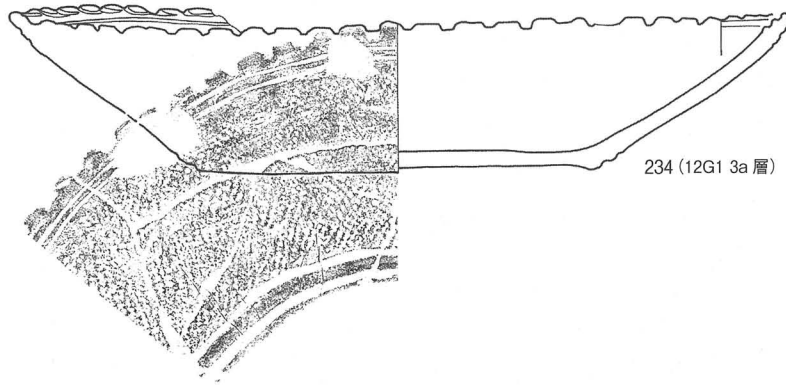
232 (12G1 3a層)



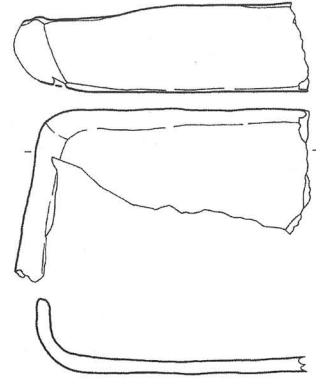
233 (12F22 3a層下位)



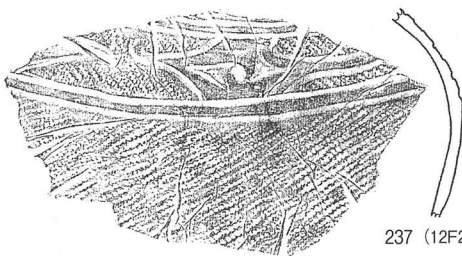
235 (11G14 3a層下位)



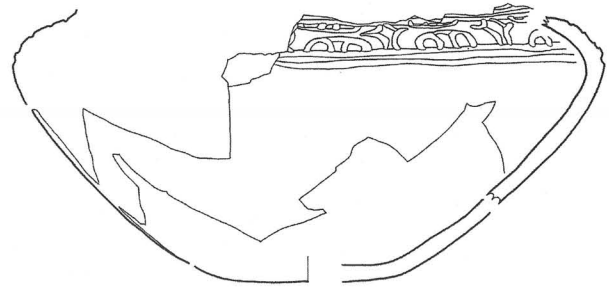
234 (12G1 3a層)



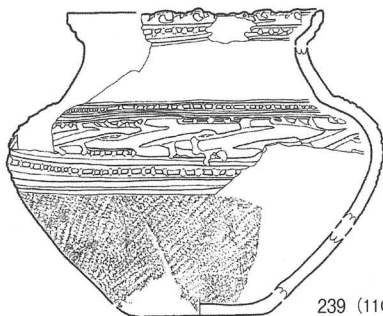
236 (12F21 3a層下位)



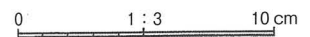
237 (12F21 3a層下位)



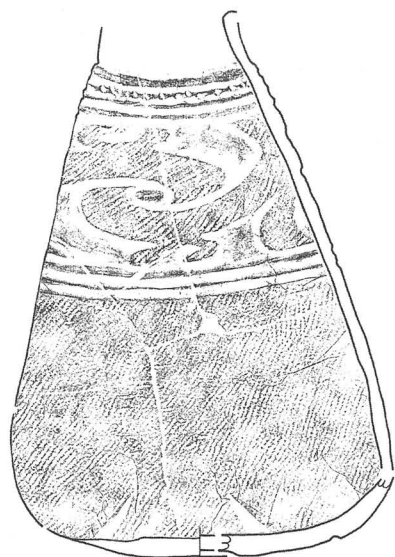
238 (12G1 3a層下位・3a層)



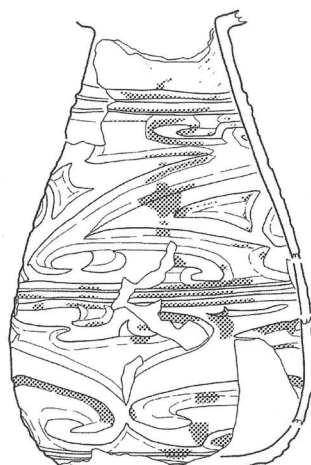
239 (11G5 3a層下位)



第57図 遺物包含層出土土器 (24)



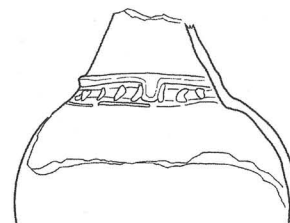
240
(11G9 3a層・3a層下位)



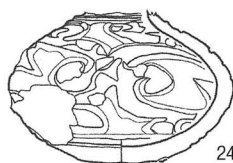
241 (11G9 3a層)



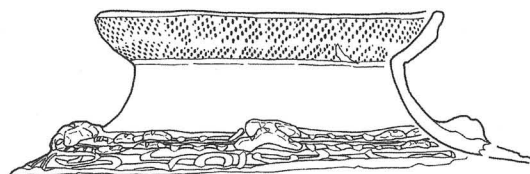
242 (11G9 3a層)



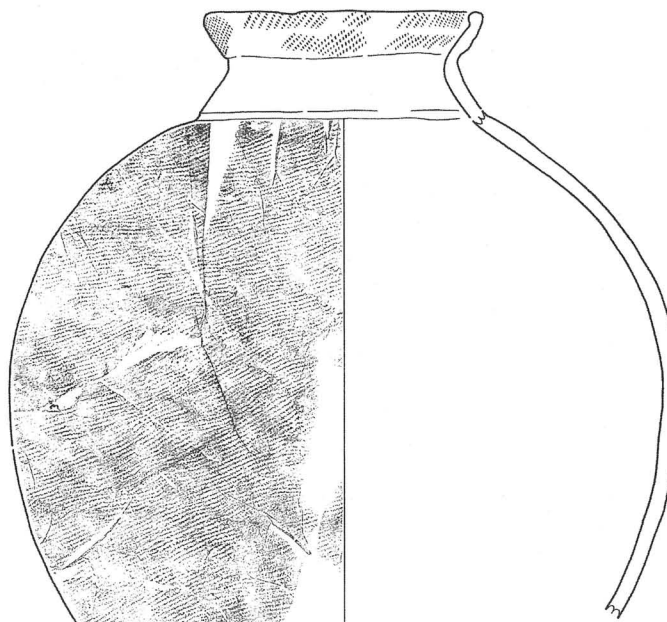
243 (12F16 3a層上位)



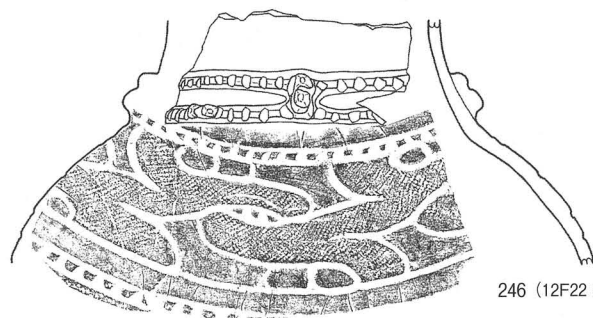
244 (11G9 3a層)



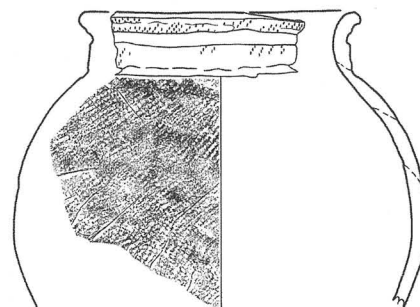
245 (12F22 3a層下位)



247 (12F12 3a層上位
12G1 3a層・3a層下位)



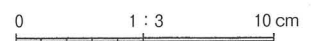
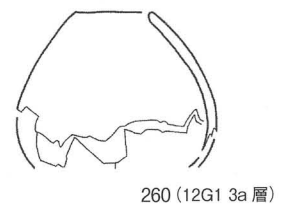
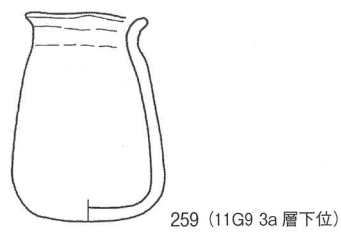
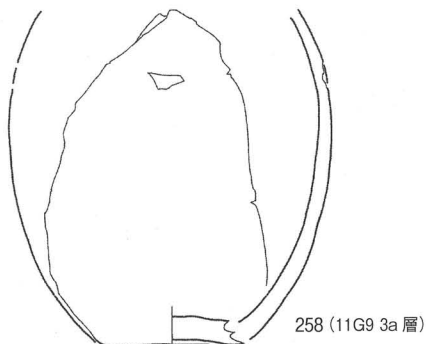
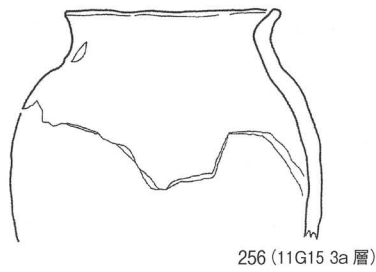
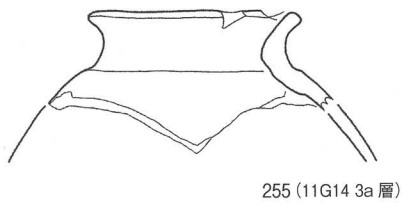
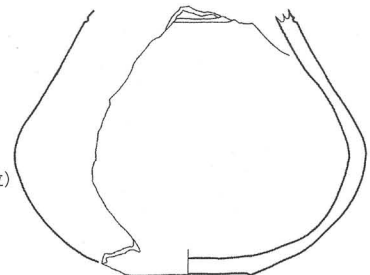
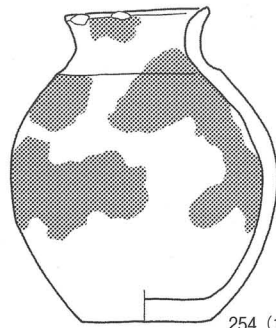
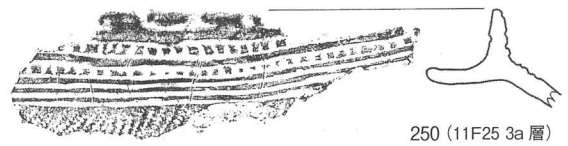
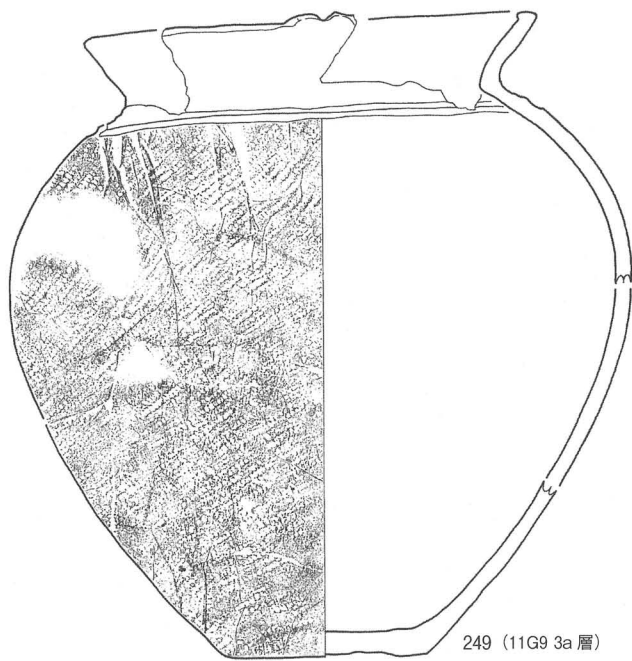
246 (12F22 3a層下位)



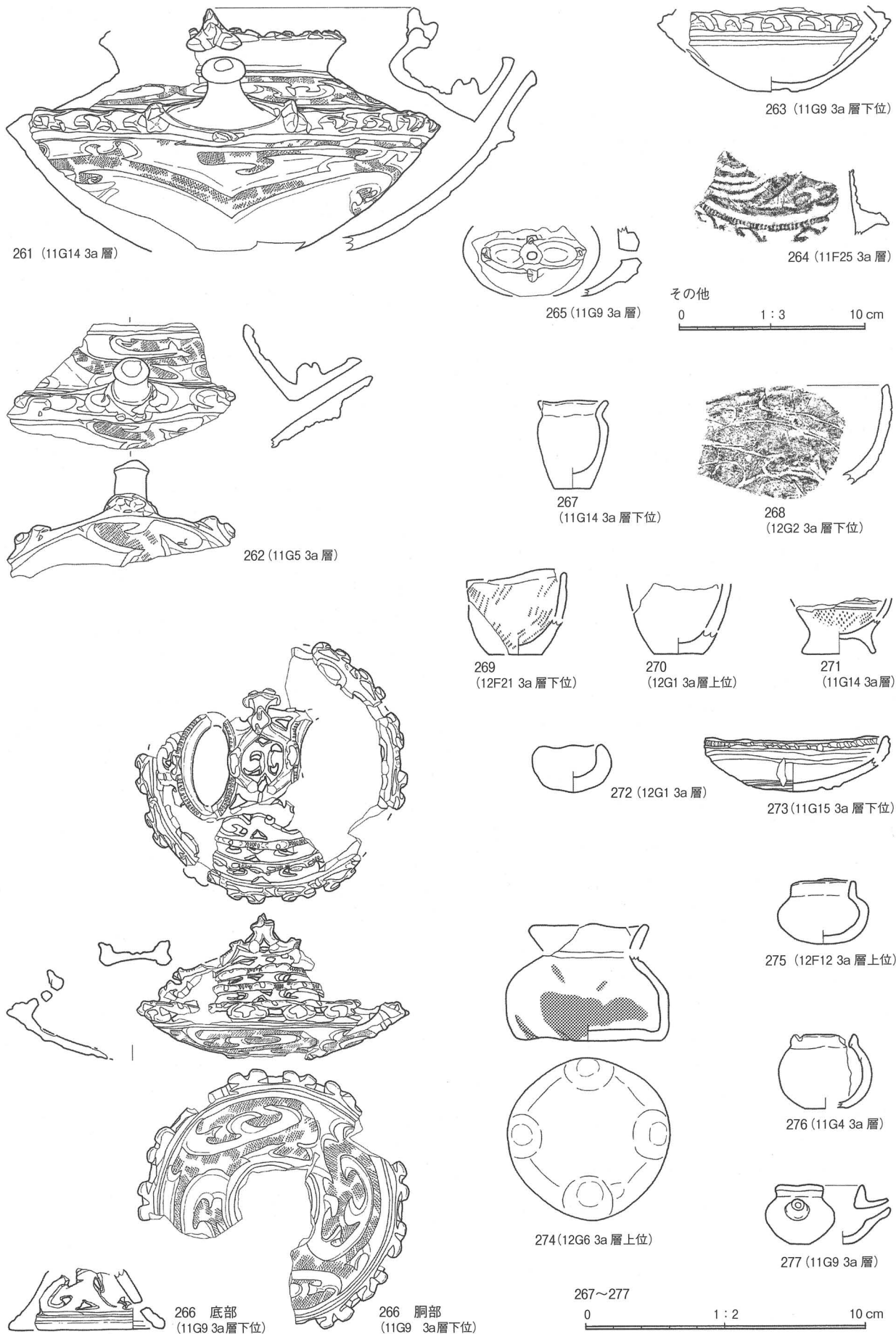
248 (11G15 3a層)

0 1:3 10 cm

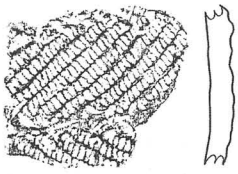
第58図 遺物包含層出土土器 (25)



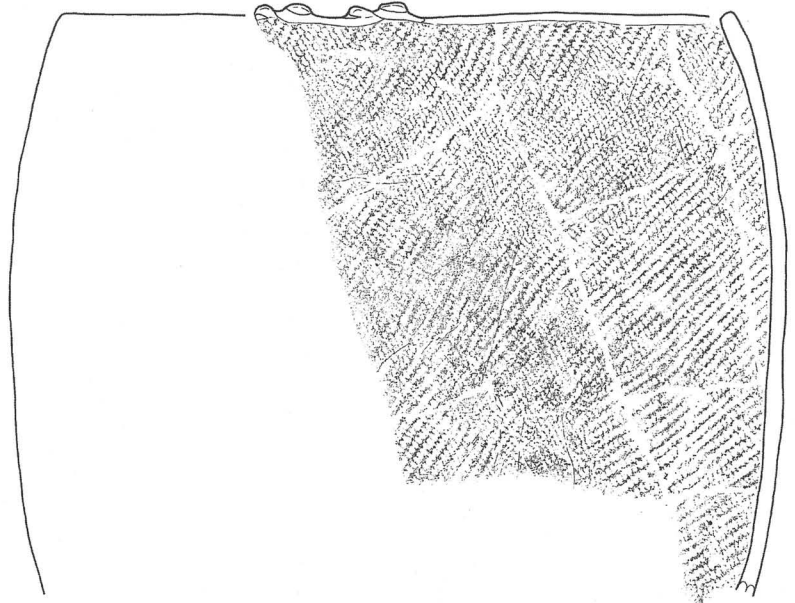
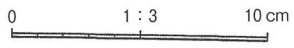
第59図 遺物包含層出土土器 (26)



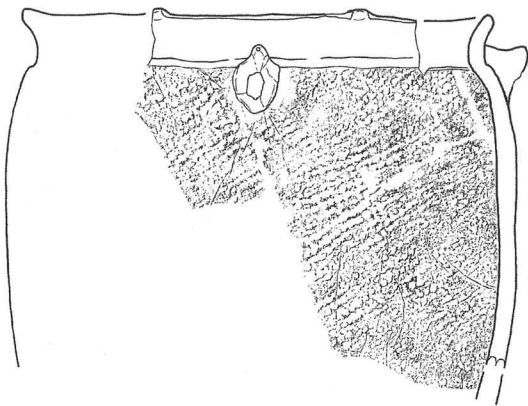
第60図 遺物包含層出土土器 (27)



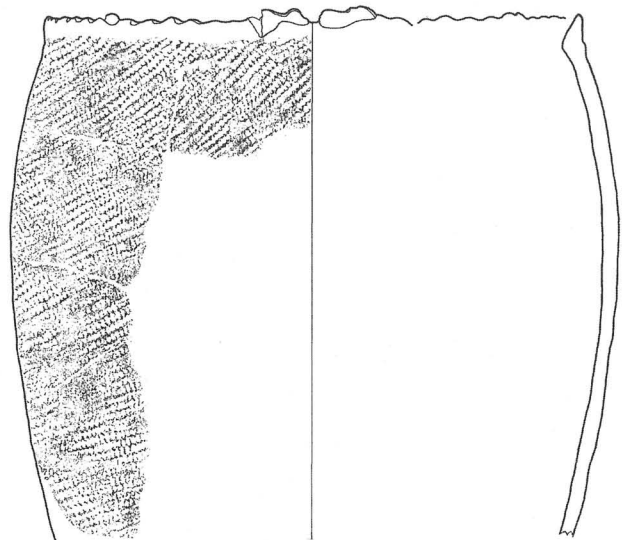
278 (11G9 2b層)



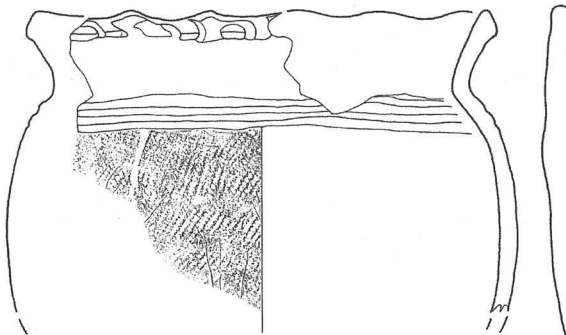
279 (12G1 2b層)



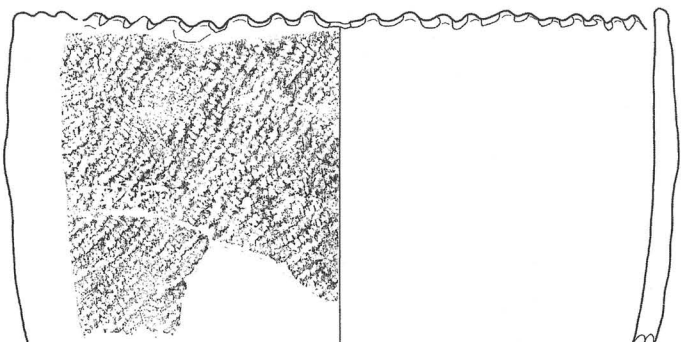
280 (11G10 2b層)



281 (12G6 2b層)

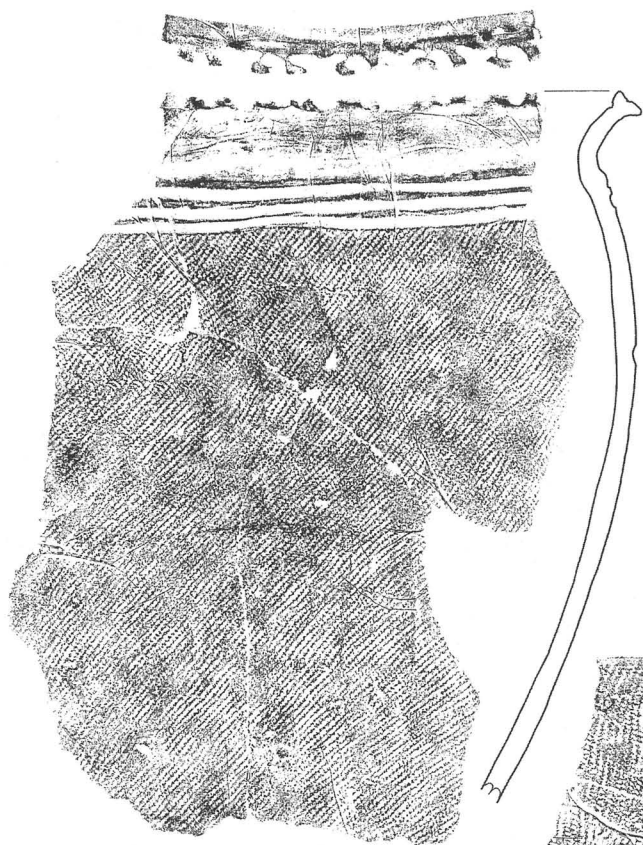


284 (11G15 2b層)



282 (11G15 2b層)

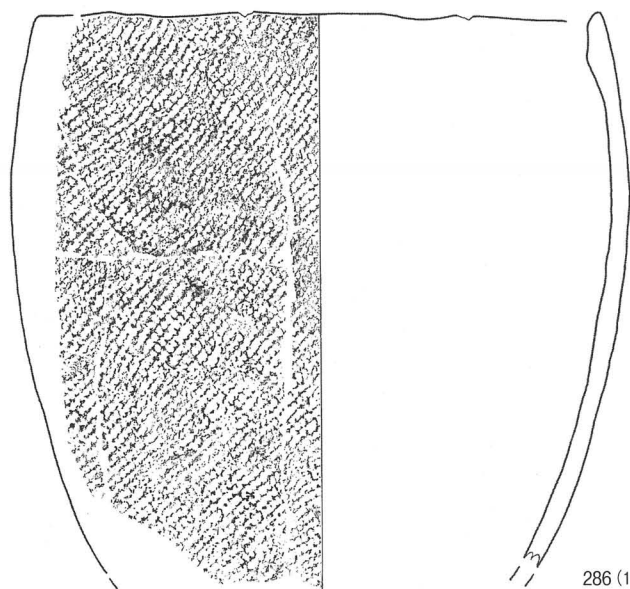
第61図 遺物包含層出土土器 (28)



283 (11G9 2b層)



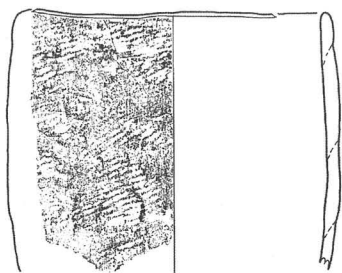
285 (12G1 2b層)



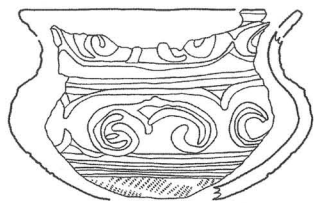
286 (11G15 2b層)

0 1 : 3 10 cm

第62図 遺物包含層出土土器 (29)



287 (12F21 2b層)



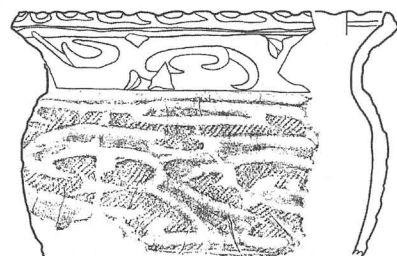
289 (12G6 2b層)



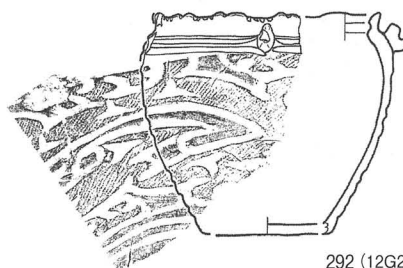
290 (12F21 2b層)



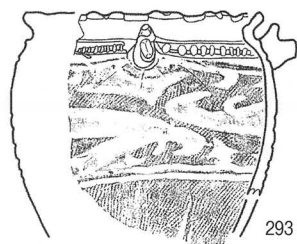
288 (11G10 2b層)



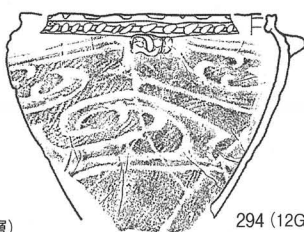
291 (11G14 2b層)



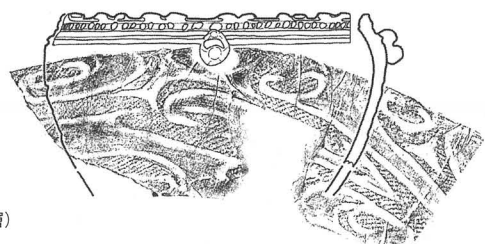
292 (12G2 2b層)



293 (12G1 2b層)



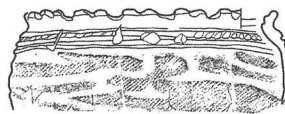
294 (12G1 2b層)



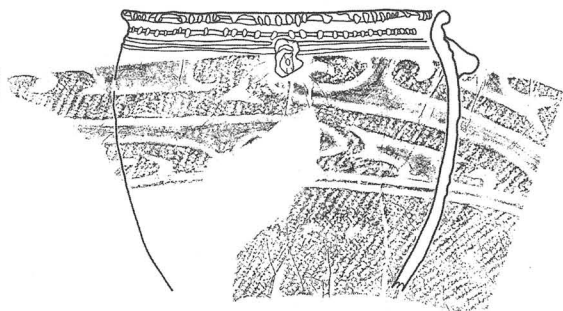
295 (11G10・12G1 2b層)



296 (12G1 2b層)



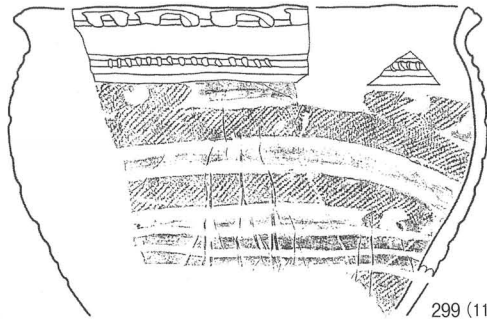
297 (12G6 2b層)



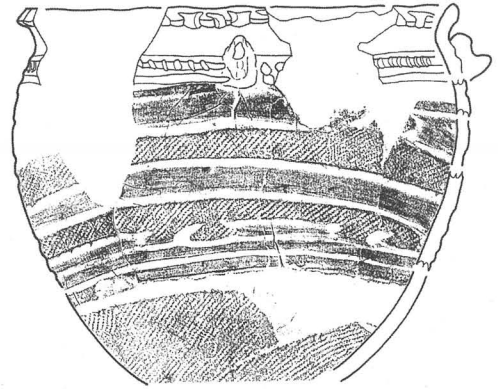
298 (12G6 2b層)

0 1 : 3 10 cm

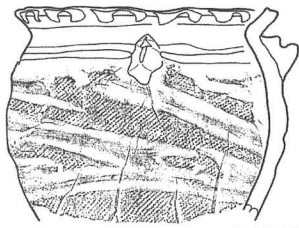
第63図 遺物包含層出土土器 (30)



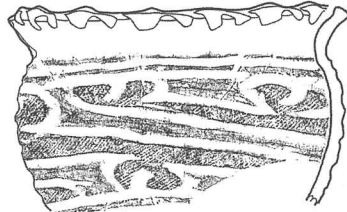
299 (11G5 2b層)



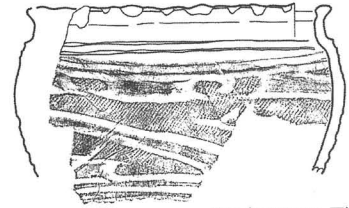
300 (11G5 2b層・2a層)
11G10 2a層
12G6 2b層



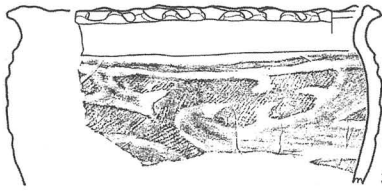
301 (11G10 2b層)



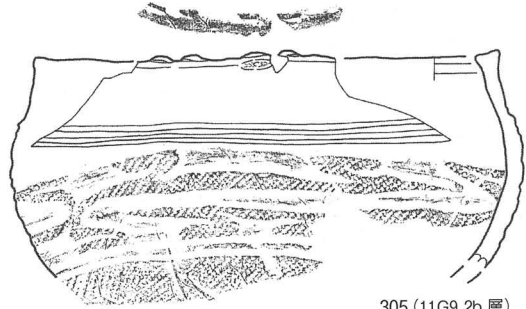
302 (11G10 2b層)



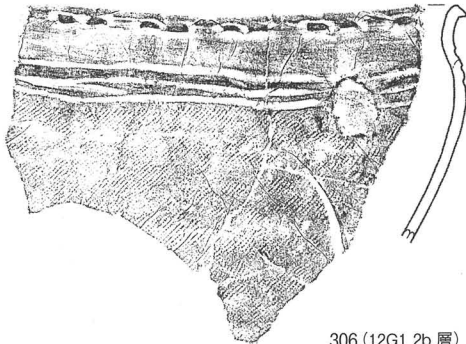
303 (11G15 2b層)



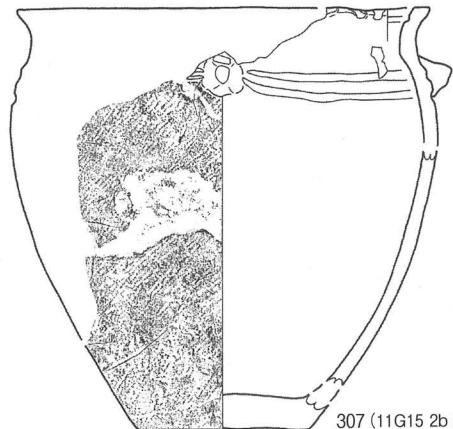
304 (11G15 2b層)



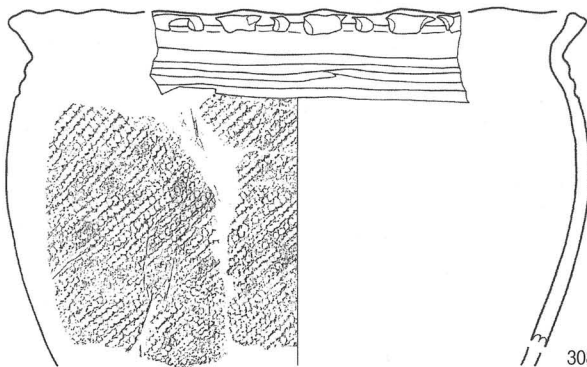
305 (11G9 2b層)



306 (12G1 2b層)



307 (11G15 2b層)



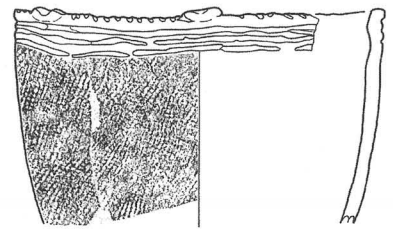
308 (11G15 2b層)

0 1 : 3 10 cm

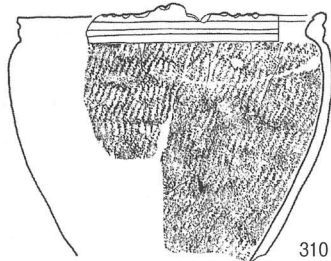
第64図 遺物包含層出土土器 (31)



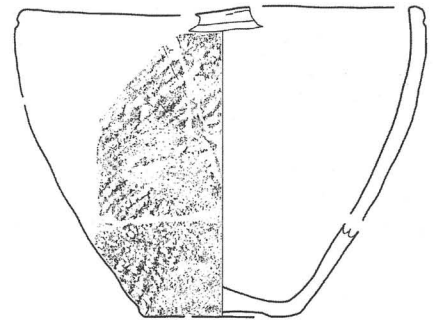
309 (11G5 2b層)



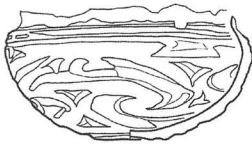
311 (11G15 2b層)



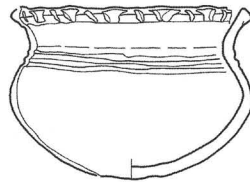
310 (11G10 2b層)



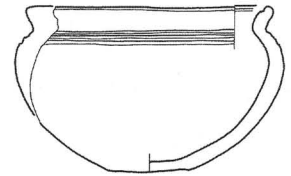
312 (11G9 2b層)



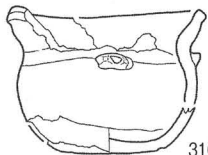
313 (11G15 2b層)



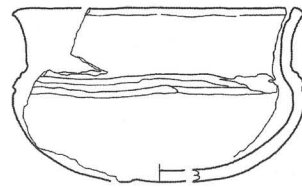
314 (11G10 2b層)



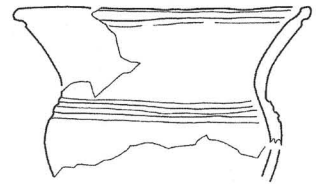
315 (11G10 2b層)



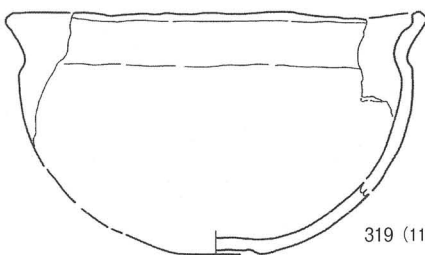
316 (11G14 2b層)



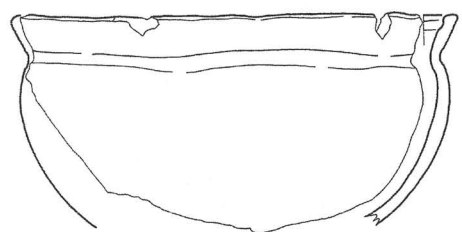
317 (11G15 2b層)



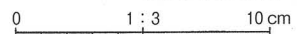
318 (11G9 2b層)



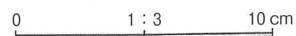
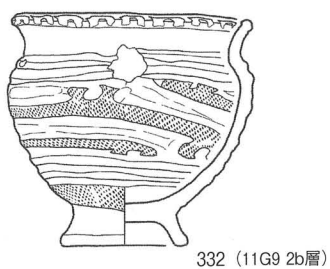
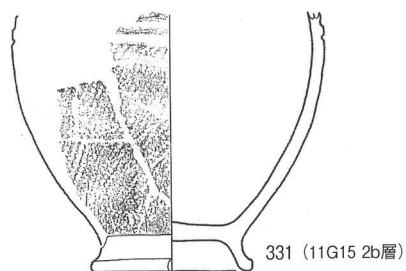
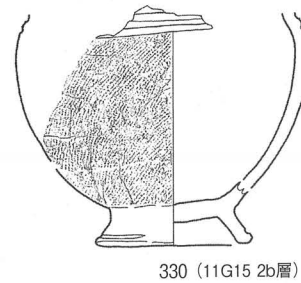
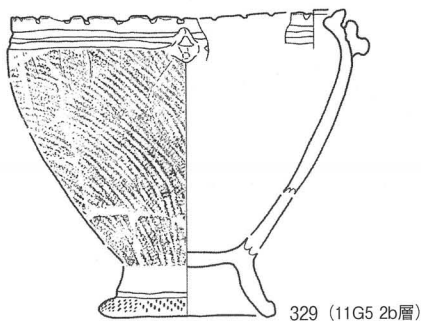
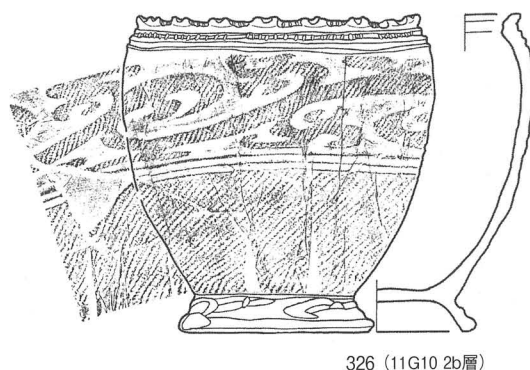
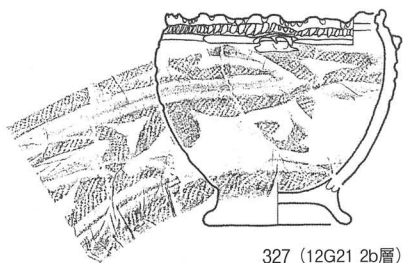
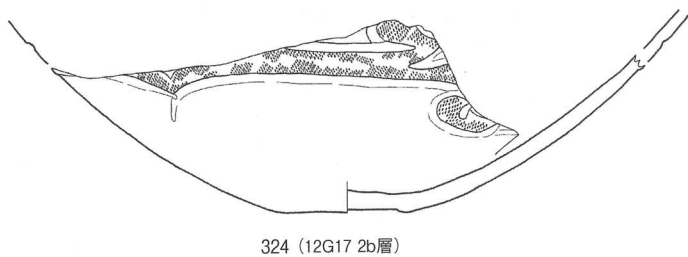
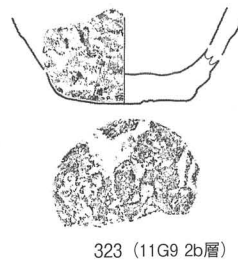
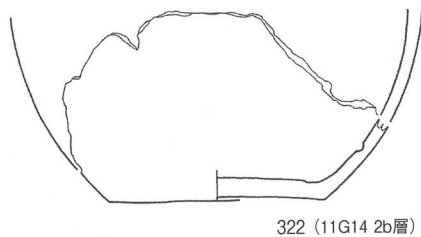
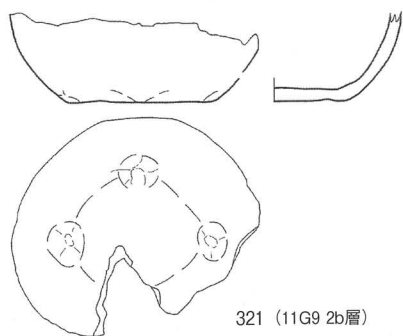
319 (11G15 2b層)



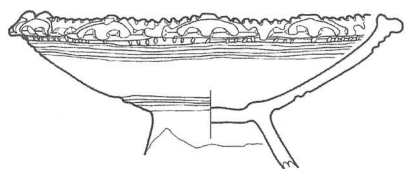
320 (11G15 2b層)



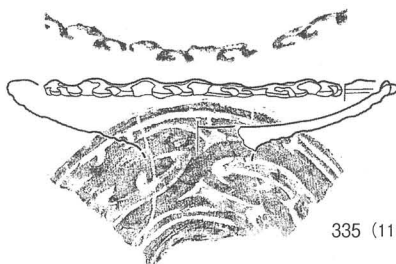
第65図 遺物包含層出土土器 (32)



第66図 遺物包含層出土土器 (33)



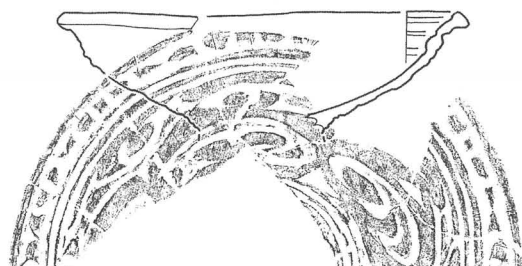
334 (11G15 2b層下位)



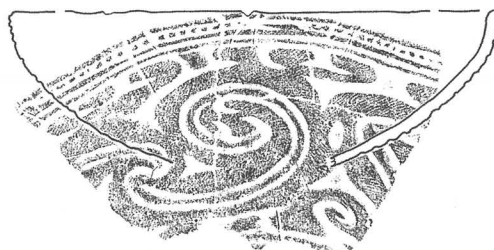
335 (11G5 2b層)



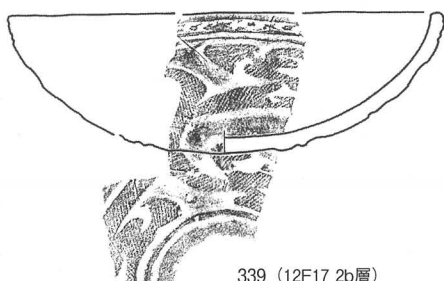
337 (12G17 2b層)



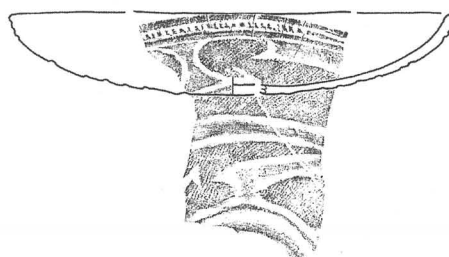
336 (11G10 2b層)



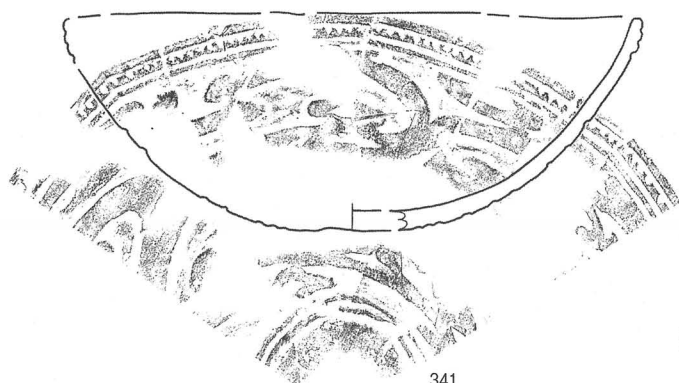
338
(12F22 2b層下位・2b層)



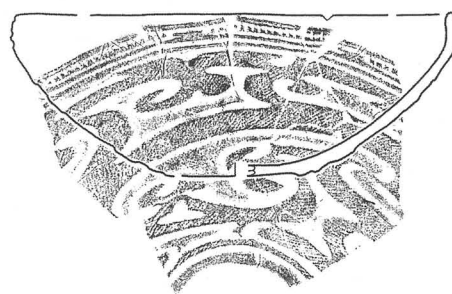
339 (12F17 2b層)



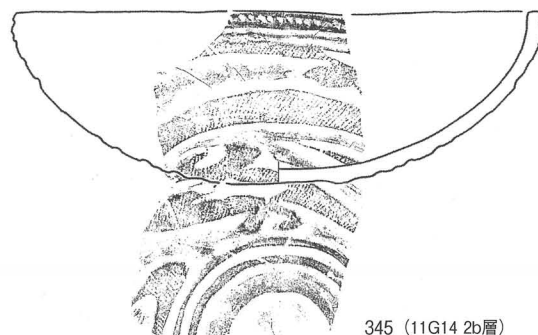
340 (12F22 2b層)



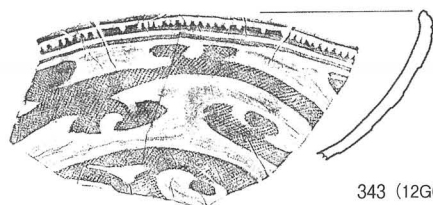
341
(11G10・11G15 2b層)



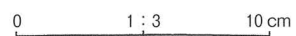
342 (12G1 2b層)



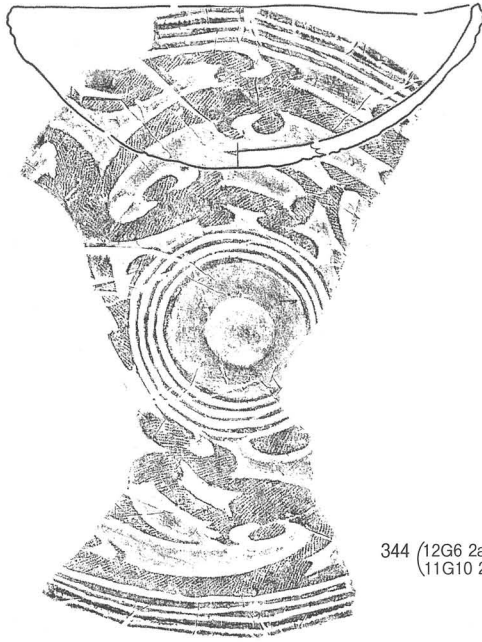
345 (11G14 2b層)



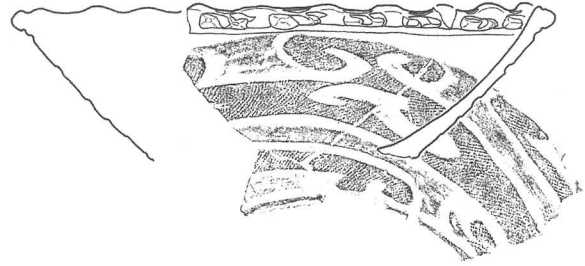
343 (12G6 2b層)



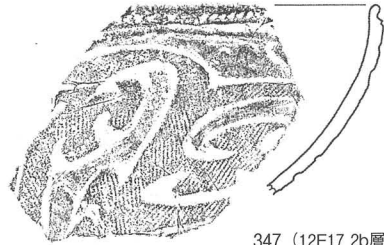
第67図 遺物包含層出土土器 (34)



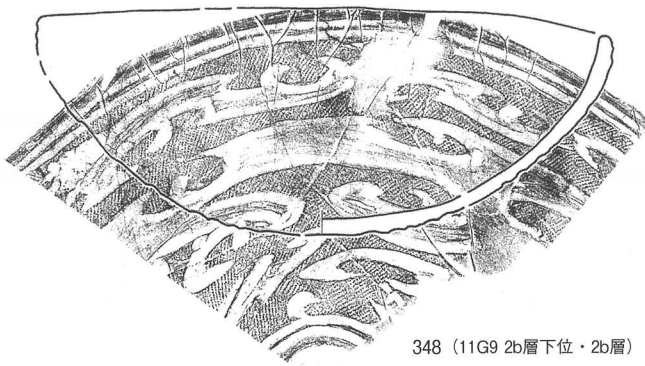
344 (12G6 2a層)
(11G10 2b層)



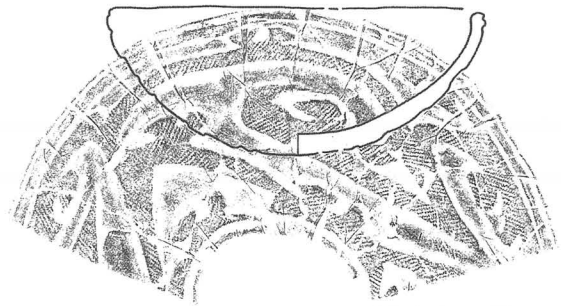
346 (11G9 2b層)



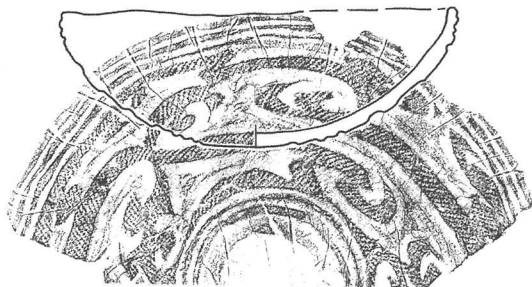
347 (12F17 2b層)



348 (11G9 2b層下位・2b層)



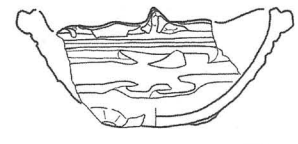
349 (11G10 2b層)



350 (11G14 2b層)



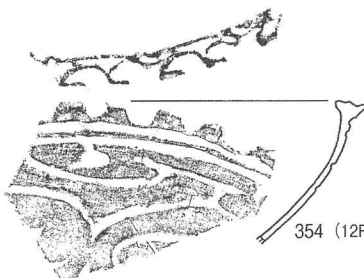
351 (12G6 2b層)



352 (12F22 2b層)



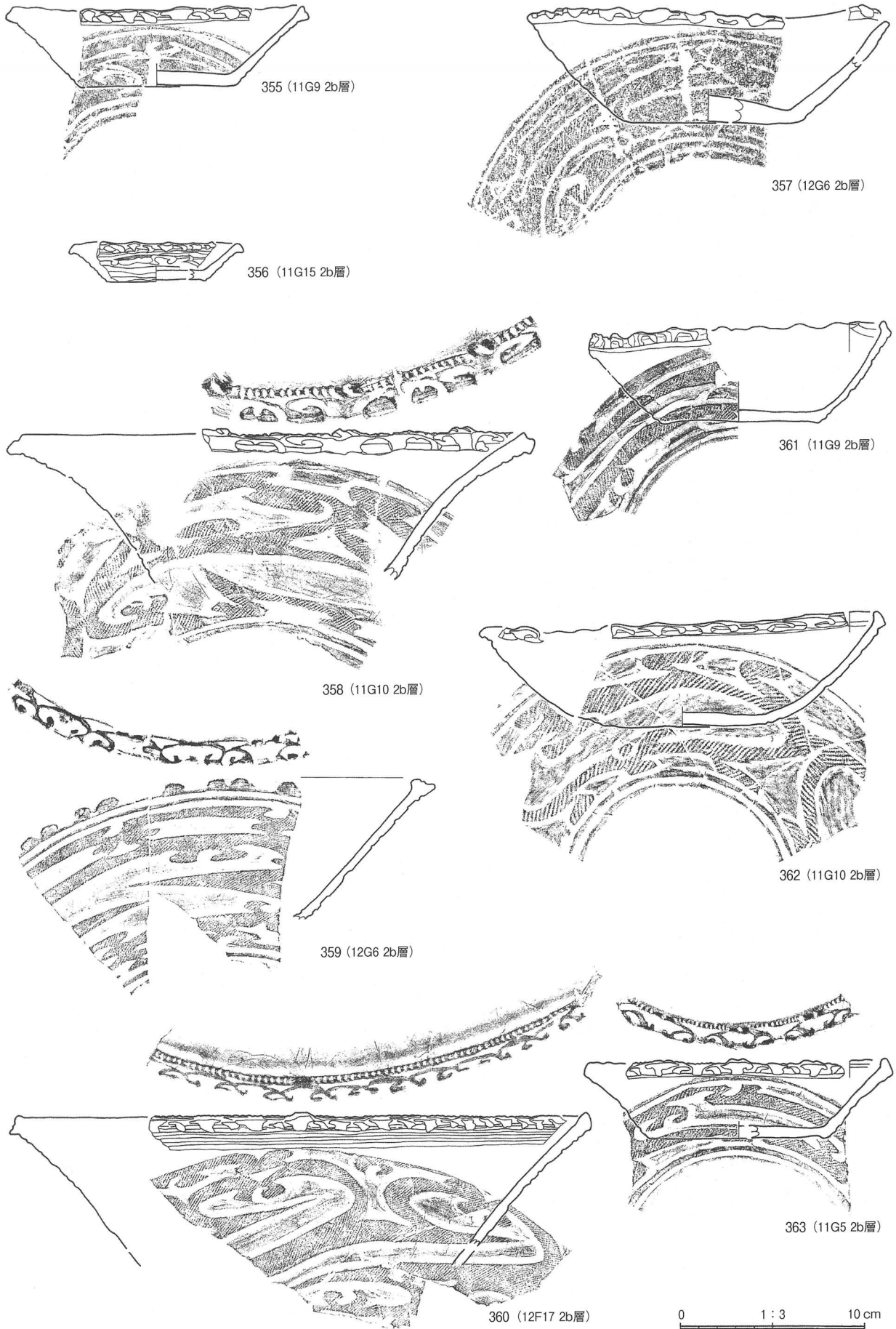
353 (12F21 2b層下位)



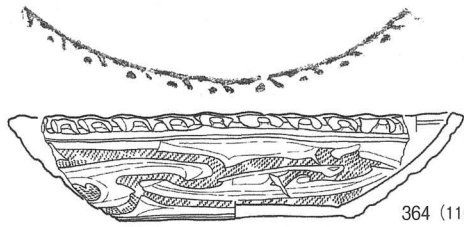
354 (12F21 2b層)

0 1 : 3 10 cm

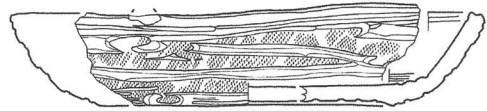
第68図 遺物包含層出土土器 (35)



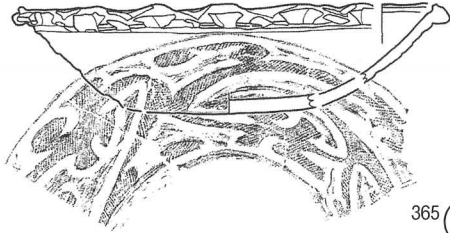
第69図 遺物包含層出土土器 (36)



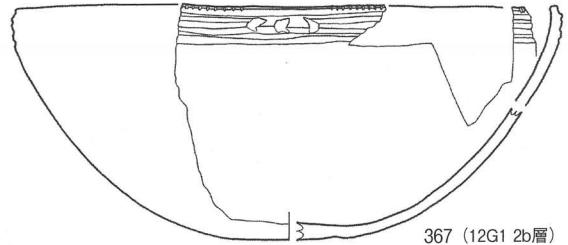
364 (11G14 2b層)



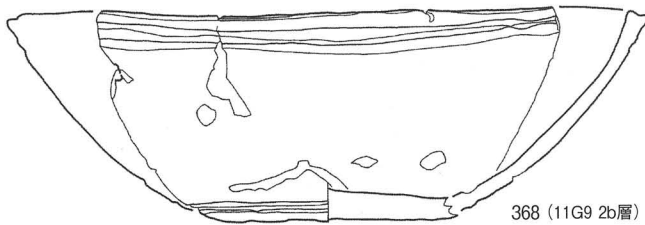
366 (11G10 2b層)



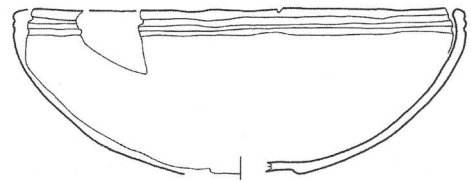
365 (11G19 1 ~ 2a層
12G6 2b層)



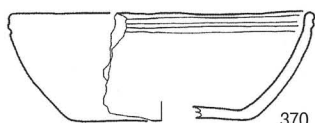
367 (12G1 2b層)



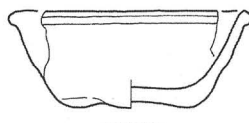
368 (11G9 2b層)



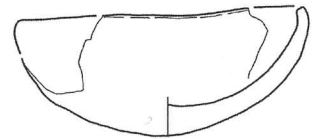
369 (12F21 2b層)



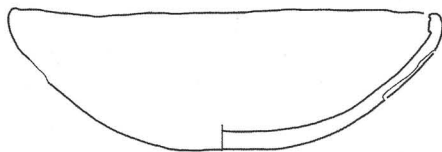
370 (12F21 2b層)



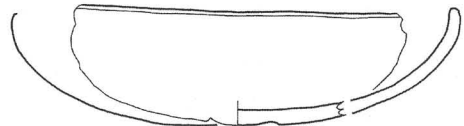
371 (11G5 2b層)



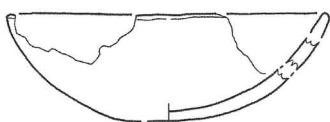
372
(12F16 · 12F17 2b層)



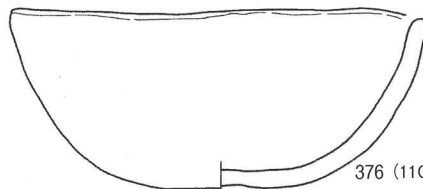
374 (11G9 2b層)



375 (11G15 2b層)



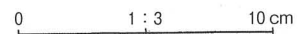
373 (11G14 2b層)



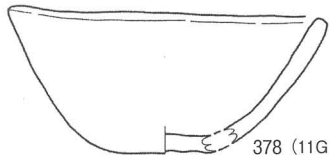
376 (11G10 2b層)



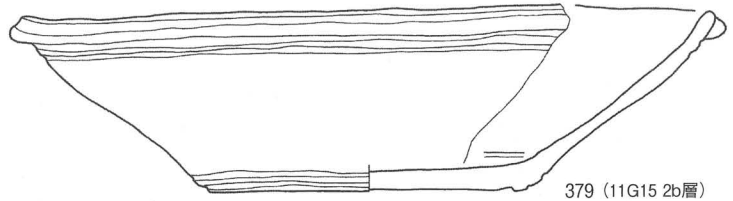
377 (12G1 2b層)



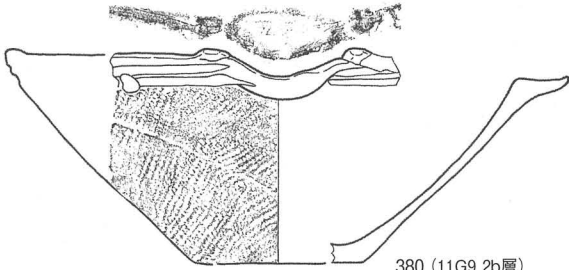
第70図 遺物包含層出土土器 (37)



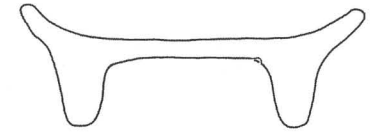
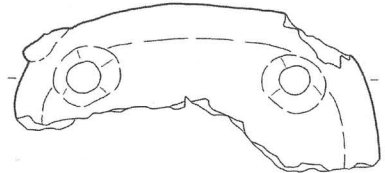
378 (11G15 2b層)



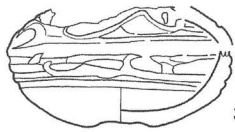
379 (11G15 2b層)



380 (11G9 2b層)



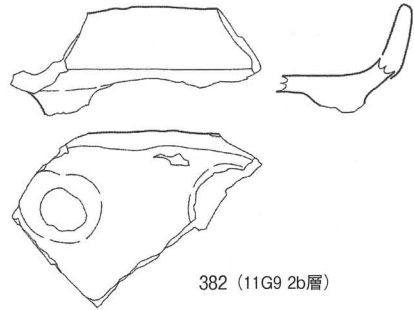
381 (11G5 2a層
12G1 2b層)



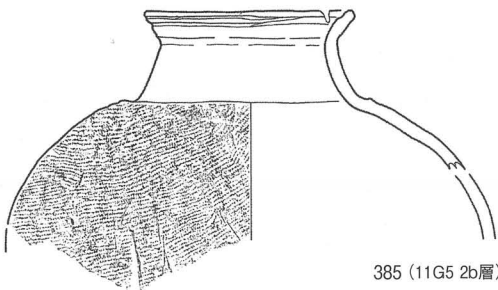
383 (11G15 2b層)



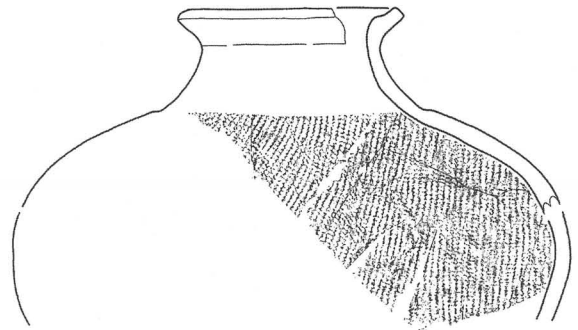
384 (11G10 2b層)



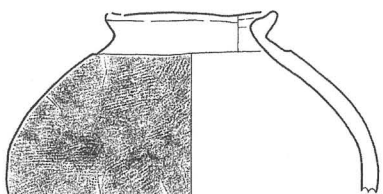
382 (11G9 2b層)



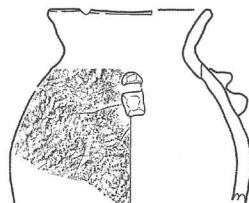
385 (11G5 2b層)



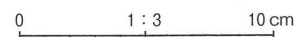
386 (11G9 2b層)



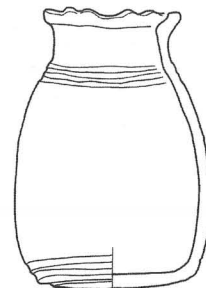
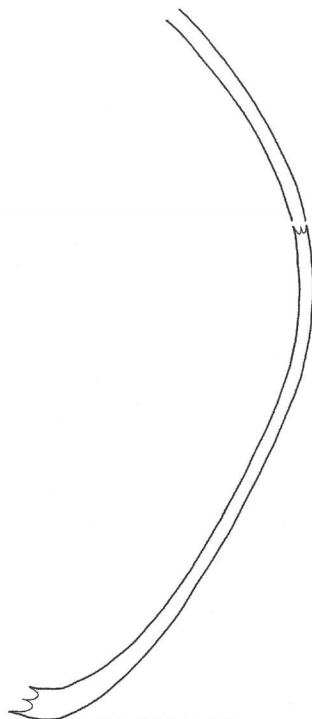
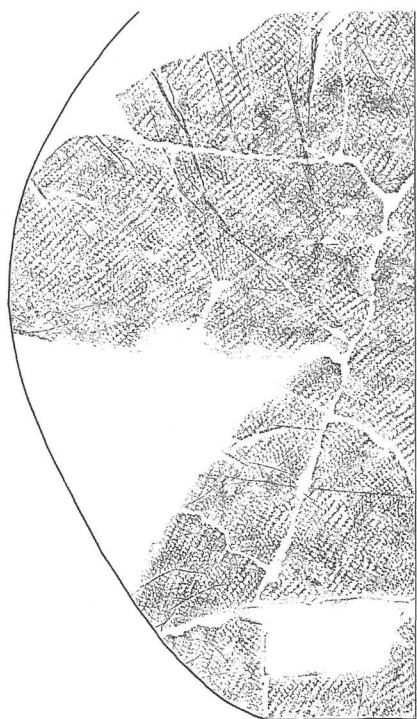
387 (11G9 2b層)



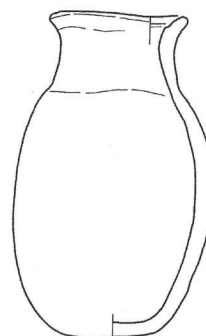
389 (11G5 2b ~ 3a層・2b層)



第71図 遺物包含層出土土器 (38)

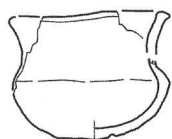


390 (11G19 2b層)

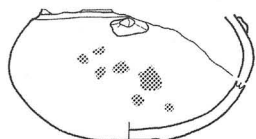


391 (12F17 2b層)

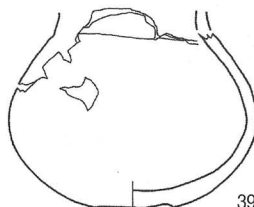
388 (12F17 2b層)



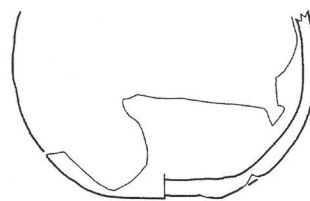
392 (11G15 2b層)



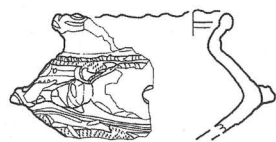
393 (11G15 2b層)



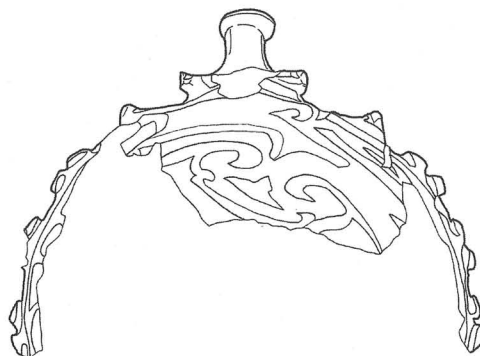
394 (11G15 2b層)



395 (11G9 2b層)



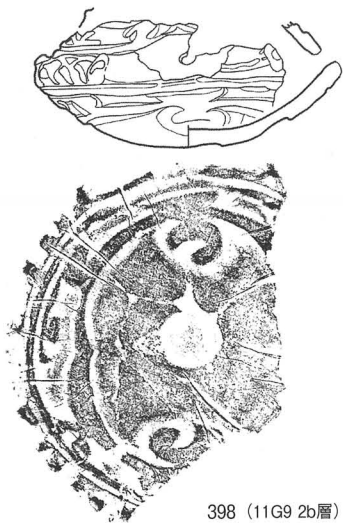
396 (11G9 2b層)



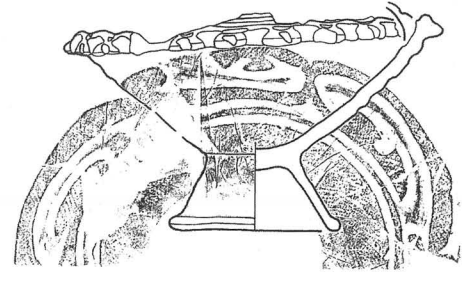
397 (11G10 2b層)

0 1:3 10 cm

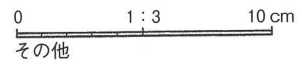
第72図 遺物包含層出土土器 (39)



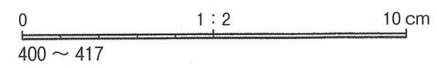
398 (11G9 2b層)



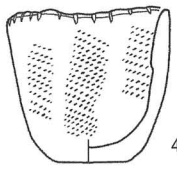
399 (11G9・12G1 2b層)



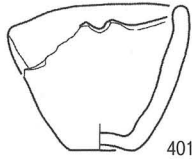
その他



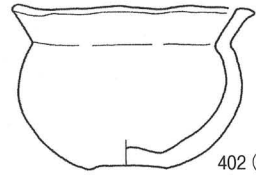
400 ~ 417



400 (12G1 2b層)



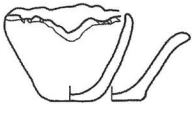
401 (11G10 2b層)



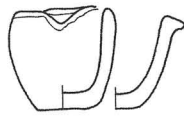
402 (11G15 2b層)



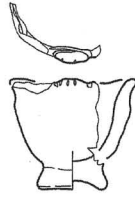
403 (11G15 2b層)



404 (11G5 2b層)



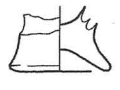
405 (11G14 2b層)



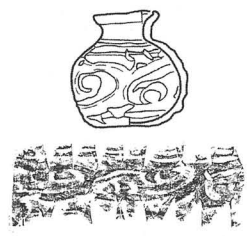
406 (12G6 2b層)



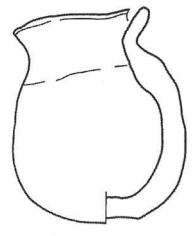
407 (11F25 2b層)



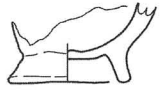
408 (11G5 2b層)



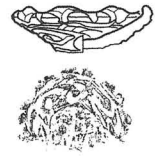
411 (11G5 2b層)



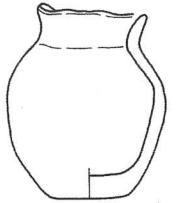
412 (11G5 2b層)



409 (12G2 2b層)



410 (11G10 2b層)



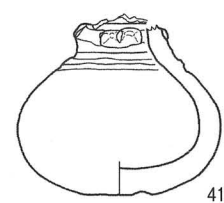
413 (11G15 2b層)



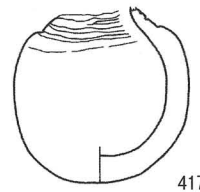
414 (12G1 2b層)



415 (12F16 2b層下位)



416 (12F17 2b層)

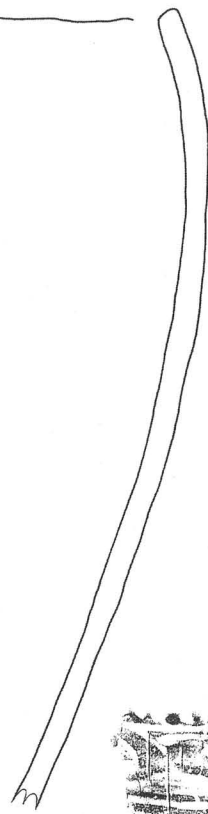


417 (12F17 2b層)

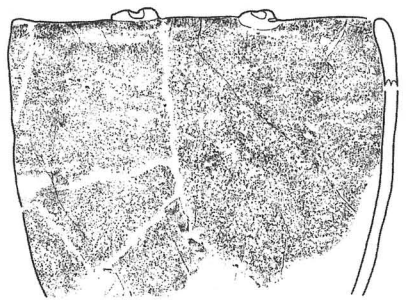
第73図 遺物包含層出土土器 (40)



420 (11G14 2a層)



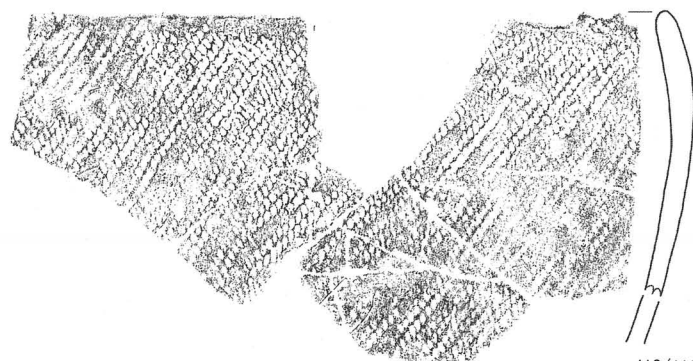
421 (11G5 2a層)



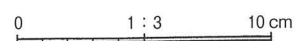
422
(11G14 2a層・1～2a層)



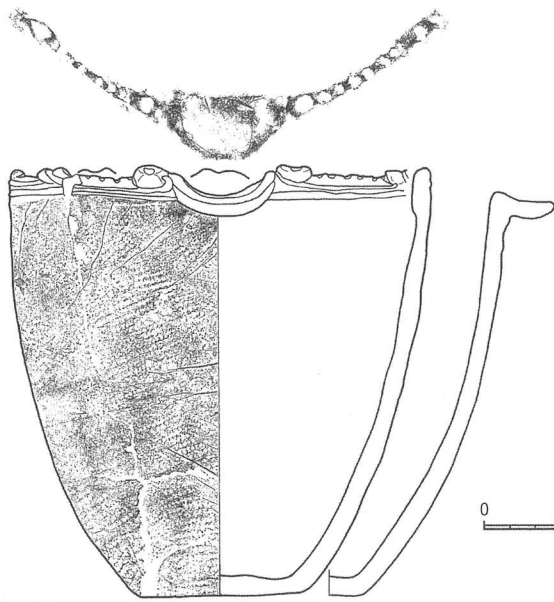
418 (11G10 2a層)



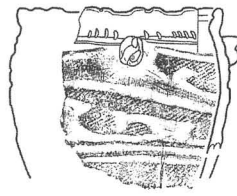
419 (11G19 1～2a層)



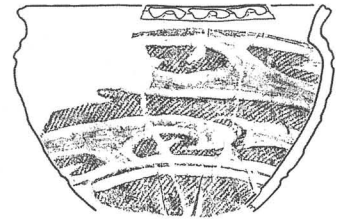
第74図 遺物包含層出土土器 (41)



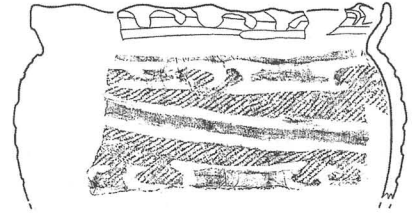
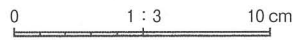
423 (11G10 2a層)



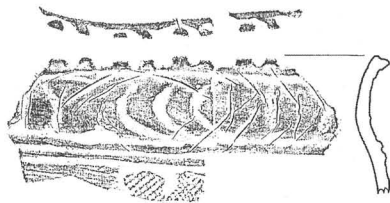
426 (11G14 1 ~ 2a層)



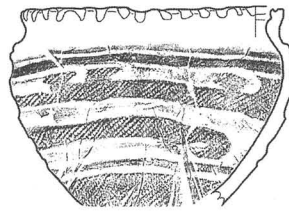
428 (11G19 1 ~ 2a層)



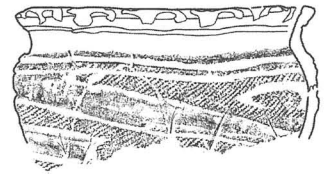
427 (11G15 2a層)



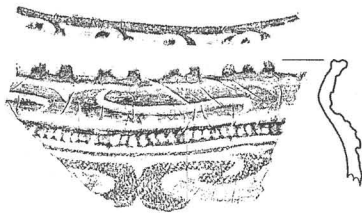
424 (11G10 2a層)



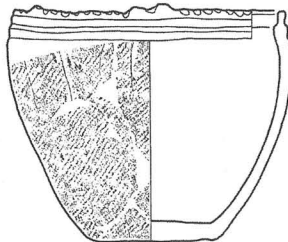
429 (11G19 1 ~ 2a層)



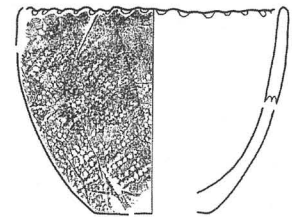
430 (12G1 1層
11G19 1 ~ 2a層)



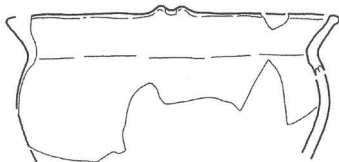
425 (11G10 2a層)



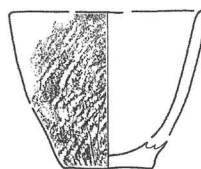
431 (11G15 2a層)



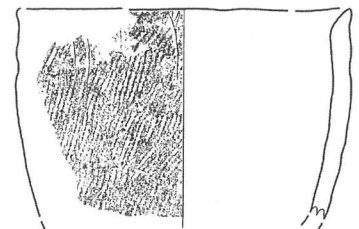
432 (11G15 2a層)



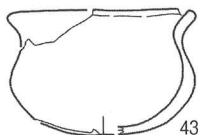
435 (11G10 2a層)



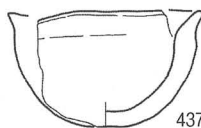
433 (12G6 2a層)



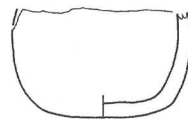
434 (11G14 2a層)



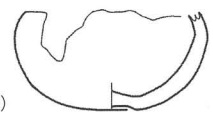
436 (12G1 2a層)



437 (11G25 2a層)

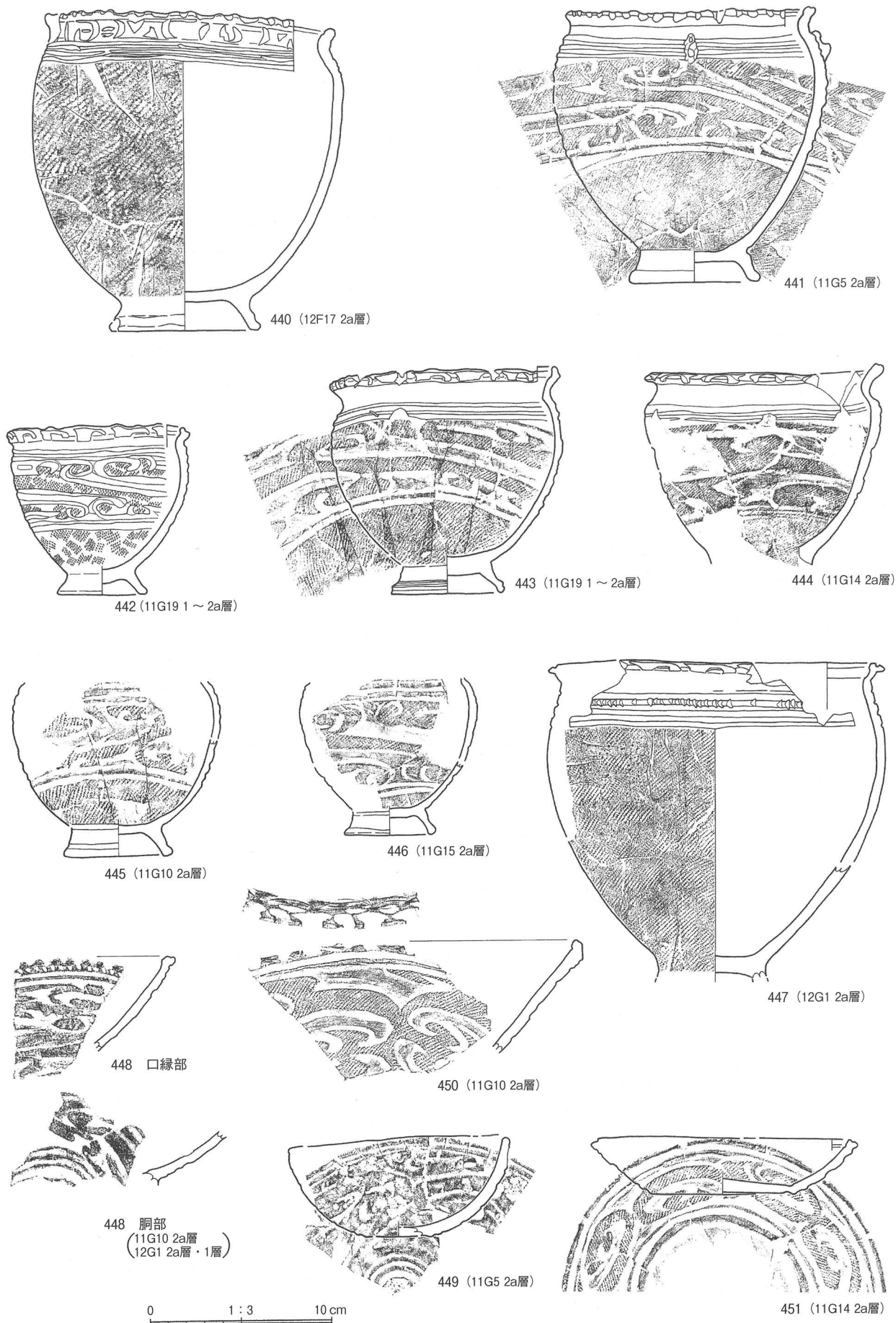


438 (11G10 2a層)

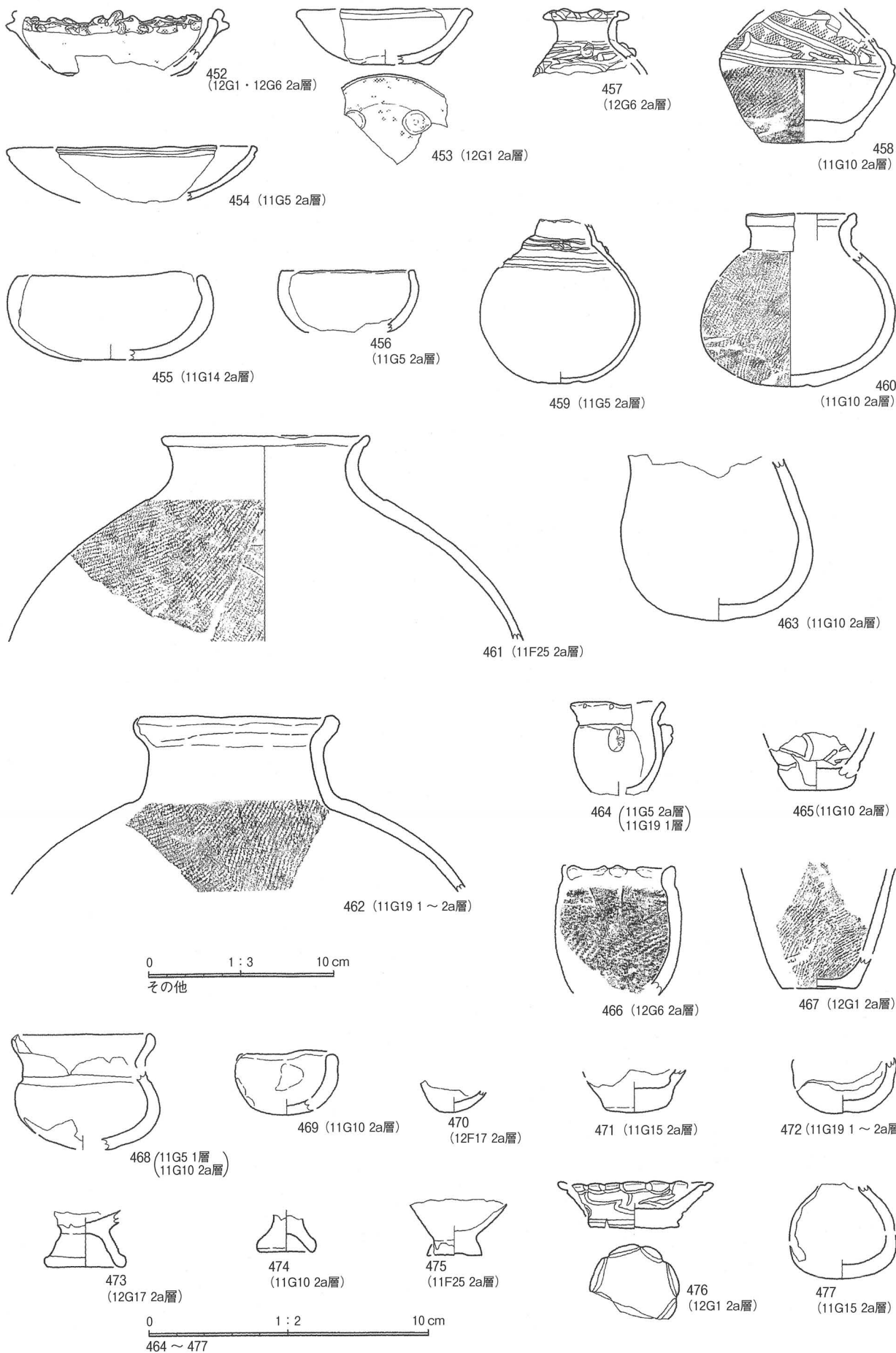


439 (11G10 2a層)

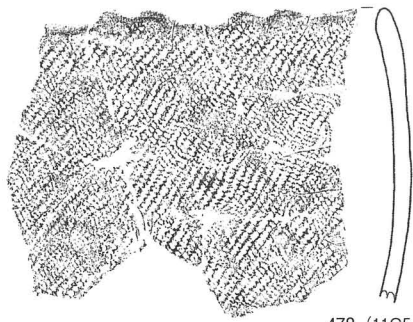
第75図 遺物包含層出土土器 (42)



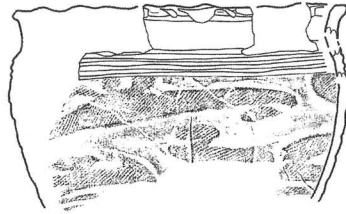
第76図 遺物包含層出土土器 (43)



第77図 遺物包含層出土土器 (44)



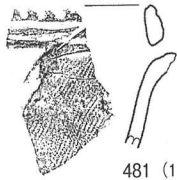
478 (11G5 1層)



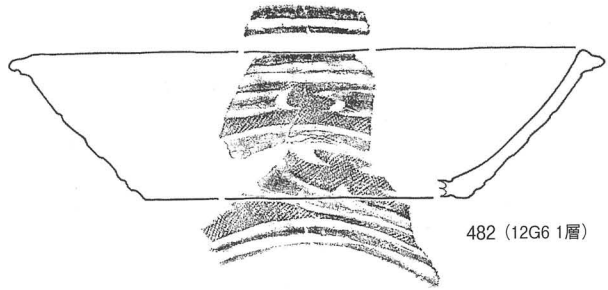
479 (11F25 1層)



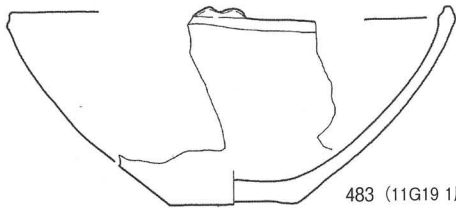
480 (12G1 1層)



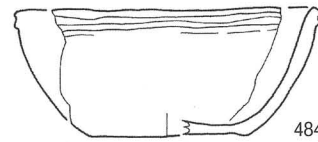
481 (11G19 1層)



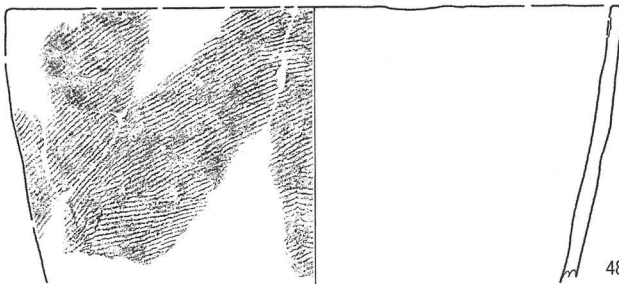
482 (12G6 1層)



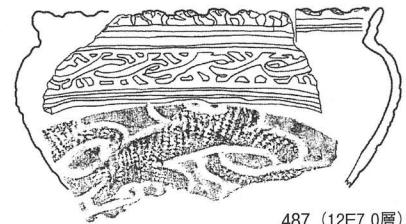
483 (11G19 1層)



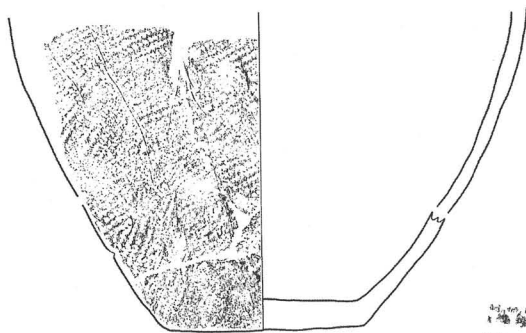
484 (11G15 1層)



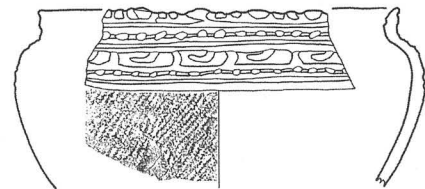
485 (12E22 ~ 23 0層)



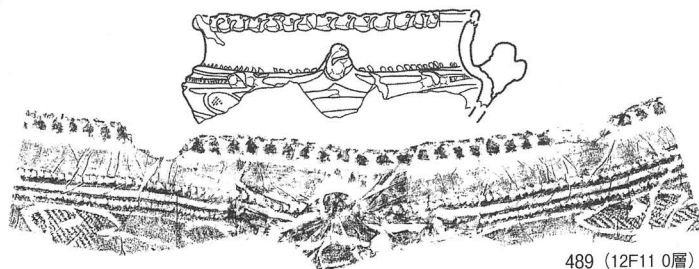
487 (12E7 0層)



486 (12E9 0層)



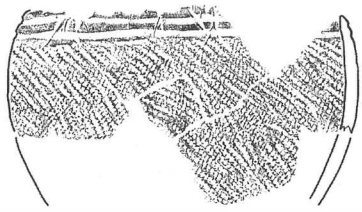
488 (12E7 0層)



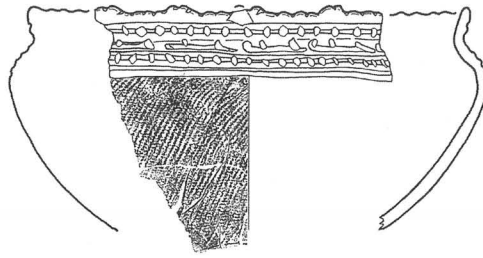
489 (12F11 0層)

0 1 : 3 10 cm

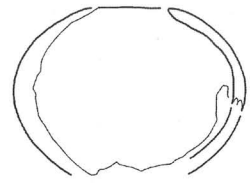
第78図 遺物包含層出土土器 (45)



490 (12F11 0層)



491 (12E22 ~ 23 0層)

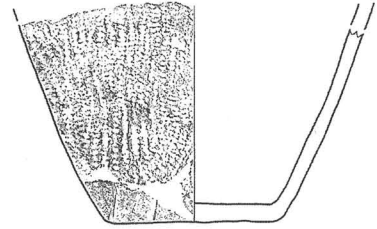


492 (12E13 0層)

遺構外



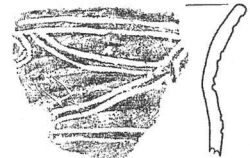
493 (11G9 V層上位)



494 (10H22 V層?)



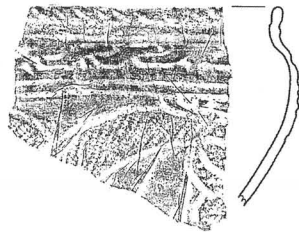
495 (9K4 V層上位)



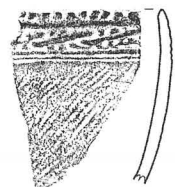
496 (9J25 V層上位)



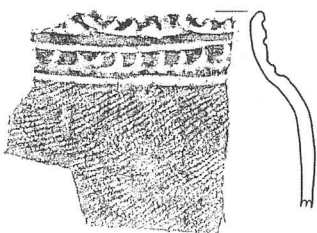
497 (9K10 V層上位)



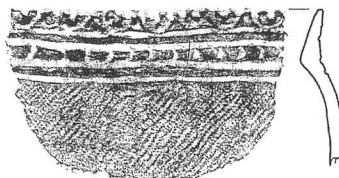
498 (12F16 V層)



499 (12E9 V層上位)



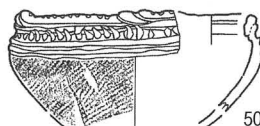
500 (12G1 V層上位)



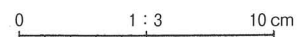
501 (12F12 V層上位)



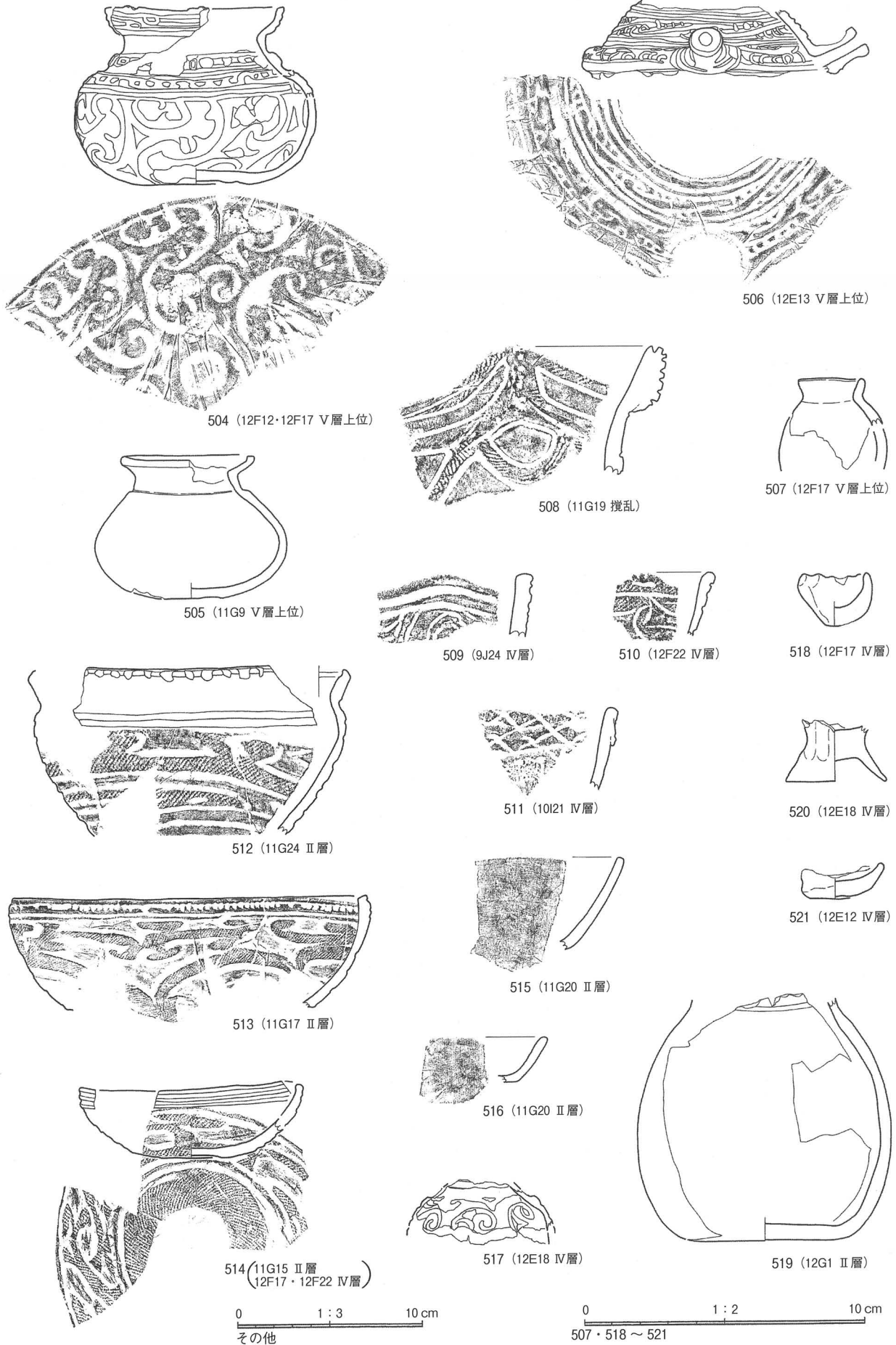
503 (11G14 V層上位)



502 (12F16 V層)

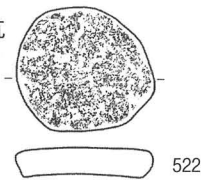


第79図 遺物包含層出土土器 (46)、遺構外出土土器 (1)



第80図 遺構外出土土器 (2)

5号土坑

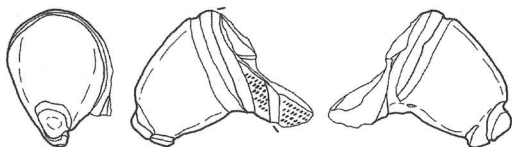


522

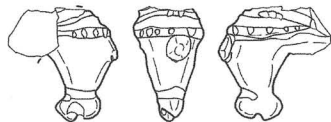
遺物包含層



524 (12E3-12E9 A層)



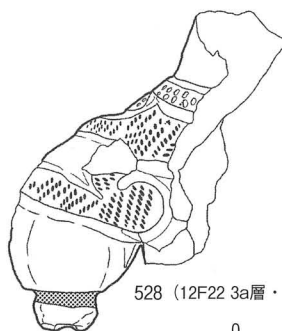
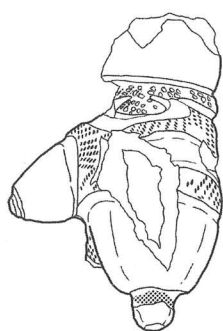
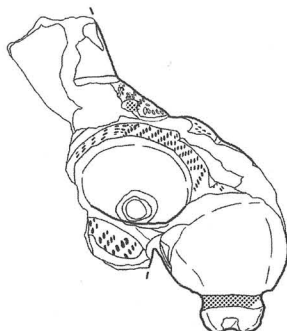
525 (12E3 A層)



526 (12F12 3b層)



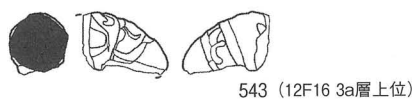
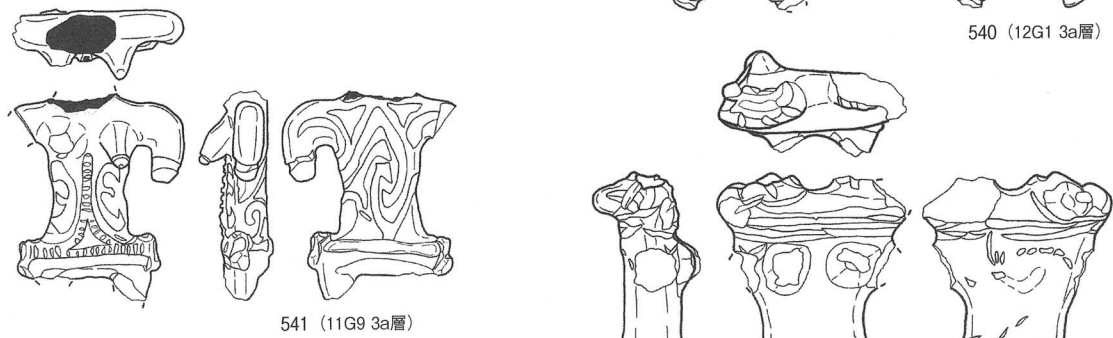
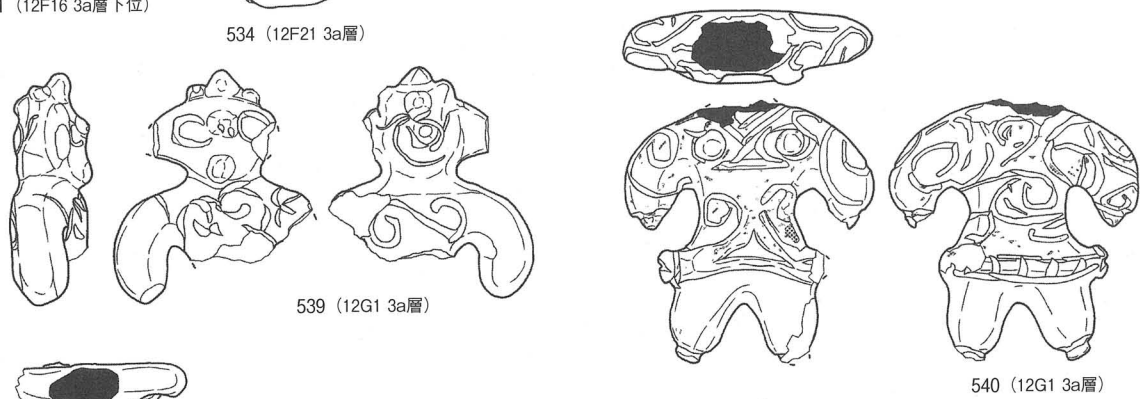
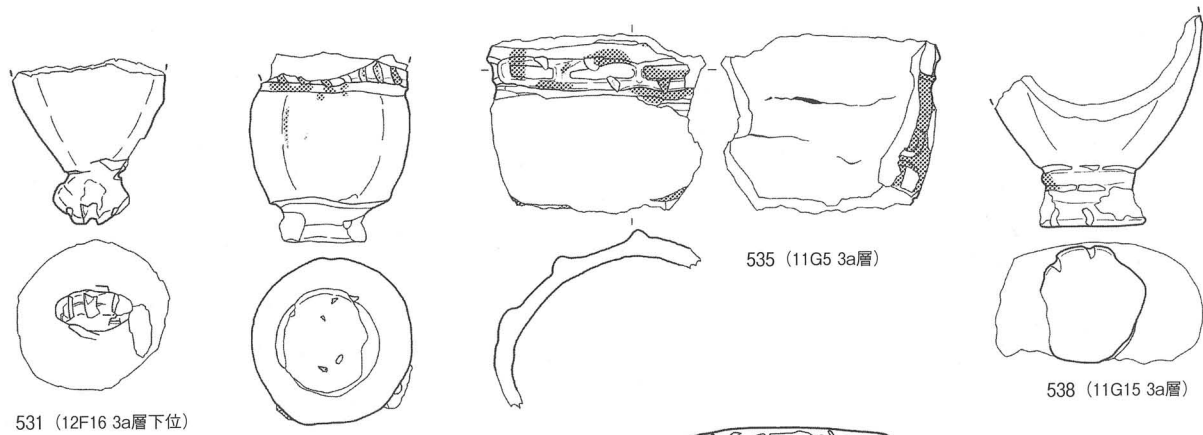
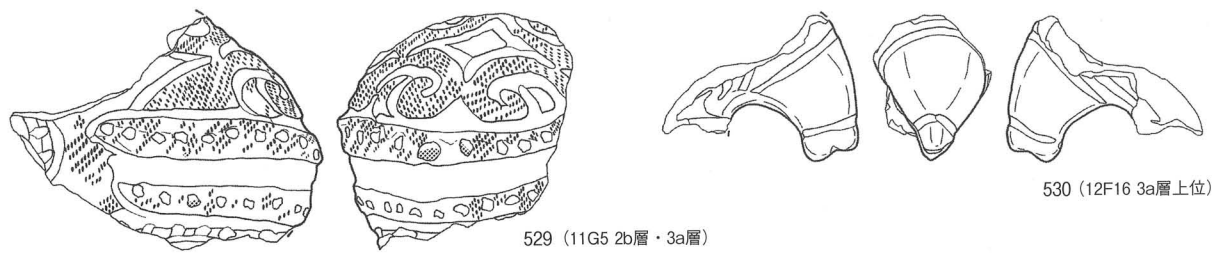
527 (12G11 3a層)



528 (12F22 3a層・3a層下位)

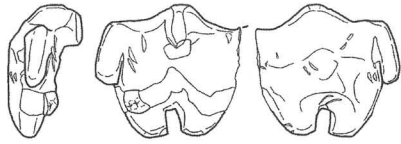
0 1:2 10 cm

第81图 土坑·遺物包含層出土土製品(1)

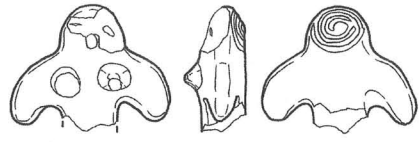


0 1:2 10 cm

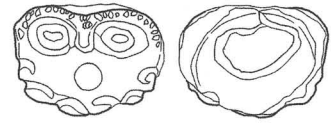
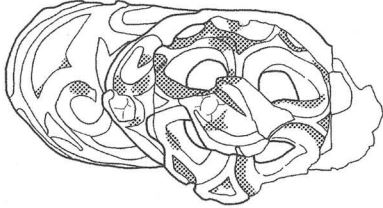
第82図 遺物包含層出土土製品(2)



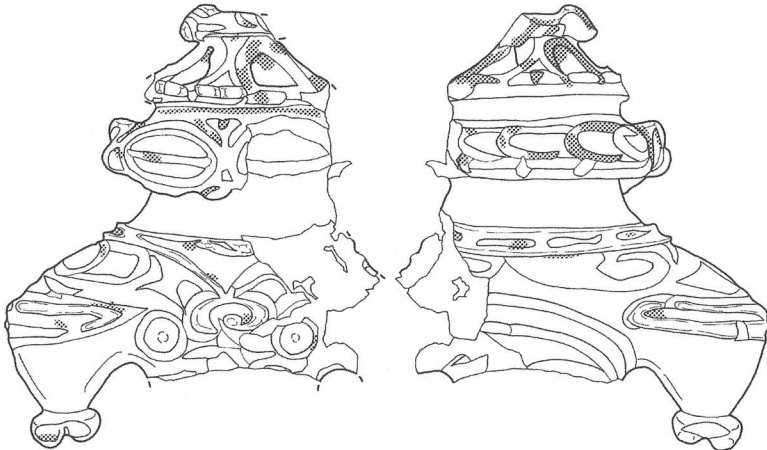
546 (11G15 3a層)



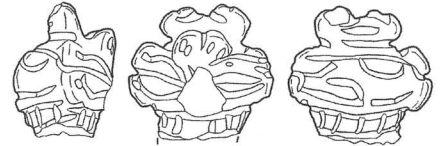
547 (12F12 3a層上位)



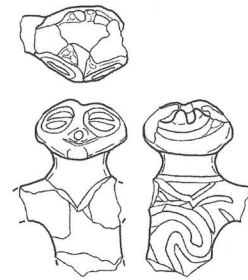
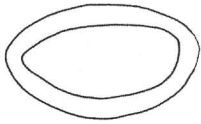
549 (11F25 2b層)



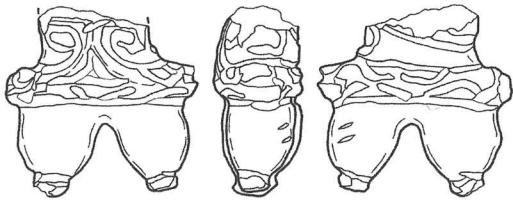
548 (12F21 2b層下位)



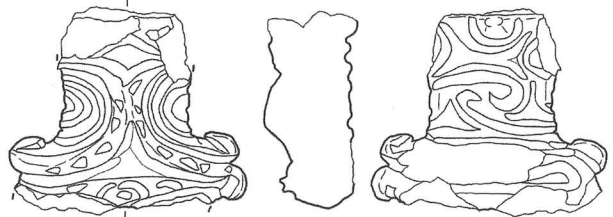
551 (12F16 2b層下位)



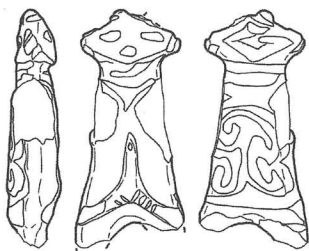
552 (11F25 2b層)



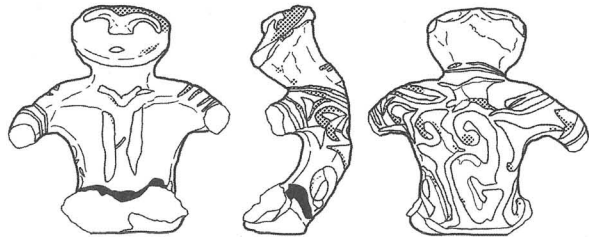
553 (12F17 2b層)



554 (12G1 2b層)



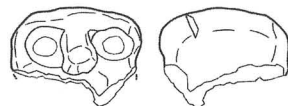
555 (12F22 2b層)



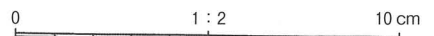
557 (12G6 2b層)



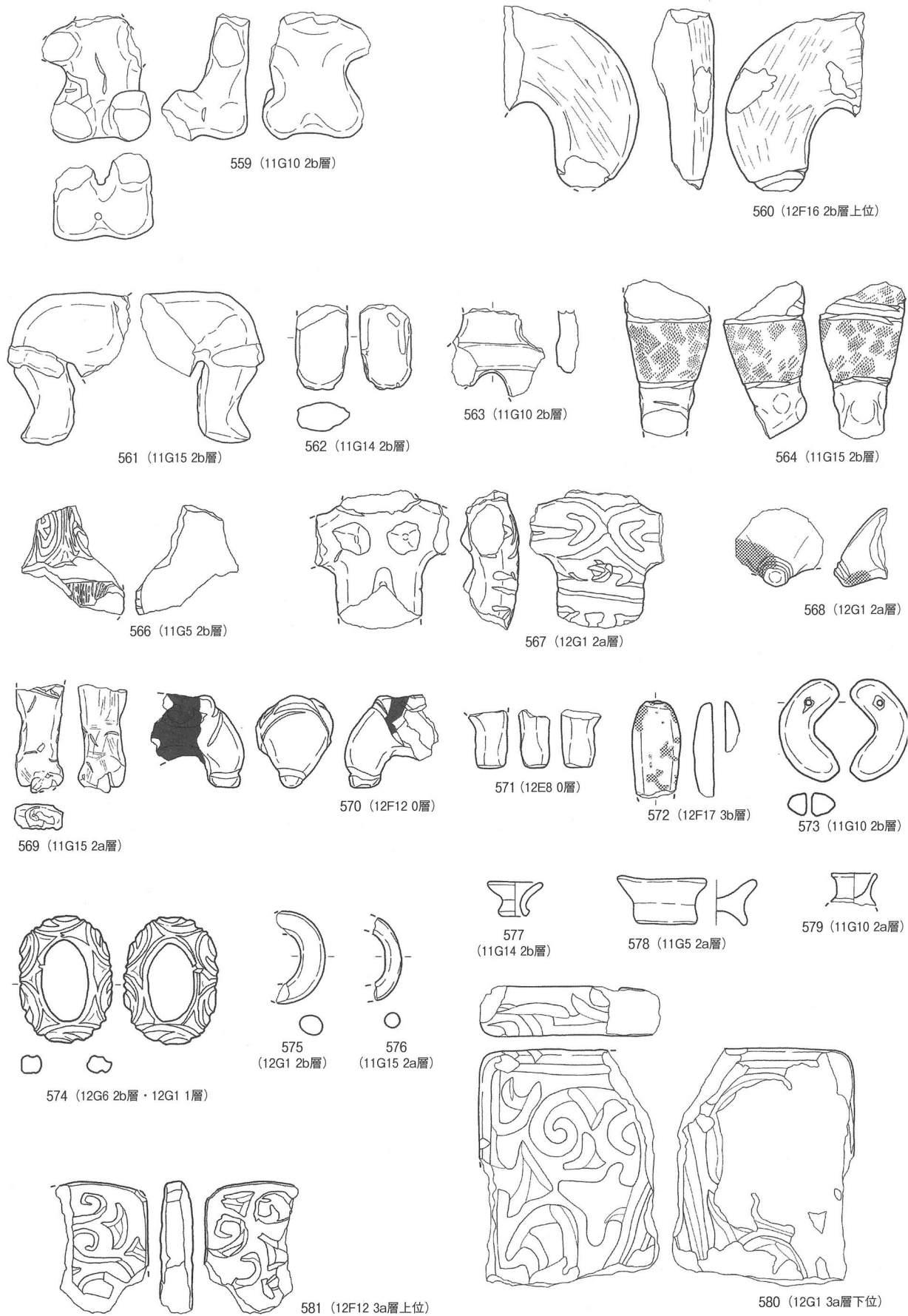
556 (12F22 2b層)



558 (11G15 2b層)

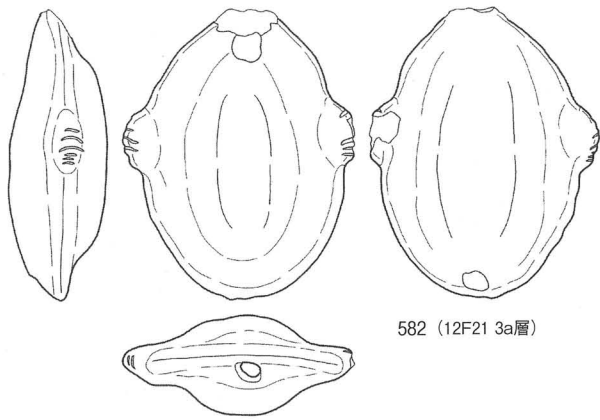


第83図 遺物包含層出土土製品 (3)

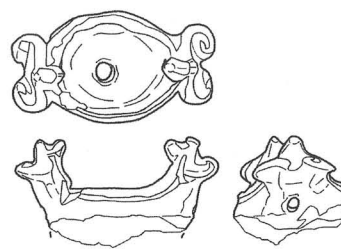


0 1:2 10 cm

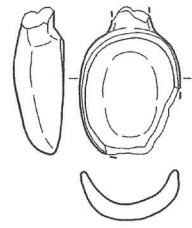
第84図 遺物包含層出土土製品(4)



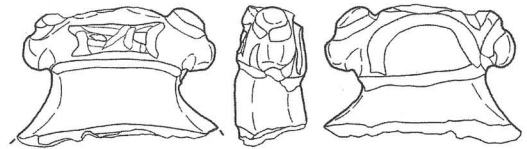
582 (12F21 3a層)



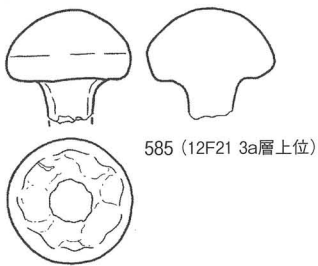
583 (11G14 3a層下位)



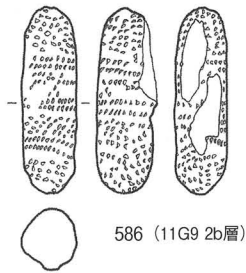
584 (11G10 3a層)



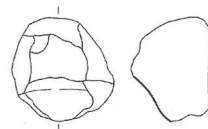
587 (11G10 2b層)



585 (12F21 3a層上位)



586 (11G9 2b層)



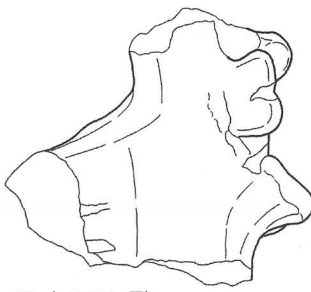
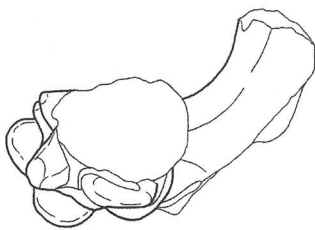
588 (12F11 3b層)



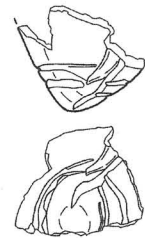
589 (11G14 1 ~ 2a層)



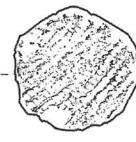
590 (12G1 2b層下位)



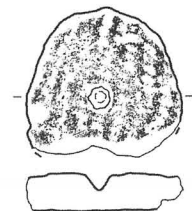
591 (11G15 3a層)



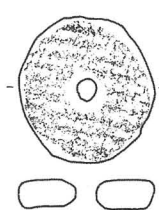
592 (12G1 3a層)



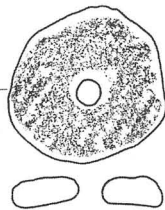
593 (12E13 A層)



594 (12F16 3a層)



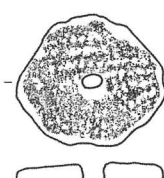
595 (12G1 2b層)



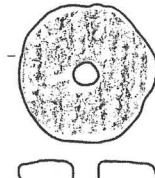
596 (12G1 2b層)



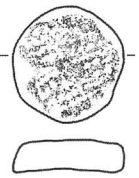
597 (12G1 2b層)



598 (11G15 2b層)



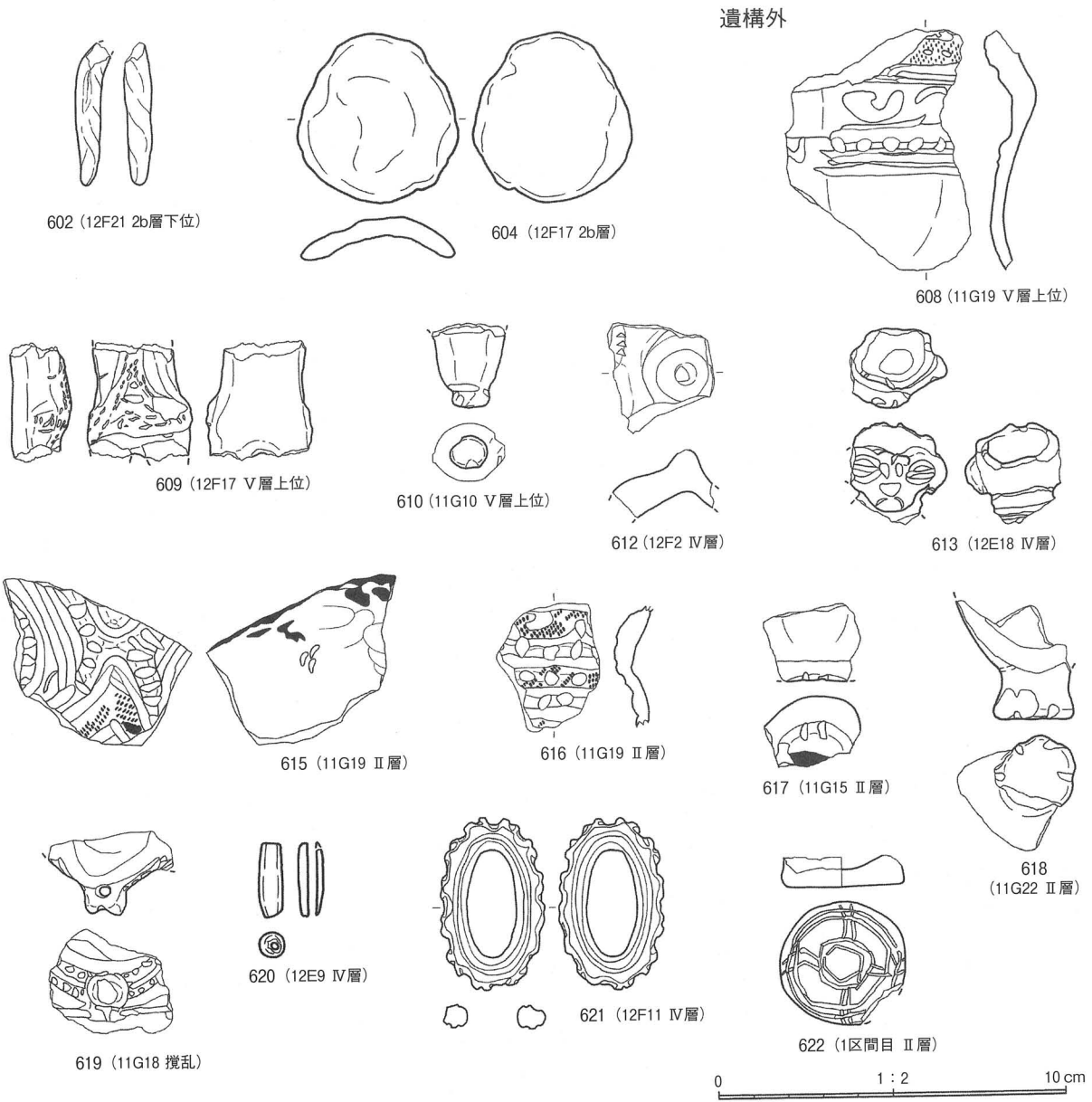
600 (11G4 2a層)



601 (11G10 2a層)

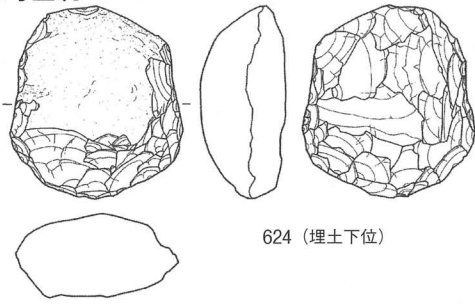
0 1:2 10cm

第85図 遺物包含層出土土製品 (5)

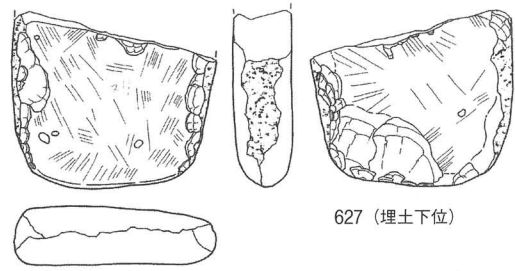


第86図 遺物包含層出土土製品(6)、遺構外出土土製品

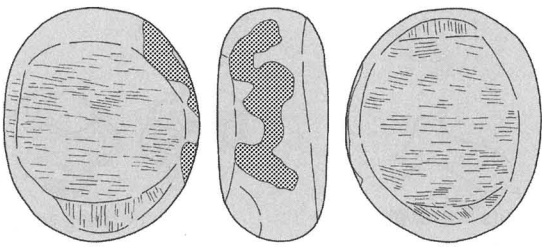
2号土坑



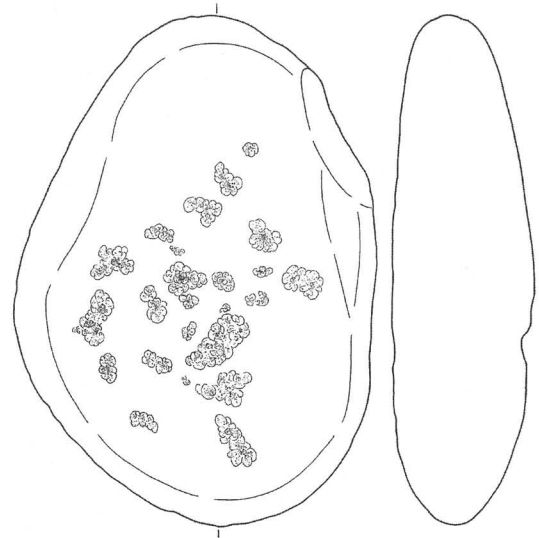
624 (埋土下位)



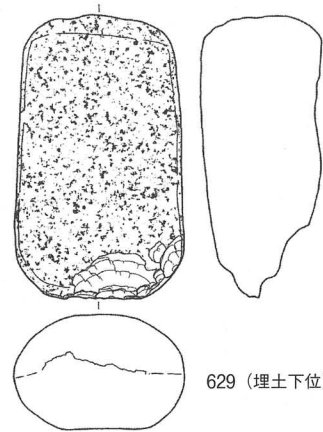
627 (埋土下位)



628 (埋土上位)

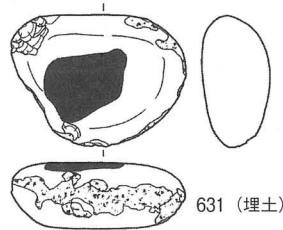


630 (埋土下位)



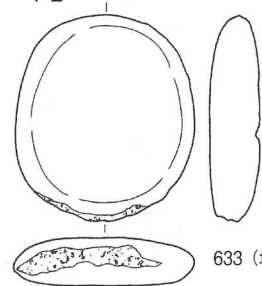
629 (埋土下位)

3号土坑



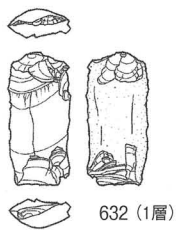
631 (埋土)

P2



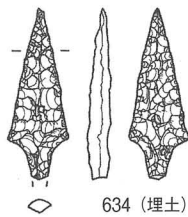
633 (埋土)

4号土坑

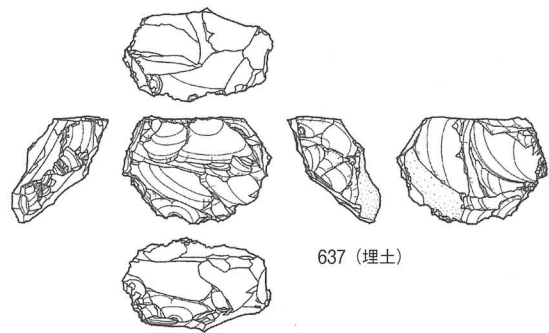


632 (1層)

1号溝



634 (埋土)



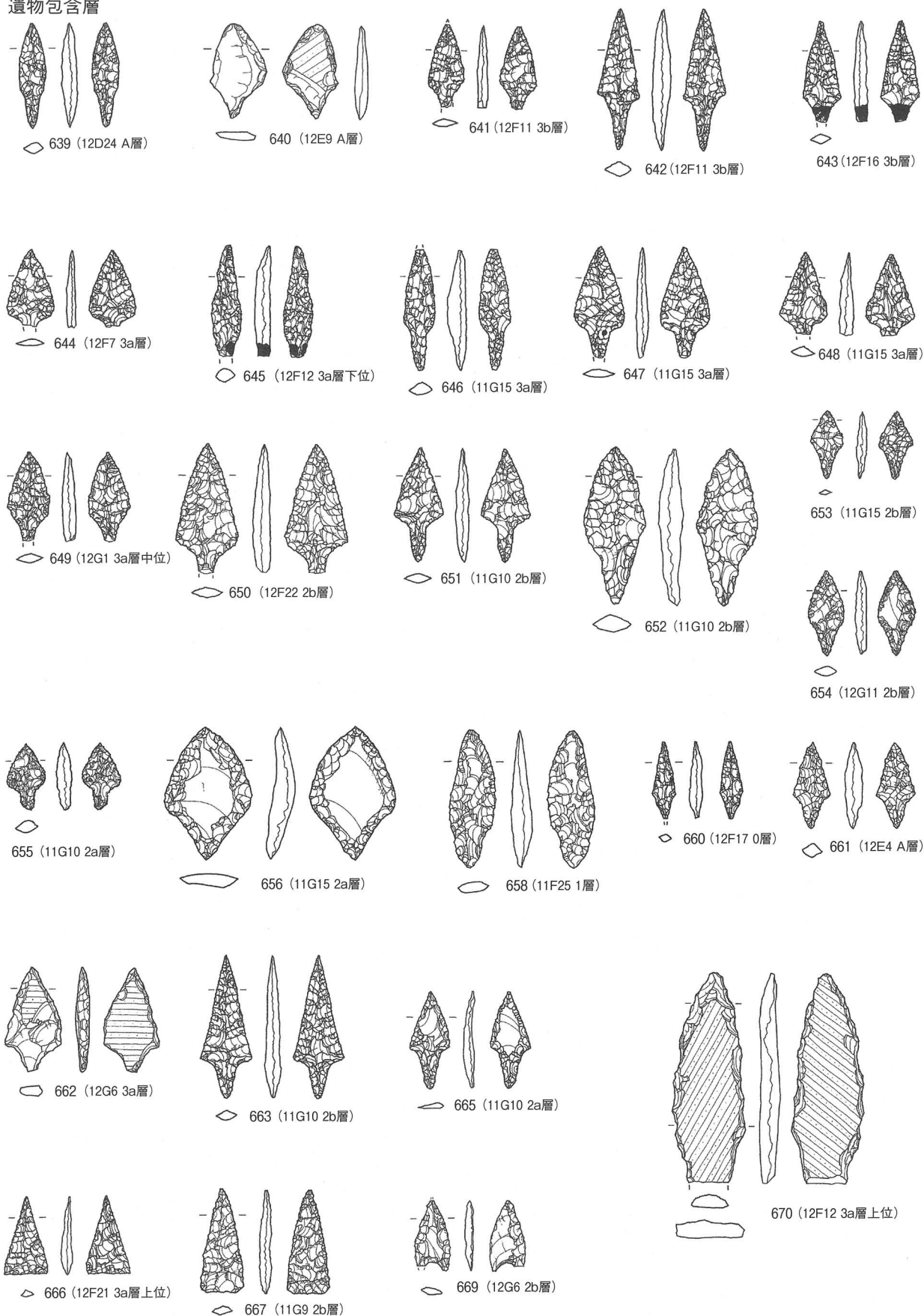
637 (埋土)

0 1 : 3 10 cm
その他

0 1 : 2 10 cm
624・632・634・637

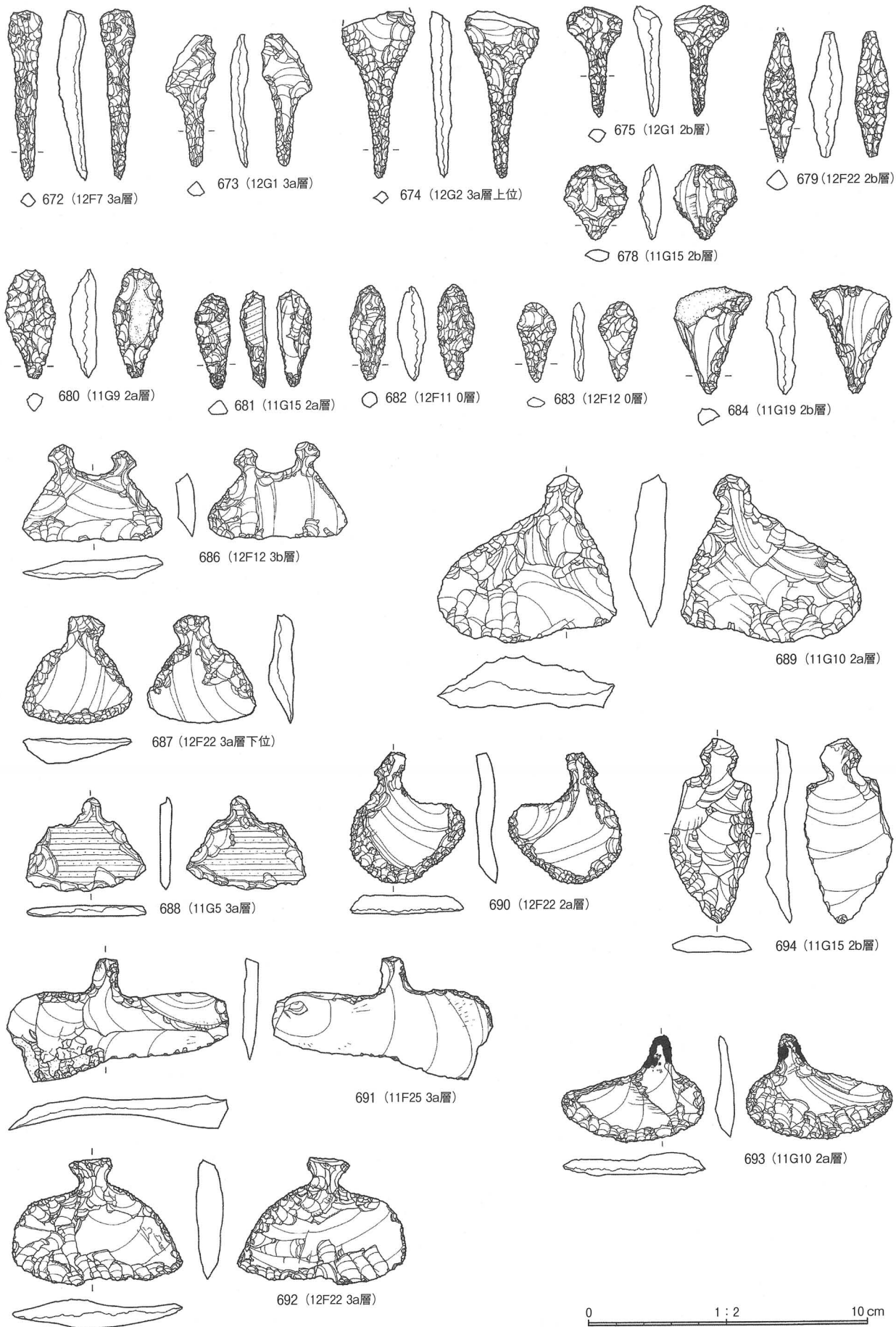
第87図 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器

遺物包含層



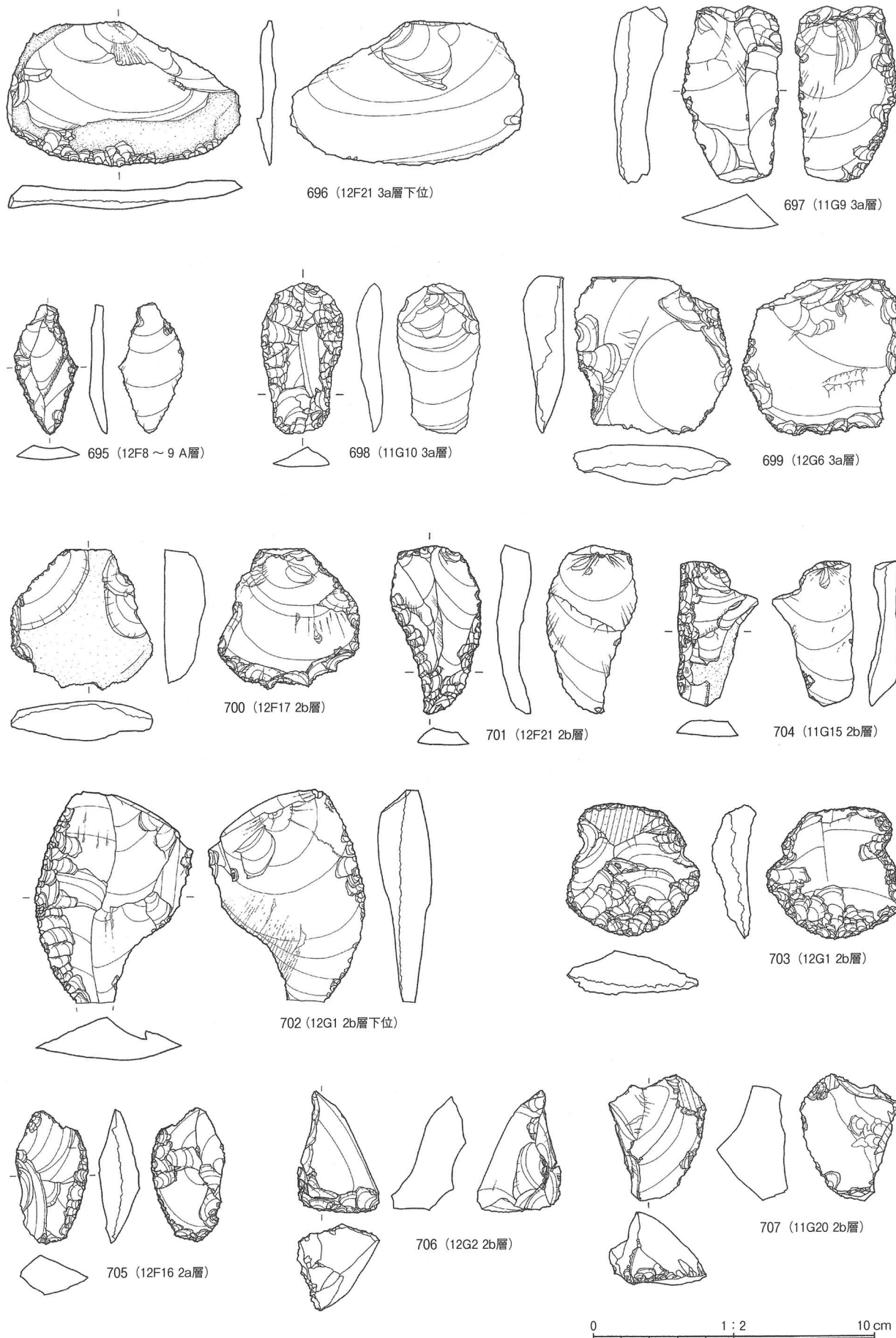
0 1:2 10cm

第88圖 遺物包含層出土石器 (1)

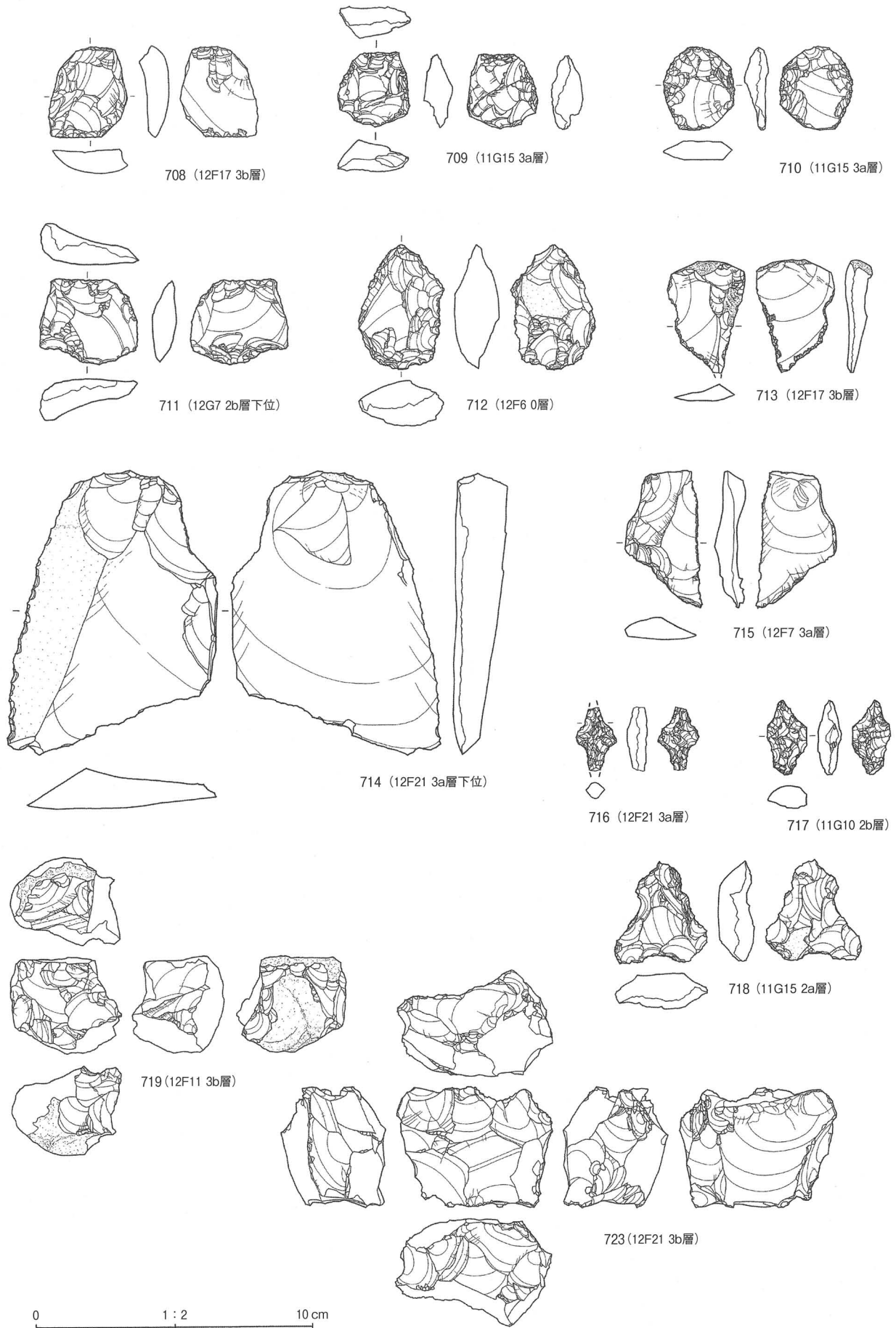


0 1:2 10cm

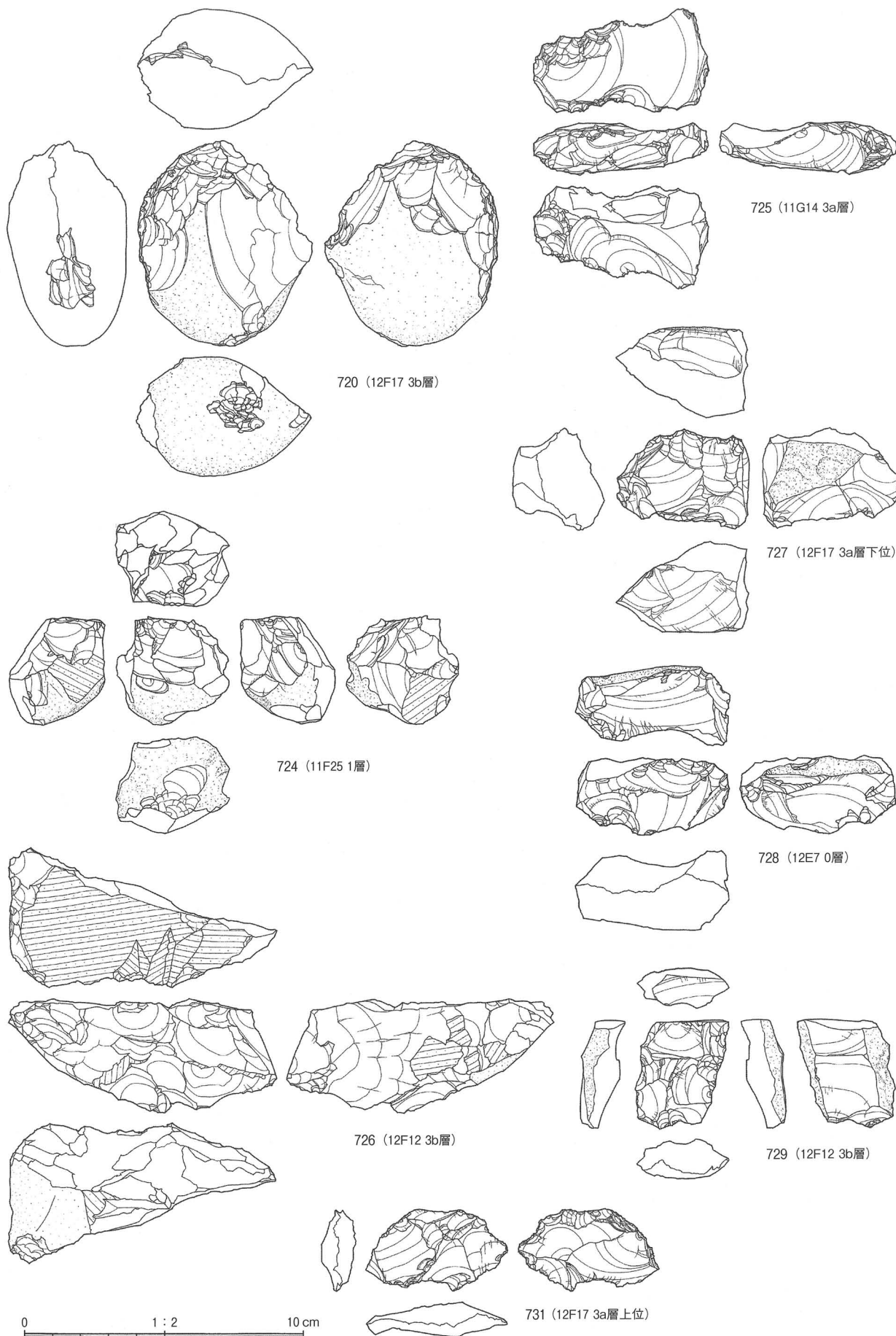
第89図 遺物包含層出土石器 (2)



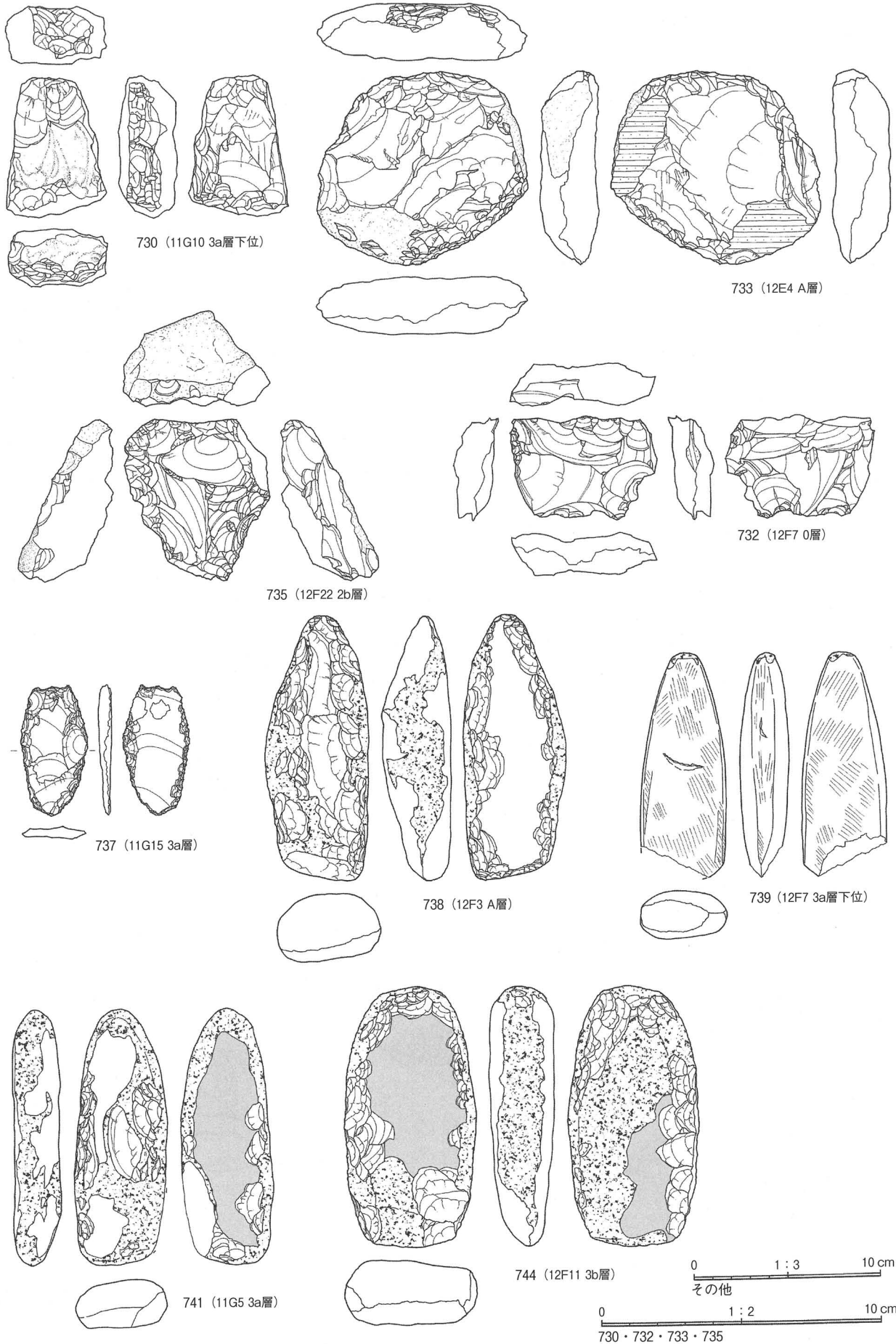
第90図 遺物包含層出土石器 (3)



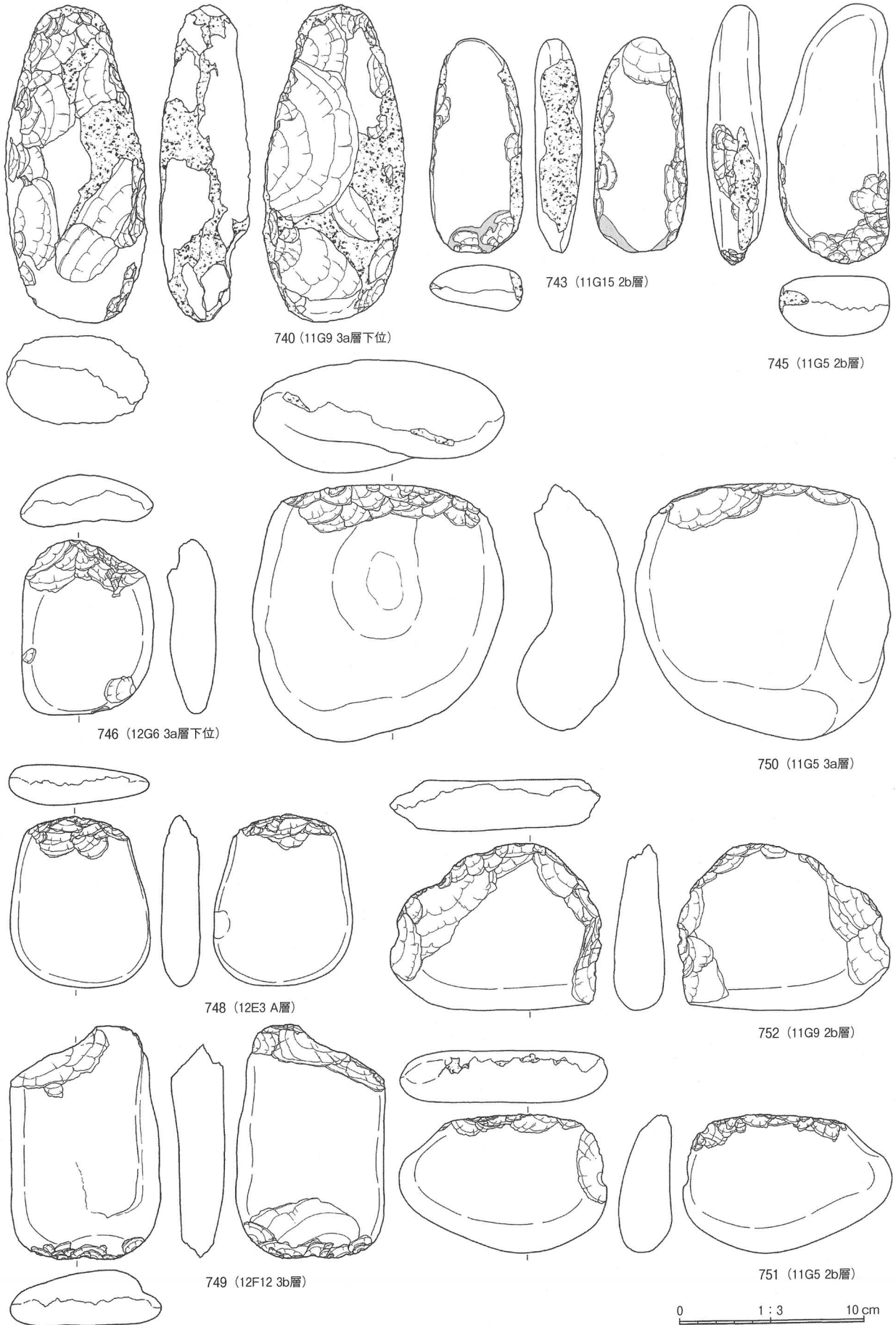
第91図 遺物包含層出土石器 (4)



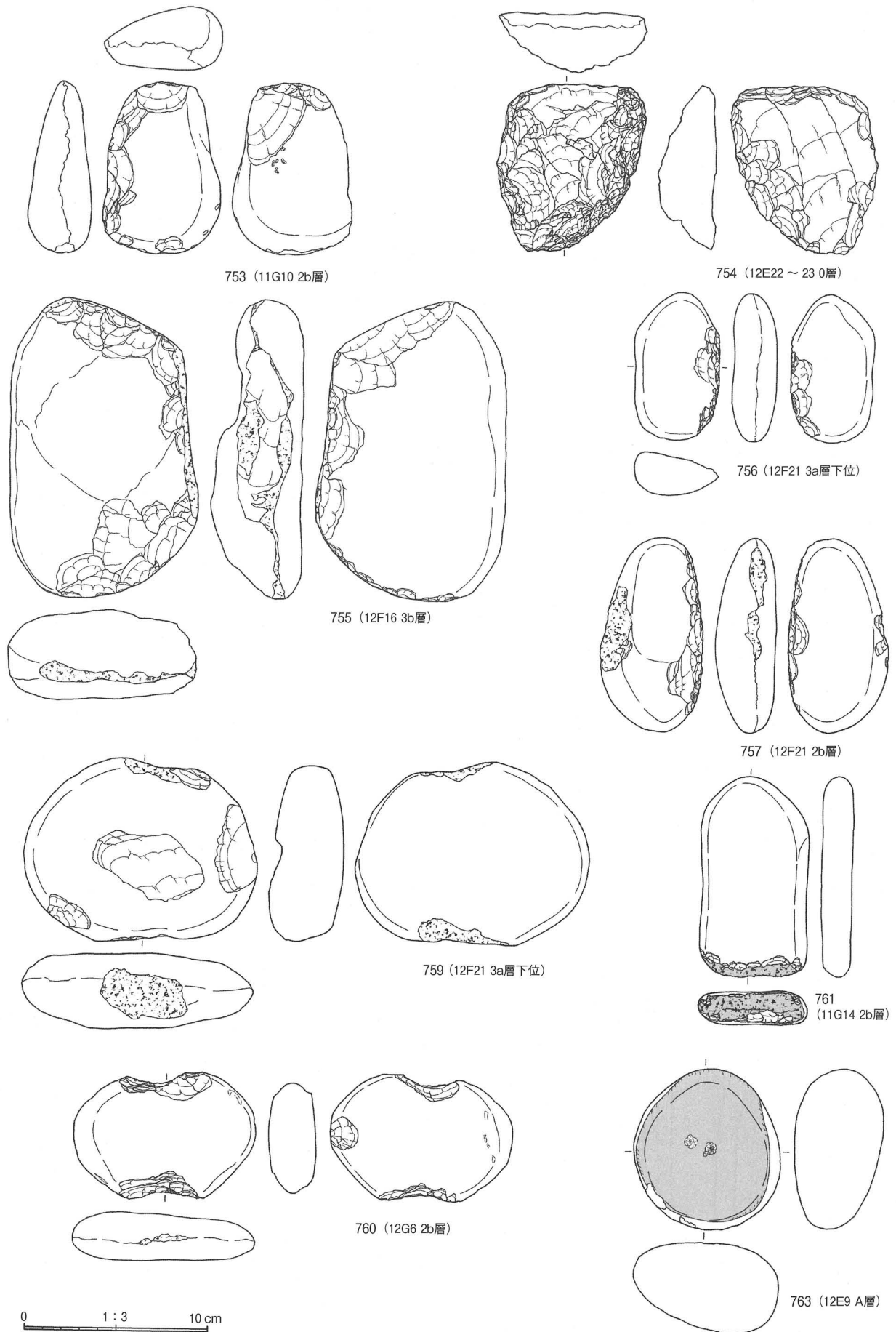
第92図 遺物包含層出土石器 (5)



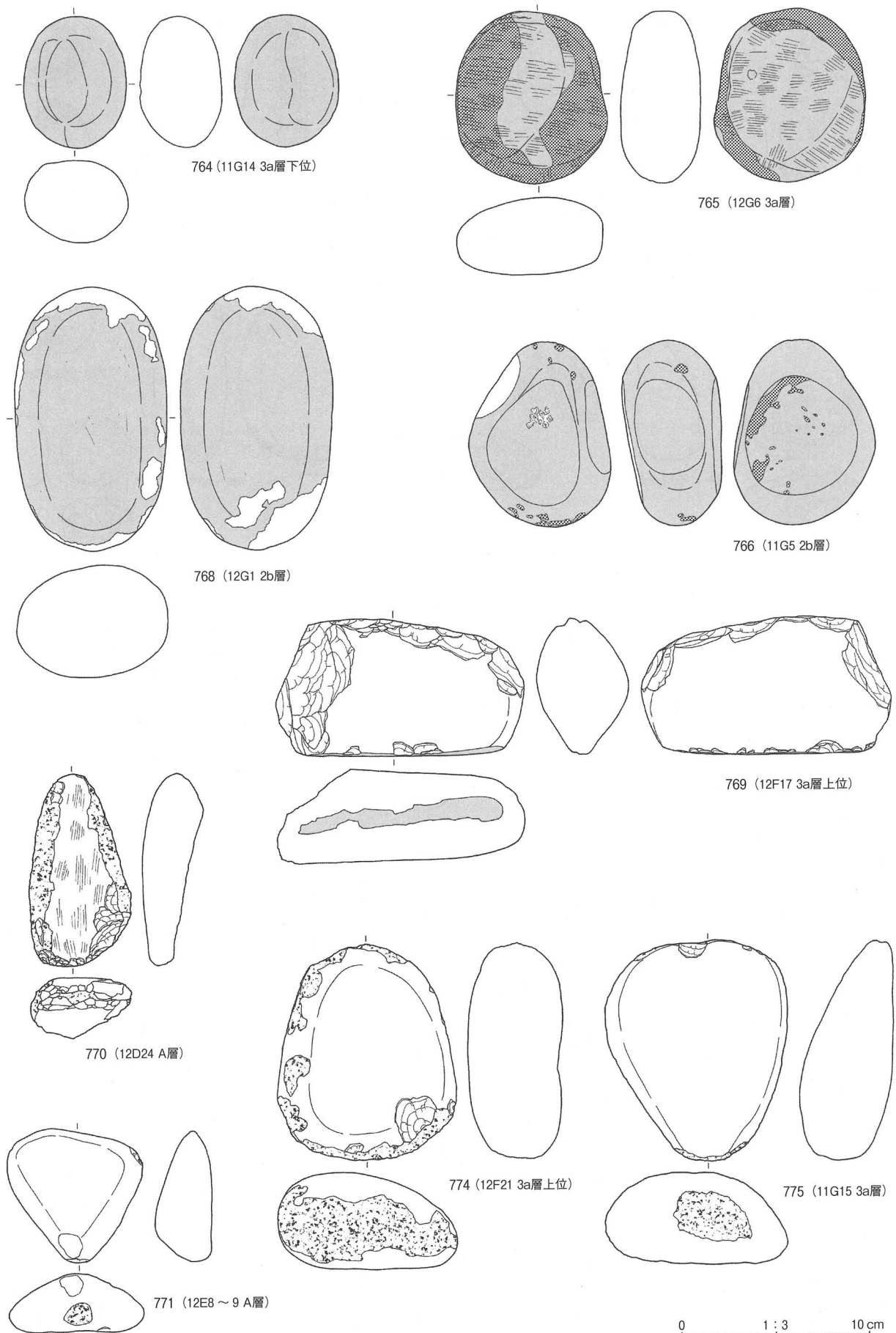
第93図 遺物包含層出土石器 (6)



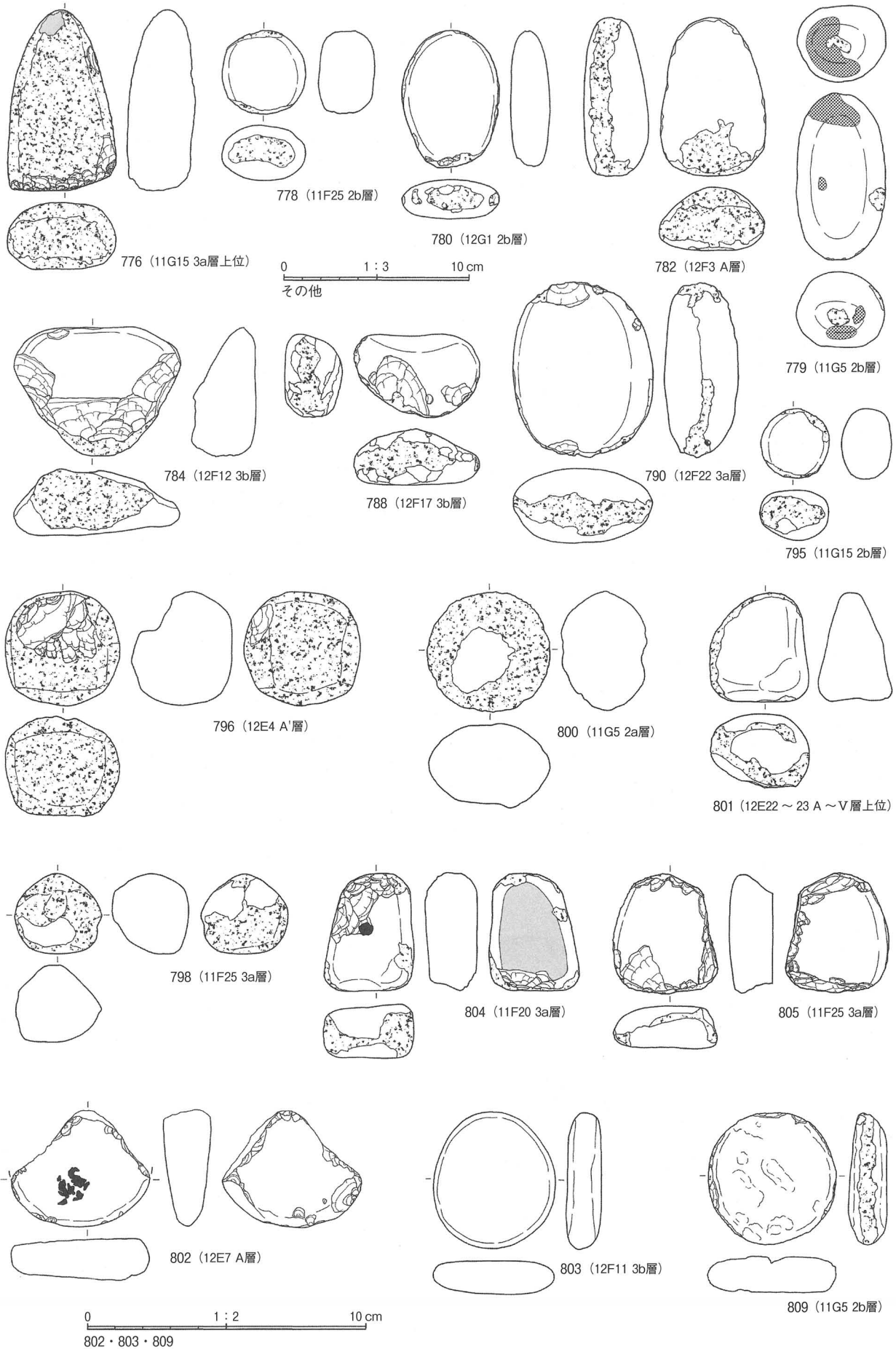
第94図 遺物包含層出土石器 (7)



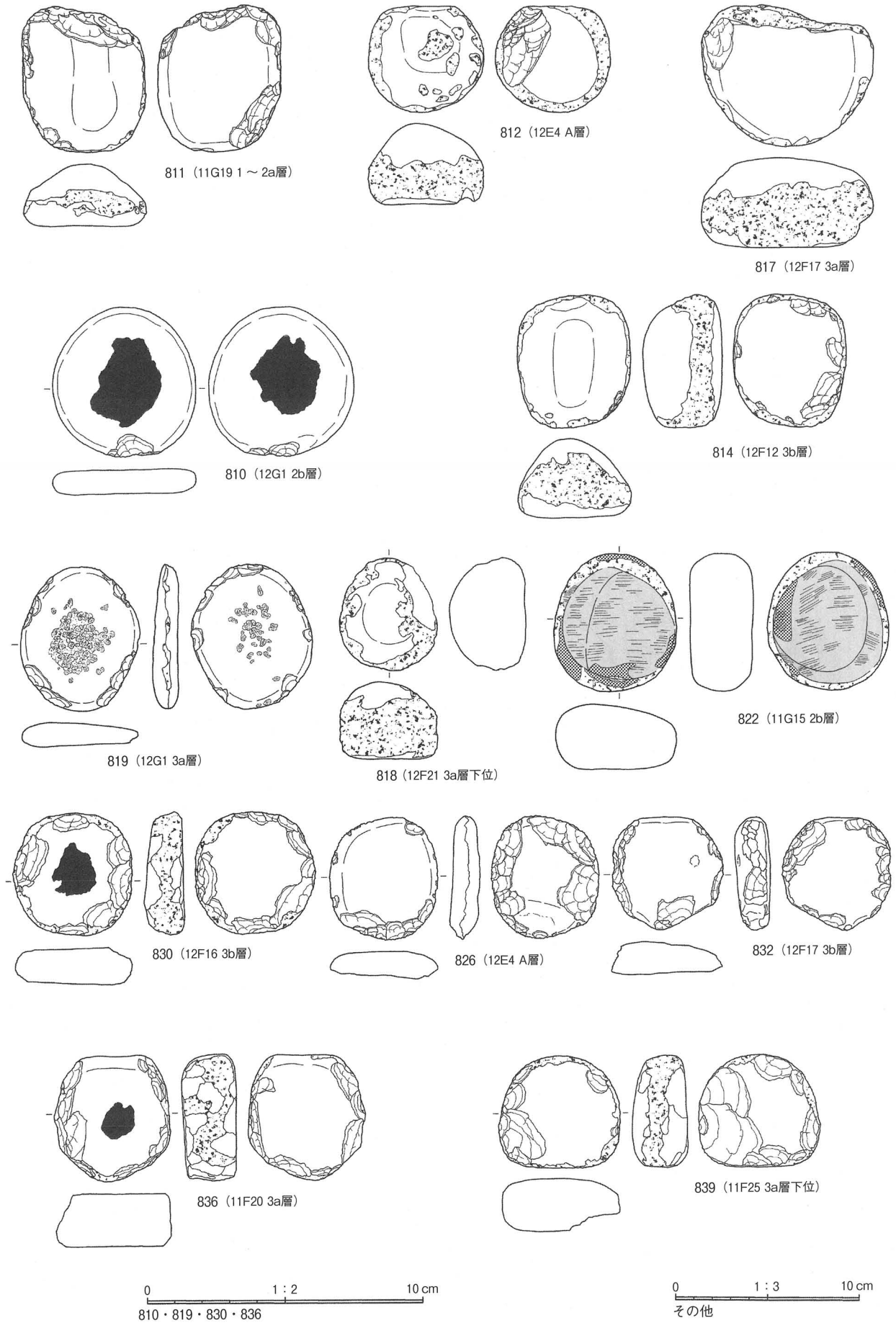
第95図 遺物包含層出土石器 (8)



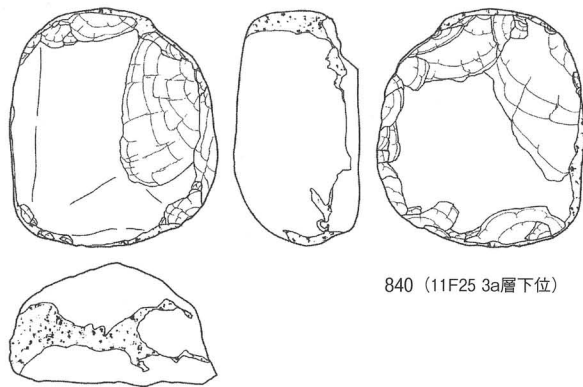
第96図 遺物包含層出土石器 (9)



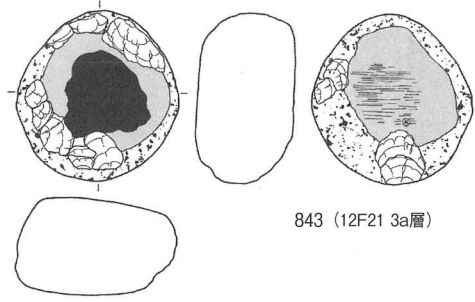
第97図 遺物包含層出土石器 (10)



第98図 遺物包含層出土石器 (11)

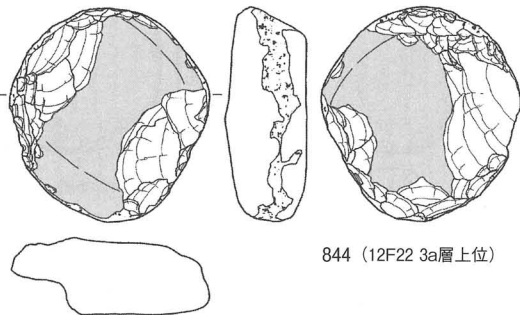


840 (11F25 3a層下位)

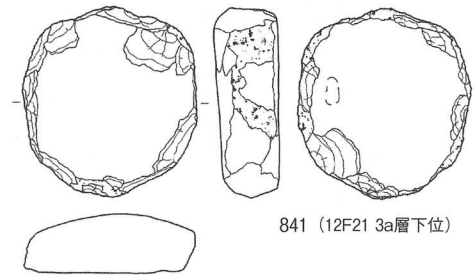


843 (12F21 3a層)

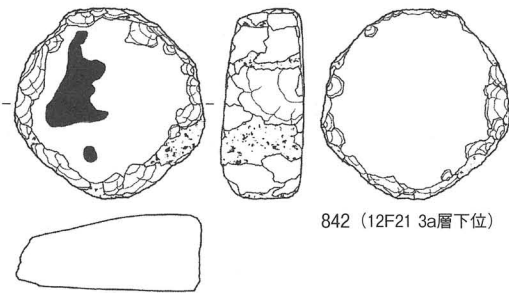
0 1:3 10 cm
840・843・844



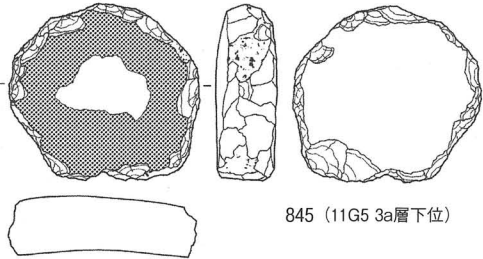
844 (12F22 3a層上位)



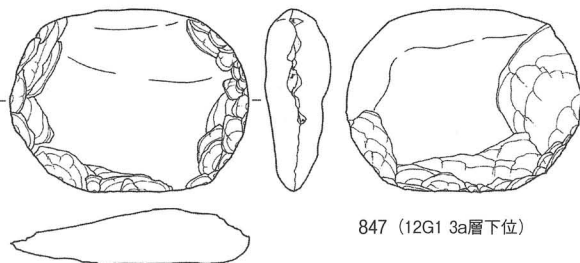
841 (12F21 3a層下位)



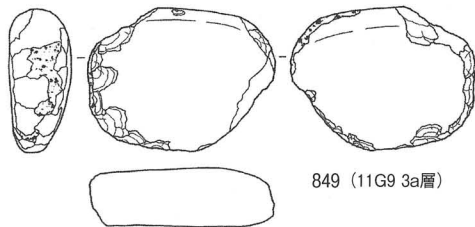
842 (12F21 3a層下位)



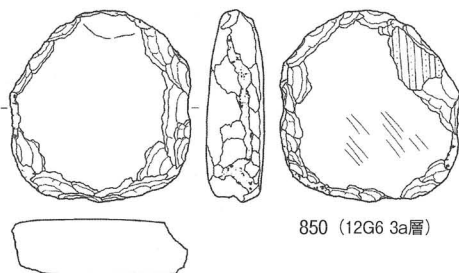
845 (11G5 3a層下位)



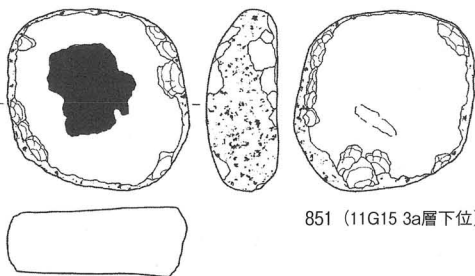
847 (12G1 3a層下位)



849 (11G9 3a層)



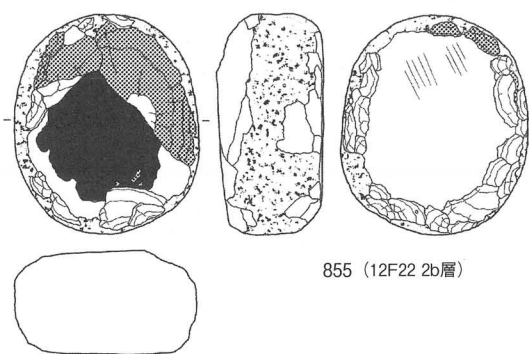
850 (12G6 3a層)



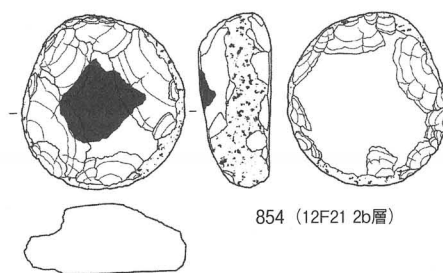
851 (11G15 3a層下位)

0 1:2 10 cm
その他

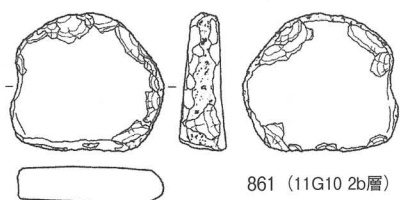
第99図 遺物包含層出土石器 (12)



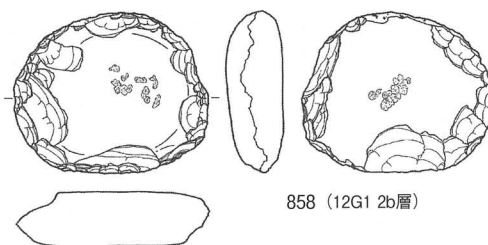
855 (12F22 2b層)



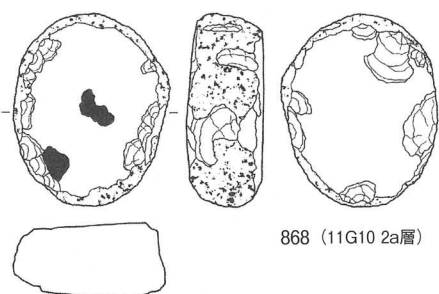
854 (12F21 2b層)



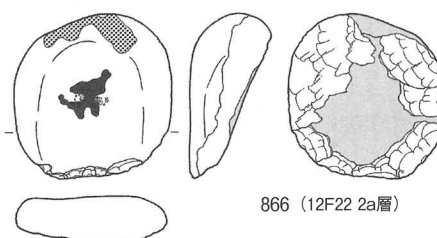
861 (11G10 2b層)



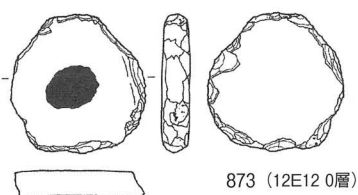
858 (12G1 2b層)



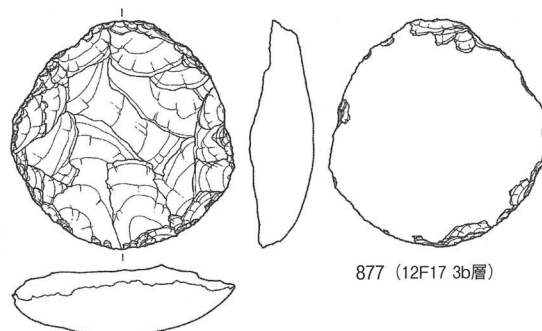
868 (11G10 2a層)



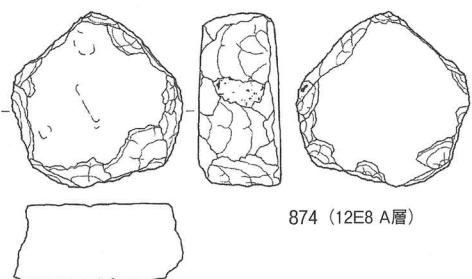
866 (12F22 2a層)



873 (12E12 0層)

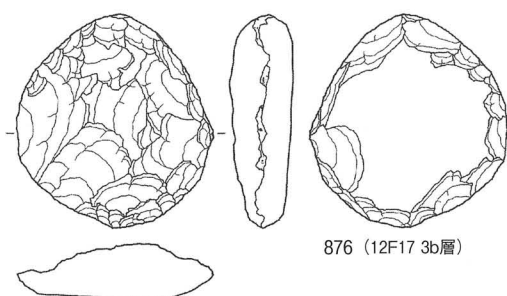


877 (12F17 3b層)

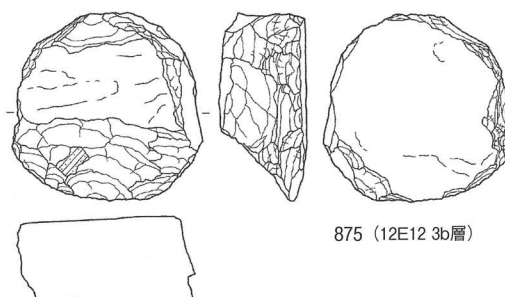


874 (12E8 A層)

0 1:3 10 cm
854・858・866・877



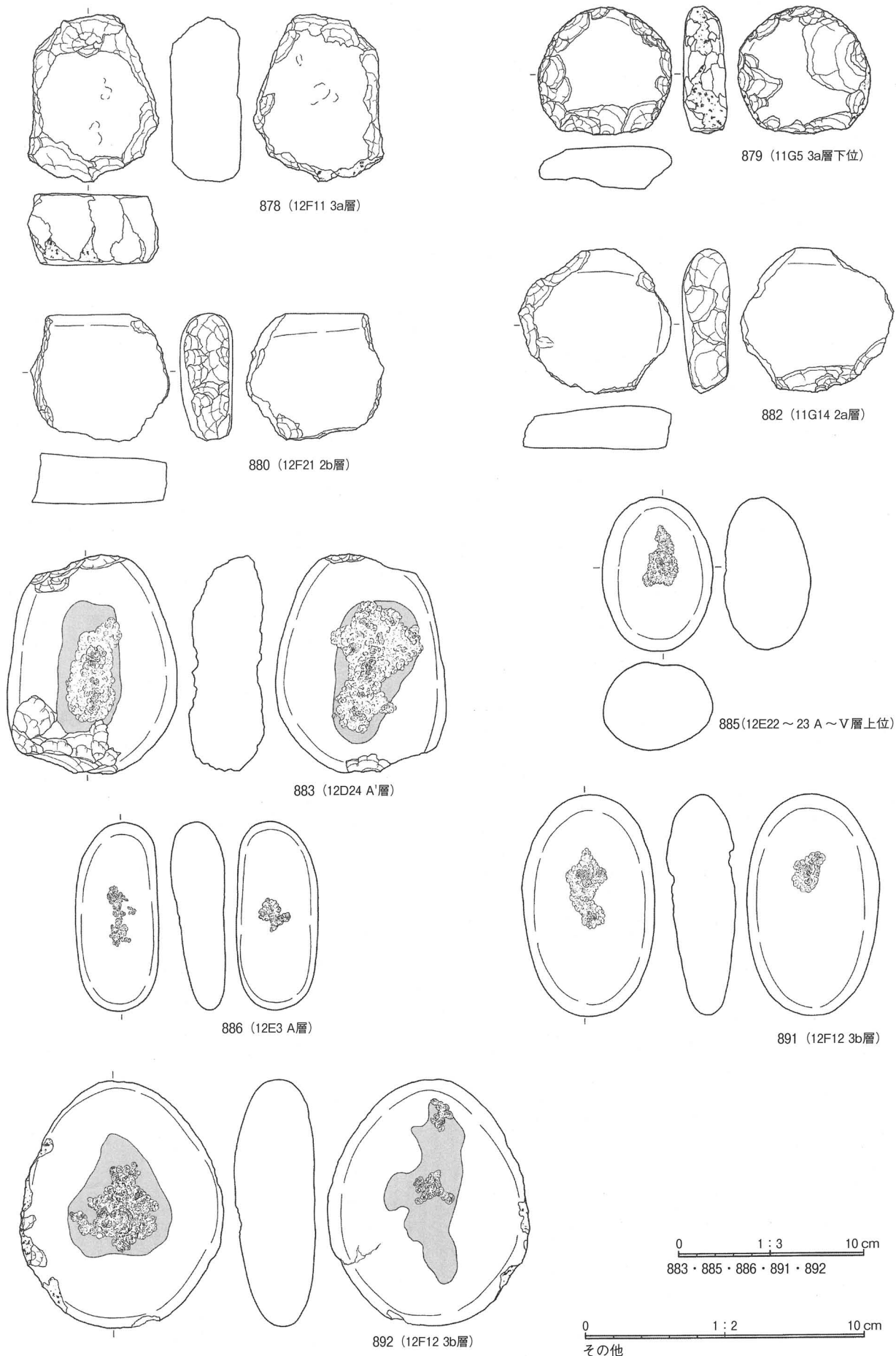
876 (12F17 3b層)



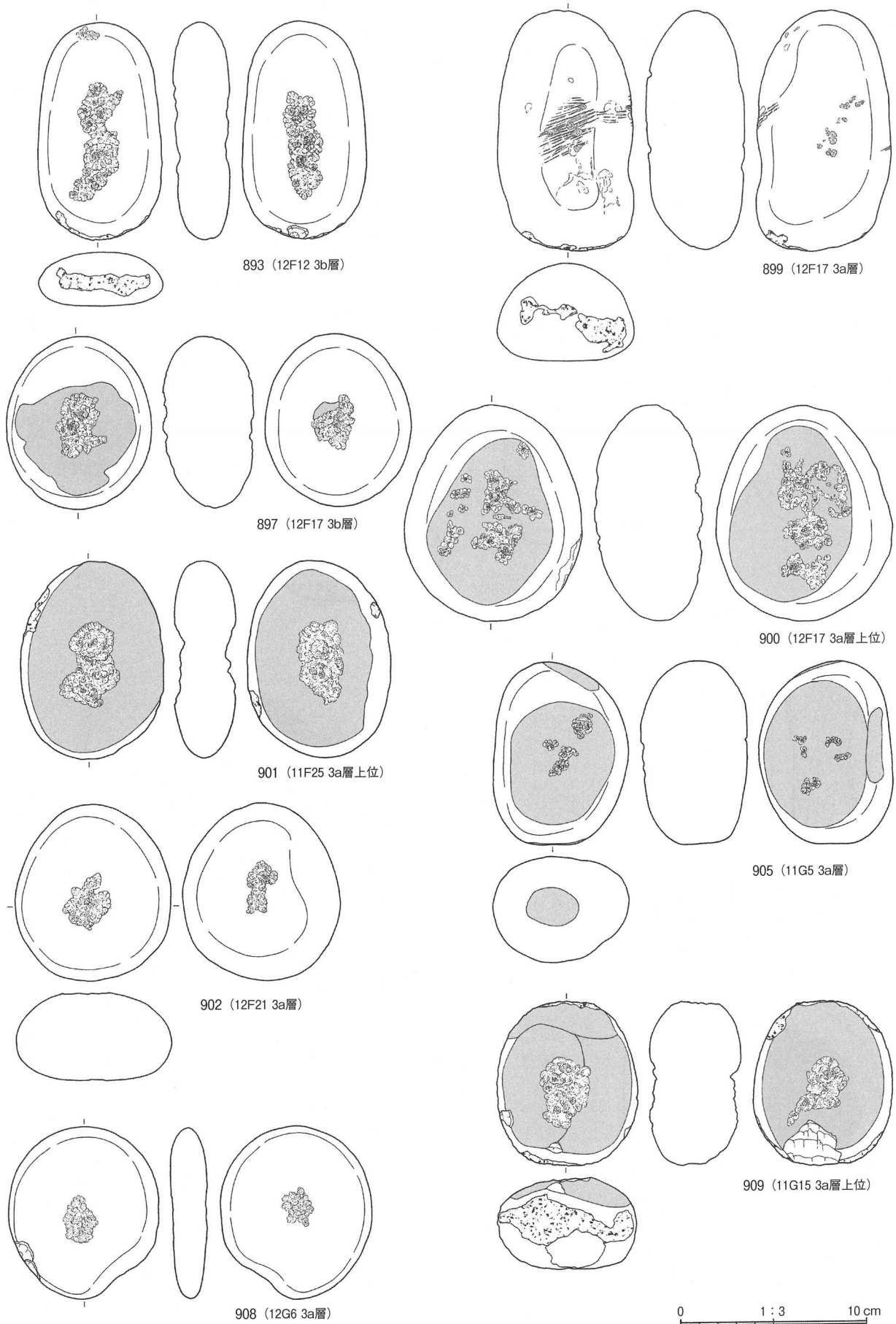
875 (12E12 3b層)

0 1:2 10 cm
その他

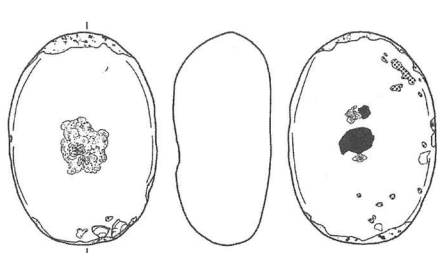
第100図 遺物包含層出土石器 (13)



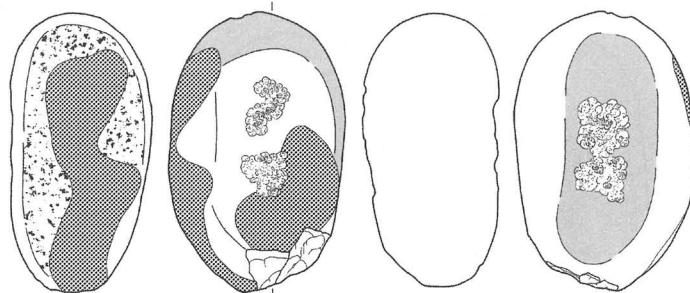
第101図 遺物包含層出土石器 (14)



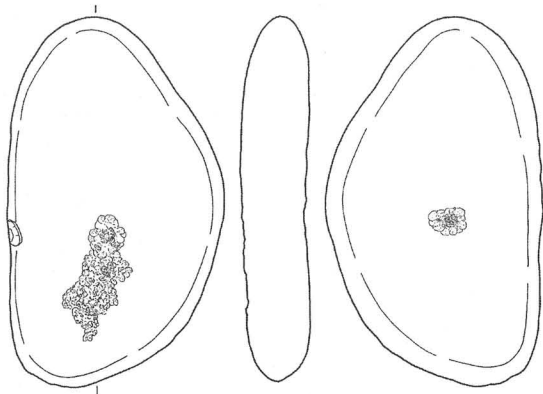
第102図 遺物包含層出土石器 (15)



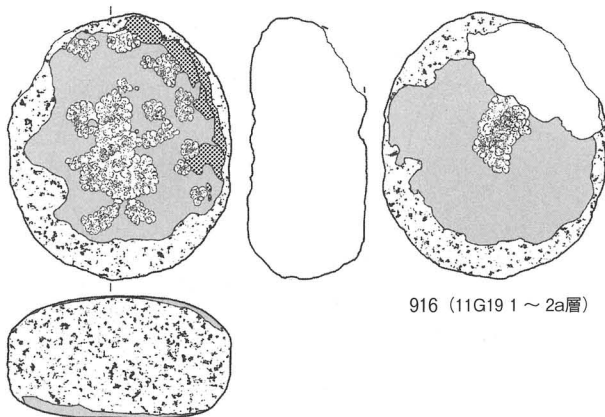
910 (11G5 2b ~ 3a層)



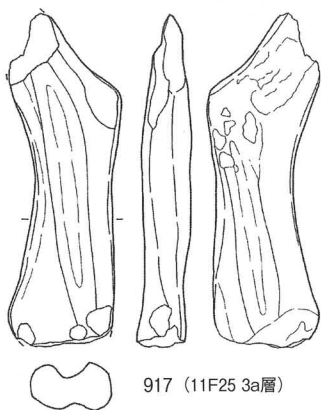
912 (11G14 2b層)



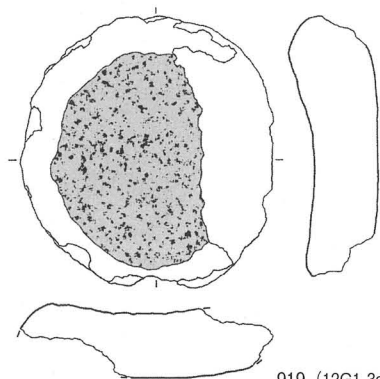
913 (12G11 2b層)



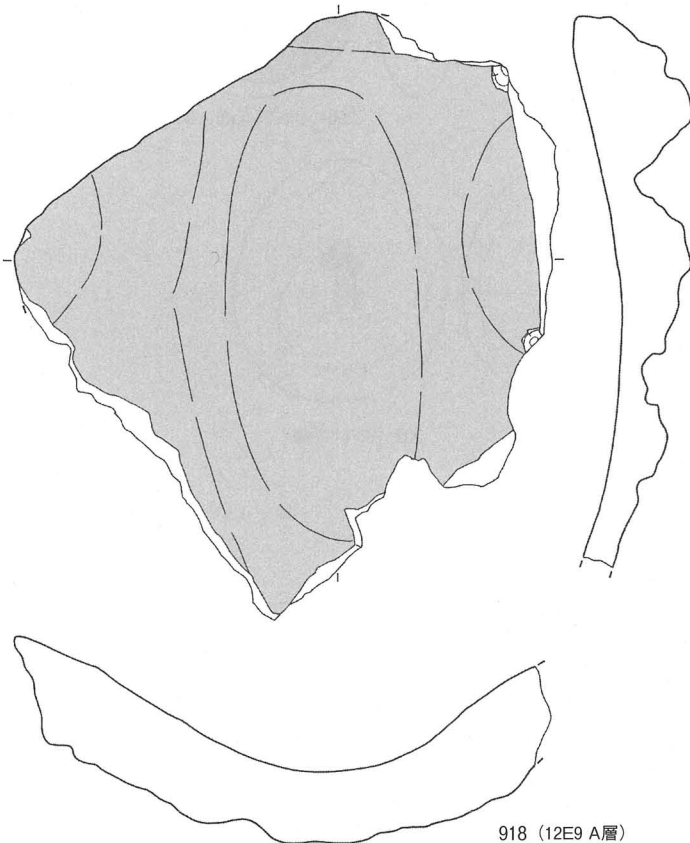
916 (11G19 1 ~ 2a層)



917 (11F25 3a層)



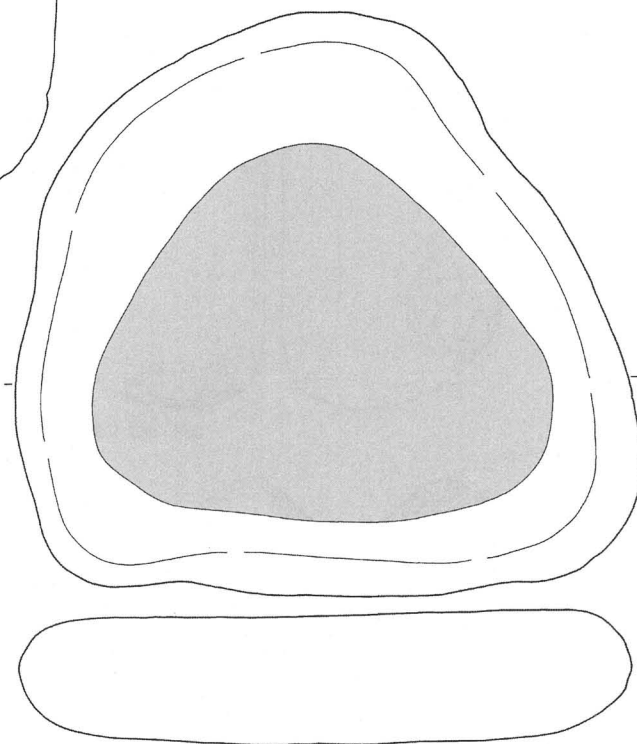
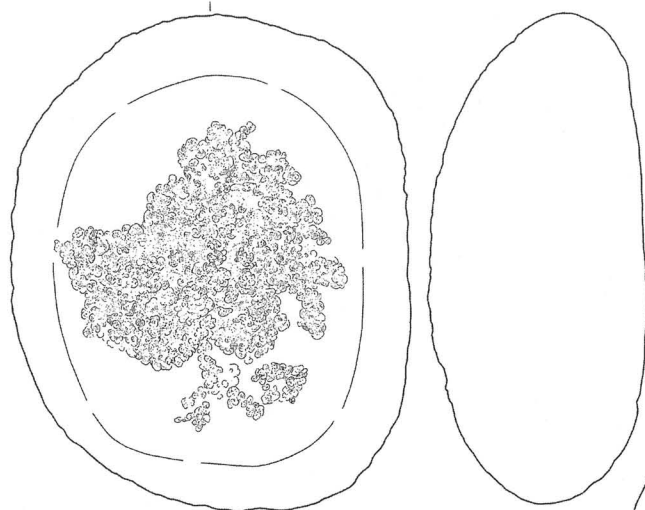
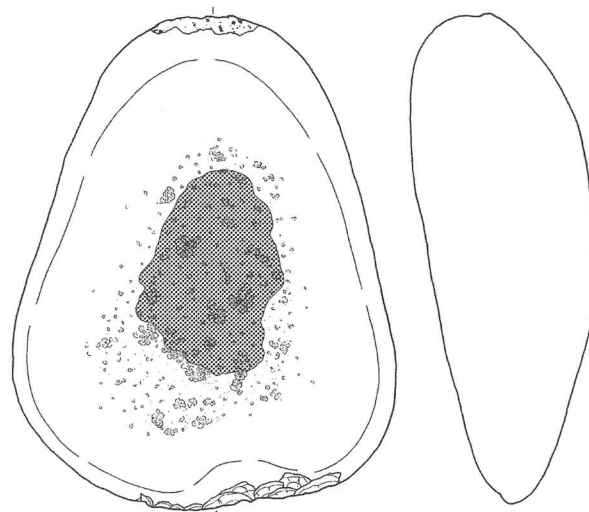
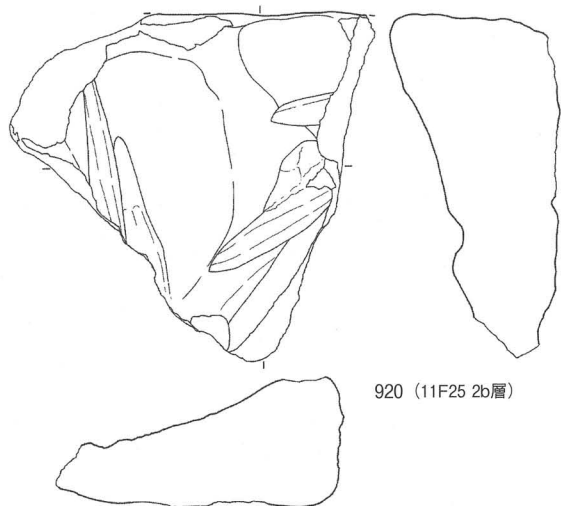
919 (12G1 3a層)



918 (12E9 A層)

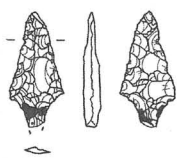
0 1:3 10 cm

第103図 遺物包含層出土石器 (16)

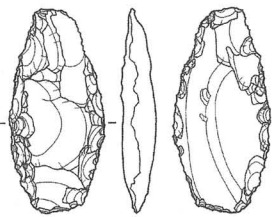


0 1:3 10 cm

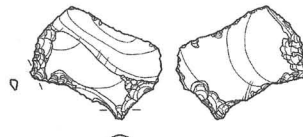
第104図 遺物包含層出土石器 (17)



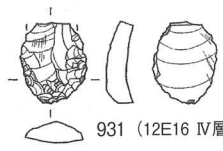
928 (12E9 V層上位)



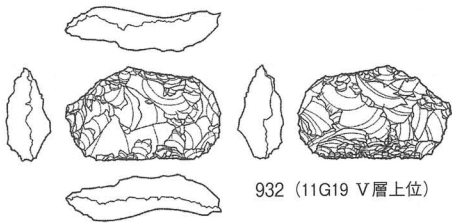
929 (9H20 IV層~V層上位)



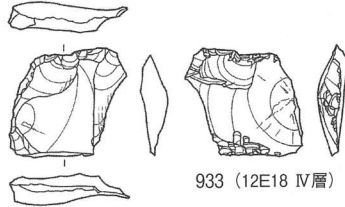
930 (12E13 層位不明)



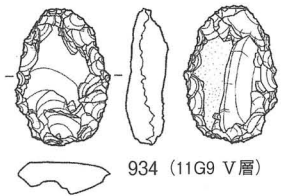
931 (12E16 IV層)



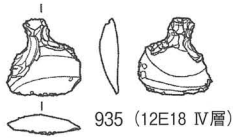
932 (11G19 V層上位)



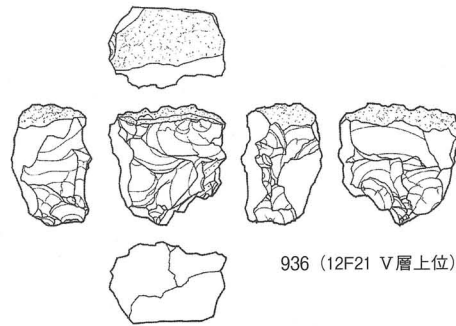
933 (12E18 IV層)



934 (11G9 V層)



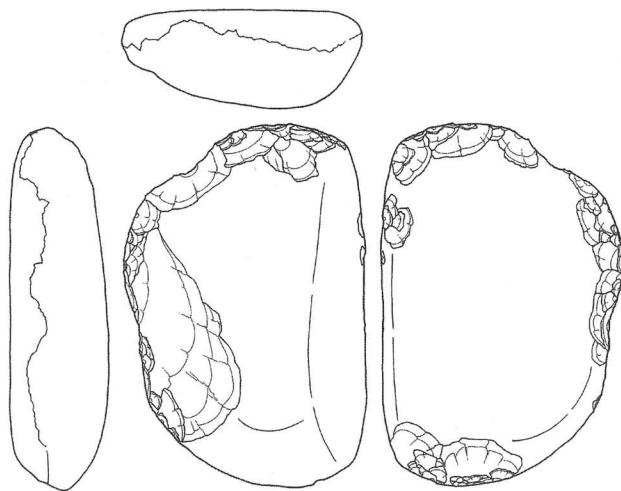
935 (12E18 IV層)



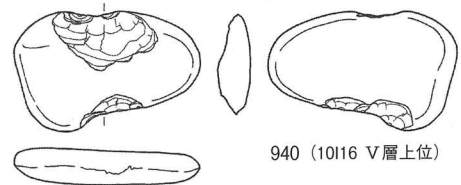
936 (12F21 V層上位)

0 1:2 10cm

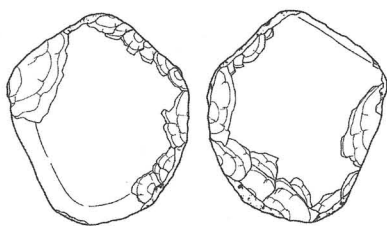
その他



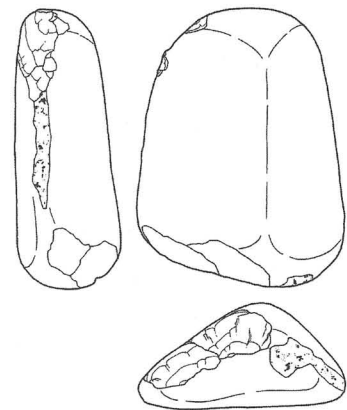
939 (9E2 V層上位)



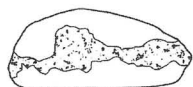
940 (10I16 V層上位)



946 (12E8~9 V層)



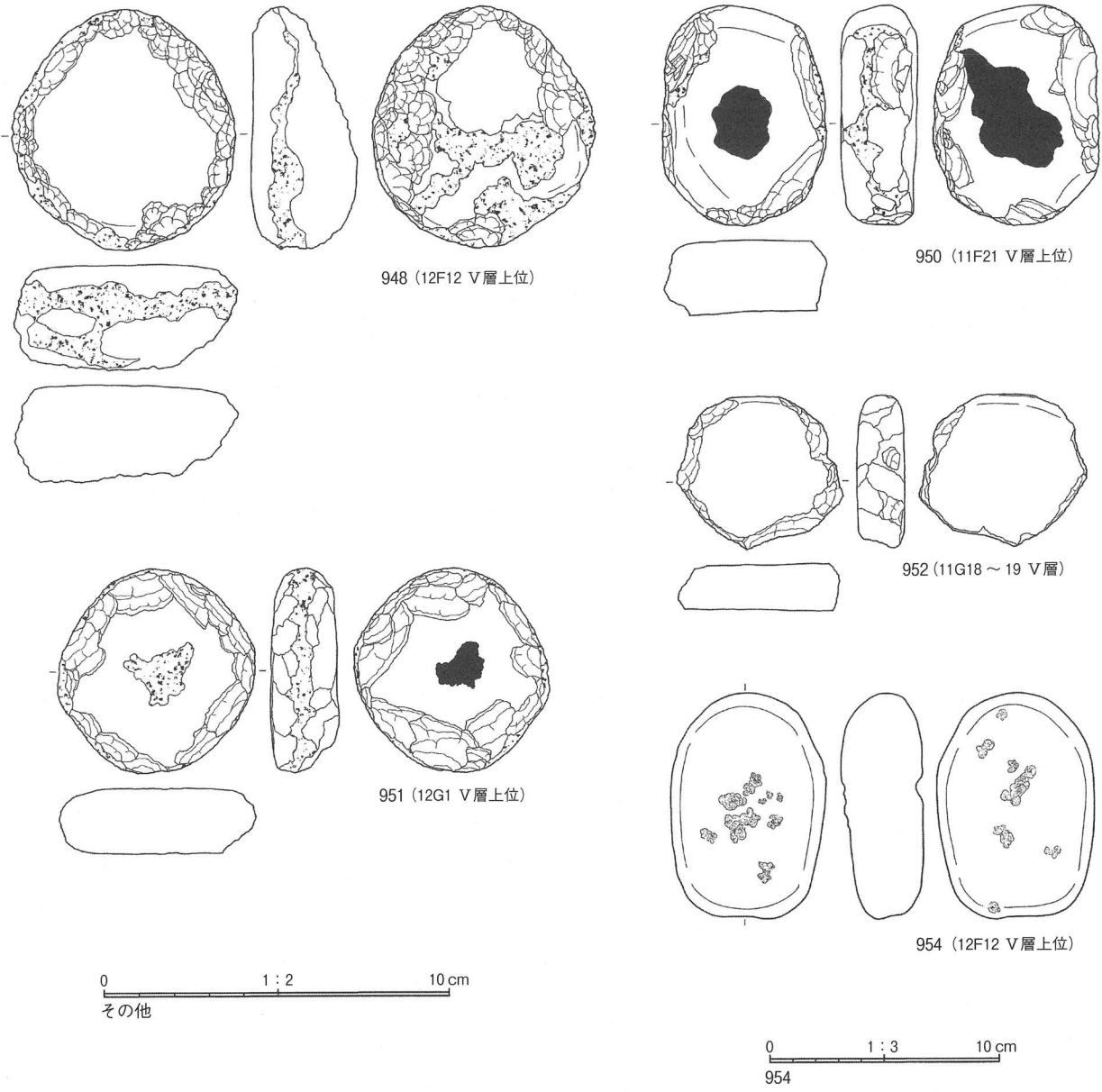
943 (12F12 V層上位)



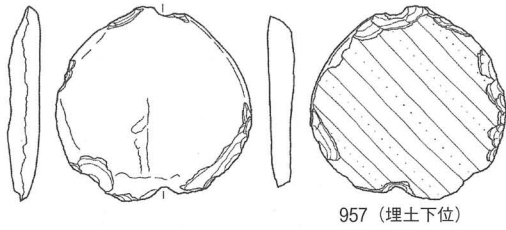
0 1:3 10cm

939・940・943・946

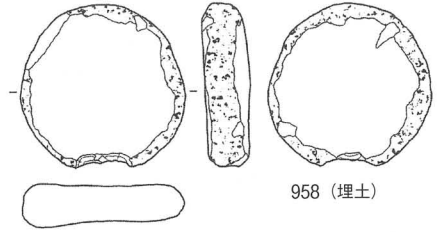
第105図 遺構外出土石器(1)



2号土坑



957 (埋土下位)

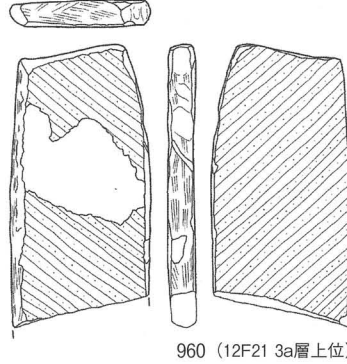


958 (埋土)

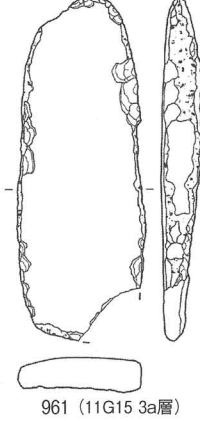
遺物包含層



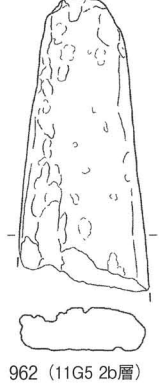
959 (12F21 3a層上位)



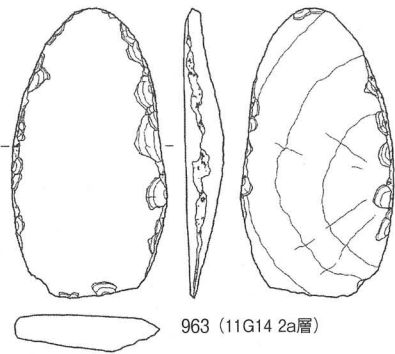
960 (12F21 3a層上位)



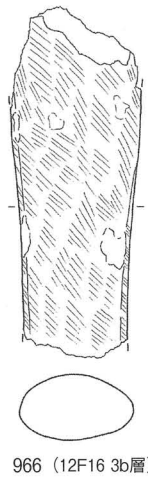
961 (11G15 3a層)



962 (11G5 2b層)



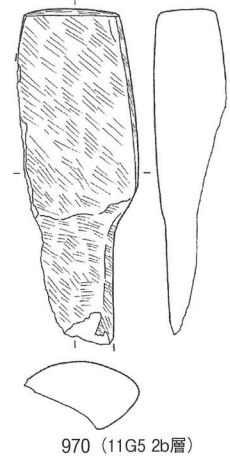
963 (11G14 2a層)



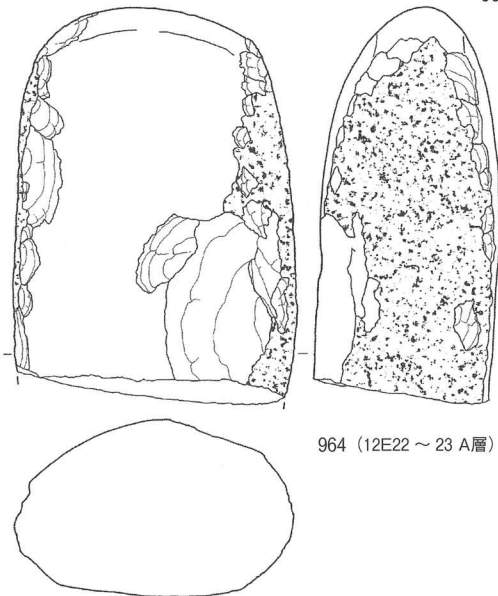
966 (12F16 3b層)



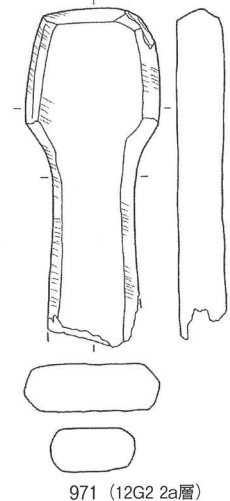
967 (11G5 3a層)



970 (11G5 2b層)



964 (12E22 ~ 23 A層)

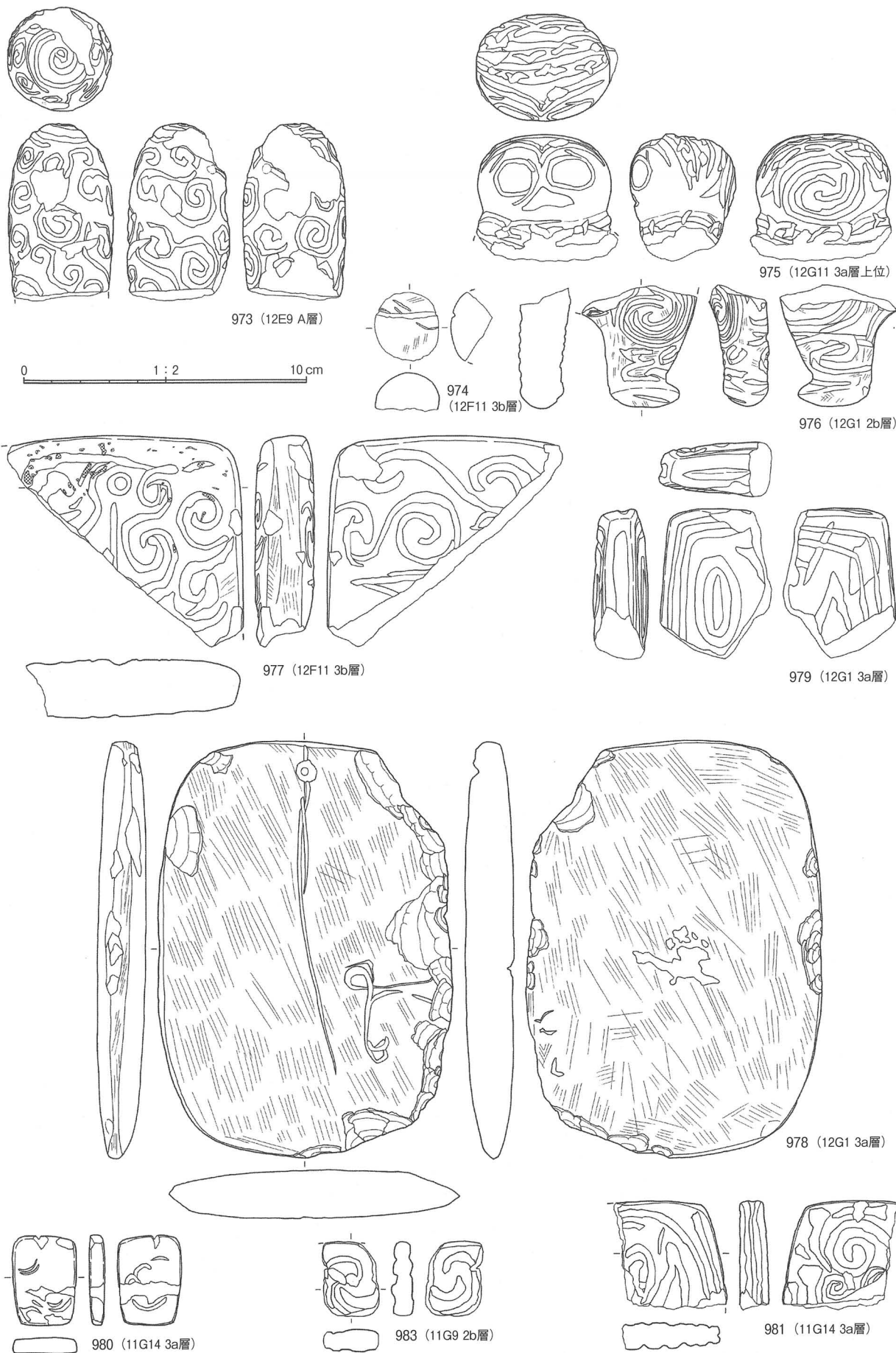


971 (12G2 2a層)

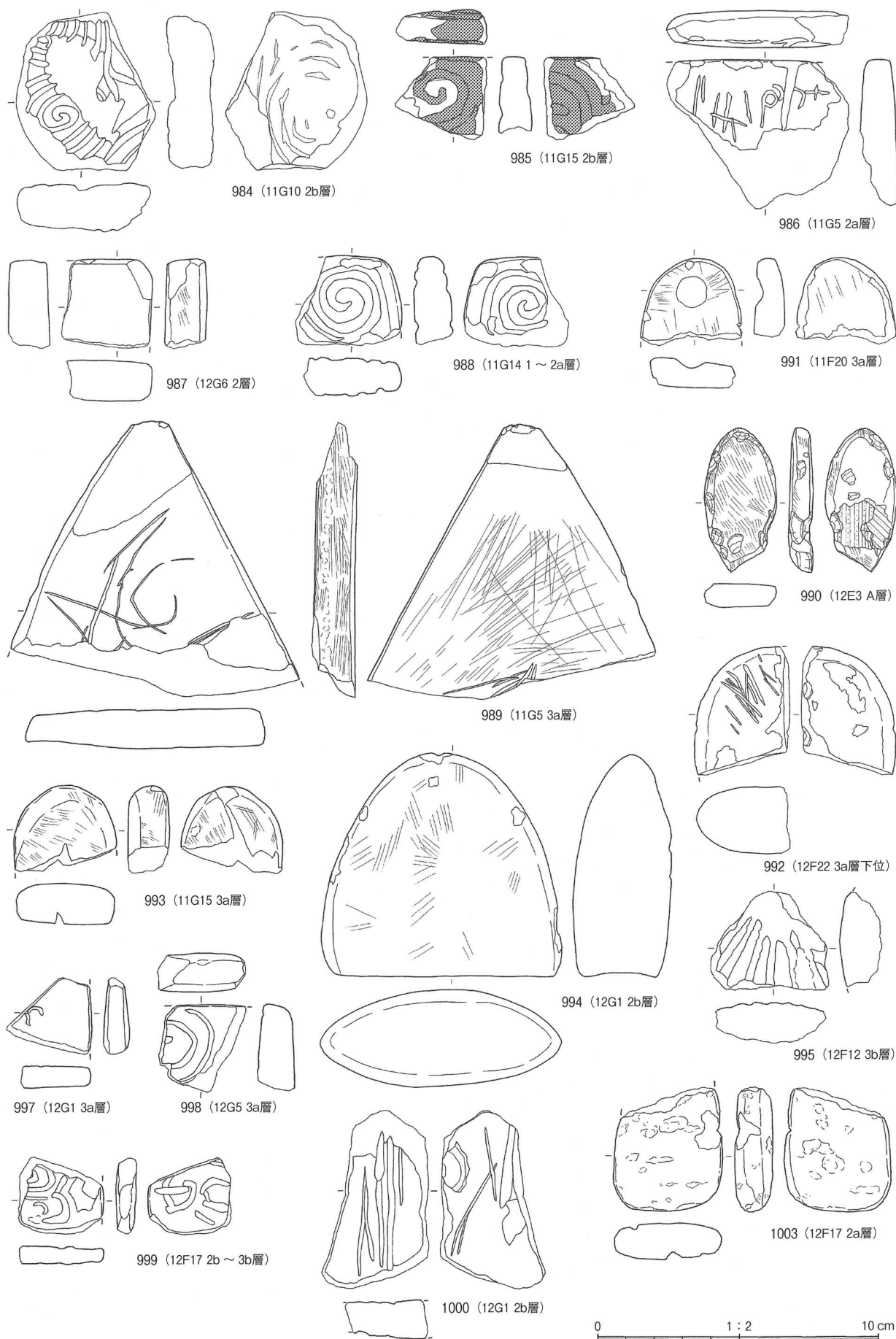
0 1:3 10 cm
959・964・967

0 1:2 10 cm
その他

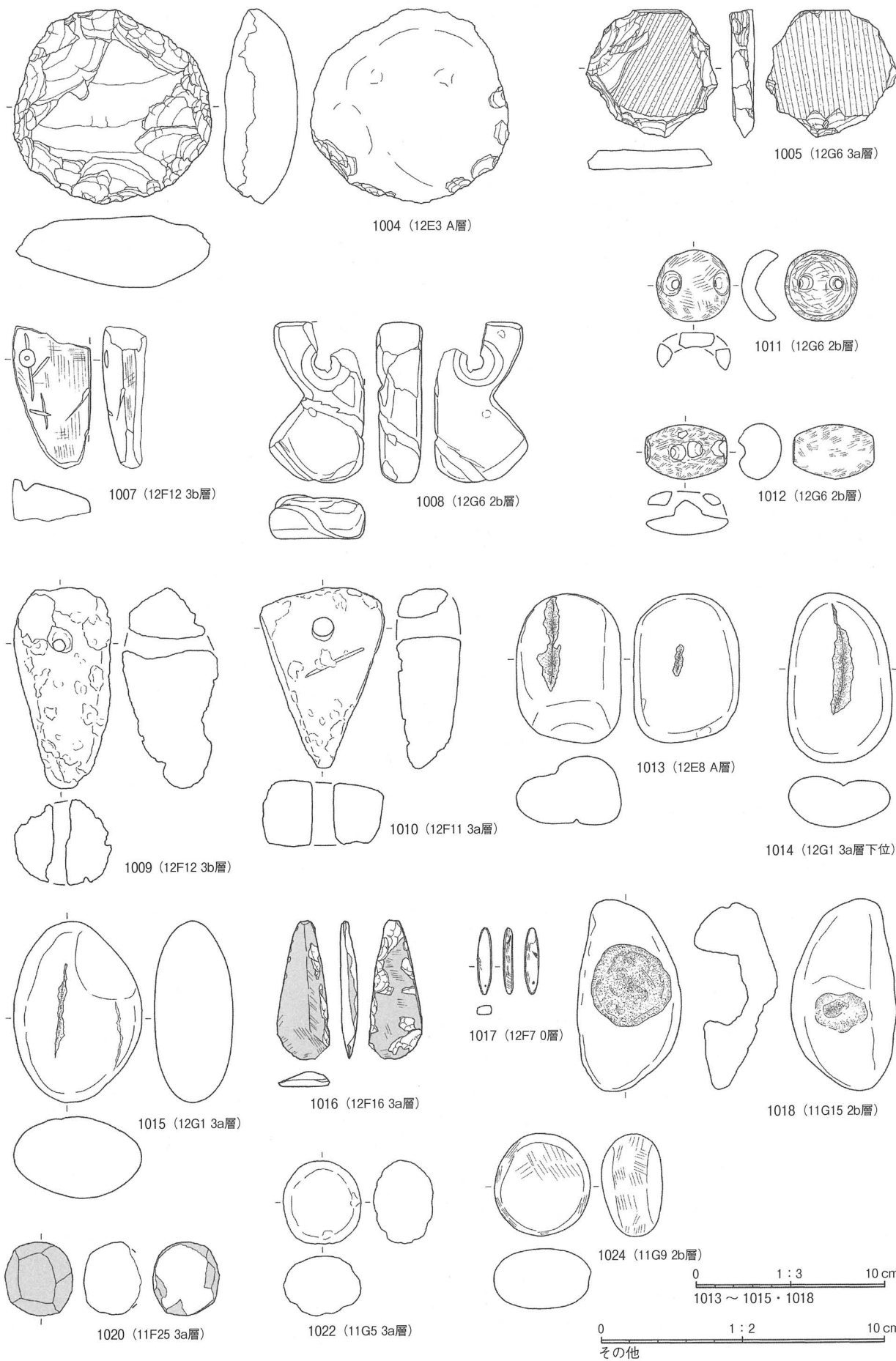
第107図 土坑・遺物包含層出土石製品 (1)



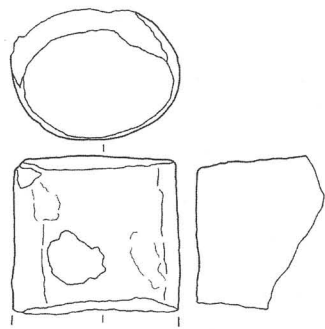
第108図 遺物包含層出土石製品 (2)



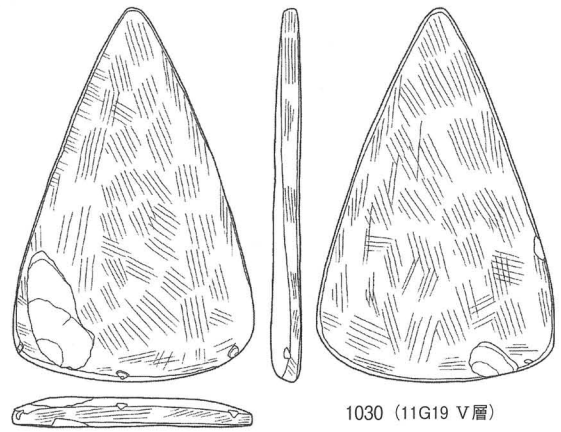
第109図 遺物包含層出土石製品 (3)



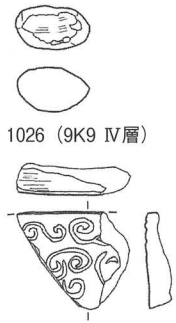
第110図 遺物包含層出土石製品 (4)



1027 (12F21 V層)

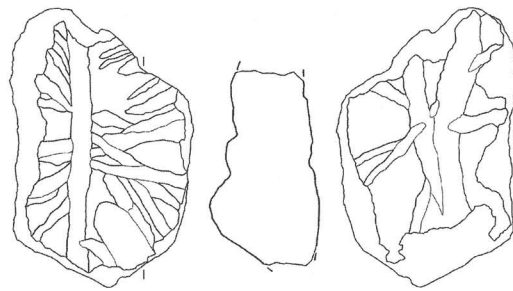


1030 (11G19 V層)

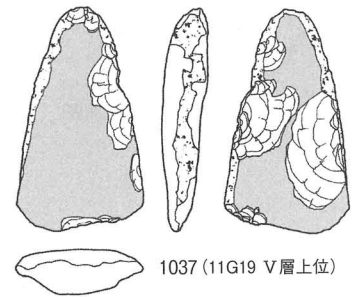


1026 (9K9 IV層)

1029 (11G5 V層上位)



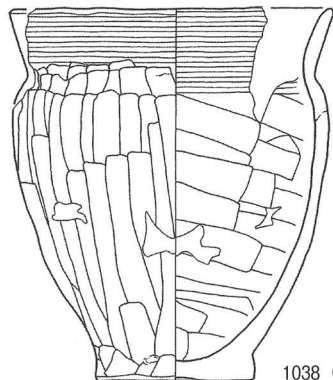
1031 (12F12 V層上位)



1037 (11G19 V層上位)

0 1 : 3 10 cm
1026

0 1 : 2 10 cm
その他



1038 (11G22 II層)

0 1 : 3 10 cm

第3表 縄文土器観察表

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
1		34	28	1号住居遺構 底面P1	浅鉢	略完形				丸底		外面	7.3	—	3.8	49.6	
2		34	28	1号住居遺構 底面直上P2	台付浅鉢	完形	波状縁 台部に沈線						18.0	6.0	7.3	356.0	
3		34	28	2号土坑 埋土下位	台付(ミニチュア)	台部							—	2.8	—	8.0	
4		34	28	2号土坑 埋土上位	蓋(ミニチュア)	口~胴部	口唇部平坦						1.9	—	—	7.7	
5		34	28	3号土坑 埋土	鉢?(ミニチュア)	胴~底部	沈線						—	2.5	—	12.7	
6	295	34	28	5号土坑 埋土下位	鉢類	口~胴部	大刻目		LR	I 2			—	—	—	147.6	
7	497	34	28	12E4 包含層A'層	深鉢	口~胴部	口唇部平坦		L	Ⅲ			—	—	—	423.1	
8	496	34	28	12E4 包含層A'層	鉢	口~胴部	B突起 刻目 截痕列 C文字 平行沈線 磨消縄文		LR	Ⅸ 1 a		胴下位以上	(14.0)	—	—	94.9	
9	494	34	28	12E4 包含層A'層	鉢	略完形	B突起 珠文縁(粗) 截痕列 平行沈線		LR 羽状	Ⅸ 7 b			(14.6)	6.2	16.2	503.2	
10		34	28	12D24 包含層A'層	鉢	略完形				I 10			(13.8)	(5.0)	7.8	98.7	
11	488	35	29	12E4 包含層A'層	台付鉢	口~底部	三山状突起 B突起 羊齒状文B 矩形入組 点列帯 粘土層 平行沈線		LR・RL 羽状	Ⅶ 1			35.1	—	—	3711.7	
12	495	35	29	12E4 包含層A'層	台付鉢	完形	B突起連続 平行沈線 点列帯 羊齒状文A 台部無文		LR	Ⅸ 2 a			12.7	8	12.5	319.2	
13		35	29	12D24 包含層A'層, 12E4 包含層A'層	壺	略完形	弱い波状縁 平行沈線			I 4			(7.4)	4.6	10.0	197.7	
14	492	35	29	12D24 包含層A'層・A'層	壺	略完形				Ⅱ 2			6.4	(5.8)	10.4	155.1	
15	487	35	29	12D24 包含層A'層	注口	頸~底部	C・X文字 平行沈線 截痕列 点列帯 注口 下に渦巻・三角文			I 2			9.8	—	8.4	333.2	
16	500	36	30	12D24 包含層A'層	深鉢	口~胴部	口唇部平坦		LR	Ⅲ		胴部中位以上	(32.0)	—	—	1474.2	
17	498	36	30	12E4 包含層A'層	深鉢	口~胴部	口唇部平坦		RL・LR 羽状	I 2			—	—	—	386.1	
18		36	30	12E9 包含層A'層	深鉢	口~胴部			LR 附加条	I 2		胴部中位以上	—	—	—	62.2	
19		36	30	12E7~8・12E8 包含層A'層	深鉢	胴~底部			LR			底部以外	—	7.6	—	600.5	
20		37	31	12E8 包含層A'層	深鉢	胴~底部			LR				—	7.0	—	833.2	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
21		37	31	12E3 包含層A層	鉢	略完形	珠文縁+刻目 截痕列 平行沈線 唐草状入組 文 底部沈線以下無文				I 6 a	胸部中位 以上	胸部中位 以上	(17.9)	(5.0)	16.4	502.8	
22	552	37	31	12D24 包含層A層	鉢類	口~胴部	三山状突起 磨消を伴 う羊歯状文A(相形) 截痕列 平行沈線		LR		IV 1	胸部中位 以上	胸部中位 以上	—	—	—	155.7	
23		37	31	12E4 包含層A層	鉢	口縁部	B突起 刻目 羊歯状 文A K字文				IX 2 c	口縁部	口縁部	—	—	—	16.6	
24		37	31	12D24 V層上位, 12E4 包含層A層	鉢	略完形	珊瑚状突起(透かし) 刻目 K字文 粘土溜 平行沈線	羊歯状文B	LR	弱い上げ 底	I 3			(8.0)	2.2	5.3	44.9	
25	482	37	31	12E3 包含層A層	鉢	完形	刻目 羊歯状文A 平 行沈線 底部截痕列以 下無文		LR	弱い上げ 底	I 2			9.3	3.9	6.1	124.5	
26	507	37	31	12E3 包含層A層	鉢	略完形	口唇部平坦 截痕列				III			8.8	6.0	7.7	115.0	
27	591	37	31	12E9 包含層A層	鉢	略完形	B突起 珠文縁(相) 截痕列 平行沈線 底 部沈線以下無文		LR	弱い上げ 底	I 6 c			(15.4)	(5.0)	15.2	160.9	
28		37	31	12E8 包含層A層	鉢	略完形	珠文縁 截痕列 平行 沈線 底部沈線以下無 文		LR	弱い上げ 底	I 6 c			13.2	4.2	9.3	212.2	
29		37	31	12E4 包含層A層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁状(刻 目・刺突交互) 截痕 列 平行沈線		LR		VII 3	胸部以上	胸部以上	(20.6)	—	—	130.1	
30		38	32	12E3 包含層A層	鉢?	口縁部	B突起 截痕列 羊歯 状文A(相形?)				IV 1	口縁部	口縁部	—	—	—	33.5	
31	589	38	32	12E8 包含層A層	鉢	口~胴部	B突起・羊歯状文Aと 一体 羊歯状文B 平 行沈線		LR		VIII	胸部中位 以上	胸部中位 以上	—	—	—	70.2	
32		38	32	12E9 包含層A層	鉢	口~胴部	B突起・羊歯状文Aと 一体 羊歯状文B 平 行沈線		LR		VIII	胸部中位 以上	胸部中位 以上	—	—	—	21.9	
33		38	32	12E8 包含層A層	鉢	口~胴部	B突起・羊歯状文B (手代森型)と一体 羊歯状文A 平行沈線		LR		IX 2 f			—	—	—	73.2	
34		38	32	12E3 包含層A層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁+刻目 斜行沈線+区画のある 截痕列 平行沈線	平行沈線	RL		IX 5 b	胸部以上	胸部以上	—	—	—	27.3	
35		38	32	12E8 包含層A層, 12E7 包含層0層	鉢	口~胴部	B突起 連続 截痕列 羊歯状文A 平行沈線		LR		I 4	胸部以上	胸部以上	—	—	—	44.4	
36		38	32	12E4 包含層A層	鉢	口~胴部	珠文縁+刻目 羊歯状 文A 平行沈線		LR・RL 羽状		I 4	胸部以上	胸部以上	—	—	—	21.6	
37		38	32	12E3・12E7 包含層A 層	鉢	口~胴部	刻目 羊歯状文A 平 行沈線		LR		I 4	胸部以上	胸部以上	—	—	—	31.5	
38		38	32	12D24 包含層A層	鉢	口~胴部	刻目 羊歯状文A 平 行沈線		LR		I 4			—	—	—	33.7	外面黒色 分岐放射状

掲載No	取り上げ No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
39		38	32	12E3 包含層A層	鉢	口~胴部	外面突起 頸部無文帯 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 h			14.5	—	83.8	
40		38	32	12E4 包含層A層・A層 ~IV層	鉢	略完形			LR	弱い上げ 底	I 9 b		(13.2)	5.4	10.3	182.8	
41	502	38	32	12D23 包含層A層	鉢	口~胴部	口唇部平坦		LR		I 9 b		(19.0)	—	—	188.8	
42	316・ 318	39	32	12E9 包含層A層・0層	台付鉢	口~台部	B突起・羊歯状文Aと 一体 二又の羊歯状文 平行沈線 台部沈線		LR		IX 2 b		(27.6)	12.4	—	1008.7 a579.78 b428.9	
43		39	33	12E3 包含層A層	台付鉢	底~台部	無文帯 截直列 字状文 穿孔		LR				—	11.8	—	246.5	
44	328	39	33	12E23 包含層A層	台付浅鉢	完形	B突起 入組三又文 (胸突付属?) 点列帯 平行沈線 台部無文帯		LR		II 1		12.4	6.4	8.5	214.5	
45	565	39	33	12E3 包含層A層	台付	台部	無文帯 截直列 字状文 穿孔		LR				—	7.5	—	74.0	
46		39	33	12E22~23 包含層A層	浅鉢	口~胴部	平行沈線 横S字状文				I 2		—	—	—	14.4	
47		39	33	12E13 包含層A層	浅鉢	口~胴部	B突起 珠文線(粗) C・X字文				II 2 b		—	—	—	44.9	
48		39	33	12E8~9 包含層A層	浅鉢	口~胴部	羊歯状文B 充填縄文		LR		III 1		—	—	—	22.9	ミガキ横
49		39	33	12D23・12E3 包含層A層	浅鉢	口~胴部					III 11		(14.2)	—	—	104.8	
50	503	39	33	12D23 包含層A層	浅鉢	略完形	底部無文		L	弱い上げ 底	III 10		13.0	3.0	6.1	165.3	
51	499	39	33	12E8 包含層A層	壺?	底部	截直列(帯・放射状) 磨消縄文(菱形・渦巻 文)		LR				—	—	—	81.8	内外面黒色 ミガキ方形?
52	490	40	33	12E8~9 包含層0層, 12E9 包含層A層	壺	略完形	頸部地文なし 入組三 又文 磨消縄文(菱 形・渦巻文) 胴部無 文帯		LR	弱い上げ 底	I 2		14.4	10.0	31.7	1758.5	
53	483	40	34	12E3 包含層A層	壺	略完形	B突起 平行沈線 C 字文 羊歯状文重畳 (矩形) 口縁・底部無 文				VII		(6.5)	(4.7)	12.9	137.3	
54	509	40	34	12E8 包含層A層	壺	略完形	平行沈線			弱い上げ 底	II 2		7.2	4.6	8.5	199.8	
55	489	40	34	12E4 包含層A層	壺	完形	平行沈線			弱い上げ 底	II 2		4.3	3.8	6.6	91.2	
56	324	40	34	12E23・12E22~23 包 含層A層	壺?	胴~底部				弱い上げ 底			—	5.5	—	129.0	
57	322	40	34	12E8 包含層A層	壺	口~胴部	頸部無文帯		LR		II 1 a		(10.6)	—	—	234.2	
58	510	40	34	12E9 包含層A層	壺	口~胴部	平行沈線 頸部無文帯	平行沈線	LR				(12.4)	—	—	132.2	a44.0 b88.2

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
59	319	41	34	12E9 包含層A層	注口	完形	B突起 羊歯状文A(相形) 矩形入組文C文字 截痕列 注口 胎下にノ字文				I 1			13.0	—	11.6	434.4	
60	327	41	34	12E23 包含層A層	注口	頸~底部	截痕列 C文字 右端二又の羊歯状文B 刺突列 平行沈線 注口 下に菱形・渦巻文				I 2			—	—	—	207.3	
61	485	41	34	12D23 包含層A層	注口	頸~底部	C・X文字 截痕列 注口下に菱形?・渦巻文				I 2			—	—	—	138.0	
62		41	35	12E3 包含層A層	注口?	口縁部	B突起(正面) C・X文字 截痕列							—	—	—	45.1	
63		41	35	12E4 包含層A層	注口	口~胴部	羊歯状文B K文字 截痕列 C・X文字 平行沈線				III			(7.8)	—	—	56.8	
64		41	35	12E4 包含層A層	注口	口縁部	羊歯状文B K文字 截痕列 平行沈線				III?			—	—	—	23.1	
65	326	41	35	12E23 包含層A層	注口	胴部	羊歯状文A・B(両端二又)							—	—	—	29.6	
66	567	40	35	12E3 包含層A層	鉢(ミニチュア)	略完形	指頭圧痕							(3.0)	—	2.4	10.9	
67	314	40	35	12E9 包含層A層	蓋(ミニチュア)	頸~底部	截痕列 粘土瘤 菱形・渦巻文?							—	1.4	—	9.3	
68		40	35	12E3 包含層A層	壺(ミニチュア)	胴部				弱い上げ底				—	2.1	—	18.3	
69	501	41	35	12E4 包含層A層	注口(ミニチュア)	胴~底部				弱い上げ底	Ⅷ			—	1.2	—	45.7	
70	683	42	35	12F11 包含層3b~V層上位	深鉢	略完形	大刻目 入組三又文 平行沈線		LR		I 1	胴部中位以上		23.5	6.3	37.0	2522.1	
71	750	42	35	12F17 包含層3b層	深鉢	口~胴部	B突起 珠文縁状 頸部無文帯 羊歯状文B 平行沈線	平行沈線	LR		V	口縁部		(17.2)	—	—	286.3	
72	627	42	36	12F7 包含層3b層	深鉢	口~胴部	B突起 珠文縁+刻目 截痕列(縦長) 平行沈線		LR		V	胴部以上 胴部上~中位		(15.7)	—	—	283.9	
73	749	42	36	12F17 包含層3b層	深鉢	口~胴部	刻目(斜)		LR		I 2	胴部以上		(11.6)	—	—	123.8	
74	605	42	36	12F11 包含層3b層	深鉢	口~胴部	刻目+沈線 口縁部無文		LR		IV 2	口縁部		(19.1)	—	—	411.0	
75	671	43	36	12F12 包含層3b層	深鉢	口~胴部			LR・RL 羽状		I 2			(32.7)	—	—	1859.5	穿孔
76		43	36	12F12 包含層3b層	深鉢	口~胴部	口唇部平坦		LR		III	胴部中位以上		(25.1)	—	—	435.6	
77		43	37	12F12 包含層3b層	鉢類	口縁部	山形突起 刺突 沈線							—	—	—	21.1	後期
78		43	37	12F11・12F12 包含層3b層	鉢類	口縁部	B突起 刻目 入組三又文							—	—	—	104.4	ミガキ横

掲載No	取り上げ No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
79		43	37	12F12 包含層 3b層	鉢	口縁部	刻目 入組三又文 刺突		LR		I 1					53.1	
80		43	37	12F12 包含層 3b層	鉢	略完形	B突起 平行沈線 C 字文(魚眼状)			弱い上げ 底	II		(10.0)	3.3	4.9	38.9	
81		43	37	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起連続 載痕列 羊歯状文A		LR		IX 2 f					58.4	
82	517	43	37	12F11 包含層 3b層	鉢	略完形	B突起 平行沈線 羊 歯状文B上半様の載痕 列 矩形入組文(差 歯状文祖形) 無文帯 載痕列 右端二又の羊 歯状文B				III		11.2	5.2	6.7	102.2	70の内縁上位 から出土
83		43	37	12F12 包含層 3b層	鉢・台付鉢	口~胴部	B突起 載痕列 羊歯 状文A	平行沈線	LR		IX 2 f		(13.0)			61.7	
84	727	44	37	12F12 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁状 羊 歯状文A		LR		IX 2 f		(10.0)			153.9	
85		44	37	12F12 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 載痕列 羊歯 状文A		LR		IX 2 f		(11.0)			99.2	
86		44	37	12F12 包含層 3b層	鉢	口~胴部	珠文縁状(羊歯状文B 上半様) 刻目・刺突 交互で珠文(ならず) 羊歯状文A		LR		I 2					47.8	
87		44	37	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁 羊歯 状文A 羊歯状文B上 半様の載痕列	平行沈線	LR 結節		IX 2 d		(20.5)			135.3	
88		44	37	12F7・12F12 包含層 3b層	鉢・台付鉢	口~胴部	B突起連続 平行沈線 羊歯状文A 底部沈線 以下無文	平行沈線	LR		IX 2 f		(14.2)			213.6	
89		44	37	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起連続 載痕列 羊歯状文A		LR		IX 2 f					69.5	
90		44	37	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 平行沈線 無 文帯 斜行沈線+区画 のある載痕列 磨消繩 文		LR		IX 12 a					17.5	ミガキ横
91		44	38	12F12 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 刻目 羊歯状 文(非肉彫) 平行沈 線		LR		IV 1		(18.3)			81.8	
92		44	38	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 刻目 載痕列 羊歯状文B		LR		IX 2 f		(17.7)			58.8	
93		44	38	12F17 包含層 3b層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁 載痕 列 羊歯状文B 粘土 縮 平行沈線 底部沈 線以下無文		LR		IX 2 f		(12.9)			65.2	
94		44	38	12F16 包含層 3b層, 11G4 包含層 3a層上位	鉢	口~胴部	口唇部平坦 羊歯状文 B上半様の載痕列 載 痕列 平行沈線 磨消	平行沈線	LR		V		(8.9)			73.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
95	605	44	38	12F11 包含層3b層	鉢・台付鉢	口～胴部	B突起 刻目 載痕列 羊歯状文B上半様の載 痕列 平行沈線		LR		IX 3			(16.0)	—	56.9	
96		44	38	12F12 包含層3b層 11F25 包含層3a層下位	鉢・台付鉢	口～胴部	B突起 珠文縁(粗) 羊歯状文B上半様の載 痕列 平行沈線 底部 沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 3	胴部以上		9.3	—	131.8	
97		44	38	12F16・12F17 包含層 3b層	鉢	口～胴部	B突起 珠文縁+刻目 平行沈線 載痕列 磨 消縄文		LR		I 6 b		(12.6)	—	41.7		
98		44	38	12F11・12F12 包含層 3b層	鉢	口～胴部	珠文縁状(羊歯状文B 上半様 刻目・刺突 交互で珠文にならず) 載痕列 平行沈線		LR		I 6 c		(11.7)	—	54.4		
99		44	38	12F16 包含層3b層	鉢・台付鉢	口～胴部	B突起 珠文縁 載痕 列(粗) 平行沈線		LR		IX 7 b	口縁部		(9.8)	—	84.5	
100		45	38	12F11 包含層3b層	鉢	口～胴部	B突起 珠文縁状 載 痕列(粗)		LR		IV 3		(12.8)	—	59.5		
101		45	38	12F12 包含層3b層 11F25 包含層3a層下位	鉢	略完形	珠文縁 載痕列 平行 沈線 底部沈線以下無 文		LR・RL	弱い上げ 底	I 6 c		8.7 (3.3)	5.9	77.6		
102		45	38	12F16・12F17 包含 層3b層 12F21・12F22 包含層3a層下位	鉢	略完形	口唇部尖化 刻目 載 痕列 平行沈線		LR		I 6 c	底部以外	13.1	4.0	10.0	243.7	
103		45	38	12F12 包含層3b層	鉢	口～胴部	B突起 載痕列 斜行 沈線+区画のある載痕 列 平行沈線		LR		IX 5 b	胴部以上	—	—	—	32.9	
104		45	38	12F11 包含層3b層	鉢・台付鉢		B突起(4単位) C字 文 平行沈線		LR		VI 1	胴部上位 以上	(11.9)	—	—	31.0	
105		45	39	12F12 包含層3b層	鉢? 壺?	胴～底部	充填縄文 底部平行沈 線以下無文		LR				—	(7.2)	—	130.3	
106	706	45	39	12F12・12F17 包含層 3b層	鉢? 壺?	胴部	磨消縄文 平行沈線		RL				—	—	—	344.5	
107	601	45	39	12F12 包含層3b層	鉢	略完形	A突起(5単位)		LR	弱い上げ 底	I 9 b	底部以外	13.1	7.6	13.6	607.8	
108	750	45	39	12F17 包含層3b層 11G15 攪乱	鉢	完形			LR		I 9 b	底部以外	8.4	5.0	10.0	176.4	
109	624	45	39	12F12 包含層3b層	鉢	略完形	口唇部平坦		LR		I 9 b	底部以外	14.0	5.8	15.8	564.2	
110	760	45	39	12F17 包含層3b層	鉢	略完形	口唇部平坦		LR		I 9 b	口縁部	10.5	3.0	11.2	192.1	
111	746	46	39	12F17 包含層3b層	台付鉢	略完形	刻目(羊歯状文B上半 様) 羊歯状文B 平 行沈線 台部に平行沈 線・載痕列 無文帯		LR	台部細長	IX 2 f		10.0	—	—	223.0	
112		46	39	12F12 包含層3b層	台付鉢	口～底部	刻目 平行沈線 羊歯 状文B 台部に刺突列		LR		VI 2		11.6	—	—	104.8	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
113	700	46	39	12F11 包含層 3b層	台付鉢	完形	B突起 刻目 平行沈線 羊歯状文 B上半様の截痕列(未連結) 平行沈線 粘土層				IX 3	台部以外	胴部以上	11.1	6.7	10.0	307.6	赤彩痕
114	677	46	40	12F11 包含層 3b層	台付浅鉢	口~底部	B突起 点列帯 C・X字文 点眼状三叉文	LR			II 2 a		(19.8)	—	—	—	109.4	
115		46	40	12F12 包含層 3b層	台付浅鉢	胴~底部	截痕列 貫通孔 横 S 字状文	LR					(8.0)	6.2	5.4	66.7		
116		46	40	12F17 包含層 3b層・V層上位	浅鉢	略完形	截痕列 K字文 点列帯 粘土層 底面に磨草状入紐文				II 3 a		15.4	6.0	7.1	243.0		
117	600	46	40	12F12 包含層 3b層	浅鉢	口~底部	B突起 截痕列(逆C字) C字文 平行沈線		珠文 沈線 平行		II 2 b		(18.7)	—	—	—	83.5	
118		46	40	12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	B突起 珠文縁(粗) 截痕列 磨消縄文(魚眼状三叉文)	LR			I 1		—	—	—	32.3		
119	728	46	40	12F12 包含層 3b層	浅鉢	完形	B突起(4単位) 羊歯状文 A(連結) 沈線				V 1 b		14.9	3.3	3.8	139.3		
120		46	40	12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	B突起 刻目 羊歯状文 A 磨消縄文	LR	平行沈線		V 1 a		—	—	—	65.4		
121	707	46	40	12F11 包含層 3b層	浅鉢	略完形	平行沈線 截痕列 磨消縄文 底部沈線以下無文	LR			III 4 a		(12.7)	2.0	6.4	91.4		
122	802	46	40	12F12 包含層 3b層	浅鉢	完形	截痕列 平行沈線 底部沈線以下無文	LR		弱い上げ底	III 4 c		11.2	4.2	5.0	109.4		
123	751・803	47	40	12F13 包含層 3b層・12F22 包含層 3a層下位	浅鉢	口~胴部	平行沈線 羊歯状文 B 上半様の截痕列 磨消縄文	LR			III 2 a		15.4	—	—	132.4		
124		47	40	12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	平行沈線 羊歯状文 B 上半様の截痕列 磨消縄文	LR			III 2 a		—	—	—	62.5	ミガキ横	
125		47	40	12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	平行沈線 羊歯状文 B 上半様の截痕列 磨消縄文	LR			III 2 a		—	—	—	51.5	内面黒色 ミガキ横	
126		47	40	12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	平行沈線 羊歯状文 B 上半様の截痕列 磨消縄文	LR			III 2 a		—	—	—	39.6	内面黒色 ミガキ横	
127	602	47	41	12F12 包含層 3b層	浅鉢	略完形	B突起(4単位) 平行沈線			弱い上げ底	V 4		(19.2)	5.2	6.2	147.9		
128	729	47	41	12F17 包含層 3b層	浅鉢	略完形	口唇部平坦 平行沈線				III 9		(12.0)	3.6	6.4	72.0	内外面赤彩痕	
129		47	41	12F12・12F17 包含層 3b層	浅鉢	口~胴部	平行沈線				III 9		15.6	—	—	141.5		
130		47	41	12E7 包含層 3b層	壺?	底部	磨消縄文 截痕列		LR・RL	平たい			—	—	—	178.2		

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	細文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		備考
												外面	内面	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	
131	682	47	41	12F11・12F12 包含層 3b層	壺	略完形	平行沈線 渦巻・弧線 文			弱い上げ底	I 1		12.9	6.0	15.0	647.3	外面・内面頸部以上赤彩痕
132	681	47	41	12F12 包含層 3b層	壺	頸～底部	截真列 粘土瘤 頸部 無文帯 C文字 充填 縄文 平行沈線		LR	丸底気味 弱い上げ底			—	6.0	—	374.6	
133	533	48	41	12F17 包含層 3b層・ 12F22 包含層 3a層下位	壺	口～胴部	平行沈線 三角・弧線 文	平行沈線			IV		(6.4)	—	—	117.1	外面全体・内面口縁部赤彩痕
134	670	48	41	12F12 包含層 3b層	壺	頸～底部	頸部無文 截真列 粘 土瘤 矩形入組文 羊 歯状文 A (粗形) 平 行沈線		LR	丸底	V 1 a		—	3.0	—	486.6	
135	663	48	41	12F12 包含層 3b層	壺	完形	截真列 頸部・底部無 文帯 羊歯状文 B・粘 土瘤 K文字 平行沈線			丸底気味	V 1 b		4.6	5.2	8.0	98.6	
136		48	42	12F8 包含層 3b層	壺	口～胴部	点列帯 C・X文字 截真列 平行沈線		LR				—	—	—	213.9	
137	676	48	42	12F11 包含層 3b層	壺	口～胴部	B突起 頸部無文帯 截真列 粘土瘤 (5単 位) 磨消		RL		I		(9.8)	—	—	175.0	
138	684	48	42	12F11 包含層 3b層	壺	口～胴部	平行隆帯 粘土瘤 (4 単位) 平行沈線	沈線(太)			X 1		(4.7)	—	—	229.8	外面全体・内面頸部以上赤彩痕
139		48	42	12F11・12F17 包含層 3b層	壺	口～胴部	平行沈線				VI 1		7.0	—	—	283.8	
140	599	48	42	12F12 包含層 3b層	壺	完形				丸底	Ⅷ 2		6.8	2.3	11.8	386.0	
141		48	42	12F12 包含層 3b層	壺	略完形				弱い上げ底	Ⅷ 2		(12.0)	(6.0)	17.1	261.1	
142	701	48	42	12F12 包含層 3b層	壺	完形	頸部無文帯		LR		VI 2		4.0	3.3	9.8	163.9	
143	678	49	42	12F12 包含層 3b層	注口	略完形	B突起 (正面) 入組 文 C・X文字 截真 列 羊歯状文 B上半機 の截真列 平行沈線 注口下に菱形文				II		—	—	—	314.3	
144		49	42	12F11 包含層 3b層・ 11F25 包含層 3a層下位	注口	胴部	截真列 C・X文字 注口下に渦巻文				I 2		—	—	—	125.1	
145	675・ 685	49	43	12F16 包含層 3 b層	注口	略完形	羊歯状文 B上半機の截 真列 平行沈線 K字 文 截真列 無文帯 向端二又の羊歯状文 B				IV		(7.4)	—	9.1	294.3	
146	598	49	43	12F12 包含層 3b～a層	注口	完形	B突起 刻目 截真列 (未連結) 頸部無文帯 充填縄文 向端二又の 羊歯状文 B 注口下に 渦巻文				V		13.1	1.8	9.5	503.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
147		49	43	12F12 包含層3b層	鉢(ミニチュア)	略完形	平行沈線	平行沈線		弱い上げ底	Ⅶ5		(5.0)	2.0	4.1	15.5	
148	688	49	43	12F17 包含層3b層	壺(ミニチュア)	略完形				丸底気味			—	1.5	—	46.8	
149	726	49	43	12F12 包含層3b層	蓋(ミニチュア)	頸~底部				上げ底			—	1.8	—	21.4	にんにく形
150		50	43	12F22 包含層3a層下位	鉢類	胴部	表裏縄文		LR(外面羽状)				—	—	—	30.7	早期未~前期初頭 胎土に繊維
151		50	43	12F21 包含層3a層	深鉢	口~胴部	B突起 刻目(羊歯状文B上半線だが珠文にならず) 平行沈線 截痕列 粘土瘤	平行沈線	LR		V		—	—	—	418.6	
152	610	50	43	12F22 包含層3a層上位	深鉢	口~胴部	B突起 刻目(羊歯状文B上半線だが珠文にならず) 平行沈線	平行沈線	LR		V		—	—	—	190.1	
153	711	50	43	12G1 包含層3a層下位	深鉢	略完形	口唇部尖化 口縁部無文		LR	弱い上げ底	Ⅳ2		(15.8)	8.0	19.2	730.5	
154	709	50	44	11G4 包含層3a層下位	深鉢	口~胴部			LR		Ⅲ		(31.8)	—	—	1267.5	
155	560	51	44	12F17 包含層3a層	深鉢	口~胴部			LR		Ⅲ		(18.7)	—	—	346.4	
156	611	51	44	12F16 包含層3a層上位	鉢類	口~胴部	三山状突起 珠文線 C字文(双頭) 截痕列 平行沈線		LR		Ⅳ		—	—	—	114.2	
157		51	44	12F21 包含層3a層上位	鉢類	口~胴部	B突起 C字文 截痕列	平行沈線	LR		Ⅳ2		—	—	—	48.4	
158		51	44	12F22 包含層3a層下位	鉢	略完形	平行沈線 唐消縄文(魚眼状?) 底部沈線 以下無文		LR		Ⅱ		(14.4)	3.0	8.2	64.4	
159		51	44	12F16 包含層3a層上位	鉢	口~胴部	B突起 平行沈線 羊歯状文A 唐消縄文		LR		Ⅸ2e		—	—	—	20.8	
160		51	44	12F12 包含層3a層	鉢	口~胴部	截痕列 K字文				I2		—	—	—	26.7	ナ字横
161	169	51	44	12G1 包含層3a層下位	鉢	口~胴部	B突起(羊歯状文Bと一体 口縁部は刻目・刺突交互で珠文にならず) 羊歯状文A(連結) 粘土瘤 平行沈線		LR		Ⅸ2f		—	—	—	34.6	
162		51	44	12F16 包含層3a層	鉢	口~胴部	B突起連線 平行沈線 羊歯状文A 唐消縄文	平行沈線	LR		Ⅸ2e		—	—	—	28.4	
163	759	51	44	12F21 包含層3a層下位	鉢	口~胴部	B突起連線 截痕列 平行沈線 羊歯状文A		LR		Ⅸ2f		—	—	—	42.9	ミガキ横
164		51	45	12F11 包含層3a層	鉢類	口~胴部	三山状突起 羊歯状文B 平行沈線		LR		Ⅸ2f		—	—	—	24.9	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		備考
												外面	内面	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	
165		51	45	12G1 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起連続 平行沈線 羊歯状文B 磨消縄文	平行沈線	LR		IX 2 e	胴部以上	胴部以上	—	—	34.3	
166		51	45	11F25～12G1 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起 珠文線 平行沈線 羊歯状文B 磨消縄文	平行沈線	LR		IX 2 f	胴部以上	胴部以上	—	—	50.9	
167		51	45	12G1 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起連続 平行沈線 羊歯状文B 磨消縄文		LR		IX 2 e	胴部以上	胴部以上	—	—	41.3	
168	412	51	45	12G1 包含層 3a層	鉢	口～胴部	横長突起 刻目 平行沈線 斜行沈線 + 区画のある 載痕列 磨消縄文	平行沈線	LR		IX 5 a	胴部以上	胴部以上	—	—	58.9	ミガキ上横・ 下縦
169		52	45	12G6 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起連続 平行沈線 斜行沈線 + 区画のある 載痕列 粘土瘤		RL		IX 5 b	胴部中位 以上	胴部中位 以上	(10.3)	—	37.3	
170		52	45	11F25 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起 珠文線状 羊 歯状文B (扁平化)		LR		I 4			—	—	32.6	
171	449	52	45	11G10 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起 刻目 平行沈 線 平行沈線 + 区画の ある載痕列 粘土瘤 磨消縄文	平行沈線	LR		IX 6 a	胴部以上	胴部以上	19.5	—	658.7	
172	389	52	45	11G5 包含層 3a層	鉢	口～胴部	口縁部 無文 載痕列 平行沈線 + 区画のある 載痕列 粘土瘤 磨消 (K字文系)	B突起様彫 去 平行沈 線	LR		IX 6 a	胴部以上	胴部以上	—	—	30.0	内外面黒色
173		52	45	12G1 包含層 3a層下位	鉢	口～胴部	横長突起 平行沈線 + 区画のある載痕列 平 行沈線	平行沈線	LR		IX 6 b	胴部以上	胴部以上	—	—	29.5	
174		52	45	12G6 包含層 3a層	鉢	口～胴部	刻目 平行沈線 平行 沈線 + 区画のある載痕 列	平行沈線	LR		IX 6 b	胴部以上	胴部以上	—	—	51.8	
175		52	45	12G6 包含層 3a層	鉢類	口～胴部	刻目 平行沈線 + 区画 のある載痕列 平行沈 線	平行沈線	LR		IX 6 b			—	—	66.9	
176		52	45	11G5 包含層 3a層	鉢	略完形	珠文線 羊歯状文B上 半様の載痕列 底部沈 線以下無文		LR	上げ底	I 5 b	胴部上半 以上	胴部上半 以上	(12.5)	(2.6)	42.3	
177	631	52	45	11F25 包含層 3a層上位	鉢	口～胴部	B突起連続 平行沈線 区画のある載痕列 磨 消縄文	平行沈線	LR		IX 8 a			—	—	51.0	
178		52	46	11G5 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起連続 羊歯状文 B上半様の載痕列 磨 消縄文	平行沈線	LR		I 5 a	胴部以上	胴部以上	—	—	23.4	
179		52	46	12G6 包含層 3a層	鉢・台付鉢	口～胴部	B突起連続 平行沈線 区画のある載痕列 磨 消縄文 底部無文	平行沈線	LR		I 7	口縁部 以上	胴部上位 以上	(12.8)	—	68.2	
180		52	46	11F25～12G1 包含層 3a層	鉢	完形	B突起連続 載痕列 平行沈線 磨消縄文 底部無文	平行沈線	LR	弱い上げ 底	VI 3 a			8.0	4.4	127.3	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
181		53	46	12F12 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起(横長)連続 B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 7 a	胴部中位以上	(11.3)	—	—	48.7	
182		53	46	12G6 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起連続 B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 8 a	口縁部	—	—	—	20.6	
183		53	46	12G1 包含層 3a層下位	鉢	口～胴部	B突起 刻目(半歯状) B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IV 3		(17.3)	—	—	126.2	
184	719	53	46	11F20 包含層 3a層, 12F22 包含層 3a層下位	鉢・台付鉢	口～胴部	B突起(横長)連続 B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		VI 3 b	全体	(9.8)	—	—	99.0	
185		53	46	12F22 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起 刻目(半歯状) B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		IX 11	口縁部	(15.3)	—	—	73.0	
186	794	53	46	11F25 包含層 3a層	鉢	略完形	刻目・弧状沈線 刻目・弧状沈線 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	B突起様影 去	LR		IX 12 i		8.9	3.9	8.9	146.6	
187		53	46	12F16 包含層 3a層	鉢	口～胴部	B突起(横長)連続 B突起連続 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 11	胴部中位以上	(11.1)	—	—	36.7	肩部張り出し
188		53	46	12F7 包含層 3a層下位, 11G10 包含層 3a層	鉢	口～胴部	刻目 区画のある 刻目 区画のある A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	B突起様影 去	LR		IX 8 a	胴部中位以上	(9.3)	—	—	132.1	
189	576	53	46	11G14 包含層 3a層下位	鉢	口～胴部	外面突起 外面突起 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		IX 12 h		10.0	—	—	169.0	
190		53	46	11G9 包含層 3a層	鉢	口～胴部	外面突起 外面突起 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 12 h	胴部以上	(10.3)	—	—	94.7	
191	738	53	46	11G9 包含層 3a層	鉢	口～胴部	外面突起 外面突起 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文	平行沈線	LR		IX 12 h	胴部以上	(16.6)	—	—	117.1	
192	745	53	47	12F21 包含層 3a層下位	鉢	略完形	A突起(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		I 8		(8.4)	3.4	5.7	61.7	
193	716	53	47	12F21 包含層 3a層下位	鉢	完形	B突起	平行沈線		弱い上げ底	VII 5		6.3	1.7	4.8	53.9	
194		53	47	11G9 包含層 3a層	鉢	口～底部	口唇部断面三角 沈線			弱い上げ底	VII 4		(7.0)	1.9	6.6	47.6	
195		53	47	11G5 包含層 3a層	鉢	口～胴部	刻目列 刻目列 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		IX 13		—	—	—	21.0	刺突円形で小さい
196	422	54	47	11G10 包含層 3a層	鉢	胴～底部			LR				—	6.2	—	638.9	
197	473	54	47	11G9 包含層 3a層	片口鉢類	口～胴部	B突起 B突起 A突(5単位)平行沈線 底沈線以下無文		LR		X	胴部以上	—	—	—	200.2	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)		
198	741	54	47	12F21 包含層3a層下位	片口鉢	口~胴部	豆状突起 平行沈線 横長突起? 平行沈線 斜行沈線	刺突列 平行沈線	LR		X	胴部以上	胴部	(20.4)	—	—	226.7	
199		54	47	11G5 包含層3a層	片口	口~胴部	刻目 平行沈線 斜行沈線 +区画のある載痕列 沈線+区画のある載痕列 粘土層 底部沈線 以下無文帯 台部付け 根に載痕列	平行沈線	LR		X	胴部以上	胴部以上	—	—	—	19.7	
200		54	47	12F22 包含層3a層下位	台付鉢	略完形	刻目 平行沈線 斜行沈線 +区画のある載痕列 平行沈線 粘土層 台部 に横S字状文 穿孔 (5単位)	平行沈線	LR		IX 5 b	口縁部	胴部上半 以上	(17.5)	(10.3)	18.1	323.4	
201	429	54	47	12F22 包含層3a層	台付鉢	口~底部	B突起連続 斜行沈線 +区画のある載痕列 平行沈線 粘土層 台部 に横S字状文		LR		IX 5 b	台部以外	胴部中位 以上	11.5	—	—	205.8	
202	516	54	47	11F20 包含層3a層	台付鉢	略完形	方形突起 刻目 平行沈 線 区画のある載痕列 粘土層 台部無文帯		LR		IX 8 b	胴部	胴部	10.2	(7.5)	9.9	285.4	
203	768	54	47	11G9 包含層3a層	台付深鉢	完形	刻目 口縁部無文 載 痕列 平行沈線 粘土 層 底部無文 沈線	B突起構彰 去	RL		IV 1	上半	上半	10.0	6.0	13.4	321.9	
204	809	54	48	12F21 包含層3a層上位	台付鉢	略完形	B突起連続 平行沈線 台部無文 沈線		RL		IX 11			7.3	(6.1)	9.2	65.9	
205	789	55	48	11G9 包含層3a層・ 3a層下位	台付鉢	口~底部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 粘土層 磨 消縄文		LR		IX 12 h	胴部中位 以上	胴部中位 以上	(10.7)	—	—	201.4	
206	771	55	48	11G14 包含層3a層	台付鉢	胴~底部	磨消縄文 平行沈線 台部無文 沈線		LR				台部以外	胴部下位 以上	7.1	—	220.2	
207	425	55	48	11G10 包含層3a層	台付	台部	横S字状文 平行沈線		LR					—	(11.5)	—	165.1	
208	420	55	48	12G6 包含層3a層	台付	台部	載痕列 横S字状文 平行沈線		LR					—	(6.8)	—	53.0	
209	442	55	48	11G15 包含層3a層	台付	台部	載痕列 C字文 平行 沈線							—	(8.5)	—	44.7	
210	812	55	48	12F16 包含層3a層上位	浅鉢	完形	平行沈線 磨消縄文 底部沈線以下無文		LR		III 8 a			12.6	3.7	5.7	122.0	
211		55	48	12F22 包含層3a層下位	浅鉢	口~胴部	平行沈線 磨消縄文	平行沈線	LR		V 3 a			—	—	—	39.7	
212	767	55	48	12G1 包含層3a層下位	浅鉢	口~底部	珠文縁 載痕列 磨消 縄文		LR		III 4 a			(15.4)	—	—	125.3	
213		55	48	11G10 包含層3a層・ 3a層上位・3a層下位	浅鉢	略完形	珠文縁 (羊腸状文B上 半縁) 平行沈線 磨 消縄文 底部平行沈線 以下無文	内傾平坦	LR		III 2 a			(18.7)	(2.7)	8.8	110.2	
214	755	55	48	12F22 包含層3a層下位	浅鉢	口~底部	B突起 平行沈線 羊 腸状文B上半縁の載痕 列 平行沈線 磨消縄 文 底部平行沈線以下 無文				III 2 a			(19.8)	—	—	150.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)		
215		55	48	12G1 包含層 3a層下位	浅鉢?	口縁部	刻目 平行沈線 磨消(半齒状文B) 粘土層	珠文	LR		II 3 b					30.4	ミガキ横	
216	780	55	48	12F21 包含層 3a層下位	浅鉢	口~胴部	半齒状文B上半様の載列 平行沈線 磨消 縄文		LR		III 2					60.1	ミガキ上横・下放射状	
217		55	48	11G5 包含層 3a層下位	浅鉢	口~胴部	B突起連続 平行沈線 半齒状文B上半様の載列 磨消縄文		RL	胴部以上	IV 1	胴部以上				27.8		
218		56	49	11F20 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	B突起 珠文縁状 半齒状文B(扁平化)	口唇部肥厚	LR		III 3					23.0		
219		56	49	12G1 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	刻目・刺突交互 平行沈線+区画のある載列(細) 平行沈線		LR・RL 羽状		IV 2					27.8		
220	535	56	49	12F21・12F22 包含層 3a層上位	浅鉢	略完形	半齒状文B上半様の載列 平行沈線 磨消 縄文 底部無文		LR	弱い上げ底	III 2 a	(17.6)	4.0	6.2	117.2			
221	472	56	49	11G9 包含層 3a層・3a層下位	浅鉢	口~胴部	沈線+区画のある刺突列 平行沈線 磨消 縄文		LR		III 6	19.4			152.4			
222		56	49	12G6 包含層 3a層	浅鉢	略完形	沈線+区画のある刺突列 平行沈線 磨消 縄文		LR	上げ底	III 6	(12.2)	(3.4)	4.2	37.0			
223	414・608	56	49	12F21 包含層 3a層上位, 11G5 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	載列 平行沈線 磨消 縄文		LR		III 4 b	(20.8)			180.8			
224	770	56	49	11G9 包含層 3a層	浅鉢	略完形	口唇部沈線 平行沈線 臺形文		不明	弱い上げ底	VI 2	(20.1)	(13.2)	4.6	107.9			
225		56	49	11G10 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	B突起 刻目 平行沈線 磨消縄文	B突起	LR		V 3 b				49.6	ミガキ放射状		
226		56	49	11G10 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	B突起(横長) 連続 平行沈線 磨消縄文	B突起 刻目	LR		V 3 b				25.5			
227		56	49	12G6 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	口唇部・外面突起 平行沈線 磨消縄文		LR		V 3 b	12.0			41.0			
228		56	49	11G10 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	B突起(横長) 連続 平行沈線 磨消縄文	B突起 刻目	LR		V 3 b	(14.4)			34.1			
229		56	49	11G9 包含層 3a層	浅鉢	略完形	外面突起 平行沈線 磨消縄文		LR	弱い上げ底	VI 2	(12.7)	2.0	3.2	44.1			
230	126	57	49	11G10 包含層 3a層	浅鉢	略完形	外面突起 平行沈線 磨消縄文	平行沈線	LR	弱い上げ底	VI 2	(19.1)	(10.0)	4.6	215.1			
231	744	57	49	11G9 包含層 3a層	浅鉢	口~胴部	沈線+刺突列 平行沈線 磨消縄文		LR		III 7	(18.4)			74.0			
232	408	57	50	12G1 包含層 3a層	浅鉢	略完形	臺形文(下書き?)				III 8 b	(14.3)	2.0	5.3	119.5			
233		57	50	12F22 包含層 3a層下位	浅鉢	略完形	平行沈線			上げ底	III 9	10.1	3.4	4.0	75.4	内外面赤彩痕		
234	409	57	50	12G1 包含層 3a層	浅鉢	略完形	刻目 平行沈線	B突起 磨消去	LR	弱い上げ底	VI 3 a	30.2	15.4	6.7	922.2			

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面表飾	内面表飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量			重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)		
235	576	57	50	I1G14 包含層3a層下位	浅鉢	口~胴部					III 11			(6.9)	—	—	13.1	
236		57	50	I2F21 包含層3a層下位	浅鉢(皿)	口~底部				方形	IX			—	—	3.5	70.5	
237		57	50	I2F21 包含層3a層下位	壺	胴部	平行沈線 入組三叉文		LR					—	—	—	83.4	内面黒色ガキ模
238		57	50	I2G1 包含層3a層下位	壺	胴~底部	平行沈線 C・X字文							(4.4)	—	—	250.5	
239	460	57	50	I1G5 包含層3a層下位	壺	口~胴部	B突起 刻目 截痕列 平行沈線 頸部無文帯 K字文				I 3			(9.9)	(5.2)	12.0	251.4	
240	786	58	51	I1G9 包含層3a層・3a層下位, I2G6 V層上位	壺	頸~底部	頸部無文 截痕列 平行沈線 磨消縄文		LR		V 1 c			—	4.6	—	348.2	
241	787	58	51	I1G9 包含層3a層下位	壺	頸~底部	頸部無文 平行沈線 雲形文			丸底	V 2			—	(8.0)	—	282.8	外面全体・内面頸部以上赤彩痕
242		58	51	I1G9 包含層3a層	壺	口~胴部	口縁部無文 平行沈線 雲形文				V 2			(5.7)	—	—	62.4	外・内面赤彩痕
243	634	58	51	I2F16 包含層3a層上位	壺	頸~胴部	T字隆帯 截痕列(縦長)				X 1			—	—	—	98.5	外面赤彩痕
244	781	58	51	I1G9 包含層3a層	壺	頸~底部	平行沈線 雲形文			弱い上げ底				—	1.9	—	123.4	
245	764	58	51	I2F22 包含層3a層下位	壺	口~頸部	頸部無文帯 截痕列 粘土瘤(X字状) C字文		LR					13.2	—	—	325.1	
246	763	58	51	I2F22 包含層3a層下位	壺	頸~胴部	頸部無文 平行隆帯+刺突列 粘土瘤 磨消縄文 截痕列		LR					—	—	—	162.2	
247	463	58	51	I2F12 包含層3a層上位, I2G1 包含層3a層・3a層下位	壺	口~胴部	頸部無文帯		LR		I 5			10.5	—	—	911.3	
248	558	58	51	I1G15 包含層3a層	壺	口~胴部	頸部磨消帯		LR		II 1 a			(10.6)	—	—	101.6	口縁部内外面に赤彩痕
249	739	59	52	I1G9 包含層3a層	壺	略完形	B突起 口縁部無文 平行沈線		LR	弱い上げ底	IX			(17.1)	8.0	25.3	1088.9	
250		59	52	I1F25 包含層3a層	蓋付壺?	口縁部	B突起(縦長) 連続截痕列 平行沈線	頸部に髹状隆帯	LR		X Ⅲ			—	—	—	111.1	内部に髹状帯蓋の受け?
251		59	52	I1G9 包含層3a層	壺?	底部	平行沈線		LR	弱い上げ底				—	8.4	—	133.1	
252	740	59	52	I1G9 包含層3a層	壺	略完形				弱い上げ底				5.5	2.7	10.8	217.3	
253		59	52	I2G1 包含層3a層3a層下位	壺	頸~底部	沈線							—	4.8	—	154.7	
254	584	59	52	I1G9 包含層3a層下位	壺	完形					VI 3			5.5	4.8	12.3	363.9	外面底部以外・内面頸部以上赤彩痕

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
255	578	59	52	11G14 包含層 3a層	壺	口~胴部					Ⅷ 2		7.7	—	—	119.3	
256	438	59	52	11G15 包含層 3a層	壺	口~胴部					Ⅵ 3		8.2	—	—	141.3	
257		59	52	12F21 包含層 3a層	壺	口~胴部	平行沈線				Ⅵ 3		4.8	—	—	87.0	
258		59	52	11G9 包含層 3a層	壺	胴~底部				弱い上げ底			—	(5.2)	—	146.8	
259	785	59	53	11G9 包含層 3a層下位	壺	完形				丸底	V 3		4.5	1.6	8.2	107.0	
260		59	53	12G1 包含層 3a層	壺	口~胴部					X Ⅱ		3	—	—	57.7	
261	443	60	53	11G14 包含層 3a層	注口	口~胴部	A (正面)・外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文 肩部外面突起		LR		Ⅵ 1		(12.1)	—	—	455.7	
262	384	60	53	11G5 包含層 3a層	注口	胴部	平行沈線 磨消縄文 肩部外面突起		LR		Ⅵ 1?		—	—	—	99.1	
263	585	60	53	11G9 包含層 3a層下位	注口?	胴~底部	肩部外面突起 平行沈線			弱い上げ底	Ⅵ 2?		—	2.2	—	78.8	
264		60	53	11F25 包含層 3a層	注口?	肩部	平行沈線 C字文? 縄痕列 横S字状外面突起				Ⅶ		—	—	—	20.7	外面赤彩
265	713	60	53	11G9 包含層 3a層	注口	胴~底部	粘土瘤 (眼鏡状)				Ⅷ		—	—	—	26.5	
266		60	53	11G9 包含層 3a層下位	香炉		二又大突起 胴上半に 外面突起・透かし多数 磨消縄文						—	(8.2)	—	151.5	
267		60	53	11G14 包含層 3a層下位	深鉢(ミニチュア)	略完形					Ⅵ		2.6	1.4	2.2	7.0	
268		60	53	12G2 包含層 3a層下位	鉢(ミニチュア)	口~胴部	大腿骨文				I		—	—	—	9.2	
269		60	53	12F21 包含層 3a層下位	鉢(ミニチュア)	略完形			LR		I		(3.5)	(1.9)	3.1	11.4	
270	330	60	53	12G1 包含層 3a層上位	鉢(ミニチュア)	胴~底部							—	1.8	—	7.4	
271	153	60	53	11G14 包含層 3a層	台付鉢(ミニチュア)	胴~底部	平行沈線		LR				—	2.5	—	7.6	
272	411	60	53	12G1 包含層 3a層	浅鉢(ミニチュア)	完形				不整	Ⅲ		2.3	—	1.7	10.3	
273	476	60	53	11G15 包含層 3a層下位	浅鉢(ミニチュア)	略完形	縄痕列 平行沈線			弱い上げ底	Ⅲ 4		6.5	0.8	2	15.4	
274		60	54	12G6 包含層 3a層上位	壺(ミニチュア)	略完形	波状縁			四足	X		(4.1)	5.2	4.3	45.8	外面赤彩痕
275	521	60	54	12F12 包含層 3a層上位	壺(ミニチュア)	完形				丸底			2.3	0.7	2.4	11.2	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
276		60	54	11G4 包含層 3a層	蓋(ミニチュア)	略完形								1.5	2.7	6.5	内外赤彩痕
277	712	60	54	11G9 包含層 3a層	注口(ミニチュア)	完形								1.7	2.1	7.3	
278		61	54	11G9 包含層 2b層	深鉢	胴部			LR・RI 0段多条							48.7	早期末～前期 初頭 胎土に 繊維
279	355	61	54	12G1 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	B突起	口唇部肥厚	LR		Ⅲ		(26.0)			488.6	
280		61	54	11G10 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	B突起? 口縁部無文 粘土層		LR		Ⅵ2	胴部以上	(18.6)			274.9	
281	292	61	54	12G6 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	B突起 大刻目 口縁 上部無文		LR		Ⅳ2		(20.8)			228.3	
282	371	61	54	11G15 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	大刻目 口縁上部無文		LR		Ⅰ2	口唇部下	(25.1)			371.4	
283	692	62	55	11G9 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線	B突起様影 去	LR		Ⅵ2					655.5	
284	341	61	55	11G15 包含層 2b層	深鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線		LR		Ⅵ2		(17.7)			235.8	
285	354	62	55	12G1 包含層 2b層	深鉢	口～胴部			LR		Ⅲ					599.3	内外面一部赤 色顔料付着
286	266	62	55	11G15 包含層 2b層	深鉢	口～胴部		口唇部肥厚	LR		Ⅲ	胴部	(21.8)			533.0	
287	542	63	56	12F21 包含層 2b層	深鉢	口～胴部			LR		Ⅰ2	胴部以上	(11.7)			94.8	
288	281	63	56	11G10 包含層 2b層	深鉢	胴～底部			LR 結節	弱い、上げ 底		胴部下位		8.4		564.1	
289	196	63	56	12G6 包含層 2b層	鉢	口～胴部	C・X字文 平行沈線 菱形・渦巻文		LR		Ⅶ2 a		(10.7)			49.7	
290		63	56	12F21 包含層 2b層	鉢類	口縁部	B突起 刻目 C・X 字文 平行沈線	B突起様影 去								43.4	
291		63	56	11G14 包含層 2b層	鉢	口～胴部	B突起連続 C・X字文 平行沈線 磨消縄文	沈線	LR		Ⅶ2 b	胴部以上	14.4			105.8	
292		63	56	12G2 包含層 2b層	鉢	略完形	B突起 刻目 口縁部 無文 平行沈線 粘土 層 磨消縄文	平行沈線	LR		Ⅸ12 h	胴部	(8.8)	(5.0)	8.7	48.1	
293	297	63	56	12G1 包含層 2b層	鉢	口～胴部	B突起横長 口縁部無 文 載痕列 粘土層 磨消縄文 平行沈線	B突起様影 去	LR		Ⅸ12 b	口縁部 胴部中位 以上	(9.2)			74.4	
294		63	56	12G1 包含層 2b層	鉢	口～胴部	刻目 載痕列(斜) 平行沈線 粘土層 磨 消縄文	B突起様影 去	LR		Ⅸ7 a		(10.0)			43.6	
295	362	63	56	12G1・11G10 包含層 2b層	鉢	口～胴部	B突起 沈線+削突列 平行沈線 粘土層 磨 消縄文		LR		Ⅸ9		(11.8)			125.1	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
296	361	63	56	12G1 包含層2b層	鉢	口～胴部	B突起 刺突列(C) 平行沈線 磨消縄文	平行沈線	LR		IX 10	胴部以上	胴部以上	—	—	62.7		
297		63	56	12C6 包含層2b層	鉢	口～胴部	B突起 口縁部無文 区画のある戳痕列 沈線 粘土層 磨消縄文	B突起 磨消	LR		IX 12 c	胴部以上	胴部以上	(9.7)	—	42.9		
298	287	63	56	12C6 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起・刻目 口縁部無文 区画のある戳痕列 沈線 粘土層 磨消縄文		LR		IX 12 b	胴部中位以上	胴部中位以上	(12.6)	—	164.2		
299	306	64	56	11G5 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 沈線+区画のある刺突列 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 d	胴部以上	胴部以上	(17.2)	—	266.6		
300		64	57	11G5・12G6 包含層2b層, 11G5・11G10 包含層2a層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 沈線+刺突列 平行沈線 粘土層 磨消縄文		LR		IX 12 f	点在	胴部中位以上	(16.8)	—	358.8		
301	274	64	57	11G10 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 粘土層 磨消縄文		LR		IX 12 h	胴部以上	胴部以上	9.5	—	80.7		
302	274	64	57	11G10 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 h	胴部以上	胴部以上	(12.3)	—	86.9		
303		64	57	11G15 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 h	口縁部	胴部	(11.8)	—	56.6		
304		64	57	11G15 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 h	胴部上位以上	胴部上位以上	(13.8)	—	100.3		
305		64	57	11G9 包含層2b層	鉢	口～胴部	口縁部無文 磨消縄文	B突起	LR		IX 12 h			(18.1)	—	123.1		
306	193	64	57	12G1 包含層2b層	鉢類	口～胴部	外面B突起 口縁部無文 平行沈線 粘土層		LR		IX 12 i	胴部以上	胴部以上	—	—	95.1	ミガキ上横・下縦	
307	331	64	57	11G15 包含層2b層	鉢	略定形	外面突起 口縁部無文 平行沈線 粘土層	平行沈線	LR		IX 12 i			(16.0)	6.6	16.5	383.8	
308	338	64	57	11G15 包含層2b層	鉢	口～胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線		LR		IX 12 i	胴部以上	胴部以上	(21.5)	—	187.4		
309	304	65	58	11G5 包含層2b層	鉢	口～胴部	口縁部無文		LR		IX 12 j			(20.7)	—	523.2		
310		65	58	11G10 包含層2b層	鉢	口～胴部	B突起 刻目 平行沈線	平行沈線	LR		IX 11			(12.0)	—	89.9		
311	345	65	58	11G15 包含層2b層	鉢	口～胴部	B突起 刻目(斜) 平行沈線		LR		I 8	胴部以上	胴部以上	(14.5)	—	116.6		
312	398	65	58	11G9 包含層2b層	鉢	略定形	口唇部平坦 口縁上部無文		LR		I 9 a			(15.3)	(6.0)	12.2	256.3	
313	91	65	58	11G15 包含層2b層	鉢	頸～底部	平行沈線 雲形文							—	2.9	—	91.0	
314	276	65	58	11G10 包含層2b層	鉢	略定形	外面突起 平行沈線				VII 4			(8.8)	2.3	6.8	60.5	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量			重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)		
315	284	65	58	11G10 包含層2b層	鉢	略壳形	平行沈線	平行沈線		弱い上げ底	IX 12 i			(9.4)	3.0	6.5	75.0	
316	646	65	58	11G14 包含層2b層	鉢	略壳形	粘土瘤				VII 5			(7.4)	2.1	5.8	73.6	
317	71	65	58	11G15 包含層2b層	鉢	略壳形	口唇部平坦	平行沈線		弱い上げ底	VII 4			(10.7)	3.0	6.8	76.1	
318	271	65	58	11G9 包含層2b層	鉢	口~胴部	平行沈線				VII 4			(11.4)	—	—	69.9	
319	92	65	58	11G15 包含層2b層	鉢	略壳形	口唇部平坦	平行沈線		弱い上げ底	VII 5			(16.0)	3.2	9.5	169.1	
320	264	65	58	11G15 包含層2b層	鉢	口~胴部		平行沈線			VII 5			(17.2)	—	—	123.9	
321		66	59	11G9 包含層2b層	鉢?	底部				四足				—	5.4	—	69.0	
322	267	66	59	11G14 包含層2b層	鉢?	胴~底部				弱い上げ底				—	8.4	—	223.2	
323		66	59	11G9 包含層2b層	鉢	底部	竹管刺突							—	5.2	—	65.2	
324	513	66	59	12F17 包含層2b層	鉢?	胴~底部	磨消縄文		LR	上げ底				—	4.8	—	199.4	
325		66	59	11G10 包含層2b層	片口鉢類	口縁部	豆状突起	磨消縄文	LR		X			—	—	—	6.5	
326	286	66	59	11G10 包含層2b層	台付鉢	略壳形	B突起 刻目 区画のある縦列、磨消縄文、三叉文	B突起様影 去	LR		IX 8 a		胴部下位以上	10.8	7.0	12.4	271.5	
327		66	59	12F21 包含層2b層	台付鉢	略壳形	B突起 刻目 縦列(縦長) 土瘤 無文	B突起様影 去	LR		IX 7 a			8.6	5.5	8.3	90.1	
328	723	66	59	12G11 包含層2b層	台付鉢	略壳形	横長突起連続 縦列 磨消縄文 土瘤 無文	B突起様影 去	LR		IX 7 b			11.3	(6.9)	10.6	288.7	
329	379	66	59	11G5 包含層2b層	台付鉢	略壳形	刻目 口縁部無文 粘土瘤 無文	B突起様影 去	RL		IX 12 i			(13.1)	6.3	12.0	268.0	
330	335	66	59	11G15 包含層2b層	台付鉢	頸~底部	平行沈線	台部無文	LR					—	5.8	—	107.2	
331	340	66	59	11G15 包含層2b層	台付鉢	頸~底部	平行沈線	台部無文	LR					—	6.2	—	108.7	
332	221	66	59	11G9 包含層2b層	台付鉢	略壳形	外面突起 平行沈線 磨消縄文	口縁部無文 粘土瘤 磨消縄文 台部無文	LR		IX 12 h			9.3	4.7	9.2	181.2	
333	265	66	59	11G15 包含層2b層	台付鉢	略壳形	外面突起 平行沈線 磨消縄文 台部無文	口縁部無文 磨消縄文 台部無文	LR		IX 12 h			(9.2)	4.3	9.1	85.3	
334	441	67	60	11G15 包含層2b層下位	台付残鉢	口~台部	粘土瘤・刻目・刺突による突起	平行沈線			V 4			13.8	—	—	191.1	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
335		67	60	11G5 包含層2b層	台付浅鉢	口～底部	外面突起 平行沈線 雲形文				V 3 b			(14.7)	—	—	40.3	
336		67	60	11G10 包含層2b層	台付浅鉢	口～胴部	口唇部外面平坦 載痕 列 平行沈線 雲形文	平行沈線			V 2			(15.3)	—	—	107.5	
337		67	60	12F17 包含層2b層	浅鉢	略完形	K字文	平行沈線		丸底	Ⅵ 1			(7.5)	(1.4)	2.7	14.6	
338	541	67	60	12F22 包含層2b層・ 2b層下位	浅鉢	口～胴部	羊歯状文B上半様の載 痕列 平行沈線 磨消 縄文		LR		Ⅲ 2 b			(18.8)	—	—	69.6	
339	530	67	60	12F17 包含層2b層	浅鉢	略完形	羊歯状文B上半様の載 痕列 平行沈線 磨消 縄文		LR	弱い上げ 底	Ⅲ 2 b			(16.7)	4.3	5.5	70.0	
340		67	60	12F22 包含層2b層	浅鉢	略完形	区画のある載痕列 磨 消縄文		LR		Ⅲ 5			(17.2)	4.4	3.3	31.2	
341		67	60	11G10・11G15 包含層 2b層	浅鉢	略完形	区画のある載痕列 平 行沈線 雲形文			弱い上げ 底	Ⅲ 5			(22.6)	(5.0)	8.5	297.0	
342	359	67	60	12G1 包含層2b層	浅鉢	略完形	羊歯状文B上半様の載 痕列 平行沈線 磨消 縄文		LR	上げ底	Ⅲ 2 b			(17.1)	5.4	6.3	78.7	
343	421	67	60	12G6 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	区画のある載痕列(細) 平行沈線 磨消縄文		LR		Ⅲ 5			—	—	—	61.4	内面黒色 ミガキ放射状
344	351	68	60	11G10 包含層2b層・ 12G6 包含層2a層	浅鉢	略完形	沈線+刺突列 平行沈 線 磨消縄文		LR	弱い上げ 底	Ⅲ 7			(18.2)	2.8	6.3	191.0	
345		67	60	11G14 包含層2b層	浅鉢	略完形	沈線+刺突列 平行沈 線 磨消縄文		LR	上げ底	Ⅲ 7			(20.2)	5.0	6.7	103.2	
346		68	61	11C9 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	外面突起 平行沈線 磨消縄文		LR		Ⅵ 2			(20.3)	—	—	109.2	
347	814	68	61	12F17 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	沈線+区画のある刺突 列(逆D字形) 平行 沈線 磨消縄文		LR		Ⅲ 6			—	—	—	67.6	
348	725	68	61	11G9 包含層2b・2b層 下位	浅鉢	略完形	平行沈線 磨消縄文		LR	弱い上げ 底	Ⅲ 8 b			(22.2)	(2.4)	8.9	292.6	
349	635	68	61	11G10 包含層2b層	浅鉢	略完形	口唇部平坦 平行沈線 磨消縄文		LR		Ⅲ 8 b			14.4	1.8	5.8	224.3	
350	312	68	61	11G14 包含層2b層	浅鉢	略完形	平行沈線 磨消縄文		LR	弱い上げ 底	Ⅲ 8 b			15.5	1.4	5.4	168.3	
351	301	68	61	12G6 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	平行沈線 雲形文				Ⅲ 8 b			—	—	—	27.2	
352		68	61	12F22 包含層2b層	浅鉢	略完形	A突起 平行沈線 雲 形文			四足	Ⅳ 2			(9.5)	4.1	4.7	29.7	
353	448	68	61	12F21 包含層2b層上位	浅鉢?	口縁部	外面突起 平行沈線 雲形文				V 3 b			—	—	—	65.9	
354		68	61	12F21 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	外面突起 平行沈線 雲形文				Ⅲ 8 b			—	—	—	30.5	内外赤彩
355	737	69	61	11C9 包含層2b層	浅鉢	略完形	外面突起 平行沈線 雲形文			弱い上げ 底	Ⅵ 2			(15.6)	(8.2)	4.2	95.3	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
356	342	69	61	11G15 包含層2b層	浅鉢	略完形	外面突起 雲形文			上げ底	VI 2		(8.8)	(5.2)	2.2	11.0	
357		69	61	12G6 包含層2b層	浅鉢	略完形	外面突起 磨消縄文		LR	底面中央 肥厚	VI 2		(19.2)	9.1	6.1	231.0	
358	285	69	62	11G10 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	B突起 刻目 起 平行沈線 文		LR		VII		(27.5)	—	—	215.8	
359	289	69	62	12G6 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	B突起 平行沈線 磨消縄文		LR		VI 2		—	—	—	99.4	
360	529	69	62	12F17 包含層2b層	浅鉢	口～胴部	正面突起 刻目 突起 平行沈線 縄文		LR		VI 2		(30.5)	—	—	164.2	
361	724	69	62	11G9 包含層2b層下位	浅鉢	略完形	外面突起 磨消縄文		LR	弱い上げ 底	VI 2		(15.5)	8.5	5.5	154.0	
362		69	62	11G10 包含層2b層	浅鉢	略完形	外面突起 磨消縄文	平行沈線	LR	弱い上げ 底	VI 2		(20.9)	8.6	6.2	168.7	
363	374	69	62	11G5 包含層2b層	浅鉢	略完形	刻目 外面突起 沈線 磨消縄文	平行沈線	LR	弱い上げ 底	VI 2		(15.9)	9.7	4.3	84.5	
364	140	70	62	11G14 包含層2b層	浅鉢	略完形	外面突起 磨消縄文	平行沈線	LR	上げ底	VI 2		(17.0)	9.3	4.2	130.3	
365		70	62	12G6 包含層2b層・ 11G19 包含層1～2a層	浅鉢	略完形	外面突起 磨消縄文	平行沈線	LR		VI 2		(16.2)	(8.2)	4.3	133.2	
366	42	70	62	11G10 包含層2b層	浅鉢	略完形	平行沈線 磨消縄文	平行沈線	LR	上げ底	VI 2		(17.9)	(11.4)	4.0	96.7	
367	363	70	62	12G1 包含層2b層	浅鉢	略完形	区画ある刻目 刺突	平行沈線		弱い上げ 底	III 9		(21.0)	(4.2)	9.3	152.7	
368	694	70	62	11G9 包含層2b層	浅鉢	略完形	口唇部沈線	平行沈線			III 9		(23.9)	8.0	8.4	315.4	
369	574	70	63	12F21 包含層2b層	浅鉢	略完形	平行沈線			上げ底	III 9		(16.8)	(4.5)	6.5	97.8	
370	536	70	63	12F21 包含層2b層	浅鉢	略完形	平行沈線			四足	VI 3 b		(11.7)	(6.7)	4.3	41.9	
371		70	63	11G5 包含層2b層	浅鉢	略完形	口唇部平坦			四足	VIII 3		(9.0)	4.5	3.8	32.8	外面赤彩痕
372		70	63	12F16・12F17 包含層 2b層	浅鉢	略完形					III 11		(11.1)	—	5.0	69.3	
373		70	63	11G14 包含層2b層	浅鉢	略完形				丸底	III 11		(12.4)	2.4	4.2	106.4	
374	695	70	63	11G9 包含層2b層	浅鉢	完形				弱い上げ 底	III 11		16.5	3.4	5.7	221.6	
375	260	70	63	11G15 包含層2b層	浅鉢	略完形				弱い上げ 底	V 5		(17.2)	(4.0)	4.8	92.4	
376	230	70	63	11G10 包含層2b層	浅鉢	完形				弱い上げ 底	III 11		16.0	4.5	7.1	380.6	
377	296	70	63	12G1 包含層2b層	浅鉢	完形				丸底	I 3		9.6	2.0	4.9	112.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
378	262	71	63	11G15 包含層 2b層	浅鉢	略完形	口唇部平坦			弱い上げ底	Ⅲ 11			11.9	3.6	5.7	200.7	
379	333	71	63	11G15 包含層 2b層	浅鉢	略完形	口唇部隆帯・沈線 平行沈線			弱い上げ底	Ⅲ 3 b			(26.8)	12.1	7.3	396.0	
380	662	71	63	11G9 包含層 2b層	片口浅鉢	略完形	豆状突起 平行沈線 肩孔		LR		X			(21.0)	(6.6)	8.4	79.1	
381	194・195	71	63	12G1 包含層 2b層・ 11G5 包含層 2a層	浅鉢(Ⅲ)	口～脚部	B突起			隅丸方形四足	Ⅸ			—	—	4.9	152.0 b110.8	
382	644	71	63	11G9 包含層 2b層	浅鉢(Ⅲ)	口～脚部				方形足付	Ⅸ			—	—	—	60.1	
383	330	71	64	11G15 包含層 2b層	壺	脚～底部	平行沈線 雲形文			上げ底				—	2.8	—	82.2	
384	280	71	64	11G10 包含層 2b層	壺?	脚～底部	平行沈線 雲形文?			弱い上げ底				—	(5.4)	—	176.9	
385	307	71	64	11G5 包含層 2b層	壺	口～胴部	平行沈線 口縁部無文	平行沈線	LR		Ⅱ 1 b			8.0	—	—	153.2	
386	396	71	64	11G9 包含層 2b層	壺	口～胴部	口唇部断面三角形 口縁部無文		LR		Ⅱ 1 b			(8.2)	—	—	230.4	
387		71	64	11G9 包含層 2b層	壺	口～胴部	口縁部無文		LR		Ⅷ 1			6.5	—	—	81.9	
388		72	64	12F17 包含層 2b層	壺	胴～底部			LR	上げ底				—	(11.8)	—	1033.8	
389	380	71	64	11G5 包含層 2b～3a層・2b層	壺	口～胴部	口縁部無文 粘土瘤		LR		X			(6.4)	—	—	74.9	
390	637	72	64	11G19 包含層 2b層	壺	完形	B突起 平行沈線			丸底気味	Ⅵ 1			5.4	3.0	11.0	190.6	
391	514	72	64	12F17 包含層 2b層	壺	完形		平行沈線		丸底気味	Ⅵ 3			5.1	3.2	12.8	245.1	
392	155	72	65	11G15 包含層 2b層	鉢	略完形	口唇部平坦				Ⅶ 5			(5.8)	2.1	5.0	32.0	
393	108	72	65	11G15 包含層 2b層	壺	頸～底部	平行沈線 粘土瘤			弱い上げ底				—	2.6	—	87.0	内外面胴部赤彩痕
394	344	72	65	11G15 包含層 2b層	壺	頸～底部				弱い上げ底				—	3.0	—	130.5	
395		72	65	11G9 包含層 2b層	壺?	脚～底部				弱い上げ底				—	4.7	—	102.9	
396	696	72	65	11G9 包含層 2b層	注口		B突起連綿 口縁部無文・沈線+刺突列(逆D字形) 磨消縄文 肩部外面突起	平行沈線	LR		Ⅵ 1			(6.6)	—	—	78.6	
397	431	72	65	11G10 包含層 2b層	注口	口～胴部	A・外面突起 口縁部無文・雲形文 肩部外面突起				Ⅵ 1			(11.1)	—	—	215.6	外面全体に赤彩痕
398	649	73	65	11G9 包含層 2b層	注口	脚～底部	雲形文 肩部外面突起			弱い上げ底	Ⅵ 1			—	2.5	—	128.6	

掲載No	取り上げ No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)		
399	648	73	65	12G1・11G9 包含層2b層	台付香炉? 鉢(ミニニチュア)	胴~底部	平行沈線 肩部外面突起 磨消縄文 台部無文		LR					6.0	—	193.9		
400	353	73	65	12G1 包含層2b層	鉢(ミニニチュア)	略完形	刻目		LR		I 9 b		4.2	1.8	4.1	26.2		
401	236	73	65	11G10 包含層2b層	鉢(ミニニチュア)	略完形	B突起			上げ底	I 10		(4.5)	1.6	3.9	27.3		
402	334	73	65	11G15 包含層2b層下位	鉢(ミニニチュア)	完形	波状縁			上げ底	Ⅷ 5		6.0	2.1	4.4	51.9		
403		73	65	11G15 包含層2b層	鉢?(ミニニチュア)	胴~底部				弱い上げ底			—	1.0	—	5.3		
404	251	73	65	11G5 包含層2b層	片口鉢(ミニニチュア)	完形	刻目				X		3.2	1.2	2.6	9.5		
405	647	73	65	11G14 包含層2b層	片口鉢(ミニニチュア)	完形				丸底気味	X		2.5	1.3	2.7	11.3		
406	238	73	65	12G6 包含層2b層	台付鉢(ミニニチュア)	略完形	波状縁 刻目	沈線			IV 4		(3.2)	1.6	2.9	6.5		
407		73	65	11F25 包含層2b層	台付鉢(ミニニチュア)	台部							—	(3.4)	—	12.9		
408		73	65	11G5 包含層2b層	台付鉢(ミニニチュア)	台部							—	2.3	—	6.3		
409		73	66	12G2 包含層2b層	台付鉢(ミニニチュア)	台部							—	3.1	—	13.6		
410	103	73	66	11G10 包含層2b層	台付浅鉢(ミニニチュア)	口~底部	外面突起 雲形文				VI 2		3.4	—	—	4.8		
411	250	73	66	11G5 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	完形	口縁部無文 平行沈線 雲形文				I 3		1.7	1.6	3.1	10.1	外面全体赤彩	
412	373	73	66	11G5 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	完形		•		弱い上げ底	VI 3		3.5	1.6	5.7	58.0	外面赤彩痕	
413	246	73	66	11G15 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	完形					VI 3		2.8	2.0	5.1	29.1		
414	162	73	66	12G1 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	完形	刻目 (正面有)			弱い上げ底			2.5	1.6	2.7	17.6		
415	588	73	66	12F16 包含層2b層下位	壺(ミニニチュア)	頸~底部				弱い上げ底			—	2.8	—	41.7		
416	561	73	66	12F17 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	頸~底部	粘土瘤 平行沈線			弱い上げ底			—	1.9	—	46.9	外面全体赤彩	
417	533	73	66	12F17 包含層2b層	壺(ミニニチュア)	頸~底部	平行沈線			丸底			—	1.2	—	59.5		
418	200	74	66	11G10 包含層2a層	深鉢	口~胴部	B突起 刻目 C字文 平行沈線		LR		VI 1		—	—	—	465.4		
419	96	74	66	11G19 包含層1~2a層	鉢類	口~胴部	B突起		LR		III		—	—	—	270.7		

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考	
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)			器高(cm)
420	216	74	67	11G14 包含層 2a層	深鉢	口~胴部			LR		Ⅲ			(28.6)	—	863.5		
421		74	66	11G5 包含層 2a層	深鉢	略完形	外面B突起 文		LR		Ⅱ			(6.8)	(3.0)	7.5	43.5	
422		74	66	11G14 包含層 2a層・ 1~2a層	深鉢	口~胴部	B突起				I 3			(14.4)	—	193.7		
423	186	75	67	11G10 包含層 2a層	片口深鉢	完形	豆状突起 B突起(7 単位) 刻目 平行沈 線		LR		Ⅳ		胴部下位 以上	16.0	6.5	16.9	799.9	
424	145	75	67	11G10 包含層 2a層	鉢類	口縁部	外面B突起 C・X字 文 平行沈線 磨消縄 文		LR					—	—	—	49.7	ミガキ横
425	229	75	67	11G10 包含層 2a層	鉢	口~胴部	外面B突起 C・X字 文 区画のある載列 (逆D字形) 磨消縄 文		LR				胴部以上	—	—	—	42.0	
426		75	67	11G14 包含層 1~2a層	鉢	口~胴部	B突起 口縁部無文 斜行沈線+区画のある 載列 平行沈線 粘 土瘤 磨消縄文		LR		IX 12 a			(7.8)	—	—	52.4	
427	212	75	67	11G15 包含層 2a層	鉢	口~胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線		LR		IX 12 h			(13.8)	—	—	79.8	
428		75	67	11G19 包含層 1~2a層	鉢	口~胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線		LR		IX 12 h		胴部上位 以上	(11.5)	—	—	55.6	
429		75	67	11G19 包含層 1~2a層	鉢	口~胴部	刻目 口縁部無文 平 行沈線 磨消縄文	平行沈線			IX 12 h			(10.2)	—	—	74.8	
430		75	67	11G19 包含層 1~2a 層・12G1 包含層 1層	鉢	口~胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線				IX 12 h			(10.8)	—	—	76.2	
431	211	75	67	11G15 包含層 2a層	鉢	完形	B突起 刻目 平行沈 線	B突起様影 去	LR	弱い上げ 底	I 8			10.6	4.8	9.3	206.0	
432	206	75	67	11G15 包含層 2a層	鉢	略完形	刻目		LR		I 9 b			(10.2)	(4.4)	8.1	99.8	
433	197	75	68	12G6 包含層 2a層	鉢	略完形			LR		I 9 b			(7.4)	3.4	6.2	47.4	
434		75	68	11G14 包含層 2a層	鉢	口~胴部	口唇部尖化		LR		I 9 b		胴部以上	(12.8)	—	—	100.7	
435		75	68	11G10 包含層 2a層	鉢	口~胴部	B突起				Ⅶ 5			(12.7)	—	—	56.8	
436	192	75	68	12G1 包含層 2a層	鉢	略完形				丸底	Ⅶ 5			(6.9)	(1.8)	4.9	33.2	
437		75	68	11F25 包含層 2a層	鉢	略完形					Ⅳ 4			(7.5)	(1.4)	4.6	36.8	
438	204	75	68	11G10 包含層 2a層	鉢?	胴~底部				丸底気味				—	2.0	—	41.3	
439	198	75	68	11G10 包含層 2a層	鉢?	胴~底部				上げ底				—	2.0	—	36.5	
440		76	68	12F17 包含層 2a層	台付鉢	略完形	B突起 C・X字文 平行沈線 台部無文・ 段あり	平行沈線	LR		IX 1 b		上半	(15.4)	(7.8)	17.3	652.8	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	口径(cm)	底径(cm)		
441	177	76	68	11G5 包含層 2a 層	台付鉢	略完形	外面突起 口縁部無文 平行沈線 粘土瘤 磨 消縄文 台部無文	平行沈線	LR		IX 12 h	胴部中位 以上	胴部下位 以上	13.0	6.8	14.8	460.9	
442	434	76	68	11G19 包含層 1 ~ 2a 層	台付鉢	完形	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文 台部無文	平行沈線	LR		IX 12 h	胴部中位 以上	胴部中位 以上	9.2	4.6	9.3	153.1	
443	197	76	68	11G19 包含層 1 ~ 2a 層	台付鉢	略完形	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文 台部無文 帯	平行沈線	LR		IX 12 h	口縁部	底部以外	11.5	6.0	12.2	237.7	
444		76	68	11G14 包含層 2a 層	台付鉢	口 ~ 胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文		LR		IX 12 h		胴部中位 以上	(12.1)	—	—	203.9	
445		76	69	11G10 包含層 2a 層	台付鉢	頸 ~ 底部	平行沈線 磨消縄文 台部無文 帯		LR					—	5.3	—	101.1	
446		76	69	11G15 包含層 2a 層	台付鉢	胴 ~ 底部	平行沈線 磨消縄文 台部無文		LR					—	4.7	—	52.0	
447	193	76	69	12G1 包含層 2a 層	台付鉢	口 ~ 底部	外面突起 口縁部無文 沈線 + 区画のある刺突 列 (逆 D 字形) 平行 沈線	平行沈線 (大)	LR		IX 12 e	全体	底部以外	(17.0)	—	—	394.2	
448		76	69	12G1・11G10 包含層 2a 層, 12G1 包含層 1 層	台付浅鉢	口 ~ 胴部	外面突起 稜列 平 行沈線 雲形文				V 2			—	—	—	41.7	a23.5 b18.2
449	180	76	69	11G5 包含層 2a 層	浅鉢	略完形	平行沈線 雲形文				III 8 b			(11.7)	(3.6)	5.5	64.9	
450	232	76	69	11G10 包含層 2a 層	浅鉢	口 ~ 胴部	B突起 (横長) 連続 平行沈線 磨消縄文 去	B突起様彫	LR		VI 2			—	—	—	66.3	ミガキ横
451		76	69	11G14 包含層 2a 層	浅鉢	略完形	口唇部沈線 平行沈線 磨消縄文	平行沈線	LR		VI 2			13.6	7.8	3.1	122.3	
452		77	69	12G1・12G6 包含層 2a 層	浅鉢	口 ~ 底部	A・B・外面突起				Ⅷ 4			(11.0)	—	—	33.1	外面赤彩痕
453		77	69	12G1 包含層 2a 層	浅鉢	略完形	平行沈線				Ⅷ 3			(8.8)	(3.2)	3.0	17.3	内外面赤彩痕
454		77	69	11G5 包含層 2a 層	浅鉢	口 ~ 胴部	口唇部平坦 平行沈線				V 4			(12.9)	—	—	20.1	
455	214	77	69	11G14 包含層 2a 層	浅鉢	略完形					III 11			(10.0)	(4.0)	4.8	70.8	
456		77	69	11G5 包含層 2a 層	浅鉢	口 ~ 胴部					III 11			(7.0)	—	—	13.8	
457		77	69	12G6 包含層 2a 層	壺	口 ~ 頸部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 雲形文? 粘土瘤				III 1			3.7	—	—	26.1	
458	202	77	69	11G10 包含層 2a 層	壺	胴 ~ 底部	磨消縄文 平行沈線		L R					—	4.6	—	122.1	
459	181	77	69	11G5 包含層 2a 層	壺	頸 ~ 底部	平行隆帯・沈線 粘土 瘤				X I			—	2.5	—	134.6	外面赤彩痕
460	129	77	69	11G10 包含層 2a 層	壺	略完形	口縁部無文	平行沈線	LR		II 1 b			(5.8)	2.4	9.3	131.6	

掲載No	取り上げ No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	底成形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
											外面	内面	口径(cm)/底径(cm)	器高(cm)		
461		77	69	11F25 包含層 2a層	蓋	口～胴部	口縁部無文		LR	Ⅷ 1		10.8	—	—	345.3	
462	99	77	70	11G19 包含層 1～2a層	蓋	口～胴部	口唇部面取り 無文	口縁部	LR	Ⅱ 1 b		(10.5)	—	—	154.7	
463	184	77	70	11G10 包含層 2a層	蓋?							—	—	—	265.2	
464	24	77	70	11G5 包含層 2a層, 11G19 包含層 1層	鉢(ミニ チュア)	口～胴部	波状口縁 粘土層	外面刻目		Ⅷ 5		(3.3)	—	—	6.8	鉢形
465	203	77	70	11G10 包含層 2a層	鉢(ミニ チュア)	胴～底部	沈線					—	2.0	—	10.0	
466		77	70	12G6 包含層 2a層	鉢(ミニ チュア)	口～胴部	三山状突起? 無文	口縁部	LR	Ⅳ		(4.0)	—	—	12.8	
467		77	70	12G1 包含層 2a層	鉢(ミニ チュア)	略完形			LR			—	(2.7)	—	12.0	
468	106	77	70	11G10 包含層 2a層, 11G5 包含層 1層	鉢(ミニ チュア)	略完形	口唇部尖化	平行沈線		Ⅷ 5		(4.8)	(1.2)	4.2	27.3	
469	127	77	70	11G10 包含層 2a層	鉢(ミニ チュア)	略完形				Ⅰ 10		(3.4)	—	2.4	9.5	
470		77	70	12F17 包含層 2a層	鉢?(ミニ チュア)	胴～底部						—	—	—	3.0	
471		77	70	11G15 包含層 2a層	鉢?(ミニ チュア)	底部						—	2.3	—	8.6	
472		77	70	11G19 包含層 1～2a層	鉢?(ミニ チュア)	胴～底部						—	1.2	—	7.9	
473		77	70	12F17 包含層 2a層	台付鉢(ミ ニチュア)	台部						—	2.8	—	7.6	
474		77	70	11G10 包含層 2a層	台付鉢(ミ ニチュア)	台部						—	2.0	—	2.5	
475		77	70	11F25 包含層 2a層	台付鉢(ミ ニチュア)	胴～底部						—	(2.0)	—	7.8	
476		77	70	12G1 包含層 2a層	浅鉢(ミニ チュア)	略完形	珠文線状 沈線(底面 にも)			Ⅵ		(6.5)	3.1	1.7	12.0	
477	213	77	70	11G15 包含層 2a層	蓋(ミニ チュア)	胴～底部						—	1.1	—	12.2	
478		78	70	11G5 包含層 1層	深鉢	口～胴部	B突起		LR	Ⅲ		—	—	—	160.8	
479		78	70	11F25 包含層 1層	鉢	口～胴部	外面突起 平行沈線	口縁部無文 磨消縄文	LR	Ⅸ 12 h		(12.7)	—	—	65.1	
480	163	78	70	12G1 包含層 1層	台付鉢	頸～底部	平行沈線 粘土層 磨消縄文	台部無文	LR			—	5.0	—	100.0	
481		78	71	11G19 包含層 1層	片口鉢?	口～胴部	刻目(斜)	平行沈線	LR	X		胴部以上	胴部以上	—	16.4	片口部が穿孔 状態
482		78	71	12G6 包含層 1層	浅鉢	略完形	口唇部沈線 磨消縄文	平行沈線	LR	Ⅵ 2		(21.5)	(12.6)	5.8	51.5	

掲載No	取り上げ No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物		法量		重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)		
483		78	71	11G19 包含層1層	浅鉢	略壳形	B突起			上げ底	Ⅲ 11			5.1	7.8	94.3	
484	19	78	71	11G15 包含層1層	浅鉢	略壳形	平行沈線			上げ底	Ⅲ 9			6.0	5.1	43.7	内面赤彩痕
485		78	71	12E22~23 包含層0層	深鉢	口~胴部	口唇部平坦		L		I 2			—	—	214.0	
486		78	71	12E9 包含層0層	深鉢	胴~底部			LR					7.7	—	385.2	
487		78	71	12E7 包含層0層	鉢	口~胴部	B突起連続 羊歯状文A 平行沈線	平行沈線	LR		IX 2 e			—	—	56.4	
488		78	71	12E7 包含層0層	鉢	口~胴部	B突起 珠文縁 截痕 羊歯状文A 平行沈線 C字文		LR		IX 1 b	胴部上位 以上	胴部上位 以上	—	—	58.3	
489		78	71	12F11 包含層0層	鉢	口~胴部	外面突起 口縁部無文 刺突列(D字形) 平行沈線 粘土瘤(大) 磨消縄文		RL		IX 12 g			—	—	107.8	
490		79	71	12F11 包含層0層	鉢	口~胴部	波状縁 平行沈線		RL		VI 4			—	—	147.2	
491		79	71	12E22~23 包含層0層	浅鉢・台付 浅鉢	口~胴部	B突起 刻目 截痕列 羊歯状文B 上半様の截痕列 平行沈線		LR		IX 9	胴上半		—	—	74.5	
492		79	71	12E13 包含層0層	壺	口~胴部			LR	頭上げ 底	X II			—	—	64.8	
493	801	79	72	11G9 V層上位	深鉢	略壳形	口唇部内側平坦		LR		III			7.5	23.3	407.9	
494	139	79	72	10H22 V層?	深鉢	胴~底部	底部無文		LR					6.2	—	262.0	
495		79	72	9K4 V層上位	鉢類	口縁部	山形突起 渦巻状隆帯							—	—	10.2	
496		79	72	9J25 V層上位	鉢類	口縁部	口唇部平坦 弧状・渦巻文(並行沈線)							—	—	25.9	
497		79	72	9K10 V層上位	鉢類?	胴部	弧状文(並行沈線) 粘土瘤							—	—	45.3	
498		79	72	12F16 V層	鉢	口~胴部	刻目(斜) 平行沈線 羊歯状文A(粗形) 磨消縄文		LR		IX 2 e	胴部以上	胴部以上	—	—	38.8	ミガキ上横・ 下縦
499		79	72	12E9 V層上位	鉢	口~胴部	珠状縁 羊歯状文A 平行沈線		LR		I 2	胴部以上	胴部以上	—	—	20.3	
500	776	79	72	12G1 V層上位	鉢類	口~胴部	B突起 珠文縁状 截痕列(爪形) 平行沈線		LR		IX 7 b			—	—	53.5	
501	798	79	72	12F12 V層上位	鉢類	口~胴部	口唇部凸化 珠文縁+ 刻目 弧線文 截痕列(爪形) 平行沈線		LR		IX 7 b	胴部以上	胴部以上	—	—	56.0	
502		79	72	12F16 V層	鉢	口~胴部	B突起 刻目 截痕列(爪形) 平行沈線		LR		IX 7 b			—	—	26.3	
503		79	72	11G14 V層上位	浅鉢	略壳形	外面突起 弧線文			足付	Ⅷ 1			—	—	22.8	内外面赤彩痕

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	外面装飾	内面装飾	縄文原体	底部形態	分類	炭化物			法量			重量(g)	備考
												外面	内面	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)			
504		80	72	12F12・12F17 V層上位	壺	略完形	B突起 半円+平行沈線 頸部無文帯 截真列 粘土繩 羊齒状文 B上半部の截痕列 平行沈線 厚草状入組文			弱い上げ底	I 3		(9.5)	6.4	9.7	137.8			
505	807	80	72	11G9 V層上位	壺	略完形				弱い上げ底	III 2		6.9	3.2	7.7	172.6			
506	155	80	72	12E13 V層上位	注口	胴部	平行沈線 羊齒状文A 右端二又の羊齒状文B				III		—	—	—	83.0			
507		80	72	12F17 V層上位	鉢(ミニチュア)	口~胴部					X		2.3	—	—	9.2			
508		80	73	11G19 攪乱	鉢類	口縁部	山形突起 縦位隆帯+ 刺突 完填縄文		LR				—	—	—	87.3	後期初~前葉		
509		80	73	9J24 IV層	鉢類	口縁部	波状縁 弧線文(並行沈線)						—	—	—	25.2	後期初~前葉		
510		80	73	12F22 IV層	鉢類	口縁部	山形突起 刻目 磨消 縄文		LR				—	—	—	7.3	後期末~晩期初頭		
511		80	73	10J21 IV層	鉢類	口縁部	口唇部肥厚(折り返し)		車軸轆5 LR				—	—	—	18.2	後期		
512		80	73	11G24 II層	鉢	口~胴部	外面突起 口縁部無文 平行沈線 磨消縄文	平行沈線					(16.8)	—	—	95.1			
513		80	73	11G17 II層	浅鉢	口~胴部	口唇部内側平坦 区画のある截痕列 平行沈線 磨消縄文		LR				(19.2)	—	—	112.6			
514		80	73	12F17・12F22 IV層, 11G15 II層	浅鉢	略完形	平行沈線 磨消縄文		LR	上げ底	III 8 a		(11.9)	3.3	4.1	73.5			
515		80	73	11G20 II層	浅鉢	口~底部				足付	Ⅷ 4		—	—	—	19.9			
516		80	73	11G20 II層	浅鉢	口~底部				足付	Ⅷ 4		—	—	—	7.2			
517		80	73	12E18 IV層	壺	胴部	渦巻文 粘土瘤						—	—	—	18.9			
518		80	73	12F17 IV層	鉢(ミニチュア)	完形							2.4	0.5	1.9	8.6			
519		80	73	12G1 II層	壺	頸~底部	沈線						—	7.3	—	207.3			
520		80	73	12E18 IV層	台付(ミニチュア)	台部							—	3.5	—	10.0			
521		80	73	12E12 IV層	浅鉢(ミニチュア)	略完形							—	1.3	1.3	6.2			

第4表 土製品観察表

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点	器種	残存部位	文様の特徴	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
522		81	74	5号土坑 埋土	土器片円板	完形	磨滅のため不明	3.3	3.6	0.7	10.87	スレ
523		—	74	1号溝 埋土 (12E13)	土偶	?		(3.0)	(2.5)	(0.6)	3.90	中空
524	313+566	81	74	12E3・12E9 包含層A層	土偶	胴～右腕部	充填(LR 菱形・渦巻) 截痕列	(18.0)	(13.5)	(7.6)	342.80	中空
525		81	74	12E3 包含層A層	土偶	腕部	沈線	(3.6)	(4.6)	(2.8)	16.09	中空
526		81	74	12F12 包含層3b層	土偶	右腕部	沈線	(3.0)	(2.9)	(1.9)	7.62	中実
527	720	81	74	12G11 包含層3a層	土偶	頭部	橋状把手 蛇行沈線 LR 刺突	(6.5)	(4.9)	(4.1)	46.74	中空
528	687+757	81	74	12F22 包含層3a層・3a層下位, 11G5 包含層3a層	土偶	左肩～胸～腕部	充填(LR) 刺突	(8.4)	(7.4)	(5.3)	43.47	中空
529		82	74	11G5 包含層3a層・2b層	土偶	肩部	充填(LR) 隆帯 刺突列 截痕列	(6.1)	(8.2)	(6.1)	65.30	中空
530		82	75	12F16 包含層3a層上位	土偶	腕部	沈線	(3.9)	(5.1)	(3.1)	16.20	中空
531	715	82	75	12F16 包含層3a層下位	土偶	腕部		(4.4)	(4.0)	(4.0)	22.83	中空
532		—	75	12F22 包含層3a層下位	土偶	胸部?		(6.9)	(3.6)	(0.7)	14.80	中空
533		—	75	11G20 包含層3a層	土偶	股?	截痕列	(5.3)	(4.2)	(1.2)	20.00	中空
534	691	82	75	12F21 包含層3a層	土偶	脚部	截痕列	(5.0)	(4.2)	(4.4)	43.24	中空
535	455	82	75	11G5 包含層3a層	土偶	脚部	点列帯	(4.8)	(5.8)	(4.8)	34.52	中空
536		—	75	11G15 包含層3a層	土偶	脚部	截痕列	(5.3)	(5.4)	(0.8)	17.90	中空
537	669	—	75	12G2 包含層3a層	土偶	脚部	沈線	(4.3)	(4.2)	(0.3)	23.16	中空
538	559	82	75	11G15 包含層3a層	土偶	脚部	沈線	(5.6)	(5.5)	(3.2)	29.25	中空
539	758	82	75	12G1 包含層3a層	土偶	頭～胸～右腕部	頭部三山状 鼻突出 横S字状文	(6.1)	(5.3)	(2.2)	34.70	中実
540	437	82	75	12G1 包含層3a層	土偶	胸部以下	腹～腰に山形隆帯 渦巻文	(6.9)	6.5	(2.0)	60.39	中実 赤彩 砂 首断面にアスファルト? 付着
541	743	82	75	11G9 包含層3a層	土偶	胴～左腕部	腹～腰に山形隆帯 渦巻文	(5.5)	(4.5)	(1.9)	21.40	中実
542	710	82	75	12F21 包含層3a層上位	土偶	胴部	沈線	(6.6)	(4.9)	(2.8)	46.10	中実
543		82	76	12F16 包含層3a層上位	土偶	腕部	沈線	(1.7)	(2.3)	(1.6)	3.80	中実
544	641	82	76	12F16 包含層3a層	土偶	略完形	肩髁状 局部盲孔	(6.0)	(4.0)	(4.0)	64.42	中実 妊婦
545	766	82	76	12G1 包含層3a層	土偶	頭～胸～右腕部	頭頂部環状	(4.6)	(4.1)	(2.4)	22.30	中実
546	551	83	76	11G15 包含層3a層	土偶	略完形		3.5	(3.7)	(1.9)	15.30	中実

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点	器種	残存部位	文様の特徴	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
547	524	83	76	12F12 包含層 3a層上位	土偶	頭～胴部	渦卷文	(3.3)	(4.1)	(1.7)	11.08	中実
548	570	83	76	12F21 包含層 2b層下位	土偶	頭～胴部	橋状把手 隆帯 (三角・C字・平行)	(11.6)	(9.8)	(5.3)	132.66	中空 赤彩
549		83	76	11F25 包含層 2b層	土偶	頭部	眉～鼻隆帯 刺突	(3.0)	(4.0)	(1.7)	11.52	中空
550	736	—	76	12G1 包含層 2b層	土偶	頭頂部飾り		(2.8)	(3.7)	(1.5)	9.80	中空
551	587	83	76	12F16 包含層 2b層下位	土偶	頭部	頭・耳 B袋起 沈線 截痕列	(3.6)	(3.8)	(2.6)	16.92	中実
552	571	83	76	11F25 包含層 2b層	土偶	頭～胴部	沈線	(4.7)	(2.8)	(2.0)	15.72	中実
553	539	83	77	12F17 包含層 2b層	土偶	胴～脚部	腹～腰に山形隆帯 渦卷文	(5.0)	(5.1)	(2.3)	43.04	中実 砂
554	310	83	77	12G1 包含層 2b層	土偶	胴～両腕部	腹～腰に山形隆帯・刺突 弧線・ 入組文	(5.5)	(6.2)	(2.5)	53.70	中実
555	659	83	77	12F22 包含層 2b層	土偶	頭～腰部	腹～腰に山形隆帯・刻目 雲形文	(6.3)	(2.8)	(1.4)	16.00	中実 棒状 海綿骨針
556		83	77	12F22 包含層 2b層	土偶	頭～胴上半～左腕部		(3.2)	(4.3)	(1.4)	10.03	中実
557	235	83	77	12G6 包含層 2b層	土偶	頭～胴～両腕部	眉～鼻隆帯 雲形文	(6.0)	(5.8)	(2.8)	40.70	中実、赤彩
558	249	83	77	11G15 包含層 2b層	土偶	頭部	眉～鼻隆帯	(2.7)	(3.5)	(1.7)	9.68	中実
559	636	84	77	11G10 包含層 2b層	土偶	胴～脚部	局部盲孔	(4.5)	(3.8)	(3.2)	34.58	中実 座位
560	586	84	77	12F16 包含層 2b層上位	土偶	腕部	沈線	(6.4)	(4.9)	(2.2)	46.25	中実 海綿骨針
561	252	84	77	11G15 包含層 2b層	土偶	左腕部		(5.4)	(4.3)	(2.4)	33.04	中実
562		84	77	11G14 包含層 2b層	土偶	腕部		(3.1)	(1.9)	(1.1)	5.75	中実
563		84	77	11G10 包含層 2b層	土偶	腰部		(3.2)	(3.3)	(0.8)	6.32	中実
564	136	84	77	11G15 包含層 2b層	土偶	脚部?	沈線 LR	(5.6)	(3.1)	(3.0)	34.61	中実
565		—	77	11G20 包含層 1～2a層	土偶	脚部	刺突列 截痕列	(2.4)	(2.7)	(0.7)	3.80	中空
566		84	78	11G5 包含層 2a層	土偶	胴部	腹～腰に山形隆帯 刻目(裏)	(3.9)	(3.7)	(1.1)	6.81	中実
567	190	84	78	12G1 包含層 2a層	土偶	胴部	×字文	(5.0)	(4.8)	(2.1)	38.39	中実
568	161	84	78	12G1 包含層 2a層	土偶?	胸?		(2.8)	(3.1)	(1.9)	8.43	?
569		84	78	11G15 包含層 2a層	土偶	腕部		(3.8)	(1.8)	(0.9)	5.70	中実
570		84	78	12F12 包含層 0層	土偶	腕部	沈線	(3.4)	(3.3)	(2.7)	15.37	中空

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点	器種	残存部位	文様の特徴	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
571		84	78	12E8 包含層0層	土偶	腕部		(2.1)	(1.4)	(1.1)	2.96	中実
572		84	78	12F17 包含層3b層	管玉	2/3		(3.5)	1.8	(1.7)	7.80	赤彩
573		84	78	11G10 包含層2b層	勾玉	完形		3.6	2.1	0.9	17.22	
574	234	84	78	12G6 包含層2b層, 12G1 包含層1層	土製耳飾	完形		4.5	3.4	0.7	7.44	滑車形(楕円形)
575		84	78	12G1 包含層2b層	土製耳飾	1/2		(3.3)	(1.7)	0.7	2.93	滑車形(円形)
576	167	84	78	11G15 包含層2a層	土製耳飾	1/3		(2.9)	(1.0)	0.6	1.35	滑車形(円形)
577	638	84	78	11G14 包含層2b層	土製耳飾	略完形		1.3	2.0	2.0	2.04	耳栓形 赤彩
578	148	84	78	11G5 包含層2a層	土製耳飾	1/2		1.7	3.1	(2.5)	5.57	鼓形
579	128	84	78	11G10 包含層2a層	土製耳飾	1/2		(1.2)	(1.6)	(1.5)	1.54	鼓形
580		84	78	12G1 包含層3a層下位	土版	1/2	菱形文 渦巻文	(8.5)	(6.4)	1.8	109.88	
581	523	84	78	12F12 包含層3a層上位	土版	1/4	渦巻文	(4.7)	(3.3)	1.2	18.89	
582	680	85	78	12F21 包含層3a層	亀形土製品	略完形		(7.7)	(6.0)	2.6	61.81	穿孔 海綿骨針
583	254	85	78	11G14 包含層3a層下位	舟形土製品	下部欠損		(2.9)	5.3	2.9	16.40	穿孔3か所
584		85	78	11G10 包含層3a層	スプーン形土製品	1/2以下		(3.9)	2.7	1.4	6.96	
585		85	79	12F21 包含層3a層上位	キノコ形土製品	完形		(3.0)	3.3	3.3	22.80	
586	172	85	79	11G9 包含層2b層	棒形土製品(スタンプ?)	完形	刺突	4.9	1.5	(1.6)	12.40	
587	697	85	79	11G10 包含層2b層	突起?	?		(3.7)	(5.3)	(1.9)	32.23	中実
588	625	85	79	12F11 包含層3b層	土器片球	完形		2.7	2.7	2.2	12.60	素材は底部片 スレ
589		85	79	11G14 包含層1~2a層	土球	2/3		2.0	1.9	(1.5)	4.90	
590	311	85	79	12G1 包含層2b層下位	?	?		(1.8)	2.6	2.8	8.11	にんにく型
591	435	85	79	11G15 包含層3a層	?	上部		(7.4)	(8.1)	(5.7)	136.08	
592		85	79	12G1 包含層3a層	?	?	平行沈線	(2.8)	(3.4)	(2.9)	6.80	
593		85	79	12E13 包含層A層	土器片円板	完形	LR	3.3	3.3	0.8	10.26	打ち欠き
594		85	79	12F16 包含層3a層	土器片円板	2/3	LR	(3.9)	4.1	1.0	14.80	スレ 言孔
595	253	85	79	12G1 包含層2b層	土器片円板	完形	LR	3.9	3.6	0.8	12.03	スレ 穿孔
596		85	79	12G1 包含層2b層	土器片円板	完形	LR	4.2	4.2	0.8	14.61	スレ 穿孔
597	170	85	79	12G1 包含層2b層	土器片円板	1/2	LR	(4.3)	(2.5)	0.7	8.70	スレ 穿孔

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	残存部位	文様の特徴	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
598		85	79	11G15 包含層 2b 層	土器片円板	略定形	LR	3.5	3.8	0.8	8.90	打ち欠き
599		—	79	11G15 包含層 2b 層	土器片円板	1/2	LR	(4.0)	(2.4)	0.6	7.10	スレ
600	118	85	79	11G4 包含層 2a 層	土器片円板	定形	RL	3.7	3.6	0.8	11.42	スレ 穿孔
601		85	79	11G10 包含層 2a 層	土器片円板	定形	LR	3.1	2.9	0.9	7.82	スレ
602	572	86	80	12F21 包含層 2b 層下位	粘土紐	一部欠		(4.1)	(0.8)	(1.0)	2.09	
603		—	80	12F16 包含層 3b 層	粘土塊	定形		3.8	3.3	2.6	17.80	
604		86	80	12F17 包含層 2b 層	粘土塊	定形	板状	5.0	4.6	1.3	15.90	
605		—	80	12G1 包含層 2b 層	粘土塊	一部欠		6.4	4.6	2.0	38.55	
606		—	80	12F17 包含層 3b 層	粘土塊	?	製品の欠損?	(3.1)	(2.3)	(0.5)	3.40	
607		—	80	11G10 包含層 2b 層	粘土塊	?	製品の欠損?	(4.4)	(2.5)	(0.6)	8.70	中空
608		86	80	11G19 V層上位	土偶	脚部	LR 刺突列 截痕列	(6.9)	(5.4)	(1.5)	26.40	中空
609		86	80	12F17 V層上位	土偶	脚部	腹～腰に山形隆帯 刺突(横長)	(3.5)	(3.1)	(1.8)	16.70	中実
610	721	86	80	11G10 V層上位	土偶	脚部?		(2.5)	(2.1)	(1.7)	7.86	中実
611		—	80	12E13 IV層	土偶	?		(2.3)	(4.0)	(0.5)	4.10	中空
612		86	80	12F2 IV層	土偶	胸部	沈線	(3.2)	(3.1)	(2.0)	11.50	中空
613		86	80	12E18 IV層	土偶	頭部	頭頂部環状 鼻突出	(3.0)	(2.8)	(2.3)	9.60	中実
614		—	80	I区間目 II層	土偶	脚部		(2.6)	(4.1)	(0.5)	5.50	中空
615		86	80	11G19 II層	土偶	脚部	充填?(LR) 截痕列	(4.9)	(5.5)	(1.0)	18.10	中空
616		86	80	11G19 II層	土偶	脚部	充填?(LR) 截痕列 刺突列	(3.8)	(3.1)	(1.1)	7.70	中空
617		86	80	11G15 II層	土偶	脚部		(2.3)	(2.8)	2.1	6.30	中空
618		86	80	11G22 II層	土偶	脚部		(3.5)	(3.5)	(3.4)	15.30	中空
619		86	80	11G18 旧道路測溝境乱	土偶	脚部?	突起 穿孔 平行 沈線 刺突列	(3.1)	(3.6)	(2.5)	12.00	中空
620		86	80	12E9 IV層	管玉	1/2?		2.2	0.7	0.8	1.08	
621	415	86	80	12F11 IV層	土製耳飾	定形		5.0	3.1	0.7	6.99	滑車形(楕円形)
622		86	80	I区間目 II層	?	?	平行沈線(環状・十字)	3.6	3.6	(1.0)	13.79	
623		—	80	12E12 IV層	土器片円板	1/2		(4.6)	(3.4)	0.6	9.50	打ち欠き

第5表 石器観察表

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
624		87	81	2号土坑 埋土下位	石鏡		完形	チャート	50.29	44.35	21.74	64.6	剥 両面
625			81	2号土坑 埋土上位	石核	2b	完形	チャート	63.70	127.25	65.94	515.3	
626			81	2号土坑 埋土上位	石核	2e	完形	赤色頁岩	45.02	53.05	45.20	131.8	
627		87	81	2号土坑 埋土下位	磨製石斧		1/3	閃緑岩	(68.60)	(79.32)	(22.52)	226.0	
628		87	81	2号土坑 埋土上位	磨石	2	完形	デイサイト	90.89	75.68	43.25	501.4	赤色顔料付着
629		87	81	2号土坑 埋土下位	敲石	1	完形	砂岩	111.97	65.89	46.22	624.8	磨製石斧欠損品を利用
630		87	81	2号土坑 埋土下位	台石		完形	デイサイト	199.00	138.26	54.15	2026.7	敲打
631		87	81	3号土坑 埋土	敲石	4a	完形	デイサイト	68.70	51.64	25.92	137.1	凹盤? 中央黒色
633		87	81	P 2 埋土	敲石	2	完形	ホルンフエ ス	34.82	15.60	7.50	4.6	周縁 弱
632		87	81	4号土坑 1層	石核	2e	完形	頁岩	80.12	70.28	18.69	155.0	小円礫素材で片面は円礫面
634		87	81	1号溝 埋土 (12E13)	石礫		一部欠	頁岩	(44.93)	15.80	5.69	2.7	凸基有茎
635		81	81	1号溝 埋土 (12E18)	石錐	4	完形	頁岩	38.10	17.93	8.01	5.1	
636			81	1号溝 埋土	石匙	2a	一部欠	頁岩	(22.82)	26.20	7.40	3.2	
637		87	81	1号溝 埋土 (12F12)	石核	2d	完形	頁岩	33.21	37.07	13.44	17.1	
638			82	12D5 包含層 A'層	石礫		一部欠	頁岩	(34.38)	15.80	4.81	2.4	凸基有茎
639		88	82	12D24 包含層 A層	石礫		完形	頁岩	36.50	9.00	6.00	1.5	凸基有茎
640		88	82	12E9 包含層 A層	石礫		完形	頁岩(軟)	23.00	18.50	4.00	1.8	凸基有茎
641	690	88	82	12F11 包含層 3b層	石礫		略完形	頁岩	(29.00)	13.00	4.00	1.1	凸基有茎
642	735	88	82	12F11 包含層 3b層	石礫		完形	頁岩	49.50	15.00	7.00	3.0	凸基有茎
643	756	88	82	12F16 包含層 3b層	石礫		略完形	頁岩	(35.50)	13.50	5.50	1.7	凸基有茎
644	525	88	82	12F7 包含層 3a層	石礫		略完形	頁岩	(27.50)	17.00	4.00	1.2	凸基有茎
645	658	88	82	12F12 包含層 3a層下位	石礫		略完形	頁岩	(39.00)	11.00	6.00	2.1	凸基有茎
646	436	88	82	11G15 包含層 3a層	石礫		完形	頁岩	(42.50)	11.00	7.00	2.4	凸基有茎
647	475	88	82	11G15 包含層 3a層	石礫		完形	頁岩	(39.00)	17.00	4.50	2.1	凸基有茎
648	474	88	82	11G15 包含層 3a層	石礫		略完形	頁岩	(29.00)	17.00	5.50	1.4	凸基有茎
649	656	88	82	12G1 包含層 3a層中位	石礫		略完形	頁岩	(31.50)	15.00	5.00	2.0	凸基有茎
650		88	82	12F22 包含層 2b層	石礫		略完形	頁岩	46.00	22.00	6.00	4.2	凸基有茎
651	105	88	82	11G10 包含層 2b層	石礫		完形	頁岩	4.00	17.50	5.00	2.0	凸基有茎

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
652	247	88	82	11G10 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	54.50	21.50	9.00	5.0	凸基有茎
653	243	88	82	11G15 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	23.00	11.50	4.00	0.6	凸基有茎
654		88	82	12G11 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	29.08	12.12	3.62	1.1	凸基有茎
655		88	82	11G10 包含層2a層	石鏃		完形	頁岩	22.52	13.33	5.55	1.2	凸基有茎
656	209	88	82	11G15 包含層2a層	石鏃		完形	珪質頁岩	47.00	30.50	10.00	8.1	凸基有茎
657		82	82	11G19 包含層1~2a層	石鏃		完形	頁岩	30.24	13.64	7.40	2.2	凸基有茎
658		88	82	11F25 包含層1層	石鏃		完形	頁岩	47.15	16.22	6.63	4.6	凸基有茎
659		82	82	12E13 包含層0層	石鏃		完形	頁岩	26.38	11.65	7.74	2.3	凸基有茎
660		88	82	12F17 包含層0層	石鏃		完形	頁岩	(27.00)	7.00	4.50	0.7	凸基有茎
661		88	82	12E4 包含層A層	石鏃		完形	頁岩	30.00	13.00	6.00	1.5	平基有茎
662		88	82	12G6 包含層3a層	石鏃		完形	頁岩(軟)	37.00	19.00	5.00	2.1	平基有茎
663	104	88	82	11G10 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	50.00	18.50	6.00	2.9	平基有茎
664	133	82	82	11G15 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	35.28	20.16	5.46	2.8	平基有茎
665		88	82	11G10 包含層2a層	石鏃		完形	頁岩	34.00	14.00	4.50	1.3	平基有茎
666		88	82	12F21 包含層3a層上位	石鏃		完形	頁岩	27.50	15.00	4.00	1.1	平基無茎
667		88	82	11G9 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	36.46	14.38	4.49	2.1	平基無茎
668		82	82	11G15 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	23.67	17.97	4.67	1.6	平基無茎
669		88	82	12G6 包含層2b層	石鏃		完形	頁岩	25.00	12.50	3.00	1.0	凹基無茎
670	522	88	82	12F12 包含層3a層上位	尖頭状		略完形	凝灰岩	(73.62)	(25.72)	(7.44)	10.91	石材軟質 非実用品?
671	761		82	12G1 包含層3a層	尖頭状		完形	頁岩	53.07	28.80	21.18	19.3	
672	458	89	83	12F7 包含層3a層	石鏃	3	完形	頁岩	61.00	12.00	10.00	4.8	
673	439	89	83	12G1 包含層3a層	石鏃	1	略完形	頁岩	48.00	18.50	6.00	3.5	
674		89	83	12G2 包含層3a層上位	石鏃	1	一部欠	頁岩	60.00	26.00	8.00	6.8	
675	164	89	83	12G1 包含層2b層	石鏃	1	完形	頁岩	40.00	20.00	10.50	3.9	
676	657		83	12F16 包含層3a層下位	石鏃	2	略完形	頁岩	34.82	25.28	12.53	7.9	
677	356		83	12G1 包含層3a層	石鏃	2	略完形	頁岩	33.63	30.50	10.07	5.6	
678		89	83	11G15 包含層2b層	石鏃	4	完形	頁岩	27.06	22.84	7.77	3.4	
679		89	83	12F22 包含層2b層	石鏃玢	3	略完形	頁岩	(46.00)	12.00	12.00	5.0	
680		89	83	11G9 包含層2a層	石鏃	3	完形	頁岩	39.50	18.00	9.50	5.8	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
681		89	83	11G15 包含層 2a層	石錐	3	完形	頁岩	34.46	12.97	10.02	3.8	
682		89	83	12F11 包含層 0層	石錐	3	完形	頁岩	33.88	12.60	9.68	3.9	
683		89	83	12F12 包含層 0層	石錐	3	完形	頁岩	38.50	14.00	4.50	1.6	
684		89	83	11G19 包含層 2b層	石錐	4	完形	頁岩	39.00	28.00	10.50	6.6	
685		83	83	12G2 包含層 2b層	石錐	4	完形	頁岩	30.97	17.34	7.86	2.7	
686	714	89	83	12F12 包含層 3b層	石匙	1	完形	頁岩	34.00	50.00	7.50	11.9	
687		89	83	12F22 包含層 3a層下位	石匙	2a	完形	頁岩	39.00	39.00	9.00	8.0	
688		89	83	11G5 包含層 3a層	石匙	2a	完形	頁岩	33.30	42.28	4.09	3.9	
689	185	89	83	11G10 包含層 2a層	石匙	2a	完形	珪質頁岩	61.00	64.00	18.00	47.3	
690		89	83	12F22 包含層 2a層	石匙	2b	完形	頁岩	47.17	40.81	6.53	10.3	
691	673	89	83	11F25 包含層 3a層	石匙	3	完形	頁岩	45.00	79.50	55.00	19.1	
692		89	83	12F22 包含層 3a層	石匙	2a	完形	頁岩	46.00	61.00	11.00	21.8	
693		89	83	11G10 包含層 2a層	石匙	3	完形	頁岩	37.44	51.55	7.64	10.4	横型
694	150	89	83	11G15 包含層 2b層	石匙	4	完形	頁岩	67.00	31.00	9.00	15.0	
695		90	83	12E8~9 包含層 A層	削器		完形	頁岩	45.83	23.15	5.66	4.1	
696	782	90	83	12F21 包含層 3a層下位	削器		完形	頁岩	52.00	83.00	7.00	26.3	
697		90	83	11G9 包含層 3a層	削器		完形	頁岩	63.00	41.50	19.00	27.0	
698		90	84	11G10 包含層 3a層	削器		完形	頁岩	54.00	29.00	10.00	14.1	
699		90	84	12G6 包含層 3a層	削器		完形	頁岩	54.67	55.68	14.01	43.4	
700		90	84	12F17 包含層 2b層	削器		完形	頁岩	50.04	50.22	14.18	36.6	
701		90	84	12F21 包含層 2b層	削器		完形	頁岩	60.00	32.50	12.00	16.3	
702	350	90	84	12G1 包含層 2b層下位	削器		略完形	頁岩	(76.00)	56.00	18.00	54.3	
703		90	84	12G1 包含層 2b層	削器		完形	頁岩	46.04	45.79	14.79	26.4	石匙未製品?
704	151	90	84	11G15 包含層 2b層	削器		略完形	頁岩	52.00	29.00	11.00	10.6	
705		90	84	12F16 包含層 2a層	削器		完形	頁岩	47.27	25.34	12.62	11.8	
706		90	84	12G2 包含層 2b層	搔器		完形	頁岩	43.18	29.35	26.52	20.1	
707		90	84	11G20 包含層 2b層	搔器		完形	頁岩	46.25	35.24	25.03	23.5	刃部2か所
708		91	84	12F17 包含層 3b層	楔形石器		完形	頁岩	38.55	28.18	10.75	9.7	
709		91	84	11G15 包含層 3a層	楔形石器		完形	めおう	27.00	25.50	11.00	7.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
710		91	84	11G15 包含層3a層	楔形石器		完形	頁岩	29.87	25.41	8.27	5.5	
711		91	84	12G7 包含層2b層下位	楔形石器		完形	頁岩	31.00	35.00	15.00	12.1	
712		91	84	12F6 包含層0層	石筥		完形	頁岩	44.37	28.40	16.17	18.6	
713		91	84	12F17 包含層3b層	二次加工ある剥片		完形	頁岩	39.97	27.89	8.67	7.2	
714		91	85	12F21 包含層3a層下位	使用痕ある剥片		完形	頁岩	103.00	75.00	18.00	106.3	
715		91	85	12F7 包含層3a層	使用痕ある剥片		完形	頁岩	49.14	25.85	7.91	8.5	
716		91	85	12F21 包含層3a層	異形		一部欠	頁岩	(22.59)	14.36	6.71	1.6	十字形
717		91	85	11G10 包含層2b層	異形		完形	頁岩	26.72	13.26	8.08	2.4	十字形
718		91	85	11G15 包含層2a層	異形		完形	頁岩	36.11	33.53	12.50	11.5	三叉形
719		91	85	12F11 包含層3b層	石核	2a	完形	頁岩	35.00	40.00	33.00	47.0	サイコロ形
720	664	92	85	12F17 包含層3b層	石核	2e	完形	頁岩	74.00	62.50	43.00	219.4	
721			85	12F22 包含層3a層下位	石核	2a	一部欠	頁岩	41.24	39.57	29.35	32.9	サイコロ形
722			85	12G1 包含層3a層	石核	2a	完形	頁岩	51.20	43.56	35.23	55.8	サイコロ形
723		91	85	12F21 包含層2b層	石核	2a	完形	頁岩	41.80	56.68	33.41	74.1	サイコロ形
724		92	85	11F25 包含層1層	石核	2a	完形	頁岩	39.37	10.94	35.44	57.8	サイコロ形
725		92	85	11G14 包含層3a層	石核	1b	完形	頁岩	17.15	62.37	37.00	34.3	舟形 2面
726		92	86	12F12 包含層3b層	石核	2b	完形	チャート	36.67	98.29	49.86	125.3	舟形 両極 2面
727		92	86	12F17 包含層3a層下位	石核	2b	完形	頁岩	36.00	48.00	33.00	48.3	舟形 両極 1面
728		92	86	12E7 包含層0層	石核	2b	完形	頁岩	28.00	55.00	29.00	28.6	舟形 両極 1面
729		92	86	12F12 包含層3b層	石核	2c	完形	頁岩	39.50	34.00	14.50	17.0	板形 両面
730	450	93	86	11G10 包含層3a層下位	石核	2c	完形	チャート	51.00	36.00	21.00	53.4	板形 両面
731		92	86	12F17 包含層3a層上位	石核	2c	完形	頁岩	29.21	50.46	12.14	12.1	板形 両面
732		93	86	12E7 包含層0層	石核	2c	完形	頁岩	37.00	31.00	13.50	26.6	板形 両面
733		93	86	12E4 包含層A層	石核	2d	一部欠	チャート	71.00	76.00	21.00	143.2	円盤形 両面
734			86	11G15 包含層3a層	石核	2d	完形	チャート	34.11	92.19	87.19	318.2	円盤形 片面
735		93	86	12F22 包含層2b層	石核	1d	完形	頁岩	64.90	51.52	23.43	63.9	円盤形 片面
736			86	12F3 包含層0～A層	石核	1d	完形	頁岩	44.95	38.39	17.10	30.3	円盤形 片面
737		93	87	11G15 包含層3a層	打製石斧		完形	頁岩(軟)	70.21	35.52	7.07	12.3	未製品
738	471	93	87	12F3 包含層A層	磨製石斧		完形	はなれい岩	143.13	56.34	36.38	431.3	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
739		93	87	12F7 包含層 3a 層下位	磨製石斧		一部欠	蛇紋岩	(122.34)	45.77	26.11	237.9	806 全面磨り整形
740	800	94	87	11G9 包含層 3a 層下位	磨製石斧		完形	はんれい岩	171.50	74.21	47.97	767.8	
741	390	93	87	11G5 包含層 3a 層	磨製石斧		完形	閃緑岩	136.63	48.15	27.04	294.7	
742		87	87	12F6 包含層 3a 層上位	磨製石斧		1/2	閃緑岩	(95.83)	56.98	30.13	341.3	811 装着痕
743	537	94	87	11G15 包含層 2b 層	磨製石斧		一部欠	玢岩	116.85	50.08	24.60	228.6	
744		93	87	12F11 包含層 3b 層(土器No.70の中)	磨製石斧		完形	安山岩	140.98	70.52	34.83	677.9	未製品
745	375	94	87	11G5 包含層 2b 層	磨製石斧		完形	はんれい岩	140.51	58.59	32.99	440.4	未製品
746		94	87	12G6 包含層 3a 層下位	片面礫器		完形	デイサイト	94.57	71.21	24.53	259.9	
747			87	12F17 包含層 2a 層	片面礫器		完形	頁岩	95.88	64.08	17.17	173.8	
748		94	87	12E3 包含層 A 層	両面礫器		完形	デイサイト	92.03	75.24	22.16	236.9	
749	619	94	87	12F12 包含層 3b 層	両面礫器		完形	砂岩	126.13	80.46	30.28	433.6	
750	451	94	87	11G5 包含層 3a 層	両面礫器		完形	安山岩	134.89	136.50	57.34	1410.2	
751		94	88	11G5 包含層 2b 層	両面礫器		一部欠	玢岩	74.83	(61.88)	28.70	391.5	横長
752	661	94	88	11G9 包含層 2b 層	両面礫器		完形	砂岩	90.47	113.26	27.30	398.0	
753		95	88	11G10 包含層 2b 層	両面礫器		完形	蛇紋岩	92.67	64.52	33.92	265.2	一端～左側縁に調整 + 敲 赤色顔料付着
754		95	88	12E22～23 包含層 0 層	両面礫器		完形	チャート	89.54	76.07	31.45	258.4	石斧形
755	733	95	88	12F16 包含層 3b 層	石核石器未成品		完形	玢岩	161.00	101.42	48.50	1178.2	
756	732	95	88	12F21 包含層 3a 層下位	石核石器未成品		完形	玢岩	80.00	44.00	24.00	128.3	
757	546	95	88	12F21 包含層 2b 層	石核石器未成品		完形	砂岩	97.34	47.79	23.93	250.4	
758	357		88	12G1 包含層 2b 層	石核石器未成品		完形	玢岩	117.10	90.37	48.70	769.8	
759	718	95	88	12F21 包含層 3a 層下位	石錘		一部欠	安山岩	98.58	125.10	39.76	790.7	
760	294	95	88	12G6 包含層 2b 層	石錘		完形	安山岩	69.00	99.00	26.00	253.4	
761		95	89	11G14 包含層 2b 層	磨石	1	完形	閃緑岩	108.06	58.27	16.92	235.2	一端
762	556		89	12E4 包含層 A 層	磨石	2	完形	安山岩	109.66	77.11	62.63	824.9	
763	595	95	89	12E9 包含層 A 層	磨石	2	完形	デイサイト	87.00	79.00	49.00	480.2	
764		96	89	11G14 包含層 3a 層下位	磨石		2	安山岩	69.20	54.74	44.42	242.6	楕円球
765		96	89	12G6 包含層 3a 層	磨石		2	デイサイト	87.66	79.70	41.60	466.5	扁平 + 敲 赤色顔料付着
766		96	89	11G5 包含層 2b 層	磨石		2	デイサイト	98.58	71.87	50.40	518.7	赤色顔料付着
767	633		89	11F25 包含層 2b 層下位	磨石	3	完形	花崗閃緑岩	96.30	69.02	53.39	507.4	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
768	352	96	89	12G1 包含層2b層	磨石	3	完形	花崗閃緑岩	141.00	81.00	60.00	1111.2	
769	616	96	89	12F17 包含層3a層上位	特殊磨石	4	1/2	砂岩	73.36	132.61	51.32	676.1	
770		96	89	12D24 包含層A層	敲石	1	完形	はんれい岩	102.55	54.14	29.81	216.6	磨製石斧欠損品を利用
771		96	89	12E8~9 包含層A層	敲石	1	完形	玢岩	73.24	72.04	30.37	212.5	三角の頂点
772			89	12E4 包含層A層	敲石	1	1/2	デイサイト	(68.40)	42.08	27.50	148.4	両端
773			89	12F12 包含層3b層	敲石	1	完形	はんれい岩	142.56	60.72	48.92	633.4	棒状
774		96	90	12F21 包含層3a層上位	敲石	1	完形	デイサイト	115.49	96.30	51.96	865.2	両端
775	430	96	90	11G15 包含層3a層	敲石	1	完形	閃緑岩	118.69	95.90	48.93	797.2	両端
776		97	90	11G15 包含層3a層上位	敲石	1	完形	はんれい岩	97.01	59.23	36.24	342.2	磨製石斧欠損品を利用
777			90	12G1 包含層3a層下位	敲石	1	完形	玢岩	101.60	56.70	25.87	250.0	両端
778		97	90	11F25 包含層2b層	敲石	1	完形	デイサイト	44.58	44.63	30.20	89.0	球形 両端
779	378	97	90	11G5 包含層2b層	敲石	1	完形	安山岩	89.39	47.38	42.65	272.0	両端 赤色顔料付着 両面中央凹
780		97	90	12G1 包含層2b層	敲石	1	完形	デイサイト	73.88	52.23	21.06	127.4	一端
781			90	11G15 包含層2b層	敲石	1	完形	はんれい岩	119.74	116.93	48.26	707.5	磨製石斧欠損品 主に欠損部
782		97	90	12E3 包含層A層	敲石	2	完形	閃緑岩	85.31	56.22	34.22	264.1	両端~左側縁
783			90	12E8 包含層A層	敲石	2	完形	デイサイト	45.27	46.12	34.24	103.0	1/2縁 片面中央凹
784		97	90	12F12 包含層3b層	敲石	2	完形	鮫紋岩	69.36	90.04	33.48	288.2	右~左側縁
785			90	12F12 包含層3b層	敲石	2	完形	斑岩	85.90	66.82	35.34	297.3	右~左側縁
786			90	12F12 包含層3b層	敲石	2	完形	はんれい岩	47.10	61.12	22.12	104.0	右~左側縁
787	618		90	12F12 包含層3b層	敲石	2	完形	玢岩	97.50	73.88	32.13	395.6	周縁凸部に
788		97	90	12F17 包含層3b層	敲石	2	完形	はんれい岩	68.00	44.19	30.08	144.6	右~左側縁
789			90	11F25 包含層3a層	敲石	2	完形	砂岩	47.75	45.44	39.69	122.5	球形 両端
790	779	97	90	12F22 包含層3a層	敲石	2	完形	デイサイト	93.43	73.89	40.29	431.6	両端強 周縁にも
791			90	12G1 包含層3a層下位	敲石	2	完形	花崗岩	60.85	51.99	38.69	196.4	球形
792			90	12G6 包含層3a層	敲石	2	完形	花崗岩	102.01	69.70	35.34	329.1	周縁 主に一長端
793			91	11G15 包含層3a層	敲石	2	完形	閃緑岩	75.89	58.61	27.35	206.3	両端強 周縁にも
794			91	12F22 包含層2b~3a層	敲石	2	完形	斑岩	93.99	67.37	49.53	511.6	凸部(周縁~片面)
795		97	91	11G15 包含層2b層	敲石	2	完形	デイサイト	37.87	37.27	27.79	60.2	小円形 両端
796	553	97	91	12E4 包含層A'層	敲石	3	完形	チャート	61.15	61.89	52.94	297.0	多面体

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
797	762		91	12F16 包含層 3b層	敲石	3	完形	花崗閃緑岩	68.54	68.80	63.30	390.0	多面体
798		97	91	11F25 包含層 3a層	敲石	3	完形	チャート	47.92	45.83	40.03	104.8	多面体
799	549		91	11G15 包含層 2b層	敲石	3	完形	花崗閃緑岩	90.10	85.57	69.13	757.0	多面体
800		97	91	11G5 包含層 2a層	敲石	3	完形	チャート	66.03	64.56	45.99	257.7	多面体 そろばん形
801		97	91	12E22~23 包含層 A~V層上位	敲石	4a	完形	チャート	57.95	53.58	38.73	164.9	周縁 主に両端~左側縁
802		97	91	12E7 包含層 A層	敲石	4a	1/3以下	はんれい岩	(43.00)	(39.50)	(16.64)	46.2	1/4欠を利用 敲 中央に付着物
803		97	91	12F11 包含層 3b層	敲石	4a	完形	砂岩	49.12	43.85	12.31	42.88	敲弱 素材形
804		97	91	11F20 包含層 3a層	敲石	4a	完形	玢岩	63.20	47.31	29.32	168.6	周縁 中央にアスファルト付着
805		97	91	11F25 包含層 3a層	敲石	4a	完形	玢岩	54.98	63.54	23.24	150.9	周縁
806			91	12F22 包含層 3a層下位	敲石	4a	完形	安山岩	63.77	72.90	28.88	208.3	素材形 初期
807			91	11G4 包含層 3a層	敲石	4a	完形	アイサイト	59.87	55.43	17.99	99.3	素材形 敲
808			91	12G6 包含層 3a層	敲石	4a	完形	はんれい岩	72.32	61.38	43.03	362.8	磨製石斧欠損品を利用 周縁
809		97	91	11G5 包含層 2b層	敲石	4a	完形	アイサイト	46.58	46.22	13.84	45.50	敲 素材形
810		98	91	12G1 包含層 2b層	敲石	4a	略完形	はんれい岩	54.84	52.67	10.60	46.83	敲 両面中央に黒色付着物
811		98	92	11G19 包含層 1~2a層	敲石	4a	完形	はんれい岩	79.09	66.16	34.16	270.7	周縁 欠損品利用
812		98	92	12E4 包含層 A層	敲石	4b	完形	アイサイト	62.68	62.82	43.90	217.2	周縁
813			92	12E22~23 包含層 A層	敲石	4b	一部欠	アイサイト	68.86	59.97	26.56	178.4	周縁
814	621		92	12F12 包含層 3b層	敲石	4b	完形	アイサイト	72.28	61.59	42.86	297.5	周縁
815	563		92	12F12 包含層 3b層	敲石	4b	完形	玢岩	47.36	60.74	17.60	85.7	素材形のまま 敲 中央に付着物
816			92	12F12 包含層 3b層	敲石	4b	完形	アイサイト	69.60	59.90	36.23	202.2	素材形
817	563	98	92	12F17 包含層 3a層	敲石	4b	完形	砂岩	76.06	93.75	48.93	519.3	周縁
818	733	98	92	12F21 包含層 3a層下位	敲石	4b	完形	アイサイト	61.14	52.55	43.03	183.7	周縁
819		98	92	12G1 包含層 3a層	敲石	4b	完形	頁岩	52.62	42.93	9.23	30.2	敲 表裏中央に敲
820			92	12G1 包含層 3a層	敲石	4b	一部欠	安山岩	48.25	54.74	32.59	124.4	周縁
821			92	11G10 包含層 3a層	敲石	4b	完形	砂岩	56.25	42.14	18.76	74.4	敲 素材形
822		98	92	11G15 包含層 2b層	敲石	4b	完形	安山岩	75.10	66.19	34.89	273.2	磨強 緑辺赤色顔料付着
823			92	11G19 包含層 1~2a層	敲石	4b	完形	はんれい岩	40.28	37.74	13.23	32.48	敲 小形
824			92	12D23 包含層 A層	敲石	4c	完形	玢岩	87.98	73.33	26.21	301.3	剥・敲 付着物
825			92	12E3 包含層 A層	敲石	4c	完形	閃緑岩	54.68	51.91	20.99	113.06	剥・敲強

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
826		98	92	12E4 包含層 A 層	敲石	4c	完形	安山岩	66.72	58.41	15.23	82.2	初期 剥
827			92	12E8 包含層 A 層	敲石	4c	完形	珩岩	80.76	54.26	31.41	216.5	剥・敲 主に両端
828			93	12F12 包含層 3b 層	敲石	4c	完形	はんれい岩	58.15	50.88	22.75	105.9	剥離・敲
829			93	12F12 包含層 3b 層	敲石	4c	完形	花崗岩	61.70	50.20	15.65	65.4	剥・敲 片面中央凹
830		98	93	12F16 包含層 3b 層	敲石	4c	完形	デイサイト	44.01	43.21	13.34	46.78	剥・敲 片面中央に黒色付着物
831			93	12F17 包含層 3b 層	敲石	4c	完形	頁岩	74.12	56.05	28.44	188.0	剥・敲 初期
832	777	98	93	12F17 包含層 3b 層	敲石	4c	完形	珩岩	61.61	58.81	18.32	104.19	剥・敲 片面中央に黒色付着物
833			93	12F7 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	花崗岩	59.84	66.84	17.62	94.6	剥・敲
834			93	12F12 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	デイサイト	52.89	51.38	18.88	77.25	剥・敲
835			93	12F12 包含層 3a 層	敲石	4c	一部欠	デイサイト	78.47	(66.42)	23.09	169.5	素材形 剥離・敲 初期
836		98	93	11F20 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	はんれい岩	45.88	41.65	19.31	70.85	剥・敲強 片面中央に黒色付着物
837			93	11F20 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	珩岩	55.36	54.48	22.17	85.68	剥・敲
838			93	12F16 包含層 3a 層上位	敲石	4c	完形	珩岩	66.49	80.24	24.49	214.0	素材形 剥・敲 初期
839		98	93	11F25 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	珩岩	61.26	65.40	28.79	190.36	剥・敲強
840		99	93	11F25 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	砂岩	92.58	79.66	48.20	569.4	固緑 剥
841		99	93	12F21 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	デイサイト	49.24	45.37	16.78	50.05	剥・敲
842	742	99	93	12F21 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	珩岩	49.91	49.27	21.03	84.20	剥・敲 片面中央に黒色付着物
843		99	93	12F21 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	閃緑岩	67.63	60.95	38.29	261.0	中央に付着物 敲強
844		99	93	12F22 包含層 3a 層上位	敲石	4c	完形	珩岩	83.67	78.13	30.42	298.2	剥離・敲
845		99	94	11G5 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	珩岩	46.03	49.51	15.34	60.84	剥・敲
846	456	99	94	11G5 包含層 3a 層	敲石	4c	一部欠	花崗閃緑岩	(43.21)	(43.75)	(12.23)	38.98	剥・敲 小形
847		99	94	12G1 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	頁岩	48.88	62.16	17.04	60.1	剥離・敲
848			94	12G1 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	はんれい岩	47.87	41.11	16.88	53.9	剥離・敲 赤色顔料付着 中央にアスファルト付着
849		99	94	11G9 包含層 3a 層	敲石	4c	一部欠	デイサイト	37.45	48.54	16.20	47.16	剥・敲
850		99	94	12G6 包含層 3a 層	敲石	4c	一部欠	砂岩	49.14	47.83	14.93	56.84	剥・敲
851	478	99	94	11G15 包含層 3a 層下位	敲石	4c	完形	閃緑岩	47.38	47.07	18.89	76.26	剥・敲 片面中央に黒色付着物
852			94	11G14 包含層 3a 層	敲石	4c	一部欠	デイサイト	76.90	75.89	40.60	294.2	
853			94	11G15 包含層 3a 層	敲石	4c	完形	珩岩	73.63	62.31	32.37	229.4	剥・敲強
854	544	100	94	12F21 包含層 2b 層	敲石	4c	完形	閃緑岩	67.88	62.35	27.88	178.73	剥・敲 片面中央に黒色付着物

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
855		100	94	12F22 包含層2b層	敲石	4c	完形	玢岩	57.31	48.63	27.83	148.13	剥・敲強 片面中央に黒色付着物 その周縁に赤色付着物
856			94	11G4 包含層2b層	敲石	4c	完形	アイサイト	72.27	91.12	32.06	294.7	剥離・敲 初期
857			94	11G4 包含層2b層	敲石	4c	完形	アイサイト	54.33	51.06	25.72	94.2	剥・敲 中央に黒色付着物
858		100	94	12G1 包含層2b層	敲石	4c	完形	頁岩	62.92	74.54	22.11	170.2	剥・敲 両面中央凹
859			94	11G9 包含層2b層	敲石	4c	完形	閃緑岩	66.39	64.96	35.10	258.9	剥・敲
860	59		94	11G9 包含層2b層	敲石	4c	完形	閃緑岩	70.74	52.98	24.79	142.9	剥・敲
861		100	94	11G10 包含層2b層	敲石	4c	完形	閃緑岩	36.71	40.57	12.15	27.79	剥・敲 小形
862			95	12G6 包含層2b層	敲石	4c	完形	閃緑岩	70.88	56.94	25.80	189.4	剥・敲
863			95	11G14 包含層2b層	敲石	4c	一部欠	安山岩	65.94	73.10	28.79	171.9	剥離・敲
864			95	11G15 包含層2b層	敲石	4c	一部欠	アイサイト	48.36	(60.43)	22.14	98.1	剥・敲 初期玢 中央付着物
865			95	11G19 包含層2b層	敲石	4c	完形	安山岩	76.21	62.21	27.40	194.3	剥・敲
866		100	95	12F22 包含層2a層	敲石	4c	完形	安山岩	65.17	63.40	29.68	137.1	片面剥 自然面中央に付着物 赤色も
867			95	12G6 包含層2a層	敲石	4c	完形	砂岩	58.93	56.21	23.52	94.3	剥・敲 片面すべて剥離面
868	189	100	95	11G10 包含層2a層	敲石	4c	完形	はんれい岩	50.73	41.11	20.10	70.67	剥・敲強 片面中央に黒色付着物
869			95	11G15 包含層2a層	敲石	4c	完形	はんれい岩	39.91	42.39	18.14	50.45	剥・敲
870			95	11G20 包含層1～2a層	敲石	4c	完形	アイサイト	43.23	43.14	16.29	47.18	剥・敲
871			95	12G20 包含層1～2a層	敲石	4c	完形	アイサイト	46.27	45.61	15.51	52.28	剥・敲
872			95	12F8 包含層0層	敲石	4c	完形	アイサイト	78.76	61.62	20.33	127.5	初期剥・敲
873		100	95	12E12 包含層0層	敲石	4c	完形	花崗岩	36.35	35.24	7.27	16.99	剥・敲 小形 片面中央に黒色付着物
874		100	95	12E8 包含層A層	敲石	4d	完形	アイサイト	45.52	45.01	21.22	60.63	板状石器
875		100	95	12F12 包含層3b層	敲石	4d	2/3	頁岩	48.93	48.39	22.76	73.93	板状石器
876		100	95	12F17 包含層3b層	敲石	4d	完形	玢岩	56.19	51.85	16.45	59.29	板状石器
877		100	95	12F17 包含層3b層	敲石	4d	完形	砂岩	82.10	87.70	25.31	223.2	板状石器
878		101	95	12F11 包含層3a層	敲石	4d	完形	アイサイト	60.38	44.52	25.69	93.39	板状石器
879	454	101	96	11G5 包含層3a層下位	敲石	4d	完形	はんれい岩	45.76	47.59	16.03	51.56	板状石器
880		101	96	12F21 包含層2b層	敲石	4d	完形	はんれい岩	45.93	47.41	18.30	74.28	板状石器
881			96	12F21 包含層2b層	敲石	4d	完形	珪質頁岩	49.00	58.33	16.15	76.82	板状石器
882		101	96	11G14 包含層2a層	敲石	4d	完形	細粒閃緑岩	51.95	54.83	17.34	67.66	板状石器
883	493	101	96	12D24 包含層A層	凹石		一部欠	安山岩	89.43	47.47	41.64	625.0	

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
884	491		96	12D24 包含層A層	凹石		完形	安山岩	99.50	76.00	54.00	638.3	
885		101	96	12E22~23 包含層A~V層上位	凹石		完形	珩岩	82.63	58.64	47.77	276.3	
886		101	96	12E3 包含層A層	凹石		完形	砂岩	101.72	44.25	27.67	175.0	両面
887			96	12E7 包含層A層	凹石		完形	アイサイト	116.06	85.47	50.47	750.4	
888			96	12E8 包含層A層	凹石		完形	安山岩	121.56	71.99	40.36	495.9	両面
889	527		96	12F7 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	107.00	58.00	36.50	318.3	
890			96	12F12 包含層3b層	凹石		完形	花崗岩	62.06	56.52	38.52	161.9	
891	704	101	97	12F12 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	118.71	69.43	35.51	393.5	
892	734	101	97	12F12 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	131.62	106.56	43.30	819.1	
893	620	102	97	12F12 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	117.04	65.81	28.91	347.3	両面 + 敲1長端
894	622		97	12F12 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	95.00	80.50	43.50	406.3	
895	748		97	12F12 包含層3b層	凹石		完形	安山岩	128.00	77.00	47.50	589.6	
896			97	12F16 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	137.81	73.15	43.03	597.1	両面
897	666	102	97	12F17 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	92.58	78.87	48.75	465.5	
898			97	12F17 包含層3b層	凹石		完形	アイサイト	132.14	59.51	39.99	469.7	両面
899		102	97	12F17 包含層3a層	凹石		完形	アイサイト	128.54	71.58	53.21	779.0	両面 + 敲
900	615	102	97	12F17 包含層3a層上位	凹石		完形	アイサイト	115.27	94.14	57.72	804.6	
901		102	97	11F25 包含層3a層上位	凹石		完形	アイサイト	106.47	77.84	31.66	360.4	両面
902	667	102	97	12F21 包含層3a層	凹石		完形	アイサイト	94.34	83.88	46.63	586.5	
903			97	12F21 包含層3a層上位	凹石		完形	アイサイト	75.32	56.06	28.87	181.9	+ 敲周縁
904	783		98	12F22 包含層3a層下位	凹石		完形	安山岩	118.50	73.50	39.00	513.8	
905	457	102	98	11G5 包含層3a層	凹石		完形	アイサイト	98.73	71.94	61.01	628.0	
906			98	11G5 包含層3a層	凹石		完形	アイサイト	84.99	65.87	44.53	347.8	両面
907			98	12G1 包含層3a層	凹石		完形	安山岩	115.22	94.55	50.00	861.7	両面
908	419	102	98	12G6 包含層3a層	凹石		完形	砂岩	92.45	81.94	19.55	194.9	
909		102	98	11G15 包含層3a層上位	凹石		完形	安山岩	87.76	74.61	47.83	468.2	両面 + 敲
910		103	98	11G5 包含層2b~3a層	凹石		完形	砂岩	83.33	57.68	38.01	308.2	" + 敲 赤色顔料, 中央に黒色付着物"
911			98	12F17 包含層2b層	凹石		完形	花崗岩	82.99	78.24	27.84	236.6	両面 + 敲周縁
912		103	98	11G14 包含層2b層	凹石		一部欠	アイサイト	(106.76)	66.52	54.88	536.0	両面 + 敲 赤色顔料付着

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
913		103	98	12G11 包含層 2b層	凹石		完形	アブライト	145.36	84.69	25.11	408.5	
914			98	11F20 包含層 2a層	凹石		完形	安山岩	135.46	95.83	45.28	926.1	両面
915			99	12F21 包含層 2a層	凹石		完形	安山岩	86.59	72.89	45.16	394.9	縁辺赤色顔料付着
916		103	99	11G19 包含層 1～2a層	凹石		完形	アイサイト	102.48	86.12	47.32	557.9	両面 + 磨 赤色顔料付着
917	813	103	99	11F25 包含層 3a層	砥石粉		一部欠	砂岩	130.11	43.34	21.18	99.7	
918	639	103	99	12E9 包含層 A層	石皿		1/2以下	砂岩	238.50	212.00	82.00	1545.1	
919		103	99	12G1 包含層 3a層	石皿		一部欠	アイサイト	109.46	(98.07)	33.91	397.9	小形
920		104	99	11F25 包含層 2b層	石皿		1/3以下	凝灰岩	(144.22)	(121.31)	(64.87)	795.9	+ 砥石
921		104	99	12E8 包含層 A層	台石		完形	安山岩	196.00	150.30	63.03	2504.6	赤色顔料付着 敲・磨
922	583		100	12E9 包含層 A層	台石		完形	アイサイト	251.50	123.00	93.50	3441.7	
923		104	100	12F11 包含層 3b層	台石		完形	アイサイト	194.00	158.00	82.74	3500.0	敲
924	702		100	12F12 包含層 3b層	台石		完形	安山岩	254.00	177.00	70.00	4257.6	
925	550	104	100	11G15 包含層 3a層	台石		完形	花崗岩	230.80	233.80	500.00	5200.0	
926	432		100	11G20 包含層 3a層	台石		完形	閃緑岩	157.00	143.00	61.00	1604.2	
927			101	12E9 V層上位	石鏃		略完形	めのう	25.80	12.98	3.54	1.0	平基有茎
928		105	101	12E9 V層上位	石鏃		略完形	頁岩	30.50	14.00	4.50	1.4	平基有茎
929		105	101	9H20 IV層～V層上位	尖頭状		完形	頁岩(軟)	53.37	24.67	8.70	6.9	
930		105	101	12E13 層位不明	石鏃	4	完形	頁岩	29.84	34.06	2.73	5.5	
931		105	101	12E16 IV層	搔器		一部欠	頁岩	21.50	17.00	7.00	2.1	
932		105	101	11G19 V層上位	楔形石器跡		完形	頁岩	24.24	39.92	11.51	9.7	
933		105	101	12E18 IV層	楔形石器		完形	頁岩	29.00	30.00	7.00	6.0	
934		105	101	11G9 V層	石鏃		完形	頁岩	35.69	24.34	9.22	7.6	
935		105	101	12E18 IV層	異形粉		完形	頁岩	20.00	19.00	5.00	1.3	
936		105	101	12F21 V層上位	石核	2a	完形	頁岩	32.00	31.00	21.50	18.9	サイコロ形
937			101	12F17 V層上位	石核	2b	完形	チャート	34.95	104.23	50.34	166.4	舟形 1面
938			101	11G19 V層上位	石核	2c	完形	チャート	60.92	82.85	48.22	238.2	板状 1面
939		105	101	9E2 V層上位	両面礫器		完形	玢岩	142.23	94.38	39.36	800.2	石斧未製品? 一端～左側縁に調整 + 敲
940		105	101	10H6 V層上位	石鏃		完形	安山岩	47.00	73.00	15.00	66.5	
941			101	12E4 V層上位	敲石	1	完形	アイサイト	77.29	56.38	45.00	253.1	一端

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
942			101	11F20 V層上位	敲石	1	完形	玢岩	99.61	50.23	26.33	270.5	両端
943		105	101	12F12 V層上位	敲石	2	完形	閃緑岩	110.72	79.90	37.79	511.0	両端～左側縁
944			101	9D22 V層上位	敲石	4a	一部欠	デイサイト	57.44	52.75	25.08	98.7	周縁・浅 中央に黒色付着物
945			102	12E22～23 V層上位	敲石	4b	完形	玢岩	65.23	62.51	19.02	128.6	敲 素材形のまま 中央に黒色付着物
946		105	102	12E8～9 V層	敲石	4c	完形	はんれい岩	82.90	70.71	30.38	263.2	周縁
947			102	12E22～23 V層上位	敲石	4c	一部欠	デイサイト	86.03	68.41	23.91	201.7	剥・敲 素材形のまま
948		105	102	12F12 V層上位	敲石	4c	一部欠	安山岩	68.78	63.72	28.97	167.13	剥・敲
949			102	12F12 V層上位	敲石	4c	1/3	ホルンフェルス	(42.39)	(85.31)	(20.00)	44.48	剥・敲
950	795	105	102	11F21 V層上位	敲石	4c	完形	玢岩	64.84	47.71	22.76	128.23	剥・敲 両面中央に黒色付着物
951		105	102	12G1 V層上位	敲石	4c	完形	安山岩	58.91	57.02	19.62	100.37	剥・敲 片面中央凹
952		105	102	11G18～19 V層	敲石	4d	一部欠	はんれい岩	44.04	(47.82)	14.06	51.50	板状石器
953			102	12F21 V層	敲石	4d	一部欠	安山岩	(57.68)	(63.43)	(19.23)	86.6	初期 剥
954	798	105	102	12F12 V層上位	凹石		完形	玢岩	97.34	68.58	36.29	315.7	
955	797		102	12F12 V層上位	凹石		完形	安山岩	80.00	74.50	40.00	339.4	
956			102	11G10 V層上位	台石		完形	安山岩	239.50	180.50	54.78	3500.0	808 敲

第6表 石製品観察表

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅 (cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
957		107	103	2号土坑 埋土下位	円盤状石製品		1/2	赤色頁岩	(51.14)	(51.09)	(7.83)	24.61	側縁剥離整形
958		107	103	P 5 埋土	円盤状石製品		一部欠	凝灰岩	44.61	42.10	10.81	18.75	側縁磨り整形
959	596	107	103	12F21 包含層 3a 層上位	石棒類		1/2	頁岩	(129.69)	(28.09)	(7.93)	40.36	断面は薄い方形
960	609	107	103	12F21 包含層 3a 層上位	石棒類		1/3以下	頁岩(軟質)	(74.62)	(36.64)	(7.27)	20.21	断面は薄い方形
961	548	107	103	11G15 包含層 3a 層	石棒類		略完形	はんれい岩	(90.51)	(34.10)	(10.40)	47.48	未製品 断面は薄い方形
962	308	107	103	11G5 包含層 2b 層	石棒類		1/3	軽石	(77.42)	(34.14)	(11.63)	8.50	断面は薄い方形
963		107	103	11G14 包含層 2a 層	石棒類		完形	はんれい岩	39.61	75.59	9.67	39.41	未製品
964		107	103	12E22 ~ 23 包含層 A 層	石棒類		1/3以下	閃緑岩	(151.96)	108.88	70.00	2,171.10	大形石棒
965			103	12F12 包含層 3b 層	石棒類		細片	粘板岩	(37.28)	(26.78)	(9.75)	13.16	断面は円形と推定される
966	604		103	12F16 包含層 3b 層	石棒類		1/3以下	輝緑凝灰岩	(92.02)	(33.58)	(18.23)	68.46	断面は楕円形
967	461	107	103	11G5 包含層 3a 層	石棒類		一部欠	頁岩	237.00	32.75	18.08	238.80	頭部作り出し 断面は楕円形
968	386		103	11G5 包含層 3a 層	石棒類		1/3以下	凝灰岩	(72.33)	(29.56)	(14.65)	28.36	断面は方形
969			103	12G1 包含層 3a 層下位	石棒類		1/3以下	頁岩	(54.52)	(31.12)	(9.96)	26.04	断面形不明
970	302	107	104	11G5 包含層 2b 層	石棒類		1/3以下	頁岩	(88.43)	(30.87)	(19.43)	56.48	頭部作り出し 断面は楕円形
971			104	12G2 包含層 2a 層	石棒類		1/3	頁岩	(88.29)	34.83	12.87	59.21	頭部作り出し 断面は方形
972			104	11G10 包含層 2a 層	石棒類		細片	蛇紋岩	(25.01)	(19.35)	(8.29)	5.71	断面は円形と推定される
973	315	108	104	12E9 包含層 A 層	岩偶		1/2?	凝灰岩	(63.57)	(37.50)	(36.31)	56.79	
974	689	108	104	12F11 包含層 3b 層	岩偶		?	頁岩(軟質)	(24.77)	(22.31)	(14.08)	4.12	球形
975	132	108	104	12G11 包含層 3a 層上位	岩偶		頭部	凝灰岩	(45.13)	(50.22)	37.48	55.80	
976	237	108	104	12G1 包含層 2b 層	岩偶		脚部?	頁岩(軟質)	(43.75)	(40.73)	(20.16)	18.79	
977	805	108	104	12F11 包含層 3b 層	岩版	1	1/3	凝灰岩	(83.88)	(74.58)	(21.61)	81.90	
978	765	108	104	12G1 包含層 3a 層	岩版	1	完形	凝灰岩	(148.76)	(105.20)	17.63	209.60	片面中央に敲打痕 1 側縁に剥離痕
979			108	12G1 包含層 3a 層	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(53.28)	(38.98)	(19.29)	31.15	
980			108	11G14 包含層 3a 層	岩版	1	1/2	凝灰岩	32.16	22.67	5.78	3.27	
981	444	108	105	11G14 包含層 3a 層	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(38.49)	(39.74)	(10.20)	10.66	
982			105	12G1 包含層 2b 層	岩版?	1	1/3以下	凝灰岩	(28.16)	(35.72)	(10.04)	7.51	
983	652	108	105	11G9 包含層 2b 層	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(27.00)	(19.95)	(8.24)	3.05	
984	248	109	105	11G10 包含層 2b 層	岩版	4	1/3以下	凝灰岩	(57.57)	(49.94)	(18.15)	36.17	
985			105	11G15 包含層 2b 層	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(29.66)	(32.98)	(12.62)	7.95	

掲載No	取り上げNo	図版No	写図No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	特記事項
986		109	105	11G5 包含層 2a層	岩版	1	1/3以下	頁岩(軟質)	(54.38)	(65.08)	13.38	31.94	
987		109	105	12G6 包含層 2層	岩版?	1	1/3以下	凝灰岩	(31.79)	(32.86)	(14.72)	15.92	
988		109	105	11G14 包含層 1~2a層	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(32.56)	(37.75)	(14.15)	11.05	
989	416	109	105	11G5 包含層 3a層	岩版	2	1/2?	デイサイト	(99.03)	(103.98)	(15.58)	118.95	
990		109	105	12E3 包含層 A層	岩版	3	一部欠	めのう	51.84	25.92	9.33	17.07	
991	686	109	105	11F20 包含層 3a層	岩版	3	1/2?	凝灰岩	(35.91)	(35.89)	(12.01)	9.51	
992		109	105	12F22 包含層 3a層下位	岩版	3	1/3以下	頁岩(軟質)	(54.95)	(36.14)	(24.20)	33.70	
993	459	109	105	11G15 包含層 3a層	岩版	3	1/2?	凝灰岩	(31.12)	(36.46)	(14.77)	11.57	
994		109	105	12G1 包含層 2b層	岩版	3	完形	凝灰岩	80.59	86.55	35.70	104.70	半円形 素材? 前面に黒色付着物
995		109	106	12F12 包含層 3b層	岩版	4	1/3以下	凝灰岩	(36.94)	(42.89)	(14.81)	17.84	
996		106	106	12F21 包含層 3a層上位	岩版	4	細片	凝灰岩	(60.40)	(14.98)	(15.29)	9.70	
997		109	106	12G1 包含層 3a層	岩版	4	1/3以下	凝灰岩	(30.36)	(27.70)	(9.36)	5.19	
998		109	106	12G5 包含層 3a層	岩版	4	1/3以下	凝灰岩	(31.97)	(31.83)	(14.17)	9.34	
999		109	106	12F17 包含層 2b~3b層	岩版	4	1/3以下	凝灰岩	(27.29)	(30.47)	(7.28)	4.22	
1000		109	106	12G1 包含層 2b層	岩版	4	1/3	頁岩(軟質)	(64.62)	(38.50)	(14.15)	25.19	
1001		106	106	12G1 包含層 2b層	岩版	4	細片	凝灰岩	(22.36)	(19.16)	(7.09)	2.25	
1002		106	106	12G6 包含層 2b層	岩版	4	細片	頁岩(軟質)	(31.92)	(19.46)	(9.67)	4.53	
1003		109	106	12F17 包含層 2a層	岩版	4	1/2?	軽石	(44.56)	(38.92)	(13.75)	5.64	
1004	506	110	106	12E3 包含層 A層	円盤状石製品		完形	凝灰岩	69.89	70.01	26.36	98.62	側縁剥離整形
1005		110	106	12G6 包含層 3a層	円盤状石製品		完形	頁岩(軟質)	45.22	46.74	7.46	13.90	側縁剥離整形
1006		106	106	11G9 包含層 2b層	円盤状石製品		1/2	頁岩(軟質)	(55.09)	(26.85)	(8.80)	13.44	側縁剥離整形
1007		110	106	12F12 包含層 3b層	有孔石製品	1	2/3以下	凝灰岩	(51.23)	(27.53)	(15.01)	10.25	石剣状
1008		110	106	12G6 包含層 2b層	有孔石製品	1	不明	頁岩(軟質)	(47.67)	(33.24)	(14.98)	19.39	岩隅・岩版的
1009	626	110	106	12F12 包含層 3b層	有孔石製品	1	完形	軽石	72.07	34.69	33.70	12.60	浮子 To-H
1010		110	106	12F11 包含層 3a層	有孔石製品	1	完形	軽石	64.67	44.36	22.90	13.89	浮子 To-H
1011		110	106	12G6 包含層 2b層	有孔石製品	2	完形	凝灰岩	26.02	25.38	13.35	5.08	玉
1012	244	110	106	12G6 包含層 2b層	有孔石製品	2	略完形	綠色泥岩	29.00	19.86	15.20	9.07	玉
1013	580	110	106	12E8 包含層 A層	有溝石製品		完形	安山岩	79.61	55.93	43.12	262.28	両面
1014	466	110	106	12G1 包含層 3a層下位	有溝石製品		完形	安山岩	90.62	55.06	26.74	202.38	片面
1015		110	106	12G1 包含層 3a層	有溝石製品		完形	アブライト	96.92	68.31	43.86	370.61	片面

掲載No	取り上げNo	図版No	写真No	出土地点	器種	細分類	残存状態	石質	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	重量(g)	特記事項
1016		110	107	12F16 包含層 3a層	磨製石斧(ミニチュア)		完形	安山岩	49.44	18.85	5.72	6.5	
1017		110	107	12F7 包含層 0層	磨製石斧(ミニチュア)		完形	粘板岩	23.75	5.04	3.62	0.64	
1018	477	110	107	11G15 包含層 2b層	石皿様石製品		完形	デイスライト	103.17	56.16	44.34	221.75	
1019	557		107	12E9 包含層 A層	石球		完形	凝灰岩	43.53	33.57	27.37	29.63	
1020		110	107	11F25 包含層 3a層	石球		完形	軽石	25.78	24.00	20.71	3.40	To-Nbか To-H
1021	747		107	12F21 包含層 3a層下位	石球		1/2	凝灰岩	(23.65)	(21.90)	(15.92)	4.83	To-Nbが To-H
1022		110	107	11G5 包含層 3a層	石球		完形	軽石	29.90	26.87	21.12	4.93	
1023		107	107	12G6 包含層 3a層	石球		1/3以下	凝灰岩	(41.74)	(33.03)	(14.88)	11.37	
1024		110	107	11G9 包含層 2b層	石球		完形	頁岩(軟質)	36.82	34.29	22.02	33.04	
1025		107	107	11G15 包含層 2b層	不明		2/3以下	凝灰岩	(38.30)	(24.69)	(22.92)	16.24	
1026		111	107	9K9 IV層	石棒類		1/2	ホルンフェルス	(192.50)	(28.10)	(17.07)	156.85	断面は楕円形
1027		111	107	12F21 V層	岩偶?		?	凝灰岩	(42.36)	(43.85)	(34.33)	45.50	素材か 凹筒状
1028		107	107	1区間目 II層	石球		1/2	頁岩(軟質)	62.69	55.81	(49.99)	121.09	球形
1029		111	107	11G5 V層上位	岩版	1	1/3以下	凝灰岩	(28.70)	(25.49)	(7.51)	3.21	
1030		111	107	11G19 V層	岩版	2	完形	凝灰岩	98.23	62.63	7.33	30.13	
1031		111	107	12F12 V層上位	岩版	4	1/3	凝灰岩	(72.05)	(46.77)	28.51	94.12	
1032			107	12F6 IV層	岩版	4	細片	頁岩(軟質)	(28.09)	(26.86)	(8.22)	2.94	
1033			107	12E18 IV層	円盤状石製品		完形	閃緑岩	60.76	65.50	18.87	97.74	側縁剥離整形
1034			107	12E9 IV層	円盤状石製品		略完形	凝灰岩	37.86	(32.56)	10.65	8.68	側縁磨り整形
1035			107	12F16 IV層	円盤状石製品		1/3以下	凝灰岩	(19.98)	(57.63)	(18.07)	25.82	側縁磨り整形 断面台形
1036			107	12F7 III~IV層	円盤状石製品		略完形	頁岩(軟質)	(24.99)	(18.17)	(8.72)	0.77	側縁磨り整形
1037		111	107	11G19 V層上位	磨製石斧(ミニチュア)		一部欠	はんれい岩	58.96	32.56	12.09	27.6	

第7表 土器器観察表

掲載No	図版No	写真No	出土地点・層位	器種	残存部位	調整			重量(g)	備考		
						内面	外面	法量(cm)				
1038	111	108	11G22 II層	長胴甕	略完形	口縁:ヨコナデ、胴:へラナデ	口縁:ヨコナデ、胴:へラナデ	口径(12.6)	底径6.2	器高14.6	274.5	

VI 自然科学的分析

1 雨滝遺跡出土の動物遺存体と内陸部における動物資源利用

石丸恵利子（総合地球環境学研究所）

(1) はじめに

雨滝遺跡は、現在の青森県八戸市内へと流れる馬淵川の上流、沿岸部から直線距離にして約 35km 内陸の岩手県二戸市金田一舌崎に所在する。これまでに明治大学による 3 回の学術調査が行われ、「亀ヶ岡式土器」と呼ばれる土器をはじめとした縄文晩期初頭から前葉の大量の遺物が確認されている。また、平成 19 年財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにより県道整備事業に伴う緊急発掘調査が実施され、縄文時代の小規模な遺物包含層や中世（室町時代）の建物跡なども確認されている。

この度、畑地帯総合整備事業にともない、平成 20 年 7 月から明治大学調査区の東方約 150 m 付近にあたる地点で同センターにより緊急発掘調査が実施された。本調査区においても、縄文時代晩期初頭から前葉の大規模な遺物包含層が確認され、土器や石器などの人工遺物に加えて、当時の食糧であったと考えられるもオニグルミやトチノミなどの炭化種実や動物の骨も検出された。今回、その動物遺存体の同定および観察をする機会を得たため、その内容を報告し本遺跡における動物資源の利用について考察してみたい。

(2) 出土動物遺存体の概要

取り上げられた動物遺存体は、その多くが火を受けたと考えられる白色化した小破片で、現場で直接採集されたものと遺物包含層から 120×50×20cm および 120×50×50cm の範囲でコラムサンプリングした土壌を 0.5mm の目の篩を用いた水洗選別によって採集された総重量 43.4 g の資料である。それらのうち動物種もしくは部位・部分を特定することができたのは 100 点の 35.9 g で、3 綱 7 科 8 種類を確認した（第 1 表）。いずれも縄文時代晩期前葉（大洞 B2～C1 式）の時期に相当する資料である。以下、確認できた種ごとにその概要を記述する。また、骨角器および加工の痕跡が観察された資料も含まれていたため、それらについても報告する。

ホホジロザメ

12F6 地点 3 区間目東壁トレンチで、ホホジロザメの遊離歯を 1 点確認した（写真 NO.7）。両顎歯の形態は、二等辺三角形で強い鋸歯縁をもつのが特徴である。歯根部分は残存しておらずエナメル質部分のみであるため、加工が施されたものかは不明であるが、内陸部に位置する遺跡からサメの歯が出土していることは、生業範囲や沿岸部との交流を考える上で興味深いことである。ホホジロザメは、日本では各地の沿岸に生息し、内湾の浅海域にも出現する。大きなもので全長約 8 m にもなる大型種である。凶暴な人食いザメの一種とされ、縄文人にとってもホホジロザメは危険な魚であったといえる。

アオザメ

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層で、アオザメの遊離歯をそれぞれ 1 点確認した（写真 NO.5・6）。両顎歯の形態は、ナイフ状で鋸歯縁や側尖頭はない特徴を持つ。いずれもエナメル質部分のみで歯根部分は残存していないため、加工が施されたかどうかは不明である。その大きさから比較的小型の個体のものもしくは後歯⁽¹⁾部分であったと考えられる。アオザメも日本では各地の沿岸域および外洋にも幅広く分布し、全長約 4m にまで大きくなる。人を襲った報告があり、当時ホホジロザメ同様に危険な魚として認識されていたと推測される。ホホジロザメやアオザメなどのサメ類の歯あるいはそれらネズミザメ属の椎骨は、遺跡から出土することが多い部位であり、歯根部や椎骨の中心部分を穿孔したものが多く確認されている。よって、これらの資料においても加工が施され、装飾品あるいは垂飾りなどとして使用されていた可能性が高いと考えられる。

ウグイ亜科の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3 層で、ヒメハヤ属もしくはウグイ属の下咽頭骨を 1 点確認した（写真 NO.8）。ヒメハヤ属およびウグイ属の咽頭歯列は、2 列で列ごとに内側に 4 もしくは 5 本、外側に 2 本の咽頭歯が並び、出土資料にその特徴が確認できる。ヒメハヤ属の現生骨格標本と比較できていないため、ウグイ亜科の一種とした。一部欠損しているため正確な復元はできないが、残存する咽頭骨長や咽頭骨幅から、体長約 15cm 前後の個体であったと推測される。現在の生息域から考えると、ヒメハヤ属であればアブラハヤ、ウグイ属であればマルタ・エゾウグイ・ウグイの可能性がある。全体的に薄茶色を呈し、火は受けていないと考えられる。このような小さな資料を確認することができたのは、0.5mm の目の篩を用いた水洗選別が実施された成果だといえる。

コイ科の一種

種まで同定することはできないが、コイ科の一種と考えられる椎骨を 29 点確認した（写真 NO.9・10, NO.14~16）。11G1 地点包含層 3a 層、12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層、3 区間目ベルト①包含層 A 層の複数地点で採集されている。その多くが、火を受けて白色を呈するものであった（NO.14 と破片 1 点以外すべて）。第 1 椎骨 1 点、腹椎 11 点、尾椎 7 点、そのほかに椎骨破片が 10 点を数える。第 1 椎骨は、フナ属の標本と比較して類似しているが、その他の種との比較がおこなえていないのでコイ科の一種にとどめた。体長 20cm 前後のものと推測される。そのほかにもコイ科の咽頭骨の破片を 2 点確認したが、歯列部が残存していないので種は不明である。

サケ属の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層と 3 区間目ベルト①包含層 A 層で、サケ属の椎骨をそれぞれ 1 点確認した（写真 NO.11・12）。いずれも火を受けたと考えられ全体的に白色を呈する。

不明魚類

そのほかに 12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層で、種不明の第 1 椎骨を 1 点確認した（写真 NO.13）。全体的に薄茶色を呈し、火を受けていないと考えられる。これまでに比較した現生標本には一致するものがなく、写真掲載にとどめた。第 1 椎骨は形態の特徴から種まで同定できる可能性があるため、今後、現生標本との比較によって明らかにしたいと考えている。

ニホンジカ

ここでは、後述する骨角器の素材として利用されたもの以外の部位について記述する。12E3 地点包含層 A 層（取り上げ NO.569）と 12G1 地点包含層 3a 層でニホンジカの臼歯を確認した。いずれも残存状態は不良で、小破片であるため、本数や歯列等は不明である。また、種不明の四肢骨骨幹部の中には、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨などの直線的な形態を持つ破片が多く含まれている。

イノシシ

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 3a 層でイノシシの立方骨（足根骨のひとつ）を 1 点（写真 NO.23）と中手骨もしくは中足骨の遠位端（第 2 もしくは第 5）を 1 点（写真 NO.25）、12G1 地点包含層 3a 層下位で中節骨の近位端を 1 点（写真 NO.24）、遊離歯の破片を 11G15 地点包含層 2b 層と 11G20 地点包含層 3a 層でそれぞれ確認した。いずれも破片で、包含層 2b 層出土の臼歯破片以外すべて火を受けて白色を呈するものである。中節骨の近位端には、長軸に対して横方向に線状の解体痕と思われる痕跡を確認することができた。

ムササビ

3 区間目ベルト①包含層 A 層で、ムササビの距骨を 1 点確認した（写真 NO.17）。同包含層からは小型哺乳類の末節骨も出土しており、大きさ的には同種の可能性が高い（写真 NO.18）。いずれも火を受けたと考えられ、全体的に白色を呈する。東北地方北部の縄文遺跡においてムササビは比較的多く出土する種類で、三内丸山遺跡第六鉄塔地区（円筒下層 a・b 式期資料）や東道ノ上（3）遺跡（円筒下層 a 式期資料）などでは、哺乳類組成の 1 割から 4 割近くを占めている（斉藤 2007）。

ネズミ科の一種

12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層および 3a 層で、ネズミ類の切歯の破片を複数点確認した（写真 NO.20～22）。また、12G1 地点 2・3 区間ベルト包含層 2b 層では、ネズミ類のものと考えられる中足骨の破片も確認した。切歯以外は火を受けたと考えられ、全体的に白色を呈する。大きさ的にはアカネズミやヒメネズミなどの小型種のものである。

その他の小型哺乳類

種は不明であるが、3 区間目ベルト①包含層 A 層で、小型哺乳類の基節骨（写真 NO.19）や、尾椎（写真 NO.26）、中手骨と考えられる破片も確認された。大きさからはムササビやイタチなどと推測される資料である。

骨角器および加工痕のある資料

骨角器もしくは加工が施されていると判断できるものを 3 点確認した（写真 NO.1～3）。11F25 地点包含層 2a 層出土資料（写真 NO.1・2：取り上げ NO.520）は鹿角製で、両端部が欠損しているため全体の形態や用途は不明である。破片の一端に、円形や線状のくぼみを形成し、装飾が施されているのを確認することができる。これらの加工には、工具を回転したり反復運動することによって形成されたことを示す痕跡を観察することができる。雨滝遺跡出土遺物については、土偶や石匙などとともに石製勾玉も写真で報告されている（芹沢 1960）。その湾曲した残存形態や装飾形態から鹿角製勾玉あるいは腰飾のような装身具類であった可能性も指摘できるが、さらに周辺地域の出土類例を参考

にしながら検討する必要がある。

12G1 地点2・3 区間ベルト包含層3a層出土資料(写真 NO.3)は、火を受けて全体的に白色を呈し、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨を素材にしていると考えられる。内側面の海綿状組織が確認できるため、端部近く部分の破片であることが分かる。一端(写真上部)は端部が一部残存し、表面が平滑に形成されている。また、外側面にあたる部分には長軸に調査して横方向に複数の擦痕を観察することができる。欠損のため、全体の形態や用途は不明である。

12G1 地点2・3 区間ベルト包含層2b層出土資料(写真 NO.4)も、ニホンジカの中手骨もしくは中足骨を素材とするものと考えられるが、特定するには至っていない。火を受けたと考えられ、表面の色調は全体的に白色と灰色を呈する。内側面には骨端部の海綿状組織を確認することができるが、その割れ口も平滑で光沢を持つことから、加工が施された資料と判断した。一端が欠損しているため、全体の形態や用途は不明である。

(3) 雨滝遺跡の動物資源利用

以上、雨滝遺跡出土動物遺存体についてその概要を記した。これらの資料は、有機物の残存しにくい日本の土壌において、幸いにも現在にまで残された当時利用された動物資源の一部ではあるが、それらから見えてくる当時の動物との関わりあいや生業活動について若干考察してみたい。

確認できた動物組成は、イノシシやニホンジカ的大型哺乳類に加えてムササビやネズミ類、さらにコイ科やサケ属に加えて海産魚類であるサメ類が含まれる特徴をもつ。これらのことから、内陸部に位置する本遺跡において、イノシシやニホンジカなどの哺乳類を対象とした狩猟活動と、遺跡周辺の河川(馬淵川)における漁撈活動によって動物資源を獲得していたことを知ることができる。なお、太平洋の沿岸部から直線距離にして約35km内陸に位置するにもかかわらず、海洋に生息するサメ類の歯が複数点確認されたことは、縄文晩期における活動範囲や交流を知るうえで非常に興味深いことである。本遺跡から東方約15kmに位置する畑内遺跡(青森県三戸郡南郷村)においても、縄文前期中葉の包含層からアオザメ、ヨシキリザメ、ホホジロザメなど複数種のサメの歯をはじめとしてマダイヤズキなどの海産魚類も確認されており(小林1997)、縄文時代を通して内陸部と沿岸部との関わりが強かったことがうかがえる。このような遠隔地域の遺跡間において、何らかの資源の交換を通じた積極的な文化の交流があったことが推測される。

また、本調査区は明治大学の調査地点から東方に約150m付近に位置し、その遺物包含層の平面的な広がりからも、縄文時代晩期の大集落が形成されていたことが想定され、周辺地域において様々な動物資源を利用していたことがうかがえる。さらに雨滝遺跡では、クジラの骨製斧や海産魚類と思われる大形の魚の骨も出土しているとされ、現時点ではそれらを実見することはできていないが、本報告を契機に今後それらの資料を含めて考察することが可能となれば、本遺跡における動物資源利用の実態をより具体的に復元できるものと期待される。

注

(1) 一般には近心の歯ほど大きく、遠心にむかって小さくなる。顎上の位置によって、正中歯・前歯・中間歯・側歯・後歯などが区別できる場合がある(後藤・大泰司2006)。

謝 辞

本報告をまとめるにあたり、以下の方々に多大なるご教示を賜り、ご協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます（順不同、敬称略）。松井章、山崎健、藤田美美（以上、奈良文化財研究所）、湯本貴和はじめ研究室4の皆様（総合地球環境学研究所）、丸山浩治（財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）

なお、種の同定作業は、奈良文化財研究所が所蔵する現生骨格標本および自ら所持する標本を使用しておこなった。

参考文献

- Ohdachi S.D., Ishibashi Y., Iwasa M., Saitoh T. 2009 *The Wild Mammals of Japan* Shoukadoh
 後藤仁敏・大泰司紀之編 2006（初版 1986）『歯の比較解剖学』医歯薬出版株式会社
 小林和彦 1997「畑内遺跡西捨場出土の動物遺存体」『畑内遺跡IV－八戸平原開拓建設事業（世増ダム建設）に伴う遺跡発掘調査報告－』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集、青森県教育委員会
 斉藤慶吏 2007「円筒土器文化圏における食料獲得活動の地域性－青森県東北町東道ノ上（3）遺跡出土動物遺存体の分析－」『考古学談叢』東北大学大学院文学研究科考古学研究室・須藤隆先生退官記念論文集刊行会
 芹沢長介 1960『石器時代の日本』築地書館
 中坊徹次編 2000『日本産魚類検索－全種の同定－』第二版、東海大学出版会

第1表 雨滝遺跡出土動物遺存体種名一覧

軟骨魚綱 Chondrichthyes	サケ属の一種 <i>Oncorhynchus</i> sp.
ネズミザメ目 Lamniformes	
ネズミザメ科 Lamnidae	哺乳綱 Mammalia
ホホジロザメ <i>Carcharodon carcharias</i>	偶蹄目 Artiodactyla
アオザメ <i>Isurus oxyrinchus</i>	イノシシ科 Suidae
	イノシシ <i>Sus scrofa</i>
硬骨魚綱 Osteichthyes	シカ科 Cervidae
コイ目 Cypriniformes	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>
コイ科 Cyprinidae	齧歯目 Rodentia
ウグイ亜科の一種 <i>Leuciscinae</i> gen. et sp. indet.	リス科 Sciuridae
コイ科の一種 Cyprinidae gen. et sp. indet.	ムササビ <i>Petaurista leucogenys</i>
サケ目 Salmoniformes	ネズミ科の一種 <i>Muridae</i> gen. et sp. indet.
サケ科 Salmonidae	

*学名表記は、中坊編（2000）、Ohdachi et al.（2009）に従った。

1 雨滝遺跡出土の動物遺存体と内陸部における動物資源利用

第2表 雨滝遺跡出土動物遺存体観察一覧

NO.	遺跡記号	調査区	層位	日付	分類群	種	部位	部分	左右	個数	重量	焼骨	備考
1	AT-08	12F6	3区間目東壁トレンチ③ 2回目	080806	軟骨魚綱	ホホジロザメ	遊離歯		-	1	0.11		歯根部消失のため加工は不明、エナメル質部分加工なし
2	AT-08	12F22	包含層2b層	080915	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	1	0.39	1	白色、大型哺乳類
3	AT-08	11G15	包含層3a層	080903	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	4	0.67	1	白色、大型哺乳類
4	AT-08	12G1	包含層3a層	080825	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	1	0.91	1	白色、一部灰色、大型哺乳類
5	AT-08	11G15	包含層3a層	080904	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	1	0.28	1	白色、一部灰色(破片内部)、2片だが接合する、骨端部近くか(内面に海面質あり)
6	AT-08	11G5	包含層3a層	080825	哺乳綱	不明	不明	不明	-	1	1.13	1	白色、大型哺乳類のものと考えられる
7	AT-08	12G1	包含層3a層下位	080912	哺乳綱	イノシシ	中節骨	近位	-	1	1.31	1	白色、骨端部化骨済、近位端前方面に線状の解体痕有り
8	AT-08	12G6	包含層3a層	080822	哺乳綱	不明	不明	不明	-	1	1.96	1	白色
9	AT-08	11F25	包含層2a層		哺乳綱	ニホンジカ	鹿角		-	1	3.01	1	骨角器、取り上げNO.520
10	AT-08	11G15	包含層2層	080718	哺乳綱	不明	不明	不明	-	1	0.98	1	白色、骨端部か(海面質あり)
11	AT-08	12F22	包含層3a層	080911	哺乳綱	不明	脛骨	近位部	L	1	6.82	1	白色、後方から外側部分、大型哺乳類(ニホンジカ?)
12	AT-08	11G20	包含層3a層	080729	哺乳綱	イノシシ?	遊離歯	歯根部	-	1	0.07	1	白・灰色
13	AT-08	11G15	包含層2b層	080822	哺乳綱	イノシシ	遊離歯	後臼歯	-	1?	3.01		複数小破片
14	AT-08	12E3	包含層A層	080905	哺乳綱	ニホンジカ	遊離歯	臼歯	-	1?	2.22		取り上げNO.569、複数小破片
15	AT-08	12G1	包含層3a層	080825	哺乳綱	ニホンジカ	遊離歯	臼歯	-	1?	0.41		複数小破片
16	AT-08	11G10	包含層3a層	080827	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	尾椎	M	1?	0.04	1	白色
17	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	哺乳綱	ネズミ科?	中足骨?	近位	-	1	0.00	1	白色、骨端部化骨済
18	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	哺乳綱	ネズミ科	遊離歯	切歯	-	1	0.00		破片
19	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	破片	M	4	0.01	1	白色
20	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	軟骨魚綱	アオザメ	遊離歯		-	1	0.01	1	歯根部消失のため加工は不明、エナメル質部分加工なし
21	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	1	0.71	1	イノシシ/ニホンジカ
22	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	哺乳綱	中型哺乳類	脛骨?	骨幹部	-	1	0.13	1	茶色、ノウサギ?
23	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層2b層	080919	哺乳綱	ニホンジカ?	中手/中足骨?	骨端部	-	1	0.32	1	白・灰色、骨角器?表面光沢有り、加工の可能性あり
24	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	ウグイ亜科	下咽頭骨		L	1	0.00		焼けていない
25	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	椎骨	尾椎		M	1	0.11	1	白色、中型哺乳類
26	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	コイ科	咽頭骨	破片	-	2	0.04	1	白色(うち1点は茶色)
27	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	ネズミ科	遊離歯	切歯	-	4	0.01		破片
28	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	軟骨魚綱	アオザメ	遊離歯		-	1	0.02		歯根部消失のため加工は不明、エナメル質部分加工なし
29	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	サケ属	椎骨	破片	M	1	0.02	1	白色
30	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	腹椎	M	7	0.12	1	白色(うち1点は茶色)
31	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	尾椎	M	5	0.09	1	白色
32	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	破片	M	5	-	1	白色(うち1点は茶色)、(重量は31に含む)
33	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	第1椎骨	M	1	0.02	1	白色、フナ属に形態・大きさとともに類似
34	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	硬骨魚綱	不明	椎骨	第1椎骨	M	1	0.01		茶色、マス類に似る?
35	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	イノシシ	中手/中足骨	第2 or 5遠位端	-	1	0.40	1	白色、骨端部化骨済
36	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	イノシシ	足根骨	立方骨	L	1	0.61	1	破片、白色
37	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	ニホンジカ?	中手/中足骨?	骨端部近く	-	1	0.72	1	白色、骨角器?表面に擦痕のような痕跡有り、骨端部化骨済と考えられる
38	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	9	3.86	1	白色、イノシシ or ニホンジカの大型種
39	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	不明	不明		-	4	0.70	1	白色、うち2点は薄い茶色
40	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	硬骨魚綱	サケ属	椎骨		M	1	0.06	1	白色、一部欠損
41	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	ムササビ	距骨		R	1	0.08	1	白色、関節部破片
42	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	2	0.50	1	白色、うち1点はニホンジカ中足骨骨幹部後方面
43	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	小型哺乳類	末節骨		-	1	0.01	1	白色、タヌキ標本より小、同包含層のムササビか?
44	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	小型哺乳類	基節骨	近位~骨幹部	-	2	0.07	1	白色、タヌキ標本より小、ムササビ・ウサギ・イタチ大
45	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	小型哺乳類	基節骨?	骨幹部	-	1	-	1	白色、タヌキ標本より小、ムササビ・ウサギ・イタチ大、(重量は44に含む)
46	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	小型哺乳類	中手骨?	近位	-	1	-	1	白色、タヌキ標本より小、ムササビ・ウサギ・イタチ大、(重量は44に含む)
47	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	腹椎	M	4	0.10	1	白色、フナ属やニゴイ属、ウグイ属などやや大型になる種と考えられる
48	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	尾椎	M	1	-	1	白色、フナ属やニゴイ属、ウグイ属などやや大型になる種と考えられる、(重量は47に含む)
49	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	硬骨魚綱	コイ科	椎骨	破片	M	1	-	1	白色、フナ属やニゴイ属、ウグイ属などやや大型になる種と考えられる、(重量は47に含む)
50	AT-08	-	3区間目ベルト①包含層A層	080910	哺乳綱	不明	遊離歯	歯根部破片	-	2	0.02	1	白色、小型哺乳類
51	AT-08	12G1	2・3区間ベルト包含層3a層	080919	哺乳綱	不明	四肢骨	骨幹部	-	9	3.86	1	白色、大型哺乳類

* 左右:L=左、R=右、M=中央、- =不明もしくは左右のない部位
 * 焼骨の空欄は焼けていないもしくは焼けていないと考えられるもの、1は焼けていることを示す

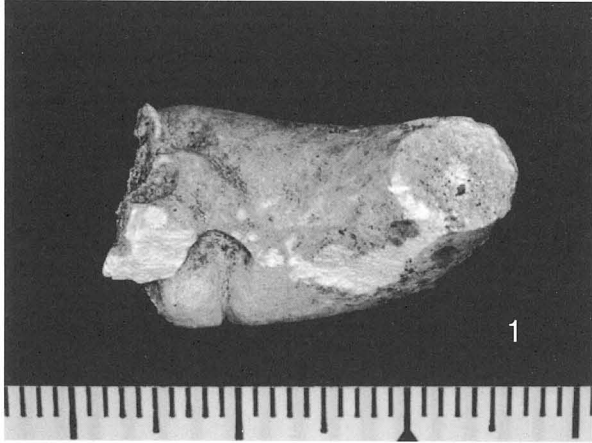


写真1 骨角器①



写真3 骨角器③



写真2 骨角器② (写真1の側面写真)

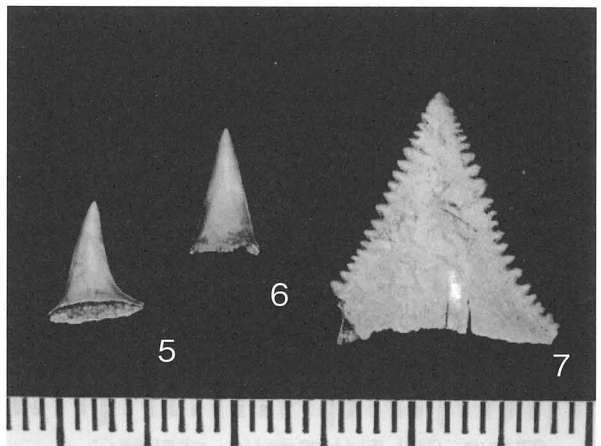


写真4 出土動物遺存体：魚類①

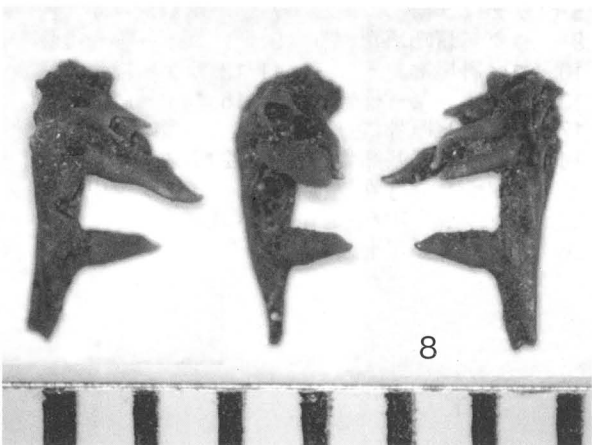


写真5 出土動物遺存体：魚類②

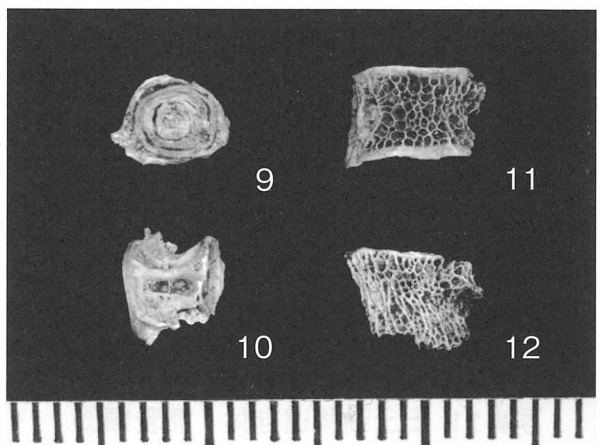


写真6 出土動物遺存体：魚類③

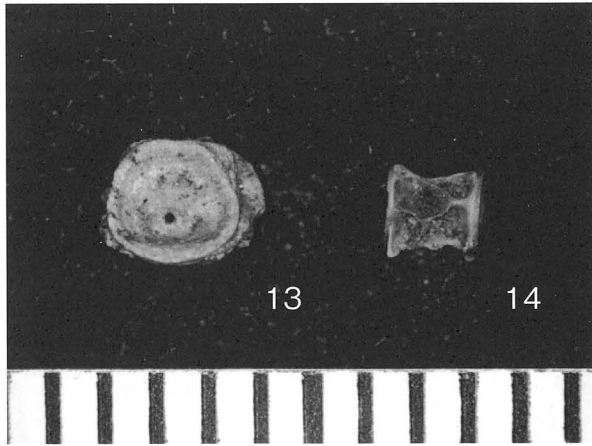


写真7 出土動物遺存体：魚類④

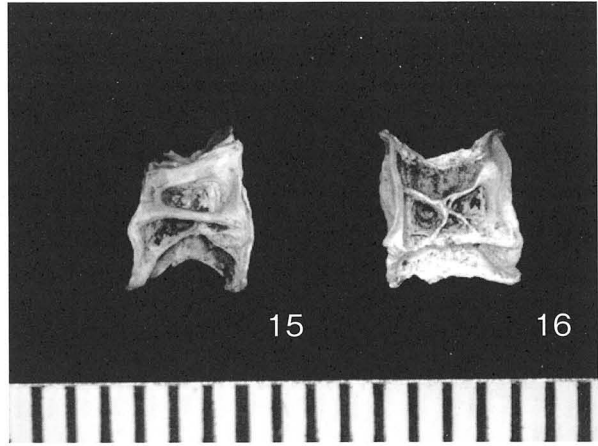


写真8 出土動物遺存体：魚類⑤



写真9 出土動物遺存体：哺乳類①

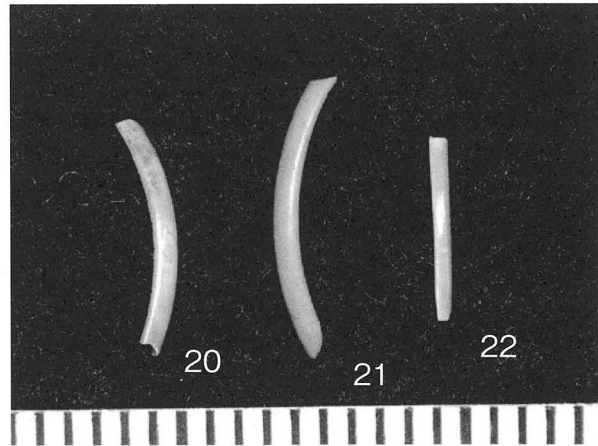


写真10 出土動物遺存体：哺乳類②



写真11 出土動物遺存体：哺乳類③

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1・2 鹿角製加工品 | 3・4 四肢骨製加工品 |
| 5・6 アオザメ歯 | 7 ホホジロザメ歯 |
| 8 ウグイ属咽頭骨(左) | 9 コイ科第一椎骨 |
| 10 コイ科尾椎 | 11・12 サケ属椎骨 |
| 13 不明魚類第一椎骨 | 14~16 コイ科腹椎 |
| 17 ムササビ距骨(右) | 18 小型哺乳類末節骨 |
| 19 小型哺乳類基節骨 | 20~22 ネズミ類切歯 |
| 23 イノシシ立方骨(左) | 24 イノシシ中節骨 |
| 25 イノシシ中手/中足骨(第2もしくは第5) | |
| 26 小型哺乳類尾椎 | |

2 雨滝遺跡縄文時代晩期遺物包含層の植物珪酸体分析報告

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

雨滝遺跡は、馬淵川右岸に形成された河岸段丘の南西向き緩斜面上に立地する。今回の発掘調査により、縄文時代や平安時代、近世の遺構や遺物が検出された。このうち、縄文時代の遺物包含層は捨て場とされ、一部が盛り土状を呈する。出土土器形式の主体は、縄文時代晩期前葉～中葉の大洞BC～C1式である。

今回、縄文時代晩期遺物包含層等の古植生（特にイネ科植物）、稲作などイネ科作物の栽培に関する情報を得るために、植物珪酸体分析を実施した。

(1) 試料

試料は、調査区断面に設けられた2地点（地点1と地点2）より採取された。その際、縄文時代の遺物包含層と下位層（基本層序V層上位層）が対象とされた。

地点1の分析試料は、6点（試料番号1-6）である。このうち、試料番号1が縄文時代の遺物包含層0層、試料番号2が同2b層、試料番号3が同3a層上位、試料番号4が同3a層下位、試料番号5が同3b層から採取され、試料番号6がその下位に堆積する基本層序V層上位である。

一方、地点2の分析試料も6点（試料番号7-12）である。試料番号7が縄文時代の遺物包含層1層、試料番号8が同2a層、試料番号9が同2b層上位、試料番号10が同2b層下位、試料番号11が同3a層上位から採取され、試料番号12が基本層序V層上位である。

(2) 分析方法

湿重5g前後の試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。検鏡しやすい濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリユウラックスで封入してプレパラートを作製する。

400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）、およびこれらを含む珪化組織片を近藤（2004）の分類に基づいて同定し、計数する。

結果は、検出された分類群とその個数の一覧表で示す。また、検出された植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体群集を図化した。その際、出現率は短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求めた。

(3) 結 果

結果を表1、図1に示す。

各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔（溶食痕）が認められる。以下に、各地点の産状を述べる。

・地点1

壁面最下部の試料番号6では、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属を含むウシクサ族、イチゴツナギ亜科などが認められる。検出された分類群の中では、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。

試料番号5から2にかけても同様な分類群が認められ、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。試料番号5から3にかけては、クマザサ属を含むタケ亜科の増加が見られるが、試料番号2では減少する。

試料番号1でも同様な分類群が認められ、クマザサ属の減少とヨシ属の増加が見られる。

なお調査対象とした各層位からは、イネ属などのイネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されない。

・地点2

壁面最下層の試料番号12では、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、ススキ属を含むウシクサ族、イチゴツナギ亜科などが認められる。

試料番号11から7にかけても同様な分類群が認められ、クマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立つ。試料番号11から9にかけては、クマザサ属を含むタケ亜科の増加が見られるが、試料番号8と7では減少する。試料番号7では、ヨシ属がわずかに増加する。

なお地点2でも、調査対象とした各層位からは、イネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されない。

(4) 考 察

地点1と地点2の縄文時代遺物包含層およびその下位の基本層序V層上位層では、ほぼ同様な分類群が検出された。これより、これらの土層が形成された頃、両地点の周辺ではクマザサ属、ヨシ属、ススキ属、イチゴツナギ亜科などのイネ科植物が生育していたと考えられる。

なお、基本層序V層上位層では乾いた場所に生育する種類の多いタケ亜科や湿潤な場所に生育するヨシ属が見られたことから、周辺に乾いた場所や湿潤な場所が分布していたことがうかがえる。

縄文時代遺物包含層の3b層から3a層上位にかけては、クマザサ属の産出が目立った。クマザサ属を含むタケ亜科の植物珪酸体は他のイネ科と比較して風化に強く、また生産量の多い点がこれまでの研究から指摘されており（近藤, 1982: 杉山・藤原, 1986）、他の種類よりも残留しやすい。ただし、宮脇（1987）の潜在自然植生などを参考にすれば、当時の森林植生は落葉広葉樹林であったと思われる。また調査区から出土した炭化種実にはオニグルミやトチノキが見られ、これら落葉広葉樹の存在がうかがえる。クマザサ属には、チシマザサなど落葉広葉樹林の林床に生育する種類がある。そのため、調査区周辺には落葉広葉樹林があり、その林床にクマザサ属が生育していたと思われる。

縄文時代遺物包含層の2b層から0層にかけてはクマザサ属が減少し、ヨシ属の増加が見られる。ヨシ属は湿潤な場所に生育することを考慮すれば、これらの土層が形成される間に次第に湿潤な場所

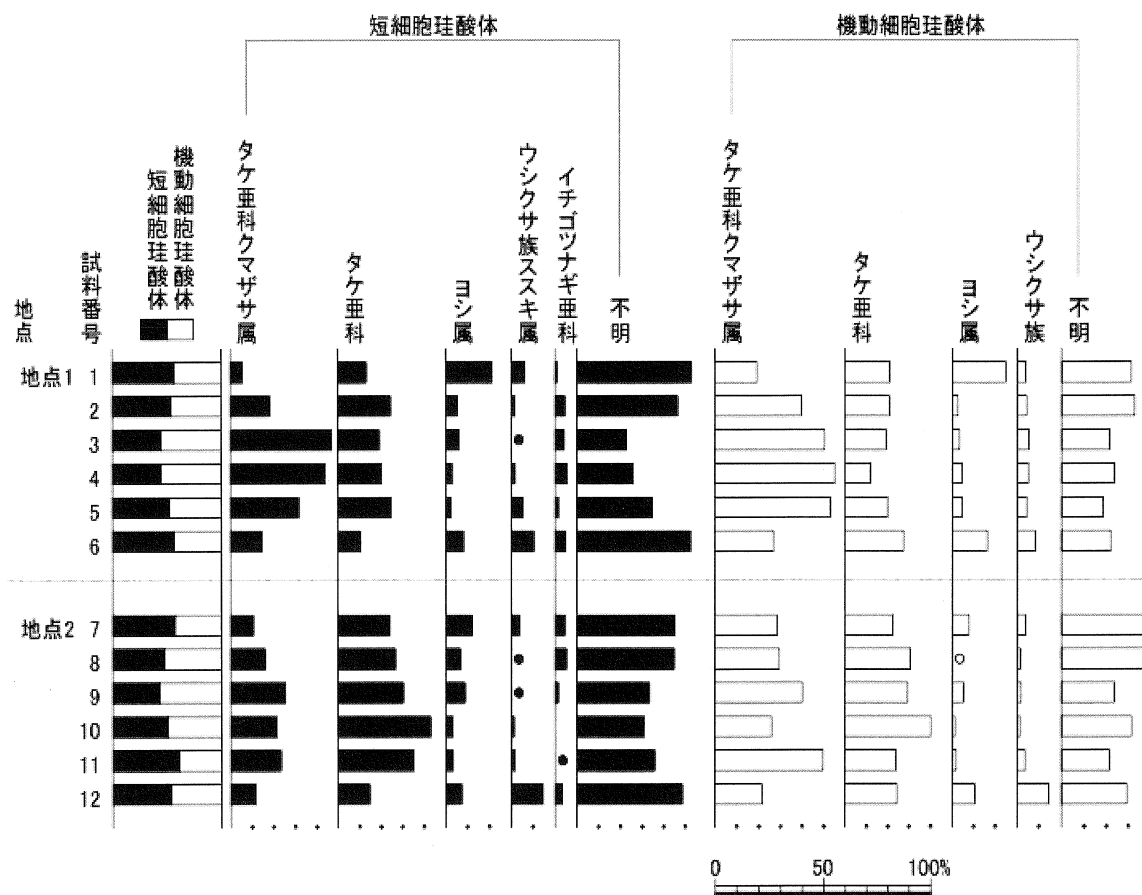


図1. 植物珪酸体群集の層位的変化

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。
 なお、●○は1%未満を示す。

表1. 植物珪酸体分析結果

種類 試料番号	地点1						地点2					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イネ科葉部短細胞珪酸体												
タケ亜科クマザサ属	11	24	54	48	64	27	14	21	32	34	41	24
タケ亜科	25	32	22	22	50	19	32	35	38	68	62	30
ヨシ属	41	7	7	3	5	15	16	9	11	5	6	15
ウシクサ族ススキ属	12	2	1	2	11	19	5	1	1	2	3	30
イチゴツナギ亜科	2	6	5	6	3	9	6	7	2	-	1	7
不明キビ型	55	34	12	18	27	65	33	32	15	28	25	77
不明ヒゲシバ型	26	10	3	2	13	14	13	10	10	6	16	9
不明ダンチク型	21	17	11	8	30	18	14	17	17	15	22	14
イネ科葉身機動細胞珪酸体												
タケ亜科クマザサ属	29	46	73	75	102	39	29	43	68	40	56	39
タケ亜科	32	24	28	16	38	40	23	45	50	62	27	44
ヨシ属	38	3	5	6	9	24	8	1	9	2	2	19
ウシクサ族	6	5	8	7	8	12	4	2	3	2	4	26
不明	48	38	31	32	35	32	38	56	40	49	24	53
合計												
イネ科葉部短細胞珪酸体	193	132	115	109	203	186	133	132	126	158	176	206
イネ科葉身機動細胞珪酸体	153	116	145	136	192	147	102	147	170	155	113	181
総計	346	248	260	245	395	333	235	279	296	313	289	387

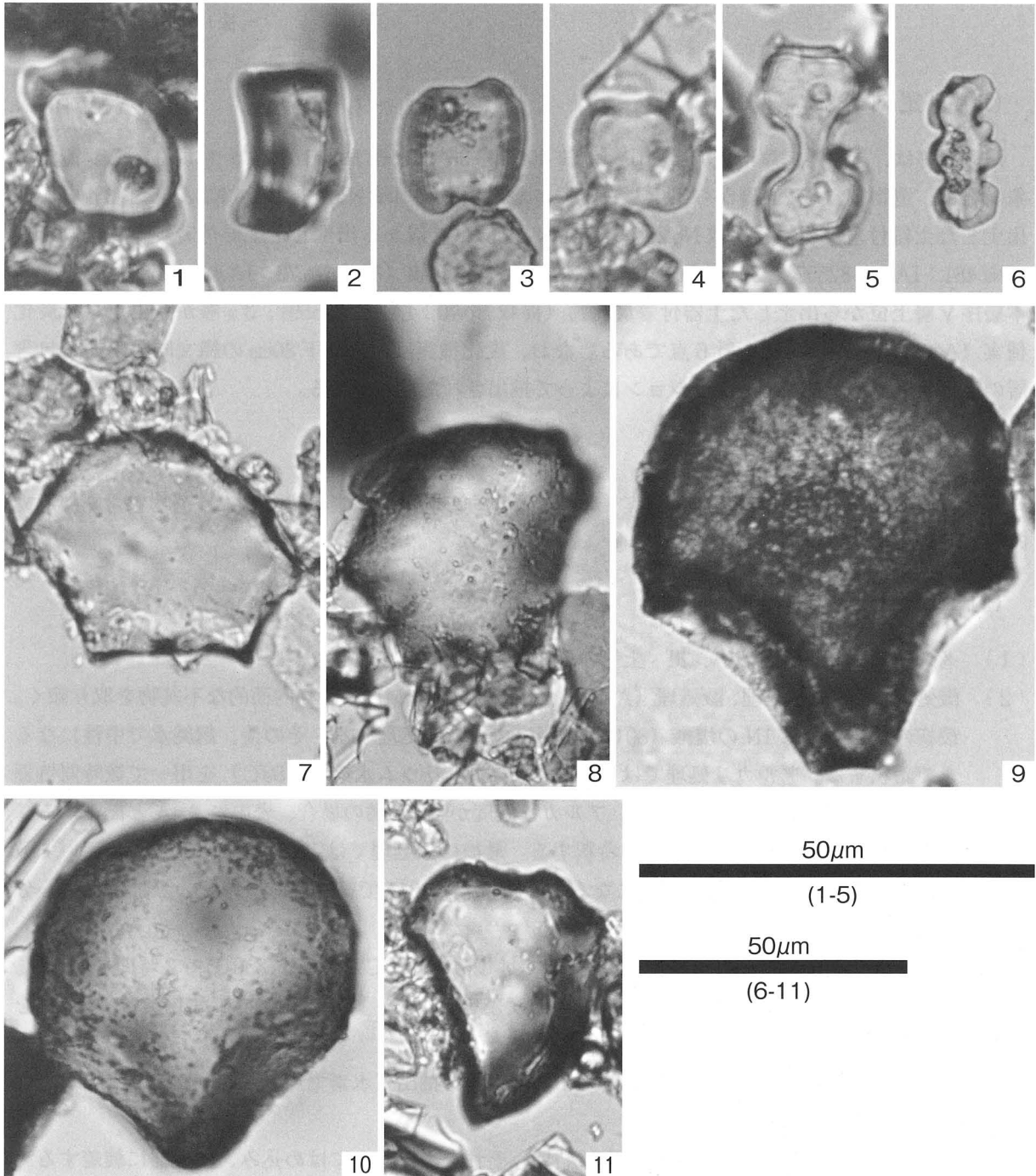
になった可能性がある。この点は、珪藻化石の産状を併せて調査し、調査区内の微地形等を考慮して、水域の有無等についてさらに検討することがのぞまれる。

ところで、地点1と地点2で調査対象とした層位からは、イネ属などのイネ科作物に由来する植物珪酸体が全く検出されなかった。本遺跡の東方に位置し、尾根の先端部に立地する軽米町の大日向Ⅱ遺跡では、縄文時代晩期とされる住居内炉に稲粃やキビ族の灰が混入しており（パリノ・サーヴェイ株式会社1995）、当該期の栽培植物についてはさらに資料の蓄積を図りたい。今後、同時期の堆積物について植物珪酸体分析、炭化物について種実遺体同定等を複合して実施することで、その実態が把握されるものと期待される。

引用文献

- 近藤 鍊三, 1982, Plant opal 分析による黒色腐植層の成因究明に関する研究. 昭和56年度科学研究費(一般研究C)研究成果報告書, 32p.
- 近藤 鍊三, 2004, 植物ケイ酸体研究. ペドロジスト, 48, 46-64.
- 宮脇 昭編著, 1987, 日本植生誌 東北. 至文堂, 605p.
- パリノ・サーヴェイ株式会社, 1995, 大日向Ⅱ遺跡 自然科学分析. 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第225集 国道395号改良工事関連遺跡発掘調査 大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書-第2次~第5次調査-第1分冊, 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター, 492-521.
- 杉山 真二・藤原 宏志, 1986, 機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定-古環境推定の基礎資料として-. 考古学と自然科学, 19, 69-84.

図版1 植物珪酸体



- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. クマザサ属短細胞珪酸体(地点1;5) | 2. クマザサ属短細胞珪酸体(地点2;9) |
| 3. ヨシ属短細胞珪酸体(地点1;1) | 4. ヨシ属短細胞珪酸体(地点2;12) |
| 5. ススキ属短細胞珪酸体(地点1;6) | 6. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(地点2;12) |
| 7. クマザサ属機動細胞珪酸体(地点1;5) | 8. クマザサ属機動細胞珪酸体(地点2;9) |
| 9. ヨシ属機動細胞珪酸体(地点1;1) | 10. ヨシ属機動細胞珪酸体(地点2;12) |
| 11. ウシクサ族機動細胞珪酸体(地点1;6) | |

3 雨滝遺跡における放射性炭素年代 (AMS 測定)

(株) 加速器分析研究所

(1) 測定対象試料

雨滝遺跡は、岩手県二戸市釜沢字白山（北緯 40° 20′ 26″、東経 141° 16′ 28″）に所在する。測定対象試料は、遺物包含層 2 a 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.441 : IAAA-82555）、3 a 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.201 : IAAA-82556）、A 層から出土した土器付着炭化物（取り上げ No.481 : IAAA-82557）、3 b 層から出土した土器付着炭化物（掲載 No.72 : IAAA-82558）、3 b ~ 基本層序 V 層上位から出土した土器付着炭化物（掲載 No.70 : IAAA-82559）、3 a 層から出土した炭化種実（A : IAAA-83252）、合計 6 点である。なお、炭化種実は、地表下 80cm の縄文時代晩期の包含層の土壌サンプルからフローテーションによって抽出されたものである。

(2) 測定の意義

遺物自体の製作・使用年代、炭化種実（オニグルミ）の利用・廃棄年代、および遺物包含層の形成時期を明らかにしたい。

(3) 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- (2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理（AAA : Acid Alkali Acid）により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では 1N の塩酸（80℃）を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では 1N の水酸化ナトリウム水溶液（80℃）を用いて数時間処理する。なお、AAA 処理において、アルカリ濃度が 1N 未満の場合、表中に AaA と記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では 1N の塩酸（80℃）を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃ で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- (3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃ で 30 分、850℃ で 2 時間加熱する。
- (4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素（CO₂）を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出（水素で還元）し、グラファイトを製作する。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

(4) 測定方法

測定機器は、3MV タンデム加速器をベースとした ¹⁴C-AMS 専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

(5) 算出方法

- (1) 年代値の算出には、Libby の半減期 (5568 年) を使用する (Stuiver and Polash 1977)。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。この値は、 $\delta^{13}\text{C}$ によって補正された値である。 ^{14}C 年代と誤差は、1 桁目を四捨五入して 10 年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。
- (3) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (%) で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ を測定した場合には表中に (AMS) と注記する。
- (4) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。
- (5) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは 2 標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。暦年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal04 データベース (Reimer et al 2004) を用い、OxCal4.0 較正プログラム (Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001) を使用した。

(6) 測定結果

遺物包含層から出土した土器付着炭化物の ^{14}C 年代は、441 (2 a 層) が $2930 \pm 30\text{yrBP}$ 、201 (3 a 層) が $3010 \pm 30\text{yrBP}$ 、取り上げ No. 481 (A 層) が $3000 \pm 40\text{yrBP}$ 、72 (3 b 層) が $2850 \pm 30\text{yrBP}$ 、70 (3 b ~ 基本層序 V 層上位) が $2910 \pm 40\text{yrBP}$ である。また、3 a 層から出土した炭化種実 (A : IAAA-83252) は $2780 \pm 30\text{yrBP}$ である。

土器採取試料の炭素含有率は、58~70% であり、炭化物としても十分に高い値であった。また、 $\delta^{13}\text{C}$ 値はおよそ -25~-30‰ であり、陸生由来の炭化物であることを示す。したがって、海洋リザーバー効果等による年代差を考慮する必要はない。そのほか、化学処理および測定内容に問題は無く、妥当な年代であると判断される。

また、炭化種実試料の暦年較正年代 (1σ) は、996 ~ 987BC (4.3%)・980 ~ 897BC (63.9%) である。試料の炭素含有率は高く 68% であり、化学処理・測定内容にも問題がないことから、こちらも妥当な年代と判断される。

[調査担当者のコメント]

炭化物採取土器の型式学的年代は、441・201 が晩期中葉 (大洞 C1 式)、取り上げ No.481、72・70 が晩期前葉 (前 2 者が大洞 BC1~2 式、後者が B2 式) と考えられるもので、 ^{14}C 年代とは前後関係に若干の誤差を生じている。これが何に起因するものか不明であるが、無批判には受け入れ難い。炭化種実が突出して新しく出ている点にも注意する必要がある。

ただし、土器付着炭化物がバラつかずに 2850~3010yrBP の間に収まっている点は、当該期の実年

3 雨滝遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）

代を考える上での資料として有効性を持つと考える。

参考文献

Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19, 355-363

Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, *Radiocarbon* 37(2), 425-430

Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, *Radiocarbon* 43(2A), 355-363

Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, *Radiocarbon* 43(2A), 381-389

Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, *Radiocarbon* 46, 1029-1058

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-82555	掲載 441	遺構:遺物包含層 層位:2a層	炭化物	AaA	-24.18 ± 0.83	2,930 ± 30	69.43 ± 0.28
IAAA-82556	掲載 201	遺構:遺物包含層 層位:3a層	炭化物	AaA	-26.92 ± 0.57	3,010 ± 30	68.73 ± 0.28
IAAA-82557	取り上げ 481	遺構:遺物包含層 層位:A層	炭化物	AaA	-29.83 ± 0.43	3,000 ± 40	68.86 ± 0.29
IAAA-82558	掲載 72	遺構:遺物包含層 層位:3b層	炭化物	AaA	-29.77 ± 0.46	2,850 ± 30	70.10 ± 0.30
IAAA-82559	掲載 70	遺構:遺物包含層 層位:3b~V層上位	炭化物	AaA	-25.43 ± 0.52	2,910 ± 40	69.64 ± 0.30

[#2687]

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-83252	A	遺構:遺物包含層 層位:3a層	炭化物	AaA	-21.64 ± 0.68	2,780 ± 30	70.73 ± 0.28

[#2838]

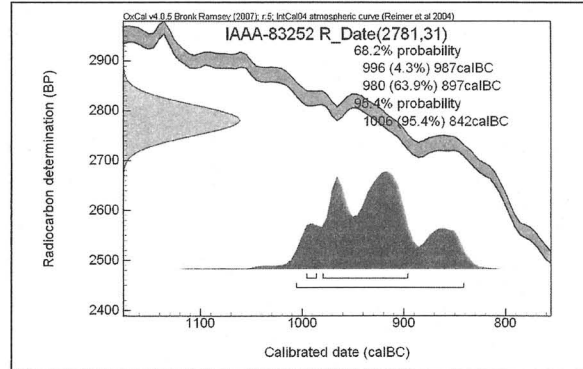
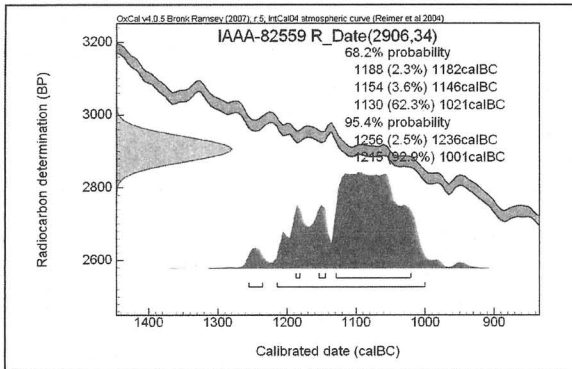
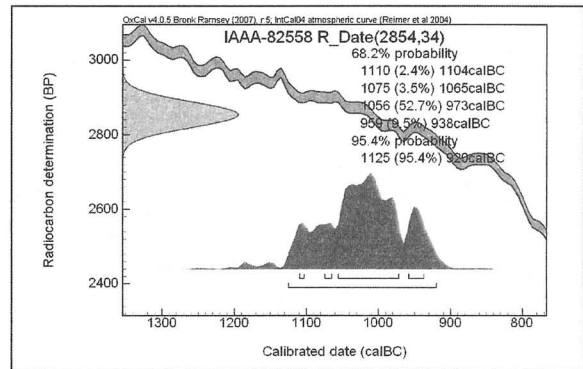
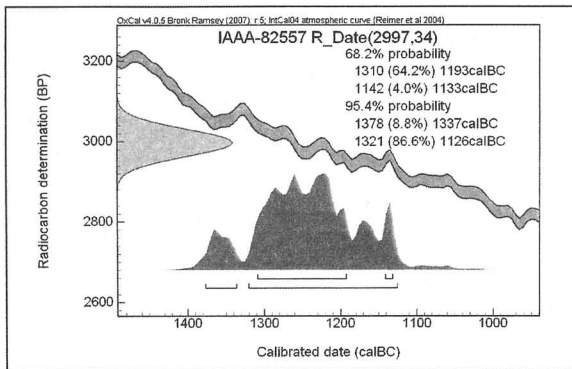
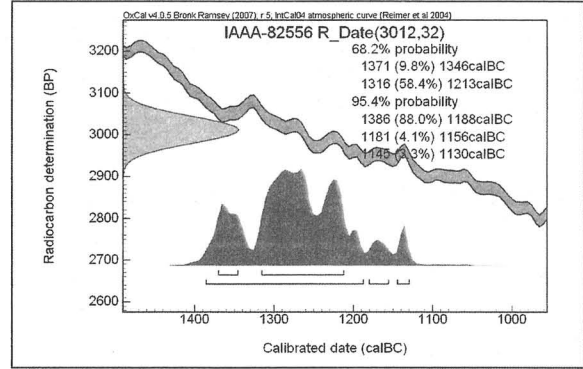
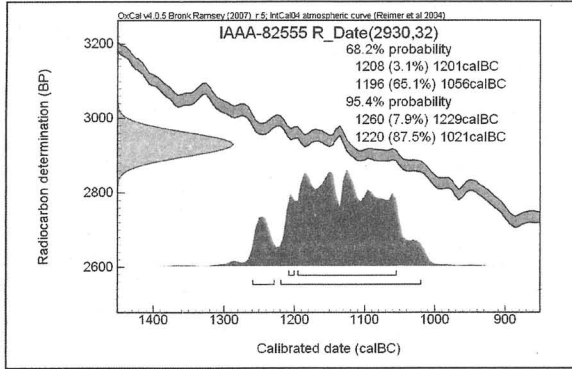
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-82555	2,920 \pm 30	69.55 \pm 0.25	2,930 \pm 32	1208BC - 1201BC (3.1%) 1196BC - 1056BC (65.1%)	1260BC - 1229BC (7.9%) 1220BC - 1021BC (87.5%)
IAAA-82556	3,040 \pm 30	68.46 \pm 0.26	3,012 \pm 32	1371BC - 1346BC (9.8%) 1316BC - 1213BC (58.4%)	1386BC - 1188BC (88.0%) 1181BC - 1156BC (4.1%) 1145BC - 1130BC (3.3%)
IAAA-82557	3,080 \pm 30	68.18 \pm 0.28	2,997 \pm 34	1310BC - 1193BC (64.2%) 1142BC - 1133BC (4.0%)	1378BC - 1337BC (8.8%) 1321BC - 1126BC (86.6%)
IAAA-82558	2,930 \pm 30	69.41 \pm 0.29	2,854 \pm 34	1110BC - 1104BC (2.4%) 1075BC - 1065BC (3.5%) 1056BC - 973BC (52.7%) 959BC - 938BC (52.7%)	1125BC - 920BC (95.4%)
IAAA-82559	2,910 \pm 30	69.58 \pm 0.29	2,906 \pm 34	1188BC - 1182BC (2.3%) 1154BC - 1146BC (3.6%) 1130BC - 1021BC (62.3%)	1256BC - 1236BC (2.5%) 1215BC - 1001BC (92.9%)

[参考値]

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-83252	2,730 \pm 30	71.22 \pm 0.26	2,781 \pm 31	996BC - 987BC (4.3%) 980BC - 897BC (63.9%)	1006BC - 842BC (95.4%)

[参考値]

3 雨滝遺跡における放射性炭素年代 (AMS 測定)



[参考] 暦年較正年代グラフ

Ⅶ 総 括

1 ま と め

(1) 遺 構

今回の調査で検出された遺構は、以下のとおりである（第8図）。

縄文時代……遺物包含層1箇所（111㎡）、堅穴住居状遺構1基、土坑1基、柱穴状土坑9個
平安時代以降…土坑2基、溝2条
近世以降……土坑2基

本遺跡は、馬淵川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で70～74mを測る。地形調査の結果、現地形には表れていない小規模な段丘が3面確認された（上位から順に「上段」「中段」「下段」）。この小段丘上段縁から中段中位付近にかけて、縄文時代晩期前葉から中葉に形成された大規模な遺物包含層が検出された。地形の高低差を利用した単純な投げ捨てではなく、平坦面に盛り上げられ、マウンド状を呈するものである。ただ、一部の調査に止まるため、全貌は明らかではない。

(2) 遺 物

今回の調査で出土した遺物は、以下のとおりである。

縄文土器……1,108.645.2g（42×32×30cm³ コンテナ換算約70箱）
土製品……112点・2,598.2g（42×32×10cm³ コンテナ換算約2箱）
石器……製品1,272点・301,689.1g、剥片・素材35,003.2g（42×32×20cm³ コンテナ換算約32箱）
石製品……95点・6,687.0g（42×32×10cm³ コンテナ換算約4箱）
動物遺存体……43.4g（骨角器片1点（鹿角製）、加工痕のある資料2点（ニホンジカ・イノシシ）、ホホジロザメ・アオザメ遊離歯、ウグイ亜科下咽頭骨、コイ科椎骨、サケ属椎骨、ニホンジカ臼歯、イノシシ立方骨、ムササビ距骨、ネズミ類切歯）
植物遺存体……392.5g（オニグルミ、ツノハシバミ、ブナ科、コブシ、ヤマブドウ、トチノキ、コムギ、ムギ類、エノキグサの炭化種子・種実）
土師器……1点・274.5g

出土地点は、土師器、かんざしを除き1号遺物包含層が主体である。縄文土器は、その99%が晩期前葉から中葉のもので、大洞B2式からC2式に比定されるものである。

2 各事象の検討

(1) 1号遺物包含層出土土器の型式と層毎の出土状況・傾向

V章1節1目に記述のとおり、今回提示した資料のうち、復元資料については各器種内における型式組成を反映しているといえる。また、破片資料についても、その型式と出土層位の関係を論じる上

で重要な資料である。これらを前提とした上で、1号遺物包含層の各層位と出土土器各器種の様相を検討する。ただし、今回の調査は包含層のごく一部に手をかけたに過ぎず、当然その様相すべてを現したのではない。よって、母数不明であることから統計的に不確実であることを付記しておく。

土器型式について、大半は大洞 B~C 1 式に比定されるものである。この細分方法については現在も議論の最中であるが、基本的には 9 区分を用い（山内 1964）、B~BC 式の細分については金子昭彦、小林圭一、村田章人各氏の各論考を参考とした（金子 1991a・1992a・1993a・1995・1996、小林 2003・2004・2005、村田 2000）。なお、BC 1 式の基本的な判断要素として、祖形的な羊歯状文や矩形（方形）入組文等の存在を重視した。よって「最小公倍数」的であることをお断りしておく。

1号包含層 A' 層

遺物数が少ないため、層全体の様相をどの程度反映しているか不確実であることを前提として踏まえた上で記述する。鉢は口縁部が胴部より幾分狭まるⅨ類の器形を呈するものが多い。文様では截痕列が施され、C 字文と K 字文系の磨消縄文が施されるものがある（8）。台付鉢では大形のもの（11）があることが特徴的で、口縁部が長く直線的に外反するⅦ類の器形を呈する。羊歯状文は半彫ではなく沈線的で、これに扁平な入組三叉文の亜種（半円沈線が加わる）が併存する。加えて、点列帯も存在する。壺はいずれも「三段」の器形を呈する。注口はⅠ類で、肩部に点列帯があるのが特徴である。

各器種を通じて、点列帯は大洞 B 2 式から BC 1 式に多く見られる要素と考えられている。12 および 15 はこれを持つが、他の要素から BC 2 式に近いものと捉えられる。なお、C 1 式以降に比定される遺物は本層では確認されない。

1号包含層 A 層

深鉢はいずれも地文のみで、複雑な形態を呈するものは見られなかった。鉢の形態にはⅠ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ類がある。21 はⅠ類で、胴部の唐草状入組文および菱形文から、Ⅳ類の 22 は入組三叉文に粗い刺突が付随した祖形の羊歯状文から、それぞれ BC 1 式に比定されよう。30 もその可能性がある。23~29・31~38 は BC 2 式と考えられるものである。31~33 のように、口縁部から胴部上位にかけて羊歯状文が重層するものの存在が特徴的である。また、34~38 のように、羊歯状文が扁平・直線化するものも一定数出土している。C 1 式に比定されるものはごく少数である（39）。台付鉢・台付浅鉢には、A' 層と同様に大形のもの（42）、点列帯が施されるもの（44）が存在する。後者の口縁部文様は入組三叉文に見えるが、一部に刺突が存在することから羊歯状文の祖形の可能性がある。B 2~BC 1 式に比定されよう。浅鉢では、横 S 字状の沈線が重層する 46、Ⅱ類の器形を呈し口縁・胴部に C・X 字文の施文される 47 などが存在する。前者は沈線による文様帯区画がなく、B 2 式の範疇で捉えられる。壺は、大きさ関係なく「三段」の器形を呈するものが多い。52 は大形で、Ⅰ類の器形を呈する。頸部に地文がなく、入組三叉文が施文される。胴部上半には渦巻・菱形文の磨消縄文が、中位には無文帯が巡る。B 2~BC 1 式に比定されるものと考えられる、53 はⅦ類で、同類に分類されたものはこの 1 点のみである。長い胴部に羊歯状文が重層する。BC 2 式である。54・55 の無文壺は器形・大きさとも A' 層出土分と近似する。注口は、Ⅰ・Ⅲ類が存在する。Ⅰ類の 59 は、器高が他に比して高い。口縁・頸部に入組三叉文の亜種（半円沈線が加わる）と部分的な截痕列が、注口直下にはノ字文が施文される。BC 1 式と考えられるものである。他は BC 2 式に比定される。

1号遺物包含層 3b 層

深鉢では、口縁部に入組三叉文の施文される個体が出土している（70）。入組三叉文が扁平で単位同士が近接しており、同文様要素の中では新期の部類に入る可能性がある。本遺物は正立状態で口縁部以外は未破損のまま出土したもので、底部が V 層まで達しており、埋設された可能性がある。これ

ら以外では、71・72のようにV類が見られ、羊歯状文もしくは口縁部突起の形態から両者ともBC2類と考えられる。鉢・台付鉢では、78～80がB2式と捉えられる。うち、79は三叉文の周囲に刺突がランダムに付加されており、羊歯状文・截痕列の萌芽とも考えられる。80はII類で、同類はこの他1点(158)のみであるが、どちらも器面全体を使った大きなモチーフであることが特徴的である。これら以外は大半がBC2式と考えられる(81～106・111～113)。器形はI・III・IV・V・VI・IX類があり、多様である。82はIII類で、胴～口縁部が直線的な逆台形状の器形が特徴的である。口縁内面に沈線が巡り、胴部のK字文、胴部下位の羊歯状文Bおよび底部雲形文のネガ文様からBC2式と考えられる。浅鉢・台付浅鉢では、114・116・117のような胴部が短く、口縁部が長く直線的に外反する器形(II類)が見られる。前2者には点列帯が施文される共通点があり、114は三叉文の様相および截痕列が無いことからB2式、116は底部に施文された唐草状入組文からBC1式と推定される。114は、胴部の文様帯区画沈線が平行ではなく一部がV字状に尖るのも特徴的である。117の文様要素も114・116と似ており、また118は117と文様構成が似ることから、これらもBC1式と推定される。この他、塊形のIII類で口縁部に截痕列が施文される一群(121～126)、器高が低く皿型を呈するV類(119・120)、口縁部に平行沈線が施文され胴部は無文の一群(III類…128・129、V類…127)が見られる。いずれもBC2式相当と捉えられる。壺は、「三段」のI類(131・137)、長胴形のIV類(133)、V類(134・135)、VI類(139・142)、胴部下膨れのVIII類(140・141)、胴部球形で頸部の長いXI類(138)が見られる。131と133の文様は同モチーフで、B2式と考えられる。134は矩形入組文と羊歯状文Aが重畳し、後者は祖形と捉えられることからBC1式と考えられる。135は羊歯状文BとK字文の存在からBC2式と捉えられる。このほか、132は胴部上位にC字文、中位以下に充填縄文が施文されている。頸部に肉彫的な截痕列が存在することからBC式の範疇で捉えられ、充填縄文のネガ文様からはBC2式と考えられる。ところで、131と132は第33図等に示したとおり、極めて近接しているも正立状態で出土している。埋設の可能性が高いが、土器型式面からは両者に時期差を生じることになる。注口は、I・II・IV・V類が存在する。前3者である144・143・145は、口縁～肩部に截痕列とX字文あるいはK字文が巡り、胴下半部上位に沈線が巡る。いずれもBC2式と考えられる。V類の146は3b層から3a層にかけて出土したもので、頸部に磨消縄文が、肩部に両端二叉の羊歯状文B(X字文)が巡る。器形はC1式に近いものの、文様および肩部突起列の不在から、BC2式の中でも新期に位置付けられるものと思われる。

1号遺物包含層3a層

深鉢は、口唇部が摘み上げられるように短く直立するV類が複数確認される。151・152は突起及び口縁部文様から、BC2式からC1式の過渡期に比定されようか。鉢の器形は様々であるが、文様種により傾向がみられる。IV類・VIII類の157・156は、截痕列を伴うがその他の様相が古期的で、BC1～BC2式相当といえる。II類の158は前述のとおりである。これ以外は、I・IV・VI・VII・IX・X類があり、特にIX類が多い。IX類としたものは、いずれもBC2～C1式の範疇に含まれるようである。159～167はいずれにも羊歯状文が施文され、BC2式相当である。168～175・200・201には、斜行沈線もしくは平行沈線と上下交互の区画のある截痕列で構成される単純化された羊歯状文類似文様が施文されており、この文様の施文される段階が、BC2式とC1式の境界と考えられる。うち、168～170・200・201のそれは斜行沈線で構成され、この施文方法はいわゆる噛み合う羊歯状文(羊歯状文A)モチーフ(168・169)でも噛み合わない羊歯状文(羊歯状文B)モチーフ(170)でも共通する。いっぽう、171～175のそれは平行沈線で構成され、より羊歯状文の範疇から遠ざかるものと捉えられる。176～184・202・203は口縁部に截痕列もしくは羊歯状文B上半様の区画のある截痕列が施文

されるもので、177～182のように胴部に磨消縄文の施文されるものは、162・165・167と口唇部装飾および磨消縄文の面で共通性が見られ、同時期もしくは近接時期の所産と考えられる。また、189～191のように口唇部装飾が前面に半彫で施文され、頸部に無文帯をもち、胴部に磨消縄文が施されるC1式の一群（IX 12h類）や、片口形（X類・197～199）が出土している。後者は、口部端に豆状の突起が付く。台付鉢の様相も、鉢と同傾向である。浅鉢・台付浅鉢では、215のようにⅡ類の個体もあるが主体ではなく、Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ類で磨消縄文が施文されるものが多く出土している。Ⅲ類のうち、羊歯状文モチーフの有無、磨消縄文の状態（非雲形文系であること）から、210・212・214・216・218はBC2式に比定される。これら以外の同類では、口縁部の截痕列が沈線+刺突列に置き換わるものがあり（221・222・231）、C1式の構成要素と捉えられる。Ⅴ・Ⅵ類は本層で突如増加する器形で、いずれもC1式に比定される。このほか、鉢168などと同じく、単純化された羊歯状文の施文されるものが見られる（219）。壺では、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅷ～Ⅹ類がみられる。237・238は器形不明であるが、おそらく239と同類になるものと推定される。文様からB2～BC1式相当と考えられる。239はBC2式である。Ⅴ類の3点はいずれも雲形文が施文されるが、240はBC2式、ほかはC1式と考えられる。このほか、口縁内部に鏢状の出っ張りを持つ個体（250）が出土している。同遺物は、口唇部装飾と截痕列の様相からBC2～C1式の境界付近の所産と考えられる。注口は、いずれも肩部に突起列があり、C1式と考えられる。266の香炉形は、胴部突起の特徴および胴部下半の磨消縄文からC1式に比定される。

1号遺物包含層2b層

深鉢では、Ⅰ類のほかⅥ類（280・283・284）が出土しており、いずれも口縁部が無文となる。これらは鉢IX 12類と同形態・同手法である。鉢・台付鉢では、BC1式と推定されるものがあるが少数であり（289・Ⅶ2類）、Ⅰ・Ⅸ類で口縁部に截痕列、区画のある截痕列、沈線+刺突列のいずれか、あるいは平行沈線が施文されるもの（294～296・298・310・311・326～329）、口縁部が無文となり、その下位にこれら文様が施文されるもの（292・293・297・299～308・332・333）が多数出土している。後者のばあい、截痕列系文様の施文されるものは少なく、大半が平行沈線となる。これらはすべて口唇部装飾および磨消縄文の様相からC1式に比定される。また、無文もしくは頸部に平行沈線を有するⅦ類（314～317・319・320）がまとまった一定数量出土していることも特徴的である。このうち、314は口唇部装飾からC1式に比定され、他についても同時期である可能性が高い。このほか、足付（321）、片口形（325）が出土している。台付浅鉢ではⅤ類（334など）、浅鉢ではⅢ類（338など）、Ⅵ類（355など）の器形が卓越する。この様相は、施文土器、無文土器共通である。前2者の施文土器のばあい、口縁部に截痕列、区画のある截痕列、沈線+刺突列のいずれか、あるいは平行沈線が施文されるもの（335・336・338～345・347・351・353・354）があるが、単純な截痕列の施文されるものは1点のみである。いっぽう、Ⅵ類の施文土器のばあい、截痕列系文様が施文されるものはなく、すべて区画の平行沈線+磨消縄文のみとなる。この截痕列系文様の変遷と有無に関して、羊歯状文の変遷と併せて考えれば、截痕列・羊歯状文B上半様の截痕列（羊歯状文と共存）→区画のある截痕列→沈線+刺突列・沈線+区画のある刺突列（截痕列の簡略化？）→消滅と捉えられる（各器形共通）。この他の浅鉢類としては、足付（Ⅶ類）、方形（Ⅸ類）、片口形（X類）が出土している。X類・380の口部端には豆状の突起が付く。壺は数が少なく詳述を避けるが、Ⅵ類の完形品が2点出土している。注口はいずれもⅥ1類で、C1式である。399は香炉形？で、胴部突起の特徴および胴部下半の磨消縄文からC1式に比定される。

1号遺物包含層 2a層

本層からは片口形の深鉢が出土している（Ⅶ類・423）。口部端に豆状の突起が付く点は、他層出土遺物と同様である。鉢・台付鉢では、424・440といったC字文系文様の施文されるBC2式が散見されるが、大半はC1式である。Ⅸ12類の口縁部が無文となる一群（426～430・441～444・447）の出土比率が高い。浅鉢の様相は2b層と変わらない。

1号遺物包含層 1層および0層

出土数量が少なく、これに比例して復元個体も少ないため、詳述は避ける。1層出土土器は概ねC1式に比定される。いっぽう0層の鉢・台付鉢および浅鉢はBC2～C2式に比定されるものが混在している。この混在は何に起因するものか不明であるが、最上位層に当たるため後世の攪乱の影響を受けている可能性は否定できない。特筆点としては、0層出土のC2式に比定される大形の突起を有する鉢（489）の存在が挙げられる。

各層出土土器の傾向と堆積時期

以上、各層出土土器を概観してきた。いずれの層も、そのほとんどが複数型式を包含している。すなわち、A'層ではBC1～2式、A層ではB2～C1式、3b層ではB2～BC2式、3a層ではB2～C1式、2b層ではBC1～C2式、2a層ではBC2～C2式、1層ではC1式、0層ではBC2～C2式の出土が確認された。ただし、A'層および1層は局所的に確認したのみであるため、今回の出土遺物が本来的な内容をどの程度反映しているか、その可能性は他層に比して低い。また、1層および0層はその大半が表土・現行道路直下に位置するため、攪乱の影響が大きく、これを排除できない。後者は致命的な問題であるため、両層以外を対象に堆積時期を推定する。

堆積の連続性が確認されているA'層→A層、3b層→3a層→2b層→2a層と土器形式の関係を見たばあい、隣接層間で重複はありながらも概ね既知の型式変遷に沿って出土しているといえる。さらに各層出土土器型式の構成比を見てみると、A'層およびA層ではBC1～2式、3b層ではBC1～2式、3a層ではBC2～C1式、2b層・2a層・1層ではC1式が卓越する傾向が看取され、これが各層堆積・形成のピーク時期と考えられる。

(2) 個別出土状況で特筆されること

a) 土器埋設行為

包含層最下位にあたる3b層にて、埋設の可能性がある個体3点を確認した。12F11グリッドに位置する70、12F11・12F12グリッド境界付近に位置する131と132である。いずれも破損率が低く、正立状態で検出された。3点とも周辺土層を立ち割り埋設痕跡の精査を行ったが、いずれについてもその痕跡は確認されなかった（第33図など）。しかしながら、例えば70についていえば、器高37cmを測る深鉢であり、これが非人為で正立状態を保ち、破損せずにあるとは考えられない。しかも、その底部はV層まで達している。3b層面からV層まで掘削し、口縁上部まで埋設したと考えるのが自然であろう。なお、これら3点は出土層位・位置から判断して、極めて近接した時期にこの地に置かれたものといえる。

b) 4点の土器型式と出土状態—「雨滝式」土器型式に対する今次調査出土事象からの解釈

131と132は、写真図版18などに示したようにほぼ同一標高（数cmのレベル）で隣り合って出土した訳であるが、前述の通り土器型式には差異がありそうである。すなわち、131は大洞B2式に、132は同BC2式に比定された。また、同一グリッド、同一層で検出された70の土器型式は、B2式と考えられるものである。同一層面で出土したこれらは、「層位は土器型式に優先する」ことを前提

とすれば、同時併存していたとって大過あるまい。ただし隣接型式であれば、重複時期もあって然るべきである。例えば時間差があるとしても、132を埋設もしくは遺棄するには131の存在を認知しているはずである。時間的な同時性もしくは連続性が看取される。

さらに、70の出土状態に関しても興味深い事象が確認された。正立状態にあった70の内部堆積土上位から、82が出土した点である。82はB2式ではなく、BC2式の範疇で理解されることから、型式学的には70との間に時期差（時間差）を生じる。その時期差を出土状態で表せば、「70の内部に土壌が堆積するまでの時間」となる。ただし、70がどのように埋設されたのか判然としないため、土器内部の埋没過程についても明確なプロセスを提示できないが、たとえ自然堆積であっても（本遺構の性格上その可能性は低い）本遺跡が緩斜面地に立地することを考えれば、十年単位の時間差を想定するには無理がある^(註1)。何より、82をここに捨てた（置いた？）人間は、131・132の例と同様に、70がそこにあることを認知していたはずである。土器型式的には別様であっても、人間の行為的には連続しており、隣接している。

以上、4点の土器からみる大洞B2式～BC2式の変遷は、ごく短期間に進んだものと捉えられる^(註2)。つまりは、BC1式の存続期間が短期間であったということである。換言すれば、B2式・BC1式・BC2式の「存在」が重複する時期（製作時期ではなく「共存」時期）があったといえる。包含層3b層自体の様相もこれと矛盾しない。

「雨滝式」の議論が発生する原因が、やはり雨滝遺跡にはあるのである。B式とBC式＝B2式とBC2式が同一層内に併存する。これは、現実的な層位学的には間違った結果ではない。併存する現象は事実である。cmオーダーでの分層が現実的に可能であれば別であるが、土器1個体は10cmを超える。対象物が収まりきらない層厚の分層は、余程の変化がない限り非現実的であり不可能である。

いっぽうで、包含層各層の土器様相を量的に下位から上位に通観したとき、B2式～BC1式～BC2式～C1式という流れが追えることも事実である。

結論として、B2～BC2の各型式は、重複時期を持ちながらも、B2→BC1→BC2という流れで変遷したものと解釈されよう。

(3) 遺物包含層範囲内における地形と出土土器型式の特徴—「盛土遺構」に関連して

IV章に記述のとおり、今回検出された遺物包含層は、小段丘上段から中段中部付近に形成されている。中段北部には窪地があり、この窪地とその他では包含層の堆積様相が異なる。上段は地形改変により包含層上位が欠落している可能性が高いため詳述しかねるが、A'層から0層にかけて大洞B2式からC2式までが出土している。窪地を挟んだ中段中部でも、3b層から0層にかけて同じくB2式からC2式が出土している。いっぽう、窪地中央部に入れたトレンチ②の調査結果では、包含層1～3a層およびA'層は堆積しておらず、出土土器は大洞BC2式以前に限られる（BC1式主体）ことが分かっている。

本包含層形成開始時期について、中段中部については、70・131・132からB2式からBC1式への移行期と推定される。中段北部窪地部分についても同様であろう。上段については、同時期か若干先行する可能性がある。問題はその後で、中段北部窪地部分は形成範囲の中心域から外れ、中段中部が主体域となりC1式期に至るまで継続して形成された結果、塚状に盛り上がる形態を呈する（第14～16図）。包含層形成前の地形がほぼ平坦であることを考えれば（第13図）、窪地に「捨てる」行動を取らず、あえてそこを避けて「盛る」行為を行ったと解釈される。そしてその「盛る」行為の開始時期は、中段北部窪地部分に確認されないC1式前後ということになる。

註

- 註1 例えば、「埋設後の一定期間、使用やメンテナンスが施され土壌が堆積しない」といったことがあれば、時間差は広がることとなる。
- 註2 あくまでも変遷期間を捉えたものであって、型式単体の年代幅とは別である。今次調査ではB2式の出土量が少なく、B1式に至ってはほぼ皆無であるため、B2式単体の存続期間は不明である。

引用・参考文献 (助岩手県埋蔵文化財センターを(助岩埋文)、助岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターを(助岩文埋と省略)

- 阿部芳郎 2005 「「盛土遺構」と遺丘集落—「発見の時代」から「検証」の段階へ—」『考古学集刊』特別号 明治大学文学部
- 阿部芳郎・曲輪ノ内貝塚調査団 2005 「曲輪ノ内貝塚調査検討会の記録」『考古学集刊』特別号 明治大学文学部
- 金子昭彦 1990 「いわゆる遮光器土偶の編年について(1)—大きさの違いを考慮して—」『岩手考古学』第2号 岩手考古学会
- 金子昭彦 1991a 「大洞B2式の磨消縄文について(上)—東北地方北部を中心として—」『紀要』XI (助岩文埋)
- 金子昭彦 1991b 「いわゆる遮光器土偶の編年について(2)—大形の土偶—」『北奥古代文化』第21号 北奥古代文化研究会
- 金子昭彦 1992a 「大洞B2式の磨消縄文について(中)—東北地方北部を中心として—」『紀要』XII (助岩文埋)
- 金子昭彦 1992b 「「雨滝式」の再検討」『北奥古代文化』第22号 北奥古代文化研究会
- 金子昭彦 1993a 「大洞B2式の磨消縄文について(下)—東北地方北部を中心として—」『紀要』XIII (助岩文埋)
- 金子昭彦 1993b 「「小型」遮光器土偶の編年」『よねしろ考古』第8号 よねしろ考古学研究会
- 金子昭彦 1995 「岩手県上鷹生遺跡における土器口縁部の突起—大洞式前半の突起の事例研究—」『紀要』XV (助岩文埋)
- 金子昭彦 1996 「岩手県における大洞式前半の土器口縁部の突起—一般性と地域性の追求の試み—」『紀要』XVI (助岩文埋)
- 金子昭彦 2001a 「岩手県における縄文時代晩期の遺跡」『紀要』XX (助岩文埋)
- 金子昭彦 2001b 『遮光器土偶と縄文社会』ものが語る歴史4 同成社
- 金子昭彦 2002 「岩手県における縄文時代晩期の集落跡」『紀要』XXI (助岩文埋)
- 小林圭一 2003 「東北半における縄文晩期前葉の注口土器」『研究紀要』創刊号 (助岩山形県埋蔵文化財センター)
- 小林圭一 2004 「岩手県安代町曲田I遺跡出土の晩期縄文土器(前編)—EⅢ-011住居跡出土土器の再検討—」『研究紀要』第2号 (助岩山形県埋蔵文化財センター)
- 小林圭一 2005 「岩手県安代町曲田I遺跡出土の晩期縄文土器(後編)—EⅢ-011住居跡出土土器の再検討—」『研究紀要』第3号 (助岩山形県埋蔵文化財センター)
- 鈴木克彦 1980 「亀ヶ岡式土器の羊歯状文に関する考察」『考古風土記』第5号
- 鈴木克彦 1981 「亀ヶ岡式土器」『縄文文化の研究 4 縄文土器Ⅱ』雄山閣出版
- 鈴木克彦 2001 『北日本の縄文後期土器編年の研究』雄山閣出版
- 鈴木公雄・林謙作編 1981 『縄文土器大成 4 晩期』講談社
- 須藤 隆 1984 「北上川流域における晩期前葉の縄文土器」『考古学雑誌』第69巻第3号 日本考古学会
- 須藤 隆 1992 「東北地方における晩期縄文土器の成立過程」『東北文化論のための先史学歴史学論集』加藤稔先生還暦記念会
- 芹沢長介 1960 『石器時代の日本』築地書館
- 芹沢長介 1962 「岩手県二戸郡雨滝遺跡」『日本考古学年報 11(昭和33年度)』日本考古学協会
- 芹沢長介 1963 「岩手県二戸郡雨滝遺跡」『日本考古学年報 6(昭和28年度)』日本考古学協会
- 高橋龍三郎 1981 「亀ヶ岡式土器の研究」『北奥古代文化』第12号 北奥古代文化研究会
- 高橋龍三郎 1993a 「大洞C2式土器の細分とネガ文様」『二十一世紀への考古学』櫻井清彦先生古稀記念会
- 高橋龍三郎 1993b 「大洞C2式土器細分のための諸課題」『先史考古学研究』第4号 阿佐ヶ谷先史学研究会
- 田鎖寿夫 1986 「「瘤付土器」から「晩期前葉」までの土器文様の変遷過程」『紀要』VI (助岩文埋)

2 各事象の検討

- 藤沼邦彦 1989 「亀ヶ岡式土器様式」『縄文土器大観 4 後期 晩期 続縄文』小学館
- 藤沼邦彦・関根達人ほか 2005 『青森県東津軽郡平館村今津遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告 2
- 藤沼邦彦・秋山真吾ほか 2008 『青森県三戸郡三戸町杉沢遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告 6
- 藤沼邦彦・関根達人 2008 「亀ヶ岡式土器（亀ヶ岡式系土器群）」『総覧 縄文土器』(株)アム・プロモーション
- 松山 力 1981 「第二章 自然的環境」『中曾根Ⅱ遺跡発掘調査報告書』二戸市教育委員会
- 村越 潔 1984 『亀ヶ岡式遺跡』考古学ライブラリー 19 ニュー・サイエンス社
- 村田章人 2000 「羊歯状文の施文原則」『埼玉考古』第 35 号 埼玉考古学会
- 八木勝枝 2004 「北上川中流域の盛土遺構～縄文時代晩期包含層分析からの一視点～」『岩手考古学』第 16 号 岩手考古学会
- 山内清男 1930 「所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末」『考古学』第 1 巻第 3 号 東京考古学会
- 山内清男 1964 「縄文式土器・総論」『日本原始美術 1 縄文式土器』講談社
- 山内清男 1979 『日本先史土器の縄文』先史考古学会
- 山内清男・平山久夫ほか 1971 「山内清男先生と語る」『北奥古代文化』第 3 号 北奥古代文化研究会
- 秋田県教育委員会 2004 『向様田 A 遺跡 遺物編一森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅺ一』秋田県埋蔵文化財調査報告書第 370 集
- 青森県教育委員会 2009 『青森県遺跡地図』
- 青森県埋蔵文化財調査センター 1995 『泉山遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第 181 集
- 青森県埋蔵文化財調査センター 2001 『十腰内(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第 304 集
- 一戸町教育委員会 1986 『蒔前』一戸町文化財調査報告書第 17 集
- 一戸町教育委員会 1995 『山井遺跡』一戸町文化財調査報告書第 36 集
- 岩手県立博物館 1982 『岩手の土器一県内出土資料の集成一』
- 財岩埋文 1981 『二戸バイパス関連遺跡発掘調査報告書 二戸市上田面遺跡・大淵遺跡・火行塚遺跡』岩埋文調査報告書第 23 集
- 財岩埋文 1983 『荒谷 A 遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 23 集
- 財岩埋文 1985 『曲田 I 遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 87 集
- 財岩埋文 1986 『駒板遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 98 集
- 財岩埋文 1986 『手代森遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 108 集
- 財岩埋文 1992 『八ツ長Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 168 集
- 財岩埋文 1997 『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 253 集
- 財岩埋文 1998 『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書一第 6 次～第 8 次調査一』岩埋文調査報告書第 273 集
- 財岩埋文 2000 『長倉 I 遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 336 集
- 財岩埋文 2002 『米沢遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 376 集
- 財岩埋文 2006 『大橋遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 481 集
- 財岩埋文 2008 「(4) 雨滝遺跡」『平成 19 年度発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 524 集
- 財岩埋文 2008 『上町遺跡発掘調査報告書』岩埋文調査報告書第 532 集
- 大迫町教育委員会 1979 『小田遺跡発掘調査報告書』大迫町埋蔵文化財報告第 4 集
- 浄法寺町教育委員会 2001 『上杉沢遺跡』
- 八戸市教育委員会 1988 『八幡遺跡発掘調査報告書』八戸市埋蔵文化財調査報告書第 26 集
- 八戸遺跡調査会 2002 『是川中居遺跡(長田沢地区)』八戸遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書第 2 集
- 宮城県教育委員会 1990 『摺菽遺跡』宮城県文化財調査報告書第 132 集

写 真 图 版



遺跡遠景と周辺の地形（南から）



調査区遠景（南から）



調査前風景（南から）



調査区北端小段丘縁の現況（西から）

写真図版2 調査前風景



小段丘上段～中段境断面（東から）



小段丘中段北端トレンチ1断面（西から）



小段丘中段トレンチ2断面（西から）



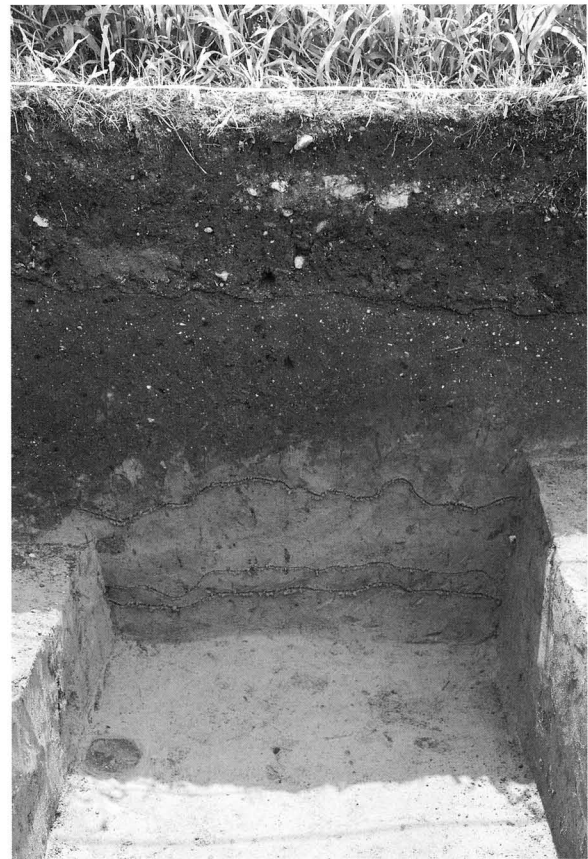
小段丘中段 12G6 付近断面（西から）



小段丘中段南半断面 1（西から）



小段丘中段南半断面 2（西から）



小段丘中段南端断面（西から）

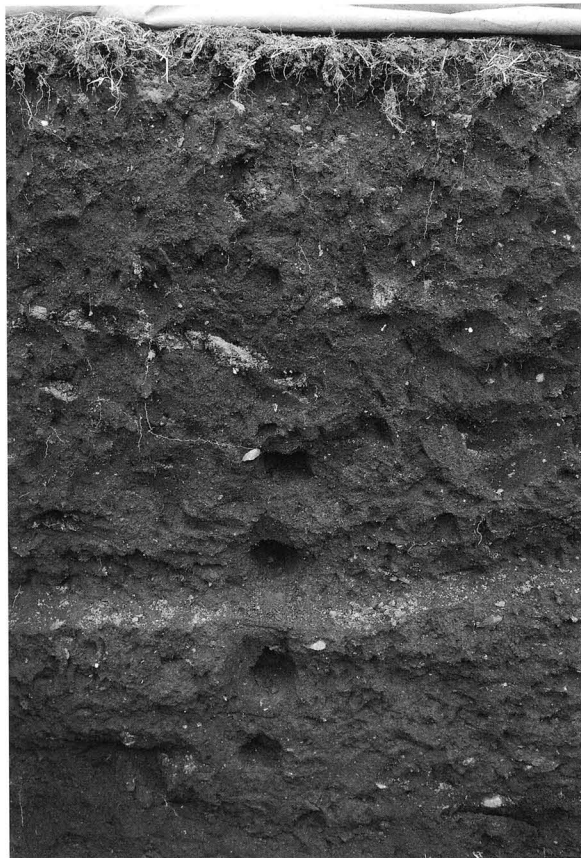
写真図版 4 基本層序（2）



小段丘下段北部断面（西から）



小段丘下段南部断面3（西から）



土壤分析試料採取地点1（西から）



土壤分析試料採取地点2（西から）



1号豎穴住居状遺構平面（東から）



1号豎穴住居状遺構断面（西から）

写真図版6 豎穴住居状遺構（1）



1号豎穴住居状遺構 p1 出土状況（西から）



1号豎穴住居状遺構 p2 出土状況（北から）



1号土坑平面（南から）



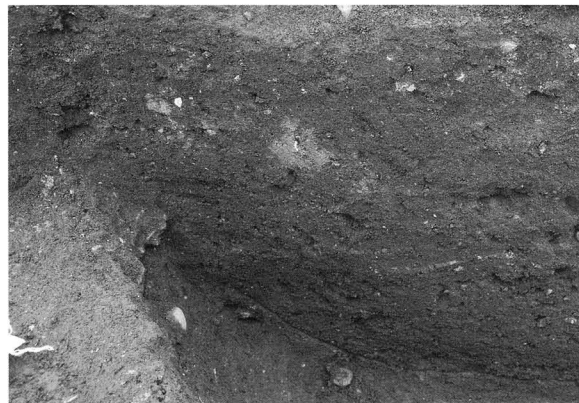
1号土坑断面（西から）



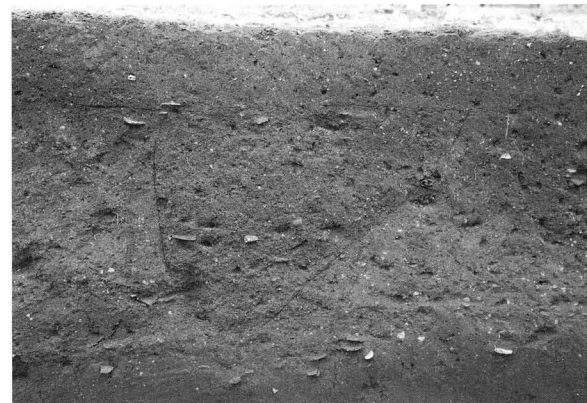
2号土坑平面（南から）



2号土坑断面（南から）



2号土坑断面 To-a 確認状況（西から）



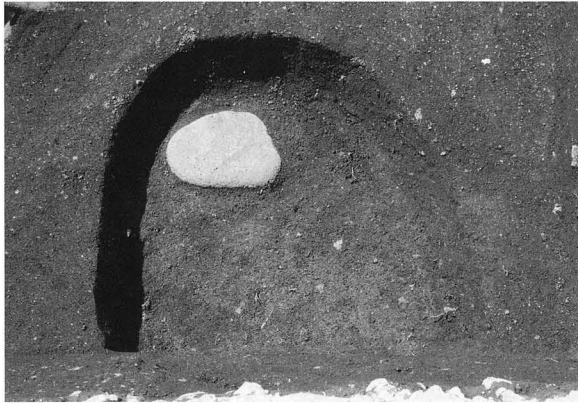
3号土坑断面（北西から）



4号土坑平面（西から）



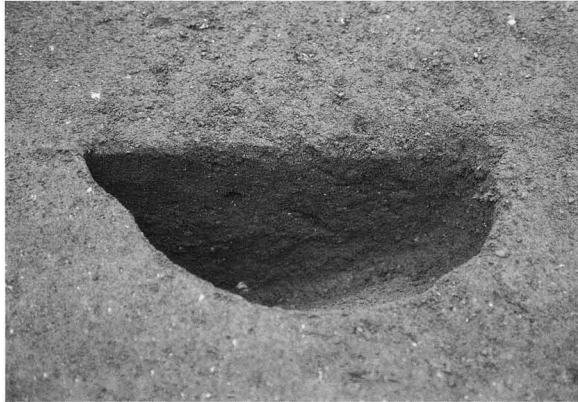
4号土坑断面（南から）



5号土坑平面（北から）



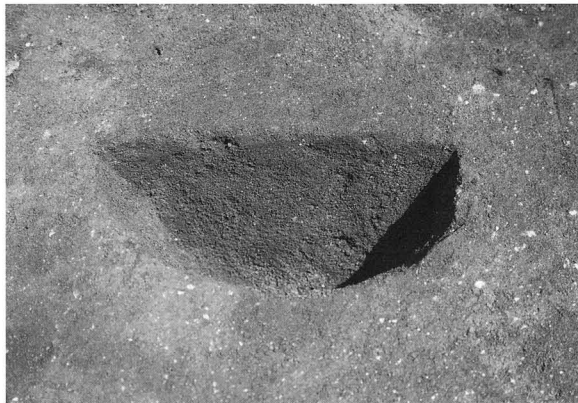
5号土坑断面（南から）



P1 断面（南から）



P2 断面（西から）

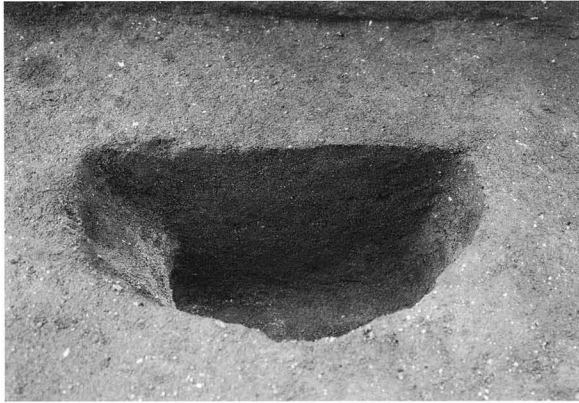


P3 断面（西から）



P4 断面（東から）

写真図版8 土坑（2）、柱穴状土坑（1）



P5 断面 (東から)



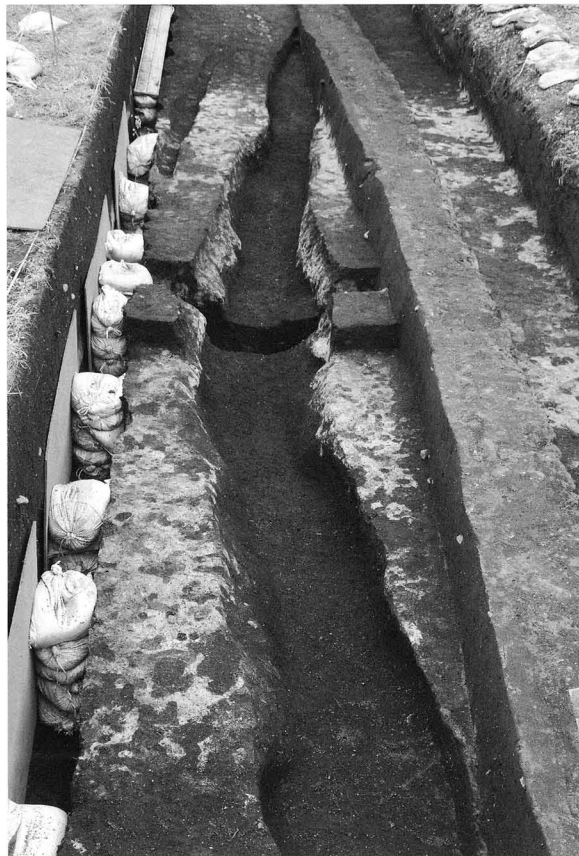
P6 断面 (東から)



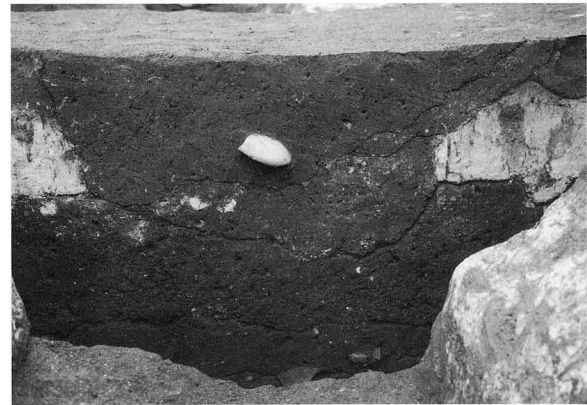
P8 断面 (南から)



P9 断面 (南西から)



1・2号溝平面 (北から)



1号溝断面 (南から)



2号溝断面 (南から)



遺物包含層完掘断面（北から）



遺物包含層完掘断面（南から）



遺物包含層断面①（西から）



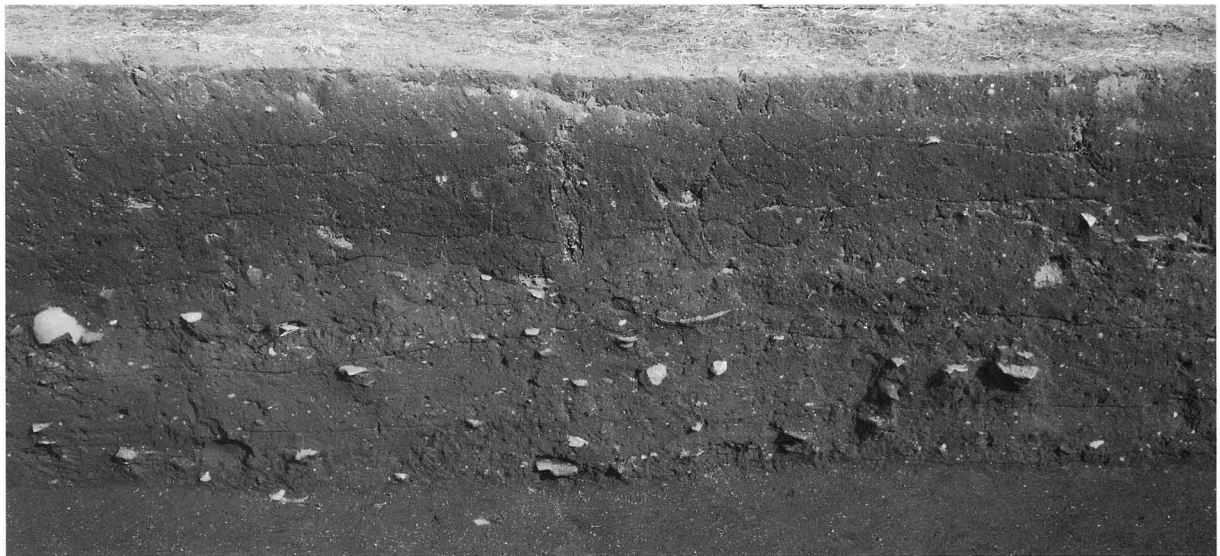
遺物包含層断面②（西から）



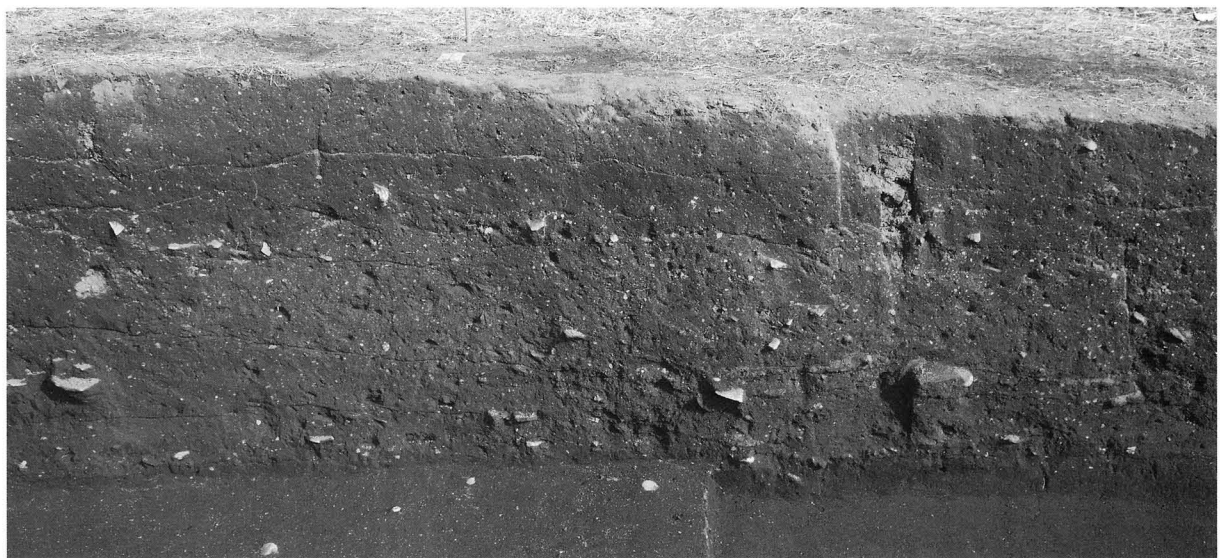
遺物包含層断面③（西から）



遺物包含層断面④（西から）

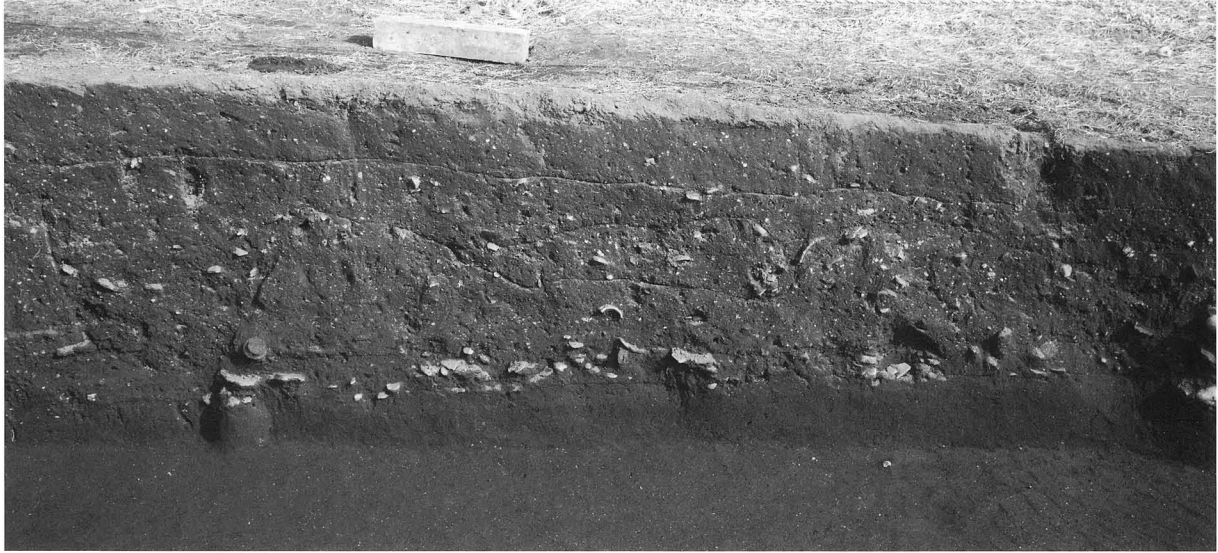


遺物包含層断面⑤（西から）



遺物包含層断面⑥（西から）

写真図版12 遺物包含層（3）



遺物包含層断面⑦（西から）



遺物包含層断面⑧（西から）



遺物包含層断面⑨（西から）



トレンチ 2 遺物包含層 A~A' 層遺物出土状況 (西から)



トレンチ 2 遺物包含層 44・60・65 出土状況



遺物包含層 A' 層 15 出土状況



遺物包含層 A~A' 層遺物出土状況 12E グリッド (西から)



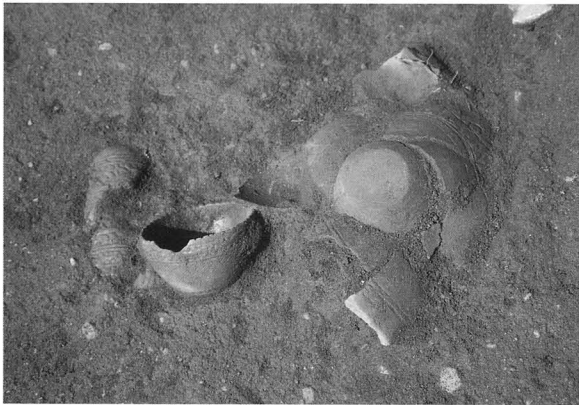
トレンチ 1 遺物包含層 A 層遺物出土状況 (西から)



遺物包含層 A 層 20・28・59 出土状況



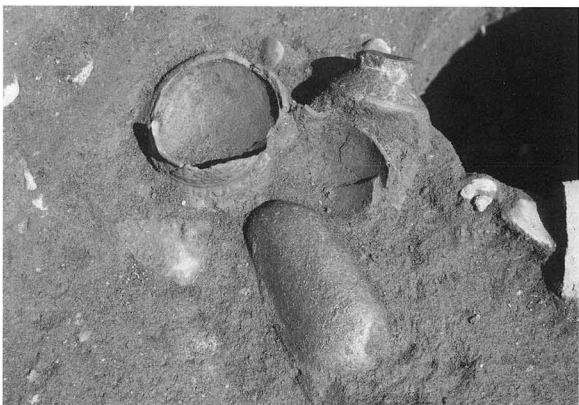
遺物包含層 A 層 524・973 出土状況



遺物包含層 A 層 21・25・53 出土状況



遺物包含層 A 層 12 出土状況



遺物包含層 A 層 61 出土状況



遺物包含層 A 層 55 出土状況



遺物包含層 3b 層遺物出土状況 東半 (北東から)



遺物包含層 3b 層遺物出土状況 西半 (南西から)



遺物包含層 3b 層 73・123・125 出土状況



遺物包含層 3a 層下位 214 出土状況



遺物包含層 3a 層下位 198 出土状況



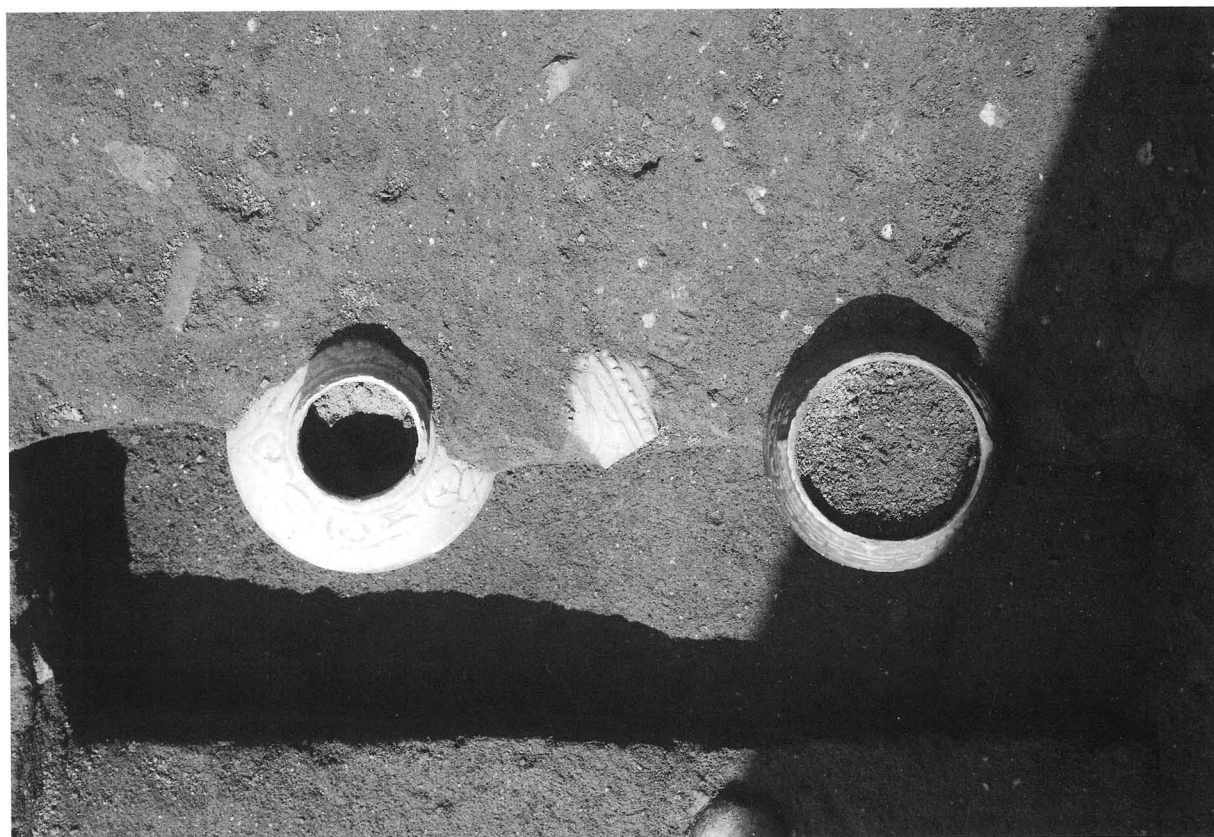
遺物包含層 3b 層 113 出土状況



遺物包含層 3b 層 70・82 出土状況 (南から)



遺物包含層 3b 層 70 出土状況断面 (北から)



遺物包含層 3b 層 131・132 出土状況（北から）



遺物包含層 3b 層 131・132 出土状況断面（南から）



遺物包含層 3b 層 134 出土状況



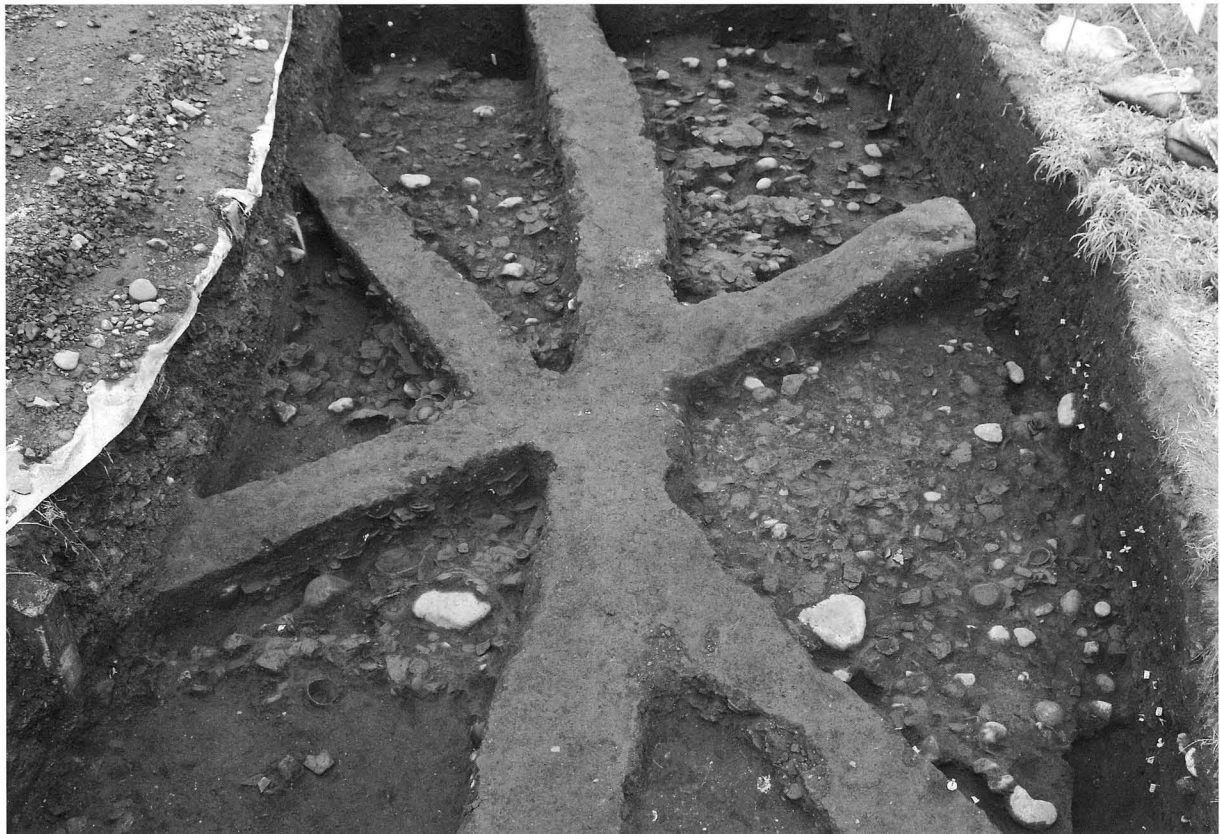
遺物包含層 3b 層 135 出土状況



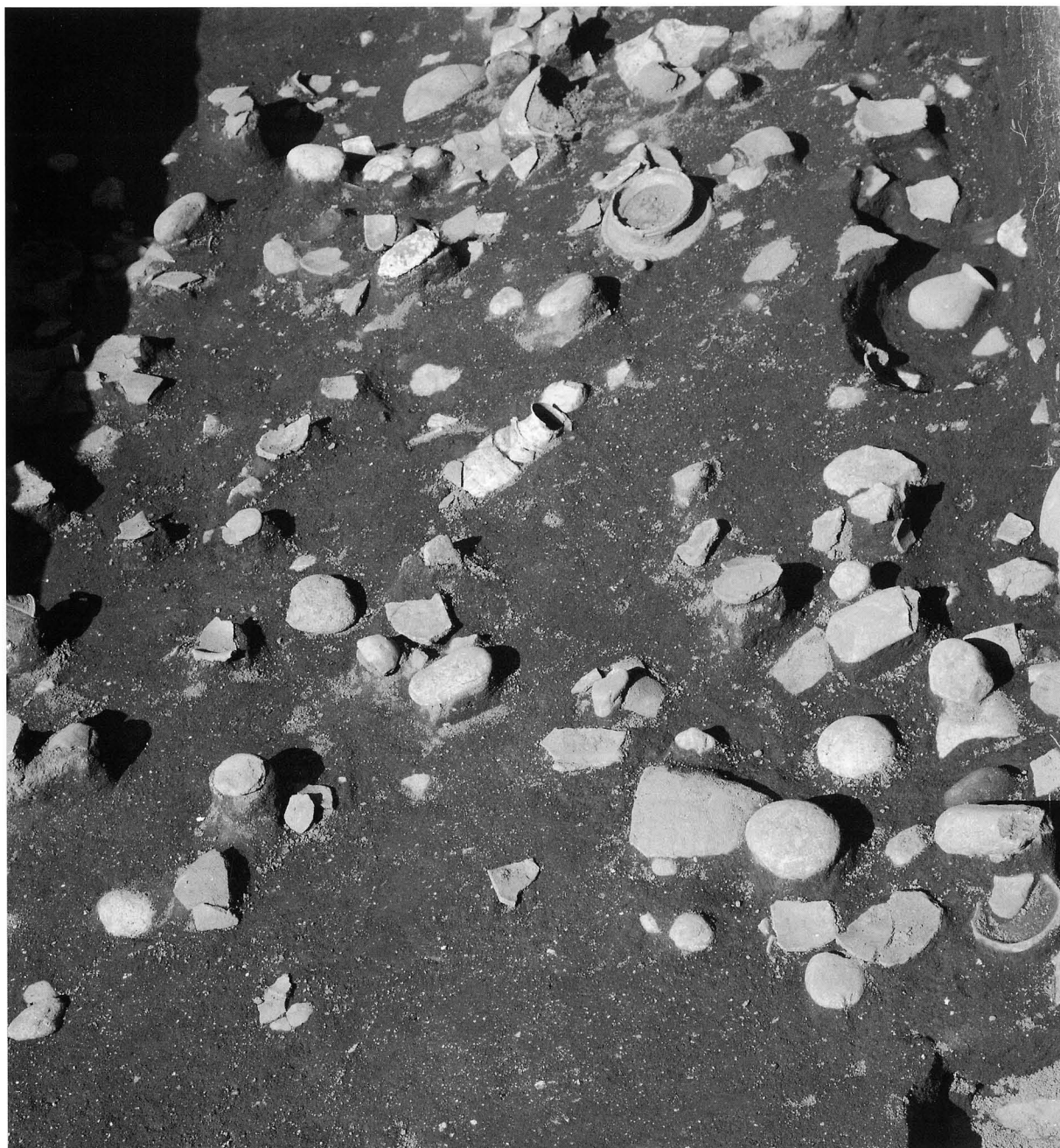
遺物包含層 3b 層 138 出土状況



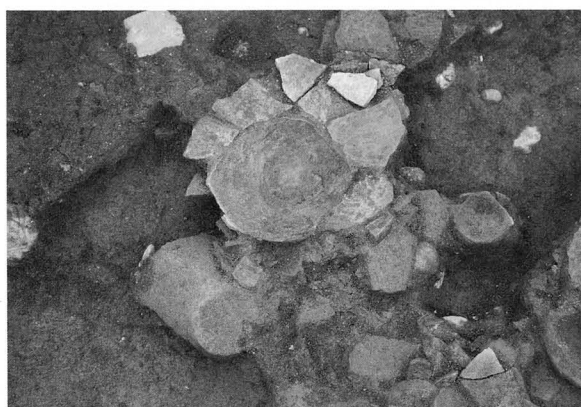
遺物包含層 3b 層 143 出土状況



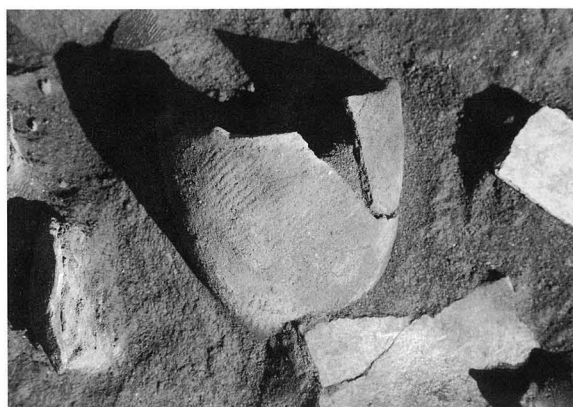
遺物包含層 3a 層遺物出土状況 (南から)



遺物包含層 3a 層遺物出土状況 12F17 グリッド付近 (南から)



遺物包含層 3a 層 196 出土状況



遺物包含層 3a 層 107 出土状況



遺物包含層 3a 層 1014 出土狀況



遺物包含層 3a 層 171 出土狀況



遺物包含層 3a 層 460・461 出土狀況



遺物包含層 3a 層 203 出土狀況



遺物包含層 3a 層 202 出土狀況



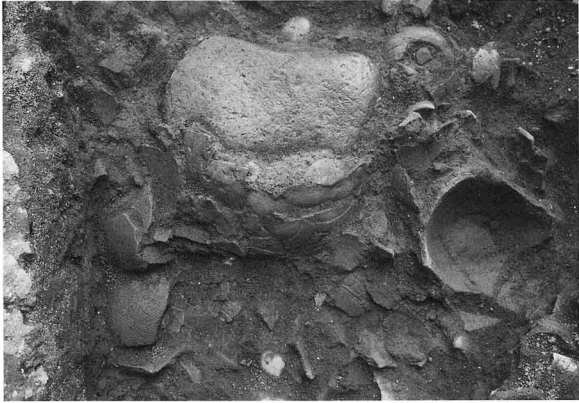
遺物包含層 3a 層 234 出土狀況



遺物包含層 3a 層 596~605 出土狀況



遺物包含層 3a 層 205・240・241・259 出土狀況



遺物包含層 3 a 層 261 出土狀況



遺物包含層 3 a 層下位 254 出土狀況



遺物包含層 3 b~a 層 146 出土狀況



遺物包含層 3 a 層 527 出土狀況



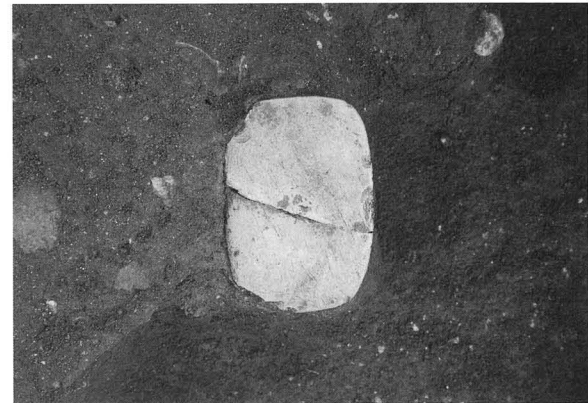
遺物包含層 3 a 層 539 出土狀況



遺物包含層 3 a 層 540 出土狀況



遺物包含層 3 a 層 959 出土狀況



遺物包含層 3 a 層 978 出土狀況



遺物包含層 2b 層遺物出土状況（南から）



遺物包含層 2b 層 280・288 出土状況



遺物包含層 2b 層深鉢出土状況



遺物包含層 2b 層 307 出土状況



遺物包含層 2b 層 298・358 出土状況



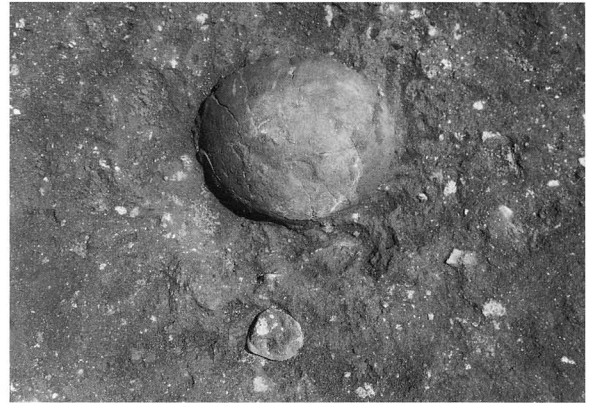
遺物包含層 2b 層 330 出土狀況



遺物包含層 2b 層 349 出土狀況



遺物包含層 2b 層 379 出土狀況



遺物包含層 2b 層 376 出土狀況



遺物包含層 2b 層 386 出土狀況



遺物包含層 2b 層 390 出土狀況



遺物包含層 2b 層 548 出土狀況



遺物包含層 2b 層 970 出土狀況



遺物包含層 2a 層遺物出土状況 11G・12G グリッド (南から)



遺物包含層 2a 層 423 出土状況



遺物包含層 2a 層鉢・浅鉢出土状況



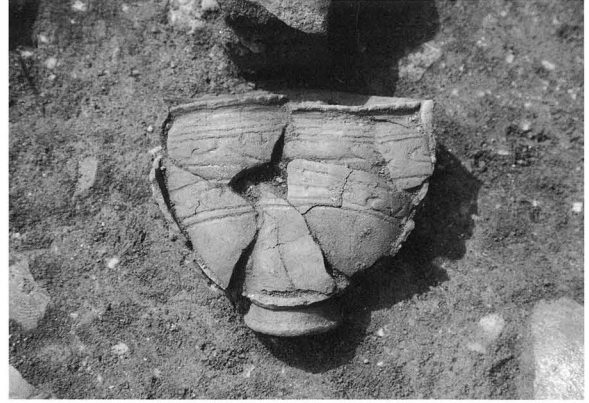
遺物包含層 2a 層 420 出土状況



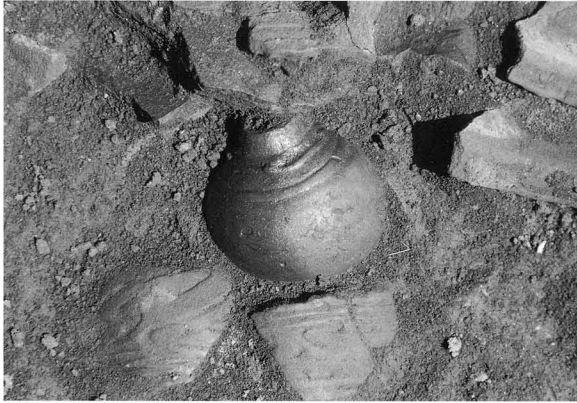
遺物包含層 2a 層 418 出土状況



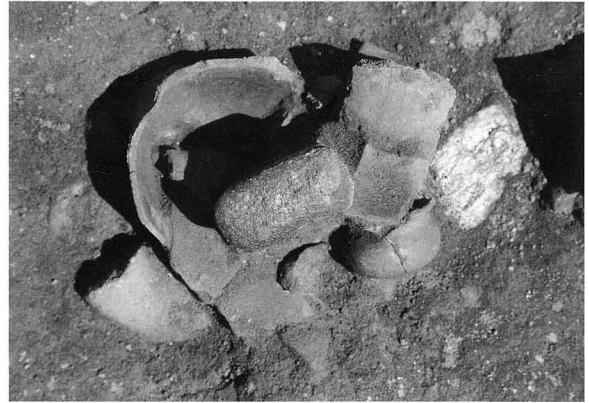
遺物包含層 2a 層 431 出土状況



遺物包含層 2a 層 441 出土状況



遺物包含層 2a 層 459 出土状況



遺物包含層 2a 層 436 出土状況



遺物包含層 1 層遺物出土状況 11G・12G グリッド (南から)



調査区 2 市道白山線分北端平面 (南から)



調査区 2 市道白山線分南半平面 (南から)



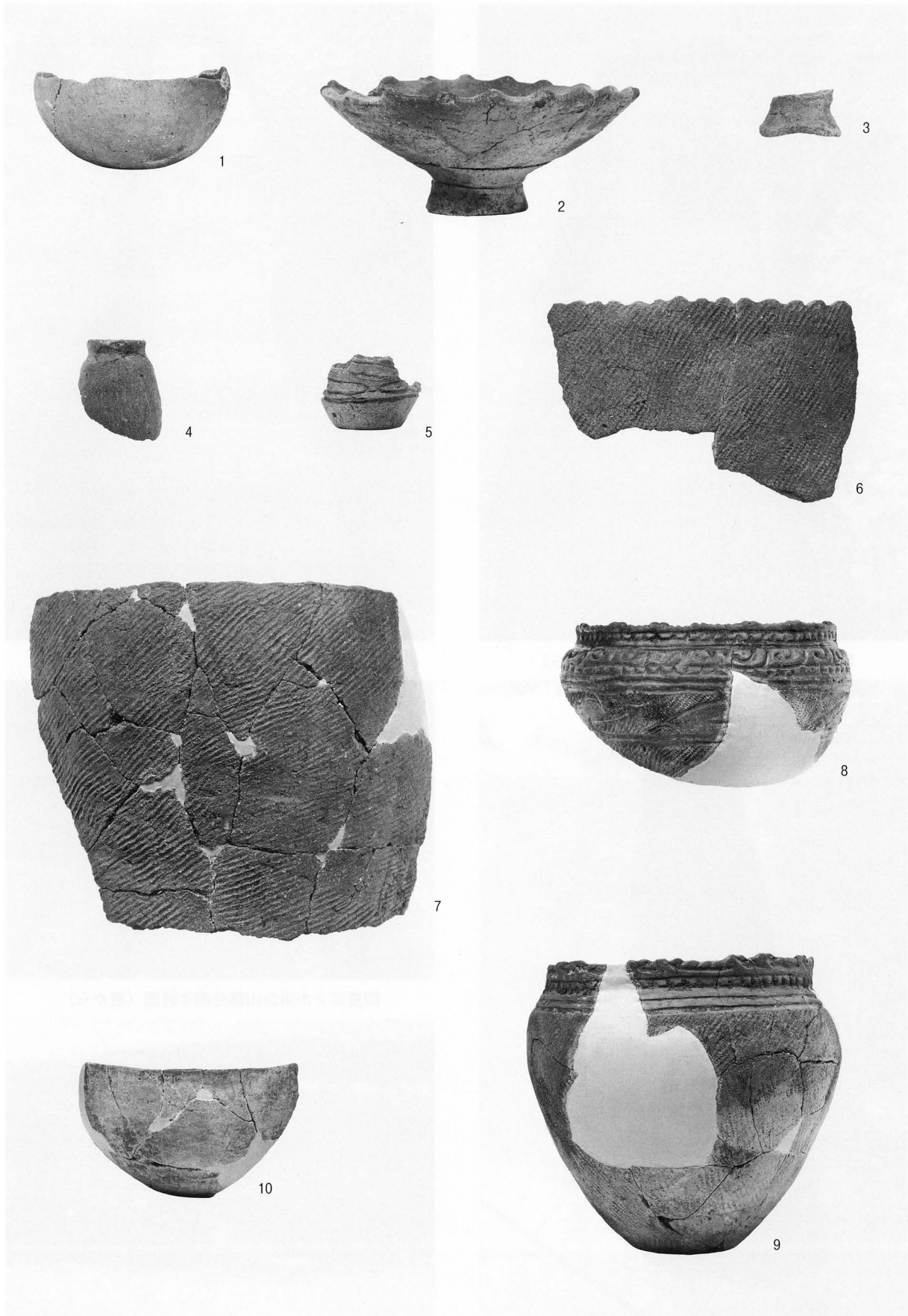
調査区 2 トレンチ 2 平面 (南西から)



調査区 2 市道白山線分南半断面 (東から)



調査区 2 トレンチ 2 V層遺物出土状況 (東から)



1・3・4 S = 1 : 2 その他 S = 1 : 3

写真図版28 竪穴住居状遺構、土坑、遺物包含層出土土器（1）



11



12



13



15



14

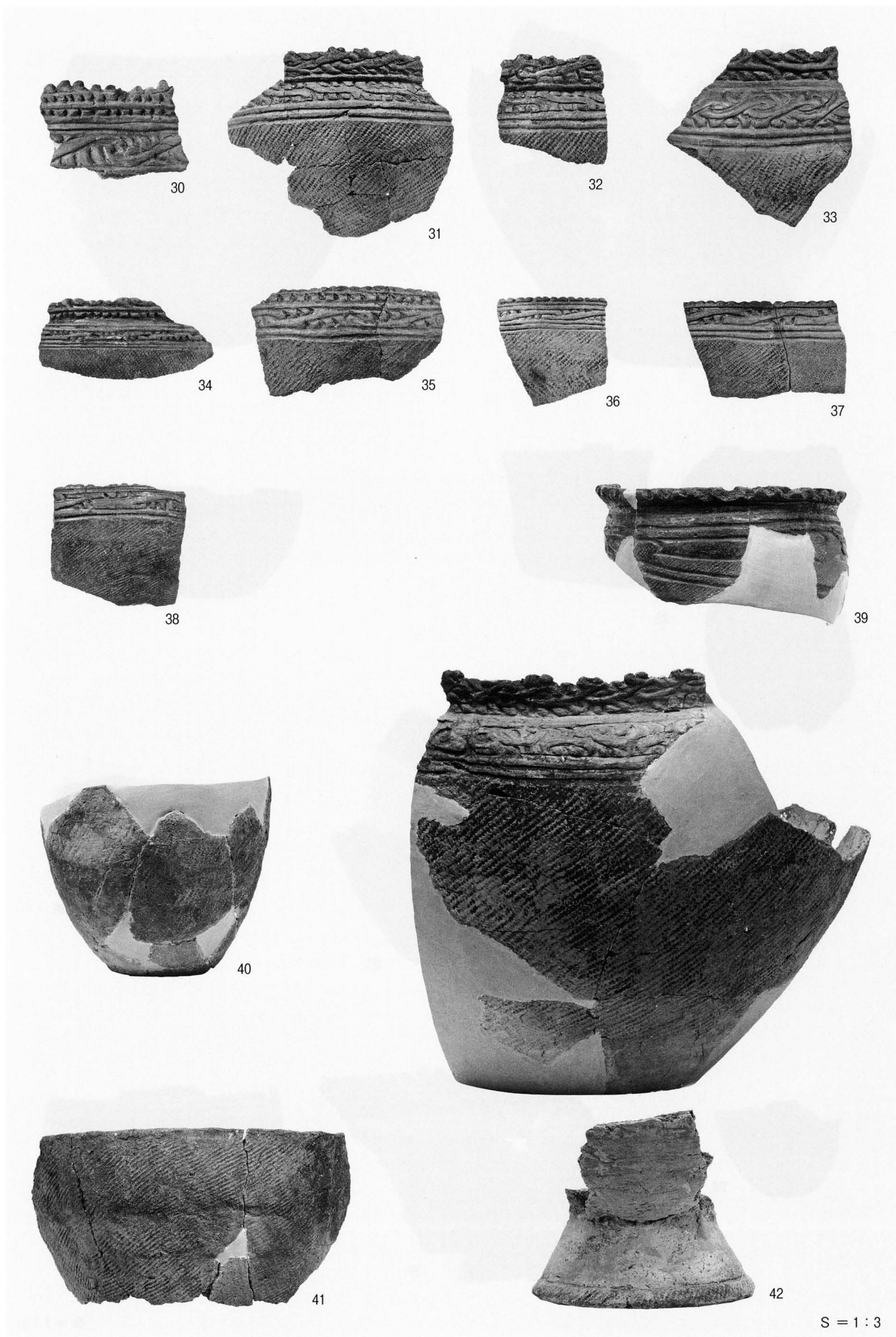
S = 1 : 3



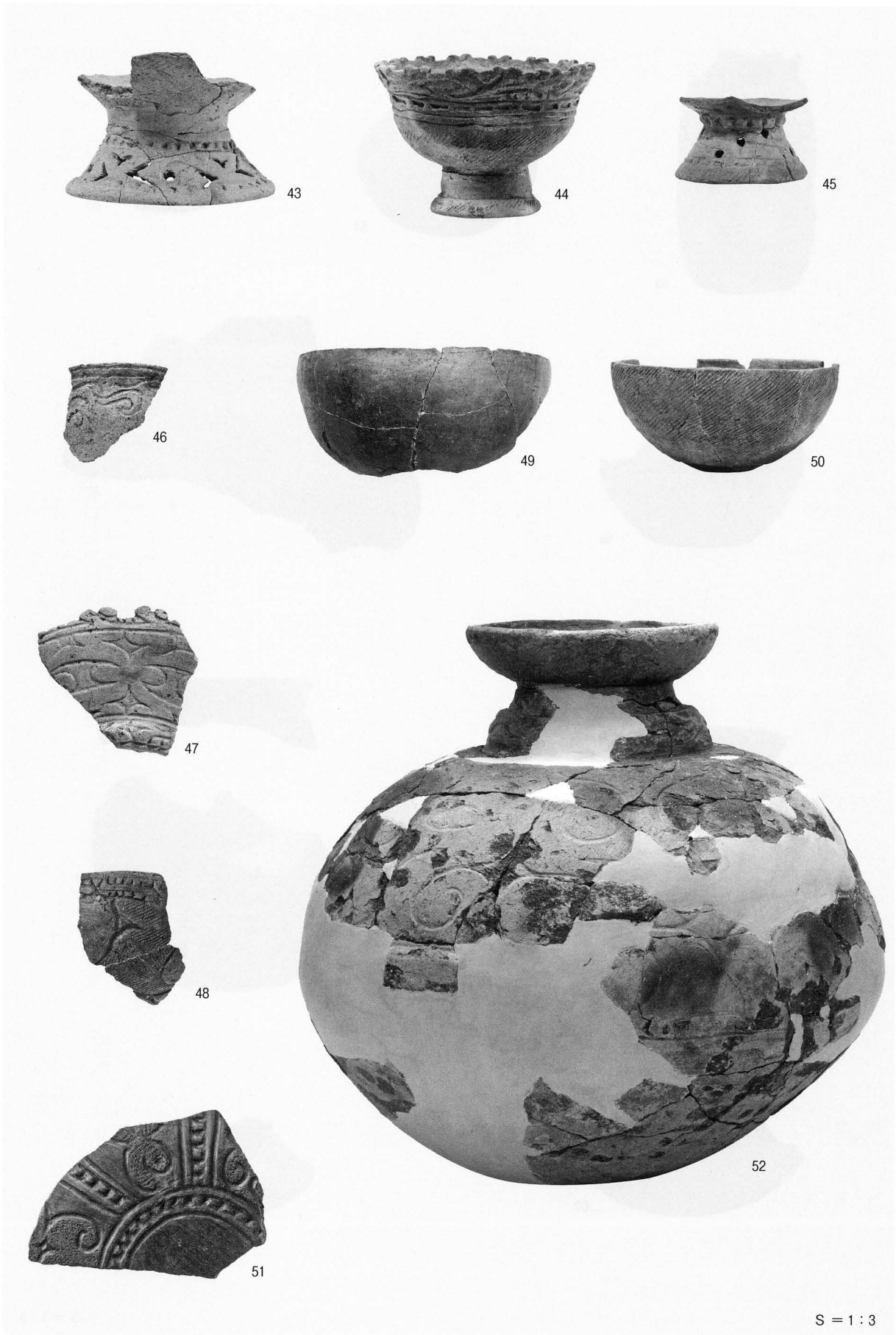
写真図版30 遺物包含層出土土器 (3)



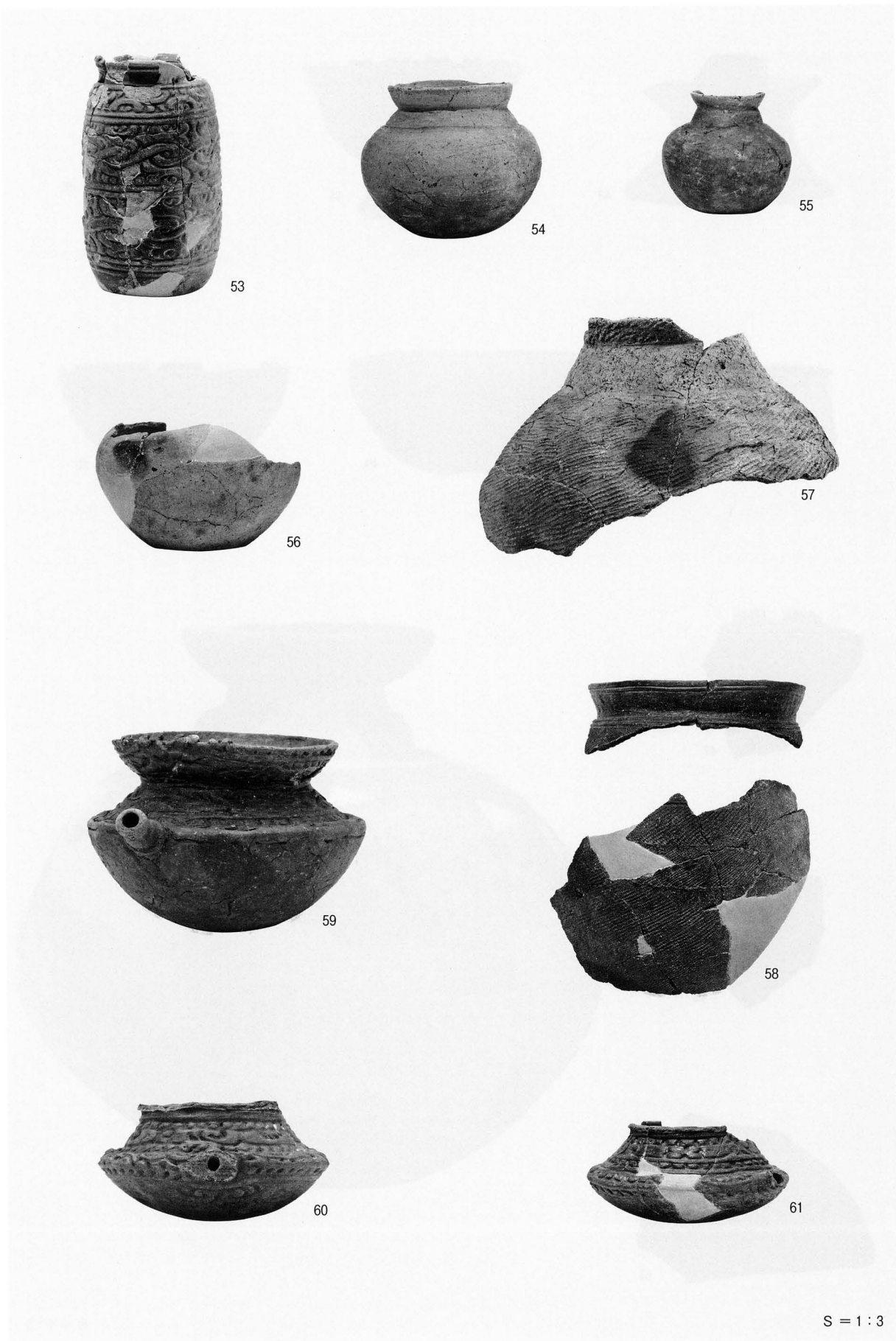
写真図版31 遺物包含層出土土器 (4)



写真図版32 遺物包含層出土土器 (5)



写真図版33 遺物包含層出土土器 (6)



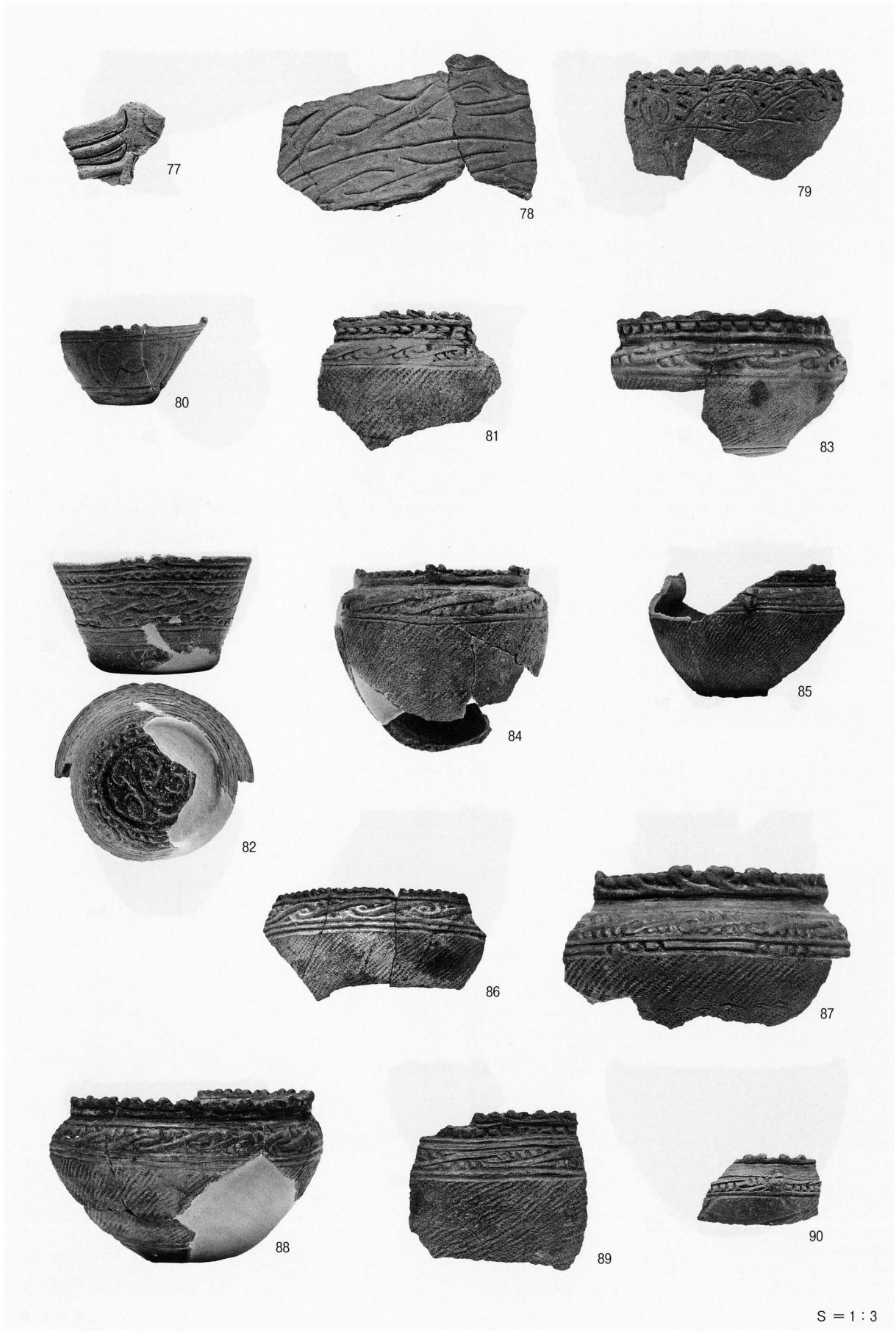
写真図版34 遺物包含層出土土器 (7)



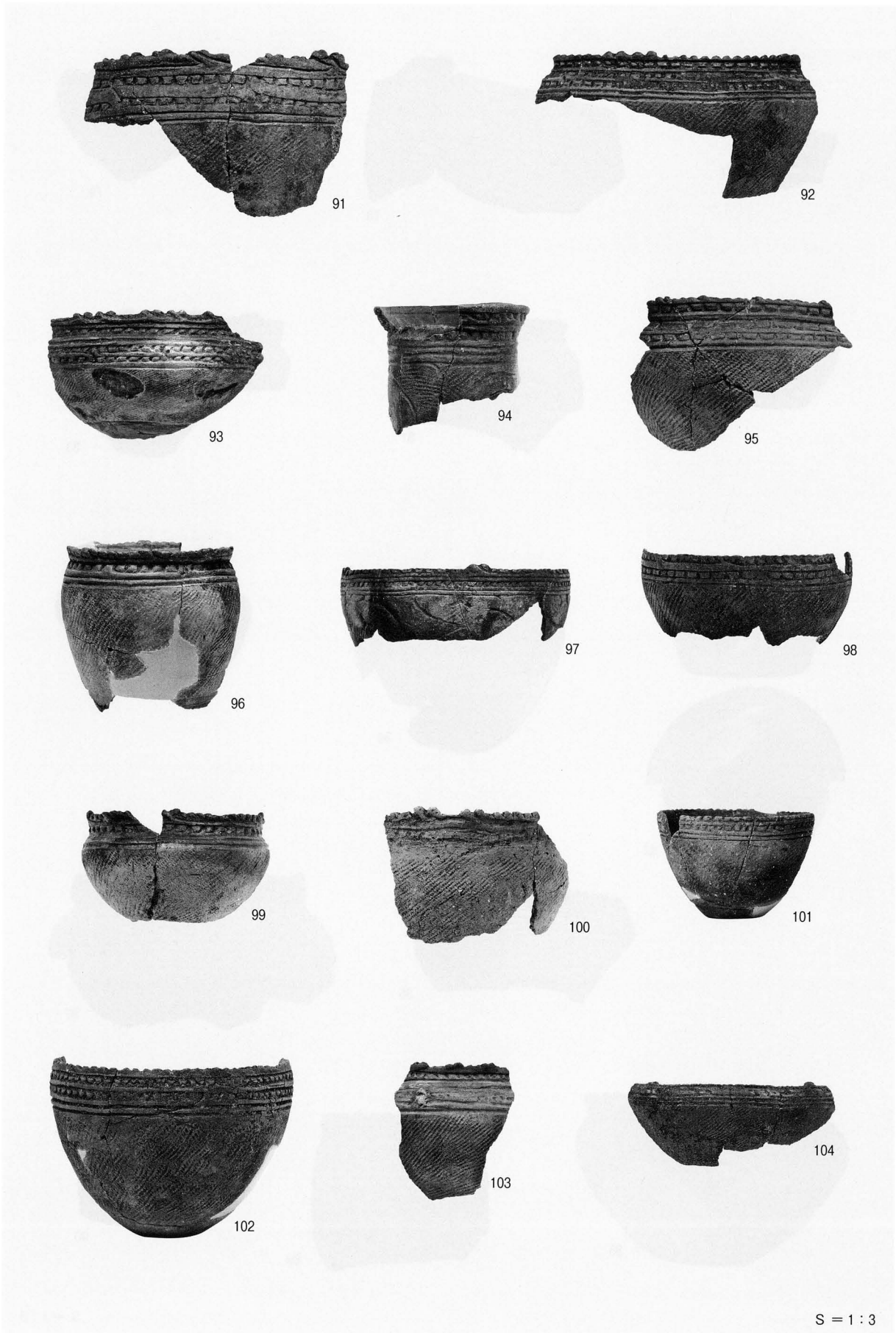
写真図版35 遺物包含層出土土器（8）



写真図版36 遺物包含層出土土器 (9)

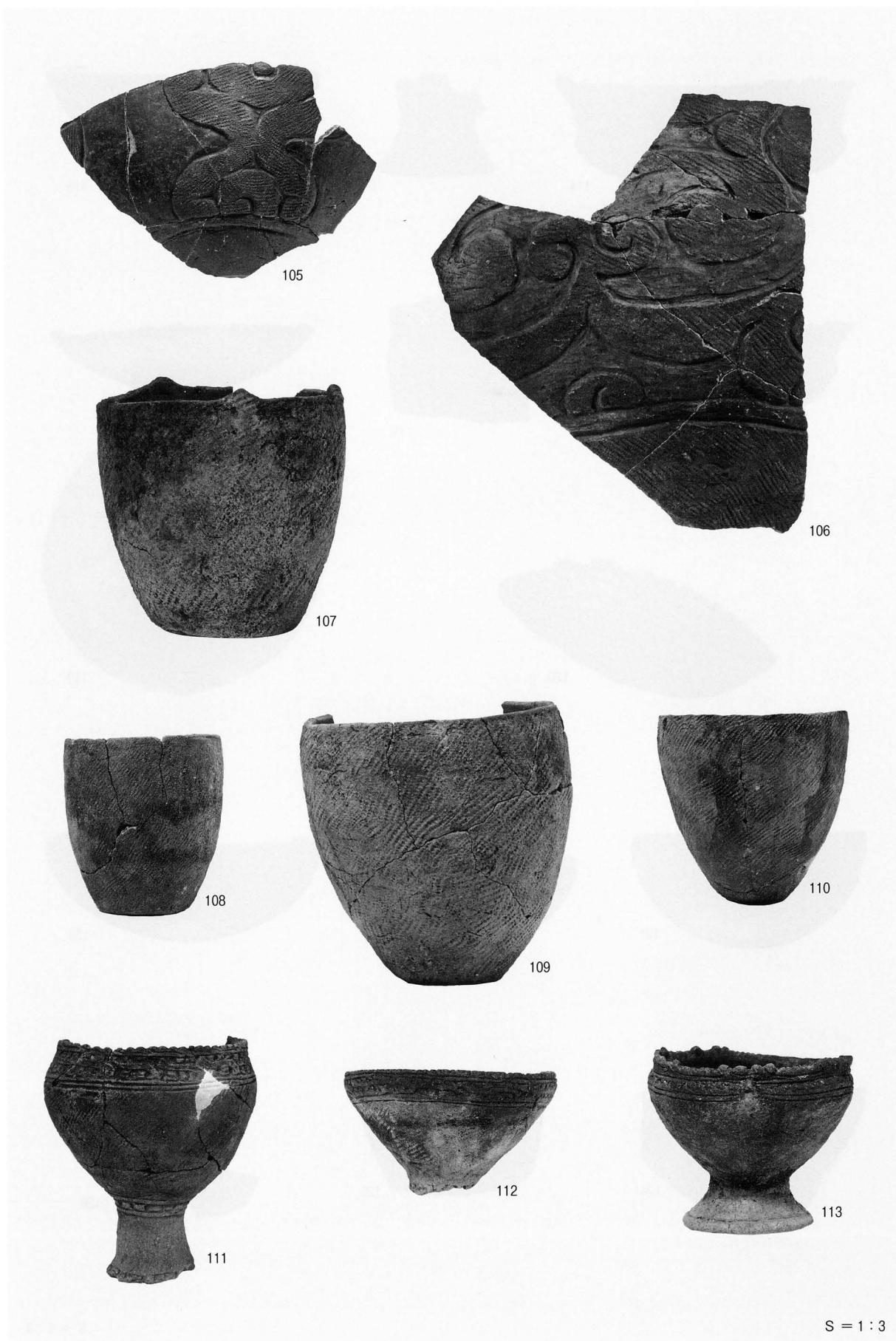


写真図版37 遺物包含層出土土器 (10)

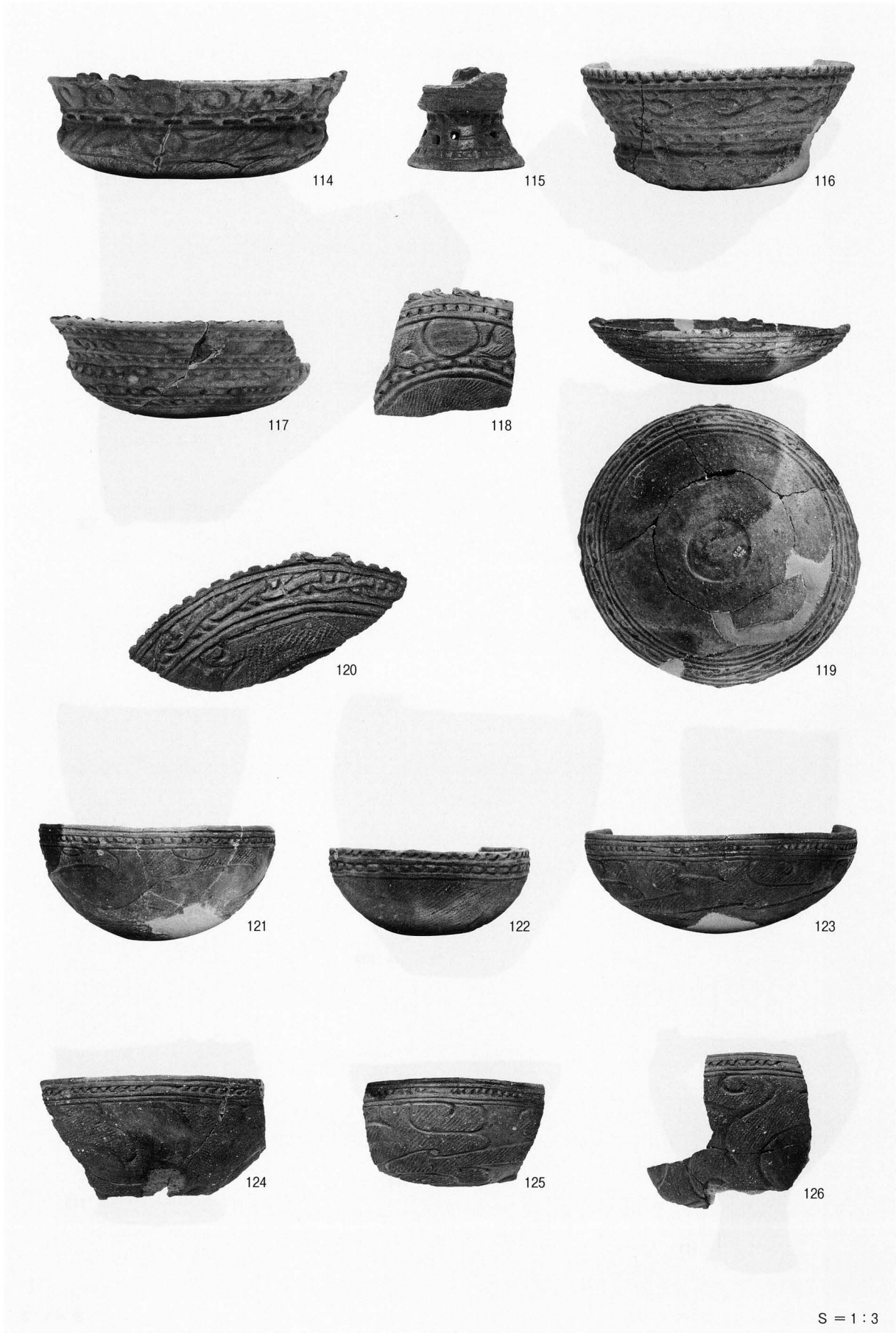


S = 1 : 3

写真図版38 遺物包含層出土土器 (11)



写真図版39 遺物包含層出土土器 (12)



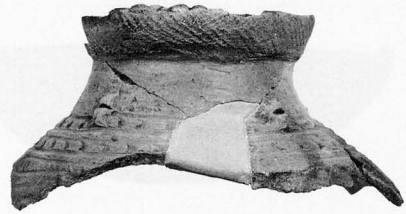
写真図版40 遺物包含層出土土器 (13)



写真図版41 遺物包含層出土土器 (14)



136



137



138



139



142



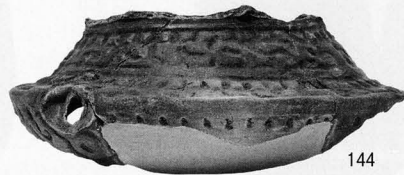
141



140



143



144

S = 1 : 3

写真図版42 遺物包含層出土土器 (15)



145



146



147



148



149



150



152

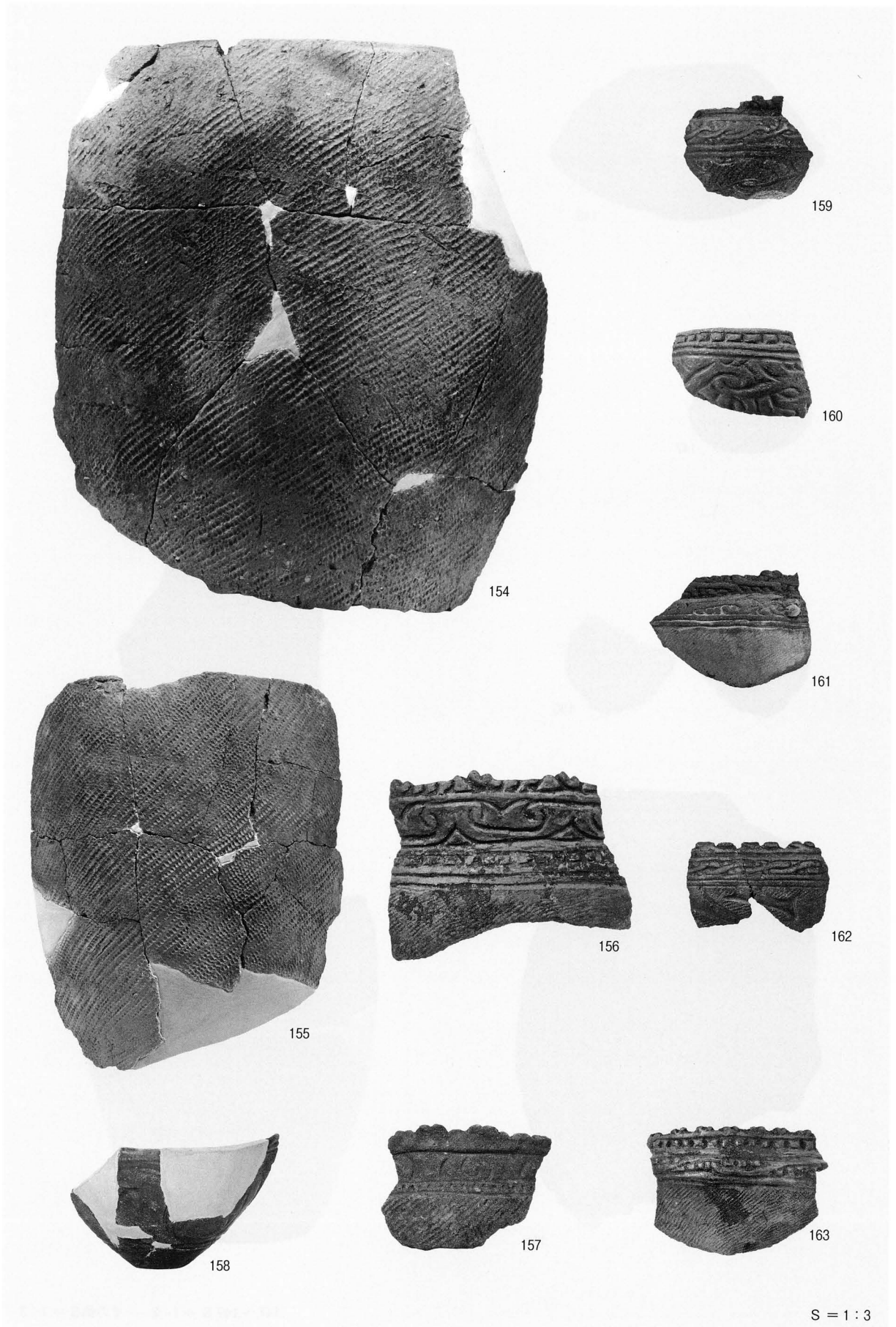


151

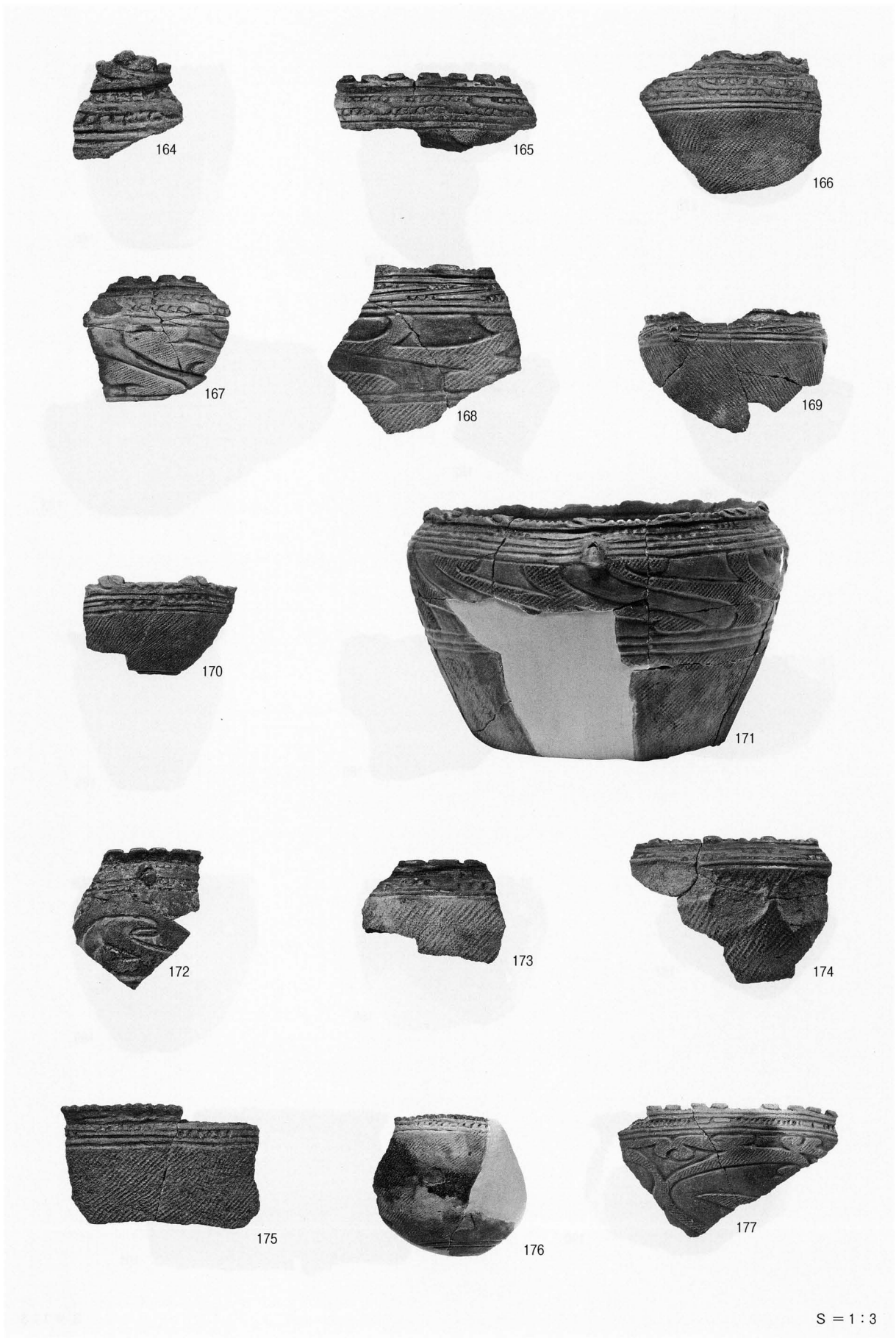


153

147 ~ 149 S = 1 : 2 その他 S = 1 : 3

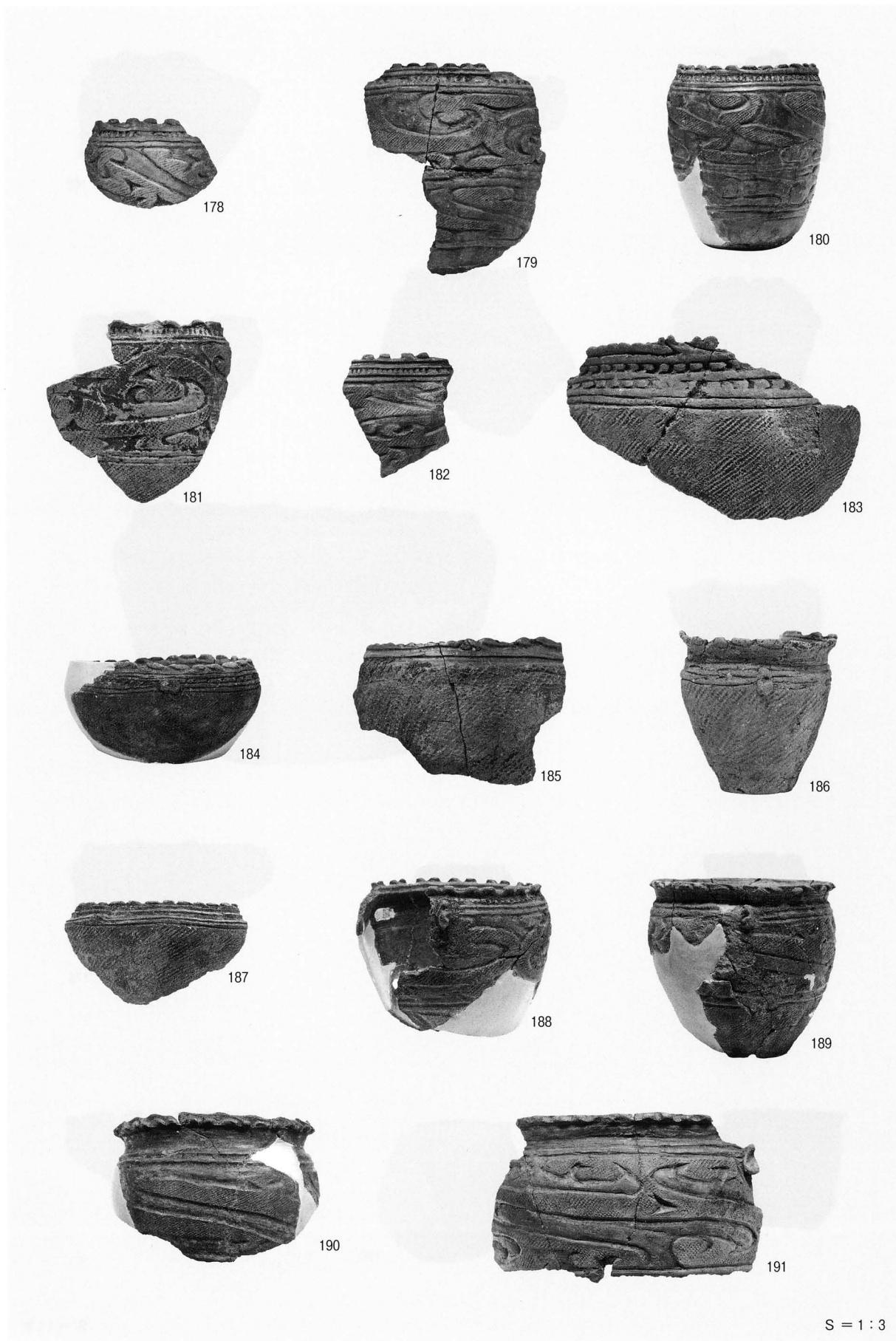


写真図版44 遺物包含層出土土器 (17)



写真図版45 遺物包含層出土土器 (18)

S = 1 : 3



写真図版46 遺物包含層出土土器 (19)



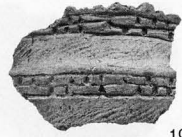
192



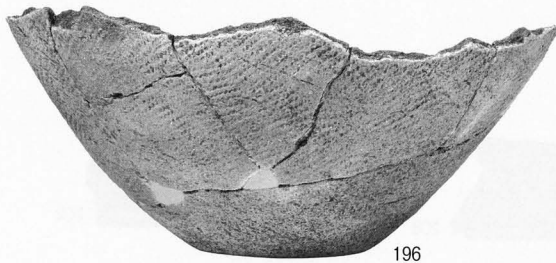
193



194



195



196



197



200



198



199



201

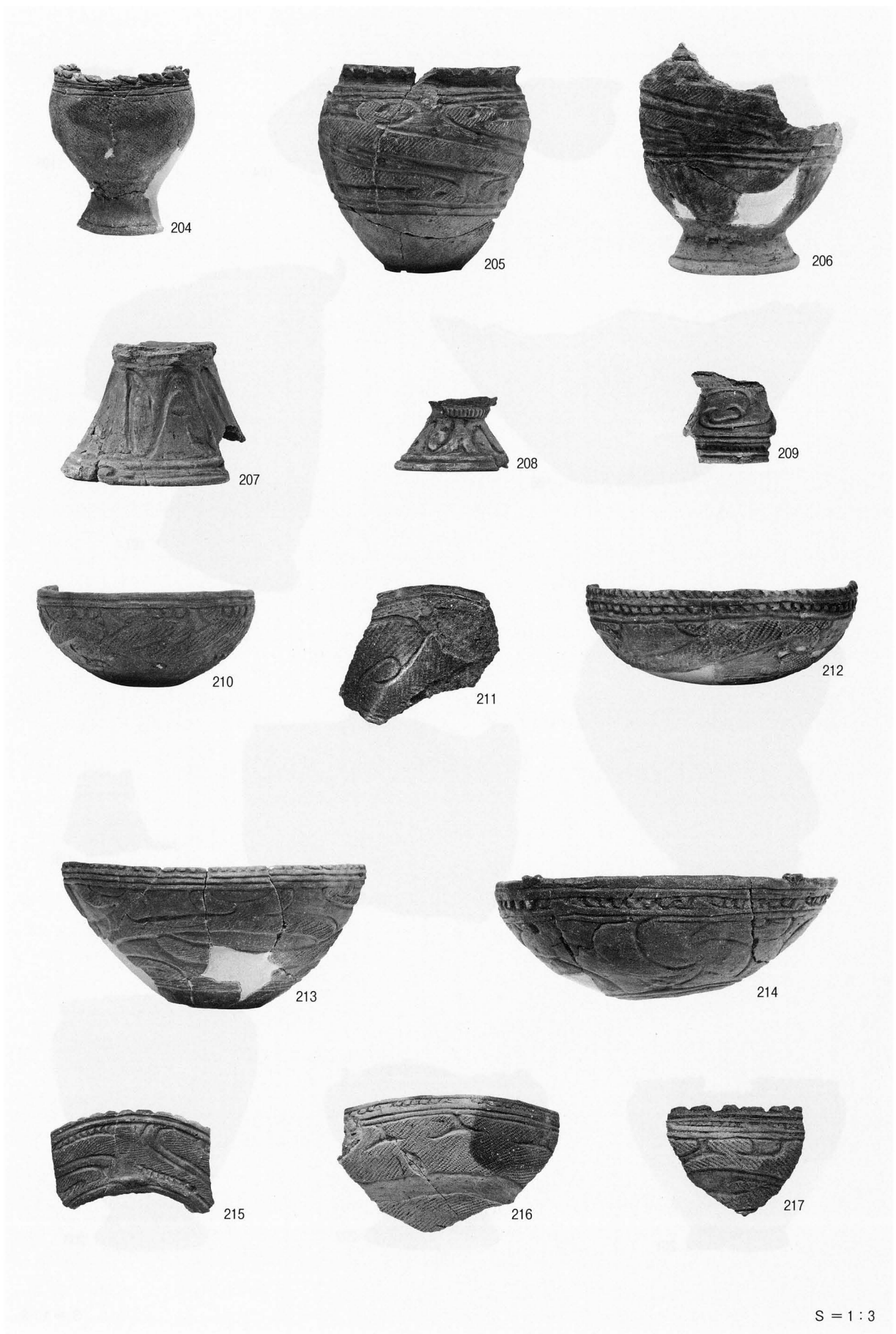


202

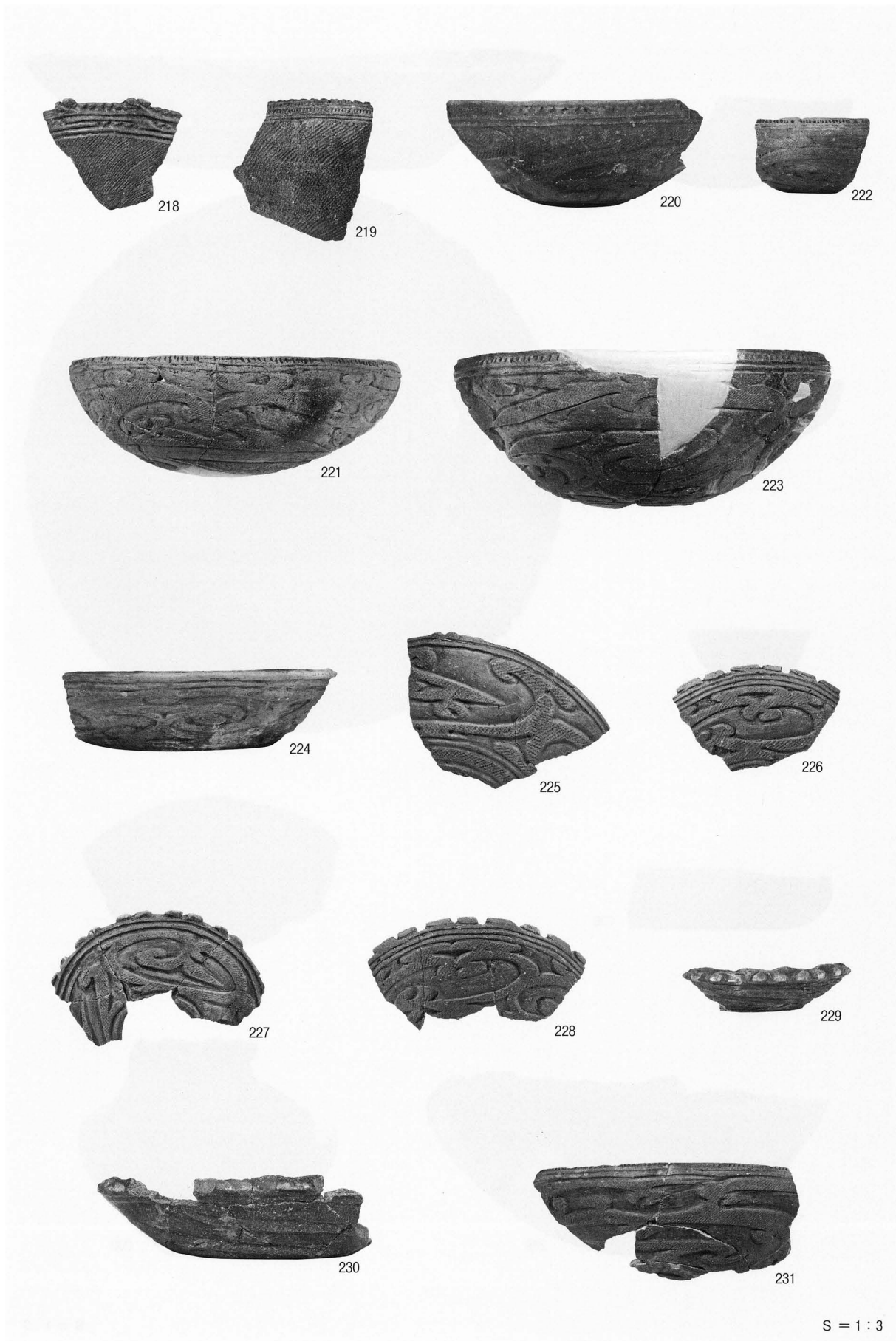


203

S = 1 : 3



写真図版48 遺物包含層出土土器 (21)



写真図版49 遺物包含層出土土器 (22)



写真図版50 遺物包含層出土土器 (23)



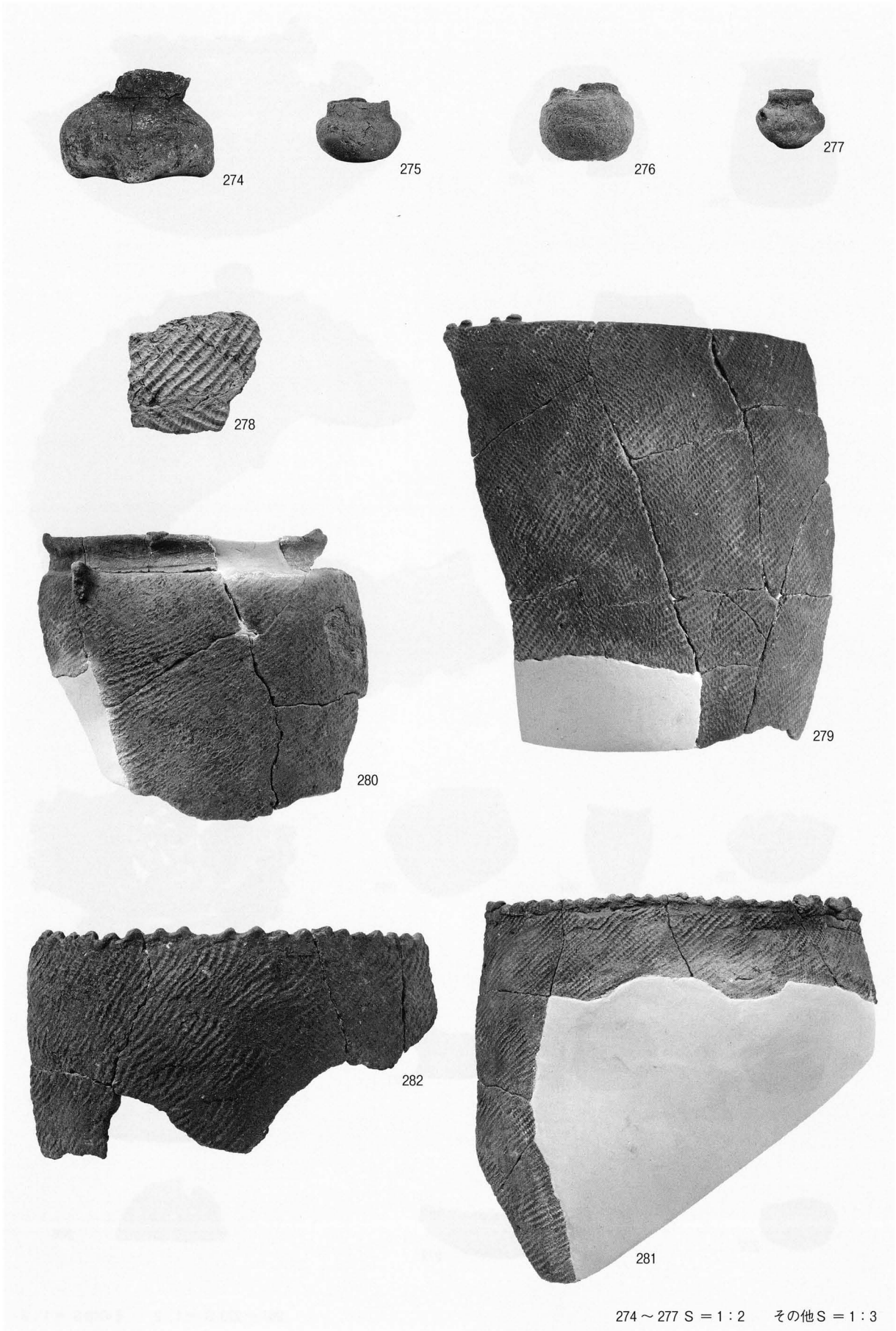
写真図版51 遺物包含層出土土器 (24)



写真図版52 遺物包含層出土土器 (25)



写真図版53 遺物包含層出土土器 (26)



写真図版54 遺物包含層出土土器 (27)



283



284

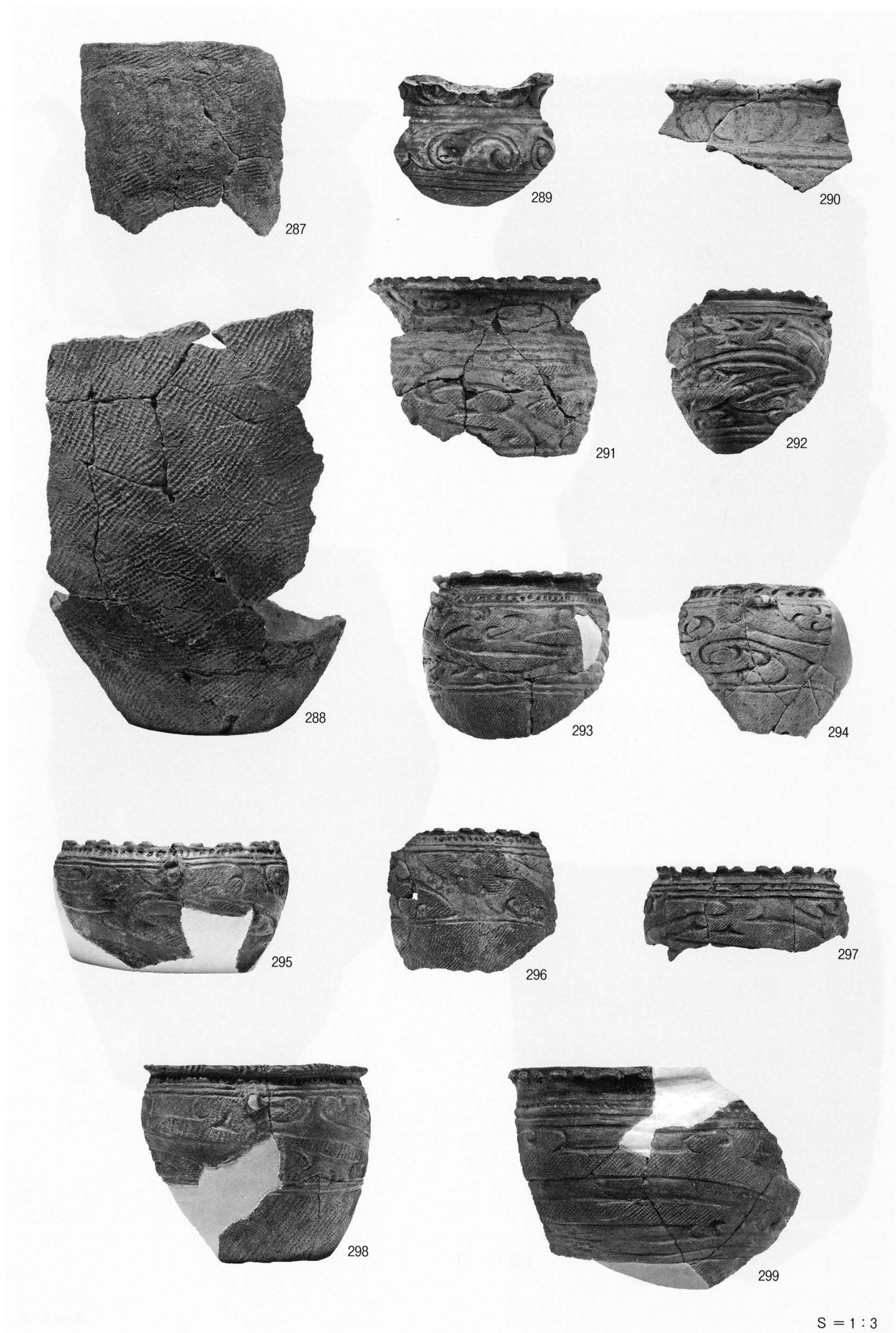


285



286

S = 1 : 3



S = 1 : 3

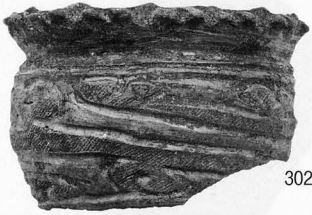
写真図版56 遺物包含層出土土器 (29)



300



301



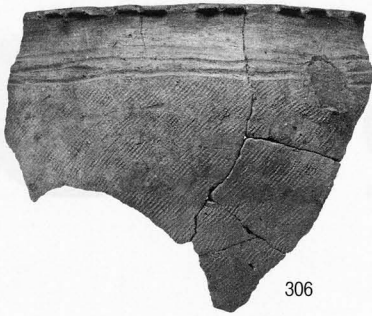
302



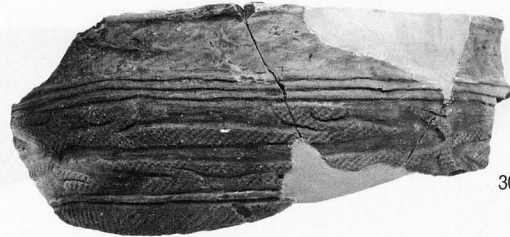
303



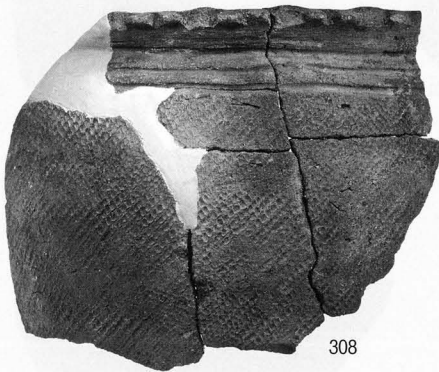
304



306



305



308



307

S = 1 : 3



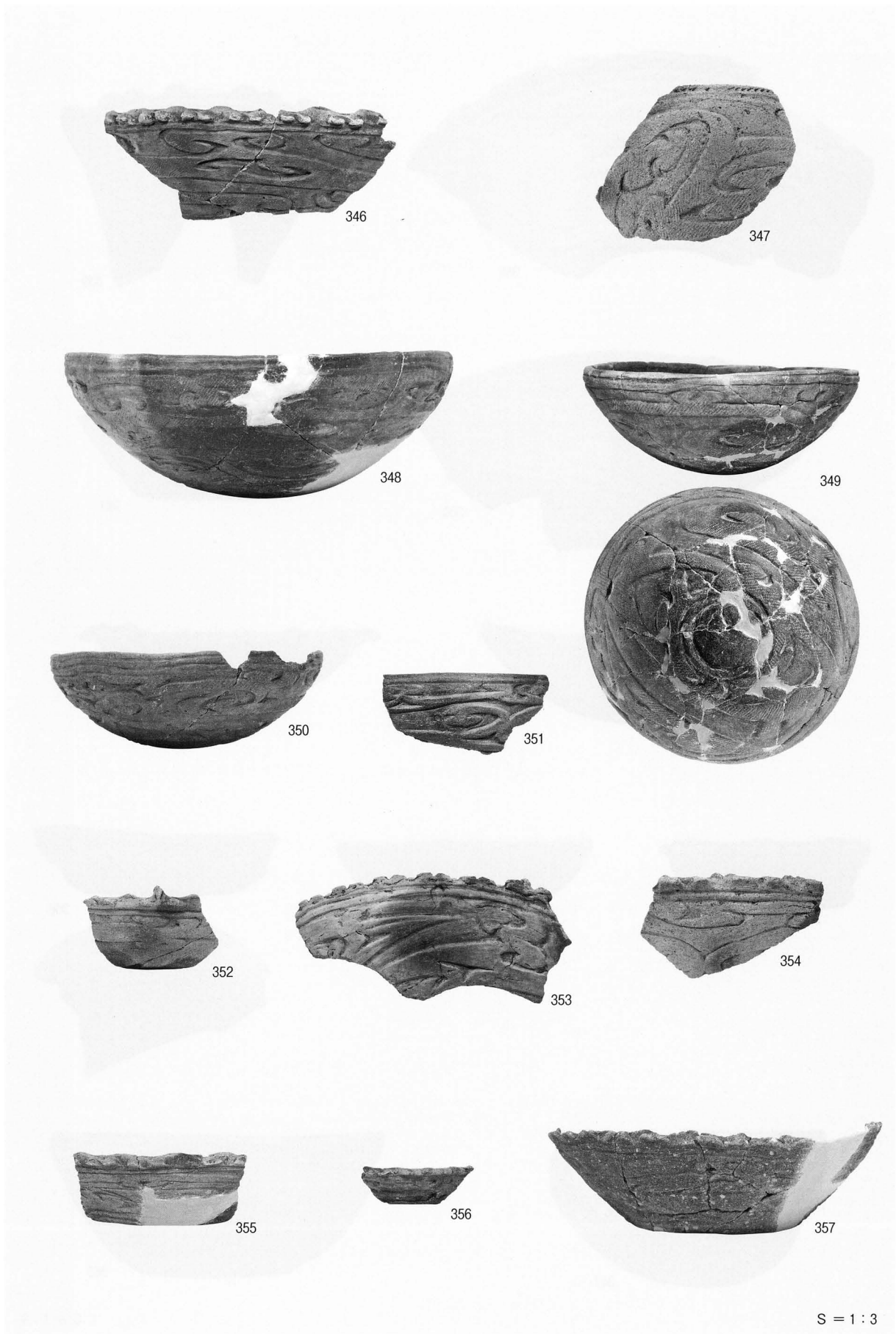
写真図版58 遺物包含層出土土器 (31)



写真図版59 遺物包含層出土土器 (32)



写真図版60 遺物包含層出土土器 (33)



写真図版61 遺物包含層出土土器 (34)



358



359



360



361



362



365



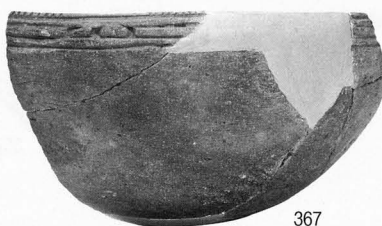
363



364



366

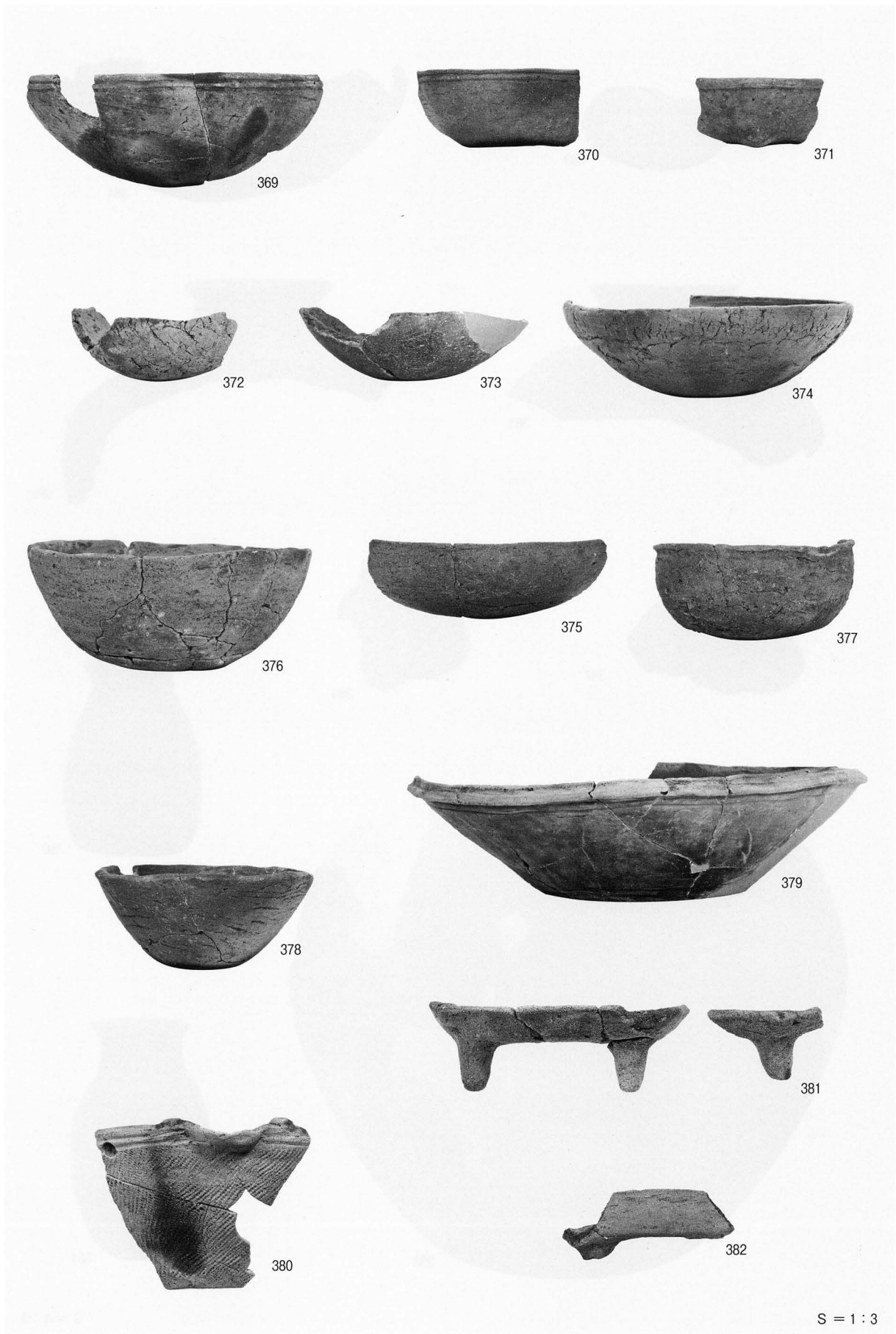


367



368

S = 1 : 3



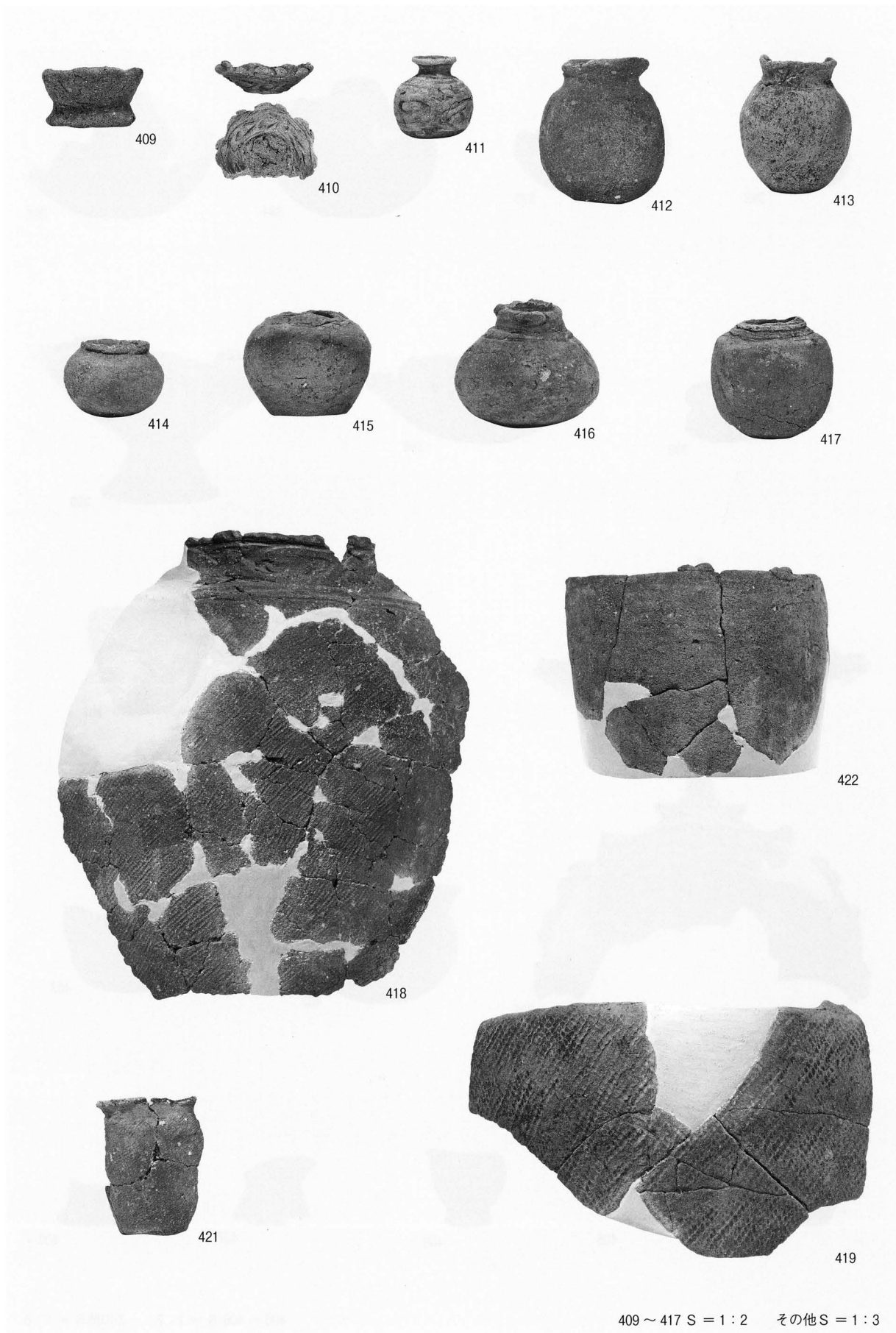
写真図版63 遺物包含層出土土器 (36)



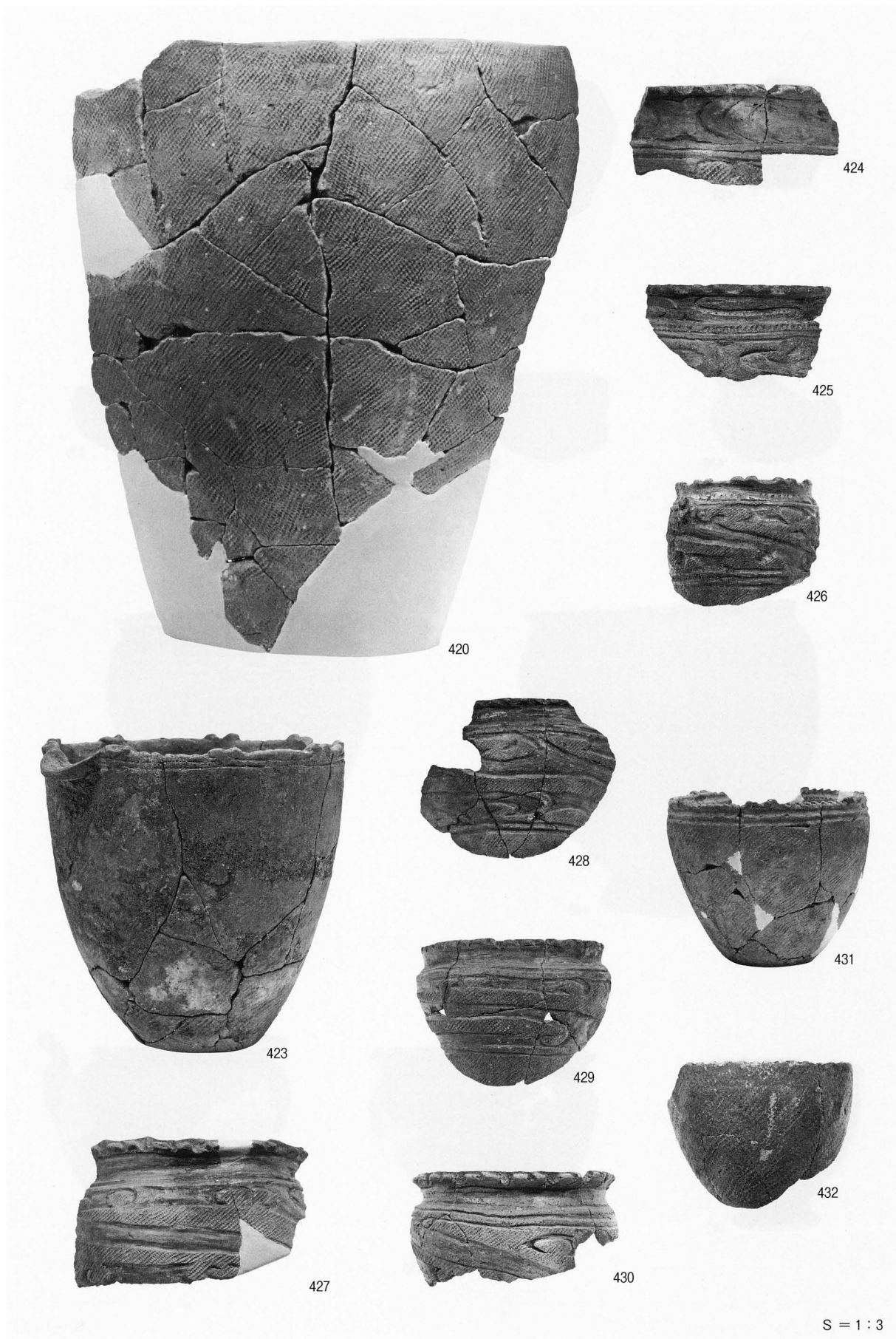
写真図版64 遺物包含層出土土器 (37)



写真図版65 遺物包含層出土土器 (38)



写真図版66 遺物包含層出土土器 (39)



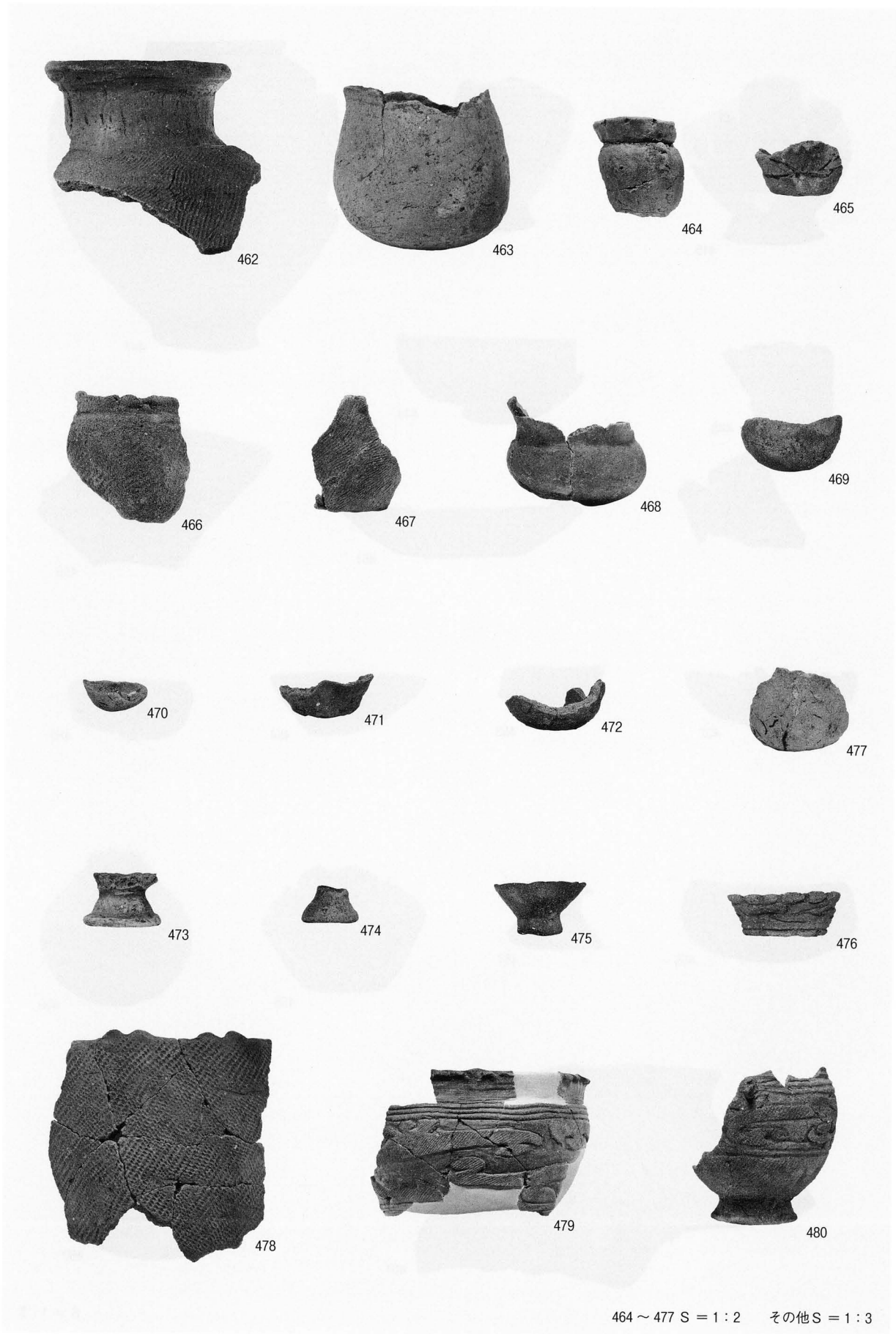
写真図版67 遺物包含層出土土器 (40)



写真図版68 遺物包含層出土土器 (41)



写真図版69 遺物包含層出土土器 (42)



写真図版70 遺物包含層出土土器 (43)



481



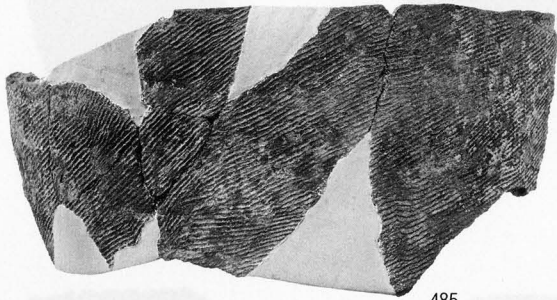
482



483



484



485



486



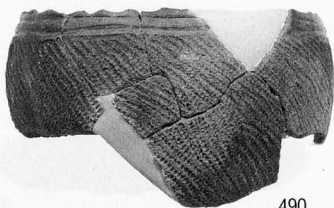
487



488



489



490

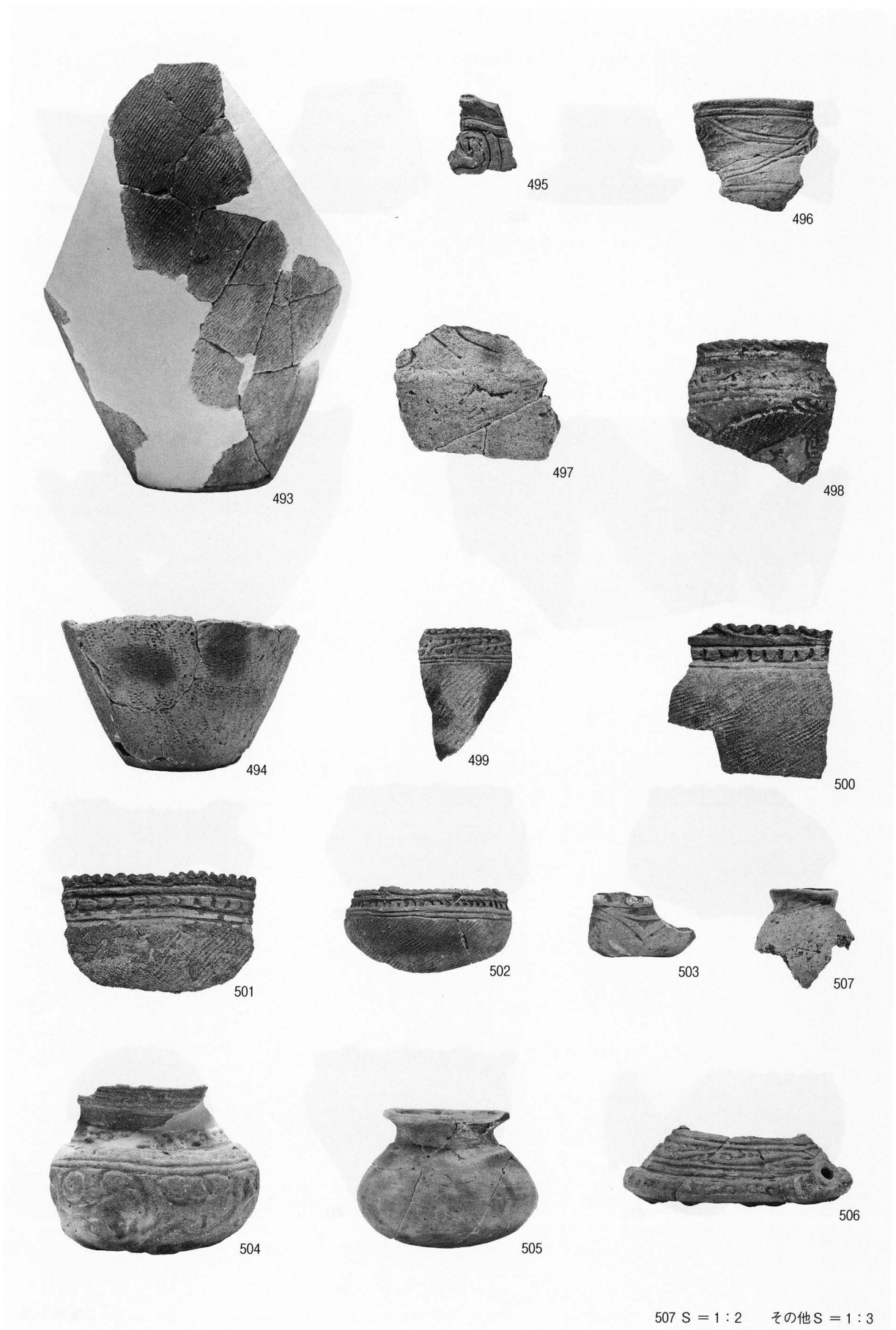


491



492

S = 1 : 3



写真図版72 遺構外出土土器（1）



写真図版73 遺構外出土土器 (2)



522



523



524



525



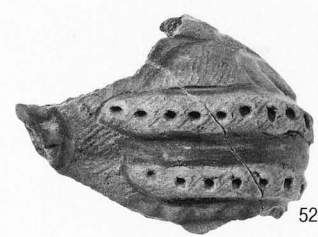
528



526



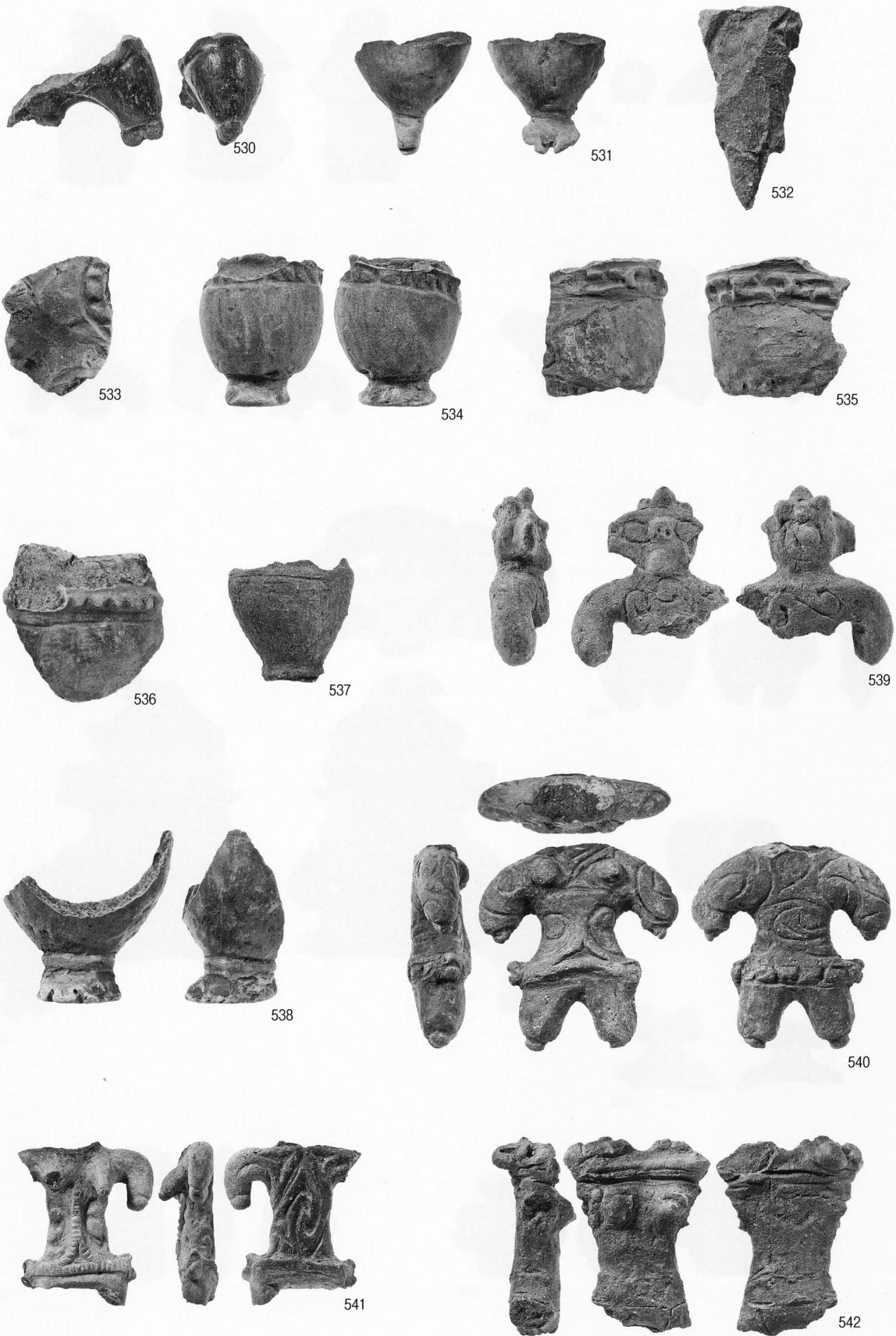
527



529

S = 1 : 2

写真図版74 土坑・遺物包含層出土土製品 (1)



S = 1 : 2

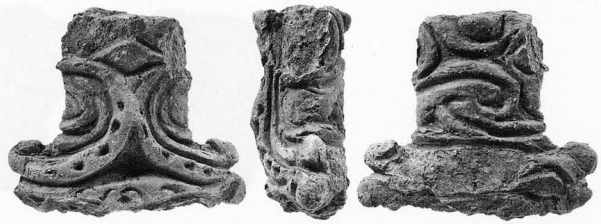
写真図版75 遺物包含層出土土製品 (2)



写真図版76 遺物包含層出土土製品 (3)



553



554



555



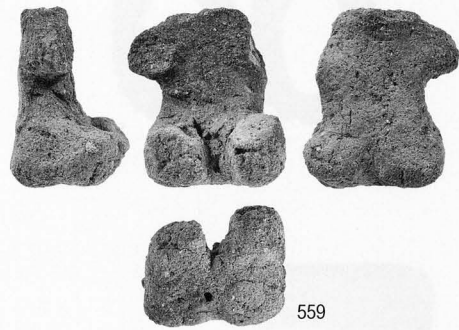
556



558



557



559



560



561



562



563

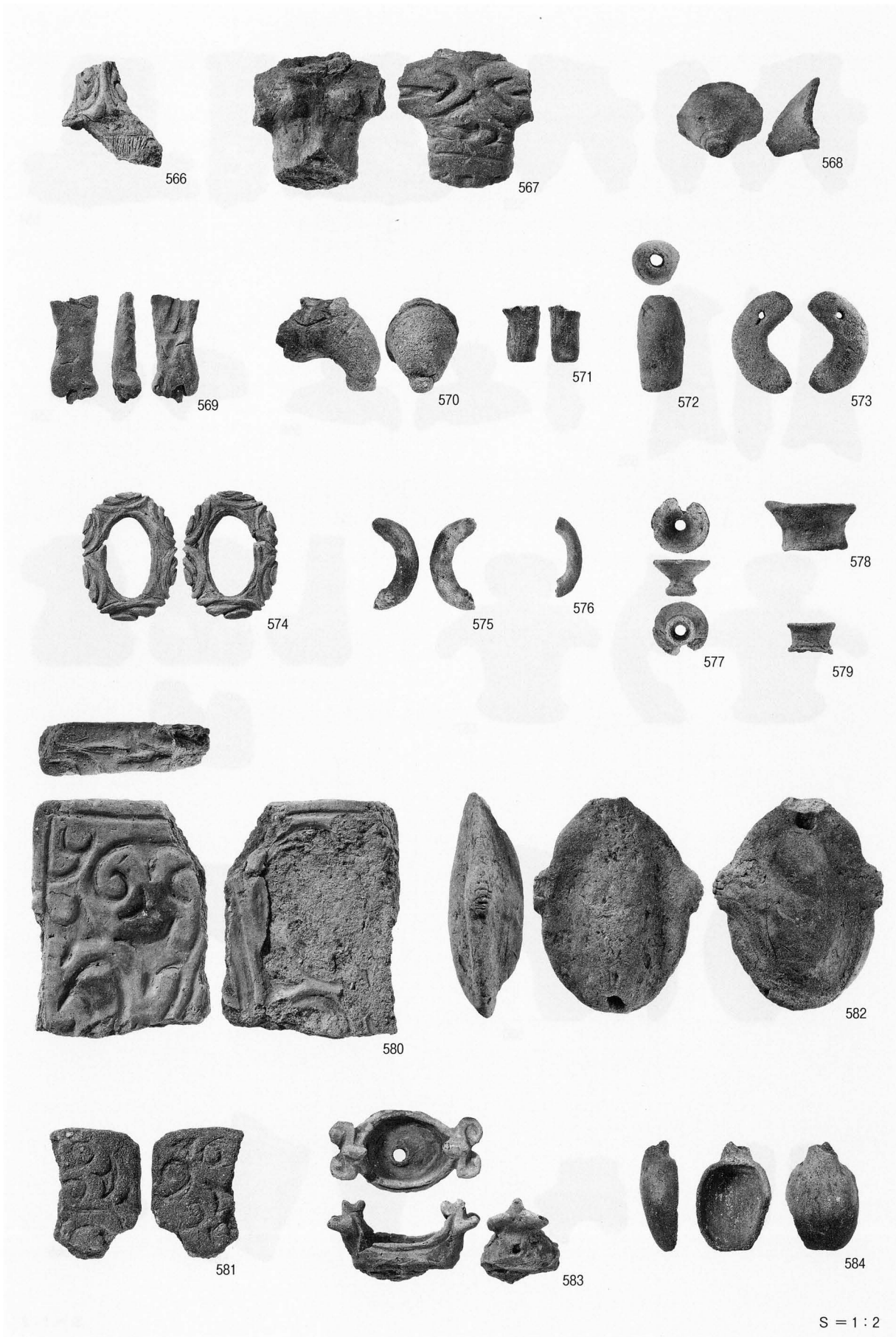


564

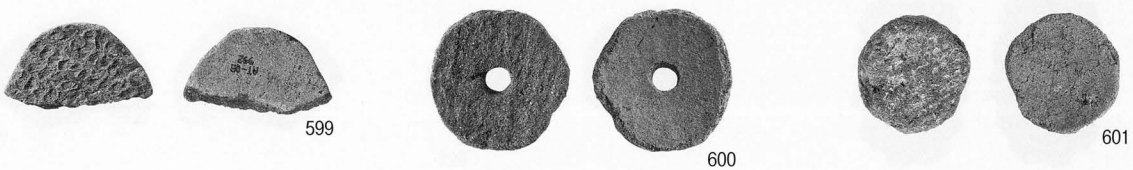
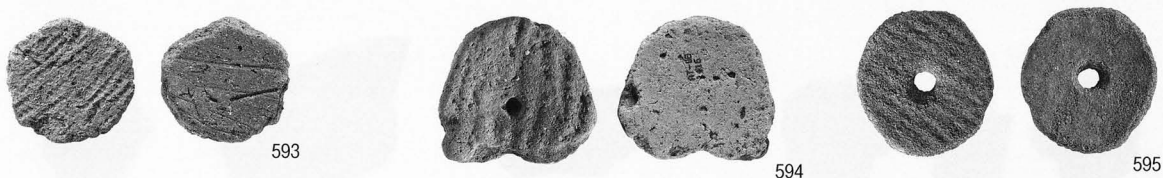


565

S = 1 : 2

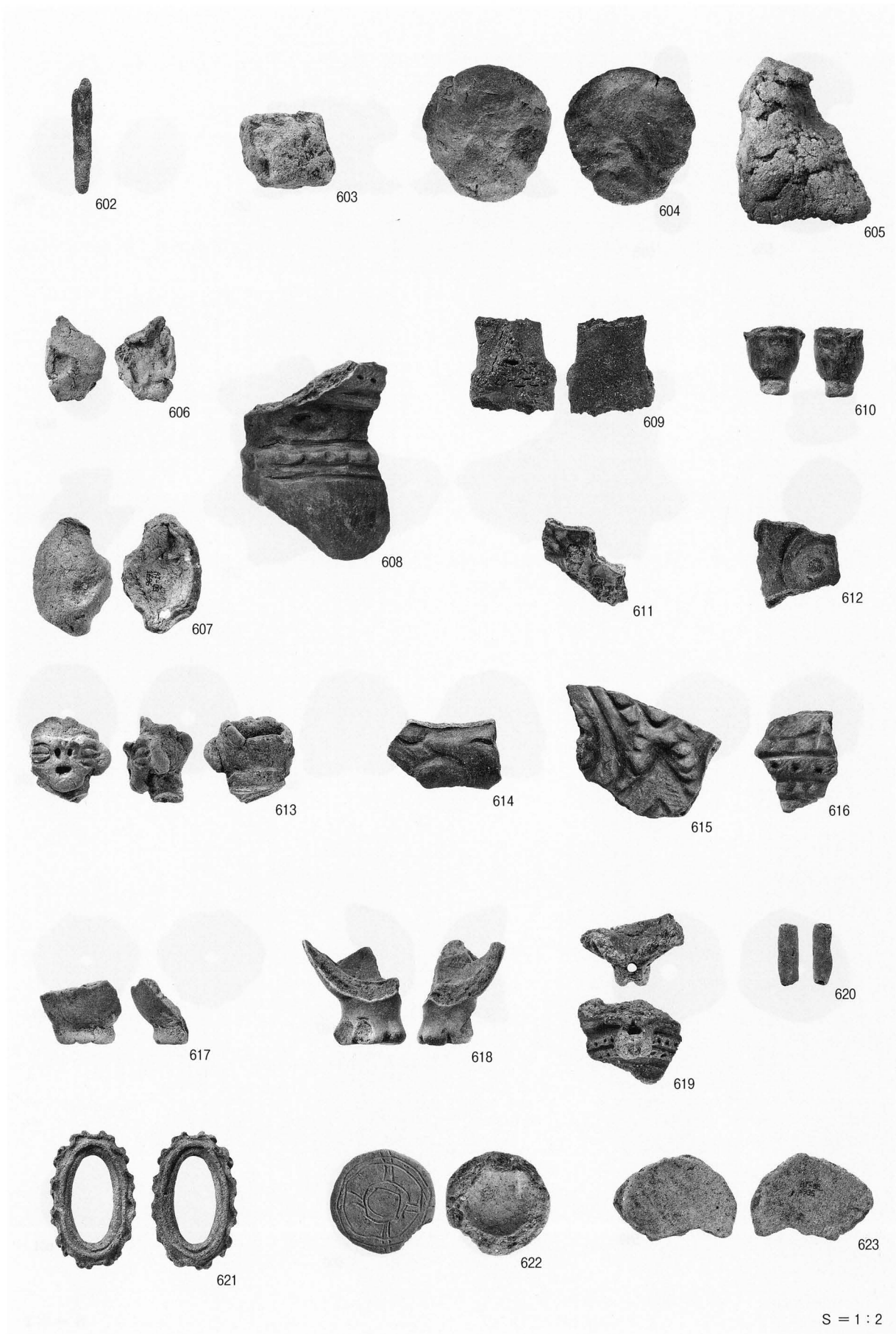


写真図版78 遺物包含層出土土製品 (5)

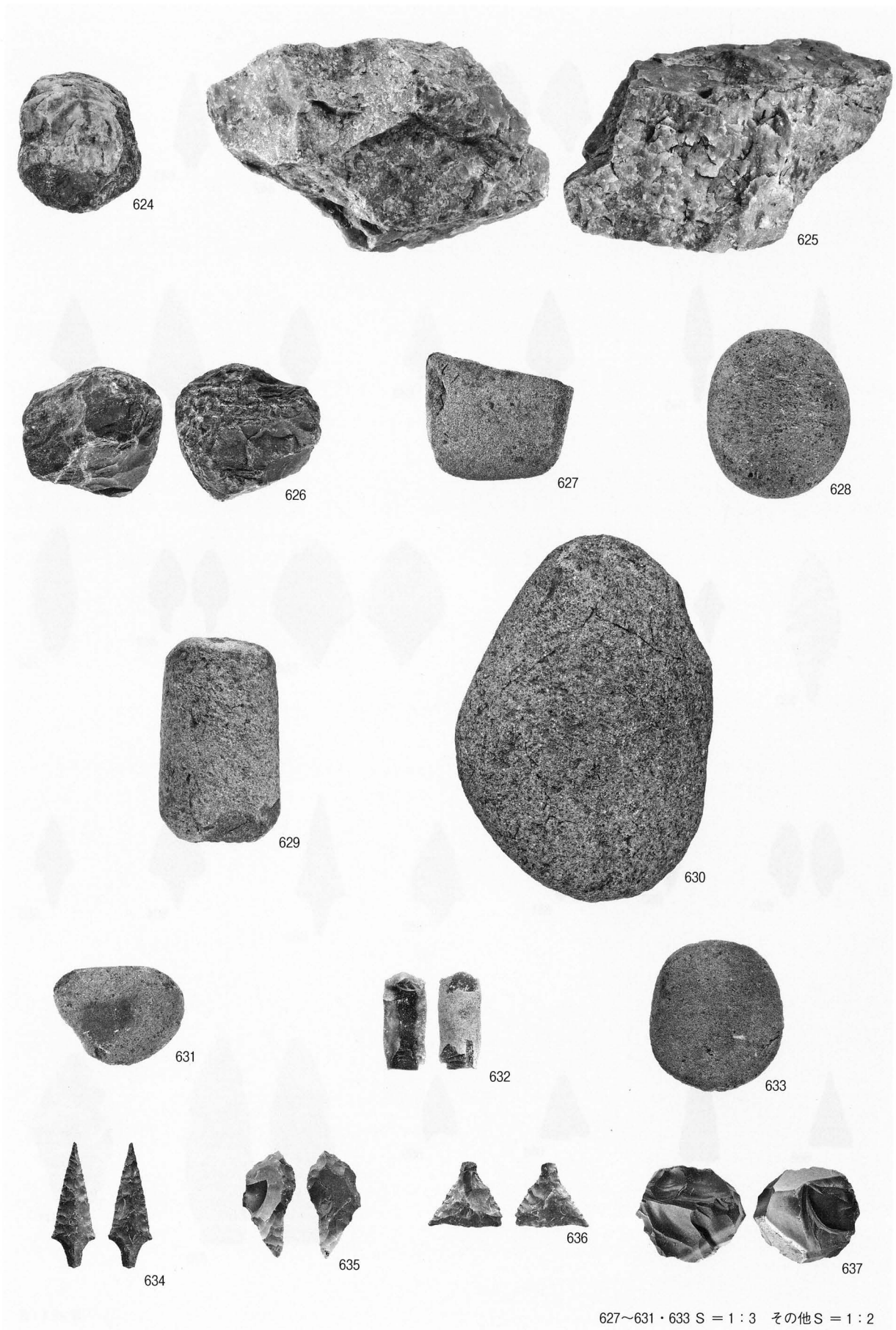


S = 1 : 2

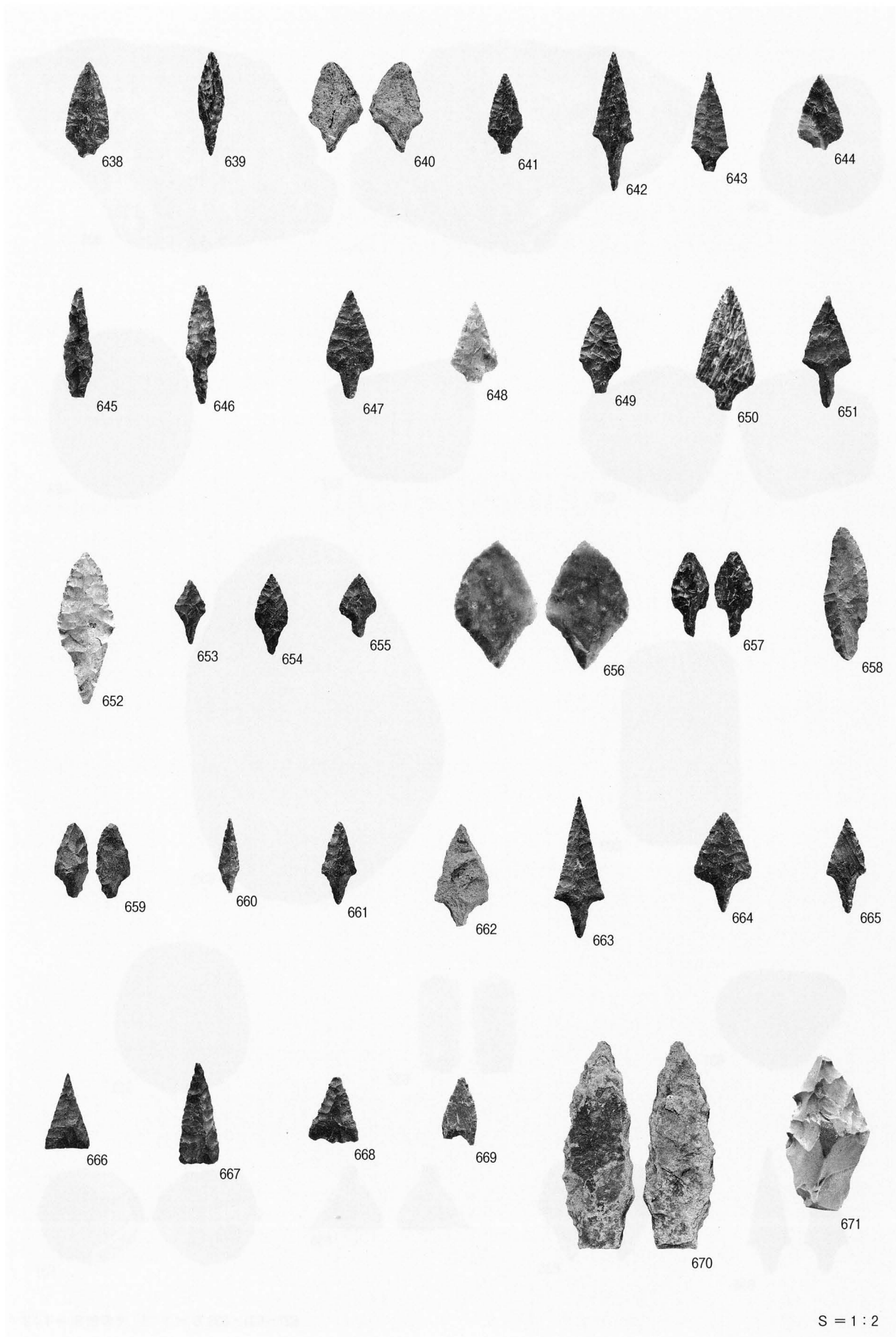
写真図版79 遺物包含層出土土製品 (6)



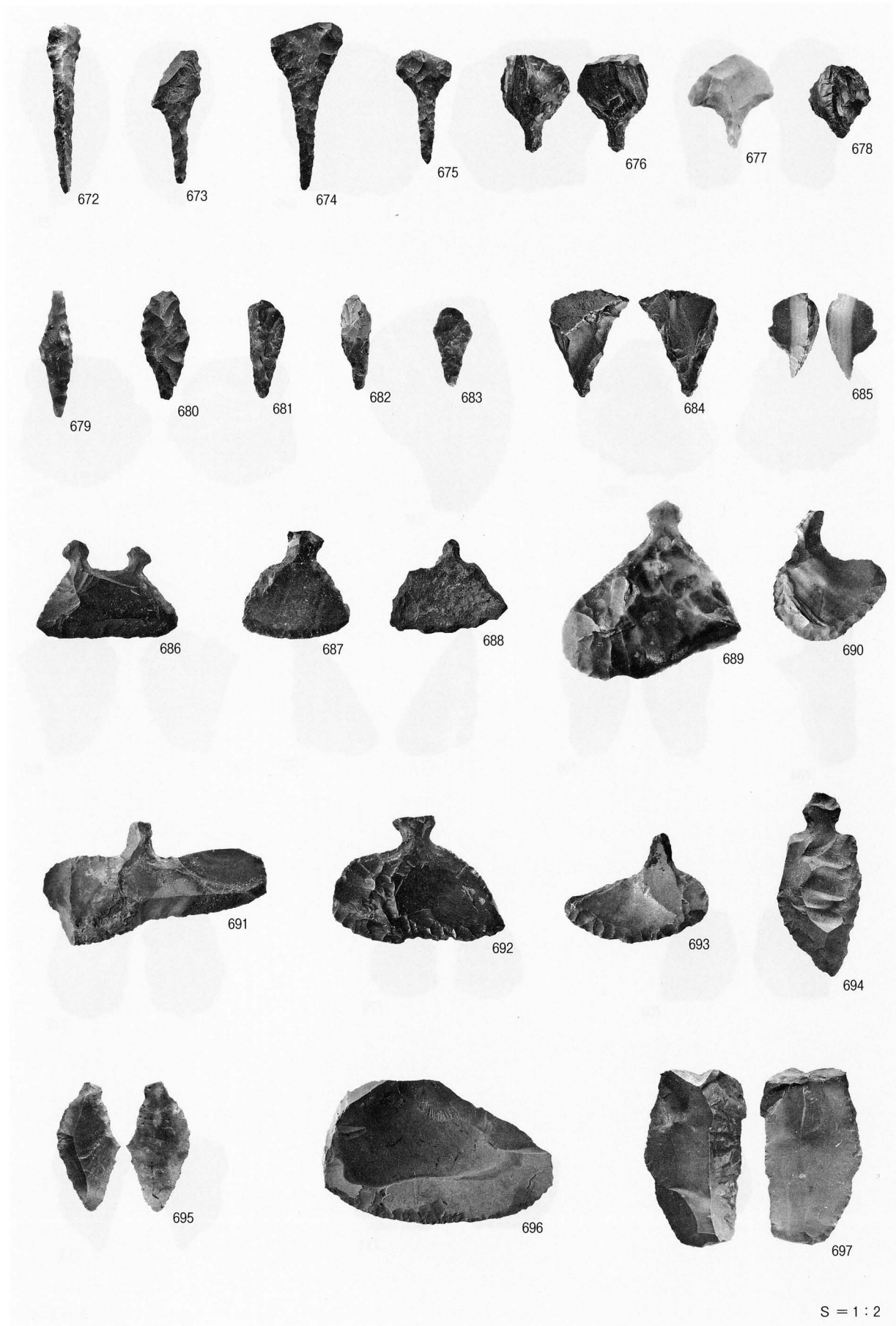
写真図版80 遺物包含層出土土製品（7）、遺構外出土土製品



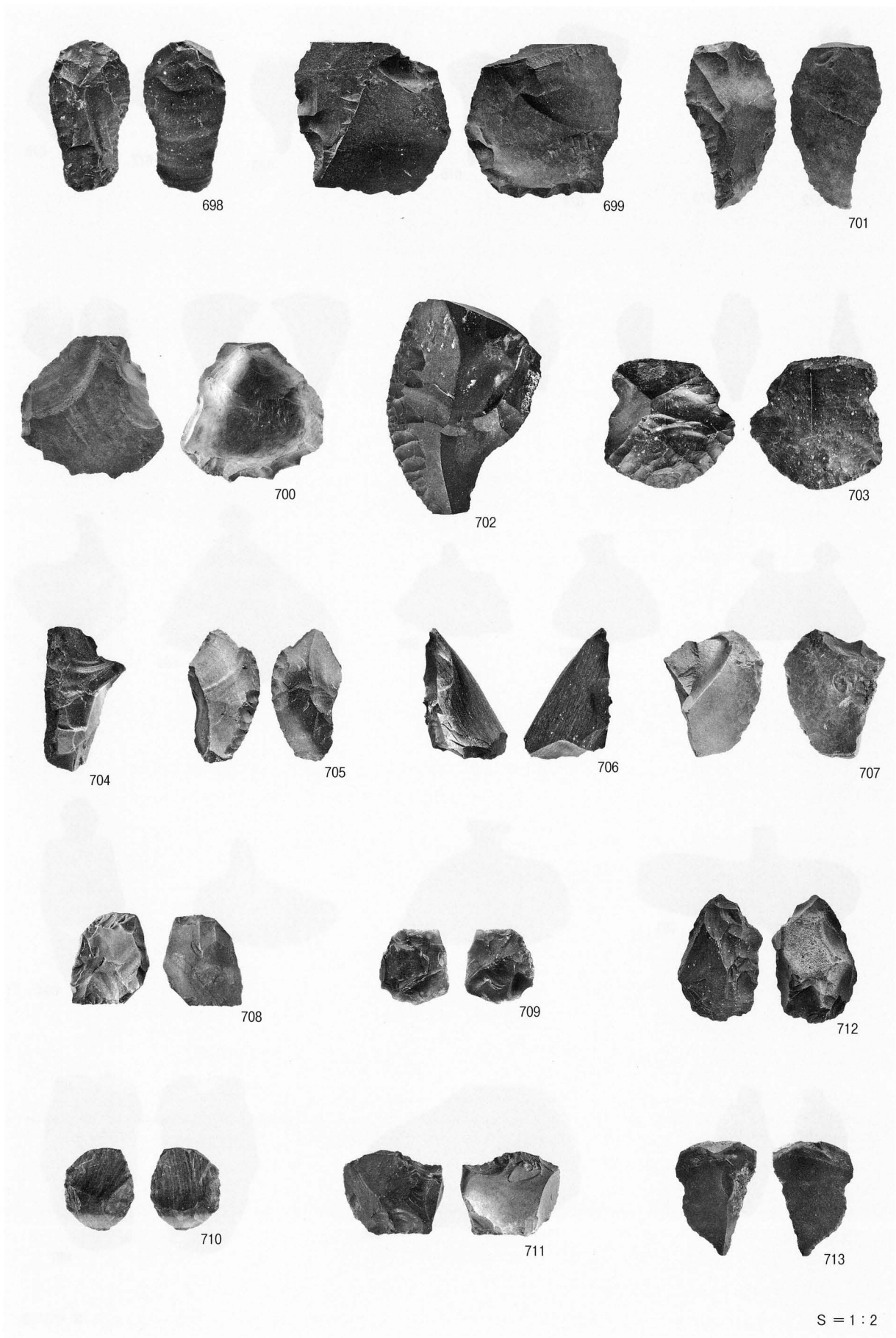
写真図版81 土坑・柱穴状土坑・溝出土石器



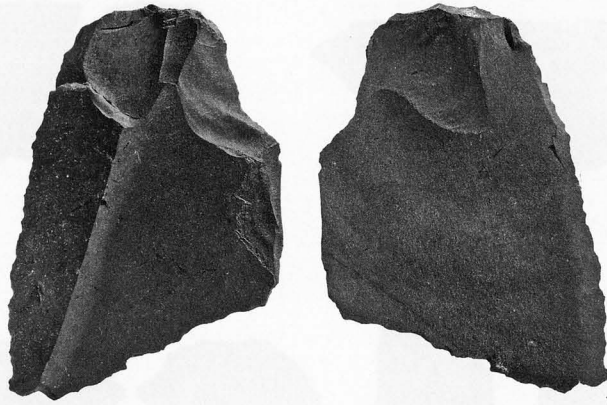
写真図版82 遺物包含層出土石器（1）



写真図版83 遺物包含層出土石器（2）



写真図版84 遺物包含層出土石器 (3)



714



715



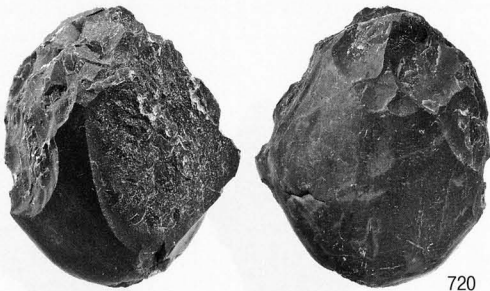
716



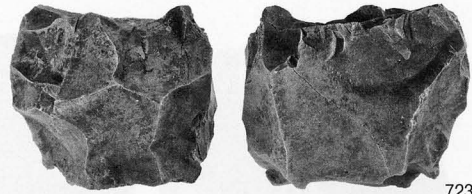
717



718



720



723



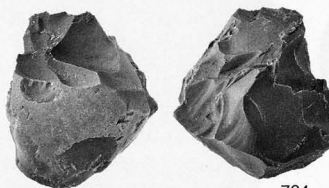
719



721



722

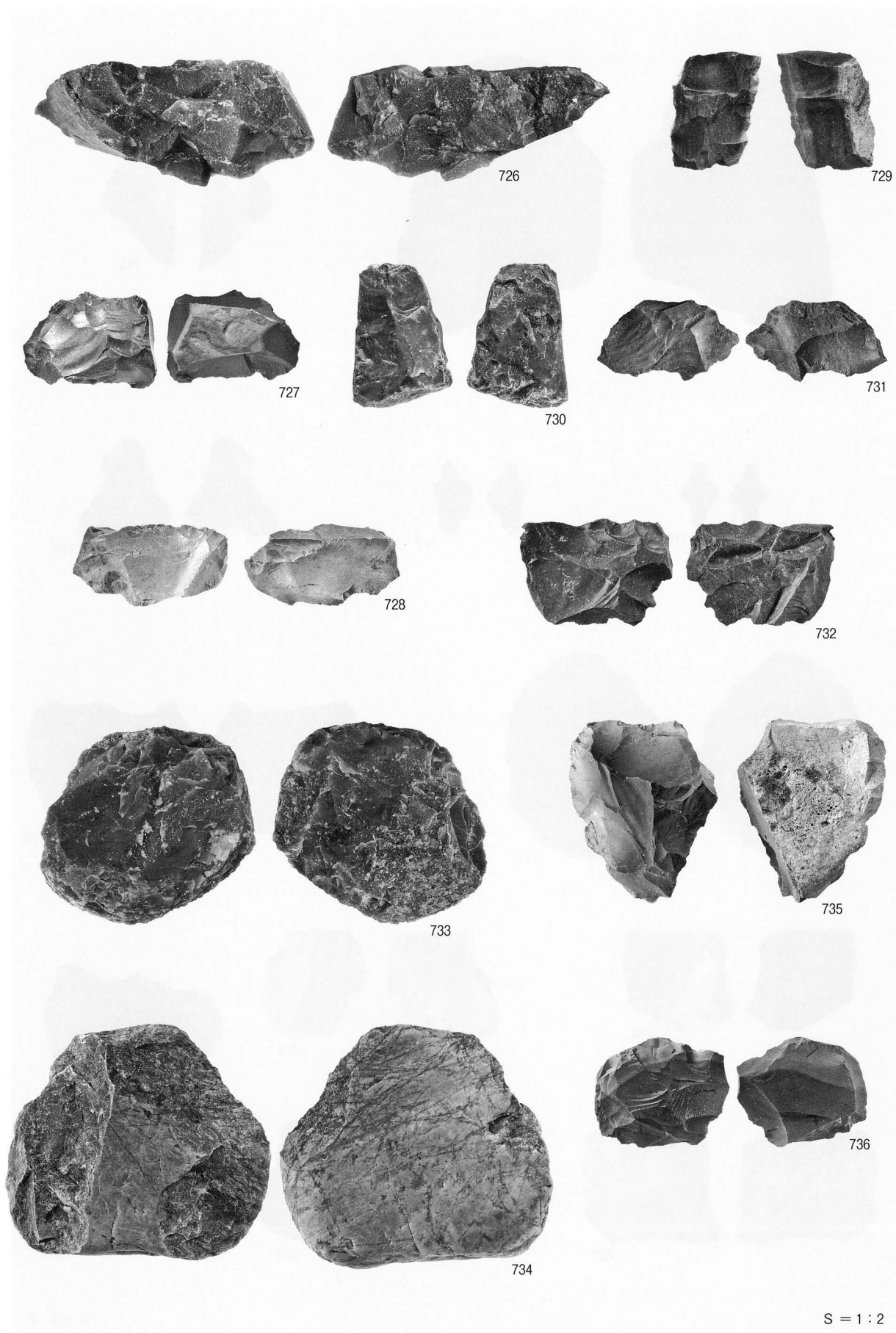


724



725

S = 1 : 2



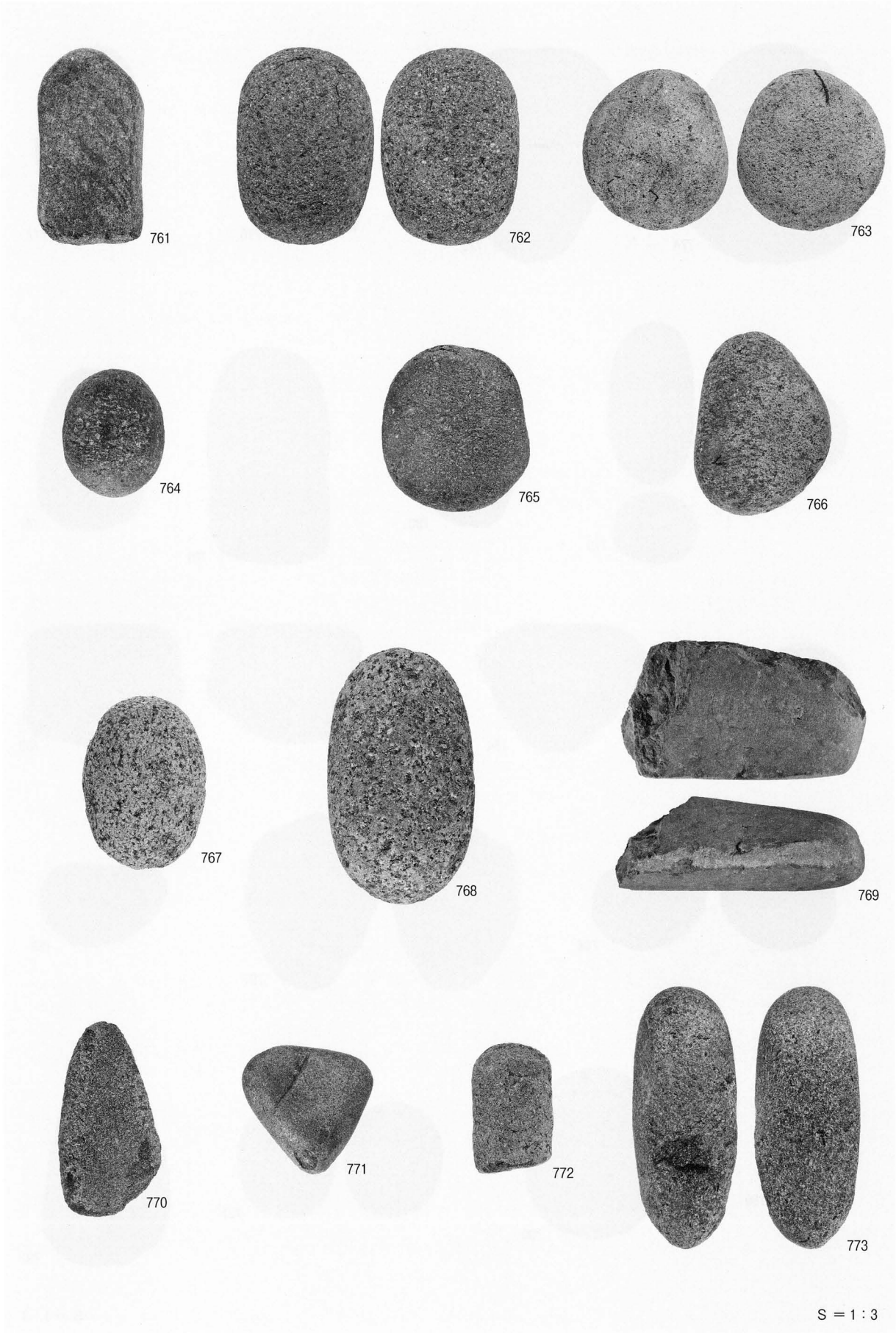
写真図版86 遺物包含層出土石器 (5)



写真図版87 遺物包含層出土石器（6）



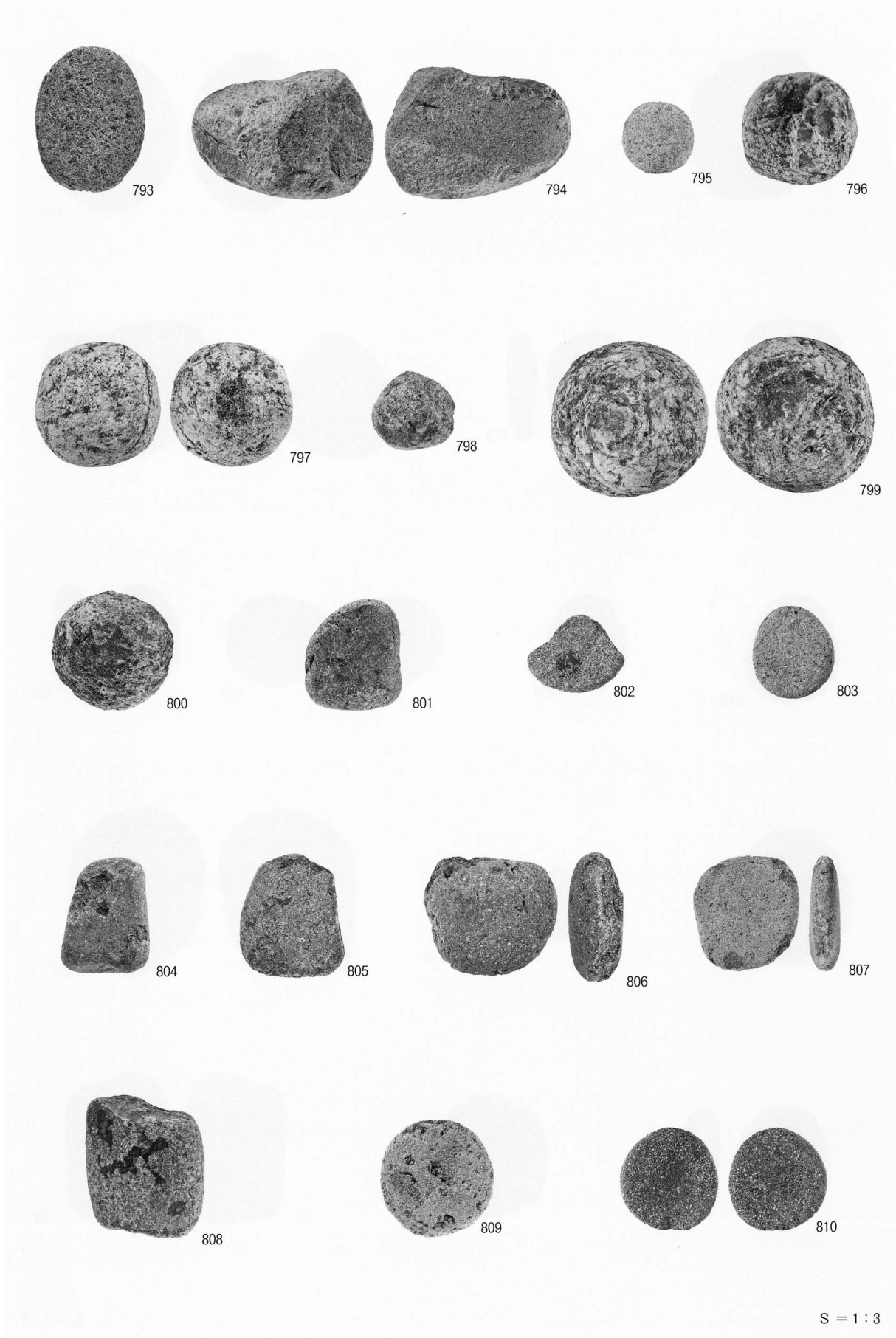
写真図版88 遺物包含層出土石器 (7)



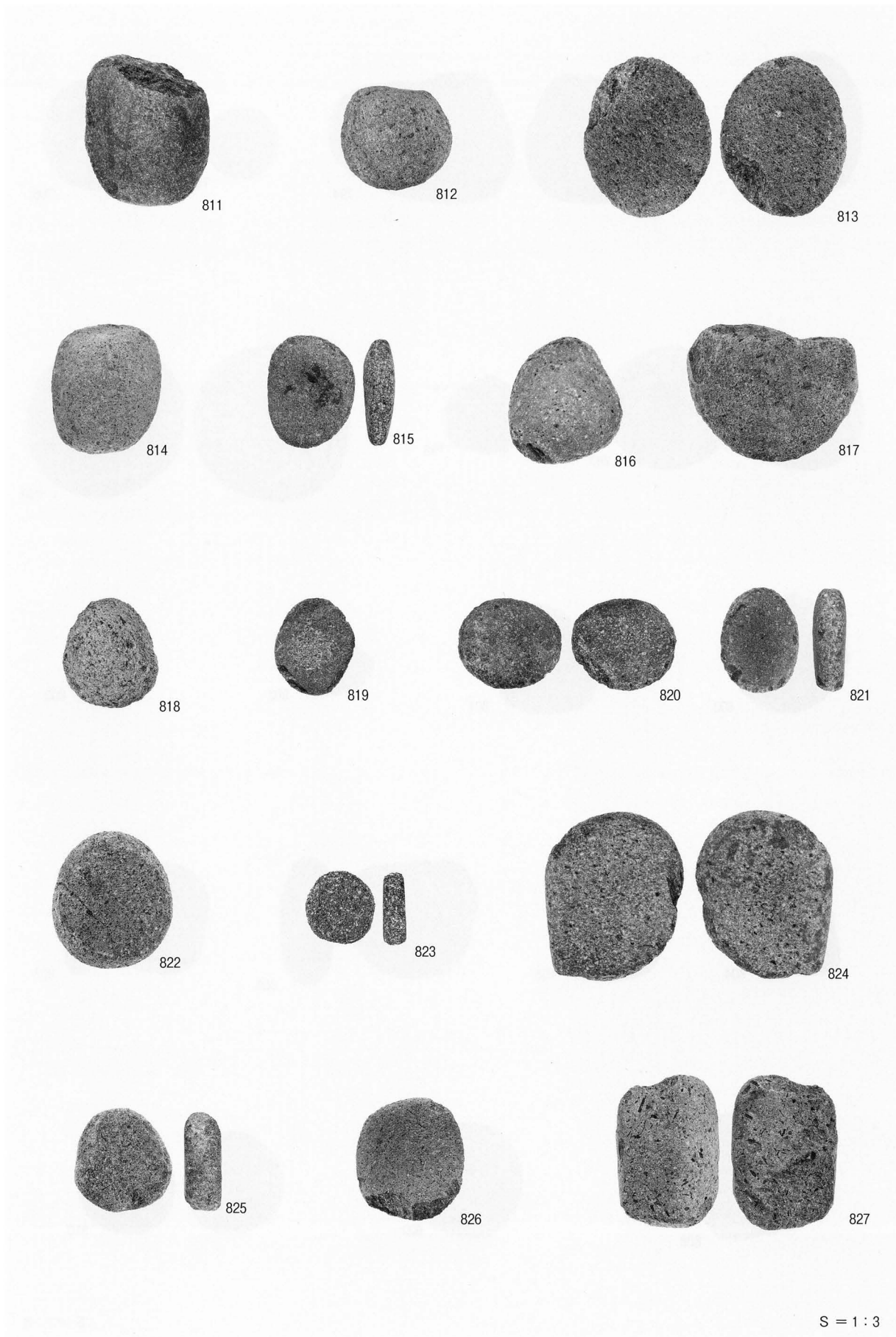
写真図版89 遺物包含層出土石器 (8)



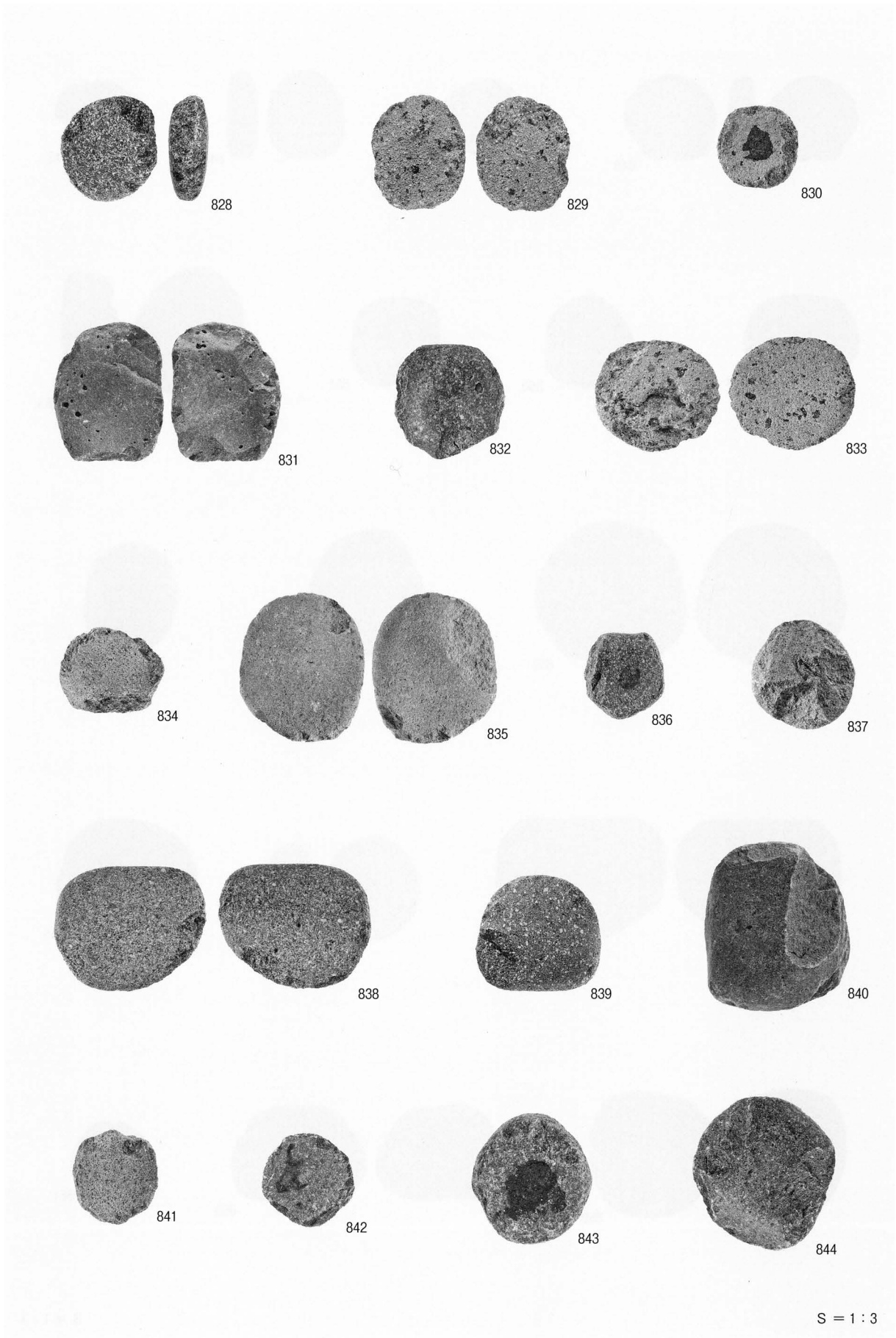
写真図版90 遺物包含層出土石器 (9)



写真図版91 遺物包含層出土石器 (10)

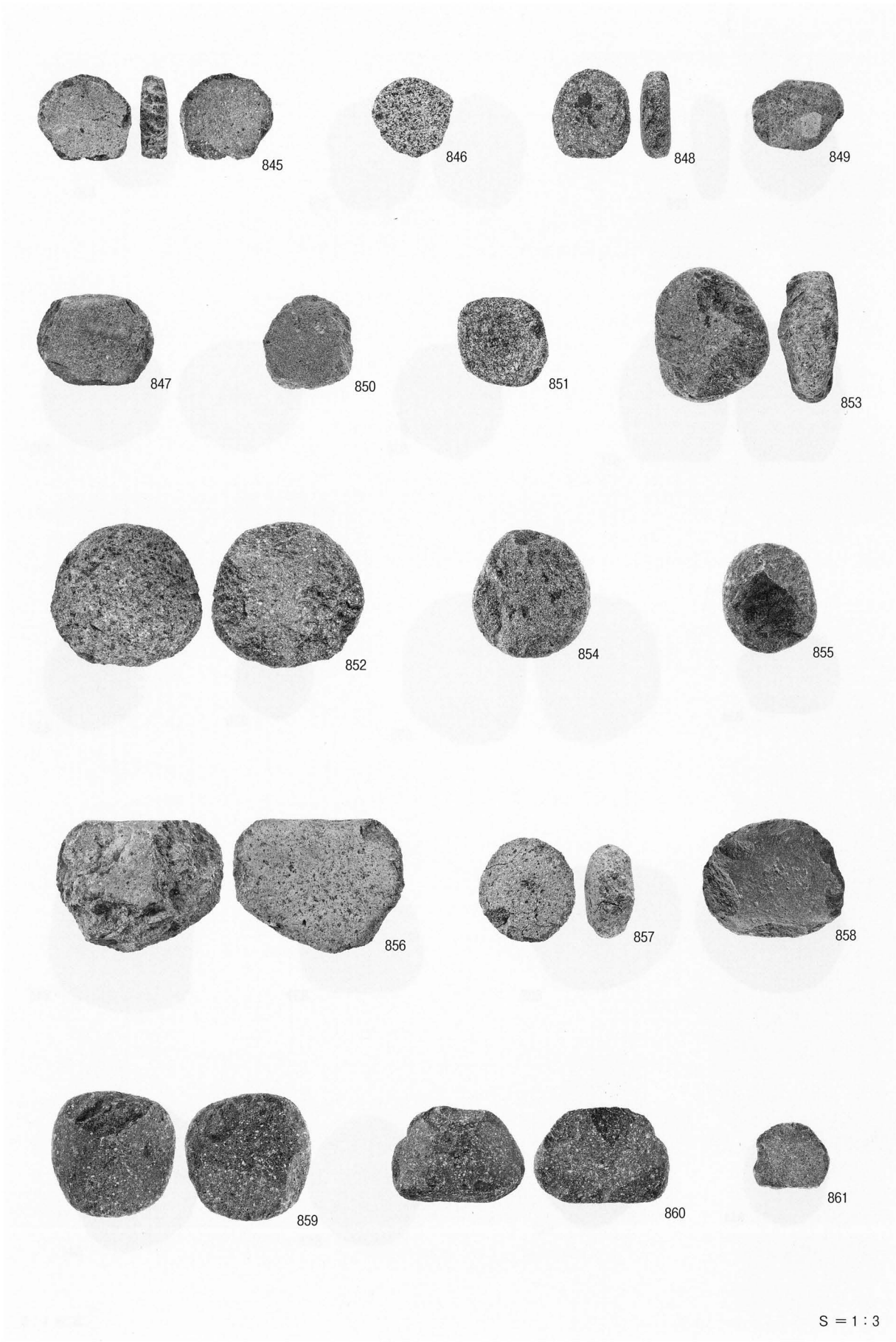


写真図版92 遺物包含層出土石器 (11)



S = 1 : 3

写真図版93 遺物包含層出土石器 (12)



S = 1 : 3

写真図版94 遺物包含層出土石器 (13)



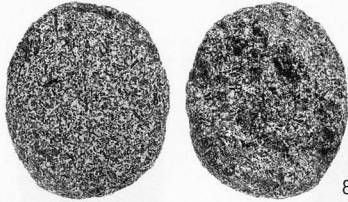
862



863



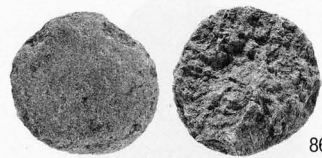
864



865



866



867



868



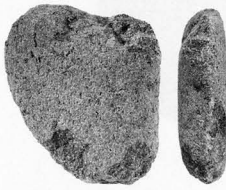
869



870



871



872



873



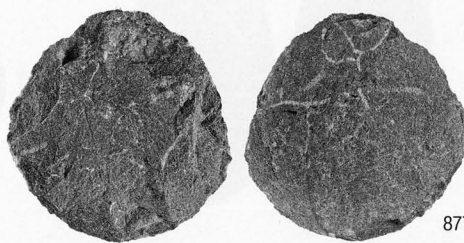
874



875



876

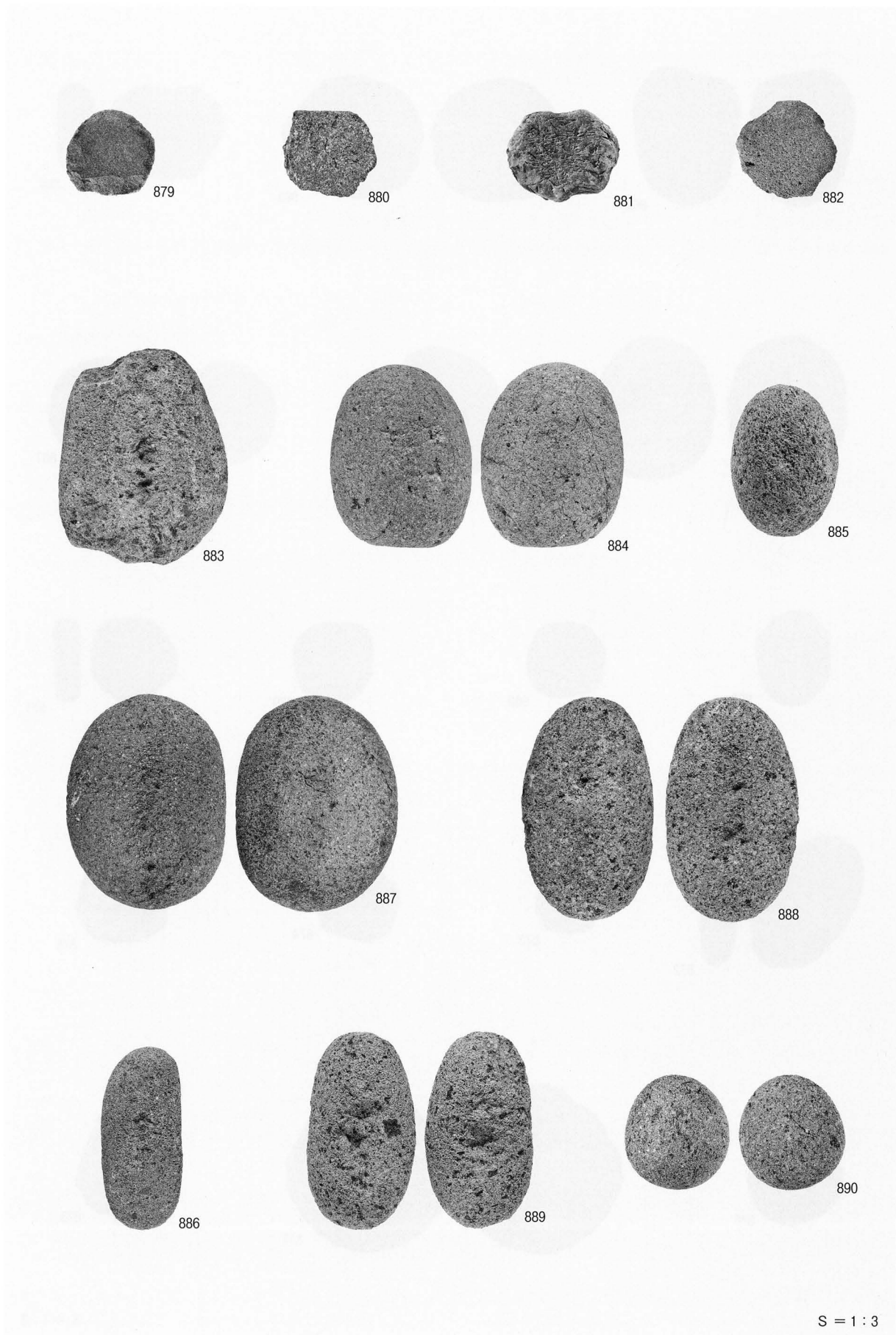


877

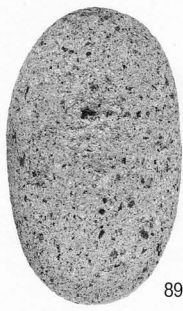


878

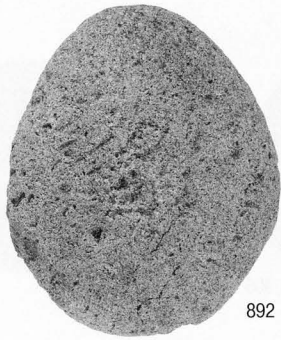
S = 1 : 3



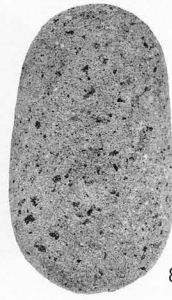
写真図版96 遺物包含層出土石器 (15)



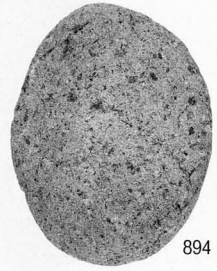
891



892



893



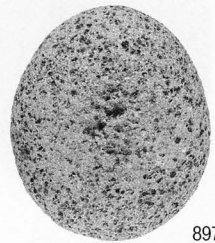
894



895



896



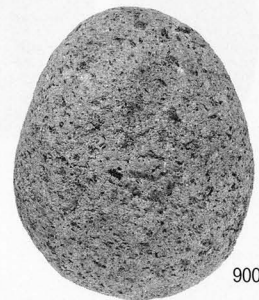
897



898



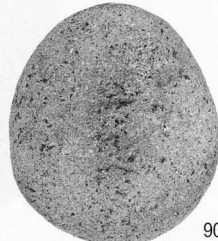
899



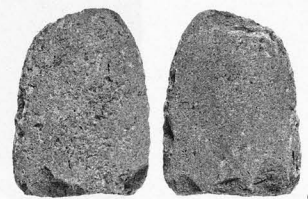
900



901



902

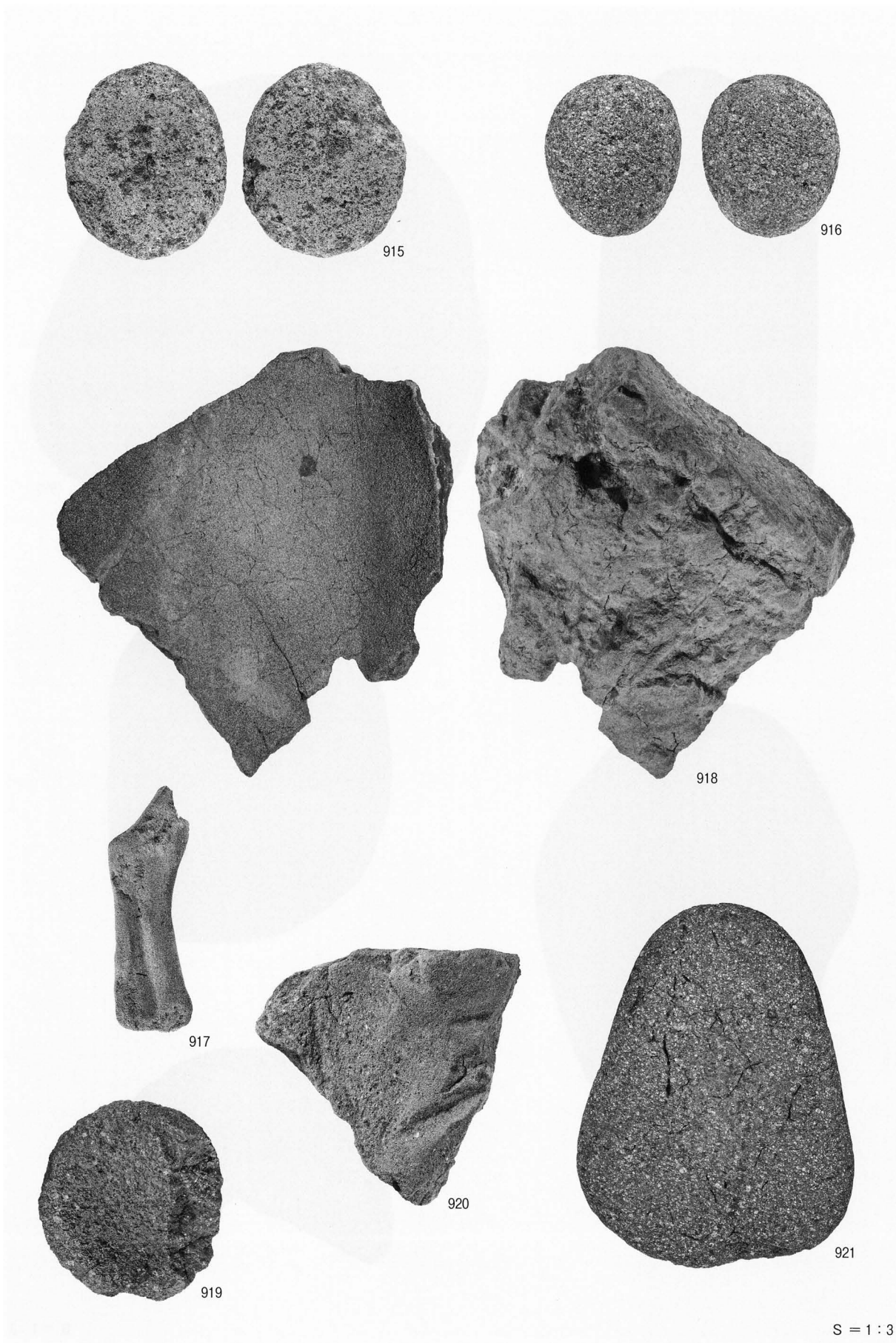


903

S = 1 : 3



写真図版98 遺物包含層出土石器 (17)

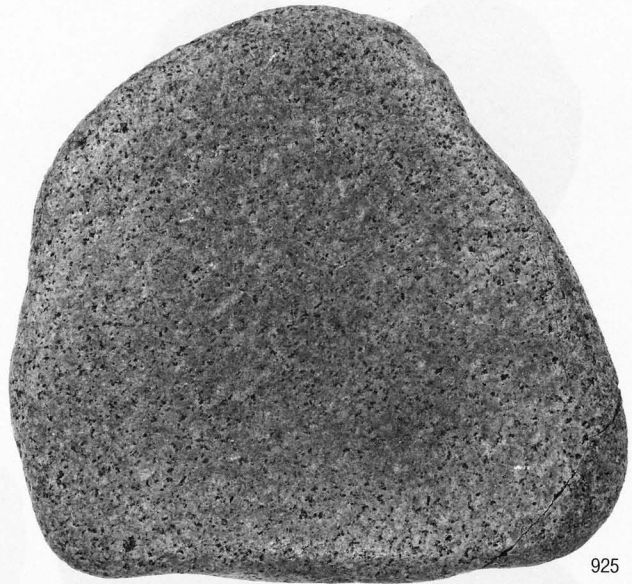


S = 1 : 3

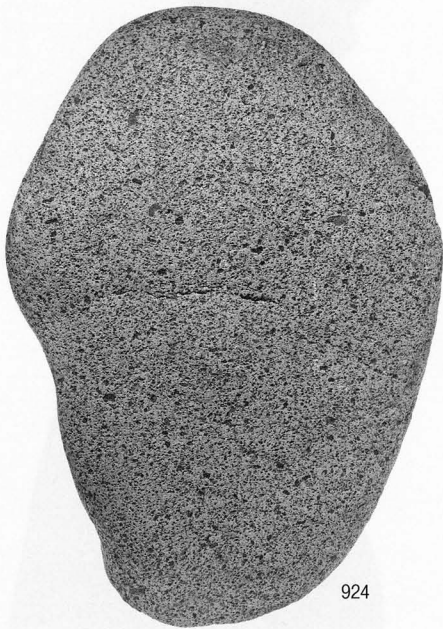
写真図版99 遺物包含層出土石器 (18)



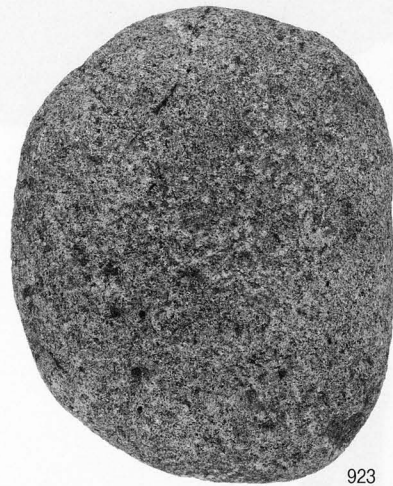
922



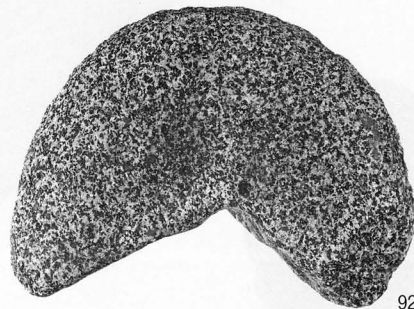
925



924

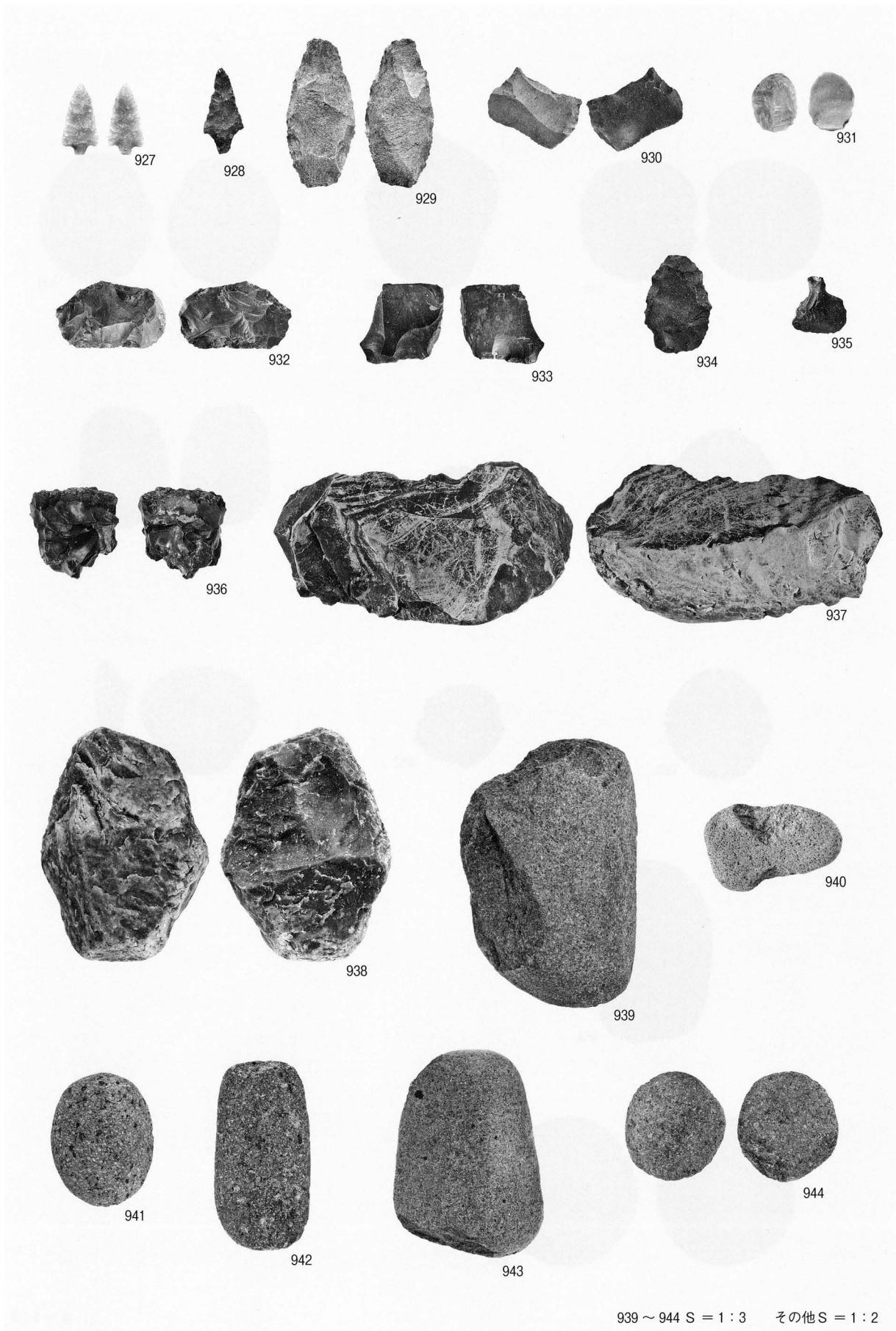


923

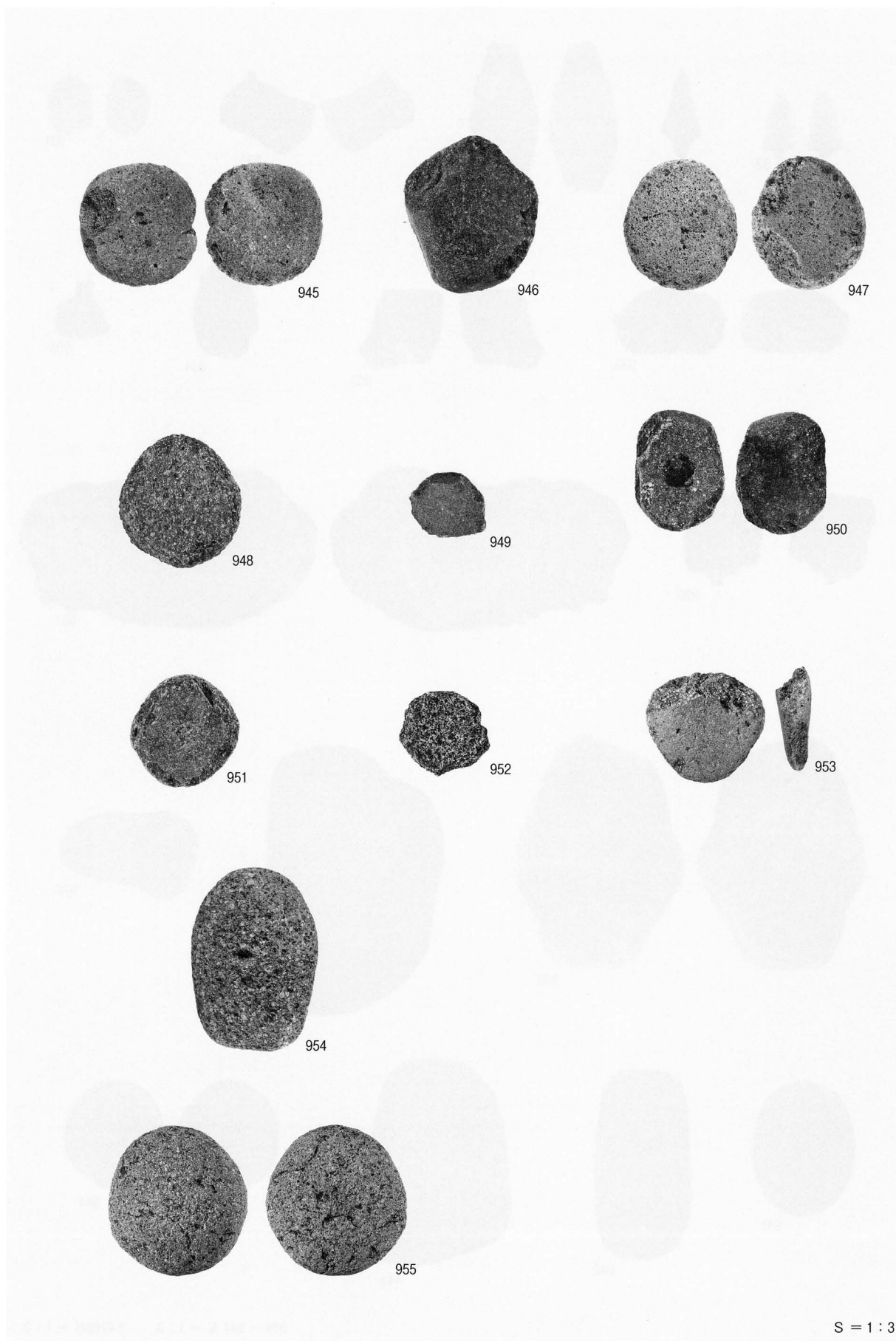


926

S = 1 : 3

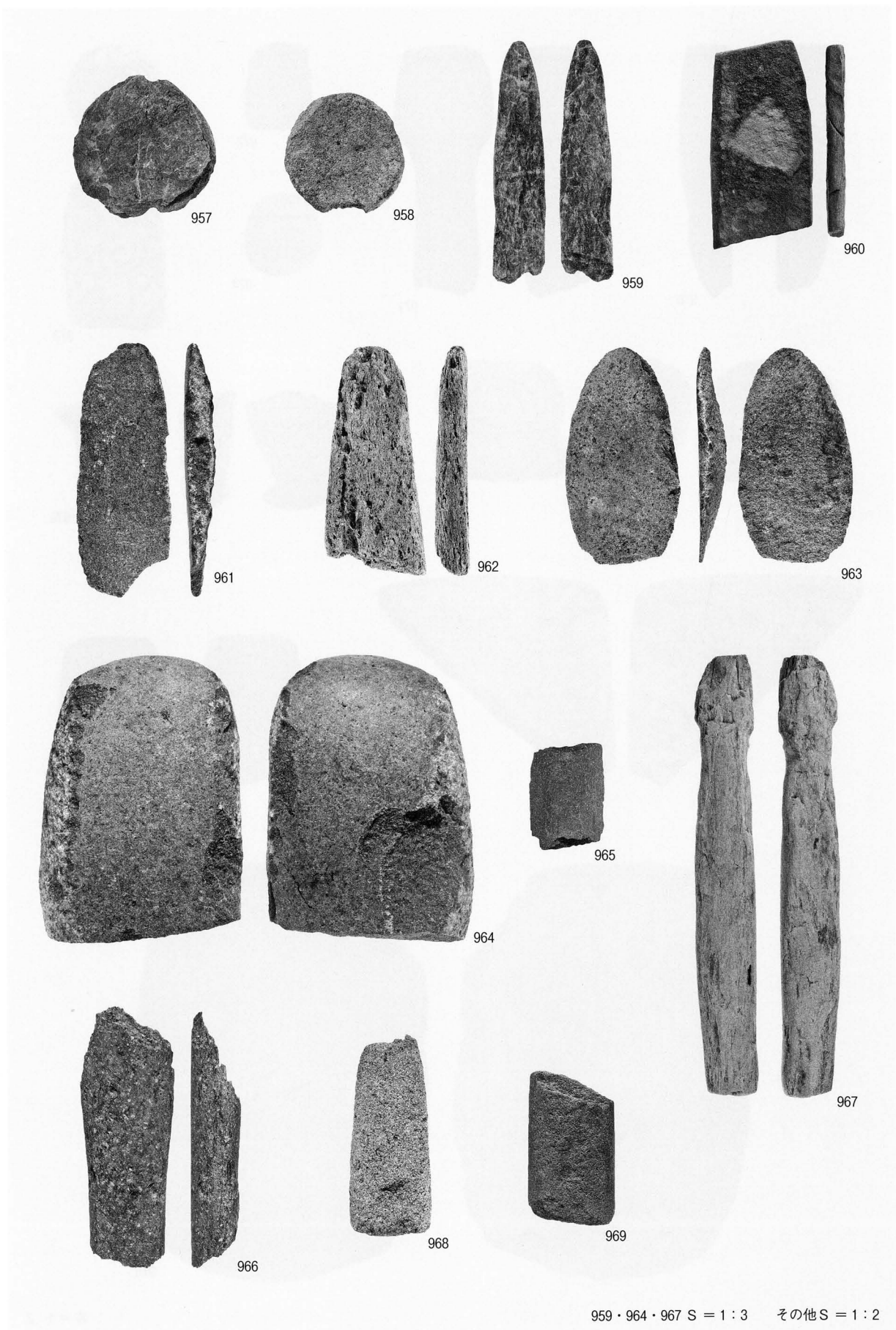


写真図版101 遺構外出土石器 (1)

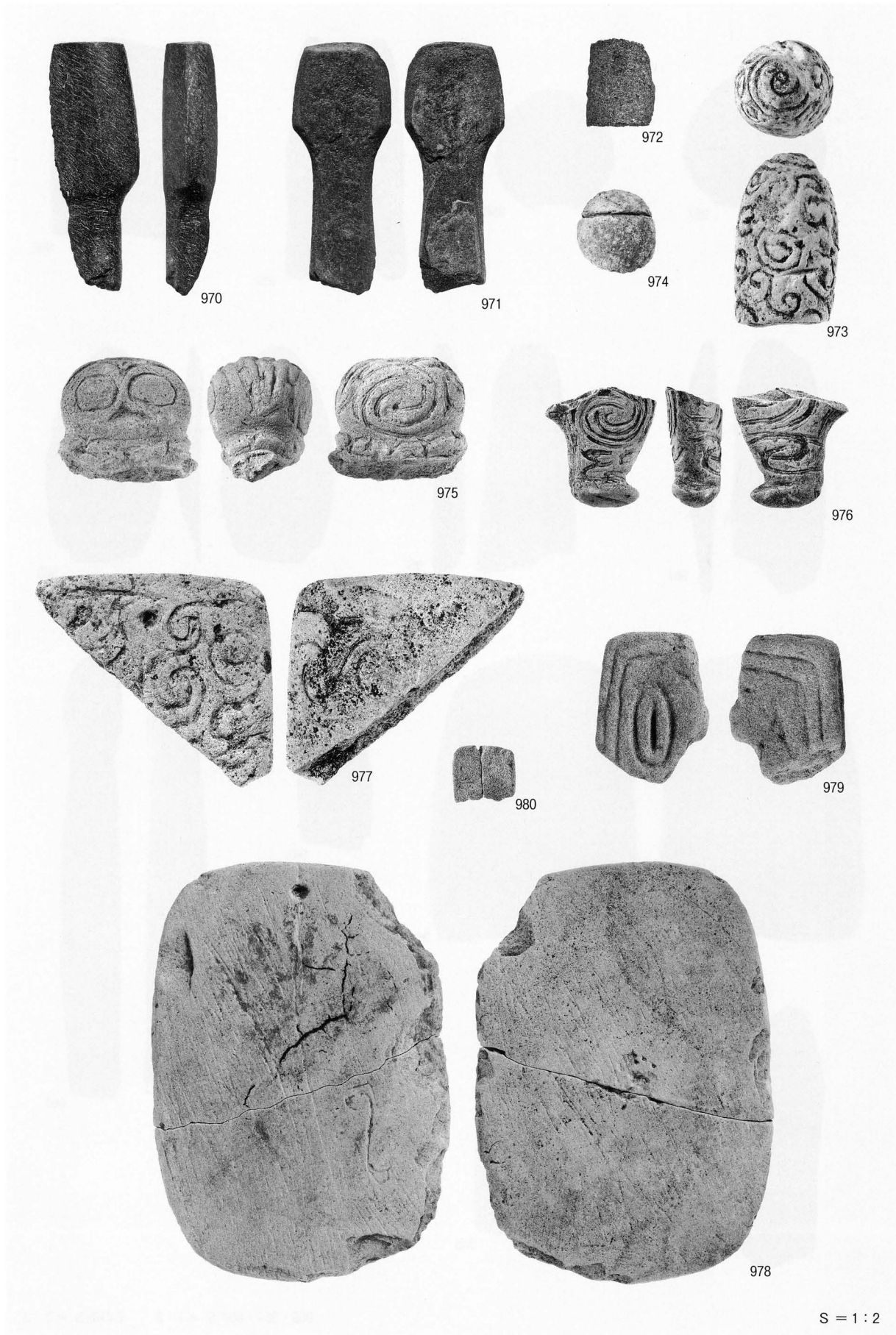


S = 1 : 3

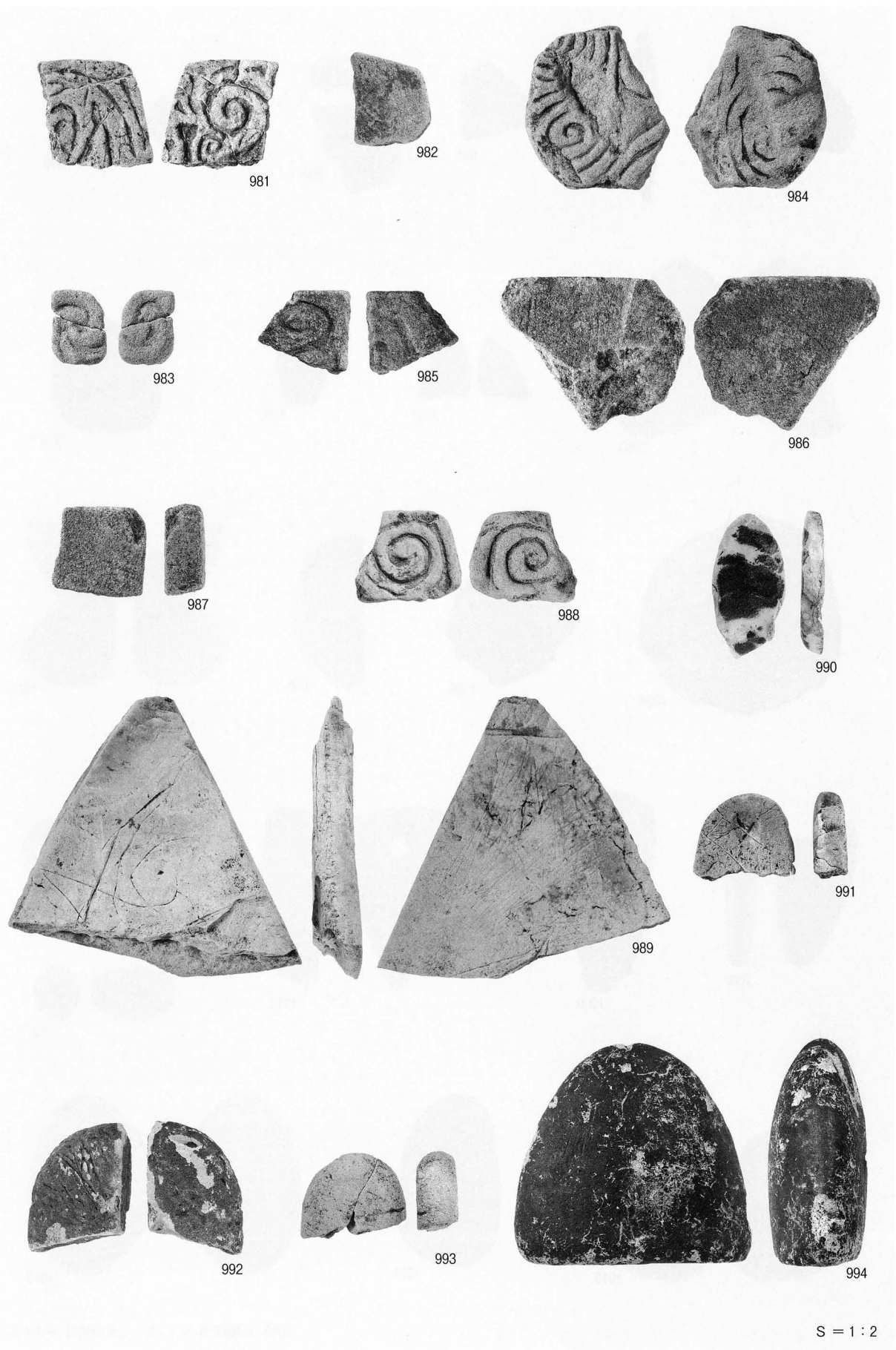
写真図版102 遺構外出土石器 (2)



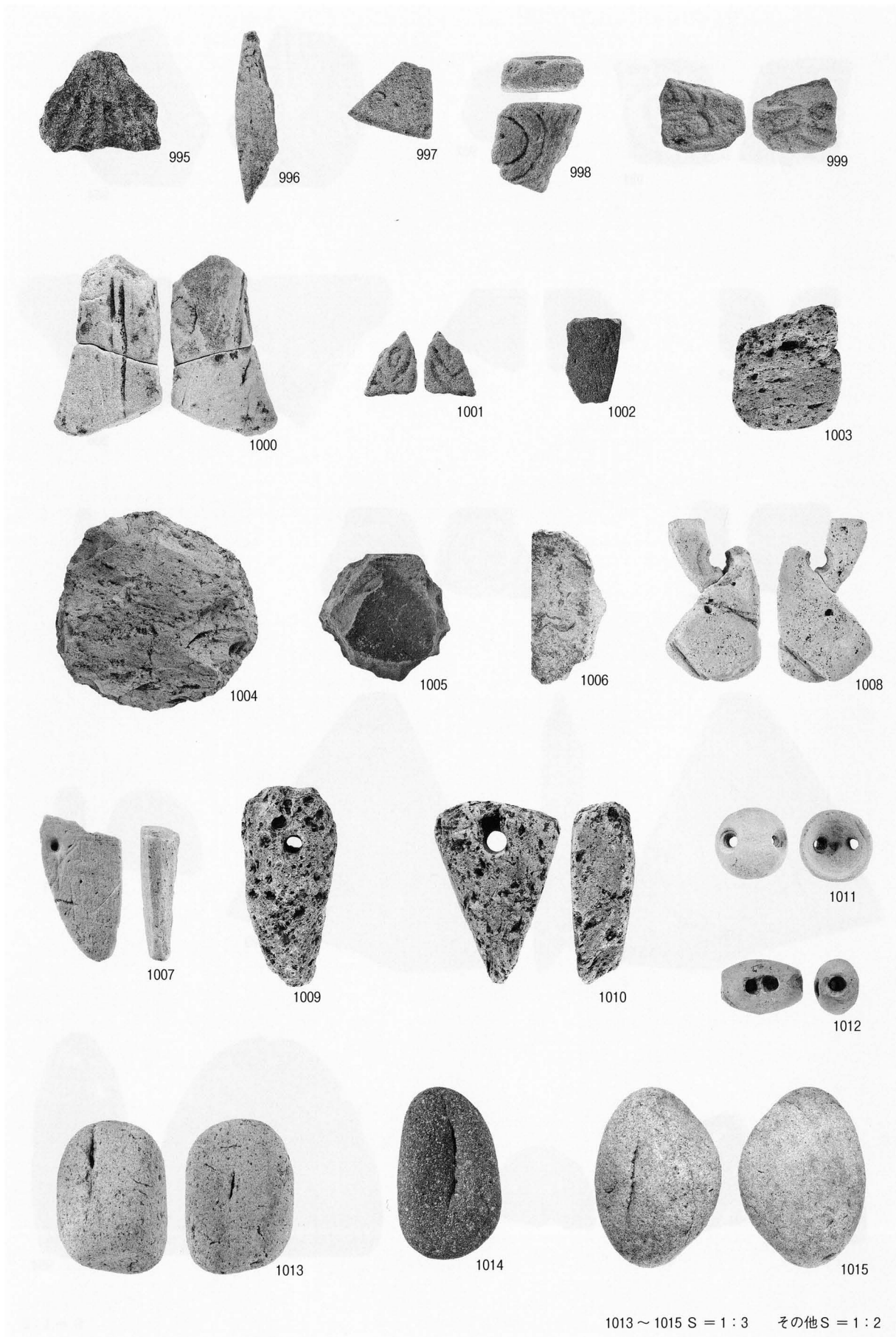
写真図版103 土坑・柱穴状土坑・遺物包含層出土石製品（1）



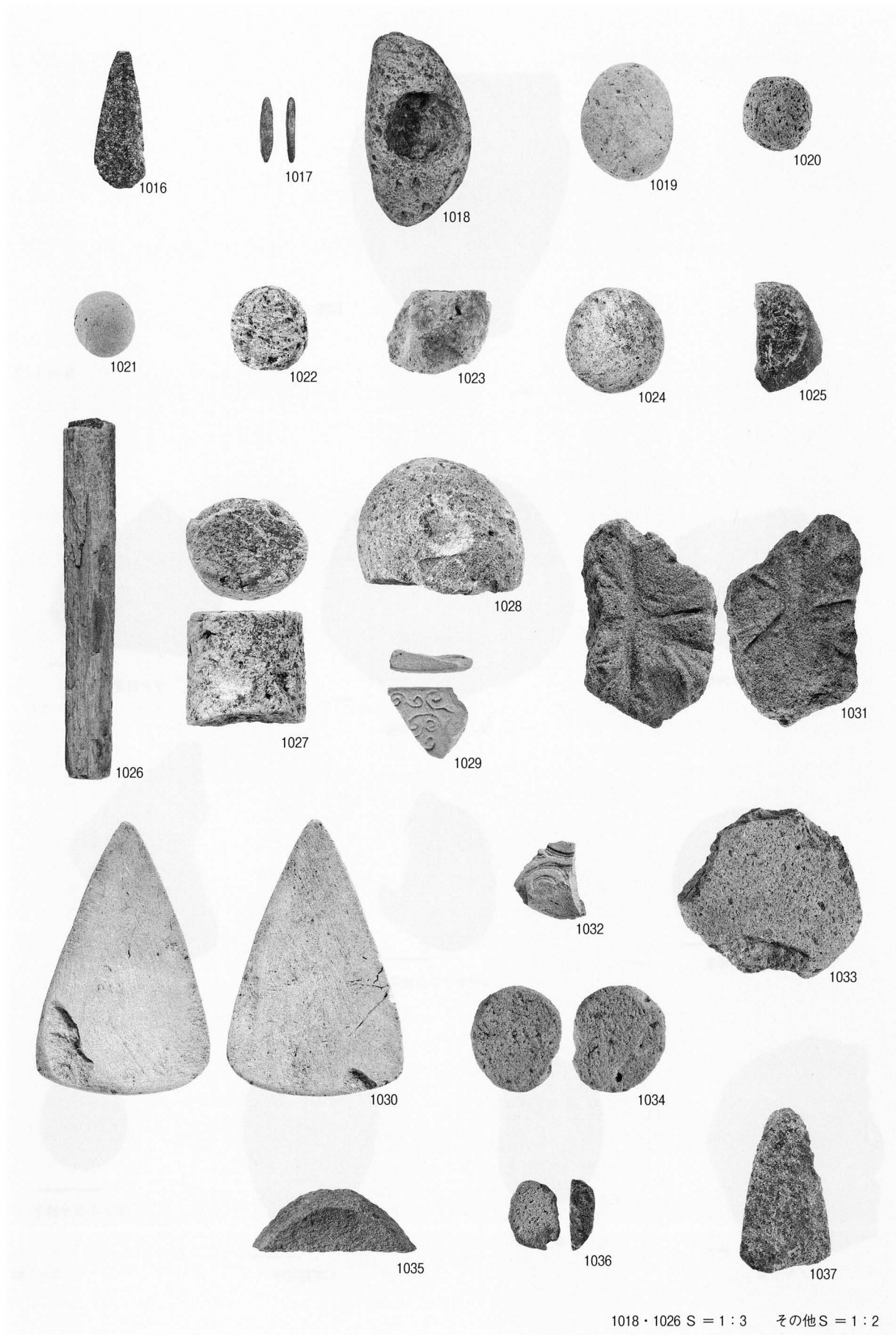
写真図版104 遺物包含層出土石製品（2）



写真図版105 遺物包含層出土石製品 (3)



写真図版106 遺物包含層出土石製品 (4)



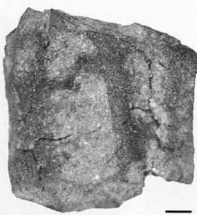
1018・1026 S = 1 : 3 その他 S = 1 : 2

写真図版107 遺物包含層出土石製品（5）、遺構外出土石製品

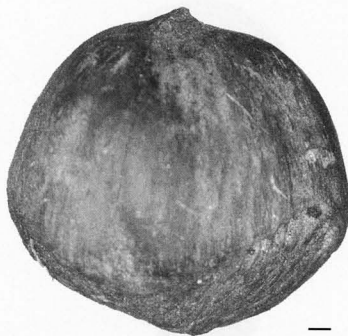


1038

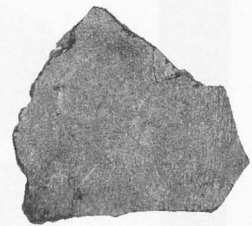
S = 1 : 3



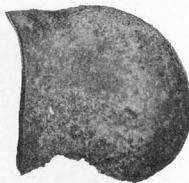
オニグルミ内果皮



ツノハシバミ果実



ブナ科果皮



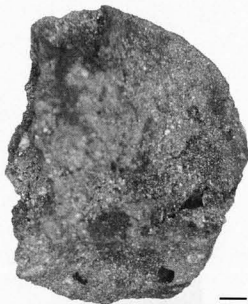
コブシ種皮



ヤマブドウ種子



トチノキ種皮



トチノキ子葉



コムギ種子



ムギ類種子



エノキグサ種子

S = 1 mm

報告書抄録

ふりがな	あまたきいせきはつくつちょうさほうこくしよ							
書名	雨滝遺跡発掘調査報告書							
副書名	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第562集							
編著者名	丸山浩治							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019) 638-9001							
発行年月日	2010年3月26日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あまたきいせき 雨滝遺跡	いわてけんのにのへし 岩手県二戸市 かまさわあざしらやま 釜沢字白山 5ほか	03213	IE79-1126	40度 20分 26秒	141度 16分 28秒	2008.07.01 ～ 2008.09.30	398㎡	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区に伴う緊急発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
雨滝遺跡	集落跡	縄文時代	遺物包含層111㎡ (埋設土器3個含む) 竪穴住居状遺構1基 土坑1基 柱穴状土坑9個	縄文土器 土製品 石器 石製品 骨角器 動物遺存体 植物遺存体		主に大洞B2式からC1式期に形成された大規模な遺物包含層。C1式期には盛土状に形成される。多量の遺物が良好な状態で出土。		
要約	<p>雨滝遺跡は、IGRいわて銀河鉄道金田一温泉駅の北西約3.3km、岩手・青森県境付近の馬淵川屈曲部に位置し、同河川右（北東）岸の南西向きの緩斜面に立地する。標高は今次調査区で70～74mを測る。戦後、本遺跡は明治大学により昭和28年（1953年）、昭和33年（1958年）、昭和38年（1963年）の3度にわたり学術的な発掘調査がなされたが、その調査地点は今次調査区の東方約150mの位置にあたる。</p> <p>地形調査の結果、現地形に表れていない小規模な段丘が3つ確認され、その上段から中段中位にかけて大規模な遺物包含層が形成されていた。包含層形成時期の主体は縄文晩期前葉の大洞B2式期から中葉の大洞C1式期で、該期の土器、土製品（土偶、亀形土製品、玉類、土器片円板など）、石器、石製品（岩偶、岩版、石棒類、玉類など）、骨角器、動物遺存体（獣骨、魚骨・歯など）、植物遺存体（トチ、クリなど）が多量に出土した。</p>							

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 562 集

雨滝遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合整備事業（担い手育成型）舌崎地区関連遺跡発掘調査

印 刷 平成 22 年 3 月 23 日

発 行 平成 22 年 3 月 26 日

- 編 集 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒 020-0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地
電話 (019) 638-9001
- 発 行 岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室
〒 028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 6-3
電話 (0195) 23-9207
- (財)岩手県文化振興事業団
〒 020-0023 岩手県盛岡市内丸 13 番 1 号
電話 (019) 654-2235
- 印 刷 山口北州印刷株式会社
〒 020-0184 岩手県盛岡市青山 4 丁目 10 番 5 号
電話 (019) 641-0585

